

平成 2 2 年度

科学技術館科学技術理解増進活動基礎調査 報告書

青少年のための科学の祭典

科学技術館来館者 -



公益財団法人 日本科学技術振興財団・科学技術館
Japan Science Foundation / Science Museum

報告書目次

1 調査概要	1
1-1 はじめに	1
1-2 調査概要	1
1-3 青少年のための科学の祭典来場者調査・出展者調査（全国大会）	1
1-4 科学技術館来館者調査	1
2 青少年のための科学の祭典	3
2-1 来場者アンケート調査（児童・生徒・学生）	3
1) 来場前について	
Q1-1 理科授業への取り組み程度・理解度	3
Q1-2 理科を学ぶ意義	4
Q1-3 科学技術に対する好悪・必要性	5
Q1-4 科学技術に対する好悪の理由	6
Q1-5 関心のある科学技術分野	8
Q1-6 科学技術を学ぶ意義	9
Q1-7 保護者からの理科・科学技術学習に対する関わり方	11
Q1-8 科学技術に関する情報源	13
Q1-9 科学技術に関する情報の入手手段	14
Q1-10 科学技術・エネルギー（電気・電力等）に対する理解度（来場前）	15
2) 来場時・来場後について	
Q2-1 「科学の祭典」を知った経緯	16
Q2-2 来場した経緯	17
Q2-3 同伴者	18
Q2-4 来場回数	18
Q2-5 来場目的	20
Q2-6 見学時間	21
Q2-7 おもしろかった実験・観察・工作	22
Q2-8 参加したブース数	23
Q2-9 電気関係の出展について	25
Q2-10 電気の有益性	26
Q2-11 「科学の祭典」の印象	27
Q2-12 科学技術・エネルギー（電気・電力等）に対する理解度（来場後）	29

Q2-13 「科学の祭典」の開催時期	31
3) 来場者自身について	
Q3-1 性別	32
Q3-2 現在の学年	32
Q3-3 居住地	34
Q3-4 将来の職業	35
4) 「科学の祭典」全体に関して	
Q4-1 「科学の祭典」全体を通しての感想・意見・要望（記述）	36
2-2 来場者アンケート（大人）	37
1) 来場前について	
Q1-1 理科授業への取り組み程度・理解度	37
Q1-2 理科を学ぶ意義	38
Q1-3 科学技術に対する好悪・必要性	39
Q1-4 科学技術に対する好悪の理由	40
Q1-5 関心のある科学技術分野	42
Q1-6 科学技術を学ぶ意義	43
Q1-7 保護者からの理科・科学技術学習に対する関わり方	45
Q1-8 子どもへの理科・科学技術学習に対する関わり方	47
Q1-9 科学技術に関する情報源	50
Q1-10 科学技術に関する情報の入手手段	51
Q1-11 科学技術・エネルギー（電気・電力等）に対する理解度（来場前）	52
2) 来場時・来場後について	
Q2-1 「科学の祭典」を知った経緯	53
Q2-2 来場した経緯	54
Q2-3 同伴者	55
Q2-4 来場回数	56
Q2-5 来場目的	57
Q2-6 見学時間	58
Q2-7 おもしろかった実験・観察・工作	59
Q2-8 参加したブース数	60
Q2-9 電気関係の出展について	62
Q2-10 電気の有益性	63
Q2-11 「科学の祭典」の印象	63
Q2-12 科学技術・エネルギー（電気・電力等）に対する理解度（来場後）	66
Q2-13 「科学の祭典」の開催時期	69
3) 来場者自身について	

Q3-1	性別	70
Q3-2	年代	70
Q3-3	居住地	71
Q3-4	職業	72
Q3-5	パートナーの職業	73
4)「科学の祭典」全体に関して		
Q4-1	「科学の祭典」全体を通しての感想・意見・要望（記述）	74
2-3 出展者アンケート調査		75
1) 出展前について		
Q1-1	理科授業への取り組み程度・理解度	75
Q1-2	理科を学ぶ意義	76
Q1-3	科学技術に対する好悪・必要性	77
Q1-4	科学技術に対する好悪の理由	78
Q1-5	関心のある科学技術分野	79
Q1-6	科学技術を学ぶ意義	80
Q1-7	保護者からの理科・科学技術学習に対する関わり方	82
Q1-8	子どもへの理科・科学技術学習に対する関わり方	84
Q1-9	科学技術に関する情報源	86
Q1-10	科学技術に関する情報の入手手段	87
Q1-11	科学技術・エネルギー（電気・電力等）に対する理解度（出展前）	88
Q1-12	電気関係の演示やワークショップ経験	88
2) 出展時・出展後について		
Q2-1	出展の立場	89
Q2-2	出展回数	90
Q2-3	一般来場回数	91
Q2-4	出展内容	92
Q2-5	来場者とのコミュニケーション	92
Q2-6	来場者の反応	94
Q2-7	科学技術・「科学の祭典」に対する興味や満足の種類	95
Q2-8	科学技術・エネルギー（電気・電力等）に対する理解度（出展後）	96
Q2-9	電気関係の演示やワークショップについて	98
Q2-10	「科学の祭典」全体を通しての感想・意見・要望（記述）	99
3)「青少年のための科学の祭典」の意義や運営について		
Q3-1	「科学の祭典」の評価	101
Q3-2	改善策	102
Q3-3	開催時期	104

Q3-4	実験・実演・工作等の安全面.....	105
Q3-5	運営に関する問題点.....	106
Q3-6	職業（教員）.....	107
4）	出展者自身について	
Q4-1	性別.....	109
Q4-2	年代.....	109
Q4-3	学校・職業.....	110
Q4-4	居住地.....	112
3	科学技術館 来館者調査.....	113
3-1	来館者アンケート調査（児童・生徒・学生）.....	113
1）	理科や科学技術に対する意識について	
Q1-1	理科授業への取り組み程度・理解度.....	113
Q1-2	理科を学ぶ意義.....	116
Q1-3	科学技術に対する好悪・必要性.....	119
Q1-4	科学技術に対する好悪の理由.....	122
Q1-5	関心のある科学技術分野.....	126
Q1-6	科学技術に関する情報源.....	129
Q1-7	科学技術に関する情報の入手手段.....	132
Q1-8	保護者からの理科・科学技術学習に対する関わり方.....	134
2）	来館したきっかけ、体験した印象などについて	
Q2-1	科学技術館を知った経緯.....	139
Q2-2	来館した経緯.....	142
Q2-3	同伴者.....	144
Q2-4	来館回数.....	146
Q2-5	来館目的.....	148
Q2-6	見学時間.....	152
Q2-7	おもしろかった展示室.....	154
Q2-8	見学した展示室数.....	156
Q2-9	科学技術館の印象.....	161
3）	来館者自身について	
Q3-1	性別.....	166
Q3-2	学年.....	166
Q3-3	居住地.....	169
Q3-4	将来の職業.....	171
4）	科学技術館全体に関して	
Q4-1	科学技術館全体を通しての感想・意見・要望（記述）.....	176

3-2 来館者アンケート調査（大人）	184
1) 理科や科学技術に対する意識について	
Q1-1 理科授業への取り組み程度・理解度	184
Q1-2 科学技術に対する好悪・必要性	186
Q1-3 科学技術を学ぶ意義	188
Q1-4 科学技術に対する好悪の理由	190
Q1-5 関心のある科学技術分野	194
Q1-6 科学技術に関する情報源	196
Q1-7 科学技術に関する情報の入手手段	198
Q1-8 保護者からの理科・科学技術学習に対する関わり方	200
Q1-9 子どもへの理科・科学技術学習に対する関わり方	204
2) 来館したきっかけ、体験した印象などについて	
Q2-1 科学技術館を知った経緯	208
Q2-2 来館した経緯	210
Q2-3 同伴者	212
Q2-4 来館回数	213
Q2-5 来館目的	215
Q2-6 見学時間	219
Q2-7 おもしろかった展示室	220
Q2-8 見学した展示室数	222
Q2-9 科学技術館の印象	225
3) 来館者自身について	
Q3-1 性別	229
Q3-2 年代	230
Q3-3 居住地	232
Q3-4 職業	234
4) 科学技術館全体に関して	
Q4-1 科学技術館全体を通しての感想・意見・要望（記述）	238
4 まとめ	252

1 調査概要

1-1 はじめに

科学技術館は1964年の設立以来、科学技術理解増進活動の中核施設として国の理科教育の一翼を担い、また国・産業界・市民の期待に応えるべく、50年近くに渡りその役割を果たしてきていると自負している。今回の調査は、昨年度に引き続き博物館の自己点検の一環として、平成4年より始まった「青少年の科学の祭典」の活動および、当館の活動が設立趣旨に則りいかに一般の方々の学びの場として寄与してきたのか、今後行うべき活動は何なのかを検証することを目的として行ったものである。

今回の調査では昨年度からの継続評価を行うと共に、さらに踏み込んだ来場者自身のバックグラウンドである理科の素地や科学技術に対する意識についての調査を行い、来場者の理科の素地や科学技術に対する意識を踏まえた上で、科学の祭典や科学技術館に何を求めているのか、科学技術館で何を受け止めてことができたのかを解析した。その結果の一部を簡単に述べると、「青少年のための科学の祭典」に来場する大人・子どもいずれも科学技術に対する関心が高いことや満足度が高かったこと、「青少年のための科学の祭典」への来場や当館への来館により、特に女性の方について科学技術への苦手意識の解消に有効であるということ、「科学技術館」の来館者については、親が博物館や科学技術の展示会に比較的多く連れていっている子どもとそうでない子どもとの比較を行い、連れていってもらっている子どもの方が理科や科学技術に対してポジティブな感じ方をしている傾向があること、そして博物館や科学技術の展示会に子どもを比較的多く連れていっている親の方がそうでない親よりも子どもに対し、理科や科学技術の学習などに関して多く関わっていることが明らかになった。このような質の観点の評価が得られたことで、今後の博物館活動をどのように展開すべきなのか、その指針となる情報を得ることができたと考えられる。

本報告書について、皆様からの忌憚のない御意見、御感想、御批判、あるいはご自身の活動に役立てていただくことができれば幸いである。

1-2 調査概要

平成22年度 科学技術館 科学技術理解増進活動基礎調査では、よりよい学芸活動を展開することを目的とし、青少年のための科学の祭典来場者調査・出展者調査、科学技術館来館者調査を実施した。今回の調査のうち、青少年のための科学の祭典来場者調査については、科学技術館で開催した全国大会で調査を実施した。

本調査の統計処理については、エス・ピー・エス・エス株式会社のSPSSを使用した。

1-3 青少年のための科学の祭典来場者調査・出展者調査（全国大会）

目的：祭典来場者及び出展者の科学技術に対する意識、理科の素養が、祭典の及ぼす効果とどのような関係があるのか、祭典が科学的リテラシーの醸成に役立っているのか、さらに、親子の係わりかたの影響について知ることを目的とした。

調査対象：全国大会に来場した大人（社会人）、子ども（児童・生徒・学生）
全国大会出展者

調査期間：平成22年7月31日～8月1日

調査件数：・来場者 子ども674件（男性410 女性252 性別無回答12）

大人398件（男性137 女性248 性別無回答13）

総来場者数：19,180人（7月31日～8月1日の一般公開日）

・出展者87件（男性60 女性25 性別無回答2）

調査方法：質問紙法

調査内容：祭典満足度、科学技術リテラシー、親子の係り
祭典運営評価（出展者のみ）

1-4 科学技術館来館者調査

目的：科学技術館来館者の科学技術に対する意識、理科の素養が、科学技術館における学習効果とどのような関係があるのか、科学技術館の展示が科学的リテラシーの醸成に役立っているのか、さらに、親子の係わりかたの影響について知ることを目的とした。

調査対象：来館者

調査時期：平成22年8月16日（月）～22日（日）

調査件数：子ども598件（男性313 女性273 性別無回答12）

大人601件（男性150 女性435 性別無回答16）

調査方法：質問紙法

調査内容：科学技術館満足度、科学技術リテラシー、親子の係わり

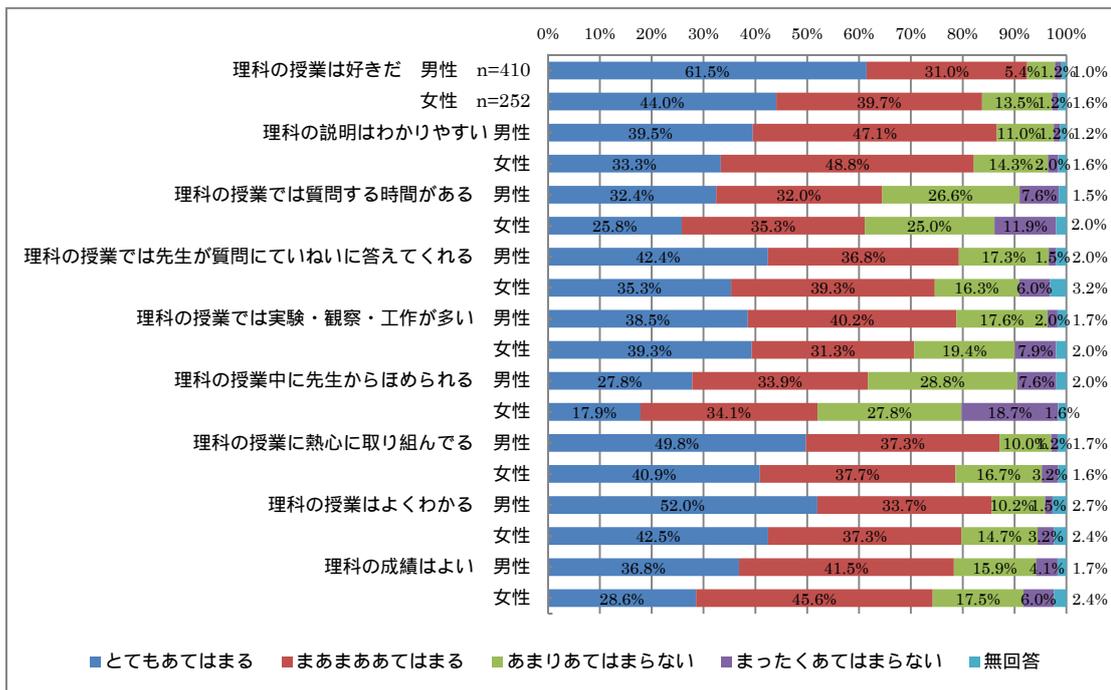
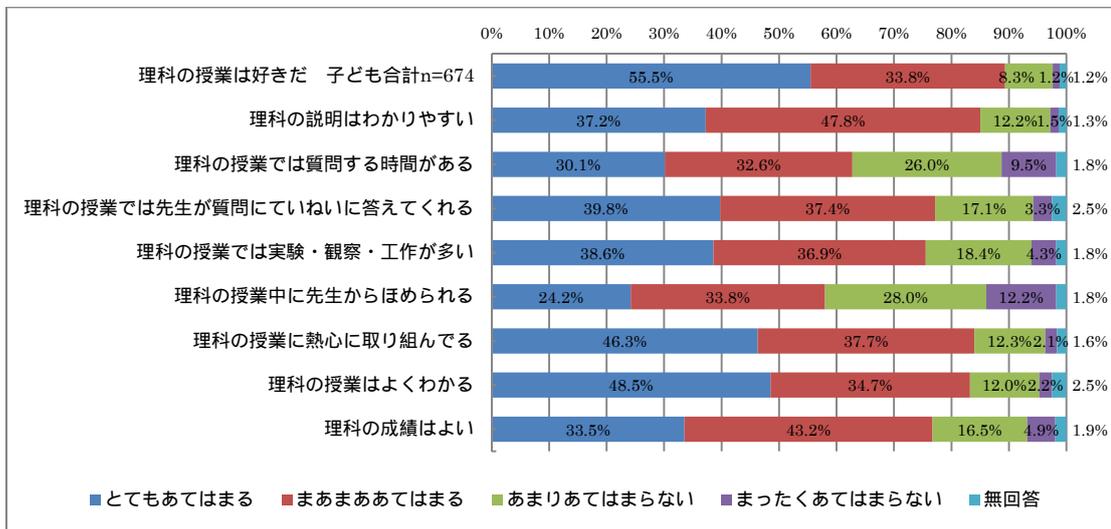
2 青少年のための科学の祭典

2-1 来場者アンケート調査（児童・生徒・学生）

1) 「青少年のための科学の祭典」に来る前のことについてお聞きします。

Q1-1 学校の理科の授業について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 理科の授業は好きである	1	2	3	4
b. 理科の授業の説明はわかりやすい	1	2	3	4
c. 理科の授業では質問する時間がある	1	2	3	4
d. 理科の授業では先生が質問にいていないに答えてくれる	1	2	3	4
e. 理科の授業では実験・観察・工作が多い	1	2	3	4
f. 理科の授業中に先生からほめられる	1	2	3	4
g. 理科の授業に熱心に取り組んでいる	1	2	3	4
h. 理科の授業はよくわかる	1	2	3	4
i. 理科の成績はよい	1	2	3	4



• 考察

「理科の授業は好きだ」に「とてもあてはまる」と回答している子どもたちは5割を超え、「まあまああてはまる」を合わせると9割近くになる。その他、「理科の説明はわかりやすい」、「理科の授業に熱心に取り組んでいる」、「理科の授業はよくわかる」は8割を超えており、理科の授業に対して好意的に捉えている。

「理科の授業中に先生からほめられる」に「とてもあてはまる」と回答している子どもたちは4分の1程度であり、反対に「まったくあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の割合が4割に達している。また、「理科の授業では質問する時間がある」も35%を超えており、案外このあたりに理科から離れる一因があるのではないだろうか。

男女差については、おしなべて男性の方があてはまる割合が高く、「理科の授業中に先生からほめられる」に顕著な差が見られる。

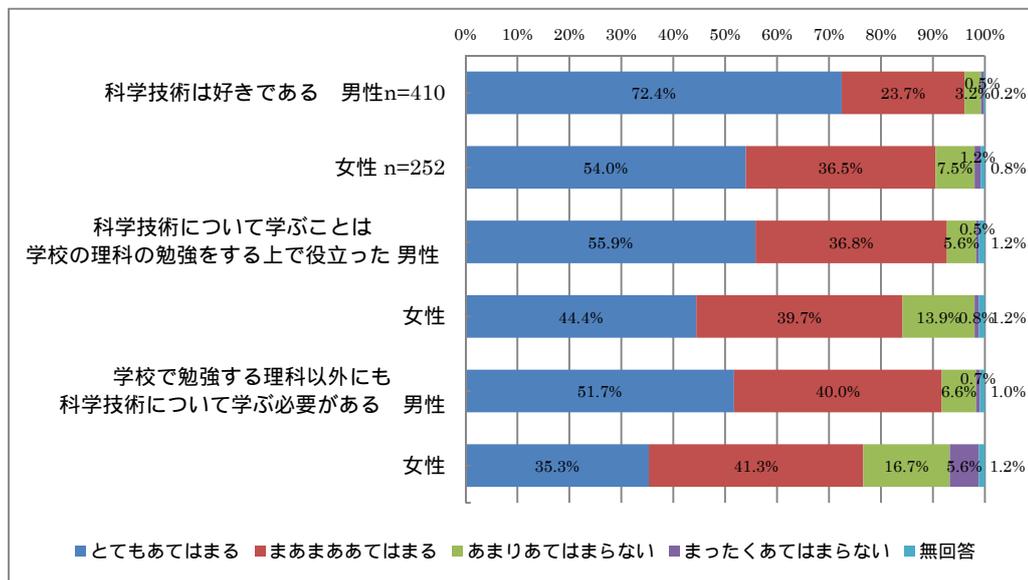
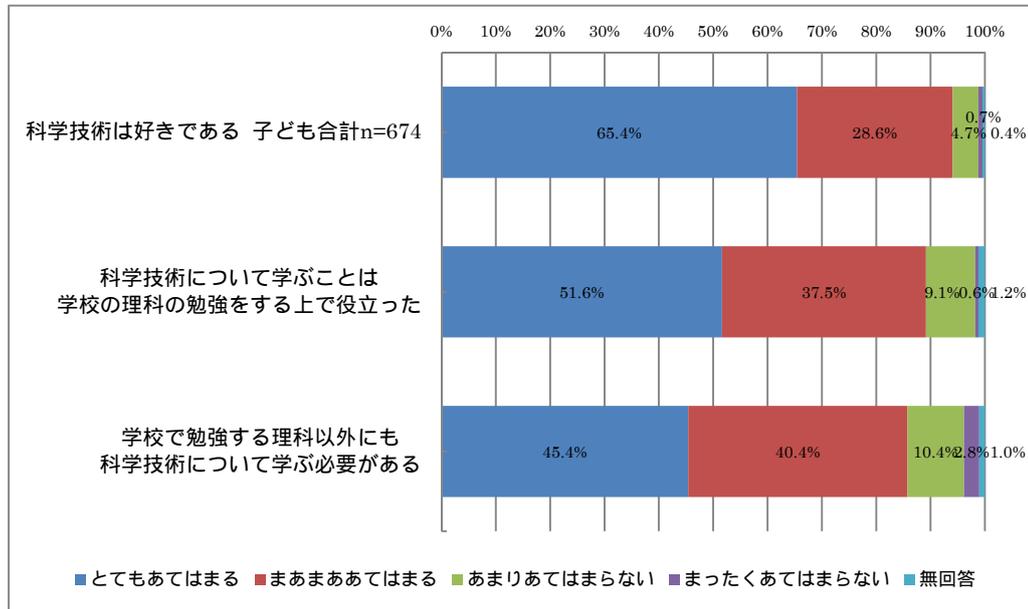
Q1-2 学校で理科を勉強することは、次のことに対してどれくらい役に立つと思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とても役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役に立たない	まったく役に立たない
a. 受験	1	2	3	4
b. 将来、仕事につくこと	1	2	3	4
c. 日常生活や趣味（しゅみ）	1	2	3	4
d. 様々な疑問（ぎもん）を解決（かいけつ）すること	1	2	3	4
e. 環境保護（かんきょうほご）	1	2	3	4
f. 国の発展	1	2	3	4

★Q1-6にて示す

Q1-3 科学技術について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 科学技術は好きである	1	2	3	4
b. 科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をする上で役立つ	1	2	3	4
c. 学校で勉強する理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある	1	2	3	4

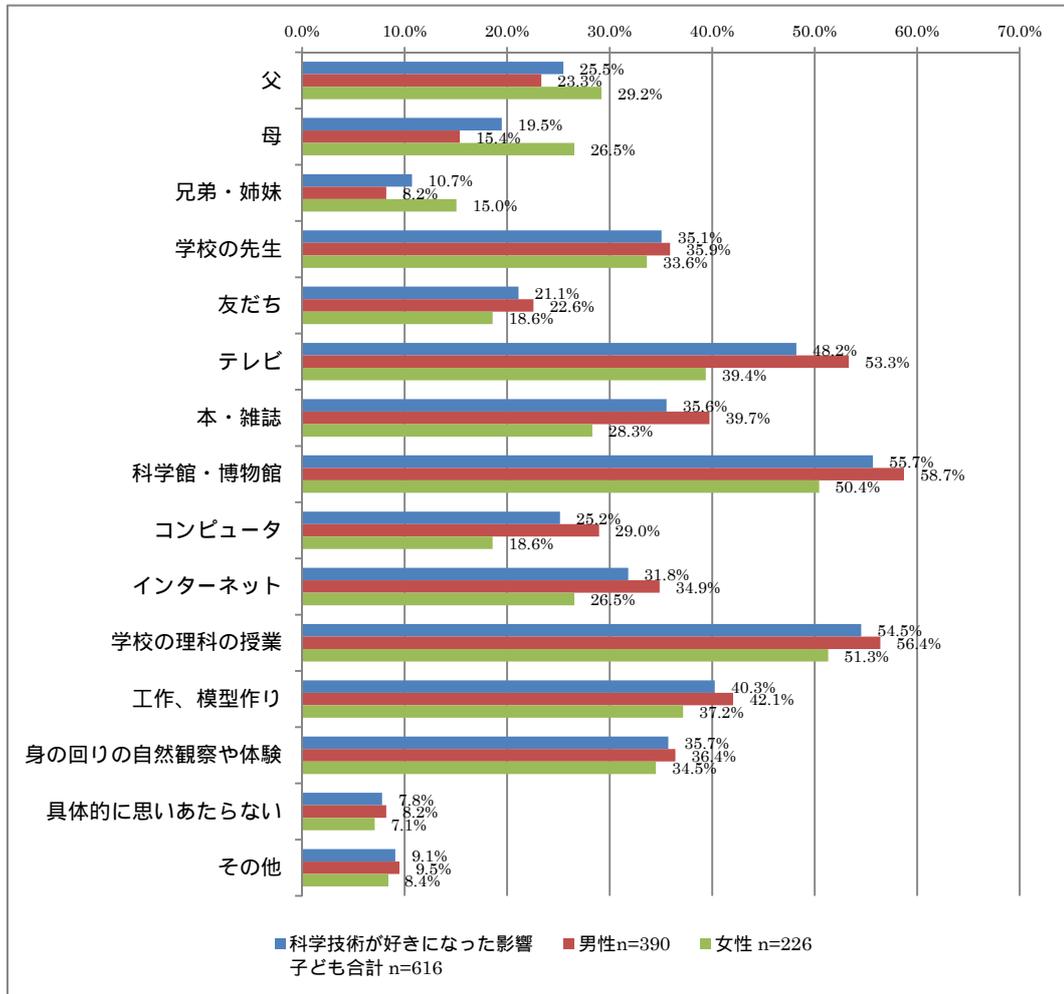


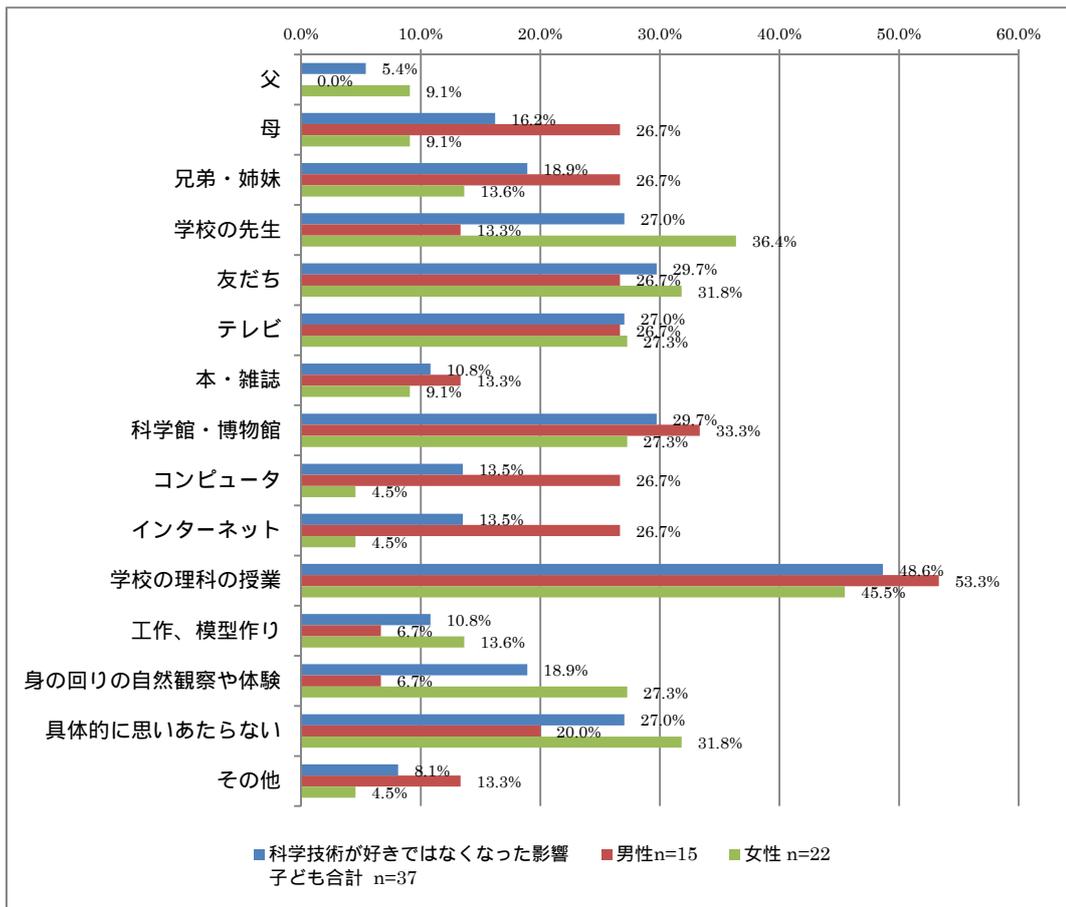
・考察

項目 a、b、c の順にあてはまる割合が減っているものの、8割以上があてはまると回答している。また女性に比べ男性の方があてはまる割合が高い。「c. 学校で勉強する理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある」に関して、「まったくあてはまらない」と回答した女性は、他の a、b に比べ4倍以上に増えている。他のものに関心があるのか学校で学ぶ以上には科学技術に興味をもっていないように思われる。

Q1-4 あなたが科学技術を好きだったり、好きではなかったりするの、どのような影響が大きかったと思いますか。
大きく影響されたと思う番号すべてに○をつけてください。

1	父	6	テレビ	11	学校の理科の授業
2	母	7	本・雑誌（ざっし）	12	工作、模型作り
3	兄弟・姉妹	8	科学館・博物館	13	身の回りの自然の観察や体験
4	学校の先生	9	コンピュータ	14	具体的（ぐたいてき）に思い当たらない
5	友だち	10	インターネット	15	その他





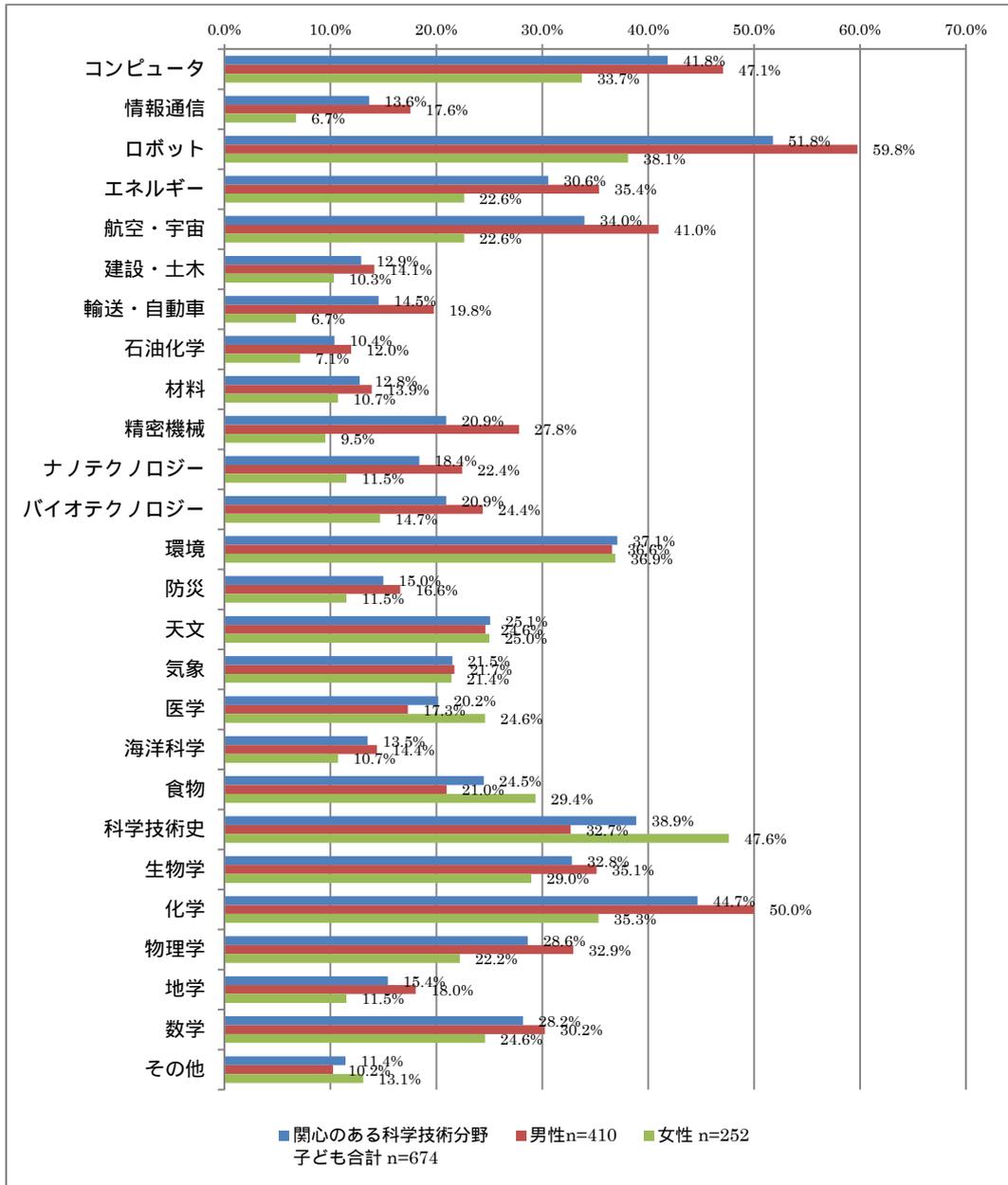
・考察

科学技術が好きになった理由のトップ3は、順番に差があるものの男女とも「科学館・博物館」、「学校の理科の授業」、「テレビ」であり、昨年の結果と変わっていないが、割合がどれも15～20ポイント上がっている。

一方、科学技術が好きではない理由のトップは男女とも「学校の理科の授業」であり、これも昨年と変わっていないが、昨年は女性の割合が高かったのに対し、今年は男性の割合が高くなっている。好きではない割合は往々にして女性の割合が高くなる傾向があるが、標本数が男性15人、女性22人と多くないとはいえ、半分以上の項目で男性の割合が高くなっているのが今年の特徴である。どんなきっかけで科学技術が好きではなくなったのか知りたいところである。

Q1-5 あなたの関心のある科学技術分野はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 コンピュータ	7 輸送・自動車	13 環境 (かんきょう)	19 食物	25 数学
2 情報通信 (じょうほうつうしん)	8 石油化学	14 防災 (ぼうさい)	20 動物・植物	26 その他
3 ロボット	9 材料	15 天文	21 生物学	
4 エネルギー	10 精密機械 (せいみつukai)	16 気象 (きしょう)	22 化学	
5 航空・宇宙	11 ナノテクノロジー	17 医学	23 物理学	
6 建設・土木	12 バイオテクノロジー	18 海洋科学	24 地学	



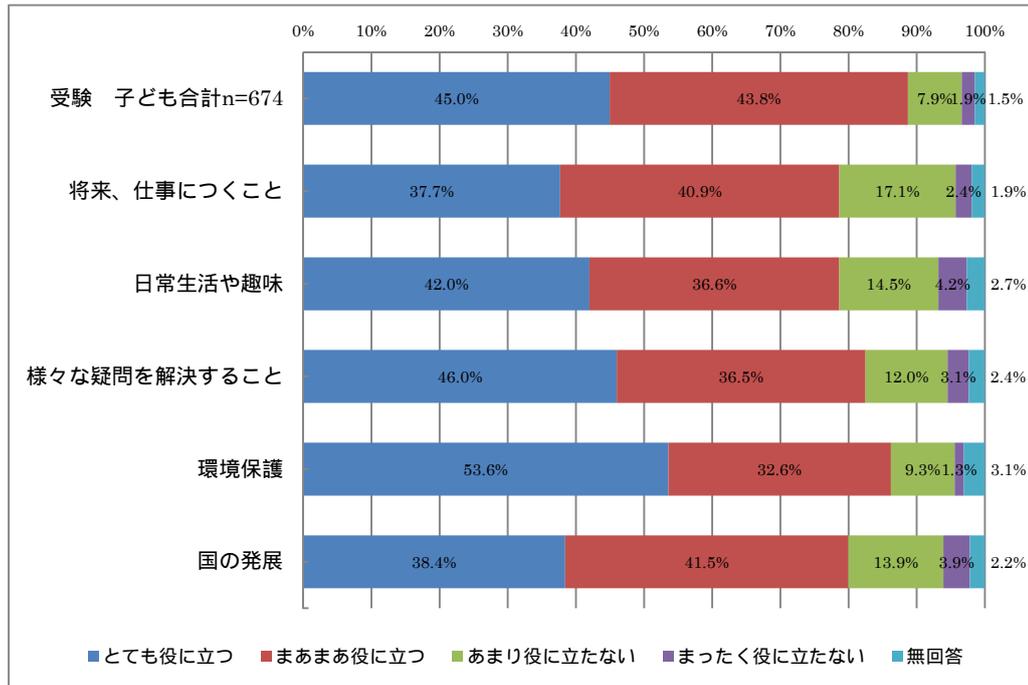
・考察

全体の傾向として「ロボット」、「化学」、「コンピュータ」がトップ3であるのは昨年と同じである。しかし、今回は「動物・植物」が4位に浮上しており、しかも女性の半分近くが、関心があると回答し女性のトップとなっている。2010年が「国際生物多様性年」だったことが影響したと思われる。科学技術への関心は総じて男性が高い傾向にあるが、「動物・植物」以外にも「医学」、「食物」は女性の割合が高く、「環境」、「天文」、「気象」への関心は男女ほぼ同じ割合であった。

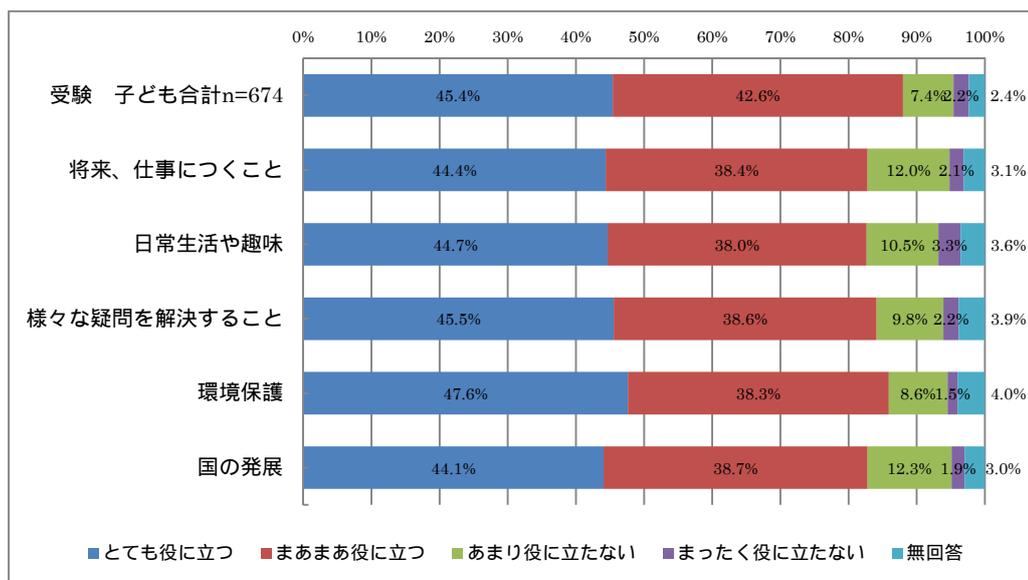
Q1-6 科学技術を勉強することは、次のことに対してどれくらい役に立つと思いますか。あてはまる番号に1つずつ〇をつけてください。

	とても役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役に立たない	まったく役に立たない
a. 受験	1	2	3	4
b. 将来、仕事につくこと	1	2	3	4
c. 日常生活や趣味（しゅみ）	1	2	3	4
d. 様々な疑問（ぎもん）を解決（かいけつ）すること	1	2	3	4
e. 環境保護（かんきょうほご）	1	2	3	4
f. 国の発展	1	2	3	4

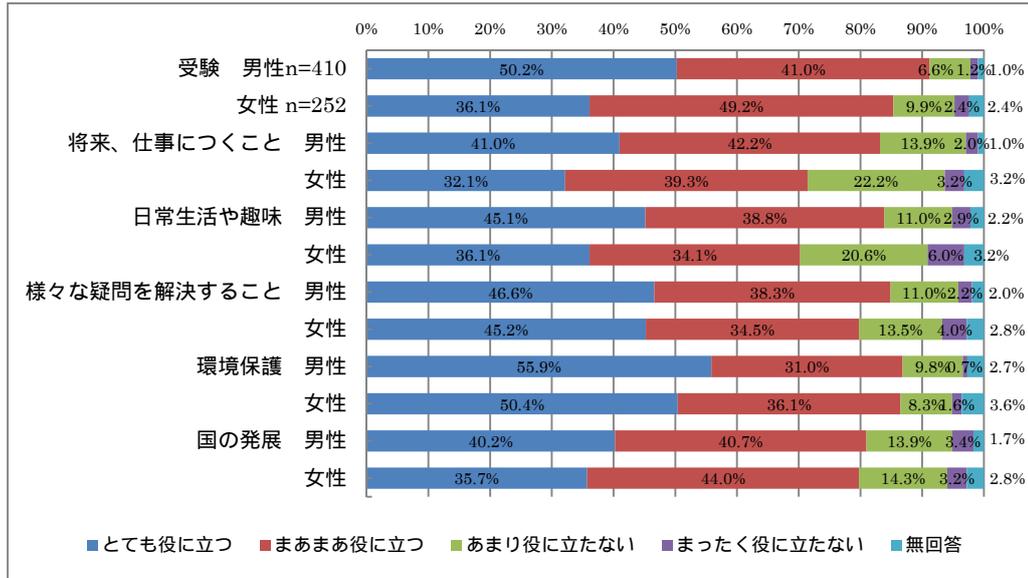
★理科を学ぶ意義



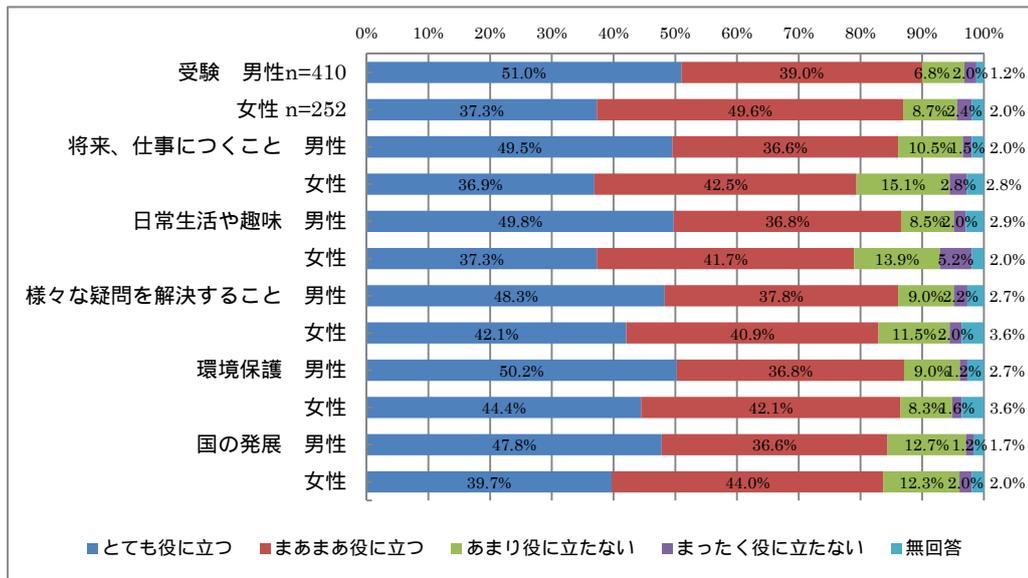
★科学技術を学ぶ意義



★理科を学ぶ意義



★科学技術を学ぶ意義



・考察

全体では、「理科を学ぶ意義」について、「環境保護」に「とても役に立つ」との回答が5割を超えている一方で「将来、仕事につくこと」に「とても役に立つ」と考えているのはa~fの項目の中で一番少ない37.7%であった。「とても役に立つ」と「まあまあ役に立つ」との回答を合わせて9割近くと一番多いのが「受験」であり、「まったく役に立たない」と「あまり役に立たない」との回答を合わせて2割近くと一番多いのが「将来、仕事につくこと」である。仕事につくことにはさほど役に立たないが、受験には役に立つ（必要）ということだろうか。男女別では男性の方が理科を学ぶことは役に立つと思っている割合が高い。「将来の仕事」や「日常生活や趣味」には「役に立たない」と思っている女性の割合は他の項目より多くなっており、自分のこととして身近には感じていないようである。

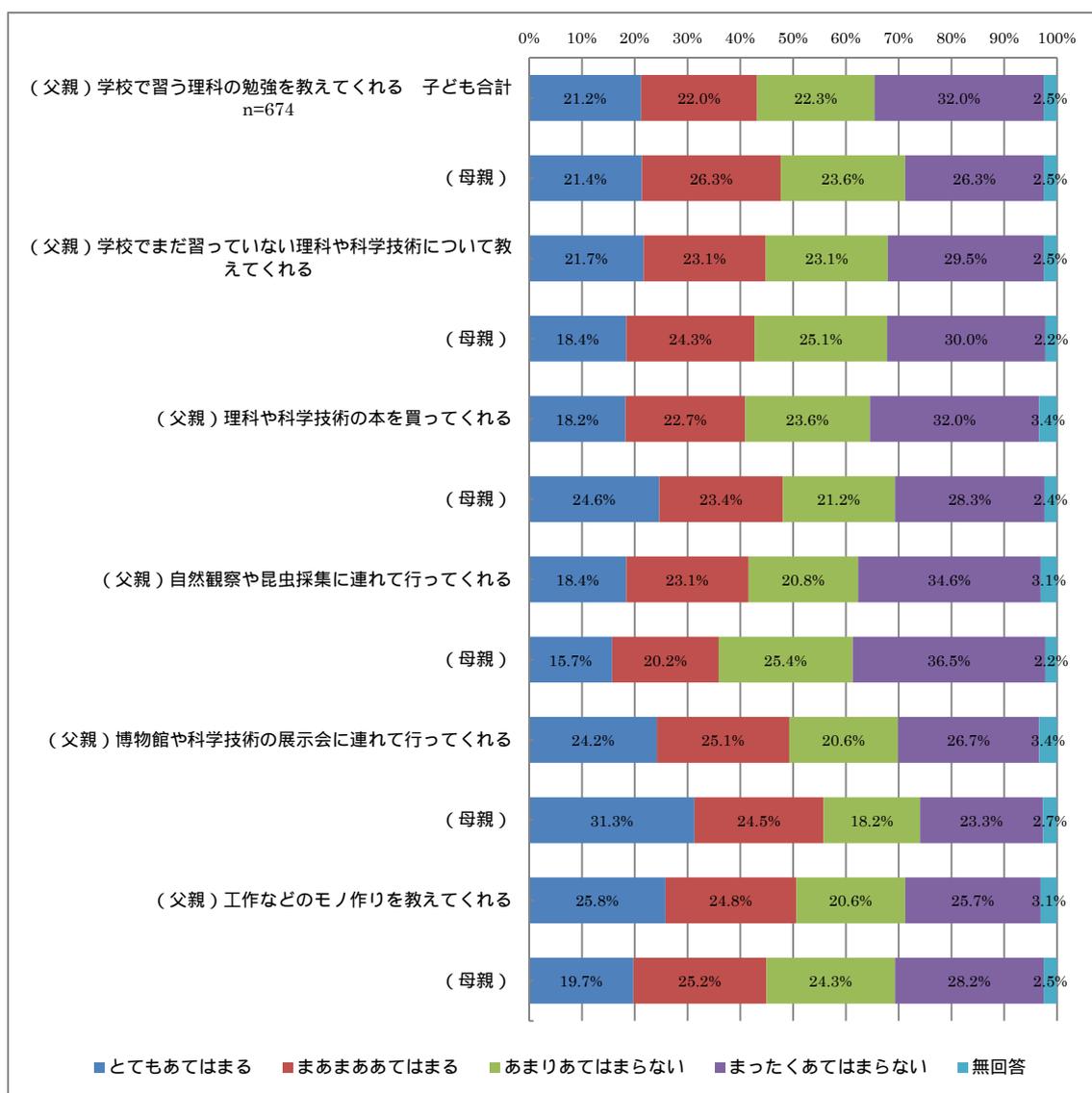
全体では、「科学技術を学ぶ意義」についてa~fの項目での差はあまりなかったが、男女別では男性の方が役に立つと思っている割合が高い。「将来の仕事」や「日常生活や趣味」には「役に立たない」と思っている女性の割合は他の項目より多くなっている。

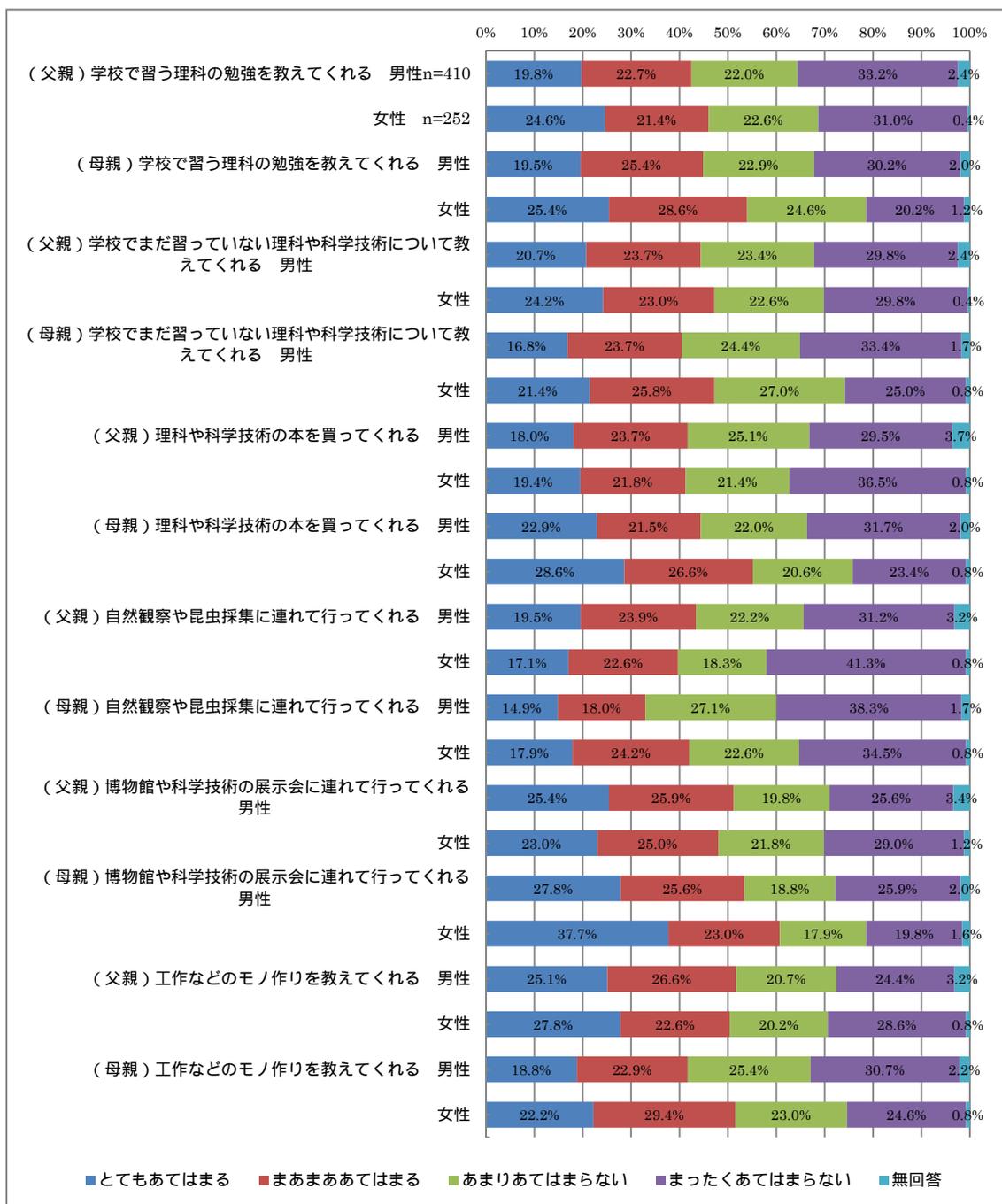
Q1-7 次のことからは、あなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけください。

とてもあてはまる まあまああてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

- a. 父親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれる
- b. 父親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれる
- c. 父親は、理科や科学技術の本を買ってくれる
- d. 父親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれる
- e. 父親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれる
- f. 父親は、工作などのモノ作りを教えてくれる
- g. 母親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれる
- h. 母親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれる
- i. 母親は、理科や科学技術の本を買ってくれる
- j. 母親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれる
- k. 母親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれる
- l. 母親は、工作などのモノ作りを教えてくれる

	1	2	3	4
a. 父親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれる	1	2	3	4
b. 父親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれる	1	2	3	4
c. 父親は、理科や科学技術の本を買ってくれる	1	2	3	4
d. 父親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれる	1	2	3	4
e. 父親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれる	1	2	3	4
f. 父親は、工作などのモノ作りを教えてくれる	1	2	3	4
g. 母親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれる	1	2	3	4
h. 母親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれる	1	2	3	4
i. 母親は、理科や科学技術の本を買ってくれる	1	2	3	4
j. 母親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれる	1	2	3	4
k. 母親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれる	1	2	3	4
l. 母親は、工作などのモノ作りを教えてくれる	1	2	3	4





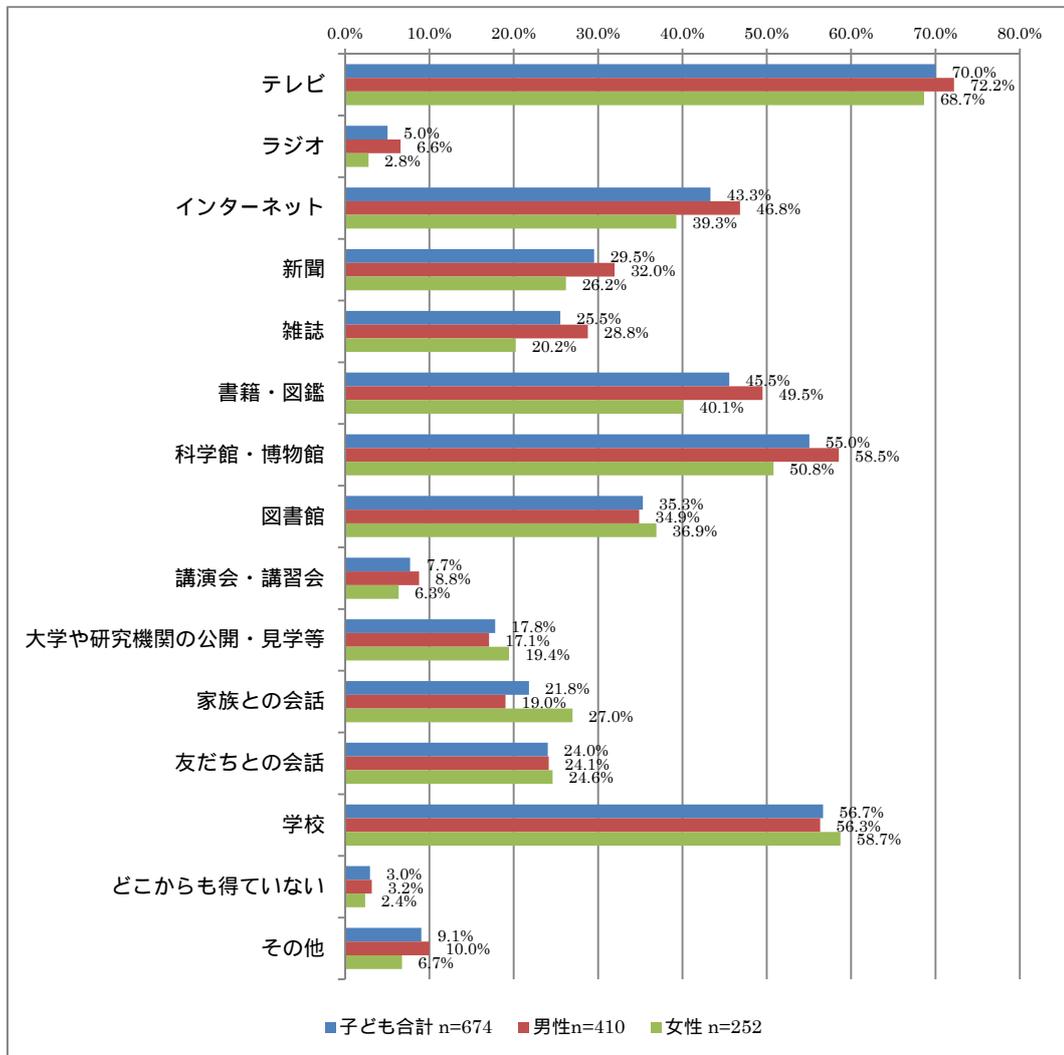
• 考察

「とてもあてはまる」と「まあまああてはまる」を合わせて5割を超えたのは「母親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれる」と「父親は、工作などのモノ作りを教えてくれる」の2項目だけである。反対に少なかったのは、「母親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれる」の35.9%である。母親としては自然観察等へ行くより、博物館等へ連れて行きやすいようである。一方、「まったくあてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせて5割を超えたのは7項目と半分を超えていた。父親と母親とで顕著な違いは見られなかった。

回答者の男女別では男性より女性の方が「あてはまる」と回答した割合が高くなっている。男性の方が高かったのは、「父親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれる」と「父親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれる」、「父親は、工作などのモノ作りを教えてくれる」であった。父親は娘に対してのアクションが取りづらいのだろうか。

Q1-8 あなたは、ふだん科学技術に関する情報をどこから得ていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|--------------------------|-----------------------|---------------|
| 1 テレビ | 5 雑誌 (ざっし) | 9 講演会・講習会 | 13 学校 |
| 2 ラジオ | 6 書籍 (しよせき)・
図鑑 (ずかん) | 10 大学や研究機関の公開・見学イベント等 | 14 どこからも得ていない |
| 3 インターネット | 7 科学館・博物館 | 11 家族との会話 | 15 その他 |
| 4 新聞 (しんぶん) | 8 図書館 | 12 友だちとの会話 | |

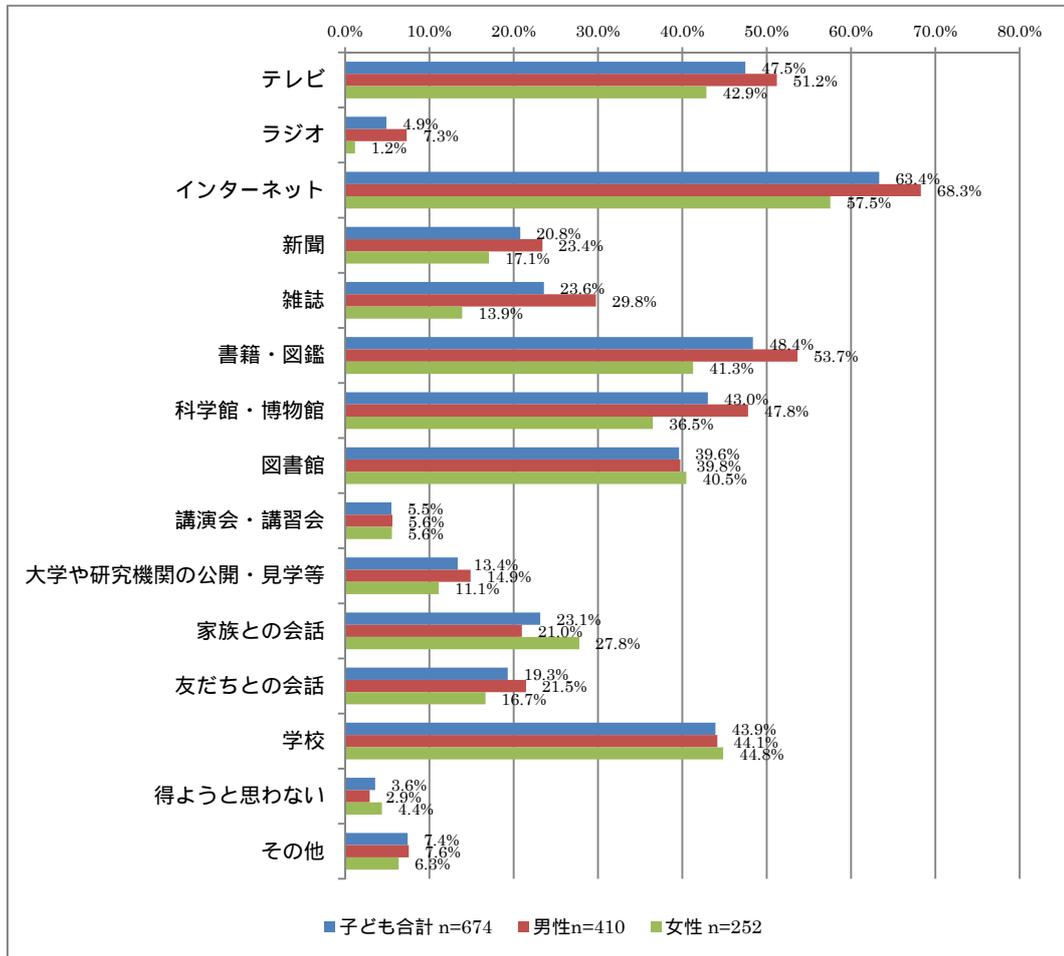


・考察

情報源として「テレビ」、「学校」、「科学館・博物館」の順番は昨年と変わっていないが、「書籍・図鑑」が僅差ではあるが「インターネット」を抜いて4位に浮上してきている。参考になる良い書籍が身近にあったのであろう。前回の選択肢にはなかった「図書館」は、「インターネット」の次に情報源として活用されているようだ。「友だちとの会話」の割合は昨年に比べ2倍に増えている。

Q1-9 あなたは、科学技術に関する情報を知りたいとき、具体的にどのような手段で調べようと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|-----------|---|-------------------------|----|--------------------|----|----------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌 (ざっし) | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍 (しょせき) ・
図鑑 (ずかん) | 10 | 大学や研究機関の公開・見学イベント等 | 14 | 得ようと思わない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞 (しんぶん) | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |



・考察

「インターネット」、「書籍・図鑑」、「テレビ」、「科学館・博物館」、「学校」、「図書館」から情報を得ようとする割合が3割を超えており、男性の割合が多い傾向がある。前問(Q1-8)との比較では、「インターネット」や「図書館」が増え、「テレビ」や「学校」、「科学館・博物館」が減っている。自分が主体となって調べる行為なので、「インターネット」や「図書館」が増え、「テレビ」が減るのはわかるが、「学校」や「科学館・博物館」が4割強に減っているのは、それらが子どもたちの知的好奇心に対して、満足に答えられていないということなのだろうか。

Q1-10 祭典に来る前に、あなたは次のことがらにどれくらい自信がありましたか。あてはまる番号に 1 つずつ○をつけてください。

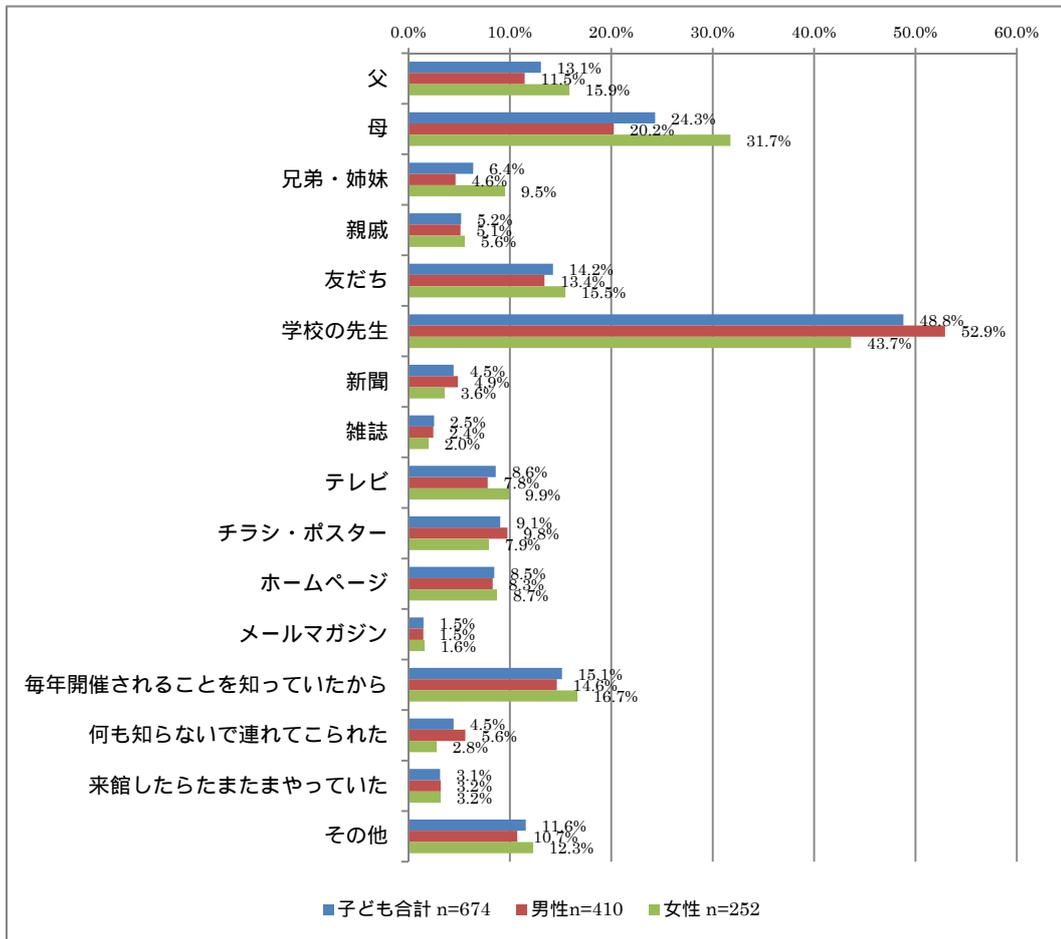
	とても 自信があった	まあまあ 自信があった	あまり 自信がなかった	まったく 自信がなかった
a. 科学技術に対する関心の高さ	1	2	3	4
b. 科学技術についての知識	1	2	3	4
c. 科学技術を使いこなすこと	1	2	3	4
d. 電気等に対する関心の高さ	1	2	3	4
e. 電気等についての知識	1	2	3	4

★Q2-12 にて示す

2) 「青少年のための科学の祭典」に来たときのこと、来た後のことについてお聞きます。

Q2-1 あなたは「科学の祭典」をどのように知りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	父	5	友だち	9	テレビ	13	毎年開催されることを知っていた
2	母	6	学校の先生	10	チラシ・ポスター	14	何も知らないで連れてこられた
3	兄弟・姉妹	7	新聞(しんぶん)	11	ホームページ	15	来館したらたまたまやっていた
4	親戚(しんせき)	8	雑誌(ざっし)	12	メールマガジン	16	その他

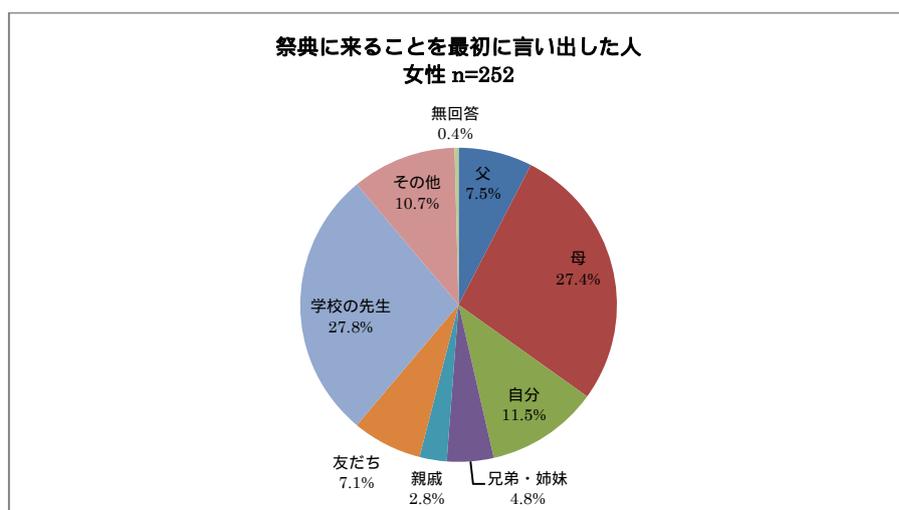
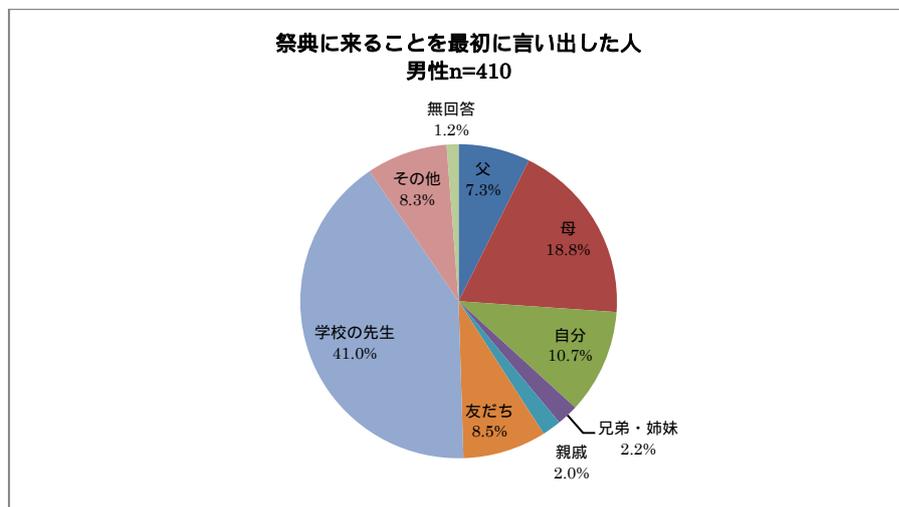
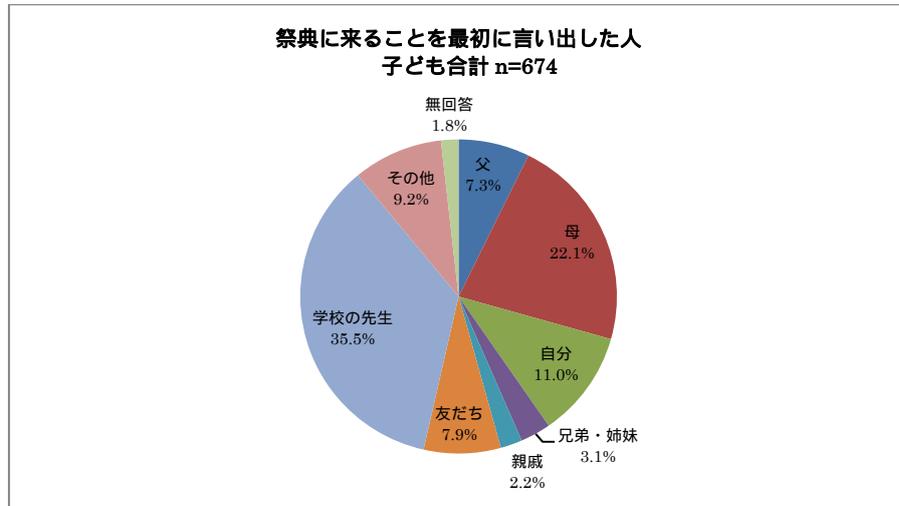


・考察

「学校の先生」から祭典を知ったとの回答が昨年に比べ突出しているが、日本学生科学賞中央審査出場校による研究内容の発表を行った影響だと思われる。昨年に比べ「チラシ・ポスター」が半分近くに減ったが、「新聞」、「テレビ」が倍以上に増えた。女性は母親を筆頭に家族から知らされる割合が、男性に比べて高くなっている。

Q2-2 祭典に来ることを最初に言い出したのは誰でしょうか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|---|---|-------|---|----------|---|-------|
| 1 | 父 | 3 | 自分 | 5 | 親戚（しんせき） | 7 | 学校の先生 |
| 2 | 母 | 4 | 兄弟・姉妹 | 6 | 友だち | 8 | その他 |

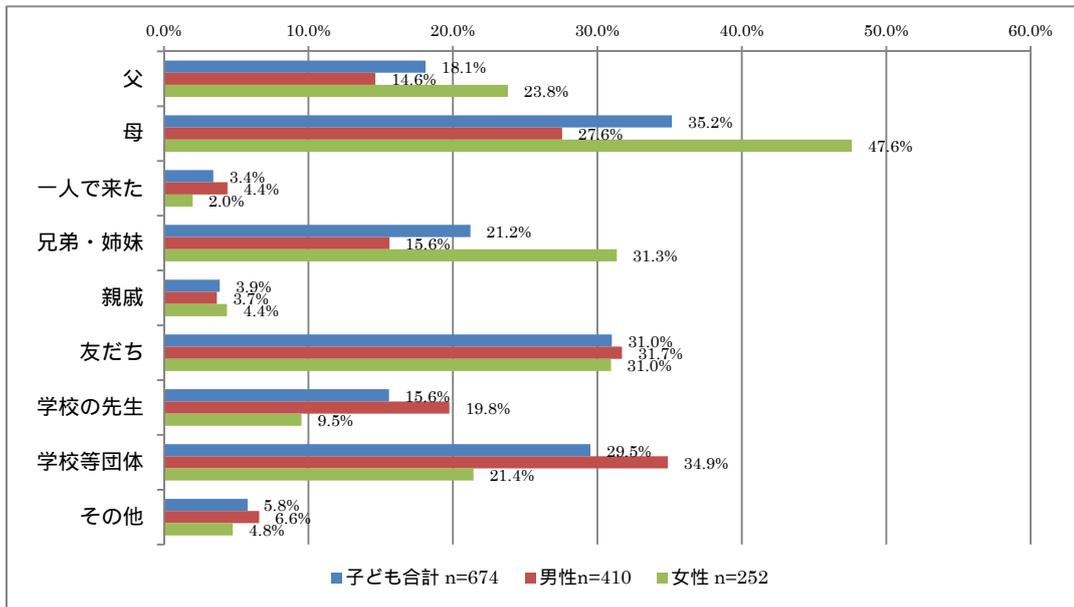


・考察

最初に言い出したのは、祭典を知るきっかけとなった人物である「学校の先生」や「母親」であり、両者の割合を合わせると5割を超えている。また、1割近くが自分から行きたいと言い出しており、祭典に対して関心を持っていることがうかがえる。女性は、自分自身を含めると最初に言い出した人物の5割は家族である。男性は「学校の先生」が4割であるのに対し、女性は「母親」と「学校の先生」が27%台で肩を並べている。母親は「学校の先生」から情報を仕入れ、子どもに出かけるよう促したようだ。

Q2-3 あなたは、今日、誰と一緒に来ましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------|---|----------|---|-------|---|-----|
| 1 | 父 | 3 | 1人で来た | 5 | 親戚（しんせき） | 7 | 学校の先生 | 9 | その他 |
| 2 | 母 | 4 | 兄弟・姉妹 | 6 | 友だち | 8 | 学校等団体 | | |

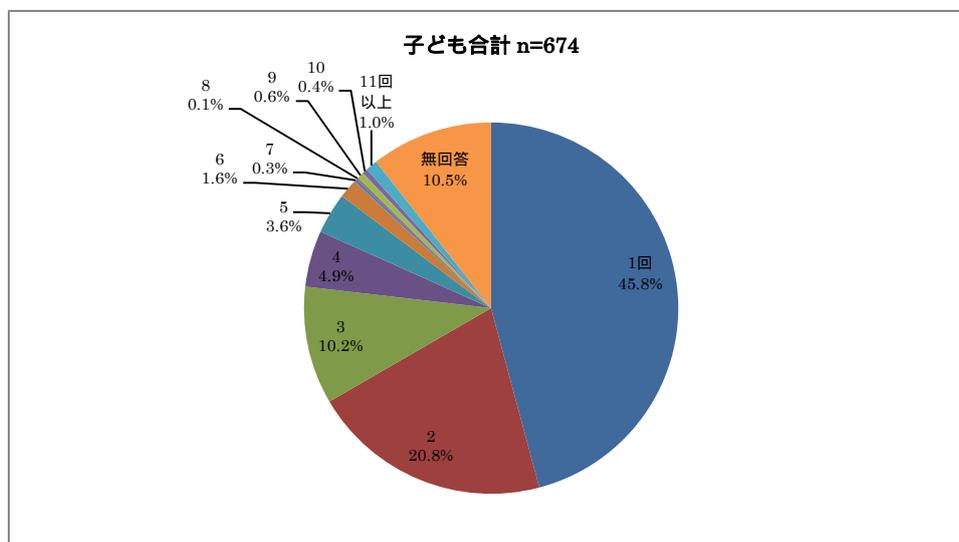


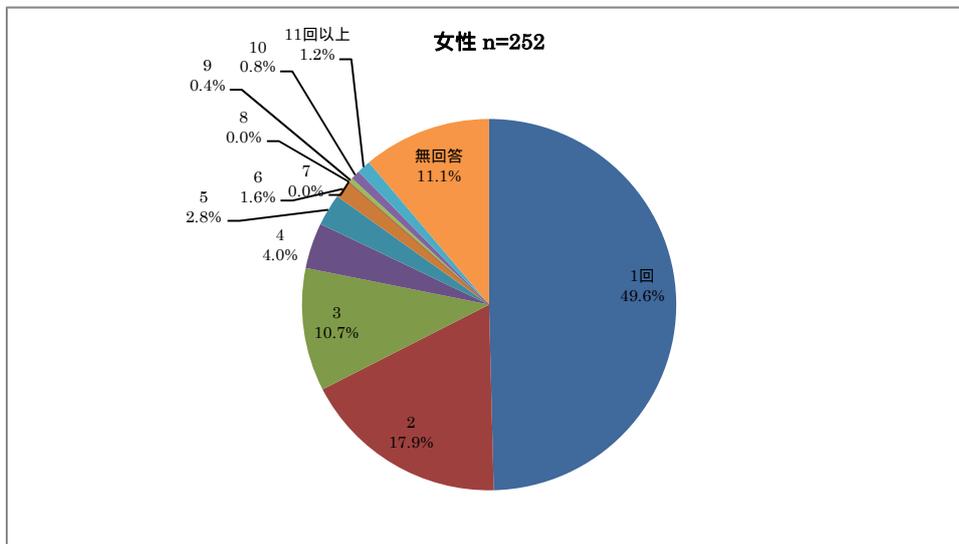
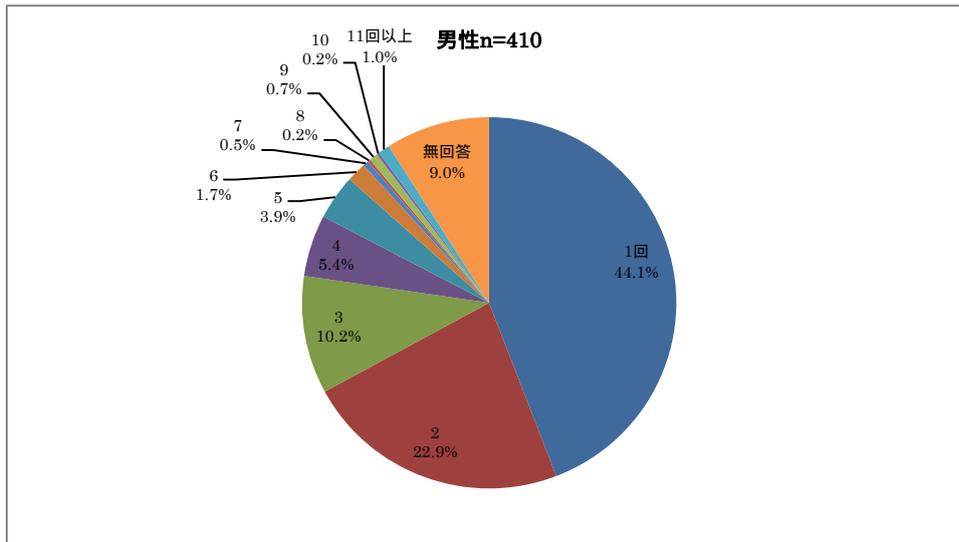
・考察

家族や友だちと一緒に、あるいは学校等団体で来ているとの回答が多かった。男性は学校関係で、女性は家族と一緒に来ている割合が高かった。

Q2-4 これまで科学技術館で開催された全国大会や各地域で開催された大会に、あなたは何回来たことがありますか。
 下の □ に回数を書いてください。（今回初めて来場した場合は 1 回としてください。）

回





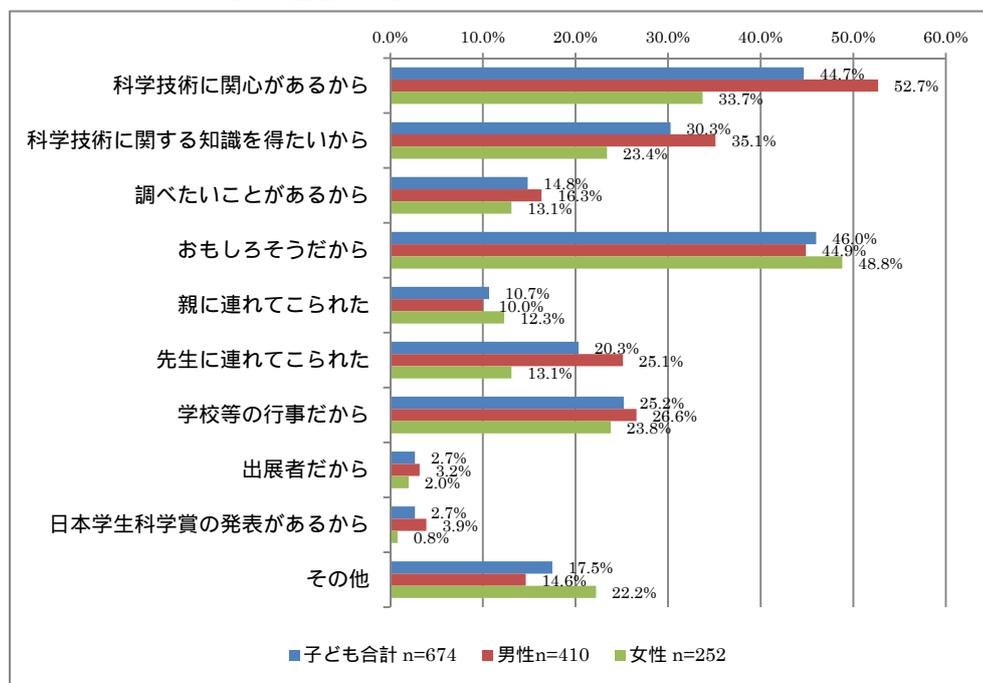
• 考察

初来場が半数近くで、来場回数が増すにつれて割合が減っていくという全体の傾向は例年通りである。他の設問や例年の回答に比べ、ここだけ無回答の割合が1割と高くなっており、正確な回数を書こうとして反対に悩んでしまったのかもしれない。

Q2-5 あなたは、今日、どういう目的で祭典に来ましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	科学技術に関心があるから	6	先生に連れてこられた
2	科学技術に関する知識を得たいから	7	学校等の行事だから
3	具体的に調べたいことがあるから	8	出展者だから
4	おもしろそうだから	9	日本学生科学賞の発表があるから
5	親に連れてこられた	10	その他

SQ1 Q2-5で「4 おもしろそうだから」を選んだ方にお聞きします。どのようなことについておもしろさを期待していますか。()内にお書きください。



※「4 おもしろそうだから」を選んだ理由（数字は件数）

- さまざまな実験や工作ができる 54
- 学校や、うちでは味わえない体験ができる 23
- 科学技術の進歩を見ることができる 22
- 新しい発見や感動、知識の獲得 20
- ものづくりのおもしろさ 19

• 考察

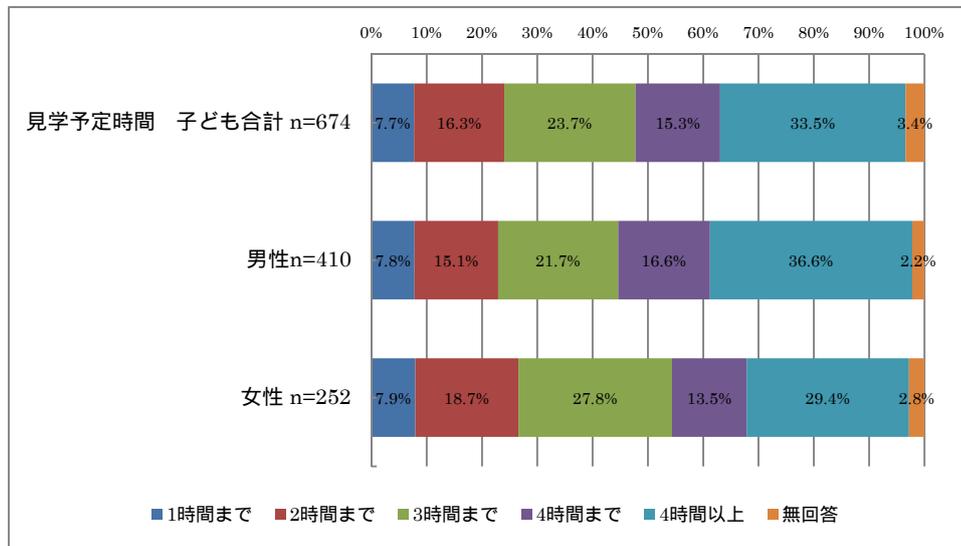
「おもしろそうだから」と「科学技術に関心があるから」が45%前後で上位にきており、主体性が感じられる。昨年と比べると、「親に連れてこられた」の割合が半分に減り、「先生に連れてこられた」や「学校等の行事だから」の割合が倍以上に増えており、Q2-1やQ2-3と同様の傾向を示している。

女性の「おもしろそうだから」の割合が男性に比べて高いものの、押し並べて男性の割合が高くなっている。Q2-3からもわかるが男性は「先生に連れてこられた」感が強い一方で、女性は「親に連れてこられた」感は比較的少なく、家族あるいは友達と一緒に来たと思っているようだ。

「おもしろそうだから」と回答した子どもたちは、新たな体験や知識を得られると期待していることがわかる。

Q2-6 あなたは、どれくらいの時間、祭典を見学する予定ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 1 時間まで | 3 | 3 時間まで | 5 | 4 時間以上 |
| 2 | 2 時間まで | 4 | 4 時間まで | | |

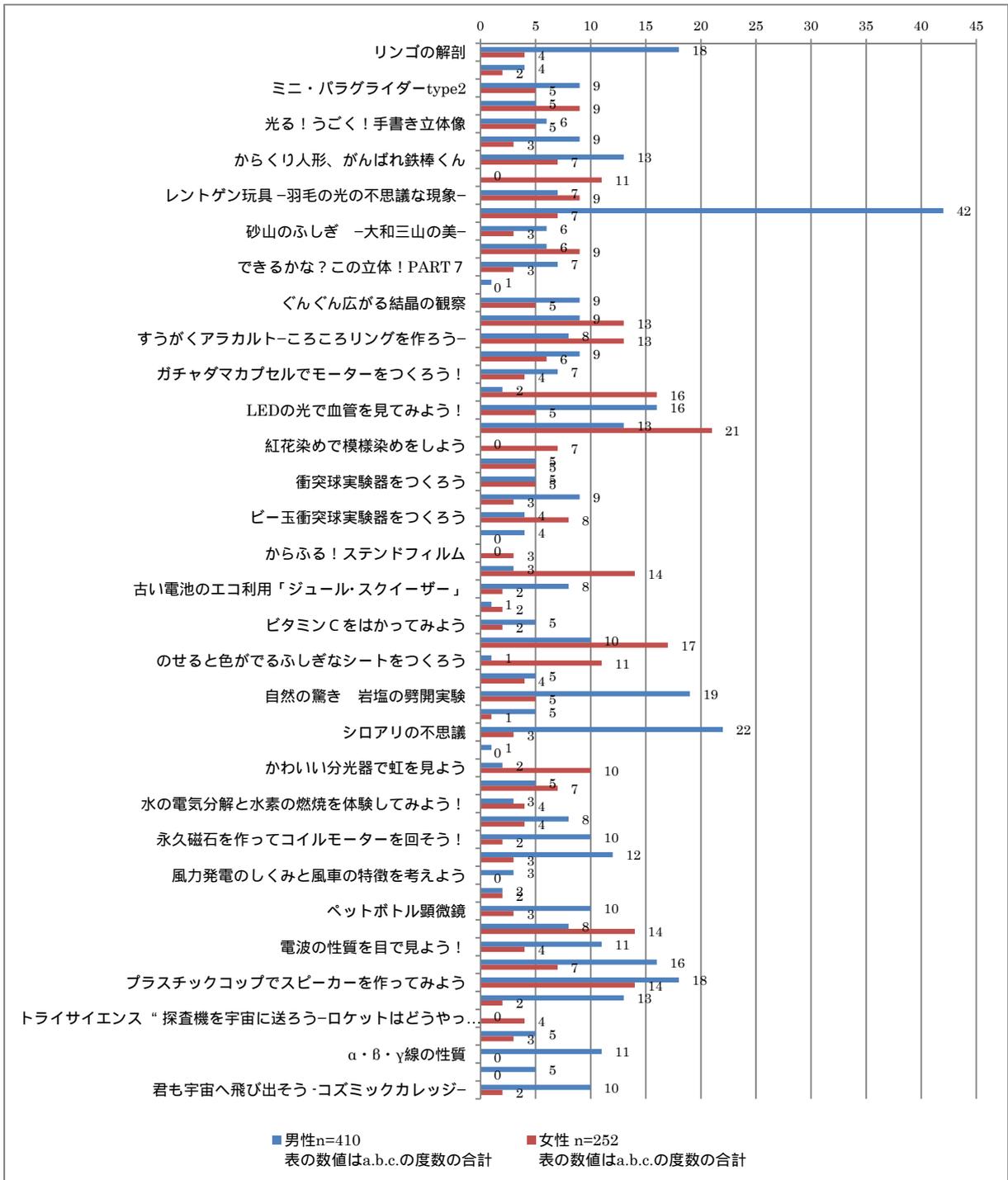


・考察

1～3 時間までの回答は男性より女性の方が多くなっている。それより長くなると男性の回答の方が多くなっている。また「4時間以上」との回答が女性でも 3 割近く、全体では 3 分の 1 を超えている。いろいろな体験をしていきたいという表れなのであろう。

Q2-7 あなたにとって、おもしろかった実験・観察・工作等は何ですか。ガイドマップの番号と名前を 3つまで書き、それぞれの理由も書いてください。

	番号	名前	理由
a.			
b.			
c.			

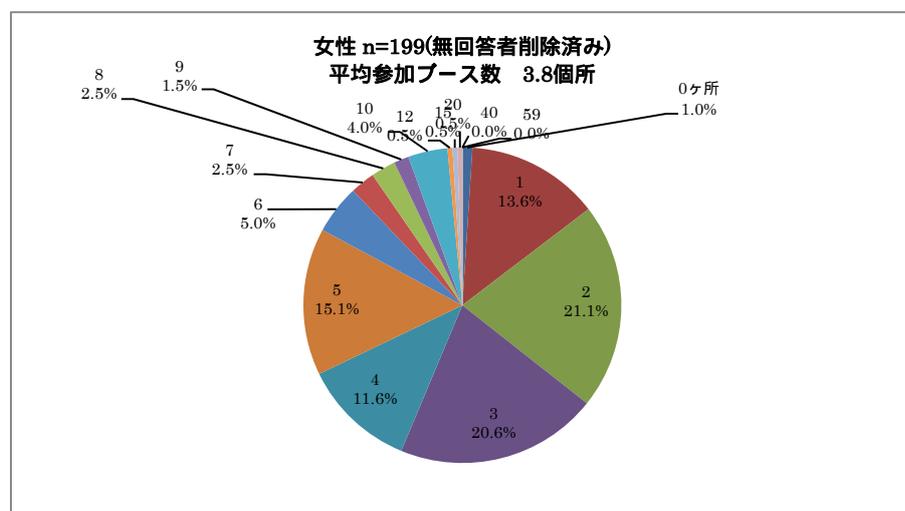
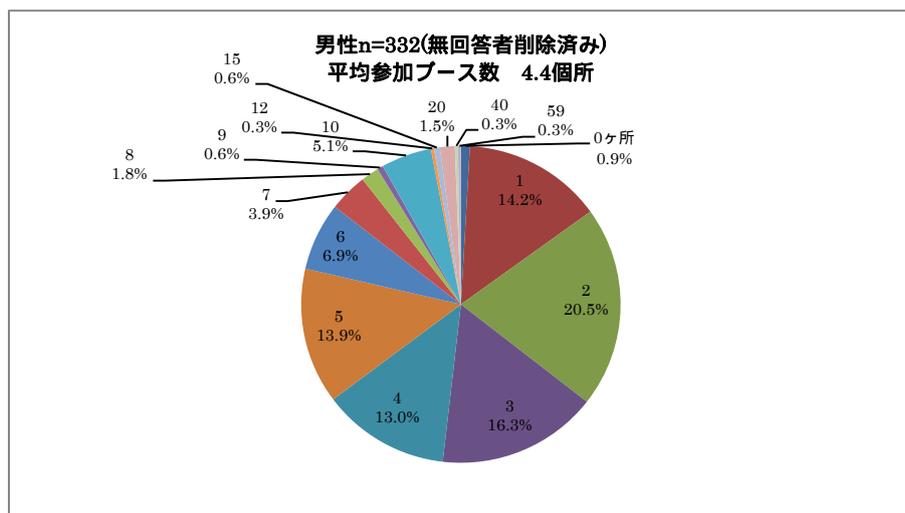
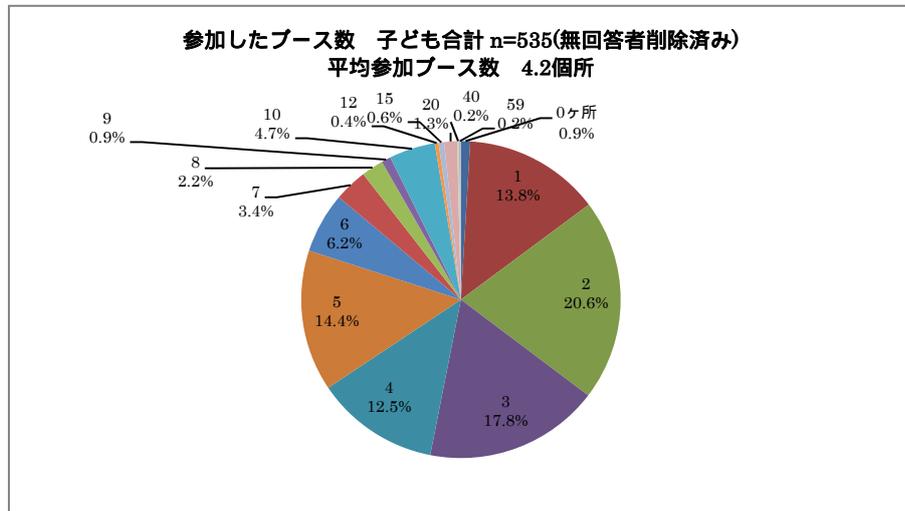


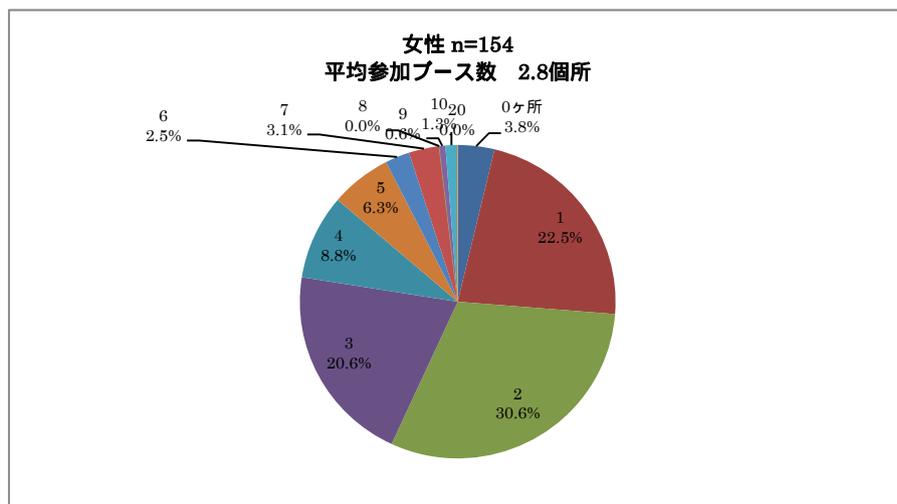
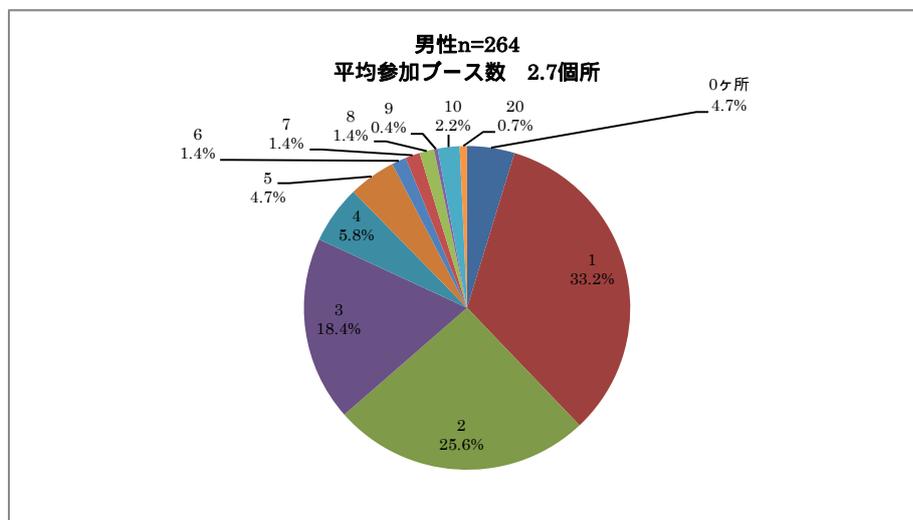
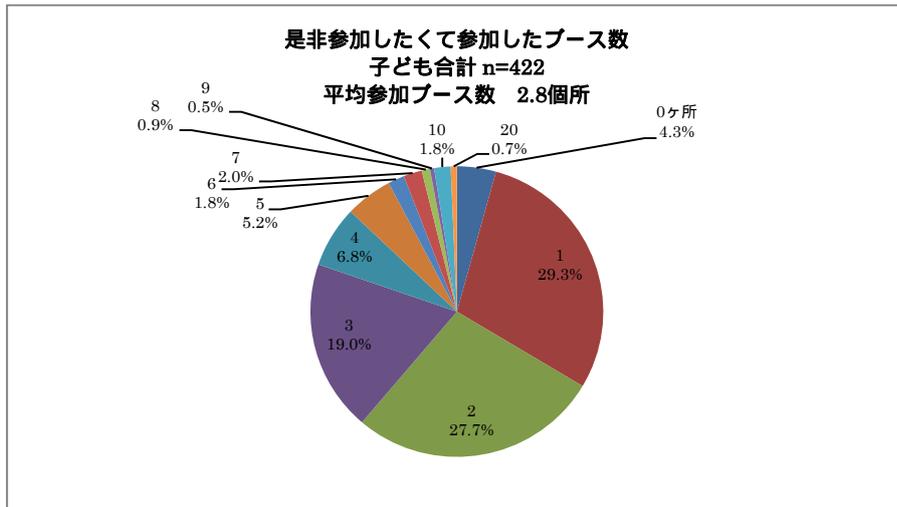
・考察

男女間で大きな差が出ている。男性の断トツは、2位の「シロアリの不思議」のほぼ倍である「5分でGET! 化石のレプリカを作ろう!」であった。しかし、双方の女性の割合は男性の6分の1以下であった。女性の方は「カルメ焼きはなぜふくらむ」、「真珠のような色の貝殻を作ってみよう」、「お茶と使い終わったカイロで染め物をしよう」などであり、食物やかわいいものや美しい感じのするものに魅せられるようだ。

Q2-8 全部でいくつぐらいのブースに参加しましたか。また、参加したブースの中で、ぜひ参加したいと思って参加したのは何ブースですか。だいたい結構ですのでブース数を下の口の中に入れてください。

- a) 参加したブース数は全部で つ
- b) その中でぜひ参加したいと思って参加したブース数は つ



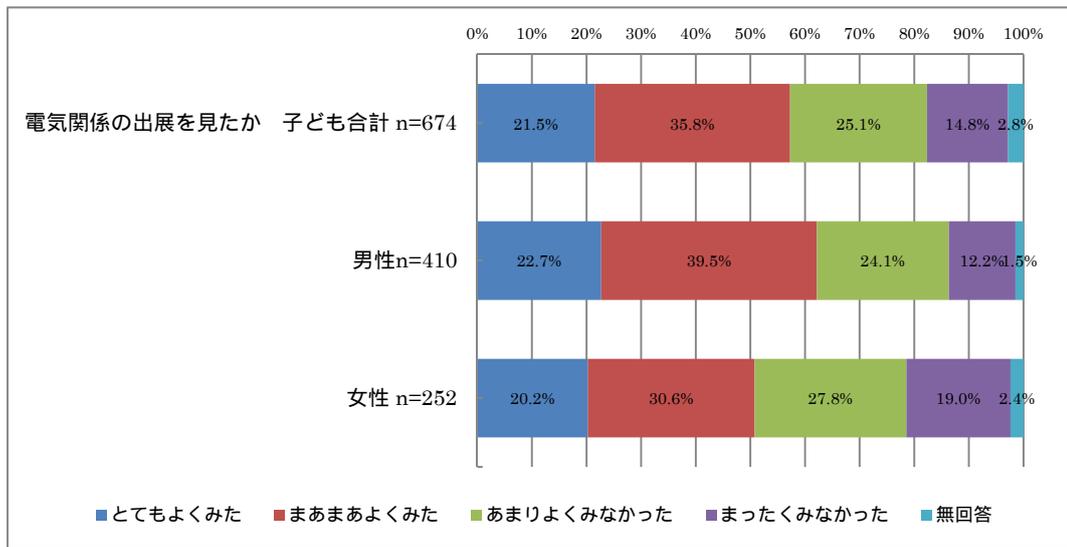


• 考察

参加したブースの数の平均が 4.2 箇所である。平均以下の4箇所までの割合は 3 分の 2 近くに達している一方で、全ブースに参加したと回答するつわものもいた。ぜひ参加したいと思っていたブースの数で 1~3 の合計が 4 分の 3 を超えていることを考え合わせると、参加したいブースに参加したあとは特に他のブースに参加せず帰ってしまわれたようである。

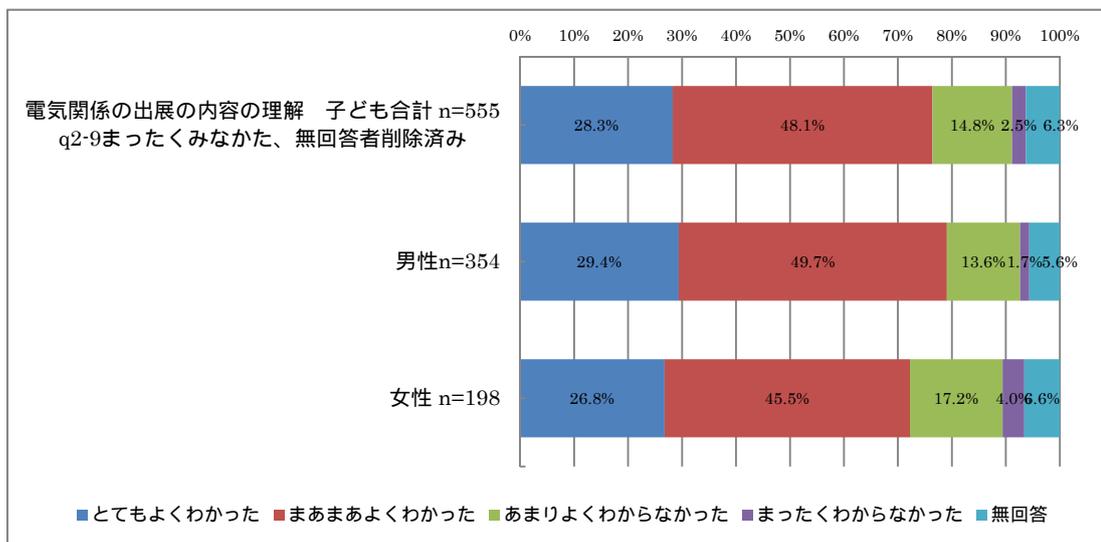
Q2-9 あなたは電気関係の出展をみましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------|---|-----------|
| 1 | とてもよくみた | 3 | あまりみなかった |
| 2 | まあまあみた | 4 | まったくみなかった |



SQ1 Q2-9で「1 とてもよくみた」または「2 まあまあみた」または「3 あまりみなかった」と回答した方にお聞きします。電気関係の出展全体を通して、あなたは内容がよくわかりましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|-----------|---|-------------|
| 1 | とてもよくわかった | 3 | あまりわからなかった |
| 2 | まあまあわかった | 4 | まったくわからなかった |

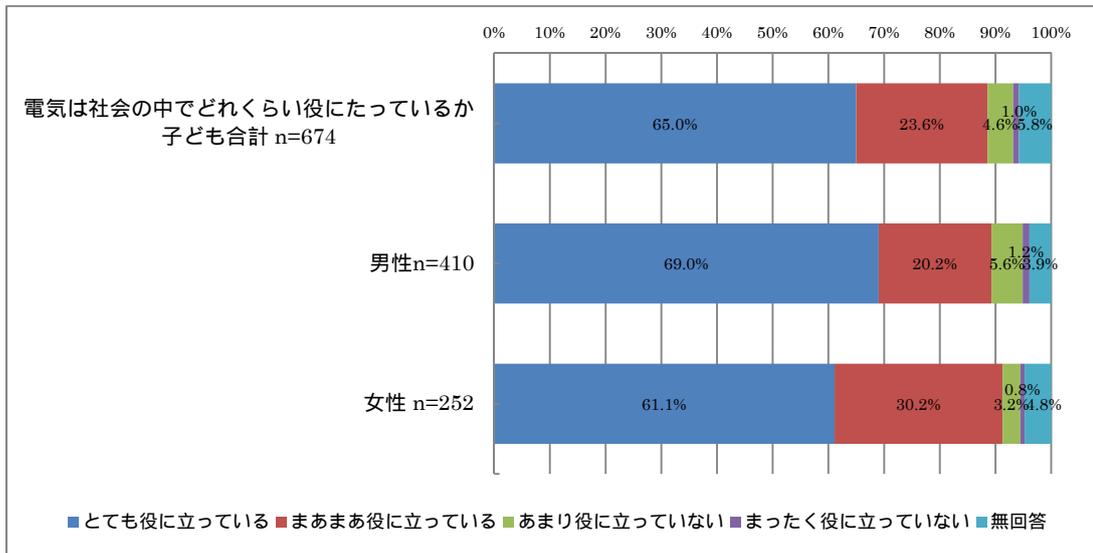


・考察

「とてもよくみた」「まあまあみた」を合わせると半数近くの方が電気関係の出展を見ていて、女性に比べて男性が多く見ているようだ。また、ちょっとでも見た人の3割弱が「とてもよくわかった」と回答していて、「まあまあよくわかった」を加えると7割を超えている。女性に比べて男性が多く見ていたこともあり、男性の方が「よくわかった」と回答している割合が高くなっている。

Q2-10 電気は社会全体においてどれくらい役に立っていると思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------|
| 1 | とても役に立っている | 3 | あまり役に立っていない |
| 2 | まあまあ役に立っている | 4 | まったく役に立っていない |

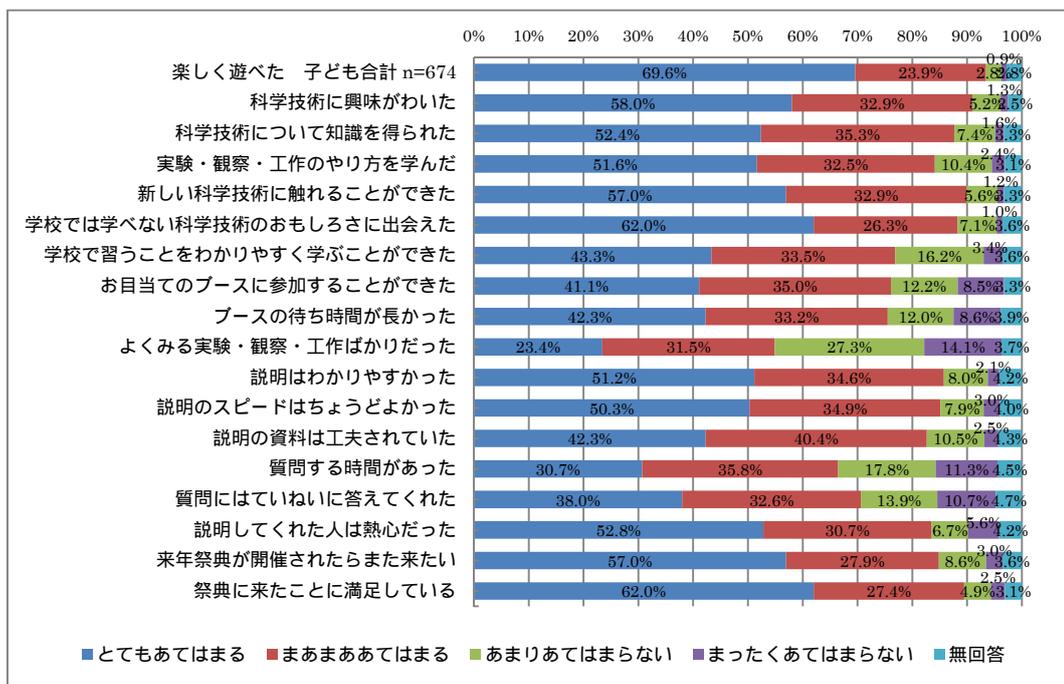


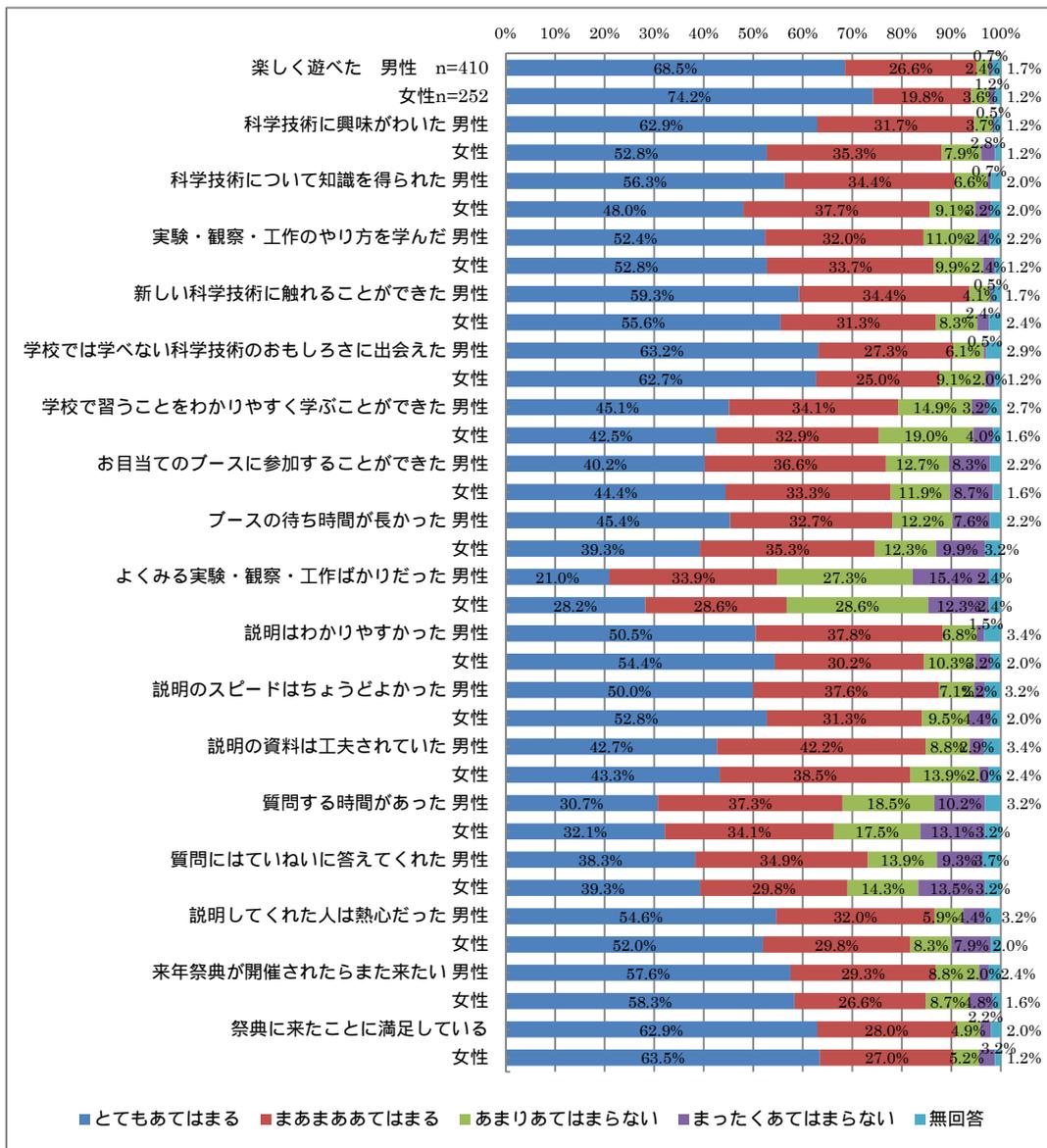
・考察

電気は社会全体において「とても役に立っている」との回答が6割を超えていて、「まあまあ役に立っている」を加えると9割を超えている。男性に比べて女性の方が「まあまあ役に立っている」と回答する割合が多く、結果としてポジティブ回答が女性の方が高くなっている。

Q2-11 祭典全体を通して、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 楽しく遊べた	1	2	3	4
b. 科学技術に興味(きょうみ)がわいた	1	2	3	4
c. 科学技術について知識を得ることができた	1	2	3	4
d. 実験・観察・工作のやり方を学んだ	1	2	3	4
e. 新しい科学技術にふれることができた	1	2	3	4
f. 学校では学べない科学技術のおもしろさに出会えた	1	2	3	4
g. 学校で習うことをわかりやすく学ぶことができた	1	2	3	4
h. お目当てのブースに参加することができた	1	2	3	4
i. ブースの待ち時間が長かった	1	2	3	4
j. よくみる実験・観察・工作ばかりだった	1	2	3	4
k. 説明はわかりやすかった	1	2	3	4
l. 説明のスピードはちょうどよかった	1	2	3	4
m. 説明の資料は工夫されていた	1	2	3	4
n. 質問する時間があった	1	2	3	4
o. 質問にはいていないに答えてくれた	1	2	3	4
p. 説明してくれた人は熱心だった	1	2	3	4
q. 来年祭典が開催されたらまた来たい	1	2	3	4
r. 祭典に来たことに満足している	1	2	3	4



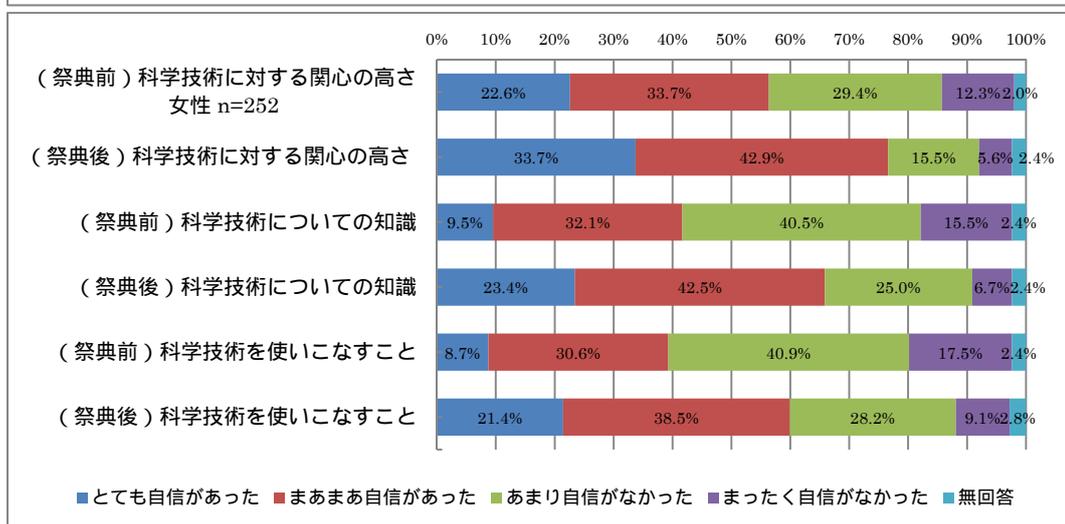
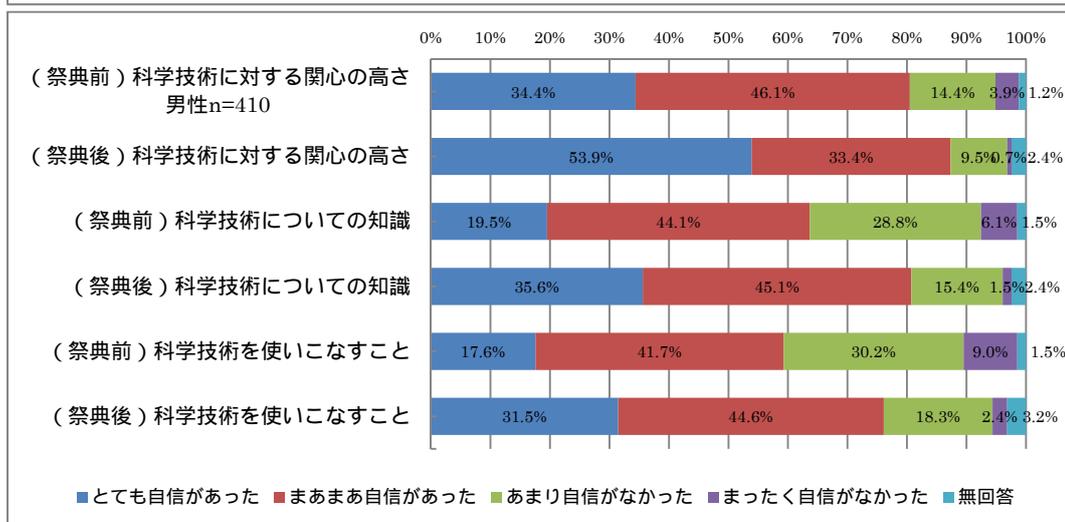
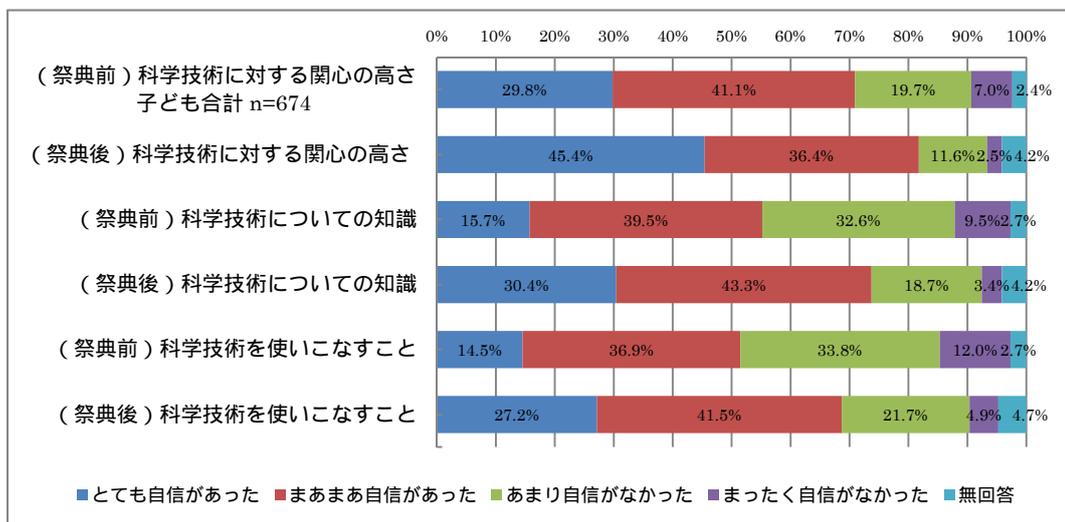


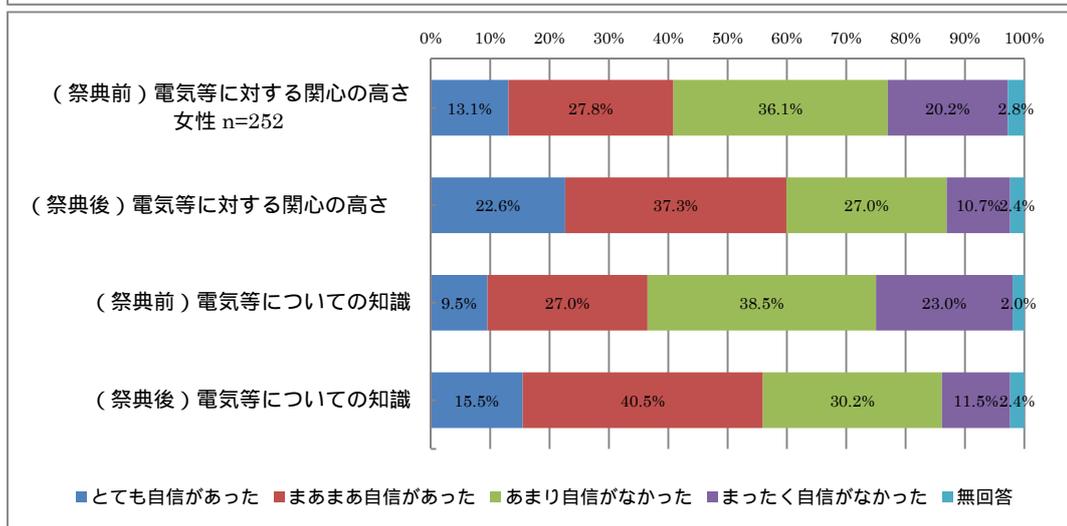
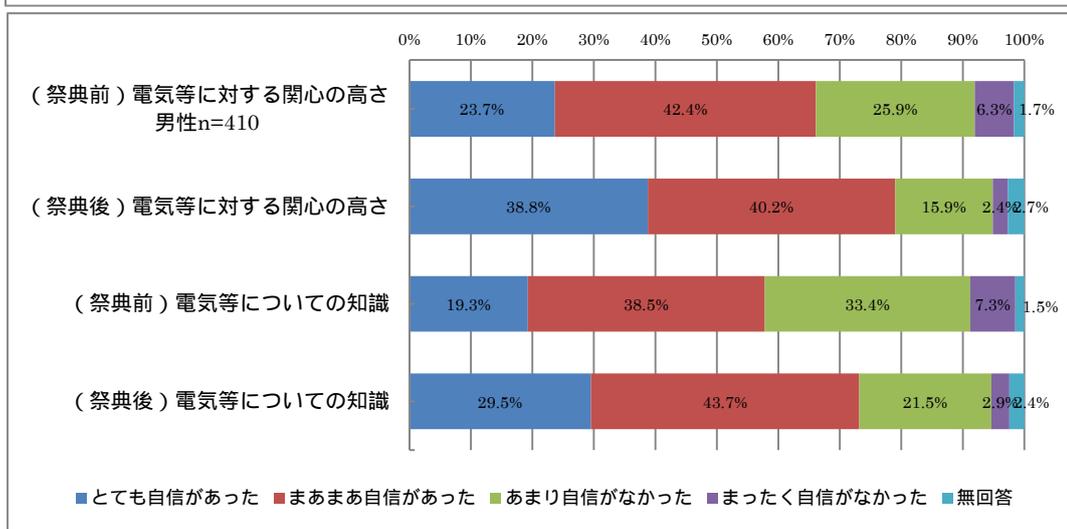
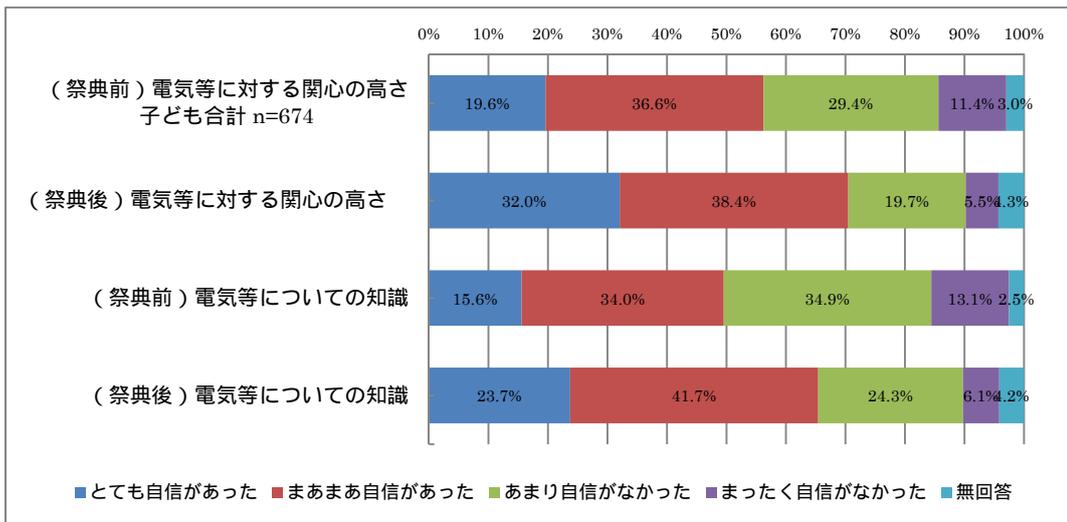
・考察

「とてもあてはまる」と回答した人は、「楽しく遊べた」を筆頭に「祭典に来たことに満足している」、「学校では学べない科学技術のおもしろさに出会えた」で6割を超えている。反対に「質問する時間があった」、「質問にはていねいに答えてくれた」に「とてもあてはまる」と回答した人は4割に満たず、「まったくあてはまらない」が1割を超えてしまっており、今後の改善が望まれる。一方、「よくみる実験・観察・工作ばかりだった」に「とてもあてはまる」と回答したのが23.4%と比較的少なく、「まったくあてはまらない」との回答が14.1%とあまり見かけない新しい実験・観察・工作があったことで内容の新陳代謝が行われていることを窺わせる。

Q2-12 祭典全体を見学した上で、再度お聞きします。今、あなたは次のことがらにどれくらい自信がありますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とても自信がある	まあまあ自信がある	あまり自信がない	まったく自信がない
a. 科学技術に対する関心の高さ	1	2	3	4
b. 科学技術についての知識	1	2	3	4
c. 科学技術を使いこなすこと	1	2	3	4
d. 電気等に対する関心の高さ	1	2	3	4
e. 電気等についての知識	1	2	3	4





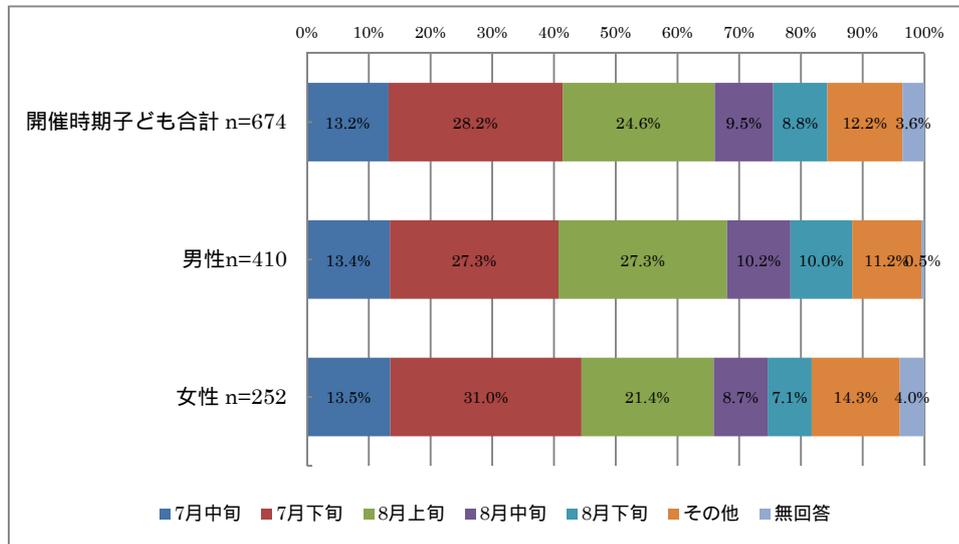
・考察

祭典を見学する前と見学した後の違いでは、a～eの項目で自信度が上がっているのが見て取れる。見学前と見学後に自信があるとのポジティブ回答の割合は、すべての項目で男性の方が高くなっている。見学後はポジティブ回答が見学前よりどの項目でも上がっており、男性は見学前の 59.3%～80.5%から見学後の 73.2%～87.3%に、女性は見学前の 36.5%～56.3%から見学後の 56.0%～76.6%に伸びていて女性の方が伸び率が高くなっている。

Q2-13 「科学の祭典」の開催時期は、いつがいいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、下の（ ）内に理由もお書きください。

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| 1 | 7月中旬 | 3 | 8月上旬 | 5 | 8月下旬 |
| 2 | 7月下旬 | 4 | 8月中旬 | 6 | その他 |

(理由: _____)



★開催時期を選んだ理由（数字は件数）

- 7月中旬：暑くないから 16 夏休みだから 5 待ちきれない 4
- 7月下旬：夏休みだから 36 夏休みがはじまってすぐだから 28 ちょうどいい頃 12
いつもどおりでいい 10 自由研究のテーマが決められる 7
- 8月上旬：夏休みだから 29 夏休み半ばだから 10 ちょうど予定が空く時期だから 8
夏休みで多くの人ができる 6 いつもどおりでいい 6
- 8月中旬：夏休みだから 7 宿題が終わっているから 3
- 8月下旬：少し涼しくなっているから 7
- その他：暑いから 12 すずしいころ 10 いつでもいい 7

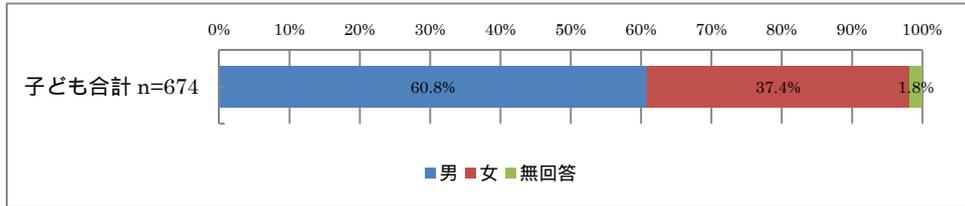
• 考察

7月下旬から8月上旬の間での開催希望が半数を超えている。一方、1割強が夏以外の開催を希望している。

3) あなた自身についてお聞きします。

Q3-1 あなたの性別について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

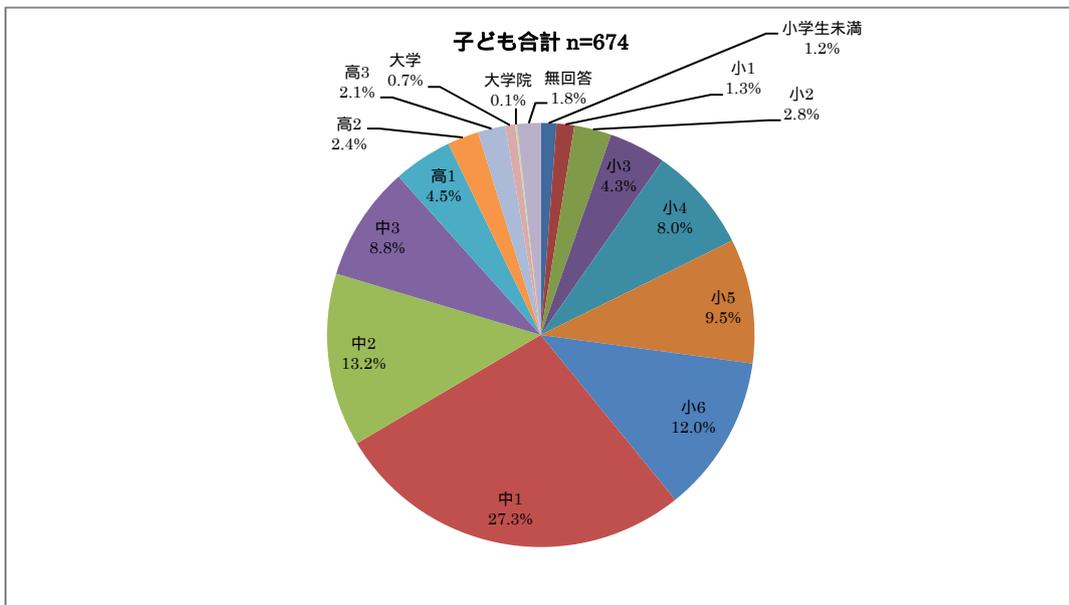
1 男 2 女

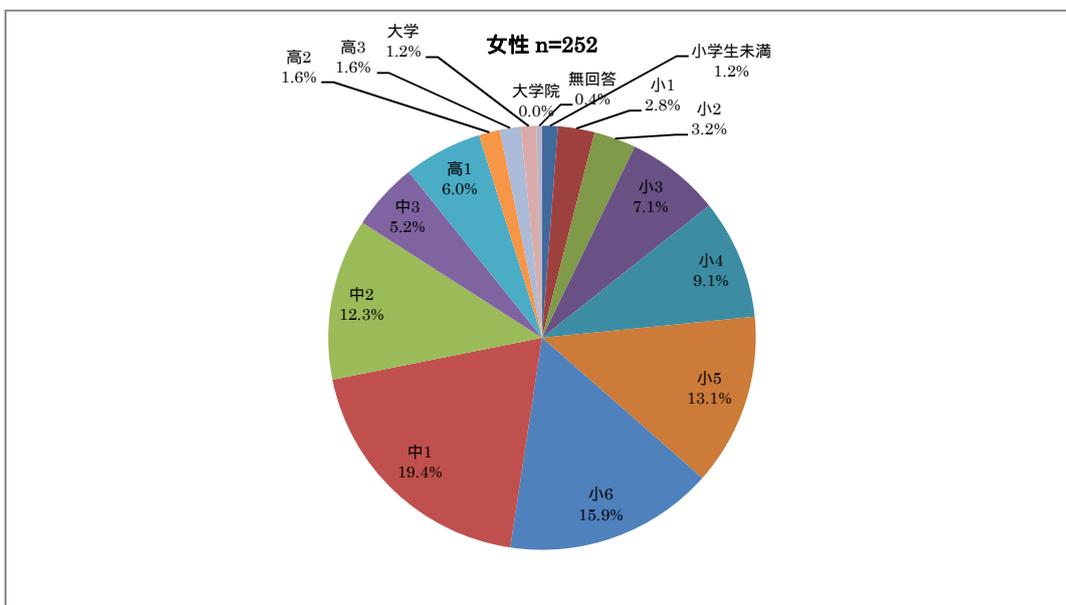
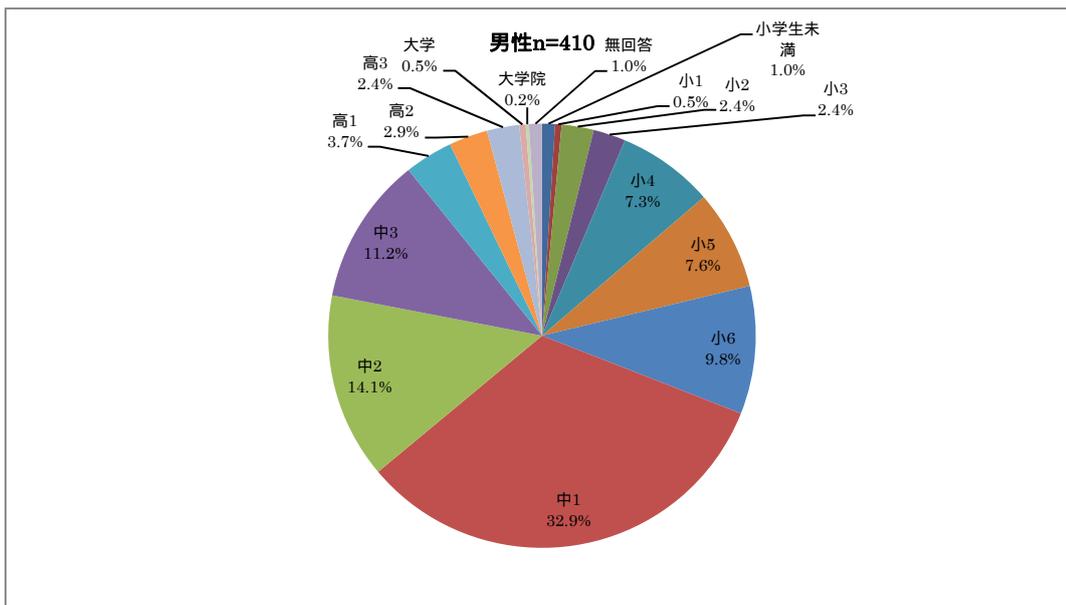


- 考察
昨年と比べ男性の比率が多くなっている。

Q3-2 あなたの現在の学年について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 1	小学生未満	<input checked="" type="checkbox"/> 6	小学校5年生	<input checked="" type="checkbox"/> 11	高校1年生	<input checked="" type="checkbox"/> 16	短大生
<input checked="" type="checkbox"/> 2	小学校1年生	<input checked="" type="checkbox"/> 7	小学校6年生	<input checked="" type="checkbox"/> 12	高校2年生	<input checked="" type="checkbox"/> 17	大学生
<input checked="" type="checkbox"/> 3	小学校2年生	<input checked="" type="checkbox"/> 8	中学校1年生	<input checked="" type="checkbox"/> 13	高校3年生	<input checked="" type="checkbox"/> 18	大学院生
<input checked="" type="checkbox"/> 4	小学校3年生	<input checked="" type="checkbox"/> 9	中学校2年生	<input checked="" type="checkbox"/> 14	高等専門学校生	<input checked="" type="checkbox"/> 19	その他(具体的に:)
<input checked="" type="checkbox"/> 5	小学校4年生	<input checked="" type="checkbox"/> 10	中学校3年生	<input checked="" type="checkbox"/> 15	専門学校生		





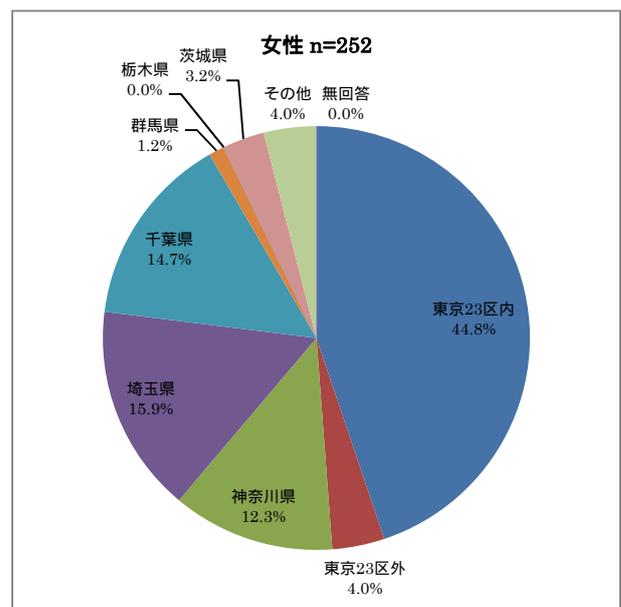
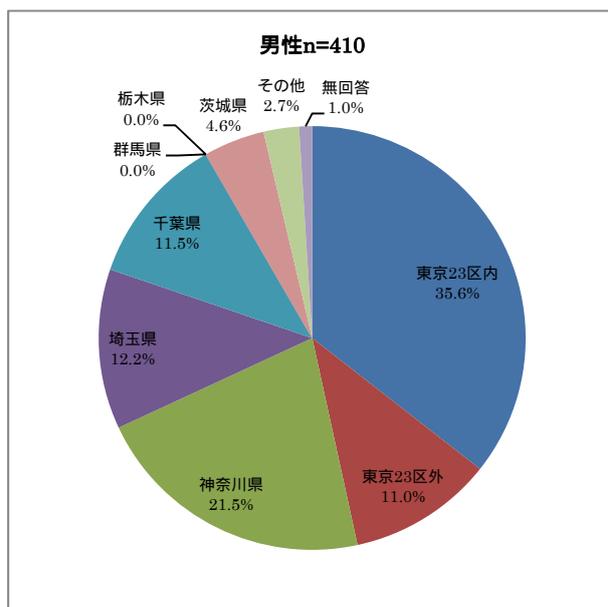
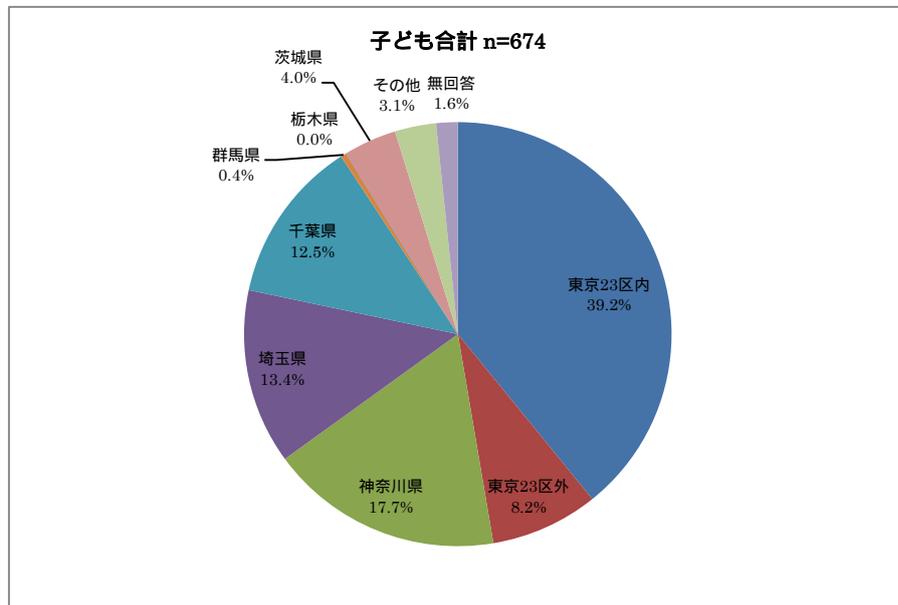
• 考察

全体では、中1が4分の1以上、中学生では約半分の49.3%を占めている。昨年の中生が36.9%であったの比べると3割増しになっている。高校生も昨年の4.8%から9.0%と倍近く増えている。一方、小学校4～6年生が31.7%から29.5%へと微減したのに比べ、小学校1～3年生が20.5%から8.4%へと激減している。理由としては、アンケートの難しさや理科をまだ学習していない小学校低学年をなるべくアンケート対象としない方針が取られたことが考えられる。

男子中学生が6割に近いのに比べ、女子中学生は5割に満たなかった。対照的に小学生は女性の方が多く、1～3年生は5.3%対13.1%と2.5倍、4～6年生は24.7%対38.1%と1.5倍になっている。男性が学校関係で、女性が家族と来ていること(Q2-3)と関係があると思われる。

Q3-3 あなたが現在住んでいるところについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1	東京 23 区内	4	埼玉県	7	栃木県
2	東京 23 区外	5	千葉県	8	茨城県
3	神奈川県	6	群馬県	9	その他(具体的に:)



※「9その他」(数字は件数)

長野県6、大阪府3、静岡県2、愛知県1、富山県1、広島県1、香川県1、高知県1、ドイツ1、韓国1

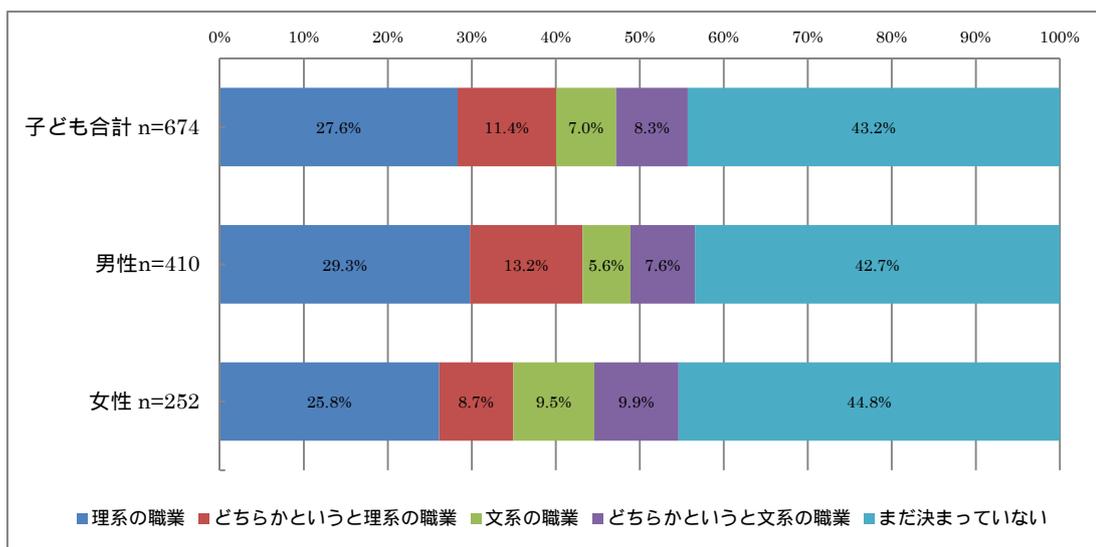
・考察

東京都から来ている来場者が47.4%と約半数を占めている。23区内に限ると男性が35.6%に対して、女性が44.8%と2割ほど多くなっている。近郊からの来場者は神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県の順に割合が高いが、女性に関して言えば神奈川県からの来場者が低くなっていて、昨年と同様の傾向をしめしている。

Q3-4 あなたは、将来、理系の職業と文系の職業のどちらにつきたいですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------------|---|------------|
| 1 | 理系の職業につきたい | 4 | 文系の職業につきたい |
| 2 | どちらかといえば理系の職業につきたい | 5 | まだ決まっていない |
| 3 | どちらかといえば文系の職業につきたい | | |

SQ1 Q3-4で「1」から「4」に回答した方にお聞きします。将来つきたい職業が決まっている方は（ ）内に職業名を書いてください。
（ ）



* 将来つきたい職業（数字は件数）

理系：医師 23、科学者 20、薬剤師 10、研究者 6、先生 5、農業 4、IT関係 3、
ロボットをつくる 1、エンジニア 1

文系：先生 4、小説家 3、歴史関係 2、作家 1、イラストレーター 1、パティシェ 1、通訳 1、
弁護士 1

・考察

科学の祭典に来場する子どもたちからは、将来理系の職業に就きたいと4割近くの回答があった。就きたい具体的な職業としては、医師や科学者、薬剤師、研究者等が挙げられている。また、理系と文系の両方に「先生」という職業が挙げられているのが興味深い。

4) 最後に皆様の感想をお書きください。

Q4-1 祭典全体を通して、良かったところ、悪かったところ等を下の空欄に書いてください。

1)良かったところ

- ()
- いろいろなブースがあり、おもしろい実験がたくさんあった 202
 - 説明がていねいでわかりやすかった 164
 - 楽しかった 19
 - さまざまな体験ができた 8
 - 科学技術についてよく学べた 5
 - すずしかった 5
 - 無料だった 4

2)悪かったところ

- ()
- 混雑、待ち時間が長い 186
 - 説明がよく聞こえなかった 14
 - 抽選があるとできない 12
 - 休憩できるスペースが少ない 6
 - 解説集の有料化 4

3)祭典でやってほしい実験・観察・工作等

- ()
- ロボット 15
 - 生物 14
 - 電気・電池・磁石 10
 - このままでよい 9
 - 工作 8
 - 爆発 6
 - シャボン玉 5
 - スライム 5
 - 食べもの 5
 - 氷、星の観察 5
 - 気象 4
 - 水の実験 4

・考察

「いろいろなブースがあり、おもしろい実験がたくさんあった」、「説明がていねいでわかりやすかった」など来てよかったという回答が多い一方で、「混雑、待ち時間が長い」や「抽選があるとできない」など、人が多いがゆえのデメリットを感じている来場者が多かった。解説集の有料化については4名の方が悪い点として挙げている。

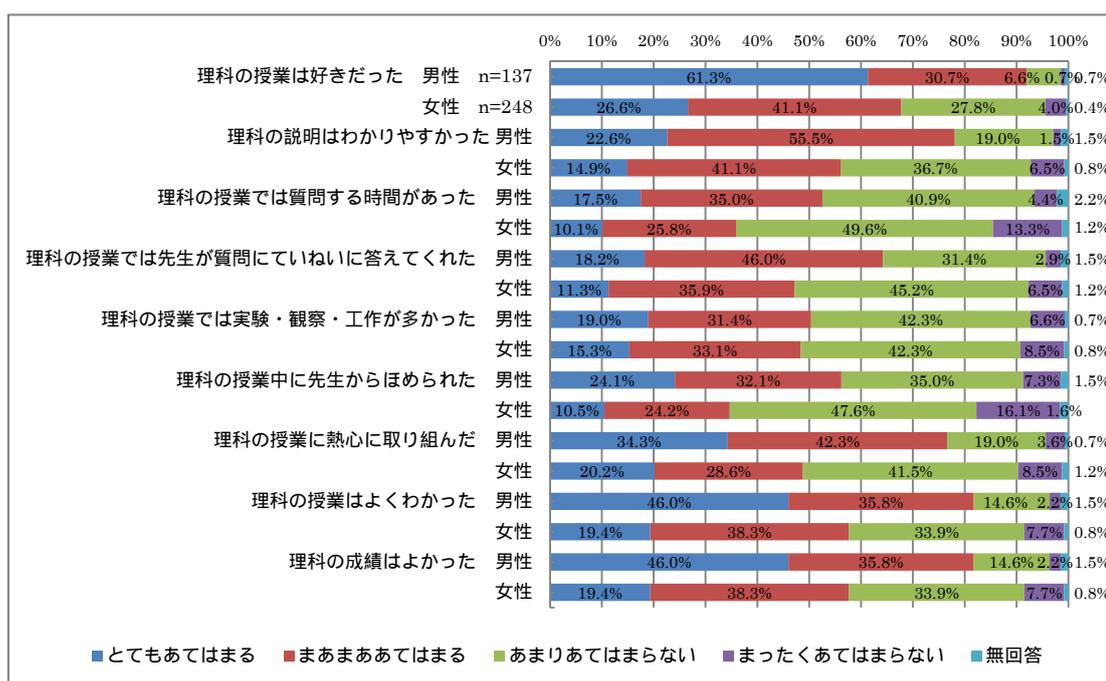
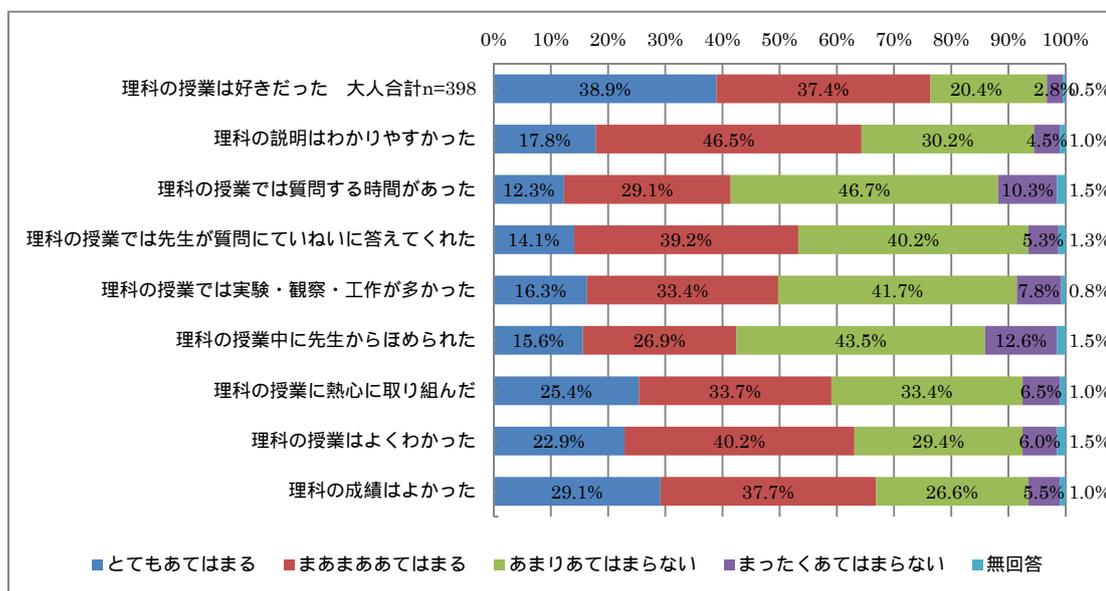
祭典で体験したいものとしては、ロボット、生物、電磁気関係等が挙げられた。他の項目についても人気のあるものが挙げられている。星の観察などは夜間の開催を期待しているのだろうか。

2-2 来場者アンケート（大人）

1) 「青少年のための科学の祭典」に来る前のことについてお聞きします。

Q1-1 あなたが学校に通っていた時のことについてお聞きします。学校の理科の授業について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりましたか。あてはまる番号に1ずつつ〇をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 理科の授業は好きだった	1	2	3	4
b. 理科の授業の説明はわかりやすかった	1	2	3	4
c. 理科の授業では質問する時間があった	1	2	3	4
d. 理科の授業では先生が質問にいていねいに答えてくれた	1	2	3	4
e. 理科の授業では実験・観察・工作が多かった	1	2	3	4
f. 科の授業中に先生からほめられた	1	2	3	4
g. 理科の授業に熱心に取り組んでいた	1	2	3	4
h. 科の授業はよくわかった	1	2	3	4
i. 理科の成績はよかった	1	2	3	4



・考察

「理科の授業は好きだった」「理科の成績はよかった」「理科の説明はわかりやすかった」「理科の授業はよくわかった」の4項目は、「とてもあてはまる」と「まあまああてはまる」のポジティブ回答が6割を超えており、理科の授業に対して良い記憶を持っていることが窺える。反対に「理科の授業では質問する時間があった」「理科の授業中に先生からほめられた」「理科の授業では実験・観察・工作が多かった」に対しては、「まったくあてはまらない」「あまりあてはまらない」のネガティブ回答が5～6割近くある。子どもとの比較では全体的にポジティブ回答の割合が少なくなっている。

一方、「理科の授業は好きだった」「理科の成績はよかった」「理科の授業はよくわかった」「理科の授業中によくほめられた」の4項目は、男性のポジティブ回答は女性の2倍以上であり、大人全体のポジティブ回答の割合を押し上げている。男性のネガティブ回答で5割を超えている項目はないが、女性では「理科の授業中に先生からほめられた」「理科の授業では質問する時間があった」のネガティブ回答が6割を超えている。子どもに比べると男女差に顕著な差が認められる。

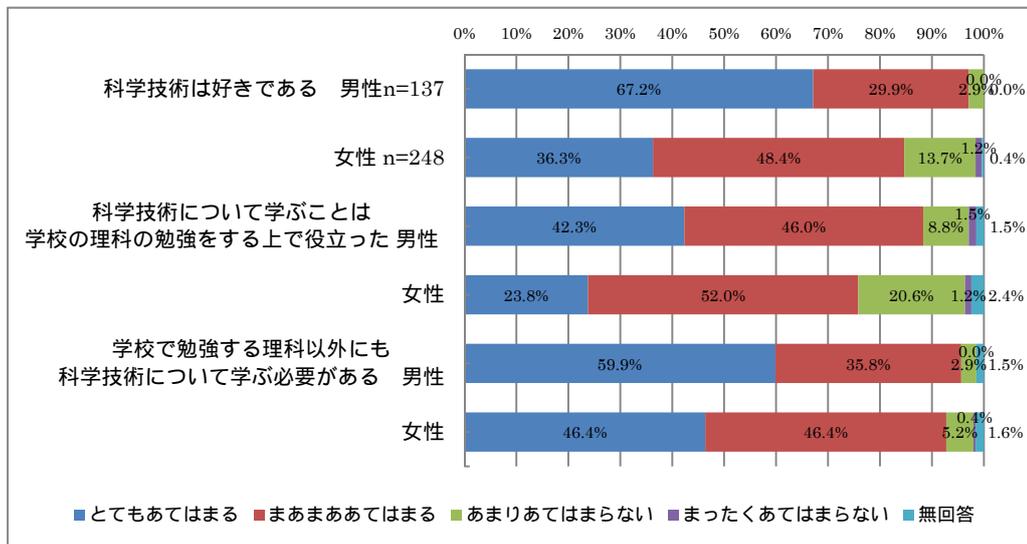
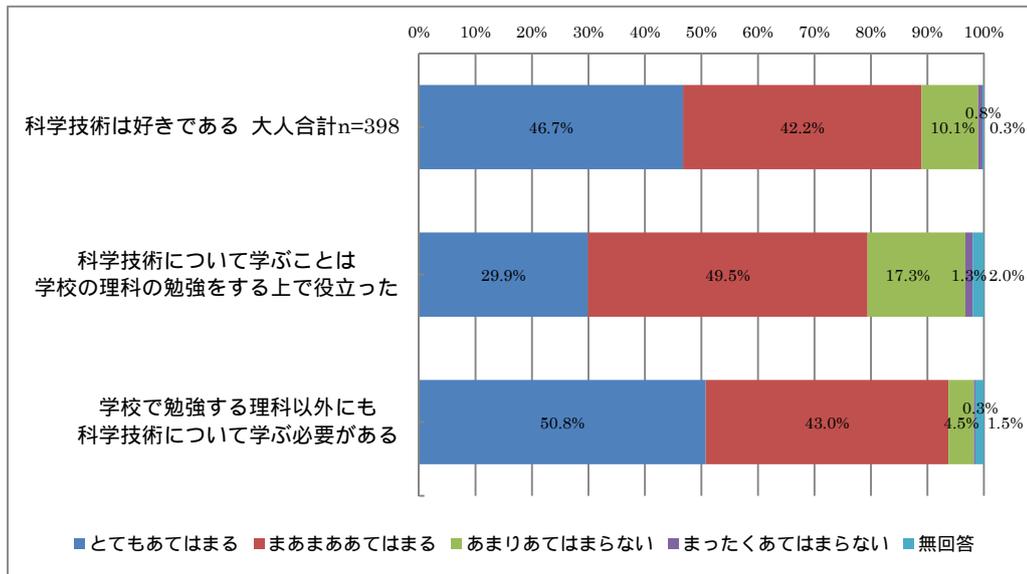
Q1-2 あなたが学校に通っていた時のことについてお聞きします。学校で理科を勉強することは、次のことに対してどれくらい役に立つと思っていましたか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とても役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役に立たない	まったく役に立たない
a. 受験	1	2	3	4
b. 将来、仕事につくこと	1	2	3	4
c. 日常生活や趣味	1	2	3	4
d. 様々な疑問を解決すること	1	2	3	4
e. 環境保護	1	2	3	4
f. 国の発展	1	2	3	4

★Q1-6にて示す。

Q1-3 **現在の考えをお聞きします。** 科学技術について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 科学技術は好きである	1	2	3	4
b. 科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をする上で役立った	1	2	3	4
c. 学校で勉強する理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある	1	2	3	4

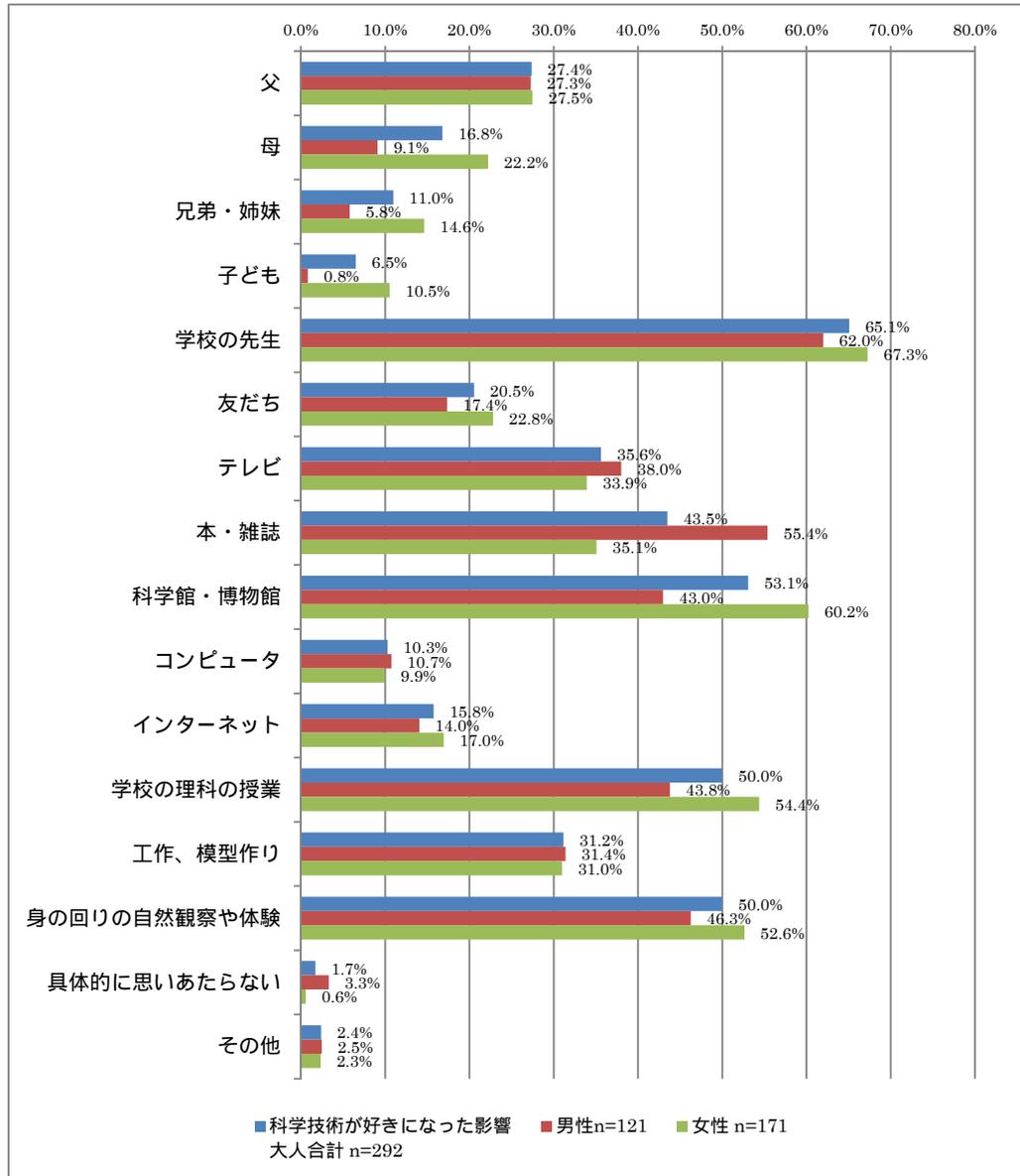


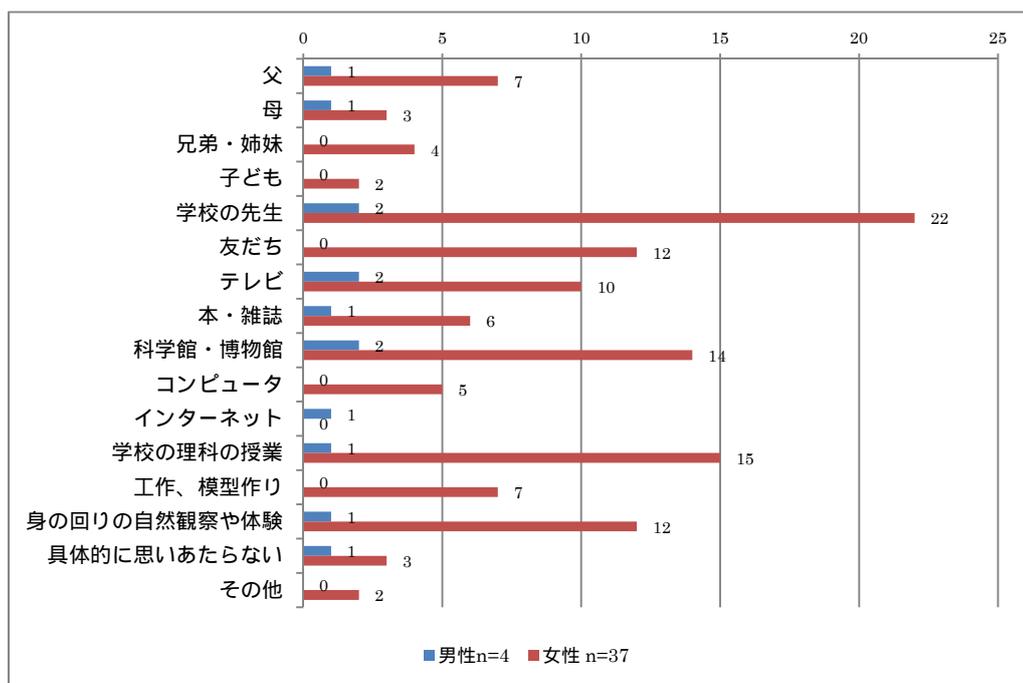
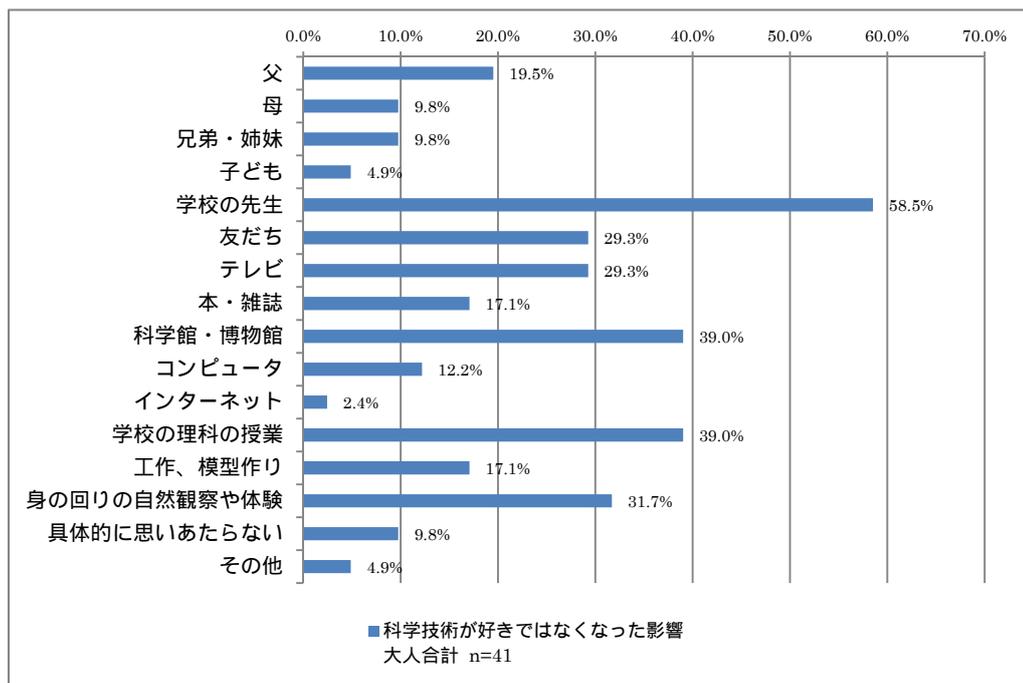
• 考察

「学校で勉強する理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある」「科学技術は好きである」を「とてもあてはまる」とした回答は5割前後ある。一方「科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をする上で役立った」を「とてもあてはまる」とした回答は3割にわずかながら届いていない。学校の理科の勉強と科学技術との関係の評価が他の2つの項目に比べて低いようである。前問ほどではないが、男性が「とてもあてはまる」と回答している割合は、女性の1.2~1.8倍となっており、男性の方がそう感じる機会が多かったと思われる。

Q1-4 あなたが科学技術が好きだったり、好きではなかったりするの、どのような影響が大きかったと思いますか。
大きく影響されたと思う番号すべてに○をつけてください。

1	父	6	友だち	11	インターネット	16	その他
2	母	7	テレビ	12	学校の理科の授業		
3	兄弟・姉妹	8	本・雑誌	13	工作、模型作り		
4	子ども	9	科学館・博物館	14	身の回りの自然の観察や体験		
5	学校の先生	10	コンピュータ	15	具体的に思い当たらない		





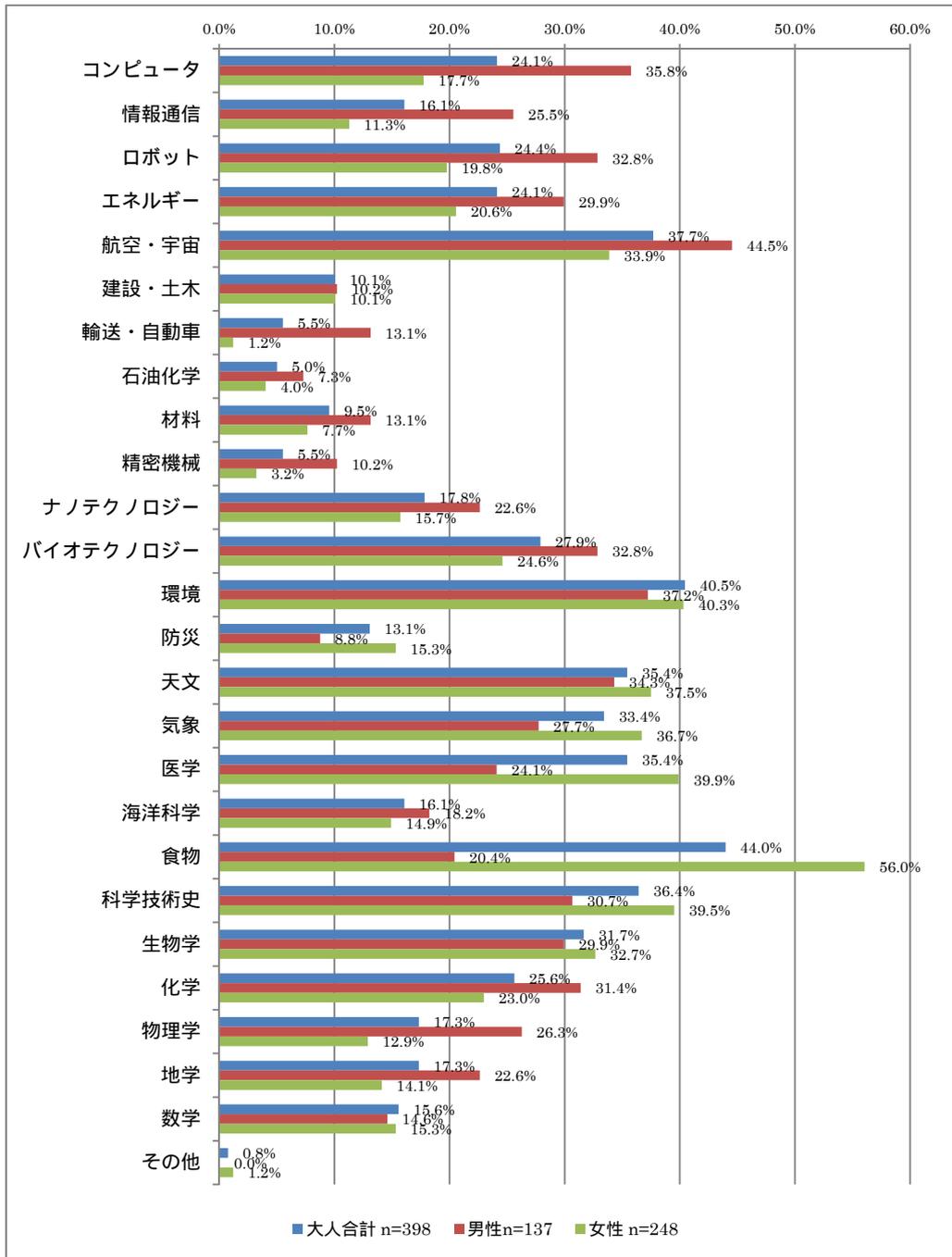
・考察

科学技術が好きになった影響として、「学校の先生」「科学館・博物館」「学校の理科の授業」「身の回りの自然観察や体験」との回答者が5割以上いる。また、全体の順位はほぼ全部の項目で女性の順位と一致している。他方、男性の1位は「学校の先生」で同じ順位であったが、2位には「本・雑誌」が入っており、女性との違いがでている。

反対に、科学技術が好きではなくなったとの回答は女性が多く（男女比は1対9）、その影響として、「学校の先生」「科学館・博物館」「学校の理科の授業」「身の回りの自然観察や体験」と好きになった影響と同じ項目がほぼ同じ順位で並んでいる。科学技術を好きになるかならないかは「学校の先生」の影響が大きいことが窺える。

Q1-5 あなたの関心のある科学技術分野はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|--------------|---------|----------|--------|
| 1 コンピュータ | 7 輸送・自動車 | 13 環境 | 19 食物 | 25 数学 |
| 2 情報通信 | 8 石油化学 | 14 防災 | 20 動物・植物 | 26 その他 |
| 3 ロボット | 9 材料 | 15 天文 | 21 生物学 | |
| 4 エネルギー | 10 精密機械 | 16 気象 | 22 化学 | |
| 5 航空・宇宙 | 11 ナノテクノロジー | 17 医学 | 23 物理学 | |
| 6 建設・土木 | 12 バイオテクノロジー | 18 海洋科学 | 24 地学 | |



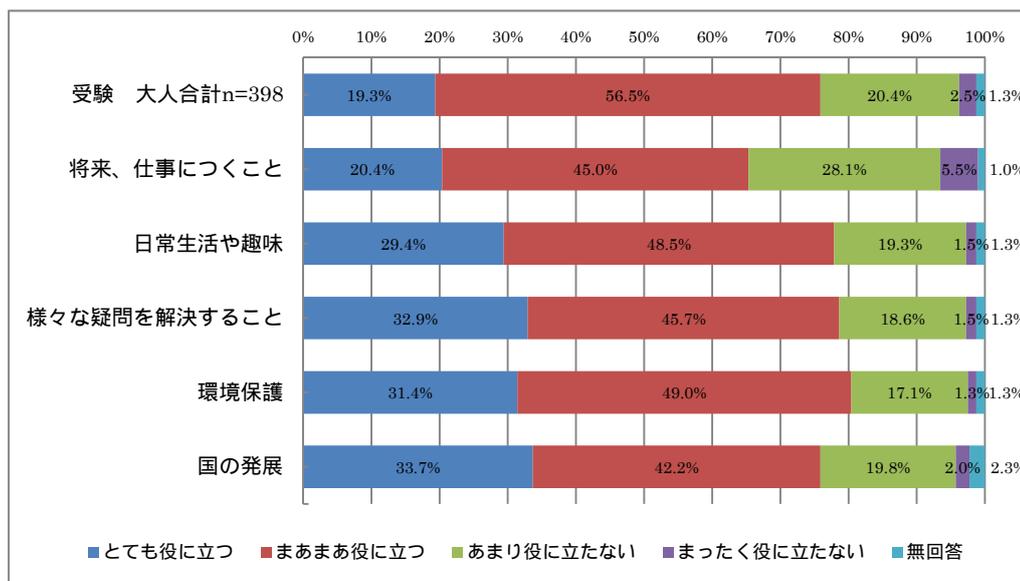
・考察

男女で大きな違いが見られた。男性は「航空・宇宙」「環境」「コンピュータ」「天文」「バイオテクノロジー」「ロボット」などテクノロジー系に、女性は「食物」「環境」「医学」「天文」「気象」など身近な分野に多くの関心を示している。「食物」に関して、女性は男性の2.7倍、「防災」「医学」は1.7倍前後の関心を示している。一方、男性が高い関心を示したのは、「輸送・自動車」の10.8倍を筆頭に「精密機械」「情報通信」「物理学」「コンピュータ」の4項目が2倍以上の値となっている。

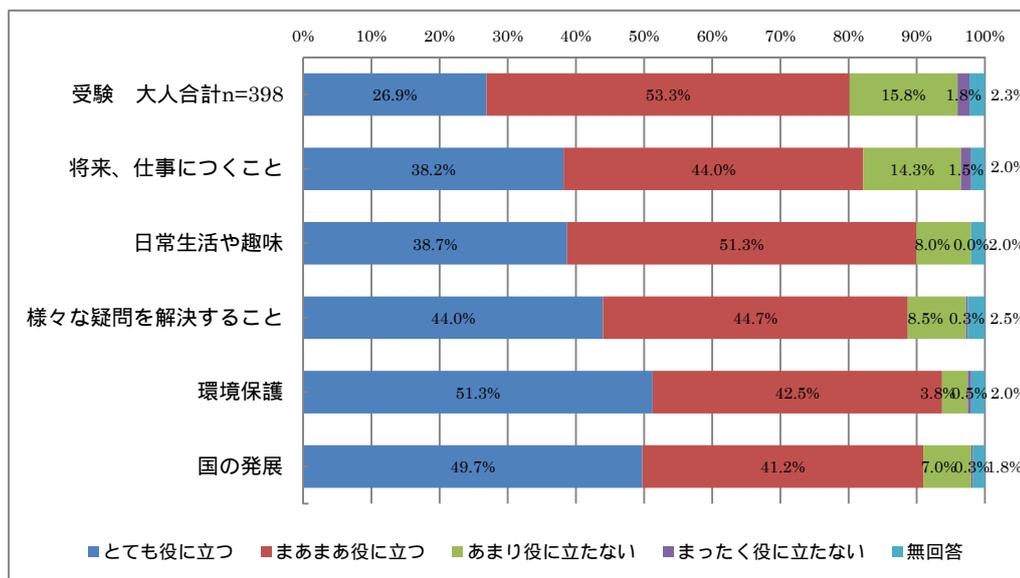
Q1-6 現在の考えをお聞きします。科学技術を勉強することは、次のことに対してどれくらい役に立つと思っていますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とても役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役に立たない	まったく役に立たない
a. 受験	1	2	3	4
b. 将来、仕事につくこと	1	2	3	4
c. 日常生活や趣味	1	2	3	4
d. 様々な疑問を解決すること	1	2	3	4
e. 環境保護	1	2	3	4
f. 国の発展	1	2	3	4

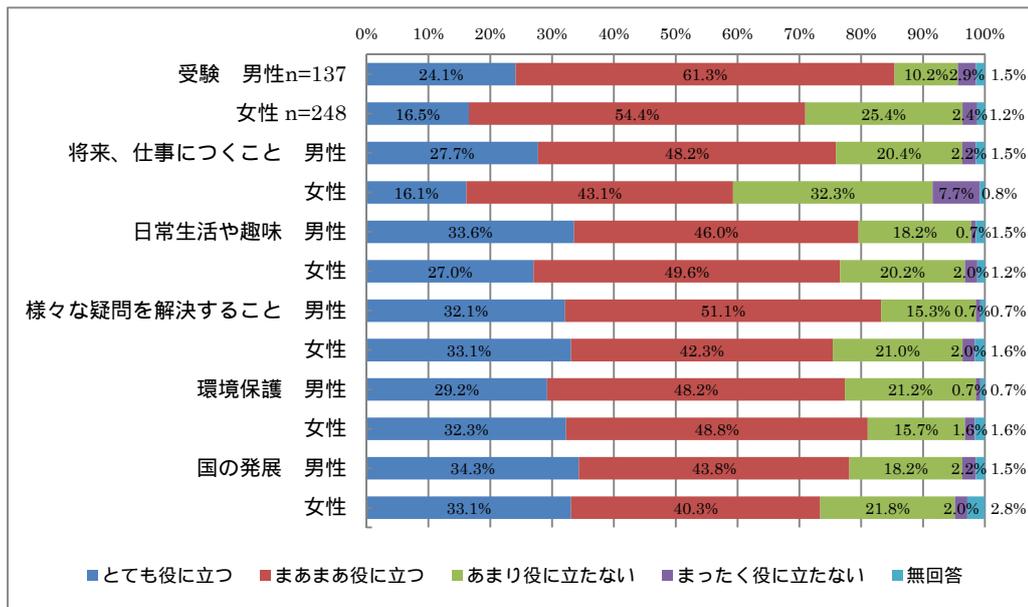
★理科を学ぶ意義



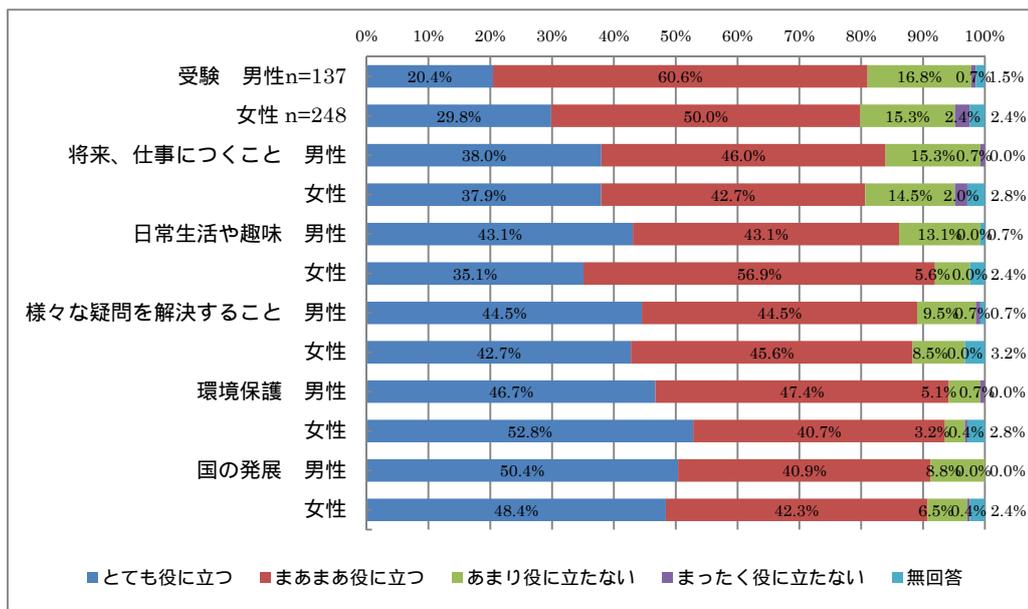
★科学技術を学ぶ意義



★理科を学ぶ意義



★科学技術を学ぶ意義



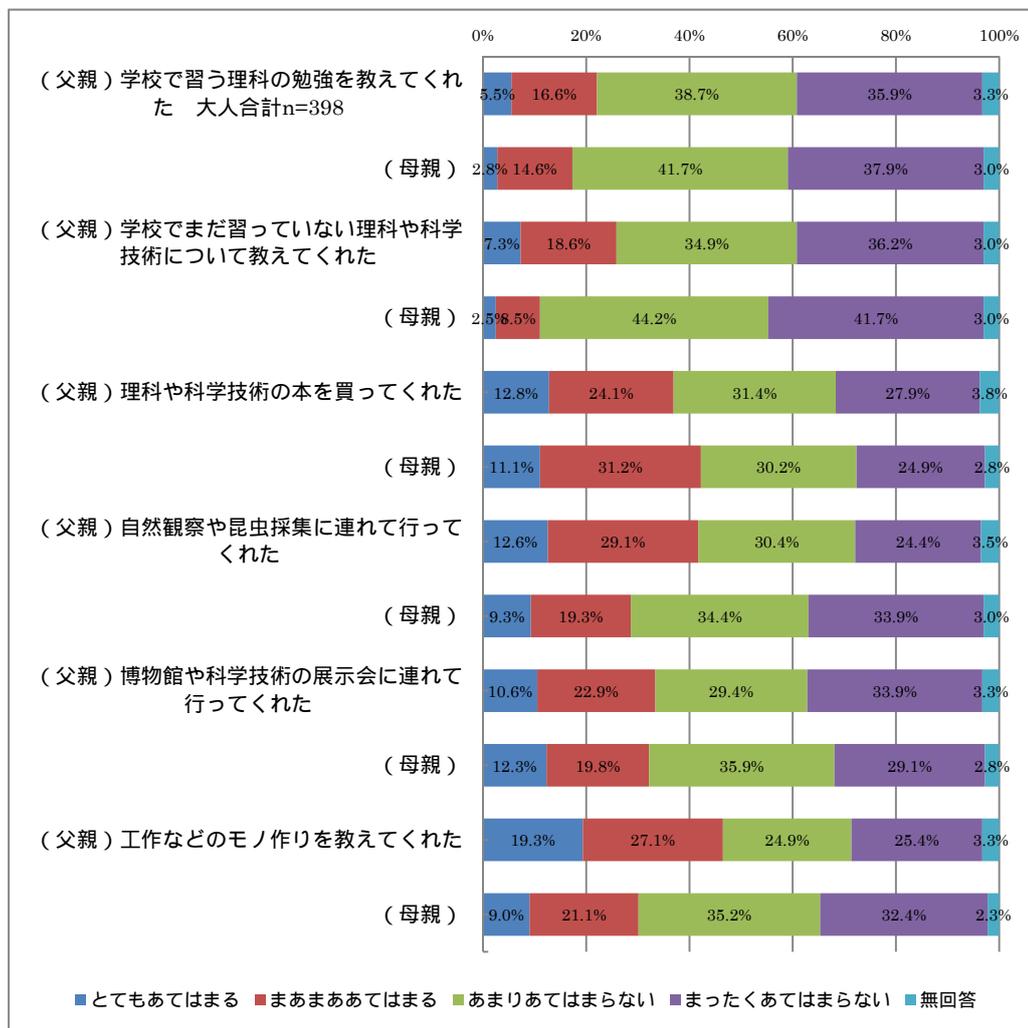
・考察

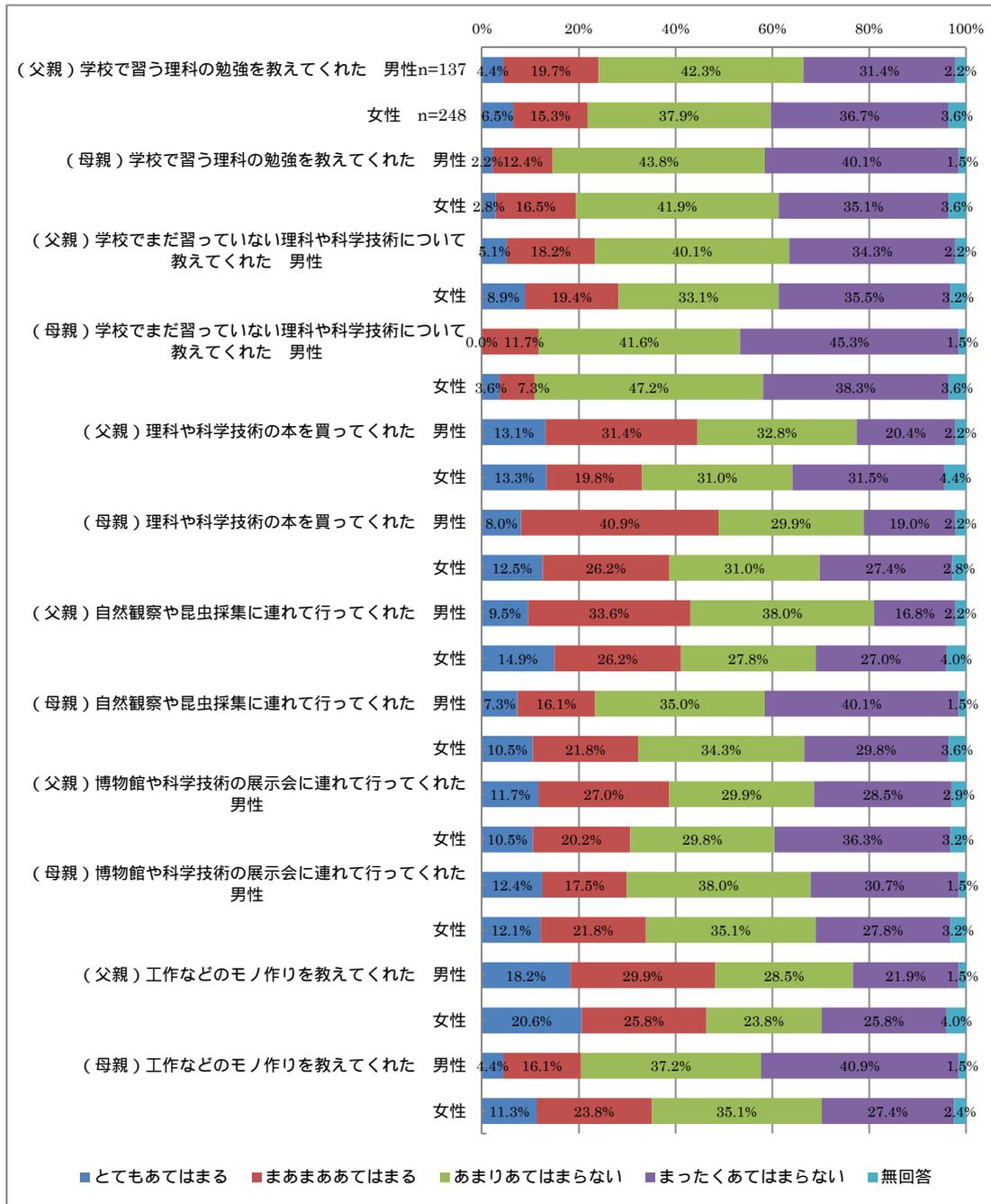
「理科を学ぶ意義」として「とても役に立つ」との回答が最も多かったのが33.7%の「国の発展」、次に「様々な問題を解決すること」(32.9%)、「環境保護」(31.4%)が続いている。そこにポジティブ回答として「まあまあ役に立つ」を追加してみると、「環境保護」が80.4%でトップ、次いで「様々な問題を解決すること」(78.6%)、「日常生活や趣味」(77.9%)となっていて、「受験」や「将来、仕事につくこと」の役に立つとの回答は6割を超えてはいるものの下位であった。また「将来、仕事につくこと」のネガティブ回答が3割を超えていた。「受験」や「将来、仕事につくこと」以外の項目には男女差がさほど見られなかったが、この2つの項目に限っては、女性のネガティブ回答の割合が男性の倍近くになっていた。

「科学技術を学ぶ意義」として「とても役に立つ」との回答が最も多かったのが51.3%の「環境保護」、次に「国の発展」(49.7%)、「様々な問題を解決すること」(44.0%)が続いていて、割合は違うけれども上位下位に表れた項目は「理科を学ぶ意義」と同じであった。「受験」に関しては「理科を学ぶ意義」とは異なり、「とても役に立つ」と回答したのは女性の方が多かった。

Q1-7 次のことからは、あなた自身にどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 父親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれた	1	2	3	4
b. 父親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた	1	2	3	4
c. 父親は、理科や科学技術の本を買ってくれた	1	2	3	4
d. 父親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれた	1	2	3	4
e. 父親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれた	1	2	3	4
f. 父親は、工作などのモノ作りを教えてくれた	1	2	3	4
g. 母親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれた	1	2	3	4
h. 母親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた	1	2	3	4
i. 母親は、理科や科学技術の本を買ってくれた	1	2	3	4
j. 母親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれた	1	2	3	4
k. 母親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれた	1	2	3	4
l. 母親は、工作などのモノ作りを教えてくれた	1	2	3	4





・考察

アンケートの回答者の両親に対して、「とてもあてはまる」「まあまああてはまる」の合計が一番多かったのが 46.4% の「父親が工作などのモノ作り教えてくれた」であり、5 割を超えている項目が一つもなかった。一番少ないのが「母親が学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた」の 11.0% である。総じて父親の方の割合が高いが「理科や科学技術の本を買ってくれた」に対しては母親の方が 6% ほど高くなっている。体験や知識は父親の割合が高いが、本を買い与えるというのは日頃身近にいる母親ならではの支援であろう。回答者の両親の年代を聞いてはいないので一概に言えないが、家事や仕事が忙しく子どもの相手をしてあげる余裕がなかったのかもしれない。

アンケートの回答者自身の男女の違いによる結果からは、母親からの工作などのモノ作りに関して、男性は 20.5% と少なかったが、女性は 35.1% があてはまると回答している。図工を手伝ってもらった、あるいは家庭科の針仕事や編み物などが念頭にあったのではないかとと思われる。

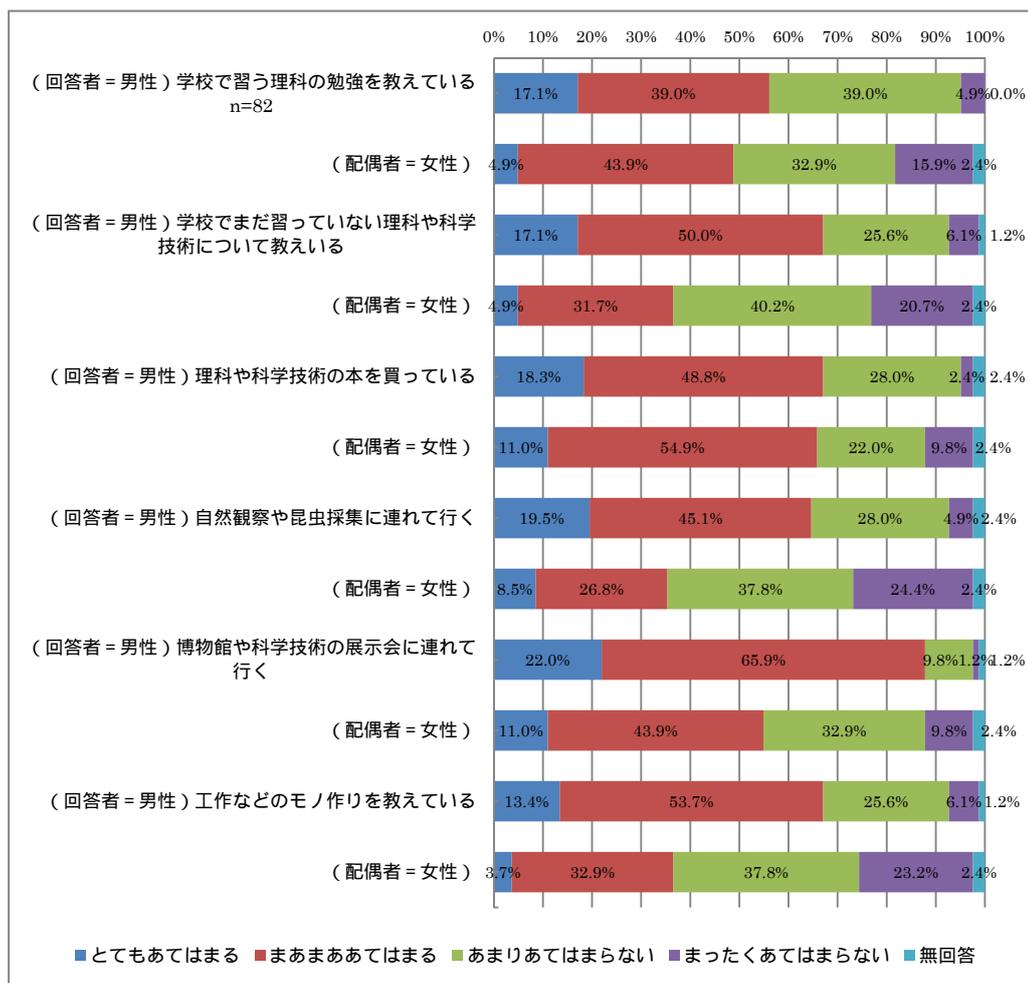
Q1-8 あなたには、現在、学校教育を受けているお子さんがいらっしゃいますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

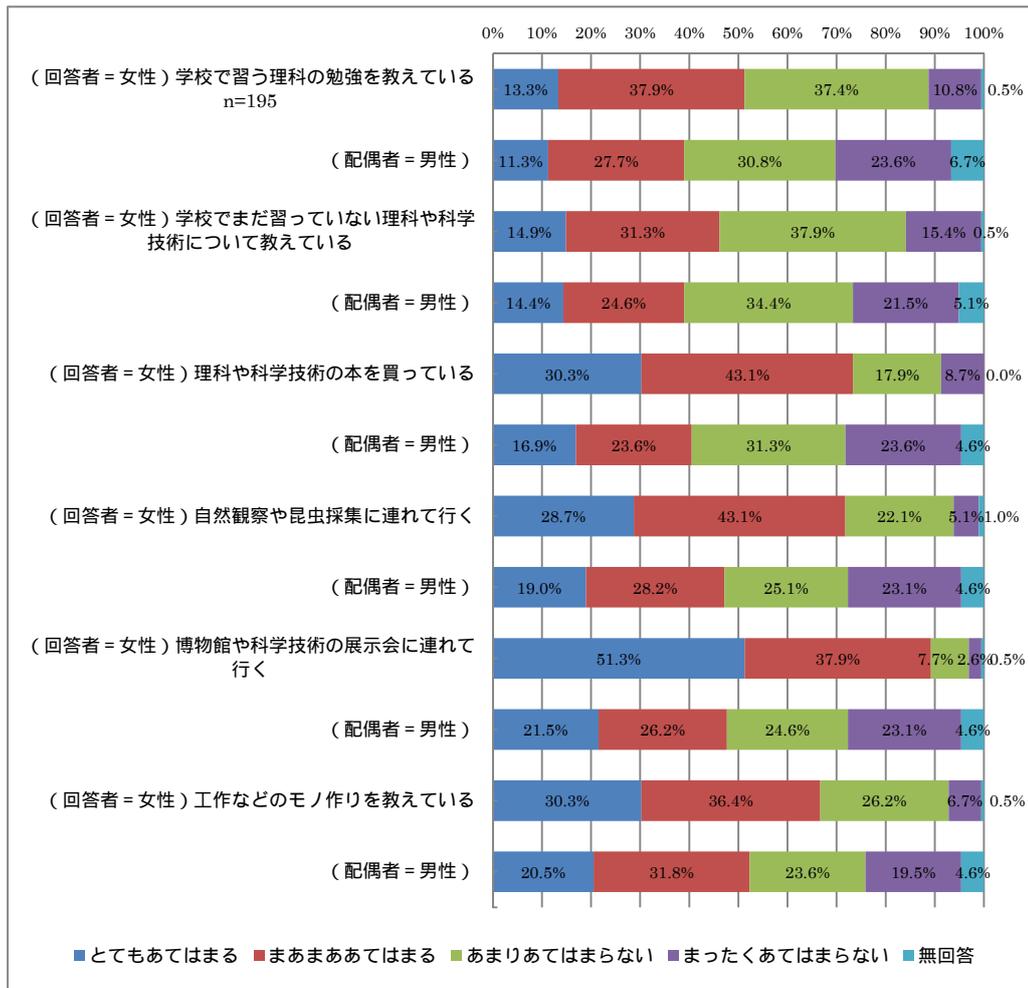
1 いる 2 いない

SQ1 Q1-8で「1 いる」と回答した方にお聞きます。理科や科学技術に関して、あなたと配偶者の方は、あなたのお子さんに対してどのようにかかわっていると思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

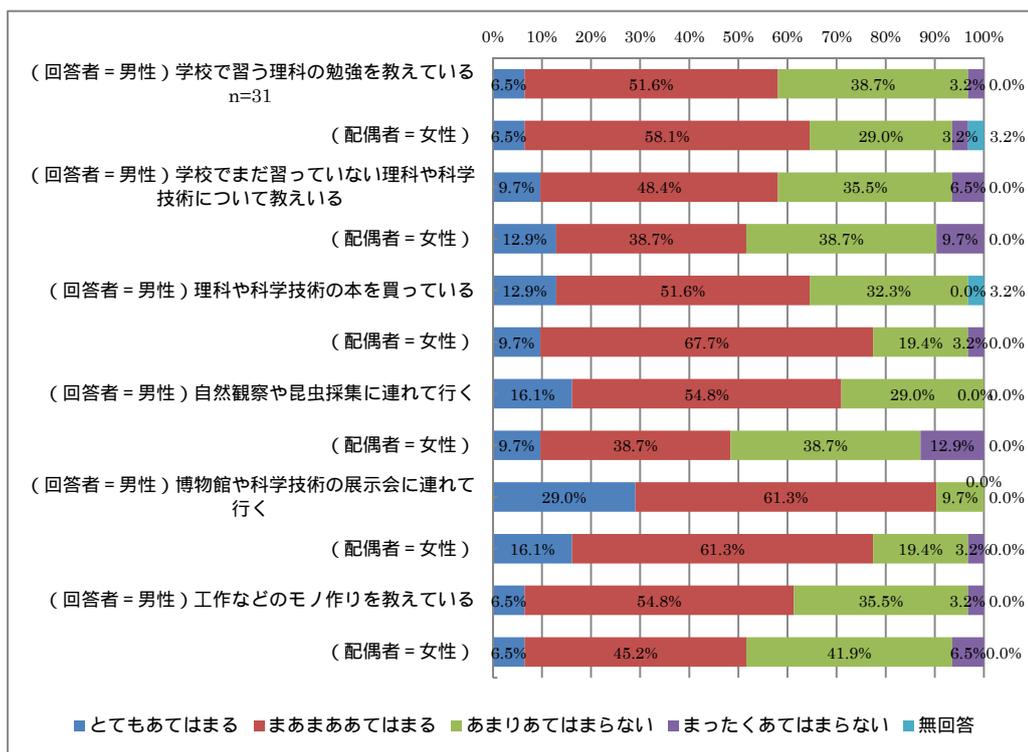
	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
	1	2	3	4
a. (あなたは) 学校で習う理科の勉強を教えている	1	2	3	4
b. (あなたは) 学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えている	1	2	3	4
c. (あなたは) 理科や科学技術の本を買い与えている	1	2	3	4
d. (あなたは) 自然観察や昆虫採集に連れて行っている	1	2	3	4
e. (あなたは) 博物館や科学技術の展示会に連れて行っている	1	2	3	4
f. (あなたは) 工作などモノ作りを教えている	1	2	3	4
g. (あなたの配偶者は) 学校で習う理科の勉強を教えている。	1	2	3	4
h. (あなたの配偶者は) 学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えている	1	2	3	4
i. (あなたの配偶者は) 理科や科学技術の本を買い与えている	1	2	3	4
j. (あなたの配偶者は) 自然観察や昆虫採集に連れて行っている	1	2	3	4
k. (あなたの配偶者は) 博物館や科学技術の展示会に連れて行っている	1	2	3	4
l. (あなたの配偶者は) 工作などモノ作りを教えている	1	2	3	4

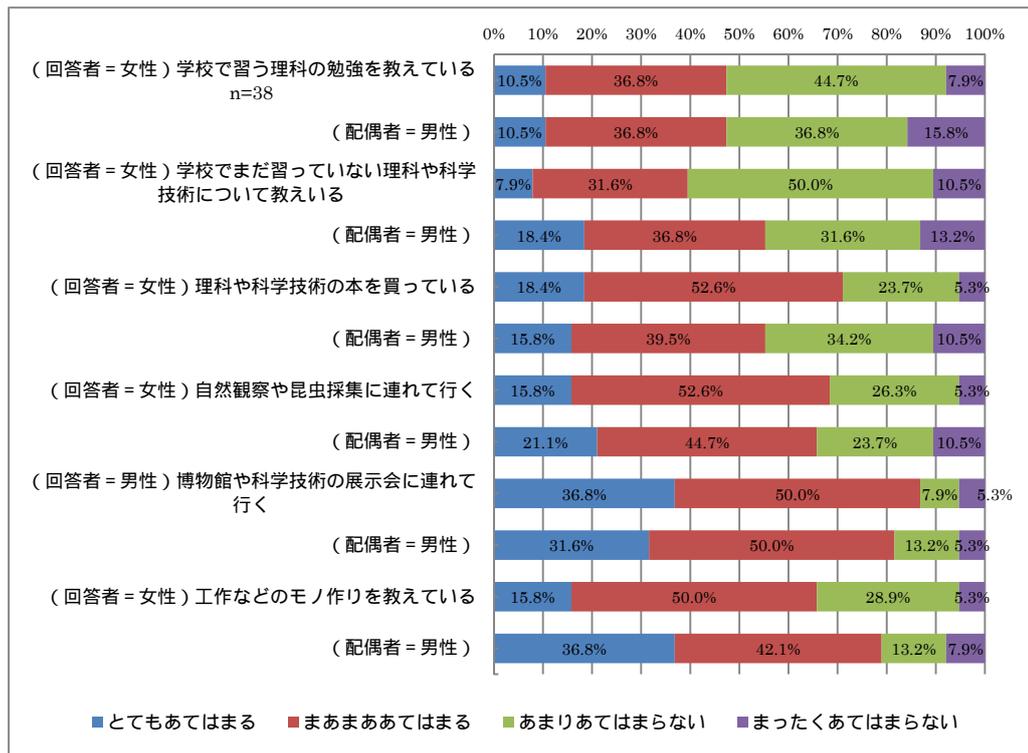
★現在学校教育を受けている子どもがいると答えた方（男性 n=82 女性 n=195）のみ SQ1 を回答





★参考 以下の表は子どものために夫妻が両方来場していると思われるケースの場合の意識をまとめた。Q2-3 の設問で一緒に来た人として、男性は妻と子どもに、女性は夫と子どもに〇がついており、かつ本設問で子どもがいて回答している方を対象とした。





・考察

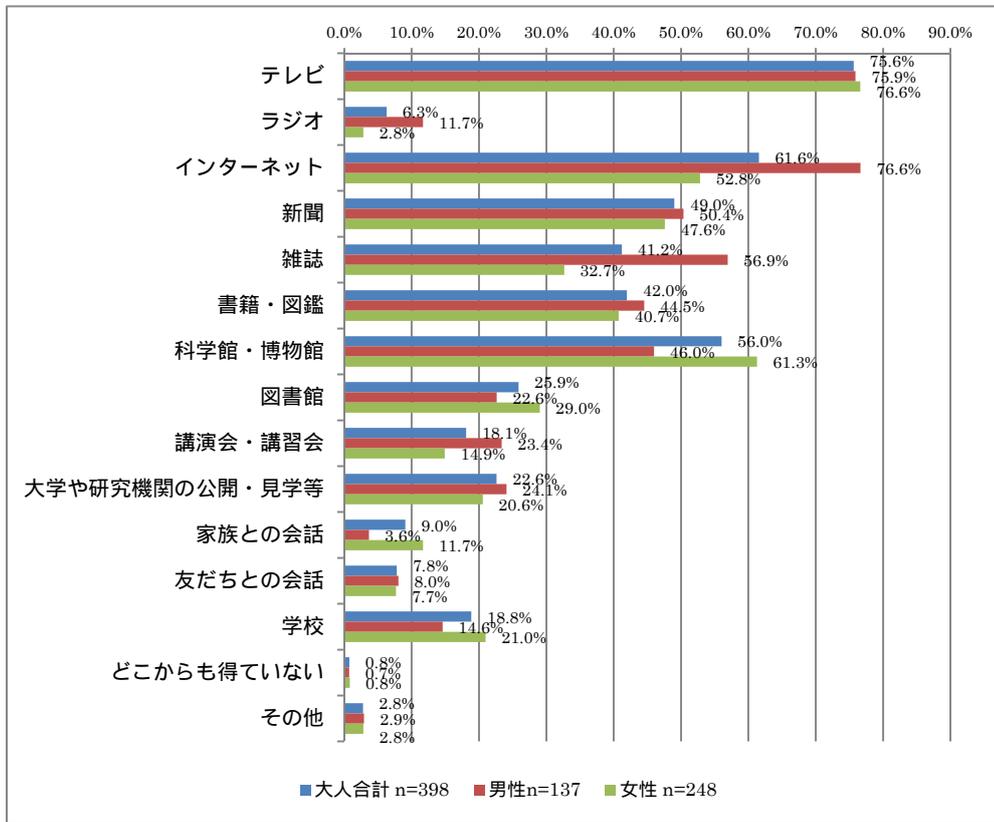
男性の視点から見た場合、「博物館や科学技術の展示会に連れて行く」にあてはまるとの回答が87.9%と高い割合を示している。一方、「理科や科学技術の本を買っている」は、本人および配偶者（女性）ともに高く65%を超えている。「博物館や科学技術の展示会に連れて行く」「学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えている」「工作などのモノ作りを教えている」「自然観察や昆虫採集に連れて行く」の4項目は、男性の方が30ポイント高くなっている。

女性の視点から見た場合、「博物館や科学技術の展示会に連れて行く」にあてはまるとの回答が89.2%と高い割合を示している。ちなみに配偶者（男性）の割合は47.7%と半分近くの値でしかない。夫婦で来場していると思われるケースの結果では、差があるもののこれほどの差は見られない。子どもに対して自分の方が関わっているとの意識が高いこともあるだろうが、このアンケート結果では夫婦で来場していると思われるケースの母数が少ないことを考慮すると、実際に博物館や祭典などに子どもを連れて行っているのは夫婦どちらかに偏りがあることが窺える。他には「理科や科学技術の本を買っている」「自然観察や昆虫採集に連れて行く」の回答が女性の方が高く、配偶者（男性）の方が2~3割低い回答結果となっている。

夫婦で来場していると思われるケースの結果では、男女間である程度の役割分担がなされているようだ。

Q1-9 あなたは、ふだん科学技術に関する情報をどこから得ていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|----|--------------------|----|------------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌 | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍・図鑑 | 10 | 大学や研究機関の公開・見学イベント等 | 14 | どこからも得ていない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞 | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |

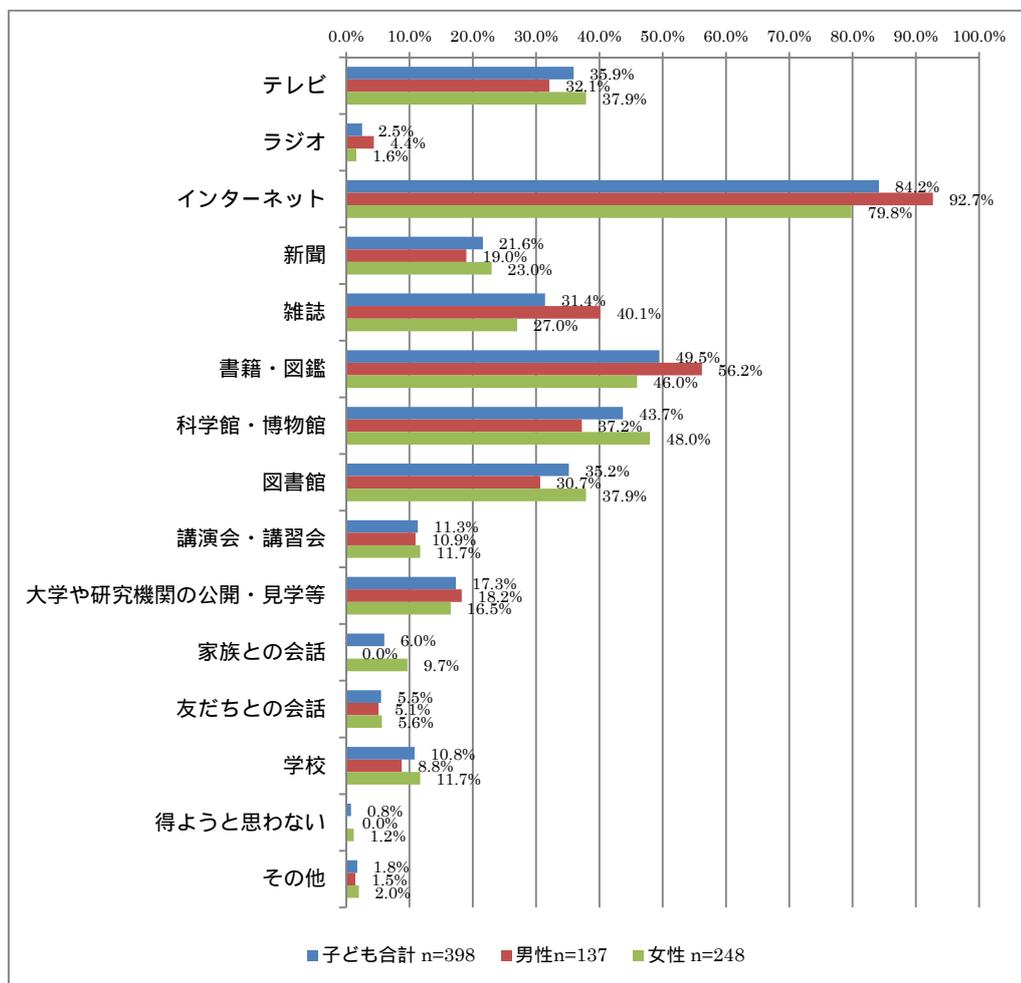


・考察

大人全体では「テレビ」「インターネット」「科学館・博物館」の順であった。テレビから情報を得ているとの回答は4分の3以上であり、テレビの影響は大きいことが窺える。男女別では、男性は「インターネット」「テレビ」「雑誌」の順であるのに対し、女性は「テレビ」「科学館・博物館」「インターネット」の順となっており、女性にとって「科学館・博物館」は科学技術に関する情報を得る場所となっている。能動的なQ1-10の設問と比較すると受動的なイメージが濃いですが、このことは例えば、母親が子どもを科学館や博物館に連れてきて一緒に見学することで、子供だけでなく母親にも科学技術に関する理解増進が期待できると思われる。

Q1-10 あなたは、科学技術に関する情報を知りたいとき、具体的にどのような手段で調べようと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|----|--------------------|----|----------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌 | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍・図鑑 | 10 | 大学や研究機関の公開・見学イベント等 | 14 | 得ようと思わない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞 | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |



・考察

「インターネット」との回答が一番多い。男性2位の「書籍・図鑑」、女性2位の「科学館・博物館」はその6割程度である。手軽に調べられる点で「インターネット」は便利であるが、掲載されている内容の確かさについては疑問があるものもあり、科学的リテラシーの修得が要になるものと思われる。

前問の回答結果でもそうだが、女性にとって「科学館・博物館」は科学技術に関する情報を得る場所となっているようだ。

Q1-11 祭典に来る前に、あなたは次のことがらにどれくらい自信がありましたか。あてはまる番号に 1 つずつ〇をつけてください。

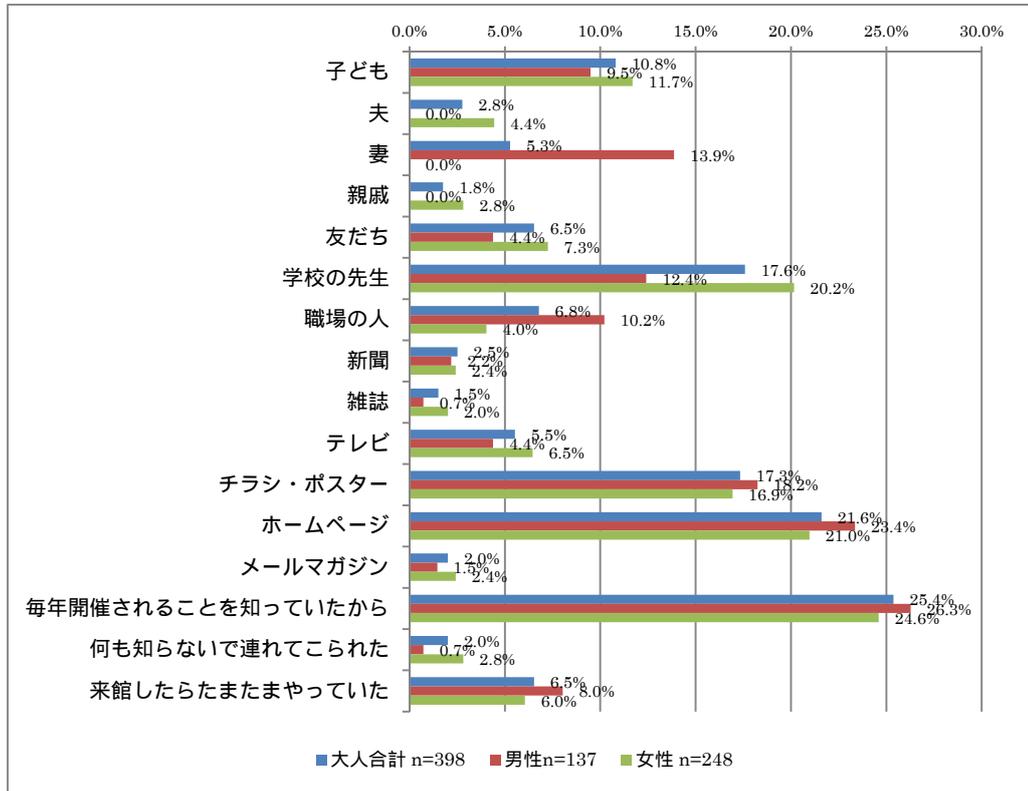
	とても 自信があった	まあまあ 自信があった	あまり 自信がなかった	まったく 自信がなかった
a. 科学技術に対する関心の高さ	1	2	3	4
b. 科学技術についての知識	1	2	3	4
c. 科学技術を使いこなすこと	1	2	3	4
d. 電気等に対する関心の高さ	1	2	3	4
e. 電気等についての知識	1	2	3	4

★Q2-12 にて示す

2) 「青少年のための科学の祭典」に来たときのこと、来た後のことについてお聞きます。

Q2-1 あなたは「科学の祭典」をどのように知りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	子ども	6	学校の先生	11	チラシ・ポスター	16	来館したらたまたまやっていた
2	夫	7	職場の人	12	ホームページ	17	その他
3	妻	8	新聞	13	メールマガジン		
4	親戚	9	雑誌	14	毎年開催されることを知っていた		
5	友達	10	テレビ	15	何も知らないで連れてこられた		

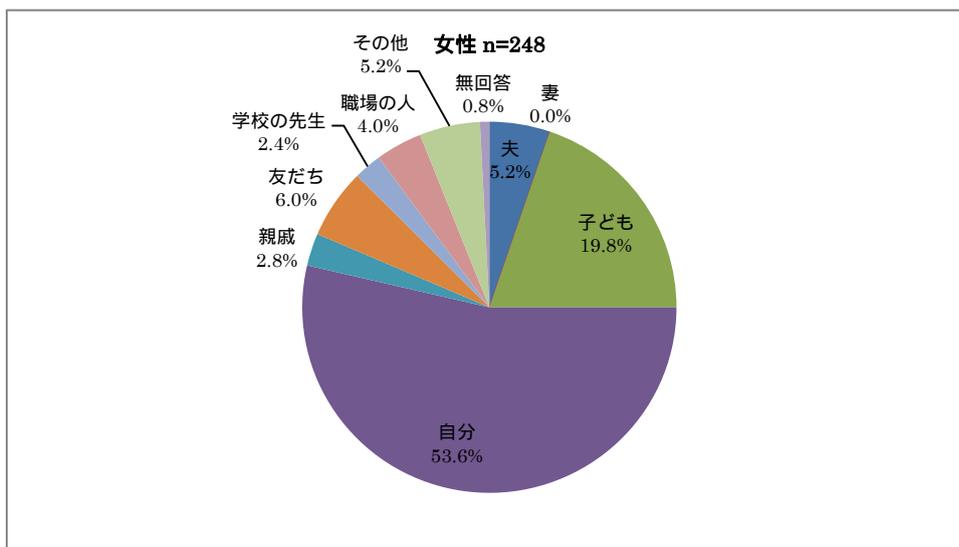
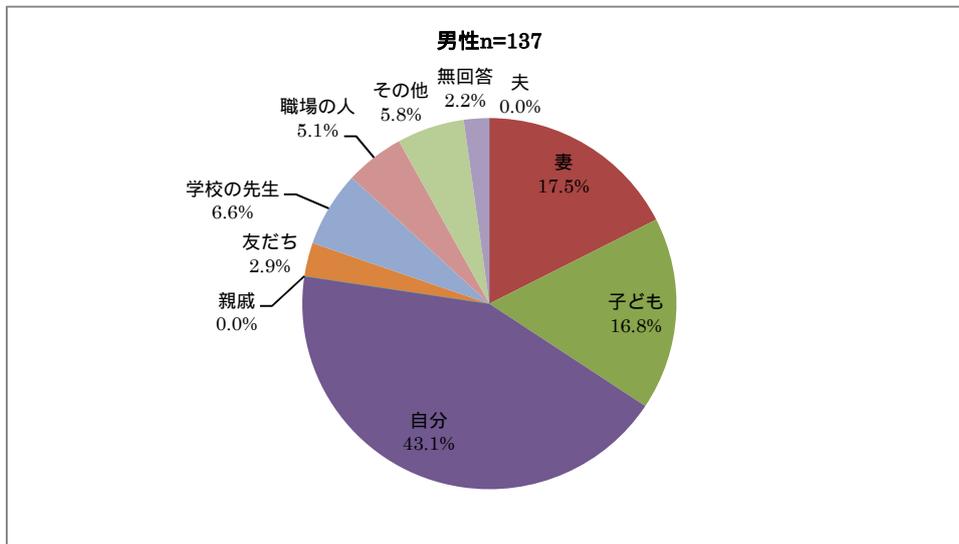


・考察

「毎年開催されることを知っていたから」「ホームページ」から知ったとの回答が2割を超えている。回答結果からは、学校の先生→女性（母親・妻）→男性と伝わっている感じが見て取れる。男性では「職場の人」からとの回答が1割近くあり、教育関係者と思われる。

Q2-2 祭典に来ることを**最初に言い出したのは誰**でしょうか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。自分が言い出した場合は、配偶者から見て夫・妻であっても、「4 自分」に○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-----|---|-----|---|-------|---|-----|
| 1 | 夫 | 3 | 子ども | 5 | 親戚 | 7 | 学校の先生 | 9 | その他 |
| 2 | 妻 | 4 | 自分 | 6 | 友だち | 8 | 職場の人 | | |

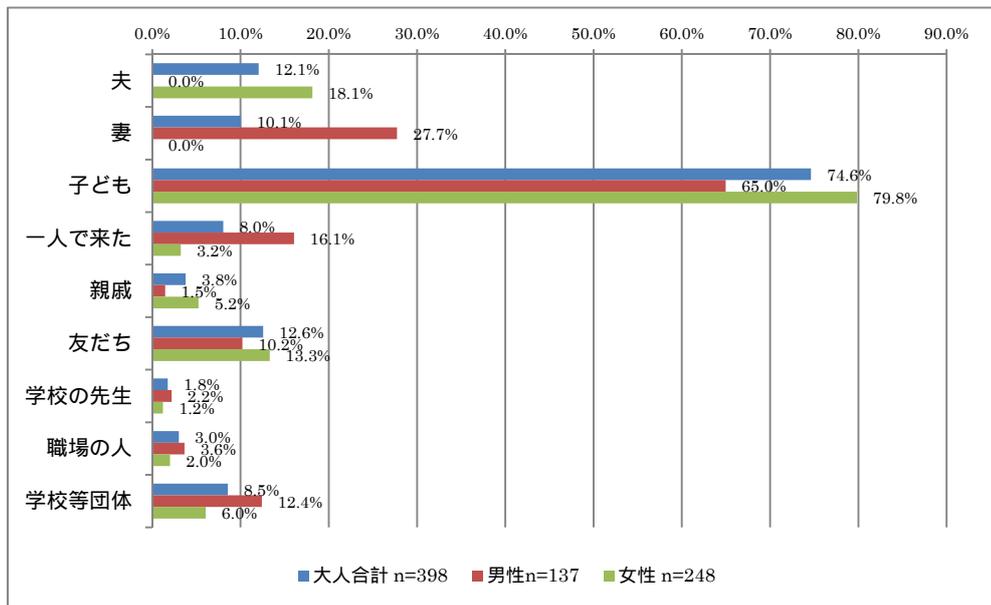


• 考察

男性は「自分」「妻」「子ども」の順、女性は「自分」「子ども」「友だち」の順で、男女ともに自分が最初に言い出したとの回答が一番多く、女性では半分を超えている。子どもから言い出したのは16.8%~19.8%と2割には満たなかった。家族以外のひとからは、男性が「学校の先生」「職場の人」に対して、女性は「友だち」「職場の人」となっており、ママ友などからの誘いがあったのだろうと推察できる。

Q2-3 あなたは、今日、誰と一緒に来ましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------|---|-----|---|-------|----|-------|
| 1 | 夫 | 3 | 子ども | 5 | 親戚 | 7 | 学校の先生 | 9 | 学校等団体 |
| 2 | 妻 | 4 | 1人で来た | 6 | 友だち | 8 | 職場の人 | 10 | その他 |

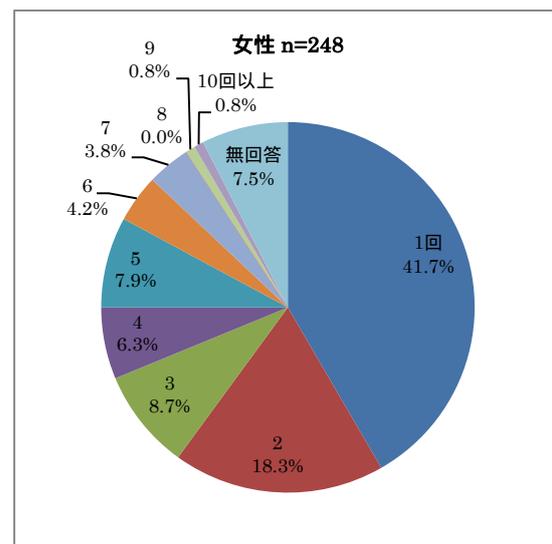
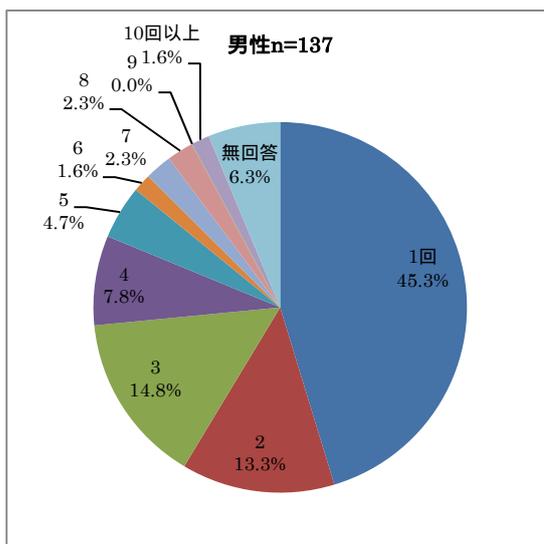
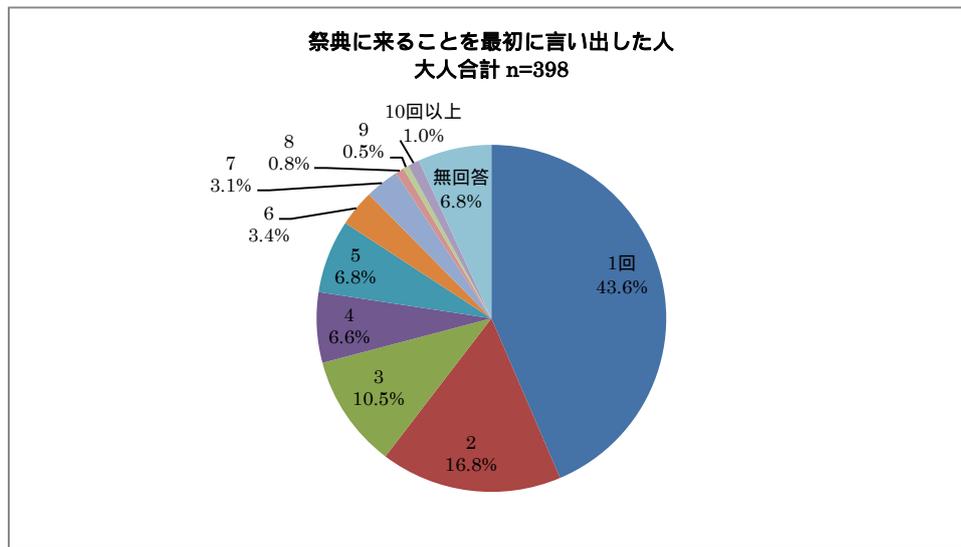


・考察

男性は「子ども」「妻」「一人で来た」の順、女性は「子ども」「夫」「友だち」の順であり、大人全体としては4分の3近くが子どもと一緒に来ている。男性は女性に比べ、「一人で来た」「学校等団体」の割合が高く、女性は「友だち」の割合が高くなっている。

Q2-4 これまで科学技術館で開催された全国大会や各地域で開催された大会に、あなたは何回来たことがありますか。
 下の口に回数を書いてください。(今回初めて来場した場合は1回としてください。)

回



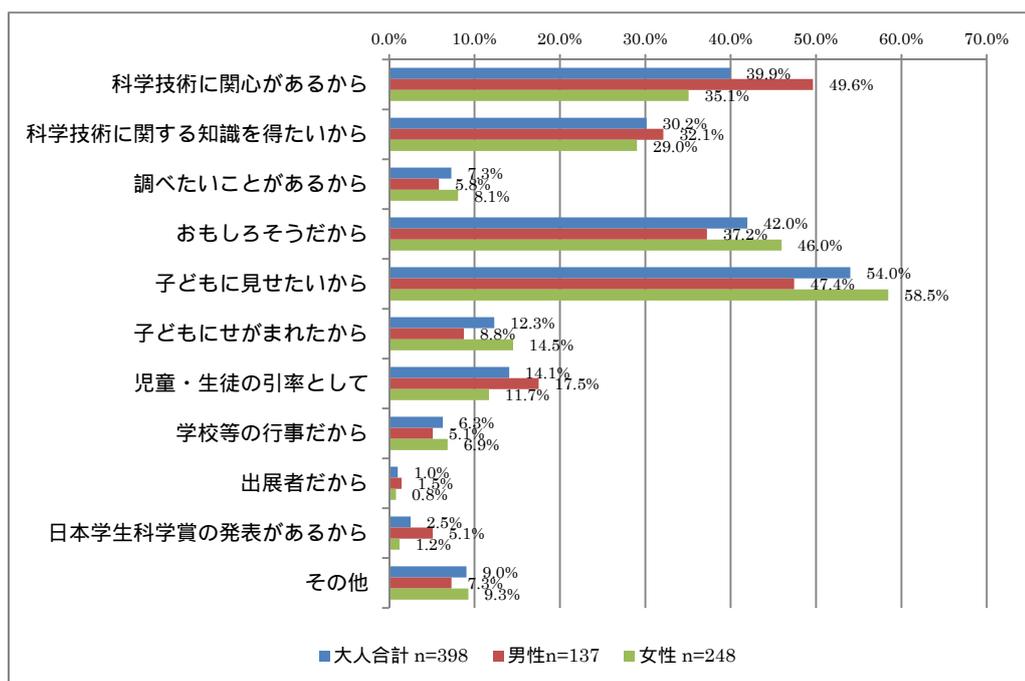
・考察

初めての方が43.6%と4割を超えており、来場回数が増えるにしたがって割合が減っていく傾向にある。10回以上来場したとの回答者が1%であった。男女別での違いはさほどないが、来場回数は男性の方が多い傾向にある。

Q2-5 あなたは、今日、どういう目的で祭典に来ましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---|------------------|----|-----------------|
| 1 | 科学技術に関心があるから | 7 | 児童・生徒の引率として |
| 2 | 科学技術に関する知識を得たいから | 8 | 学校等の行事だから |
| 3 | 具体的に調べたいことがあるから | 9 | 出展者だから |
| 4 | おもしろそうだから | 10 | 日本学生科学賞の発表があるから |
| 5 | 子どもにみせたいから | 11 | その他 |
| 6 | 子どもにせがまれたから | | |

SQ1 Q2-5で「4 おもしろそうだから」を選んだ方にお聞きします。どのようなことについておもしろさを期待していますか。()内にお書きください。



※「4 おもしろそうだから」を選んだ理由（数字は件数）

- いろいろな実験や工作、ものづくりを体験したい 53
- 新しい発見、体験 24
- 身近な材料を用いて実験するアイデア 14
- 子どもに科学への関心をもってほしい 13
- 学校や家でできないような実験が見ることができる 9
- 仕事、授業につかえるネタ探し 7
- 全国の学生たちがどんな発表をするのか楽しみ 3
- 実験を通して、科学の原理を知ることができる 3

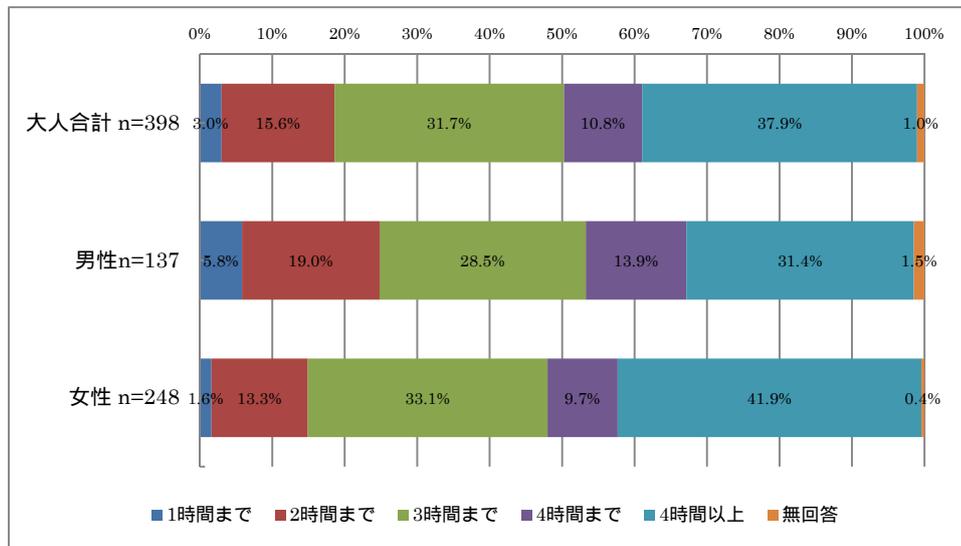
・考察

「子どもにみせたいから」「おもしろそうだから」「科学技術に関心があるから」「科学技術に関する知識を得たいから」の4つが男女ともに上位を占めた。女性が子どもの学習のために家族や友達と来ているのに対し、男性は一人で来る割合が女性より高いこともあり、子どもの学習のために家族と来ているだけでなく、一人で来るなど自分の関心で来ている率が高いことが窺える。

「いろいろな実験や工作、ものづくりを体験したい」と3割近くが回答しており、子どもだけでなく大人も体験して楽しみたいと思っているようだ。

Q2-6 あなたは、どれくらいの時間、祭典を見学する予定ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 1 時間まで | 3 | 3 時間まで | 5 | 4 時間以上 |
| 2 | 2 時間まで | 4 | 4 時間まで | | |

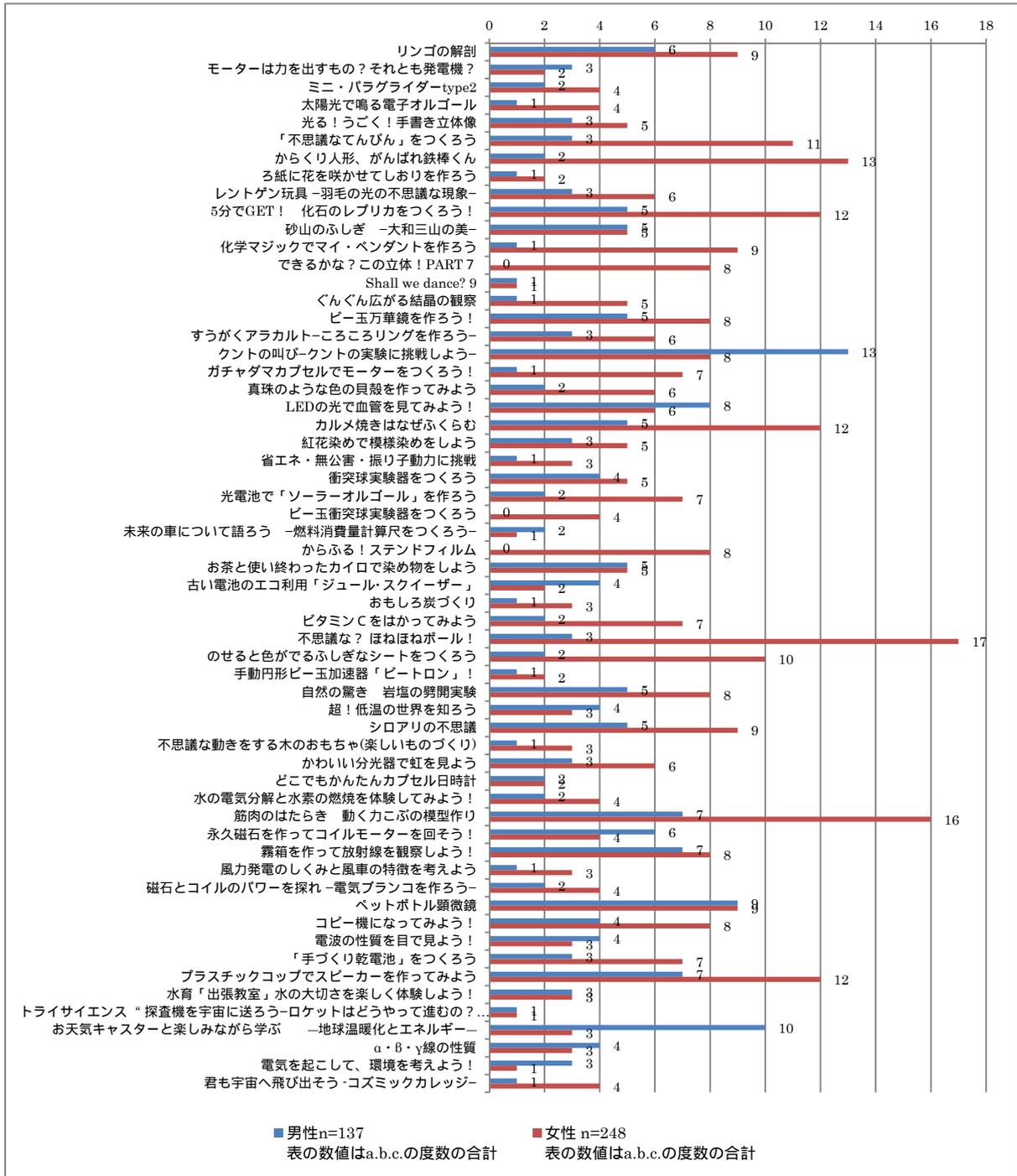


• 考察

大人全体では 37.9%が「4 時間以上」と回答しており、長く滞在する予定の方が一番多い。次が 31.7%の「3 時間まで」であり、昼食や他の用事との関係があるものと思われる。男女別では、「4 時間以上」の回答に 10 ポイント近くの差が現れ、女性の方が長居を予定しているようだ。また「1 時間まで」「2 時間まで」の回答は男性の方が多く、女性に比べてあまり時間をかけない傾向が窺える。

Q2-7 あなたにとって、おもしろかった実験・観察・工作等は何ですか。ガイドマップの番号と名前を 3つまで書き、それぞれの理由も書いてください。

	番号	名前	理由
a.			
b.			
c.			

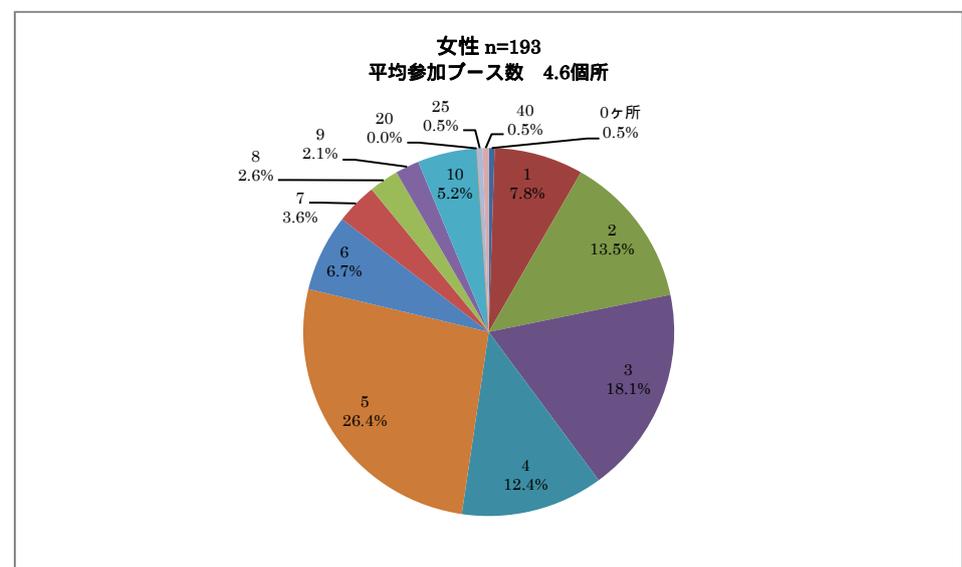
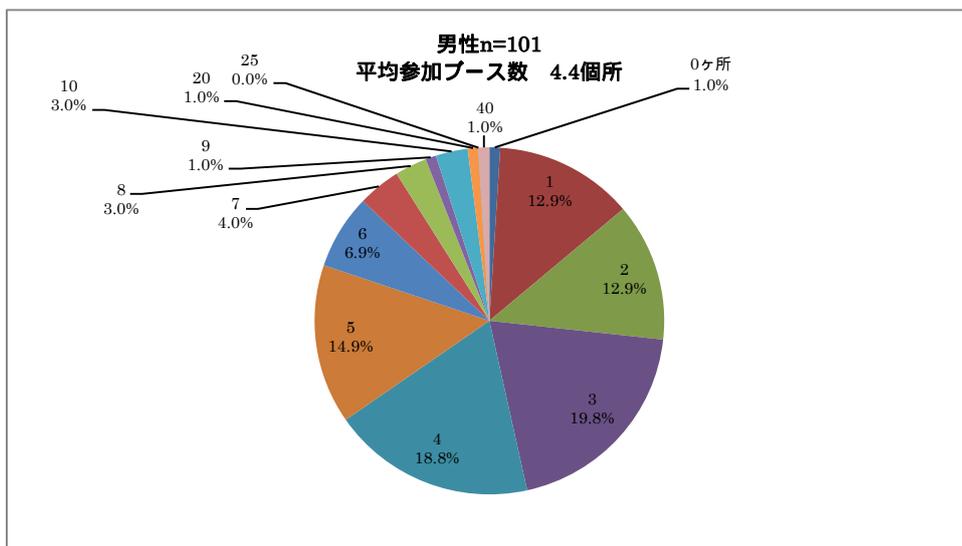
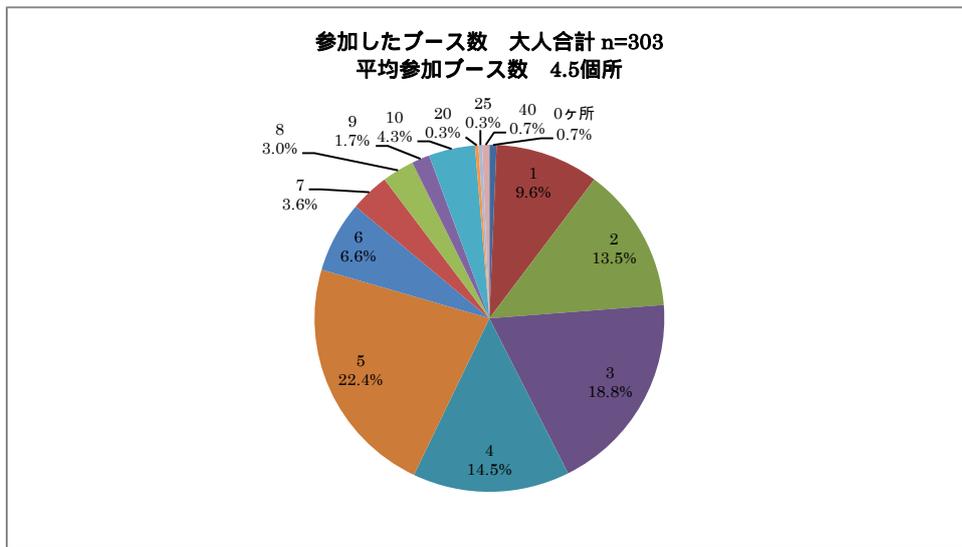


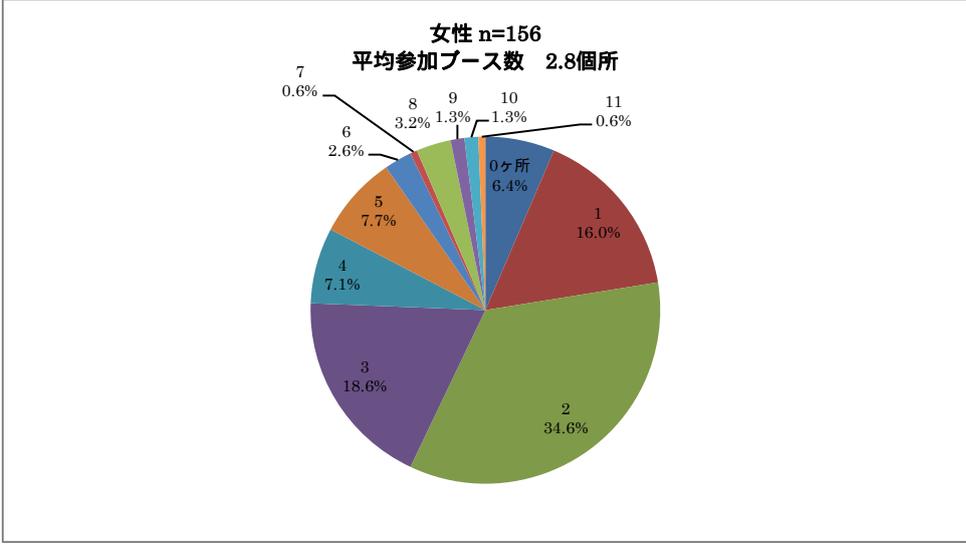
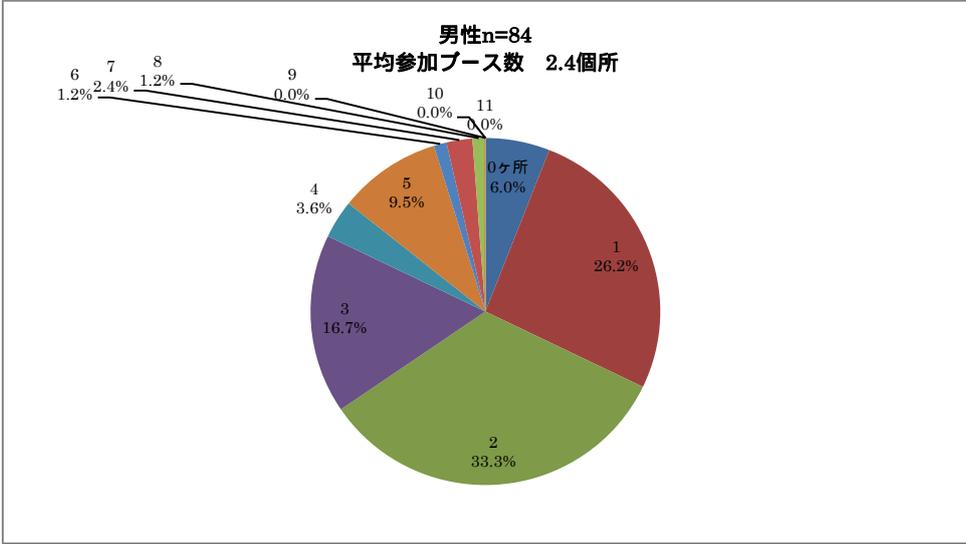
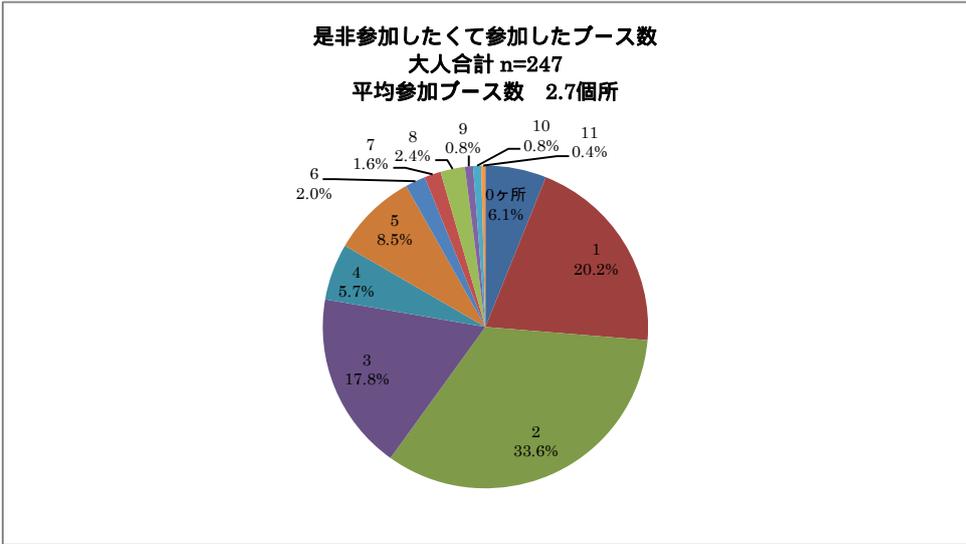
・考察

女性は「不思議な? ほねほねボール!」「筋肉のはたらき ☆ 動く力こぶの模型作り」「からくり人形、がんばれ鉄棒君」の順でどちらかというと動く工作物、男性は「クントの叫び-クントの実験に挑戦しよう-」「お天気キャスターと楽しみながら学ぶ-地球温暖化とエネルギー-」「LEDの光で血管を見てみよう!」の順で普段の生活の中で見えないものを見ようとするものが上位となり、男女で傾向が分かれたようである。

Q2-8 全部でいくつぐらいのブースに参加しましたか。また、参加したブースの中で、ぜひ参加したいと思って参加したのは何ブースですか。だいたい結構ですのでブース数を下の口の中に書いてください。

- a) 参加したブース数は全部で つ
- b) その中でぜひ参加したいと思って参加したブース数は つ





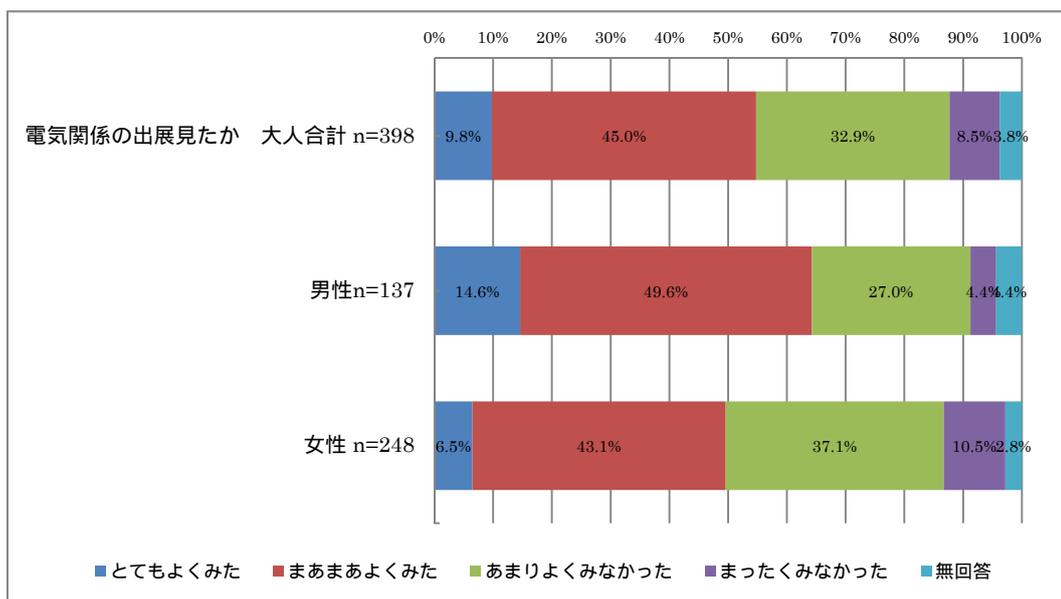
・考察

女性は男性に比べ、多くのブースに参加する傾向が見られた。特に、参加ブース数が 5 つのケースにおいて、女性は 26.4%と男性の 14.9%に対して 10 ポイント以上差をつけている。そして、参加ブース数が 5 未満ケースについて、女性は男性に比べ少ない値となっている。一方、6 以上のケースについては男女間の差がほとんどない。

参加したくて参加したブース数も、例えば 9 ブース以上が男性では 0%であるのに対し、女性は 9 ブース以上が 3%を超えているなど、女性の方が多い傾向が窺える。

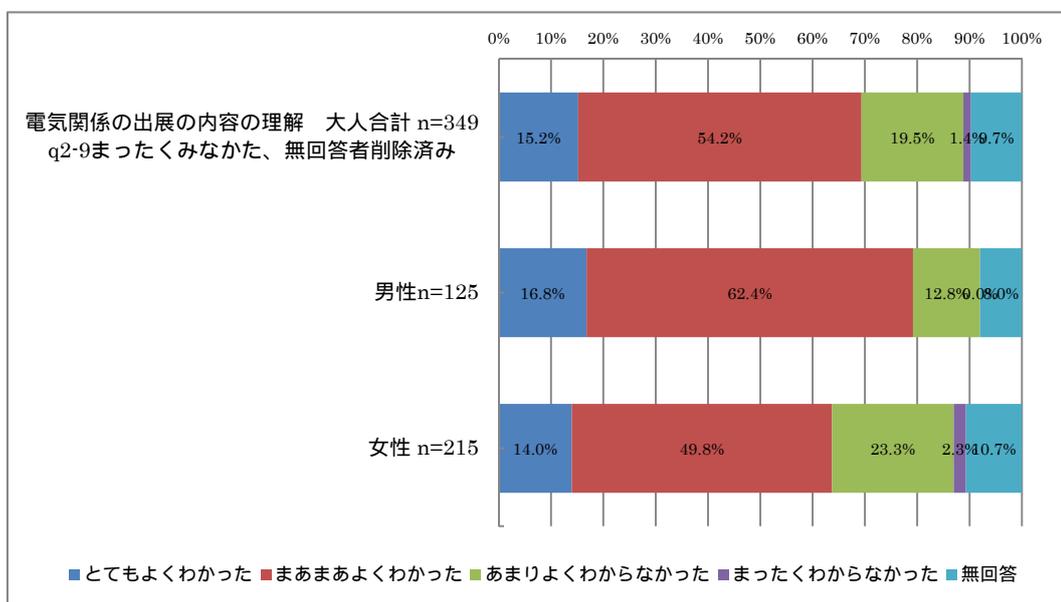
Q2-9 あなたは電気関係の出展をみましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------|---|-----------|
| 1 | とてもよくみた | 3 | あまりみなかった |
| 2 | まあまあみた | 4 | まったくみなかった |



SQ1 Q2-9で「1 とてもよくみた」または「2 まあまあみた」または「3 あまりみなかった」と回答した方にお聞きします。電気関係の出展全体を通して、あなたは内容がよくわかりましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|-----------|---|-------------|
| 1 | とてもよくわかった | 3 | あまりわからなかった |
| 2 | まあまあわかった | 4 | まったくわからなかった |

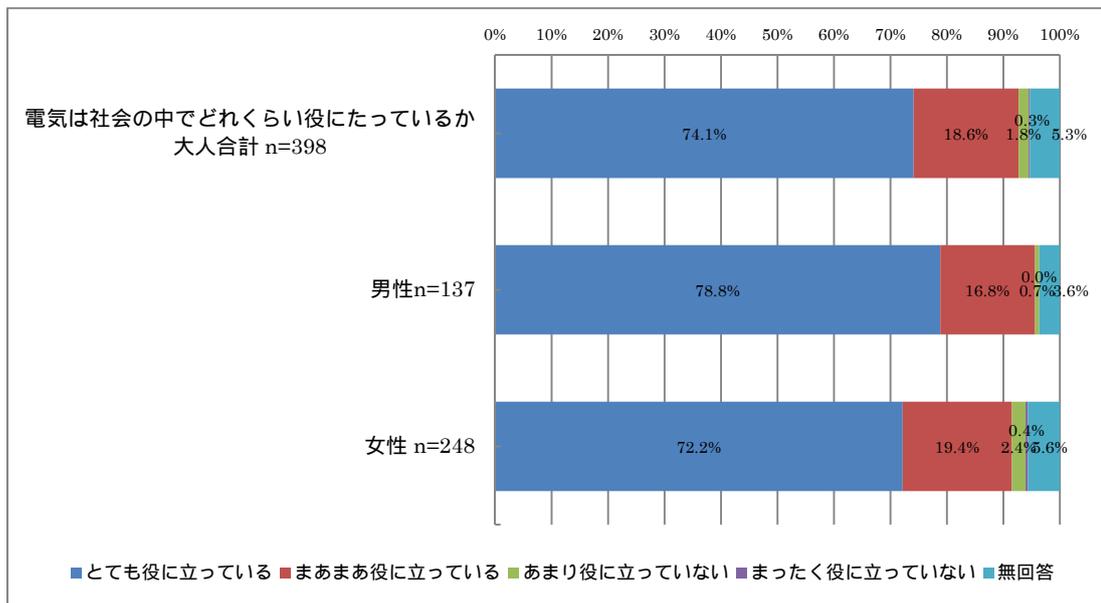


・考察

半数以上の方が電気関係の出展を見た」と回答している。電気関係の出展を見たとの回答は女性に比べ男性が14.6ポイント多くなっている。出展内容については、「とてもよくわかった」との回答が15.2%で、「まあまあよくわかった」の回答と合わせると、69.4%と7割近くが「わかった」と回答している。「わかった」との回答は、男性が79.2%、女性が63.8%と男性が多い傾向が窺える。

Q2-10 電気は社会全体においてどれくらい役に立っていると思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------|
| 1 | とても役に立っている | 3 | あまり役に立っていない |
| 2 | まあまあ役に立っている | 4 | まったく役に立っていない |

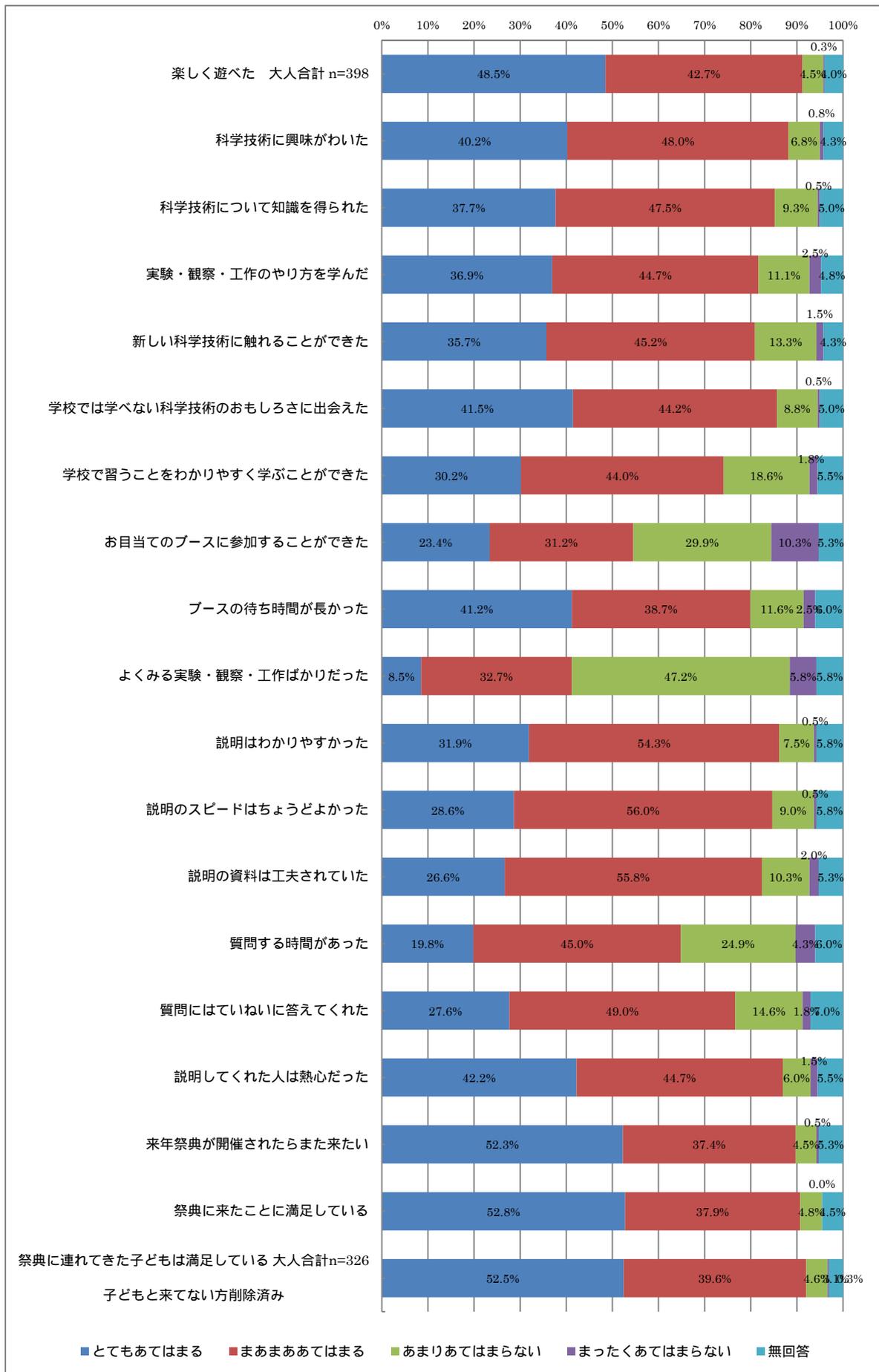


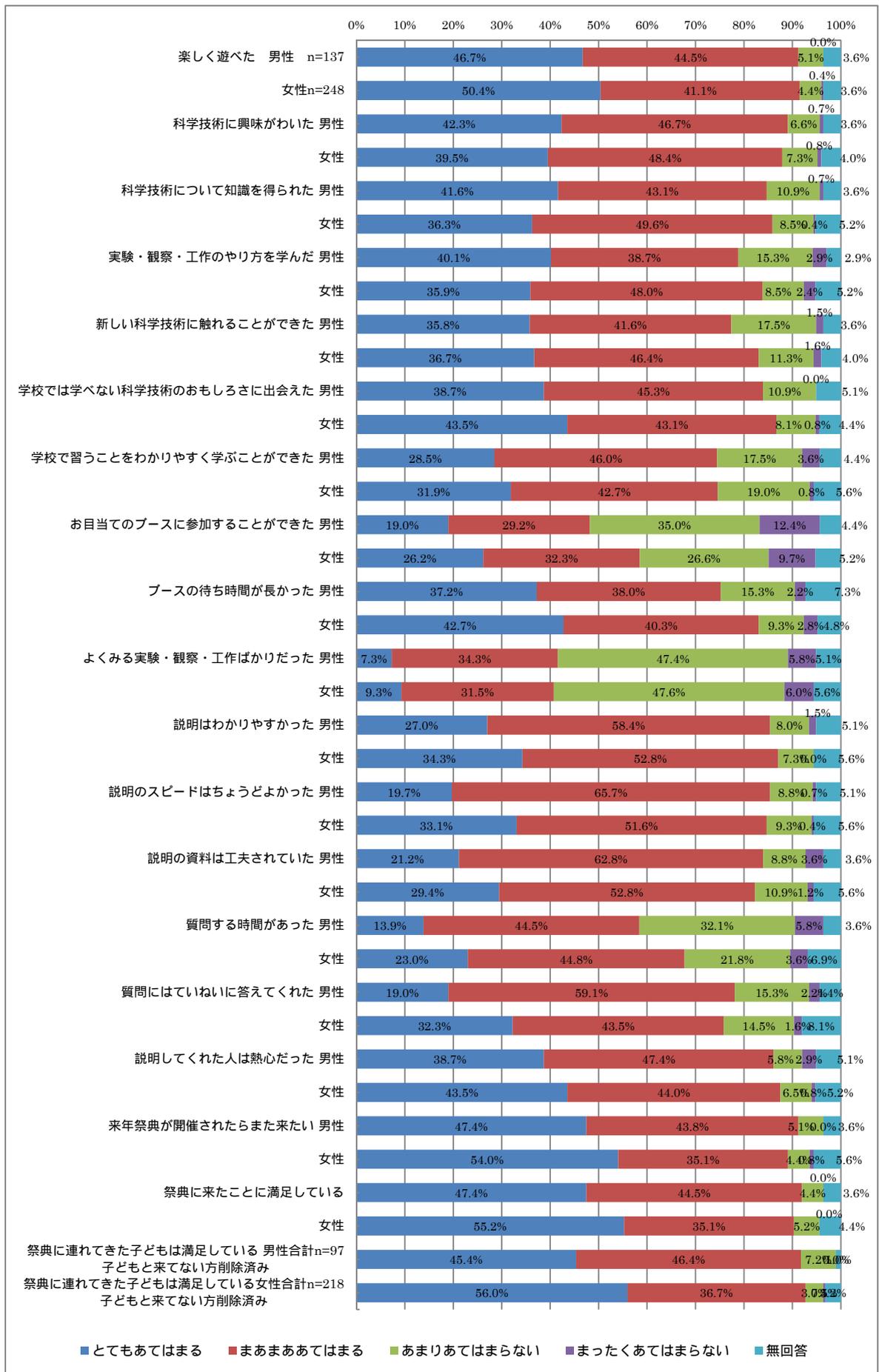
・考察

「とても役に立っている」との回答が74.1%で、「まあまあ役に立っている」と合わせると9割を超えており、電気は社会全体に役に立っているとの認識を持っているものと思われる。

Q2-11 祭典全体を通して、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	子どもと来ていない
a. 楽しく遊べた	1	2	3	4	
b. 科学技術に興味があった	1	2	3	4	
c. 科学技術について知識を得ることができた	1	2	3	4	
d. 実験・観察・工作のやり方を学んだ	1	2	3	4	
e. 新しい科学技術にふれることができた	1	2	3	4	
f. 学校では学べない科学技術のおもしろさに出会えた	1	2	3	4	
g. 学校で習うことをわかりやすく学ぶことができた	1	2	3	4	
h. お目当てのブースに参加することができた	1	2	3	4	
i. ブースの待ち時間が長かった	1	2	3	4	
j. よくみる実験・観察・工作ばかりだった	1	2	3	4	
k. 説明はわかりやすかった	1	2	3	4	
l. 説明のスピードはちょうどよかった	1	2	3	4	
m. 説明の資料は工夫されていた	1	2	3	4	
n. 質問する時間があった	1	2	3	4	
o. 質問にはていねいに答えてくれた	1	2	3	4	
p. 説明してくれた人は熱心だった	1	2	3	4	
q. 来年祭典が開催されたらまた来たい	1	2	3	4	
r. 祭典に来たことに満足している	1	2	3	4	
s. 祭典につれてきた子どもは満足している	1	2	3	4	5





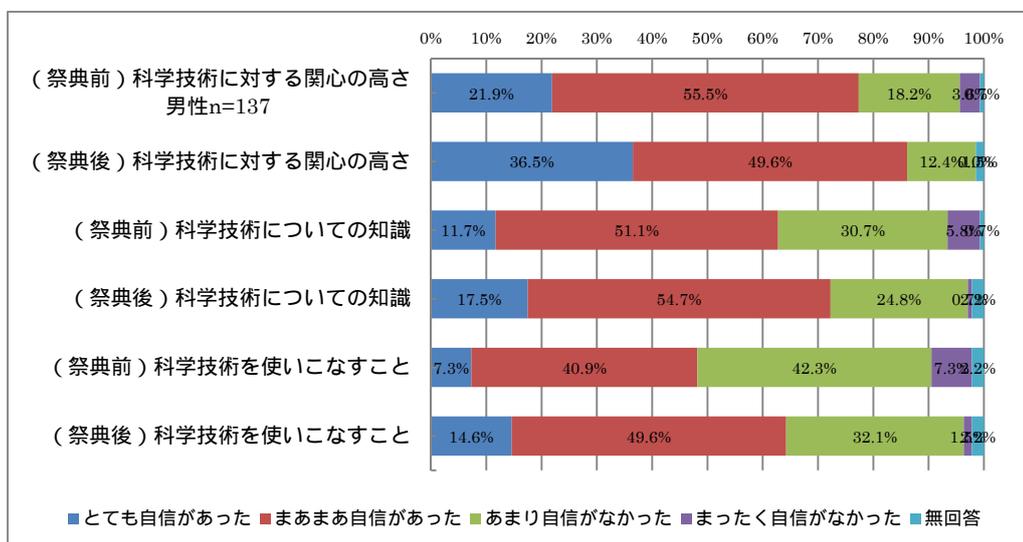
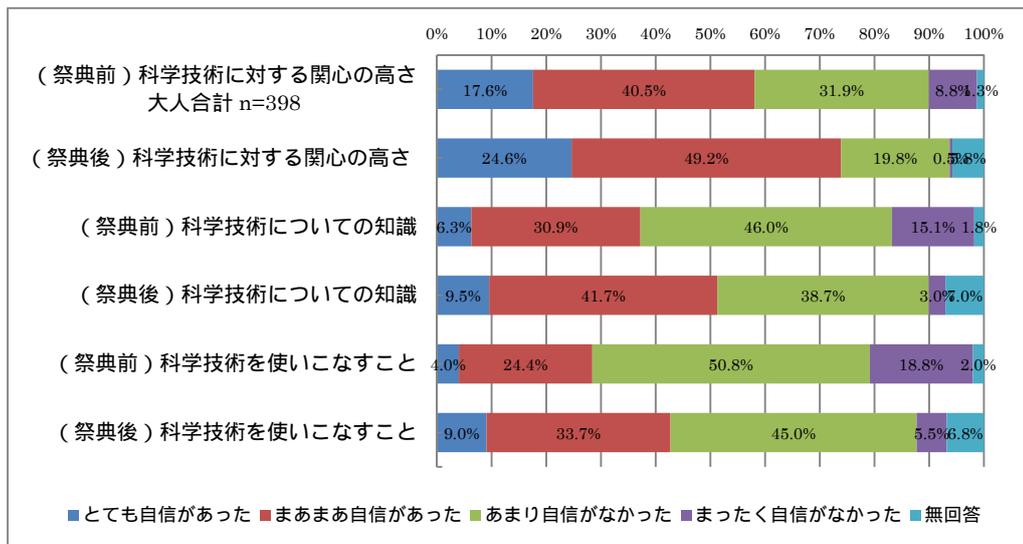
・考察

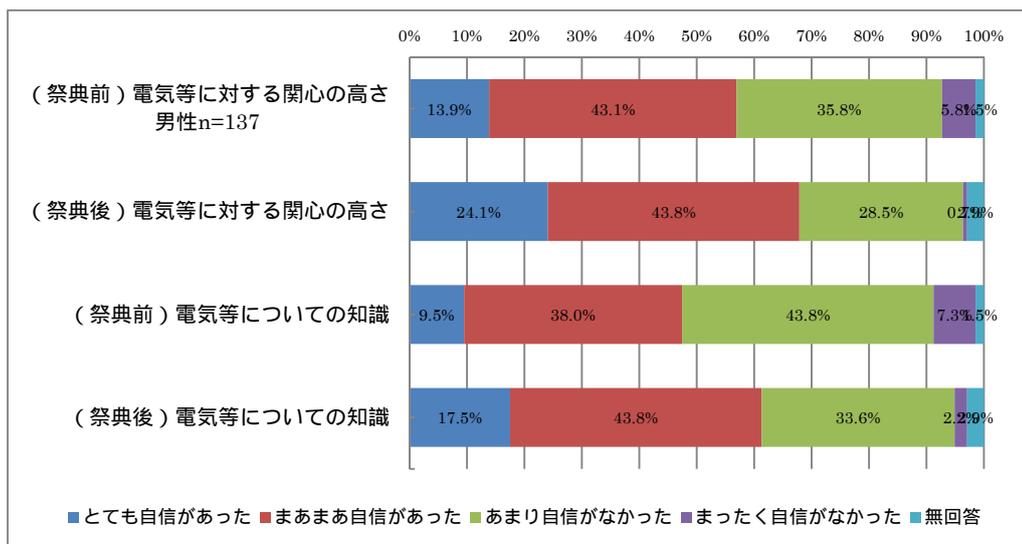
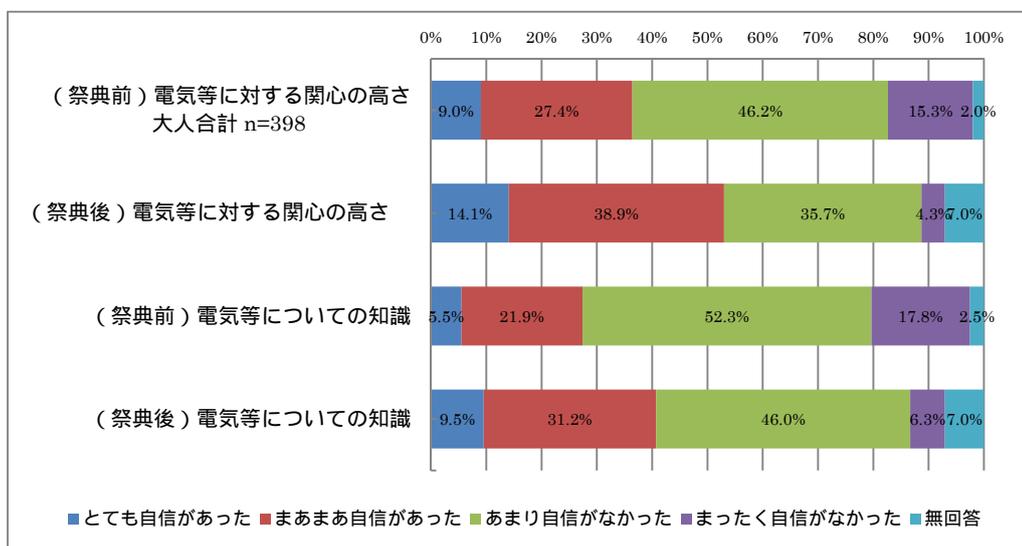
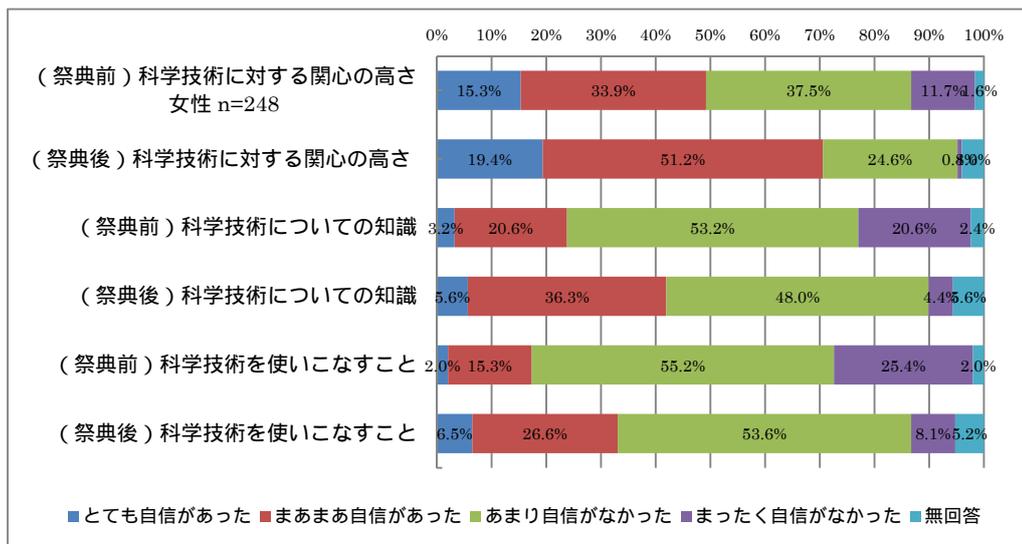
大人全体で 50%を超えたのは、「とてもあてはまる」では「祭典に来たことに満足している」「祭典に連れてきた子どもは満足している」「来年祭典が開催されたらまた来たい」の 3 つであり、祭典に対してとてもポジティブな認識を持たれていることが窺える。「まあまああてはまる」では「説明のスピードはちょうどよかった」「説明の資料は工夫されていた」「説明はわかりやすかった」の 3 つであり、説明に関して満点ではないけれども、良い印象を持たれているようだ。「お目当てのブースの参加することができた」は 54.6%が「あてはまる」と回答している。一方、ネガティブな回答としては「ブースの待ち時間が長かった」に「とてもあてはまる」が 41.2%、「まあまああてはまる」が 38.7%と待ち時間に関してはあまり良い印象を持っていないようだ。

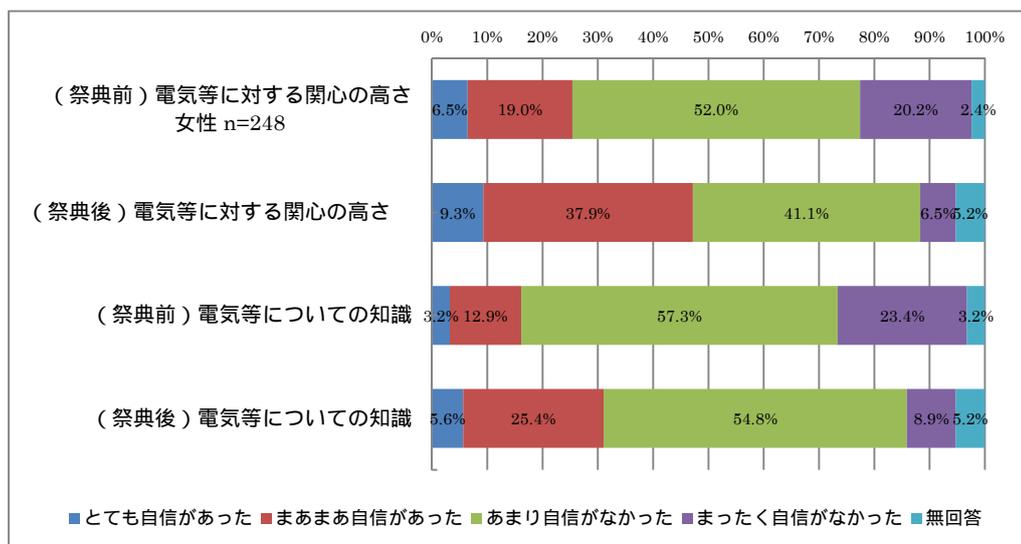
男女別で 10 ポイント以上差がついた項目では、「説明のスピードはちょうどよかった」に「とてもあてはまる」、「質問にはいてねいに答えてくれた」に「とてもあてはまる」、「祭典に連れてきた子どもは満足している」の「とてもあてはまる」があり、他の回答をみても「とてもあてはまる」と回答した女性が多い傾向にあることが窺える。

Q2-12 祭典全体を見学した上で、再度お聞きします。今、あなたは次のことがらにどれくらい自信がありますか。あてはまる番号に 1 つずつ〇をつけてください。

	とても自信がある	まあまあ自信がある	あまり自信がない	まったく自信がない
a. 科学技術に対する関心の高さ	1	2	3	4
b. 科学技術についての知識	1	2	3	4
c. 科学技術を使いこなすこと	1	2	3	4
d. 電気等に対する関心の高さ	1	2	3	4
e. 電気等についての知識	1	2	3	4







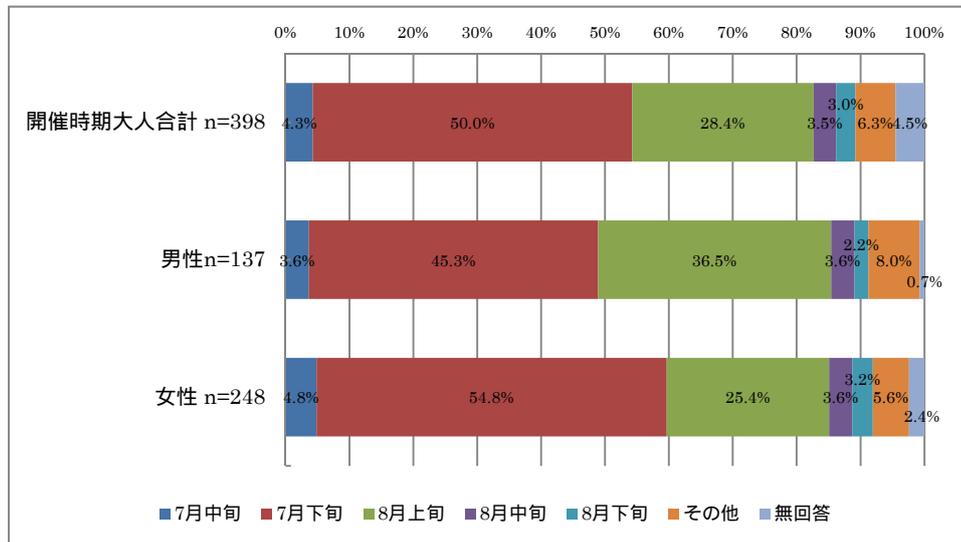
• 考察

祭典前と比べると、祭典後の自信度はどの項目も上がっており、「まったく自信がなかった」の減少がはっきり見て取れる。男女別では、特に男性の「科学技術に対する関心の高さ」で「とても自信があった」が 14.6%も増え、反対に祭典後では「まったく自信がなかった」が 0.0%になっている。他の項目でも自信度が増えており、祭典に来たことで自信を強めたことが窺われる。また、女性はすべての項目で「まったく自信がなかった」が 10.9%~17.3%と 10 ポイント以上減っている。他方、「とても自信があった」が 2.4%~4.5%の微増であるのに対し、「まあまあ自信があった」は 11.3%~18.9%と 10 ポイント以上増えており、祭典に来たことで女性も自信を強めたことが窺われる。

Q2-13 「科学の祭典」の開催時期は、いつがいいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、下の()内に理由もお書きください。

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| 1 | 7月中旬 | 3 | 8月上旬 | 5 | 8月下旬 |
| 2 | 7月下旬 | 4 | 8月中旬 | 6 | その他 |

(理由：)



★開催時期を選んだ理由 (数字は件数)

- 7月中旬：学校の宿題に追われることのないように、少しでも涼しい 1
- 7月下旬：夏休みに入ってすぐがいい 25、夏休みだから 19、いつもと同じだと計画がたてやすい 15、夏休みで子どもが参加しやすいから 13、夏休みの自由研究、宿題に最適 10
- 8月上旬：夏休みだから 12、学校行事と重ならない 4、夏休みの自由研究、宿題に最適 3、いつもと同じだと計画がたてやすい 3
- 8月中旬：塾と重ならない 1、夏休みに入って一息つける 1
- 8月下旬：少しは涼しい 2
- その他：できるだけ暑くない時期がいい 12

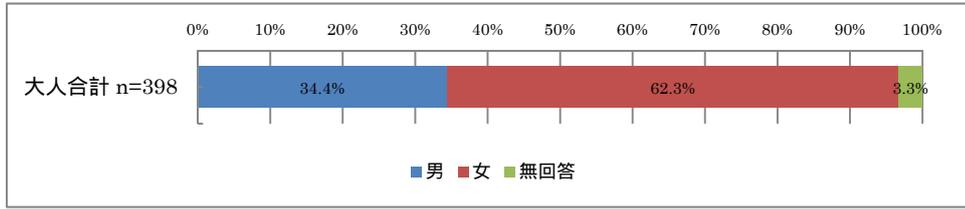
・考察

この時期に来場している人たちへのアンケート結果なので当然な部分があるかもしれないが、今の開催時期である7月下旬と8月上旬の回答が4分の3を超えている。しかし、それ以外の時期を回答したのもあり、理由では、暑くない時期、学校の行事や塾と重ならない時期などが挙げられている。

3) あなた自身についてお聞きします。

Q3-1 あなたの性別について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 男 2 女

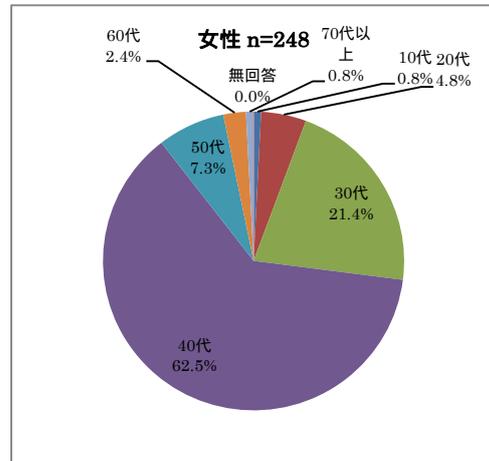
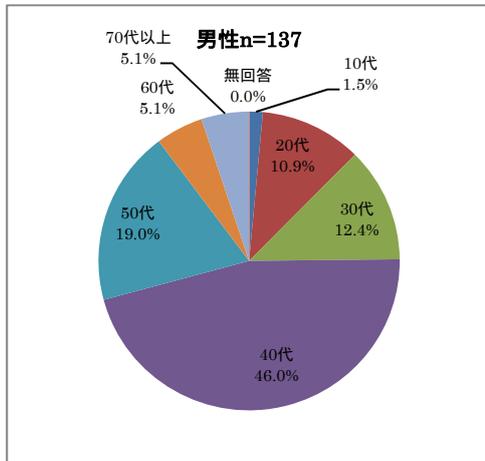
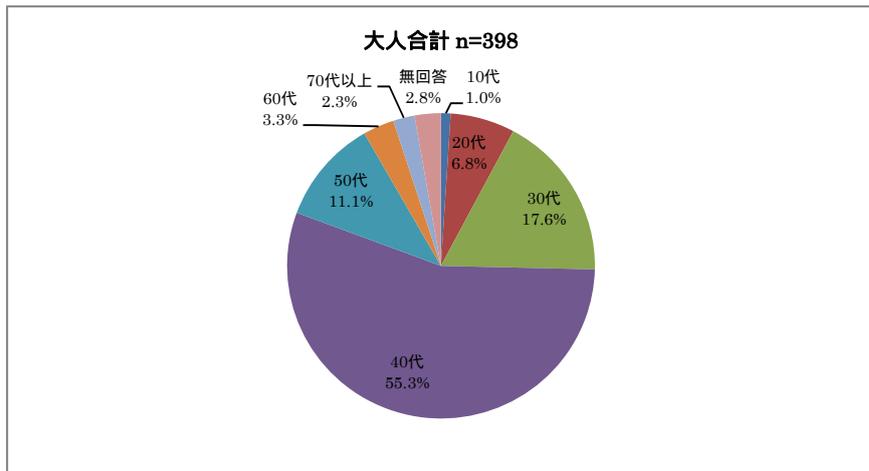


・考察

女性の回答者が男性の1.8倍程度と多くっており、たぶん子供を連れてきた母親が多いものと思われる。

Q3-2 あなたの年代について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 10代 3 30代 5 50代 7 70代以上
 2 20代 4 40代 6 60代



・考察

小中学生のお子さんがある世代と思われる40代が圧倒的多数を占めている。男性は40~50代が多いのに比べ、女性は30~40代が多くなっている。男性の60代以上は10%を超えており、お孫さんを連れて来場されたと思われる。

Q3-3 あなたが現在住んでいるところについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1
2
3

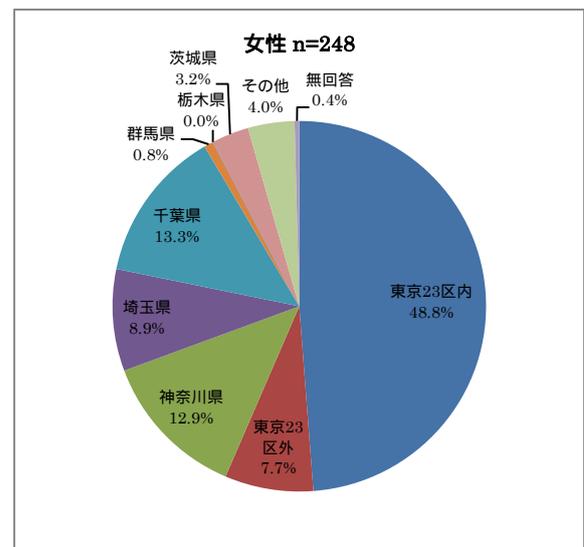
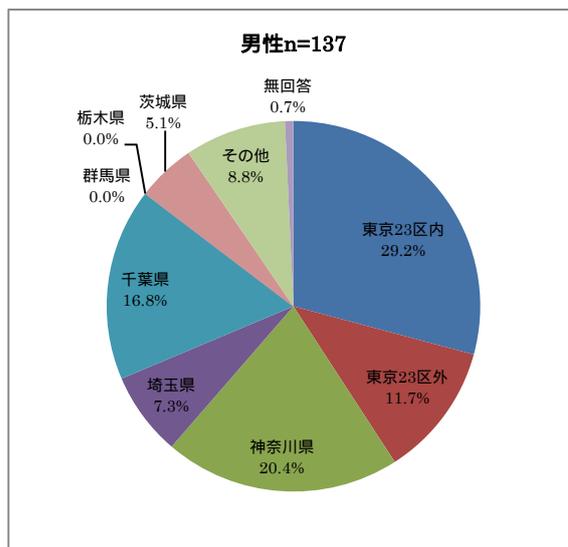
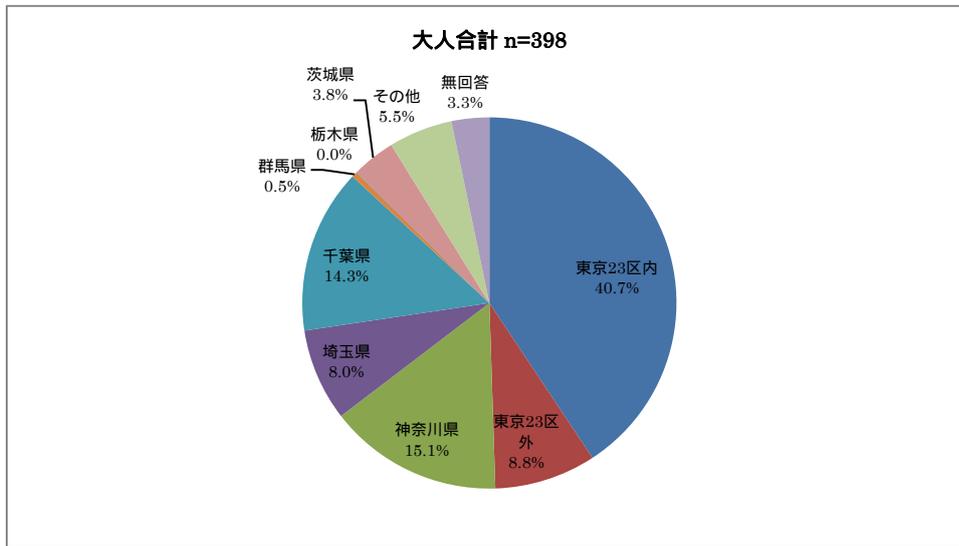
東京23区内
東京23区外
神奈川県

4
5
6

埼玉県
千葉県
群馬県

7
8
9

栃木県
茨城県
その他（具体的に：)



※「9その他」（数字は件数）

愛知県3、静岡県3、富山県2、韓国2、岡山県1、岩手県1、京都府1、広島県1、香川県1、高知県1、佐賀県1、山梨県1、大阪府1、福岡県1

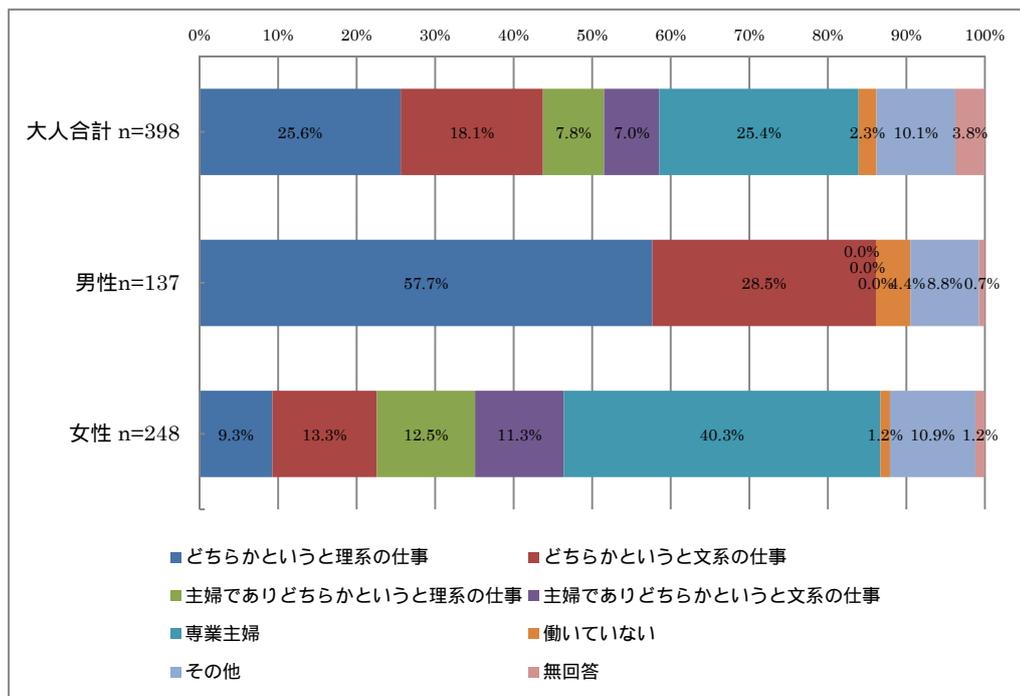
・考察

東京都から来場しているとの回答が約半数で、23区内は4割を占めている。2位以下は神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県の順番で近県が占めている。

男女別では、女性のほぼ半数が23区内と回答したのに比べ、男性は23区内は3割に満たず神奈川県や千葉県といった近県から来場していることが窺える。

Q3-4 あなたの職業について、あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。また、() 内に職業名をお書きください。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | どちらかというと理系の仕事に従事（具体的な職業名：) |
| 2 | どちらかというと文系の仕事に従事（具体的な職業名：) |
| 3 | 主婦でありかつどちらかというと理系の仕事に従事（具体的な職業名：) |
| 4 | 主婦でありかつどちらかというと文系の仕事に従事（具体的な職業名：) |
| 5 | 専業主婦 |
| 6 | 働いていない |
| 7 | その他 () |



- * どちらかというと理系の仕事に従事（以下数字は件数）
具体的な職業名：教員 44、SE 3、医療品開発 4、建設関係 3、情報システム 3、電気関係 3、医師・看護師 2、薬剤師 2、製造技術 2
- * どちらかというと文系の仕事に従事
具体的な職業名：事務職 10、教員 6、営業 3、公務員 3、会計 3、金融 1、証券 1、通訳 1、特許 1、福祉 1
- * 主婦でありかつどちらかというと理系の仕事に従事
具体的な職業名：看護師 4、臨床医師 2、事務職 2、理科教員 1、美容 1、NPO 1、鮮魚 1
- * 主婦でありかつどちらかというと文系の仕事に従事
具体的な職業名：事務職 6、スポーツインストラクター 1、ピアノ教師 1、介護 1、出版 1、通信教育指導 1、法律 1
- * その他
学生 7、教員 5、保育士 2、ボランティア 2、幼稚園教員 1、児童館職員 1

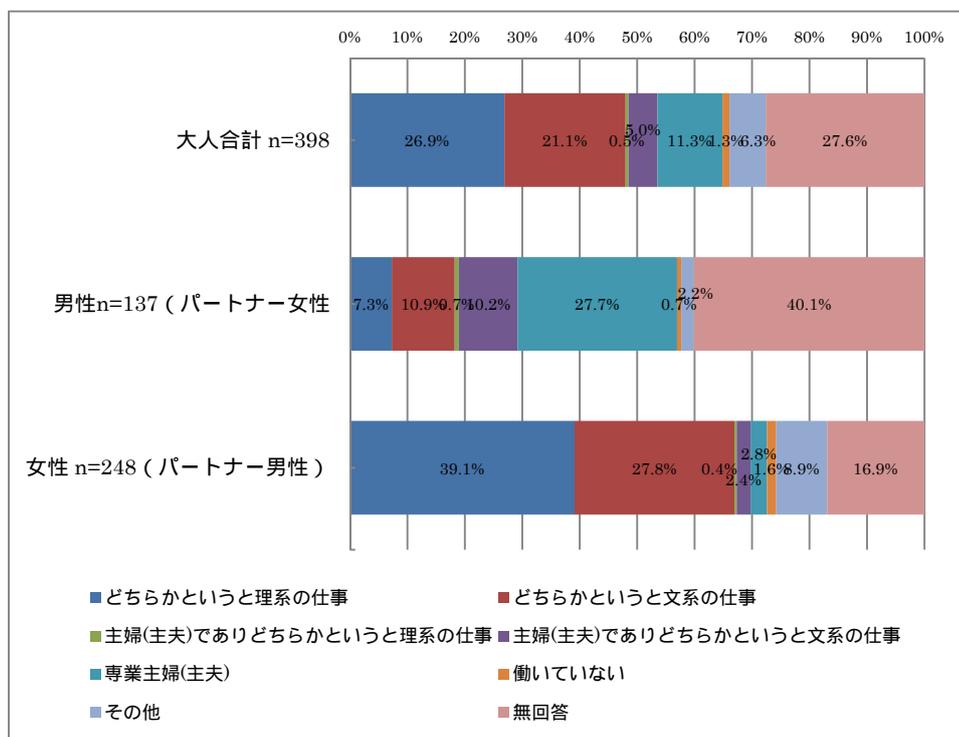
・考察

全体では、「どちらかというと理系の仕事」に従事している人が多いことが窺える。男性は「どちらかというと理系の仕事」が57.7%と「どちらかというと文系の仕事」の28.5%の倍以上の回答があった。男性に比べ、女性の選択肢が多いため、単純な比較にはならないが、「専業主婦」が40.3%と4割を占め、仕事の面では文系の方がやや多い回答となっている。

しかし、理系か文系かとの問いに対して必ずしも明確に回答できない仕事もあり、具体的な職業名として「事務職」は両方に現れている。また「教員」はどちらとも判断できなかったのか「その他」の項目にも挙げられている。今回のアンケートでは具体的な職業として特に挙げられていないが、第一次産業やサービス業に従事している人たちやスポーツ選手や芸術家等も両方に現れるのではないだろうか。

Q3-5 お子さんと来場された方にお聞きします。あなたのパートナーの方の職業について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、() 内に職業名をお書きください

- | | | |
|---|----------------------------------|---|
| 1 | どちらかというと理系の仕事に従事（具体的な職業名： |) |
| 2 | どちらかというと文系の仕事に従事（具体的な職業名： |) |
| 3 | 主婦でありかつどちらかというと理系の仕事に従事（具体的な職業名： |) |
| 4 | 主婦でありかつどちらかというと文系の仕事に従事（具体的な職業名： |) |
| 5 | 専業主婦 | |
| 6 | 働いていない | |
| 7 | その他（ |) |



- * どちらかというと理系の仕事に従事（以下数字は件数）
 具体的な職業名：電気関係 6、教師 4、エンジニア 4、医薬開発 4、SE 4、歯科医師 3、
 医師 2、建設・建築業 2、光学 2、設計・設備 2、製造業 2、IT 1、
 印刷 1、環境 1、自動車 1、水道 1
- * 主婦でありかつどちらかというと文系の仕事に従事
 具体的な職業名：事務 2、ヘルパー 1、営業 1、花デザイナー 1、経理 1

・考察
 全体と男性の回答では「無回答」が一番多くなっていて、特に男性から見たパートナーの仕事については4割が「無回答」である。パートナーの仕事が「どちらかというと理系」なのか「どちらかというと文系」なのかを判断できなかったためと思われる。

4) 最後に皆様の感想をお書きください。

Q4-1 祭典全体を通して、良かったところ、悪かったところ等を下の空欄に書いてください。

1)良かったところ

()

※主な意見（数字は件数）

- いろいろなブースがあり楽しめた 148
- 説明が丁寧でわかりやすかった 18
- 無料で遊べる 10
- 出展者の熱意を感じた 9
- 学生の出展者が活躍していた 9

2)悪かったところ

()

※主な意見（数字は件数）

- 混雑、待ち時間が長い 124
- 整理券がないと参加できない 51
- 抽選が多い 25
- 開催期間が短い 12
- 実験集が有料になった 5
- 大人も参加したい 5
- 小さい子どもにはむずかしい 4
- 冷房が利きすぎる 4
- アンケートが長い 2

3)祭典でやってほしい実験・観察・工作等

()

※主な意見（数字は件数）

- 身近な材料の実験・工作 9
- 子どもも大人も興味をもてそうなもの 8
- 生物 6
- 宇宙・天文 5
- 地学 4
- 人体 3
- ブラネタリウム 3
- 鉱物 2
- 食 2
- Mr. マサックショー 2

• 考察

出展ブースが多く、いろいろ楽しめたのが良かったようだ。しかし、来場者が多くて混雑し、参加できなかったり、参加できたとしても待ち時間が長いことが悪い点として挙げられており、改善が求められている。実験集の有料化に関しては5名の方が良くなかったと回答している。また、2名の方がアンケートの量が長いと回答している。

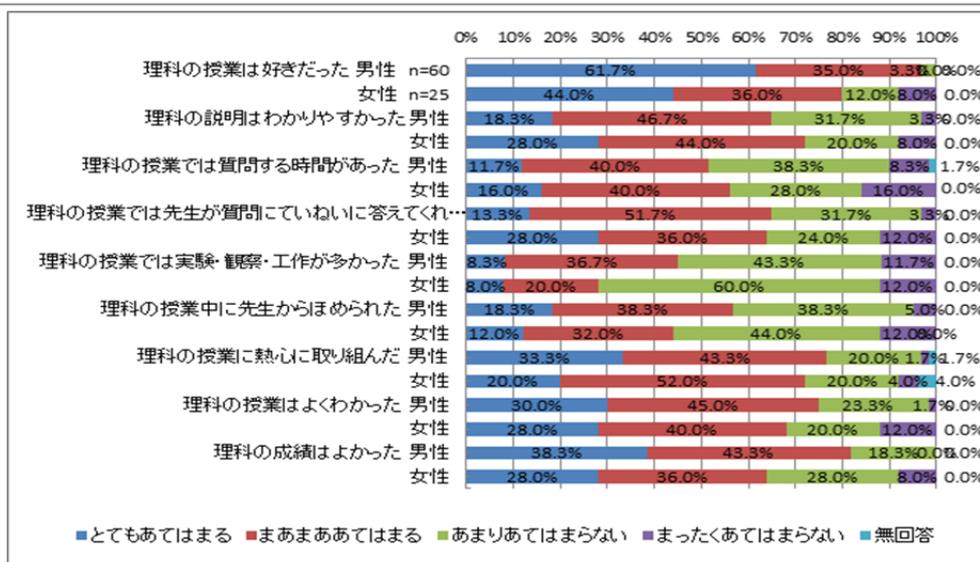
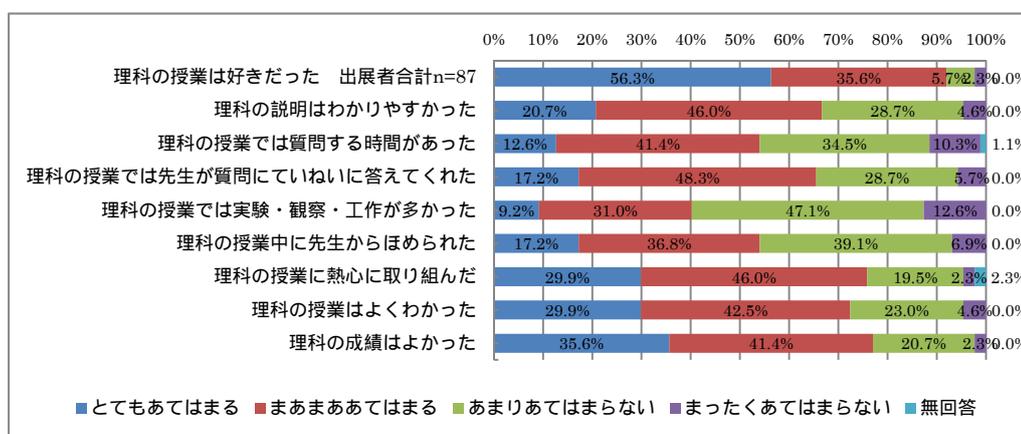
次回の祭典では「身近な材料の実験・工作」や「子どもも大人も興味をもてそうなもの」をもっと取り扱って欲しいようだ。

2-3 出展者アンケート調査

1) 「青少年のための科学の祭典」に出展する前のことについてお聞きします。

Q1-1 あなたが学校に通っていた時のことについてお聞きします。学校の理科の授業について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりましたか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 理科の授業は好きだった	1	2	3	4
b. 理科の授業の説明はわかりやすかった	1	2	3	4
c. 理科の授業では質問する時間があった	1	2	3	4
d. 理科の授業では先生が質問にいていねいに答えてくれた	1	2	3	4
e. 理科の授業では実験・観察・工作が多かった	1	2	3	4
f. 科の授業中に先生からほめられた	1	2	3	4
g. 理科の授業に熱心に取り組んでいた	1	2	3	4
h. 科の授業はよくわかった	1	2	3	4
i. 理科の成績はよかった	1	2	3	4



・考察

「とてもあてはまる」と「まあまああてはまる」を合わせたポジティブ回答は、「理科の授業は好きだった」(91.9%)を筆頭に、「理科の成績は良かった」(77.0%)、「理科の授業に熱心に取り組んだ」(75.9%)、「理科の授業はよくわかった」(72.4%)と理科に対して前向きな姿勢を持っていた方が出展者として集まっていることが窺える。一方、自分自身が学校に通っていた頃に、「まったくあてはまらない」「あまりあてはまらない」との回答が多かったのは、「理科の授業では実験・観察・工作が多かった」(59.7%)で、その時できなかったことを、今の子どもたちに出演者として実演してみせて、理科の楽しさを伝えようとしていると思われる。

男女別ではポジティブ回答は男性の方が多い傾向があるが、女性が多かった項目は「理科の授業では先生が質問にいていねいに答えてくれた」(男子 13.3%に対し女子 28.0%)、「理科の説明はわかりやすかった」(男子 18.3%に対し女子 28.0%)であり、理科の授業ではいねいにわかりやすく説明してくれたと思っている女性の出展者が多いようである。

Q1-2 あなたが学校に通っていた時のことについてお聞きします。学校で理科を勉強することは、次のことに対してどれくらい役に立つと思っていましたか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

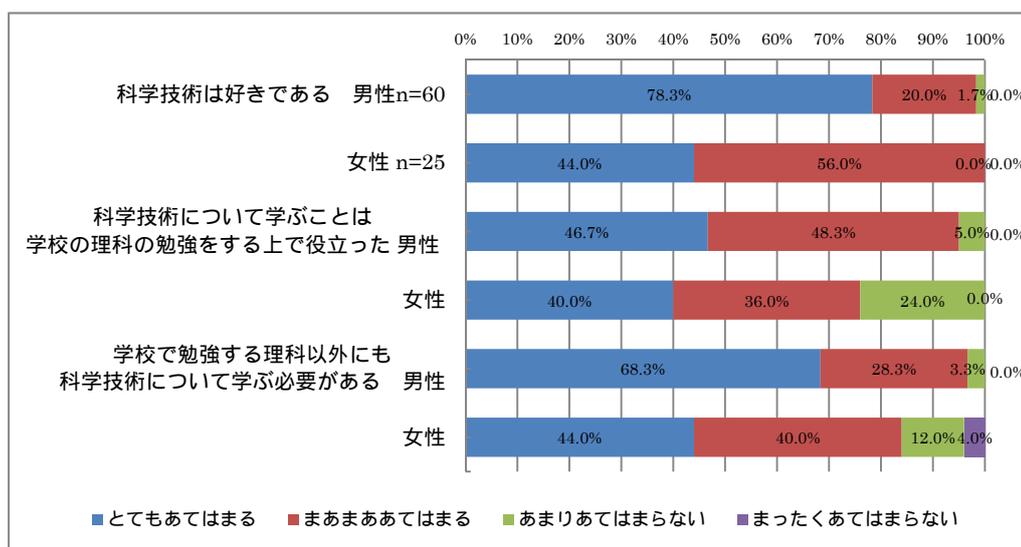
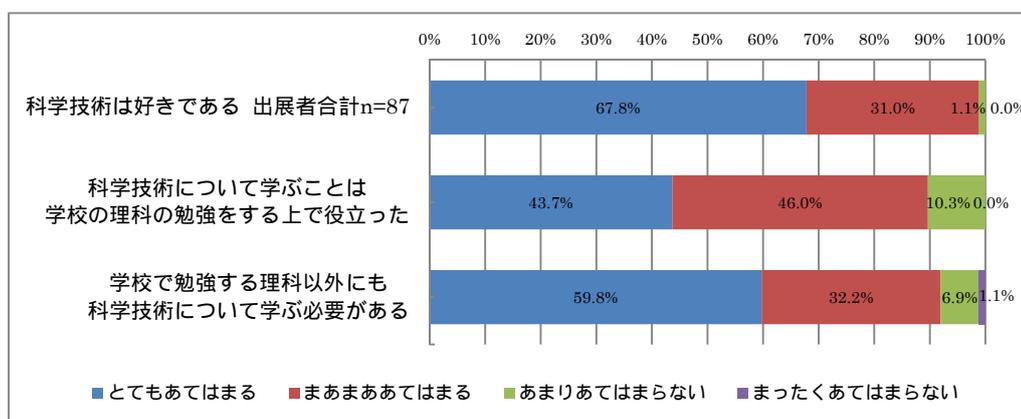
	とても役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役に立たない	まったく役に立たない
a. 受験	1	2	3	4
b. 将来、仕事につくこと	1	2	3	4
c. 日常生活や趣味	1	2	3	4
d. 様々な疑問を解決すること	1	2	3	4
e. 環境保護	1	2	3	4
f. 国の発展	1	2	3	4

★Q1-6にて示す

Q1-3 現在の考えをお聞きします。科学技術について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1	2	3	4	
1	2	3	4	
1	2	3	4	

- a. 科学技術は好きである
- b. 科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をする上で役立った
- c. 学校で勉強する理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある



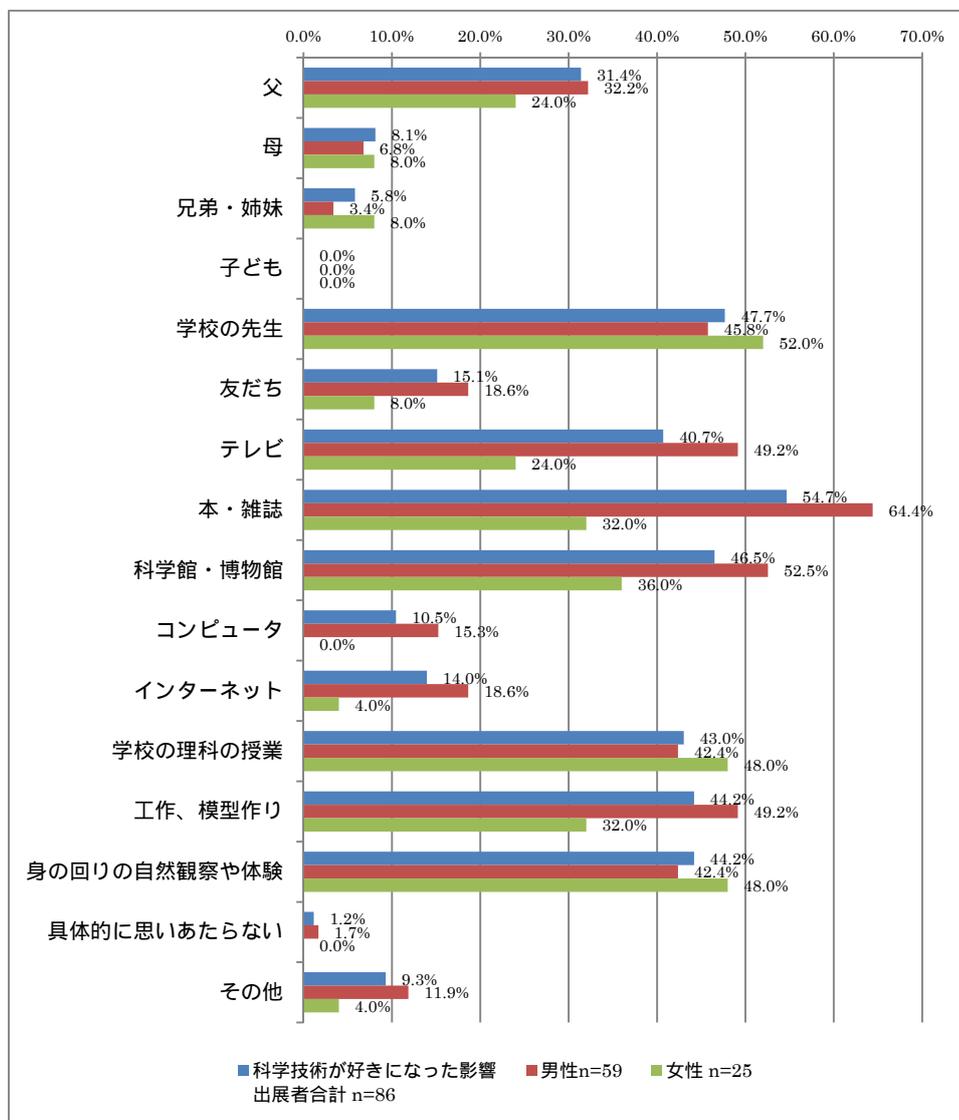
・考察

「科学技術は好きである」に「とてもあてはまる」(67.8%)、「まあまああてはまる」(31.0%)を合わせた回答は98.8%と100%に近い値であった。また、「科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をする上で役立った」については「とてもあてはまる」(43.7%)、「まあまああてはまる」(46.0%)と合わせて89.7%であり、1割ほどの回答者は役立ったとは思っていないようである。さらに、「学校で勉強する以外にも科学技術について学ぶ必要がある」との回答は、「とてもあてはまる」が6割近く、「まあまああてはまる」が3割近くあり、合わせると9割以上が、学校の勉強だけでは足りないと考えているようである。

男女の違いでは「科学技術は好きである」に「とてもあてはまる」と回答しているのが男性78.3%、女性44.0%と、科学技術に対する好意の度合いが大きく違っていた。また、「科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をする上で役立った」についてはポジティブ回答は男性が9割を超えていたのに対し、女性は76.0%であった。さらに、「学校で勉強する以外にも科学技術について学ぶ必要がある」との回答も差が出た。「とてもあてはまる」と回答しているのが男性68.3%なのに対し女性44.0%と低く、「まったくあてはまらない」との回答が女性で4.0%あった(男性は0.0%)。科学技術に関して必要と感じている知識に男女間で差があるようだ。

Q1-4 あなたが科学技術を好きだったり、好きではなかったりするの、どのような影響が大きかったと思いますか。
大きく影響されたと思う番号すべてに○をつけてください。

1	父	6	友だち	11	インターネット	16	その他
2	母	7	テレビ	12	学校の理科の授業		
3	兄弟・姉妹	8	本・雑誌	13	工作、模型作り		
4	子ども	9	科学館・博物館	14	身の回りの自然の観察や体験		
5	学校の先生	10	コンピュータ	15	具体的に思い当たらない		



・科学技術が好きではなくなった影響出展者合計 n=1 (男性)

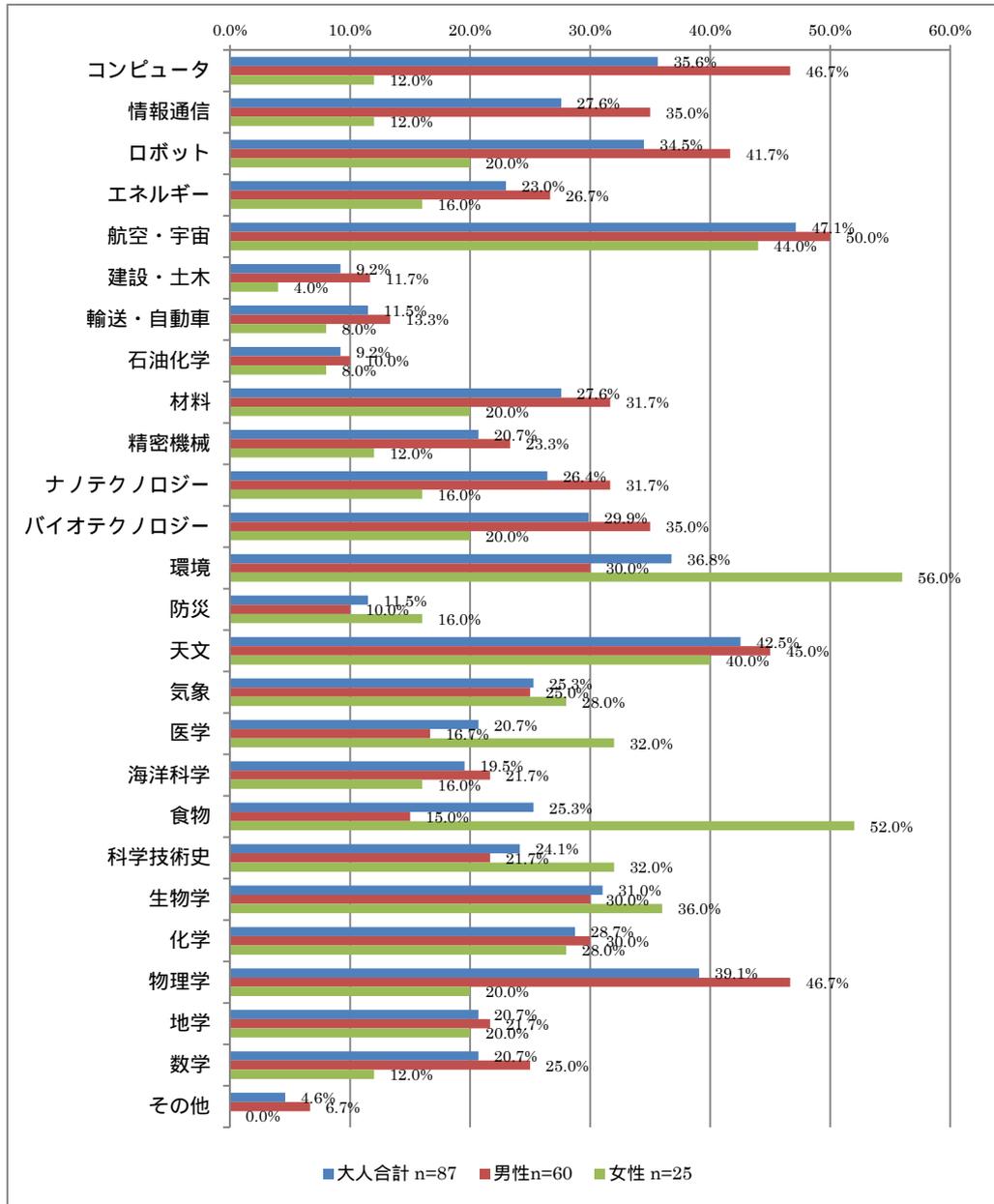
*子ども *工作

・考察

全体では「本・雑誌」「学校の先生」「科学館・博物館」と続く。「本・雑誌」の男女別では男性は女性の2倍以上であり、本や雑誌はそれを読もうと思った時点で既に興味があると考えられる。「学校の先生」は女性の方がやや男性を上回っており、「学校の理科の授業」も同じ傾向が見られる。

Q1-5 あなたの関心のある科学技術分野はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|--------------|---------|----------|--------|
| 1 コンピュータ | 7 輸送・自動車 | 13 環境 | 19 食物 | 25 数学 |
| 2 情報通信 | 8 石油化学 | 14 防災 | 20 動物・植物 | 26 その他 |
| 3 ロボット | 9 材料 | 15 天文 | 21 生物学 | |
| 4 エネルギー | 10 精密機械 | 16 気象 | 22 化学 | |
| 5 航空・宇宙 | 11 ナノテクノロジー | 17 医学 | 23 物理学 | |
| 6 建設・土木 | 12 バイオテクノロジー | 18 海洋科学 | 24 地学 | |



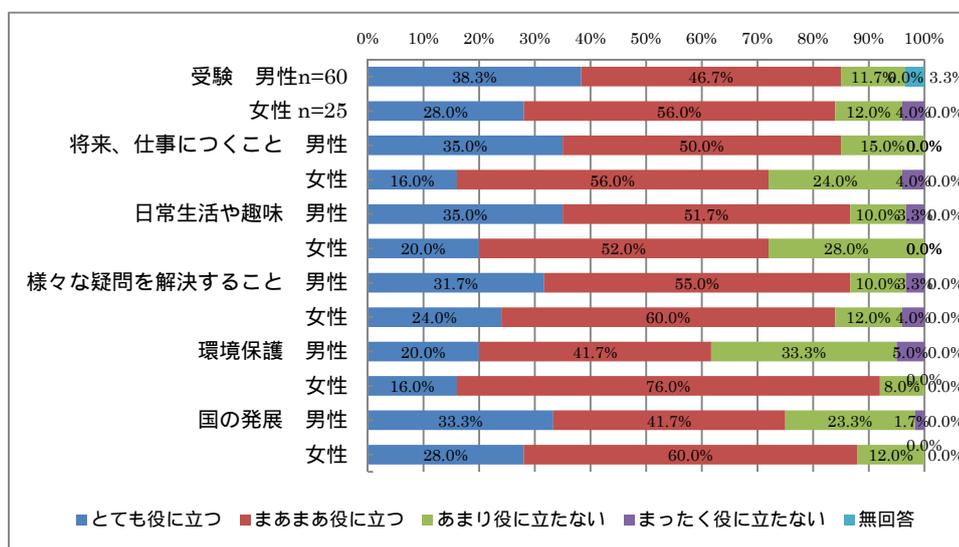
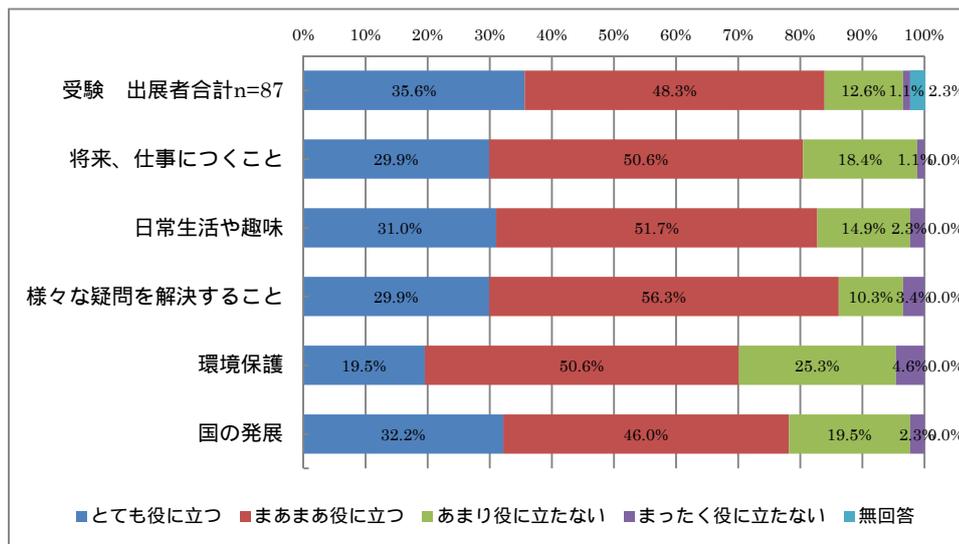
・考察

全体で4割を超えた「航空・宇宙」「天文」は男性の方が若干多いものの女性も高い関心を示している。男女別では男性の方が高い関心を示している項目（「コンピュータ」「物理学」「情報通信」「ロボット」など）が多い。一方、「食物」「環境」「医学」「科学技術史」は男性に比べて女性の関心が高くなっている。

Q1-6 現在の考えをお聞きます。科学技術を勉強することは、次のことに対してどれくらい役に立つと思っていますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とても役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役に立たない	まったく役に立たない
a. 受験	1	2	3	4
b. 将来、仕事につくこと	1	2	3	4
c. 日常生活や趣味	1	2	3	4
d. 様々な疑問を解決すること	1	2	3	4
e. 環境保護	1	2	3	4
f. 国の発展	1	2	3	4

★理科を学ぶ意義

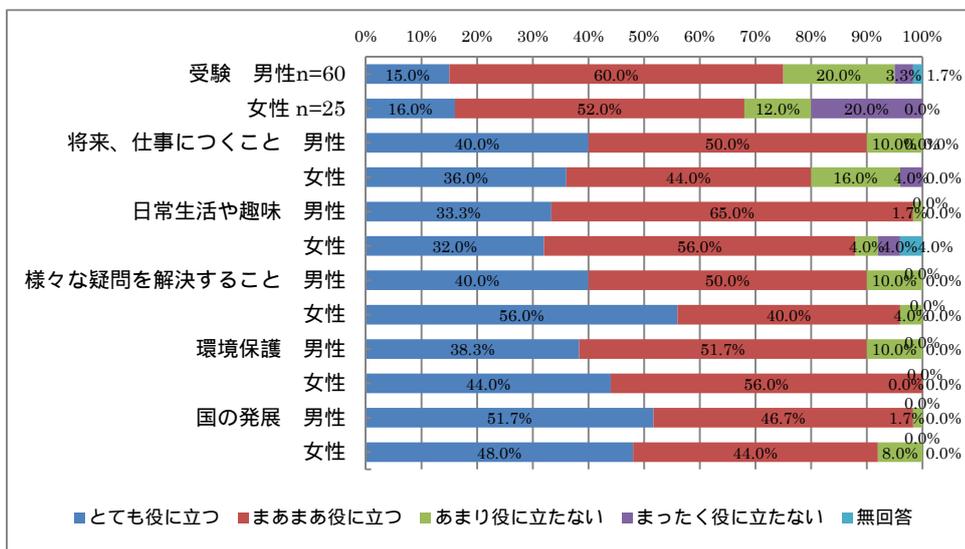
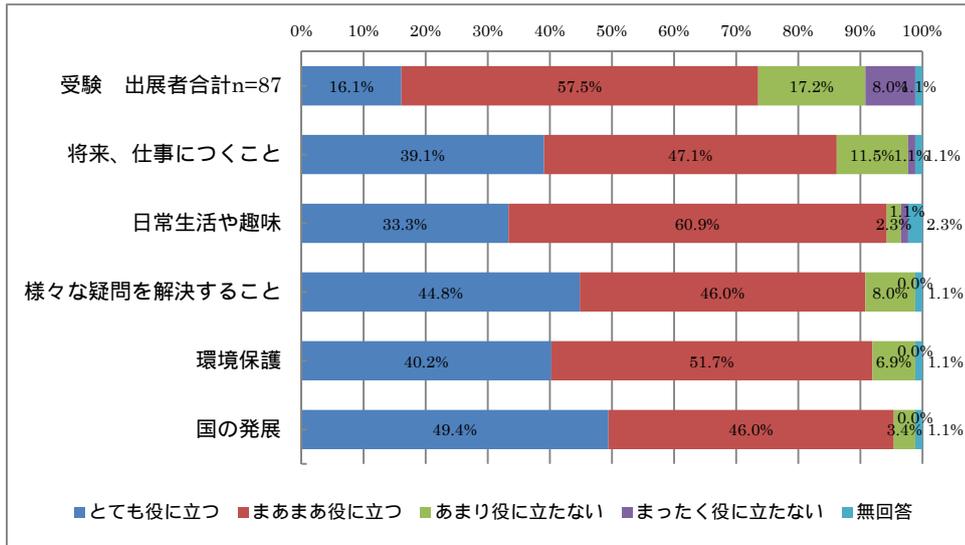


・考察

「とても役に立つ」「まあまあ役に立つ」を合わせて8割を超えたのは「様々な疑問を解決すること」「受験」「日常生活や趣味」「将来、仕事につくこと」の4つであった。「環境保護」に対しては7割が役に立つと回答している一方で、4.6%が「まったく役に立たない」25.3%が「あまり役に立たない」と回答しており、環境保護に対する理科の役割があまり見えていない部分があるように思われる。

男女別では「仕事」や「日常生活や趣味」の項目で男性の方が役に立つとの回答が多かった。「環境保護」や「国の発展」に対しては、役に立つとの回答は女性に多く男性は役に立っていないと感じているようである。次の科学技術の意義と比較すると「理科」と「科学技術」に対する捉え方の違いなのかもしれない。

★科学技術を学ぶ意義



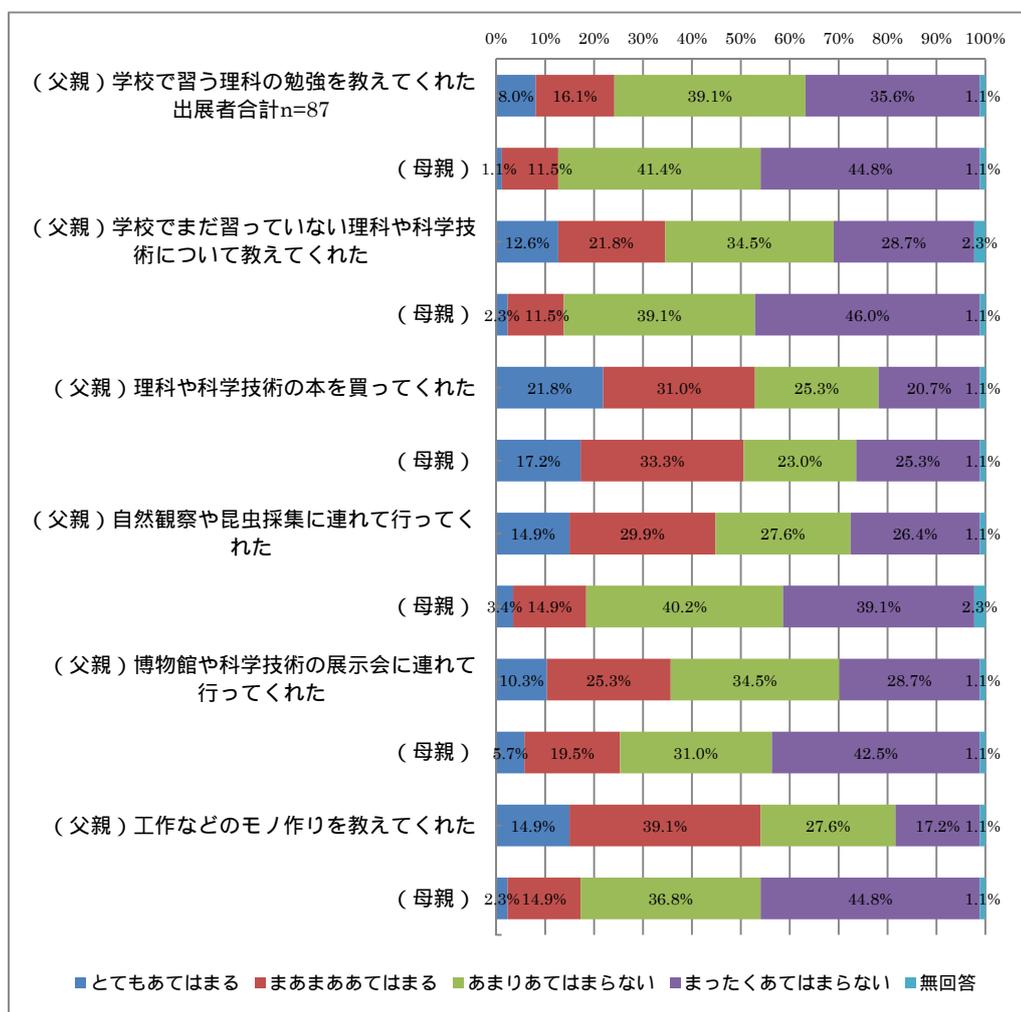
•考察

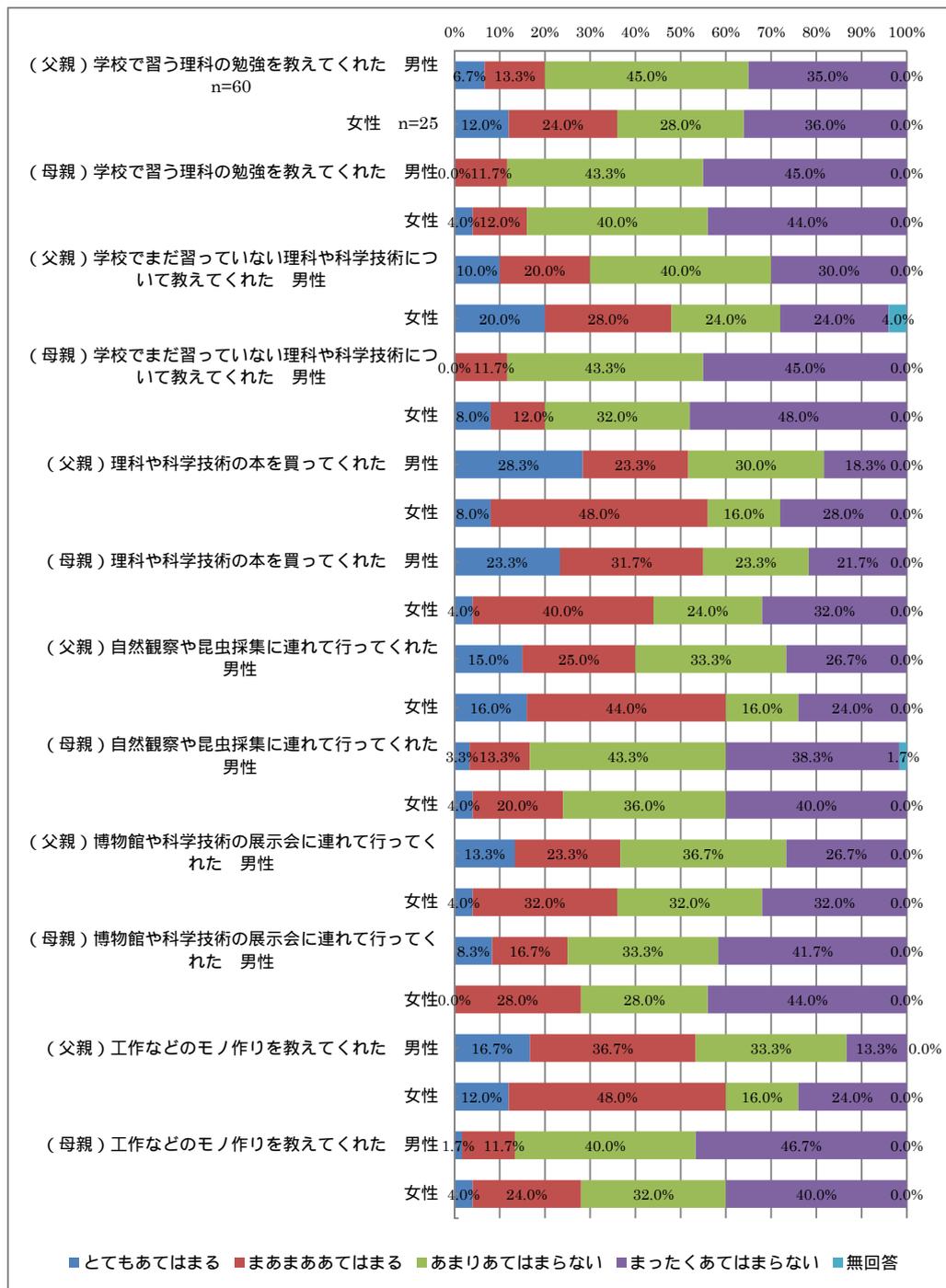
科学技術を学ぶ意義については、6項目のうち「受験」と「仕事」以外は、役に立つとの回答が9割を超えた。受験に関しては「まったく役に立たない」との回答が全体で8%であり、殊に女性の5人に1人が「まったく役に立たない」との回答している。

男女別ではほとんどの項目で男性の方が役に立つとの回答が多かったが、「様々な疑問を解決すること」や「環境保護」に対しては、役に立つとの回答は女性に多かった。

Q1-7 次のことからは、あなた自身にどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 父親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれた	1	2	3	4
b. 父親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた	1	2	3	4
c. 父親は、理科や科学技術の本を買ってくれた	1	2	3	4
d. 父親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれた	1	2	3	4
e. 父親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれた	1	2	3	4
f. 父親は、工作などのモノ作りを教えてくれた	1	2	3	4
g. 母親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれた	1	2	3	4
h. 母親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた	1	2	3	4
i. 母親は、理科や科学技術の本を買ってくれた	1	2	3	4
j. 母親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれた	1	2	3	4
k. 母親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれた	1	2	3	4
l. 母親は、工作などのモノ作りを教えてくれた	1	2	3	4





・考察

どちらかというと「まったくあてはまらない」が目立つグラフとなっている。「とてもあてはまる」「まあまああてはまる」を合わせて5割を超えているのは、「理科や科学技術の本を買ってくれた」(父親)(母親)「工作などのモノ作りを教えてくれた」(父親)の3項目だけであり、両親からの影響はあまりなかったようである。男女別では、男性に比べ、女性の方が「あてはまる」とのポジティブ回答が多い傾向が見受けられる。

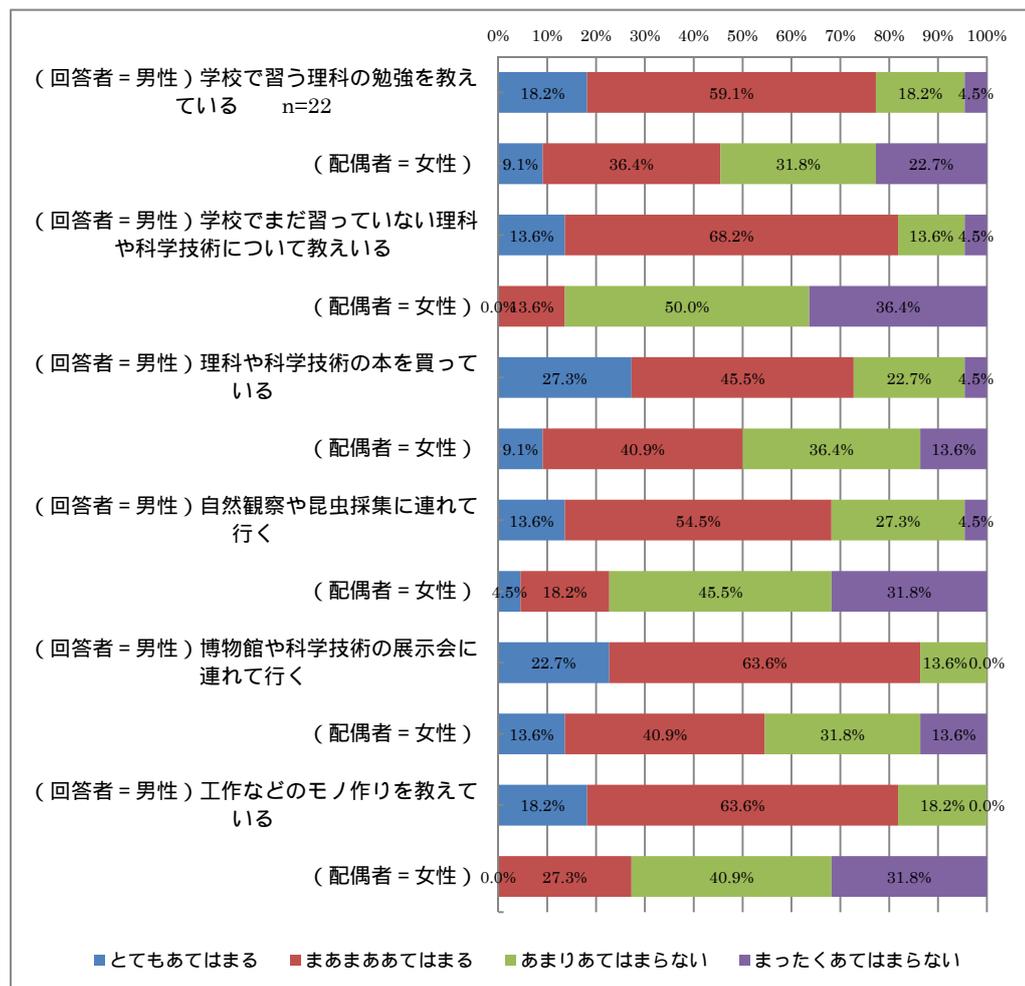
Q1-8 あなたには、現在、学校教育を受けているお子さんがいらっしゃいますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

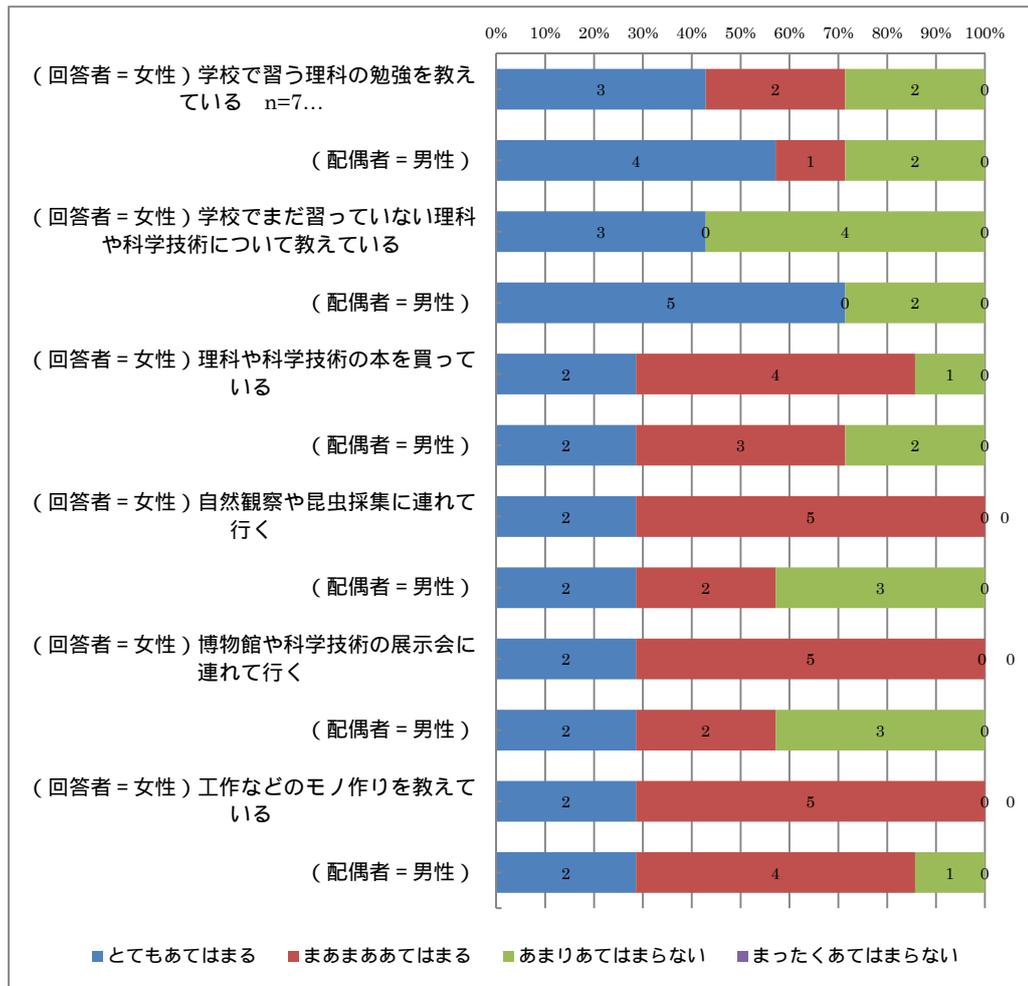
1 いる 2 いない

SQ1 Q1-8で「1 いる」と回答した方にお聞きします。理科や科学技術に関して、あなたと配偶者の方は、あなたのお子さんに対してどのようにかかわっていると思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
	1	2	3	4
a. (あなたは) 学校で習う理科の勉強を教えている	1	2	3	4
b. (あなたは) 学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えている	1	2	3	4
c. (あなたは) 理科や科学技術の本を買い与えている	1	2	3	4
d. (あなたは) 自然観察や昆虫採集に連れて行っている	1	2	3	4
e. (あなたは) 博物館や科学技術の展示会に連れて行っている	1	2	3	4
f. (あなたは) 工作などモノ作りを教えている	1	2	3	4
g. (あなたの配偶者は) 学校で習う理科の勉強を教えている。	1	2	3	4
h. (あなたの配偶者は) 学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えている	1	2	3	4
i. (あなたの配偶者は) 理科や科学技術の本を買い与えている	1	2	3	4
j. (あなたの配偶者は) 自然観察や昆虫採集に連れて行っている	1	2	3	4
k. (あなたの配偶者は) 博物館や科学技術の展示会に連れて行っている	1	2	3	4
l. (あなたの配偶者は) 工作などモノ作りを教えている	1	2	3	4

★現在学校教育を受けている子どもがいると答えた方（男性 n=22 女性 n=7）のみ SQ1 を回答



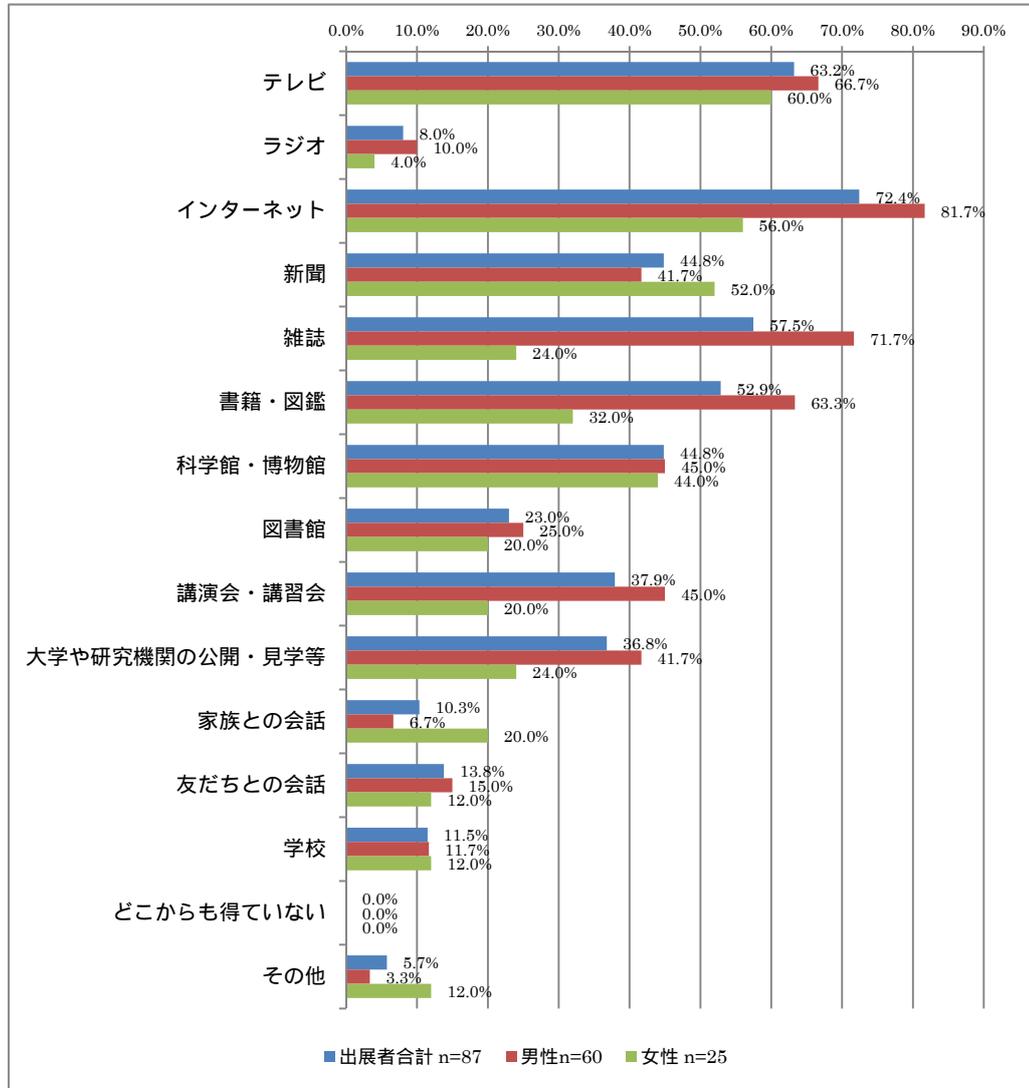


・考察

男性の回答者は、配偶者（女性）に比べて子どもの面倒を見ているとの回答が多かった。女性の回答者は母数が少ないため、単純に比較はできないが、面倒見は配偶者（男性）との違いはあまりないようである。

Q1-9 あなたは、ふだん科学技術に関する情報をどこから得ていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|----|--------------------|----|------------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌 | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍・図鑑 | 10 | 大学や研究機関の公開・見学イベント等 | 14 | どこからも得ていない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞 | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |

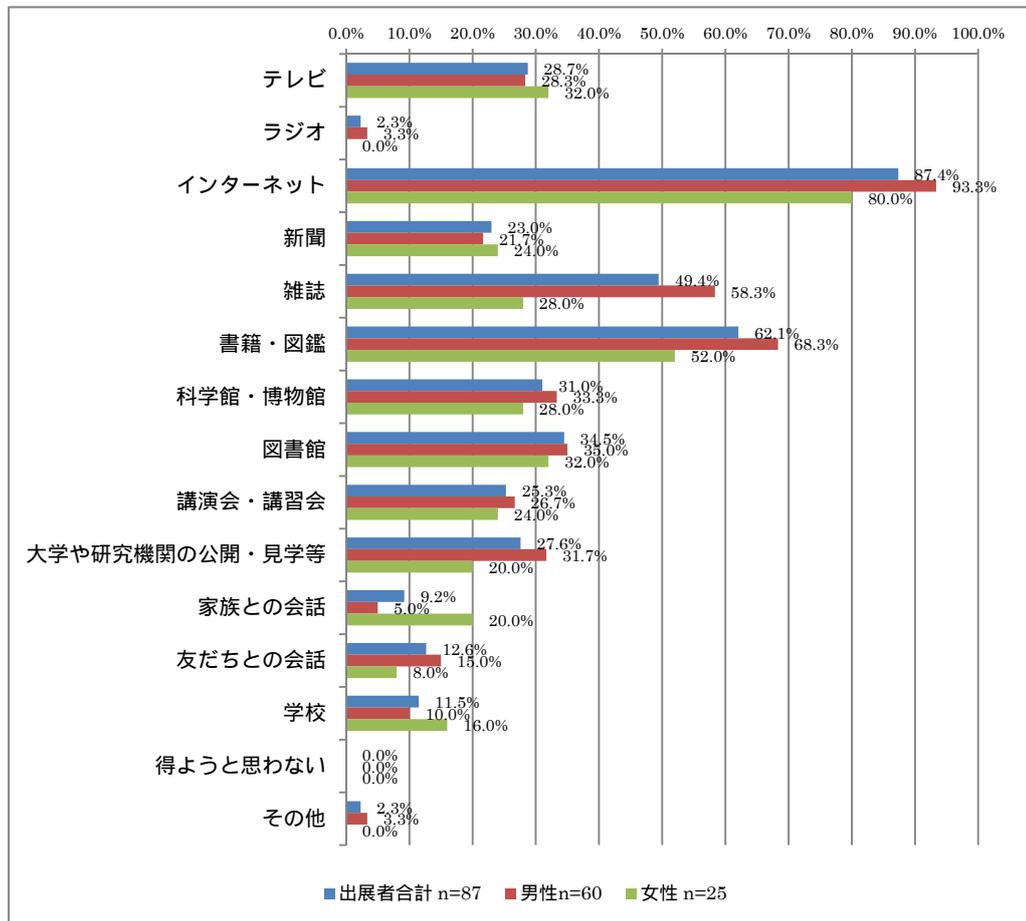


・考察

出展者全体では「インターネット」「テレビ」「雑誌」「書籍・図鑑」の順で、科学技術に関する情報を得ている。男女別では、ほとどの項目においても男性の方が高い回答率になっているが、「新聞」「家族との会話」「学校」の3つは女性の方が高い回答率になっている。普段から男性が積極的に多方面から情報収集をしているのに対し、女性は自分の身の回りで情報収集をしている傾向が窺える。

Q1-10 あなたは、科学技術に関する情報を知りたいとき、具体的にどのような手段で調べようと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|----|--------------------|----|----------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌 | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍・図鑑 | 10 | 大学や研究機関の公開・見学イベント等 | 14 | 得ようと思わない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞 | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |



・考察

男女ともに「インターネット」が8割を超えている。インターネットが情報収集をする身近な存在になっていることが窺える。次に多いのが、「書籍・図書」、「雑誌」と、インターネットが発展する前から存在する媒体が続いており、科学技術に関する情報を知りたい時にまだまだ必要な媒体と言える。前問に比べると「テレビ」の回答率が落ち込んでいる。知りたい情報を扱った番組がタイムリーに放映されるとは限らないなどいくつか理由があると思われる。

Q1-11 祭典に出展する前に、あなたは次のことがらにどれくらい自信がありましたか。あてはまる番号に1つずつ0をつけてください。

	とても 自信があった	まあまあ 自信があった	あまり 自信がなかった	まったく 自信がなかった
a. 科学技術に対する関心の高さ	1	2	3	4
b. 科学技術についての知識	1	2	3	4
c. 科学技術を使いこなすこと	1	2	3	4
d. 電気等に対する関心の高さ	1	2	3	4
e. 電気等についての知識	1	2	3	4

★Q2-12 にて示す

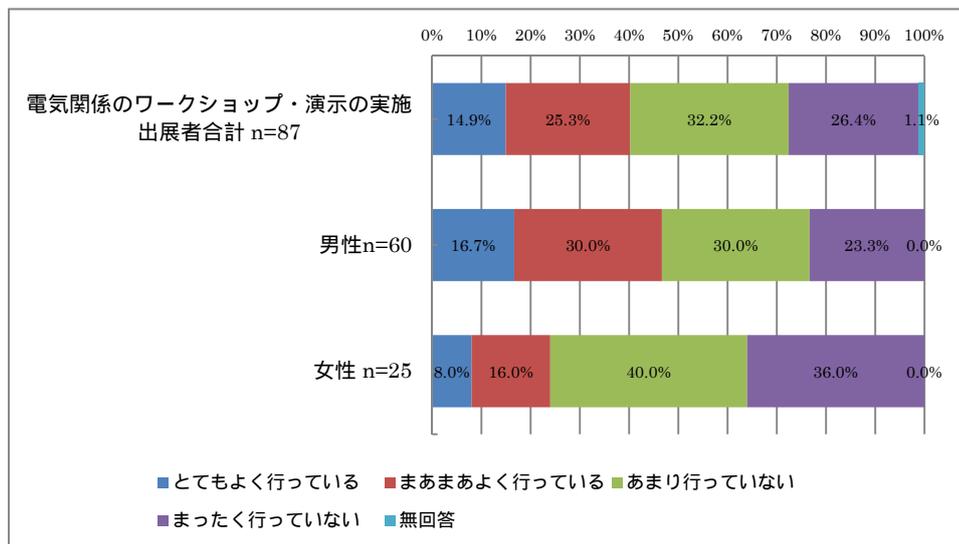
Q1-12 あなたは電気関係の演示やワークショップを行ったことがありますか。あてはまる番号に1つだけ0をつけてください。

1
2

 とてもよく行っている
まあまあ行っている

3
4

 あまり行っていない
まったく行っていない



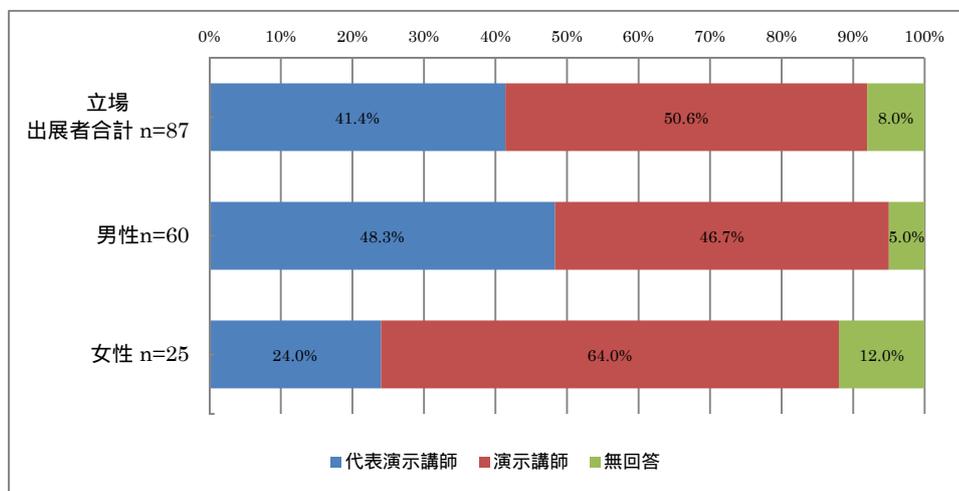
・考察

電気関係の演示やワークショップを「とてもよく行っている」のは男性に多く、全体では15%ほどである。「まあまあよく行っている」を合わせると、全体で約4割である。

2) 「青少年のための科学の祭典」に出展した後のことについてお聞きします。

Q2-1 あなたはどの立場に該当しますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 代表演示講師 2 演示講師

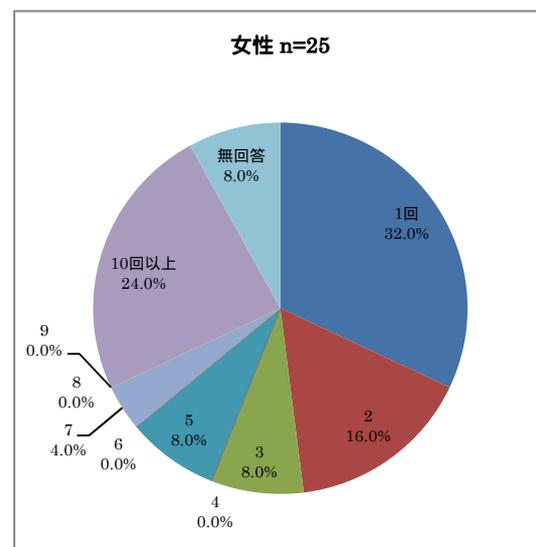
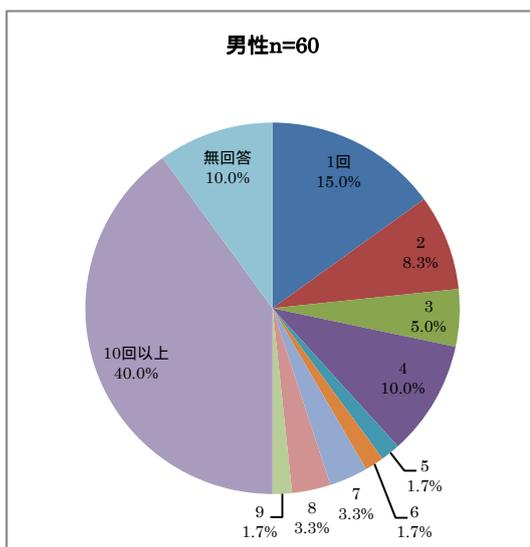
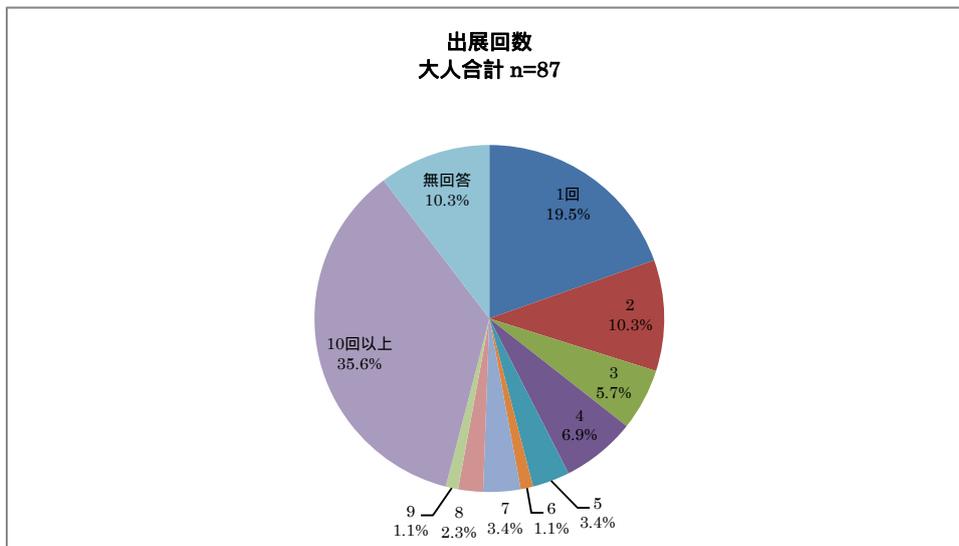


・考察

全体では、代表演示講師が4割を超え、演示講師が5割となっている。無回答が見受けられるが、補助や助手など演示をしない方だと思われる。

Q2-2 これまで科学技術館で開催された全国大会や各地域で開催された大会に、あなたは何回出展したことがありますか。下の口に回数を書いてください。(今回初めて出展した場合は1回としてください。)

回

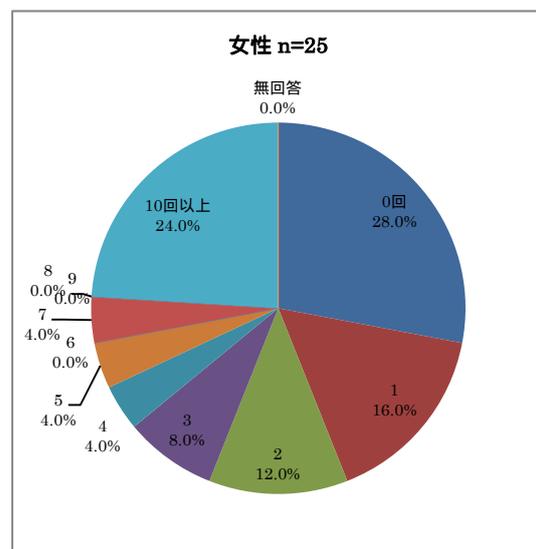
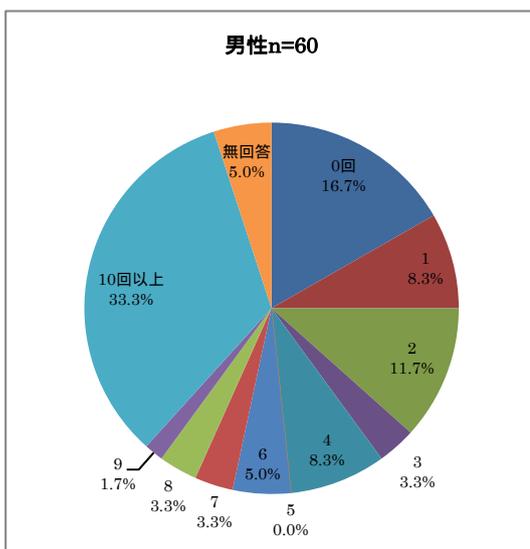
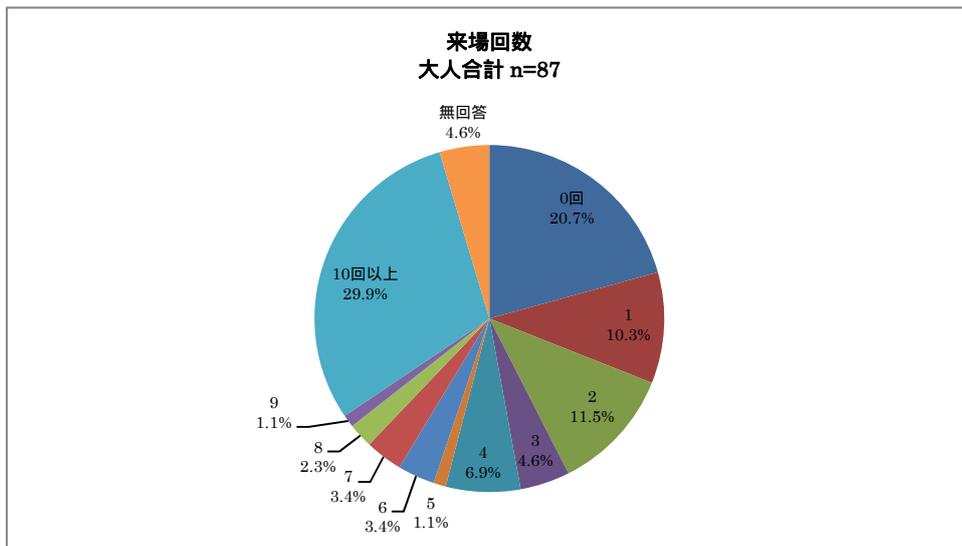


・考察

10回以上出展された方が3分の1以上おり、次いで多いのが初回の出展となっている。男性は10回以上出展された方が4割と多く次いで初回の15%であるが、女性は初回の方が32%と一番多く、次いで10回以上の24%となっている。

Q2-3 これまで科学技術館で開催された全国大会や各地域で開催された大会に、あなたは何回来場したことがありますか。下の口に戻数を書いてください。(来場したことがない場合は0回としてください。)

回



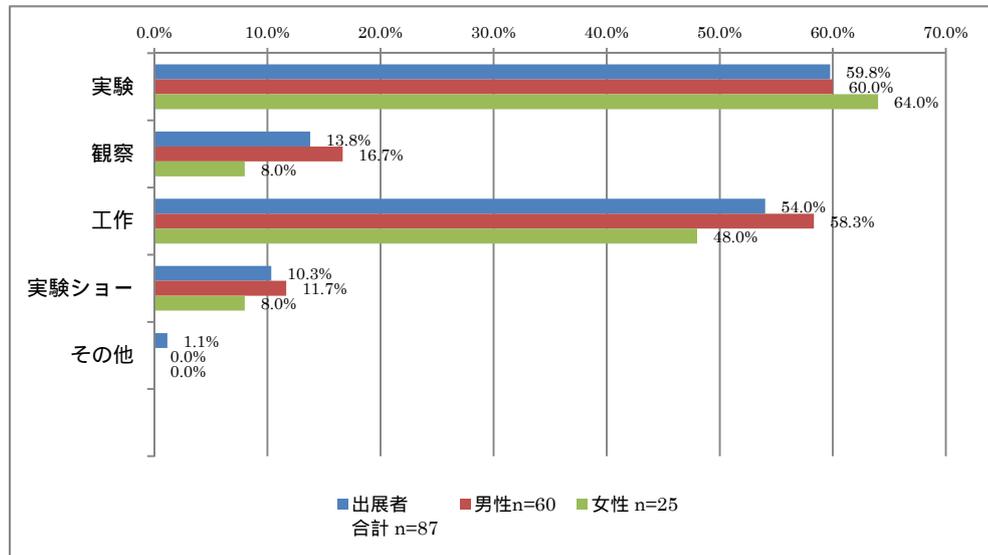
• 考察

3割近くが10回以上来場しているが、0回も20.7%と多くなっている。今まで科学の祭典等に来場したことがなく、今回初めて出展したと思われる出展者の方が多かったと窺える。

Q2-4 あなたが今回出展された内容については、あてはまる番号すべてに○をつけてください。また下の（ ）内に具体的内容を書いてください。

- 1 実験
 2 観察
 3 工作
 4 実験ショー
 5 その他

(具体的内容： _____)

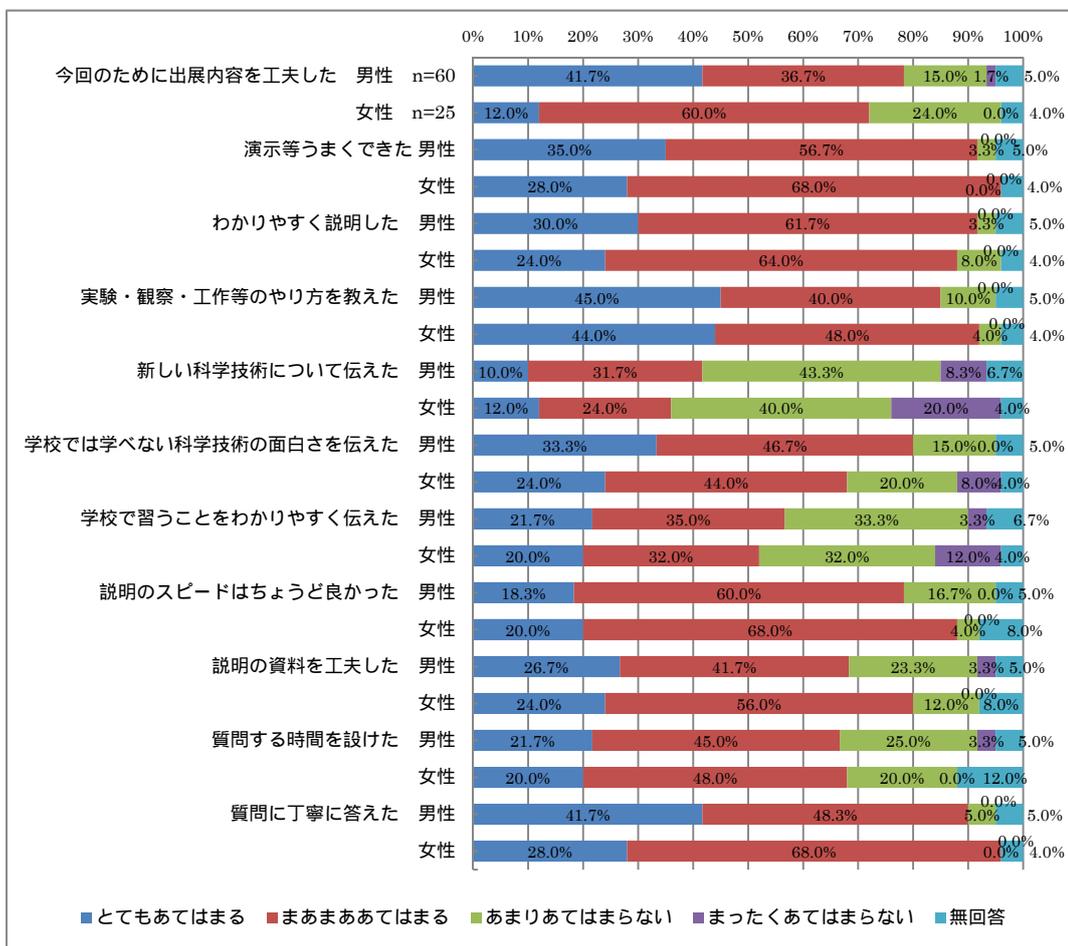
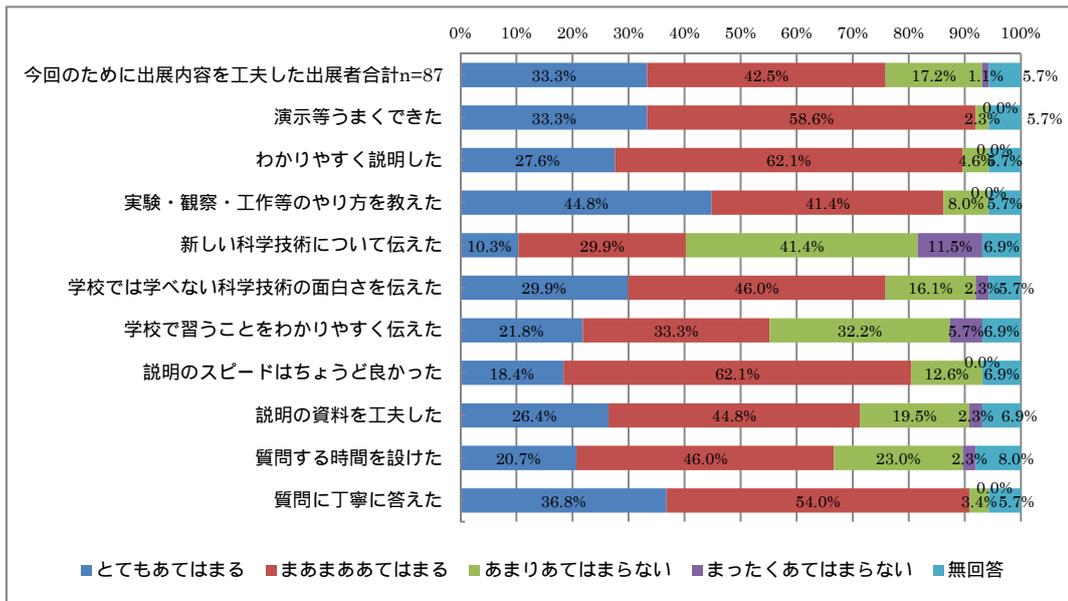


・考察

「実験」「工作」の割合が高くなっている。「工作」や「観察」に関しては女性より男性が多い傾向が見られる。

Q2-5 祭典で演示等を実施したとき、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 今回の祭典のために出展内容を工夫した	1	2	3	4
b. 演示等がうまくできた	1	2	3	4
c. 出展内容についてわかりやすく説明した	1	2	3	4
d. 実験・観察・工作等のやり方を教えた	1	2	3	4
e. 新しい科学技術について伝えた	1	2	3	4
f. 学校では学べない科学技術の面白さを伝えた	1	2	3	4
g. 学校で習うことをわかりやすく伝えた	1	2	3	4
h. 説明のスピードはちょうどよかった	1	2	3	4
i. 説明の資料は工夫した	1	2	3	4
j. 質問する時間を設けた	1	2	3	4
k. 質問にはていねいに答えた	1	2	3	4



・考察

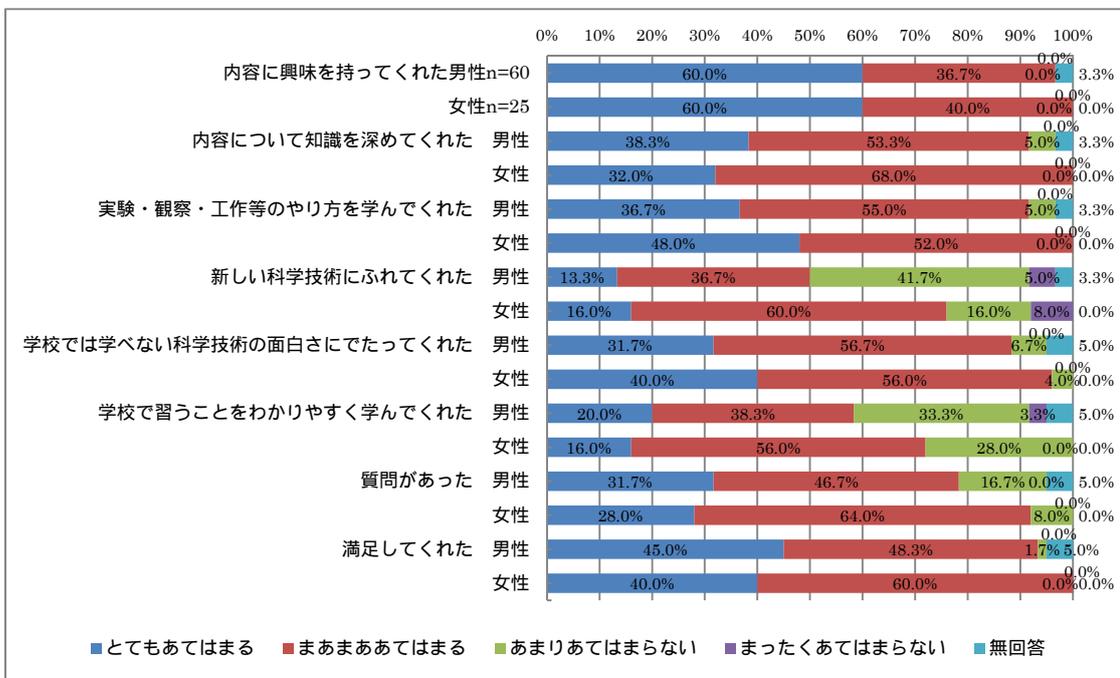
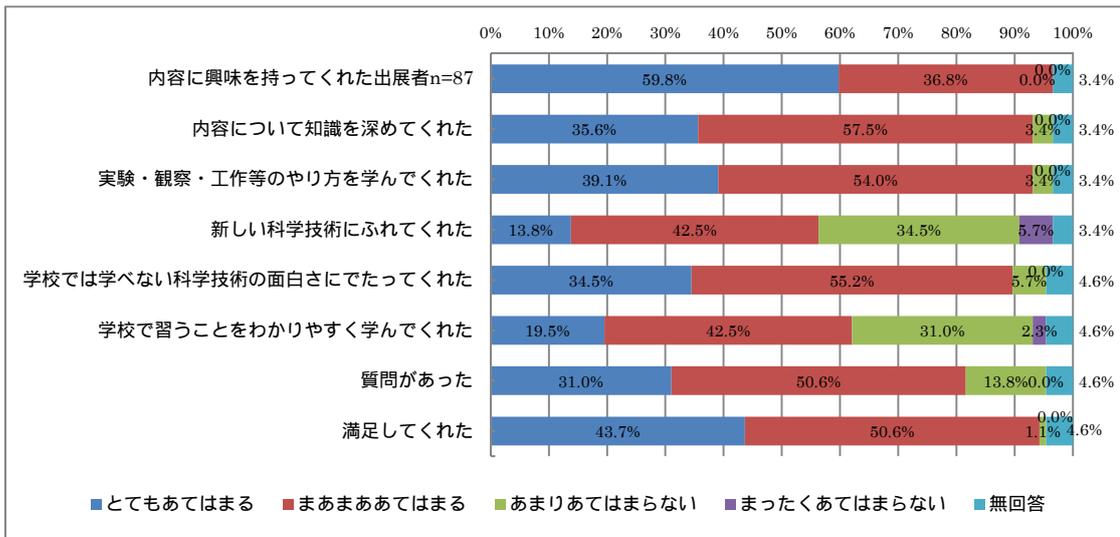
「実験・観察・工作等のやり方を教えた」で「とてもあてはまる」が4割を超えており、来場者に対してやり方を教える演示が多いことが窺える。「まあまああてはまる」まで含めると、「演示等うまくできた」「質問に丁寧に答えた」が9割を超えており、「わかりやすく説明した」「実験・観察・工作等のやり方を教えた」が続いている。出展者としては来場者に満足していただけるよう努力をしていることが窺える。

一方、「新しい科学技術について伝えた」は「とてもあてはまる」が10.3%と項目の中では一番少なく、反対に「まったくあてはまらない」が11.5%と項目の中では一番多くなっており、新しい科学技術に対しては準備等の関係もあり、なかなか伝えづらいことが窺える。

また、4割以上の男性が「今回のために出展内容を工夫した」に「とてもあてはまる」と回答しており、出展内容に対していろいろ工夫をしていることが窺える。

Q2-6 祭典で演示等を実施したとき、来場者の反応は次のどれにあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 出展内容に興味をもってくれた	1	2	3	4
b. 出展内容について知識を深めてくれた	1	2	3	4
c. 実験・観察・工作等のやり方を学んでくれた	1	2	3	4
d. 新しい科学技術にふれてくれた	1	2	3	4
e. 学校では学べない科学技術の面白さにであってくれた	1	2	3	4
f. 学校で習うことをわかりやすく学んでくれた	1	2	3	4
g. 質問があった	1	2	3	4
h. 満足してくれた	1	2	3	4

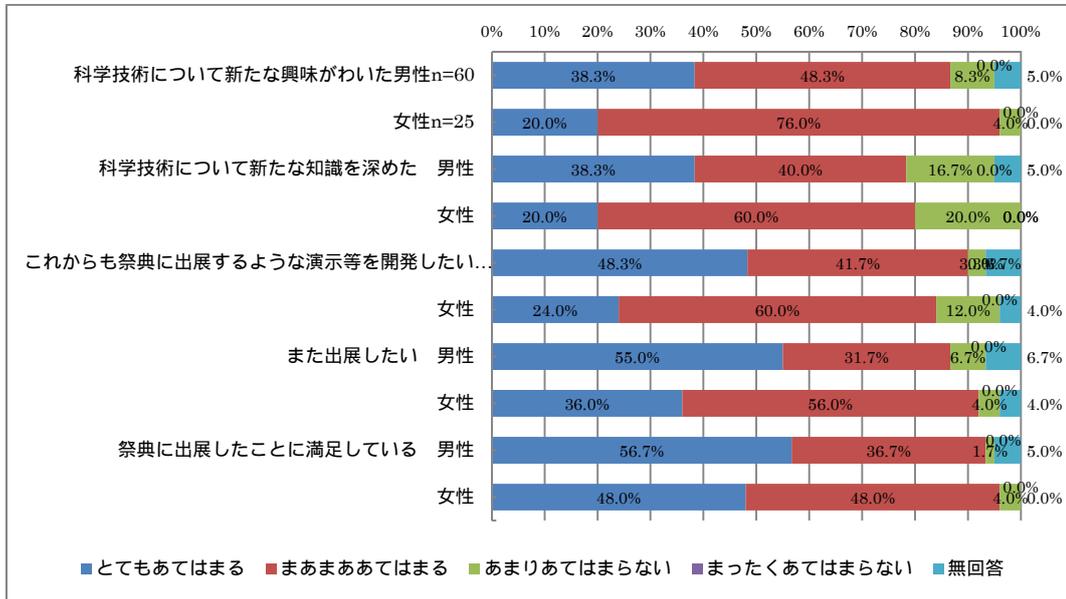
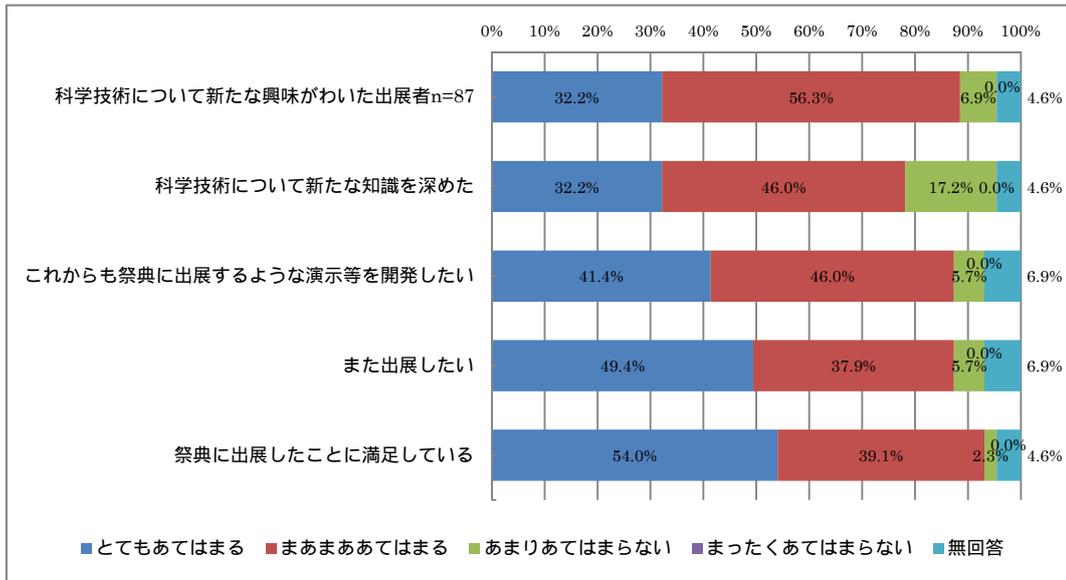


・考察

「内容に興味を持ってくれた」に「とてもあてはまる」と6割近くが回答しており、自分が出展したブースに興味を持ってくれた来場者が多くいたことが窺える。「まあまああてはまる」を合わせると半数の項目で9割を超えており、来場者が満足してくれたと感じているようである。

Q2-7 祭典の準備や当日の実施全体を通して、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ〇をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 科学技術について新たな興味がわいた	1	2	3	4
b. 科学技術について新たな知識を得ることができた	1	2	3	4
c. これからも科学教育で祭典に出展するような演示等を開発したい	1	2	3	4
d. 来年祭典が開催されたらまた出展したい	1	2	3	4
e. 祭典に出展したことに満足している	1	2	3	4

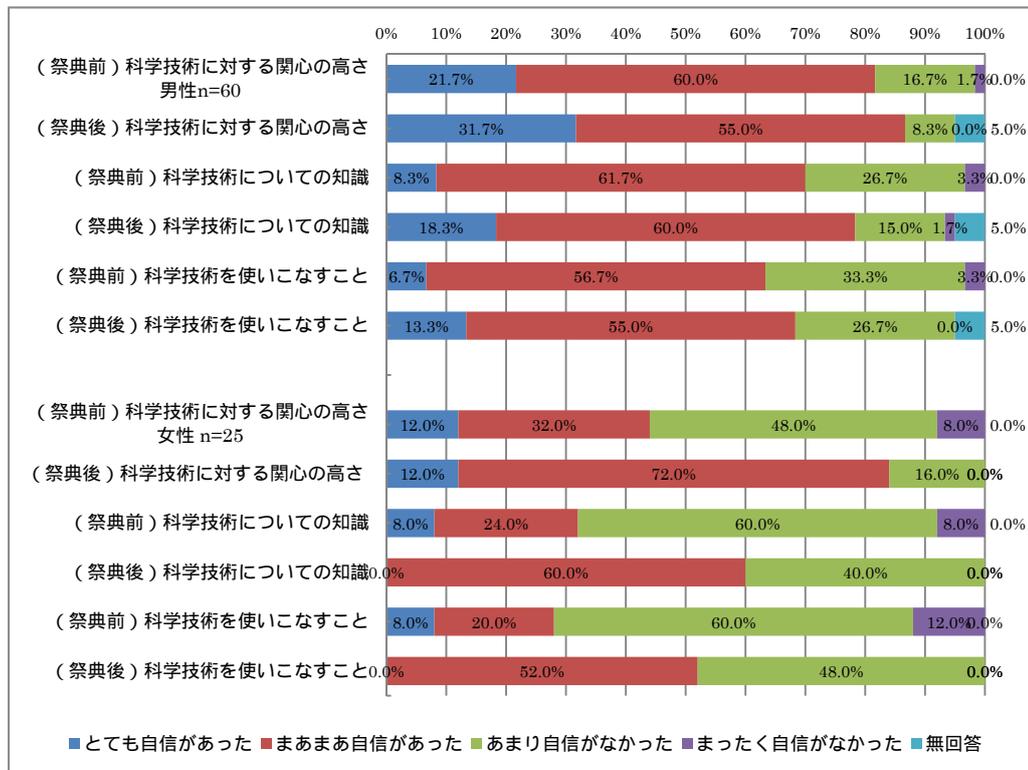
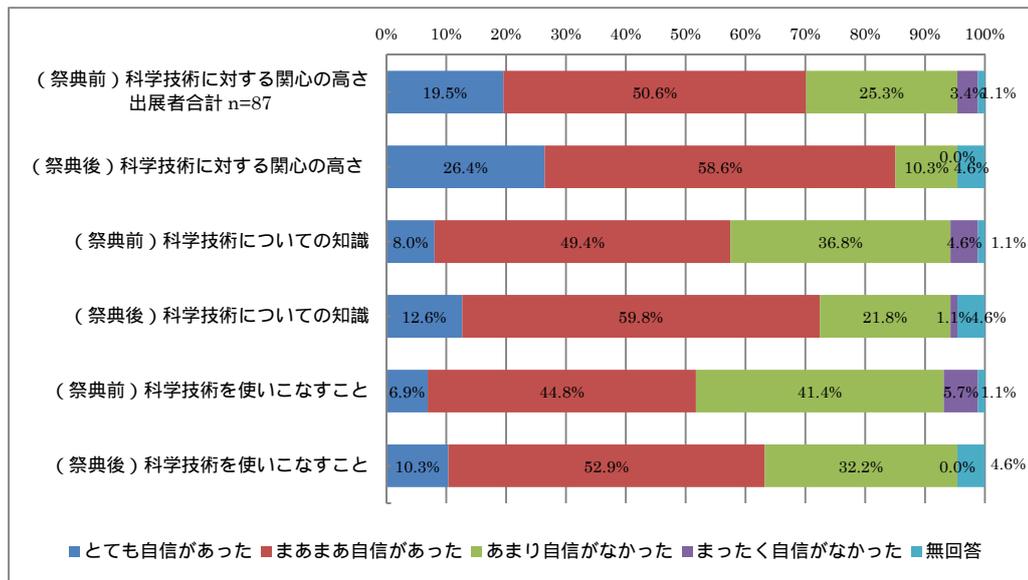


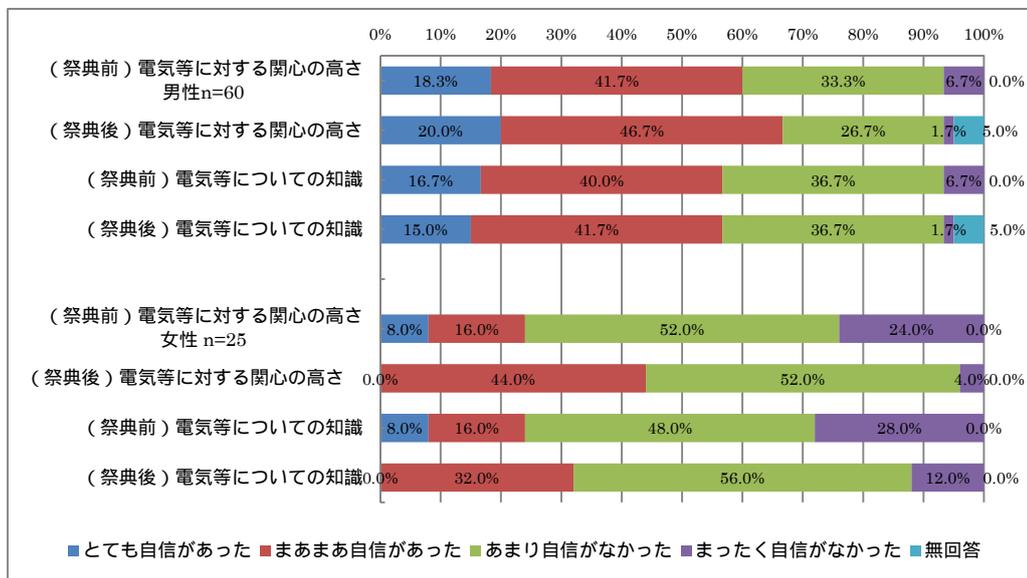
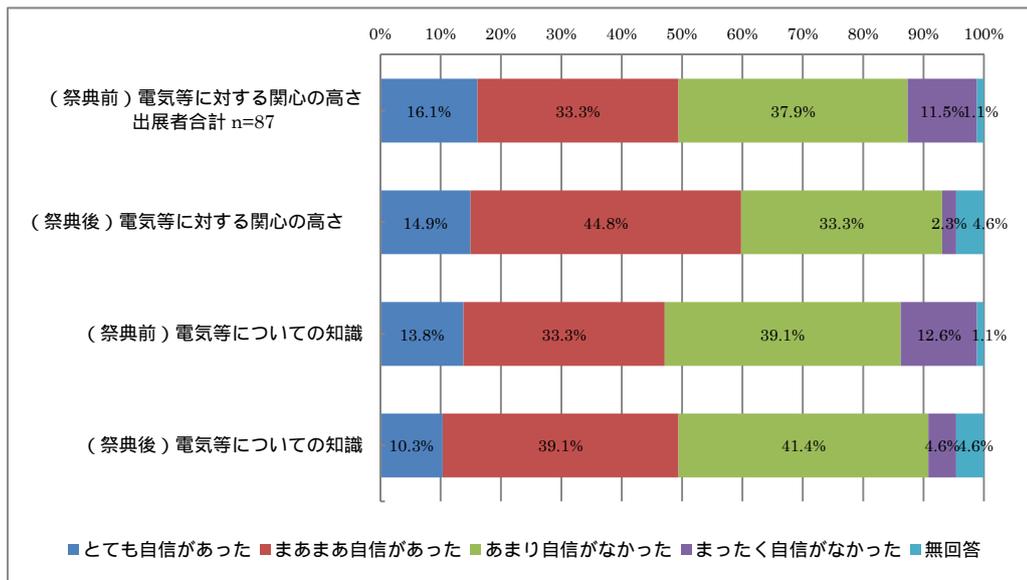
・考察

「祭典に出展したことに満足している」に「とてもあてはまる」が54%、「まあまああてはまる」を合わせると93.1%が満足している。他のほとんどの項目もあてはまるとの回答が8割を超えており、出展者にとって良い結果となったようである。「とてもあてはまる」との回答は男性が多いものの、「まあまああてはまる」を合わせると女性の回答の方が多くなっている項目がほとんどである。

Q2-8 祭典の準備や当日の実施、来場者の反応等を踏まえた上で、再度お聞きします。今、あなたは次のことがらにどれくらい自信がありますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とても自信がある	まあまあ自信がある	あまり自信がない	まったく自信がない
a. 科学技術に対する関心の高さ	1	2	3	4
b. 科学技術についての知識	1	2	3	4
c. 科学技術を使いこなすこと	1	2	3	4
d. 電気等に対する関心の高さ	1	2	3	4
e. 電気等についての知識	1	2	3	4





• 考察

自信度については、祭典前より祭典後の方が高くなっている。「とても自信があった」だけをみると電気等の項目 2 つが若干祭典後の方が下がっているが、「まあまあ自信があった」を合わせると、すべての項目で自信度が高くなっている。男性の方が女性より自信度はおおむね高い傾向にあるが、女性の祭典後の「科学技術に関する関心の高さ」の「とても自信があった」は男性と同じ 12.0% になっている。

女性に関して、祭典前に「とても自信があった」との回答が、祭典後には「科学技術に対する関心の高さ」以外は 0.0% に減ってしまっている。「まあまあ自信があった」は、その減った分以上に高い値を示しているが、出展者の女性に限って言えば、出展したことで却って自信度が少し萎えてしまったようだ。しかし、「まったく自信がなかった」は祭典前に比べ、科学技術関係は 0.0% に電気関係については半分以下になっており、全体としては自信度がアップしたといえるだろう。

Q2-9 あなたは電気関係の演示やワークショップを今後行いたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また下記の()内にその理由も書いてください。

1
2

ぜひ行いたい
まあまあ行いたい

3
4

あまり行いたくない
まったく行いたくない

(行いたい理由)

- あまり詳しく知っていない範囲なので、勉強したい 5
- 電気関係の知識や情報を得たいから 3
- 科学教室のテーマにとりいれやすい、授業での演示実験のアイデアをえるため 2
- 子どもを楽しませられる、自分の勉強にもなる 2
- いいアイデアが浮かんだら実施したい
- いろいろな人とふれあえて楽しかったから
- これから、考えます。エコ関連
- 電気自動車の開発には、興味があり、試乗してみたい
- モーターのネタをひとつためしたい。
- ワークショップを行う中から、科学技術を来場者に知っていただきたい
- 宇宙教育の普及・発展
- 家電、パソコン、通信関係の企業を招いた方が子供の為になるのでは？
- 科学に対する青少年の興味をさらに強くするため
- 敬遠されがちなテーマをおもしろおかしく伝えつづけたい
- 行いたい、興味ある実験演示は、危険をとまなうものが多い
- 行ってみたいがハンダごてなどの道具、活用も重要で時間もかかるので大変かな
- 参加者の反応を見て、気づく点があるので
- 電気が実験の測定の基盤であるので
- 分野にもよるがボランティア活動に活かせるので

(行いたくない理由)

- 家電、パソコン、通信関係の企業を招いた方が子供の為になるのでは？
- 自ら、行うことは無理ですが、電気自動車の開発には、とても興味があり、試乗してみたいと常々思っています。
- 知識がないから
- 朝の説明会での事故例ドラムコードが焼けちぎれていたから

• 考察

電気関係の演示やワークショップを今後行いたいと思っている出展者は多いようである。他にも、電気関係という事では、今の出展者が行うよりも、家電・パソコン・通信関係の企業を招致して演示やワークショップを行ってもらった方が、良いのではないかという意見もあった。

Q2-10 祭典の来場者の様子を踏まえて、祭典全体を通して、良かったところ、悪かったところ等を下の（ ）な内に書いてください。

1) 良かったところ

- ・参加者が熱心に取り組んでいた 11
- ・来場者の関心、意識、意欲の高さ 7
- ・子どもたちが楽しそうだった 4
- ・参加者たちのマナーがよかった 4
- ・多くの来場者に参加してもらえた 3
- ・安全に実験を行ってくれていた 3
- ・参加するだけでなく質問などをしてくれたこと、また出展者との交流 3
- ・幅広い世代に楽しんでいただけた 2
- ・科学技術への興味関心を高めた 2
- ・たくさんの展示を楽しめるところ 2
- ・最新のネタ（はやぶさ等）を入れたところ 2
- ・事務局の対応がスムーズで大変有難かった。2
- ・初めて体験した様で感心していた。
- ・低学年幼児には保護者がすすんで支援されていた
- ・外国人、特に韓国人の来場者が毎年多かったこと。
- ・活気があった
- ・各地の中、高生の出展が見られたこと。来場者を多く集めていた所はあまり多くなかったと思いますが。
- ・昨年と同じ出展があったので、昨年見たかったが、できなかったものを今回できた人がいた。
- ・一回一回がそこまで大人数でなく全体を見渡せるレベルで実験等できた
- ・会場の広さに余裕があって良かった
- ・スムーズな運営ができた。
- ・ボランティアの学生が参加している
- ・ミーティング、研修会の成果を活かすことができた。
- ・安全面の確保の具体的なお話し
- ・重複した内容のブースが無くなり精選された。
- ・その日は他の出展者の展示とお互いにゆっくり見られた
- ・初日の研修を設定しているところ、他のブースの出展内容をしっかり確認できた。
- ・出演者、スタッフ、会場来場者のみんなの力を合わせていい大会にしようと力を注いでいた
- ・全般的にますますであった

2) 悪かったところ

- ・混雑時の対応の悪さ。たくさんならんでしまった 5
- ・抽選システムがわかりづらい。また、抽選のため参加したくてもできないものが多い 4
- ・ブース数、スペースの確保、並びの工夫 3
- ・内容から見て、少し無理と思はれる子供に、やらせようとする保護者がいた。子どもの興味より親が一生懸命 3
- ・予算縮小の悪影響 2
- ・準備不足 2
- ・中学生・高校生の参加がほしい。 2
- ・低学年幼児が多く、ひとりではできないのが多かった 2
- ・来場者のマナーが悪い。見ていないとき、大型の衝突球実験器を壊された、親がガムをかんでいたなど 2
- ・外国人向けのガイドブック等が無かったこと。 2
- ・アクセサリ的なものや土産になるようなものに集中してしまう点 2
- ・2回の実験に少し時間がかかる。3人の工作では待ち時間が長くなる。予算があれば1回7人で行いたかった。
- ・テレビ（NHK）だけでなく、他のテレビなどにも宣伝して、お金（予算）が削られないようにしてほしい
- ・ブースに忘れ物をする人があった
- ・もうすこし、小学生が魅力的に感じる展示
- ・一般前日の出展者同士の交流の時間に他の人がおり十分まわれなかった
- ・一部早く帰ってしまった展示があった
- ・延長があった
- ・会場内走りまわる子どもに注意できない（安全面はよかったと思うが）
- ・最初に説明をちゃんとしてくれなかった
- ・材料だけをもらいたがる。
- ・天候で初日（7/31）実験ができなかった。その（一）連絡もセッティング当初なかった。
- ・特に感じなかった。
- ・難しいというイメージを持たれ奥へ踏み込もうとしてくれない。

3) 今後祭典であった方がよいと考えられる実験・観察・工作等

- オリジナル工作を活かしたブースをより多く 4
- 環境保全、環境問題 3
- 小、中、高校と参加者の対象を絞ったブース 3
- ものづくりを多く 2
- 化学・生物分野の実験 2
- 科学の法則現象・基本的な原理が理解できるもの 2
- 小学校低学年向けの実験工作 2
- 生物分野 2
- 地学分野 2
- 新しいだけでなく、なつかしいものも
- 携帯電話のこと、門外も使った大きな展示、有名科学者等のお話など
- 化石発掘体験
- 未来の化学者コーナー
- 今回の内容は来年もOK
- 毎年コリアの学生が数多く参加するので、その事を二次案内あたりでアナウンスした方が良い？（今年、急いでハングルの実験手順を作りました。）

• 考察

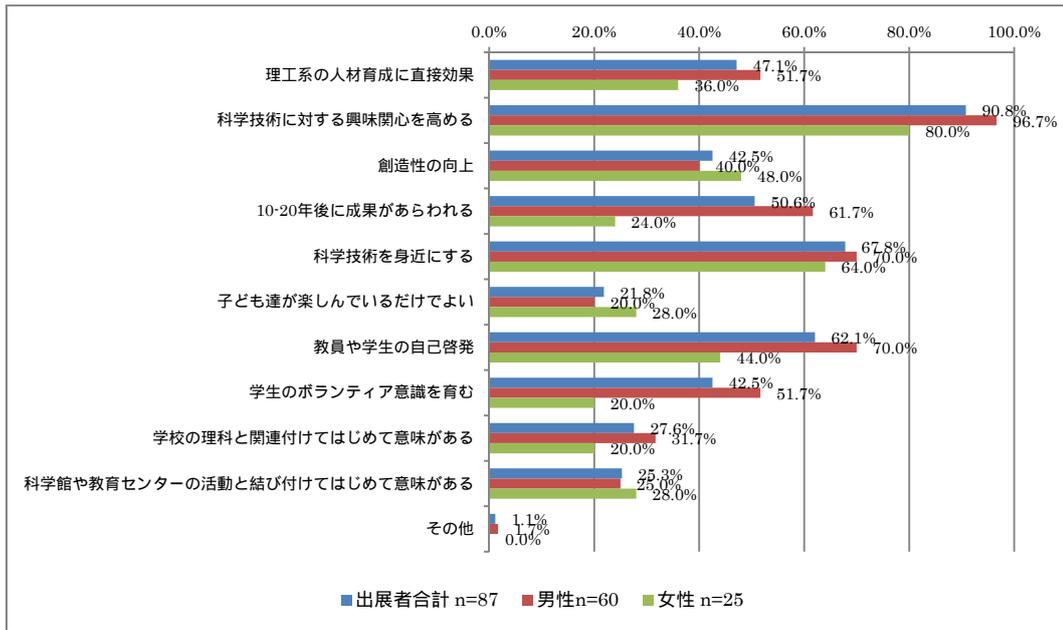
参加者が熱心に、意欲的に取り組んでくれたことを良かった点として挙げている方が多い。その他、研修会のお蔭で、安全面の配慮や、他の出展者の展示・演示が見られたことが良かったようである。

反対に、ブースのレイアウトを含めて混雑時の対応がうまくできなかったことや、予算確保も課題として挙げた。新たな実験・観察・工作として、オリジナル工作や環境問題を扱ったブース、参加者の年齢を絞ったブース、化学・生物・地学を扱ったブース等があった方が良いという意見がみられた。

3) 「青少年のための科学の祭典」の意義や運営等についてお聞きします。

Q3-1 本大会だけでなく各地域で開催される科学の祭典も含めて、科学の祭典全体をどのように評価されますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

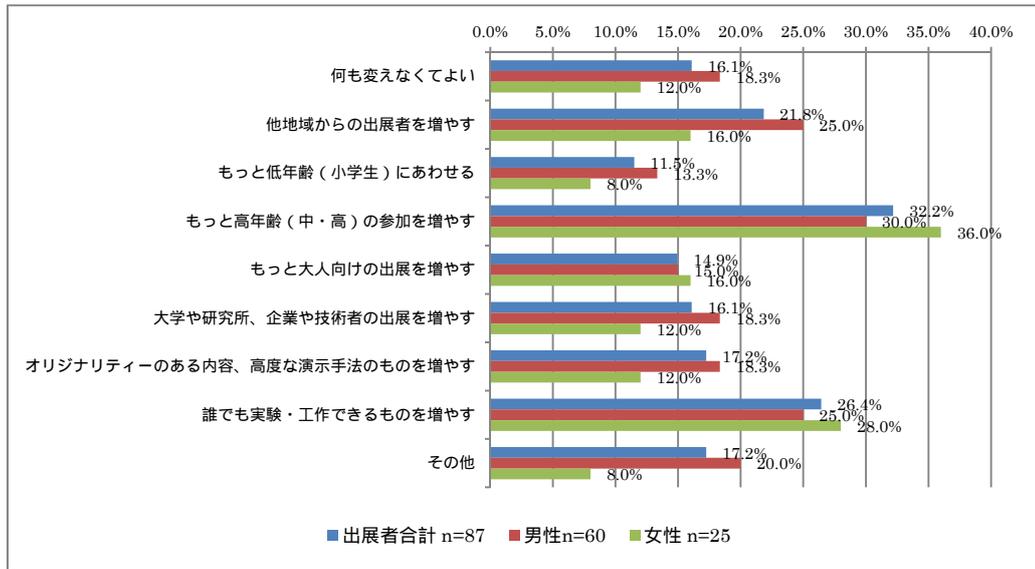
- | | | | |
|---|----------------------|----|--------------------------------|
| 1 | 理工系の人材育成に直接効果がある | 7 | 教員や学生の自己啓発になる |
| 2 | 青少年の科学への興味関心を高める | 8 | 学生のボランティア意識を育む |
| 3 | 創造性の向上に効果がある | 9 | 学校での理科学習との関連付けがあってはじめて意味がある |
| 4 | 10-20年後に成果が表れるだろう | 10 | 科学館や教育センターの日常活動と結びついてはじめて意味がある |
| 5 | 科学や技術を人々にとって身近なものにする | 11 | その他 () |
| 6 | 子どもたちが楽しんでいるだけでよい | | |



・考察

科学の祭典に対して「科学技術に対する興味関心を高める」との評価が男女とも1位であり、全体では「科学技術を身近にする」「教員や学生の自己啓発」がそれに続いている。祭典とはいえ「子どもたちが楽しんでいるだけでよい」は2割程度と低い評価になっている。また、「科学館や教育センターの日常活動と結びついてはじめて意味がある」「学校での理科学習との関連付けがあってはじめて意味がある」等も3割に満たない低い評価である。出展者としては学校や既存の科学館や教育センターとは別に、科学技術に興味関心を持ってもらうイベントとして科学の祭典を捉えているようだ。

Q3-2 科学の祭典全体について、今後、その内容をどのように改善していったらよいでしょうか。あてはまる番号すべてに○をつけ、改善のための方策をそれぞれの（ ）内に具体的に書いてください。



1	<p>何も変えなくてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に学生科学賞の発表会のようなイベントの同時開催は素晴らしいです。 来場者の年齢バランスに合った出展になっている。ただ、ブースの数が以前より少ないのが残念である。
2	<p>他の地方（他県）からの出展者を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> せっかくの祭典である他県からの中学生・高校生の参加を増すよう検討する必要あり テレビ局等をスポンサーに付けて、予算をふやし、材料費を上げて、レベルアップ もっと希望者を採用したらどうか。（選考基準が分からない） 西日本に比べて東日本は元気かない？のかな… 全国各地のブロックで開催 多くの方に祭典のPRをする。 予算UP
3	<p>もっと低年齢（小学生以下）に合わせる</p>
4	<p>もっと高年齢（中学生・高校生）の参加を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助スタッフとして参加しやすくしてほしい 2 PRに、もっと、マスコミを活用して良いのではないか。 『高学年向け』のブースを出す。 基礎基本の実験等をおこない、質疑応答の時間を多くとる。 呼びかけをする。 高校生向けには専門コーナーが必要 最近、子どもの年齢が低すぎる様な気がする。だから、今1つ詳しいところに踏みこめない。 子供に楽しんでもらうブースがたくさんあったから。 時間がかかっても、考えることを大切にしたい内容 中高生の日の設定 理科離れが始まる時期の子供達に科学のおもしろさを伝えたい 理解できる、この高年齢に訴える必要がある。 理工系の学生を増やす目的なら
5	<p>もっと大人向け（一般）の出展を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学に興味のある大人、出展者となりうる大人 高校、一般は別途開催 大人のサイエンスコーナーを作り、学校関係者にもアナウンス…15才以下は参加不可と出来れば、面白い企画(実験)も増えると思います。

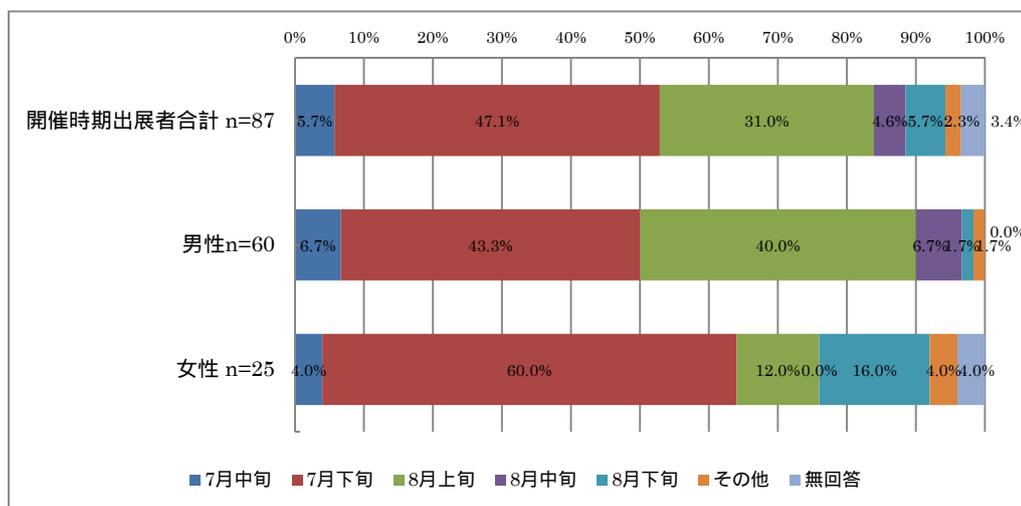
6	<p>大学や研究所、企業や技術者の出展を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> • JAXA以外の研究機関 • いろいろな人が出展すると実験の幅が広がる • ナノテクや環境科学などを研究している研究室や企業を呼ぶ • 最先端の技術についてのわかりやすい講演 • 専門的なものも見てみたい。 • 不要 • 民間の会社（財）はいらない • 理工系の学生を増やしたいのであれば
7	<p>もっとオリジナリティのある内容や高度な演示手法のあるものを増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> • オリジナリティは大切にして創造性を高めたい。人気があると言っても何年も同じ出展はいかかなものか？レベルアップ工夫してほしい。 • なるほど〜と思える手法を知りたい。 • 開発の楽しさを伝えたいです。 • 今年も！？というテーマは省くべきだと思う。 • 出展の条件を改める • 数年間にわたって同じ内容のコーナーもあるようです。これではリピーターは来ないと思います。 • 大賛成
8	<p>装置・材料が一般の人の手に入りやすく誰でもできる実験・工作を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「難しそう」というイメージをとるべく、かんたんなものから大きな発見や気づきを得るようなものを行う。 • 本実験を開発された先生は、身近な材料を使ってできるということを重視されました。説明するときもその点に留意する様、心がけています。 • 又、説明は、約10名が一度に実験を行うので、小学生以下から大人まで、その時々によってメンバーが変わります。説明の仕方に工夫を加える様努めておりますが（上記の2・5・7を満たすべく）ケガをせず子どもたちが楽しんでくれることも大切だと感じています。（唯、それだけで良しとは、思っておりません…） • もっと簡単に楽しめるものがあったらいいと感じます。 • 何かテーマを決めて実験案等を募集するなど。 • 家でできるものがよい。 • 親子向け、夏の自由研究には有効 • 入手先等を冊子に付けておく
9	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外国人向けの説明書、ガイドブック等、案内書の充実が必要です。英語、中国語、韓国語等 3 • ブースを小、中、高で分けてはどうか。学びの変遷もよくわかると思う。それぞれのレベルで行ってはどうか。同じテーマでもアプローチが違っておもしろいと思う。発達を加える。 3 • もっと公報活動が必要。 3 • (参加) 出展者同士の意見交流の機会をつくれるとよい。（今回の初日をもうひと工夫） • (対策) ◎出来るだけ「オリジナル」、又は「教科書から進化した内容」を募集する。このことが出展者のレベルアップにもなる。 ◎出展募集の時点で昨年と同じ内容の場合にはご遠慮くださいとお願いのメッセージをだしてはいかがでしょうか。高度の内容の工作の場合および実験の場合にも参加者の成長段階に応じて代表演示講師は説明する。部分（新しいもの）と原点の部分（古いもの）、温故知新を探究してはどうか。 • スタッフの入口や食堂の入口などスタッフに対する案内が全くなかったため、しっかりと書いてほしい • 過去の出典者のうち、人気のあった展示について、もう一度出展をお願いしてほしい • 開催日をもっと長く • 予算面 • 会期が短くなり、混雑し、説明の時間が減るといった悪循環を解消してほしい。 • 実験演示者のデータベースを作り、毎年出展内容の2/3をデータベースの登録内容から選び、バランスをとる。残り1/3を出展希望者から選んではどうだろうか。 • 若い出展者の育成について理科の教師にとって、科学の祭典は今後も1つの「目標」であってほしい。

・考察

科学の祭典の改善点として、「もっと高年齢（中学生・高校生）の参加を増やす」が男女とも1位に挙がっている。「もっと低年齢（小学生）にあわせる」の3倍近いポイントであり、科学技術に対する興味関心を中高生になっても持ち続けていて欲しい、もっと専門的な出展をしたいという思いなのかもしれない。

Q3-3 科学の祭典の開催時期についてお聞かせください。科学の祭典にご出展されるにあたり、出展するのに最も都合のよい時期はいつですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。()内に理由も書いてください。

1	7月中旬	4	8月中旬
2	7月下旬	5	8月下旬
3	8月上旬	6	その他



理由

(7月中旬)

- 7月20日の後の最初の土日にしてほしい。他の行事と重なりやすいため。
- いつでもいい

(7月下旬)

- 夏休みのはじめは自由研究のテーマさがしにもなる。心のゆとりもある 4
- 学校等の行事が一段落して、参加者が増える時期 3
- 夏休み中がよい 3
- 8月は多忙 2
- 今のままで 2

(8月上旬)

- 7月は学校行事があるので 9
- 休みがとりやすく、時間の自由がききやすい 3

(8月中旬)

- 夏の宿題、自由研究のヒントとして
- 校務の関係により

(8月下旬)

- 夏休み中の開催は多くの子どもたちに学ぶ機会を与えるから
- 学生が休みの時期で、ポラに参加しやすく、小中学生も夏休みの宿題の追い込み時期だから。

(その他)

- 今のままでよい。
- 特に都合の悪い時期はない

・考察

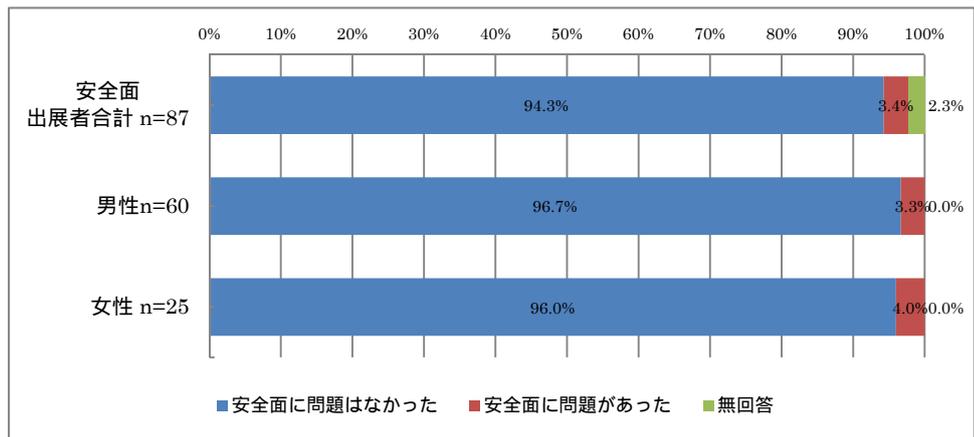
時期としては現在の7月下旬から8月上旬にかけての期間が都合が良いと回答している出展者が多く、7割を超している。

Q3-4 科学の祭典における実験・実演・工作等の安全面についてお聞きします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---|-------------|
| 1 | 安全面に問題はなかった |
| 2 | 安全面に問題があった |

SQ1 Q3-4で「2.安全面に問題があった」と回答した方にお聞きします。具体的な問題点、問題点に対し対応ができた場合はその改善内容もお書きください。

問題点・改善内容：
 ・スタッフが自分で工作の見本を作るときに手をきりました。すみません
 ・机まわりの布を画びょうで止めてあったが、すぐに外れるので危険
 ・粉体の加工等にさらに注意

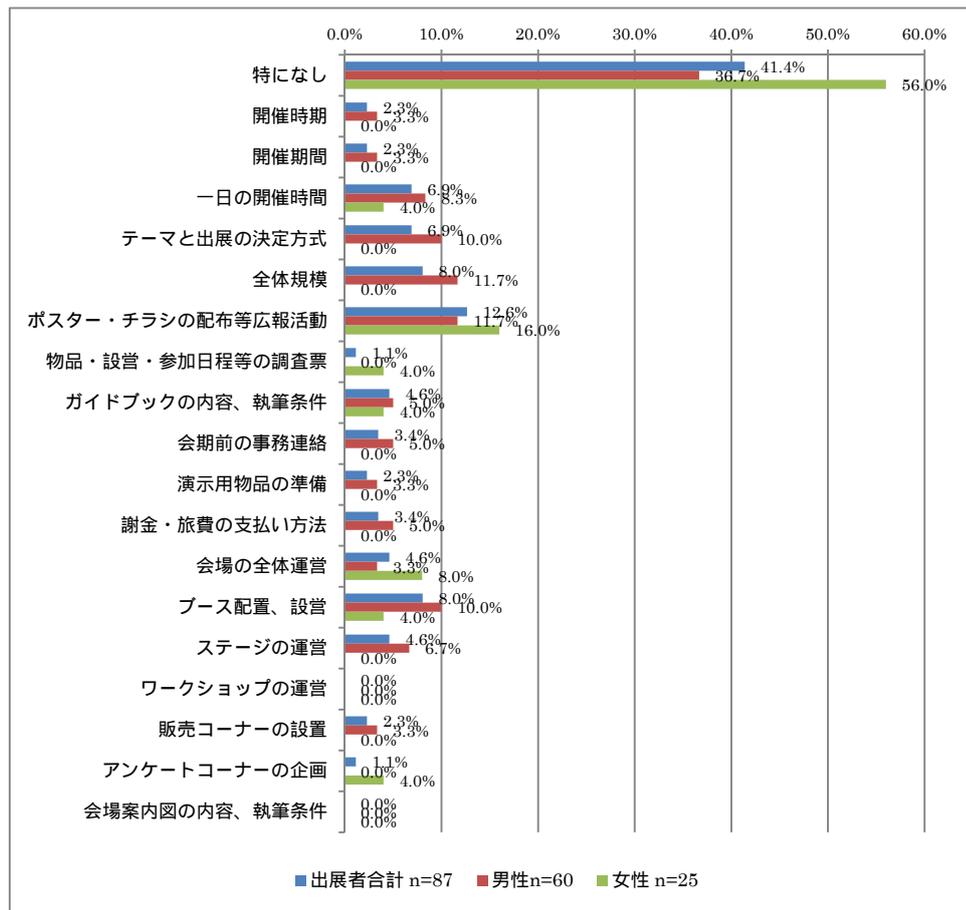


・考察

94.3%とほとんどが「安全面に問題はなかった」と回答している。また、「安全面に問題があった」との回答では、来場者にケガはなかったものの、ヒヤリ・ハットとして改善していくべき点が挙がった。

Q3-5 科学の祭典の運営に関する問題点について、あてはまる番号に **3つまで** ○をつけ、その具体的な内容と改善策を下記の () 内に具体的に書いてください。

1	特になし	8	物品・設営・参加日程等の調査票	15	ステージの運営
2	開催時期	9	ガイドブックの内容、執筆条件	16	ワークショップの運営
3	開催期間	10	会期前の事務連絡	17	販売コーナーの設置
4	1日の開催時間	11	演示用物品の準備	18	アンケートコーナーの企画
5	テーマと出展の決定方法	12	謝金・旅費の支払い方法	19	会場案内図の内容、執筆条件
6	全体規模	13	会場の全体運営		
7	ポスター・チラシ配布等の広報活動	14	ブース配置・設営		



(改善策)

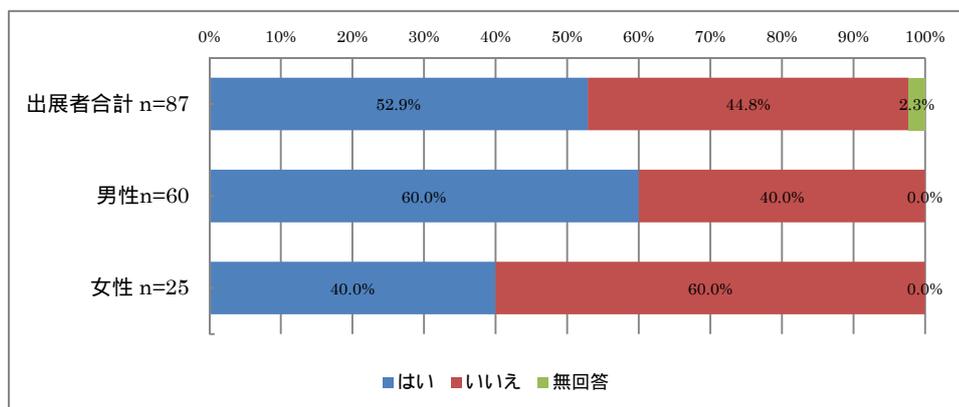
- TVなどを利用した広報展開の拡充、広報物をもっと早くほしい 4
- もっといろんなブースがあってほしい。 2
- 全体的に縮小傾向にあるのが残念 2
- 同じ内容のものが多い。謝金・旅費の支払いは出展者を「信用」してほしい。
- 1日目の間に、もっとブースを見てまわりたいかったが、来場者が多く、体験できなかった。
- ステージの運営についてはまわりの人の導線の確保
- ガイドブック有料化の事前のアナウンスがほしい
- ガイドブックの質をもっとほしい
- このアンケートは長すぎる
- ステージの準備室にもっと大きい机が必要
- 雨天時の屋外展示の工夫
- 外国語のガイドブックの充実。テーマ毎のブース配置
- 休憩をとれる時間がほしい。
- 現地の補助スタッフについて、必要な場合にわかりやすく申し込めるようにした方がよい。
- 謝金がないと、大変な準備を手伝ってくれた生徒にジュースも出せない。自己負担で出している

• 考察

「特になし」が大半を占めるものの、「ポスター・チラシ配布等の広報活動」に対しては1割以上の回答があり、「全体規模」や「ブース配置・設営」の8%と共に問題点として捉えているようだ。広報活動は集客に直結する問題でもあり、出展者側からは問題点として捉えやすいのだろう。

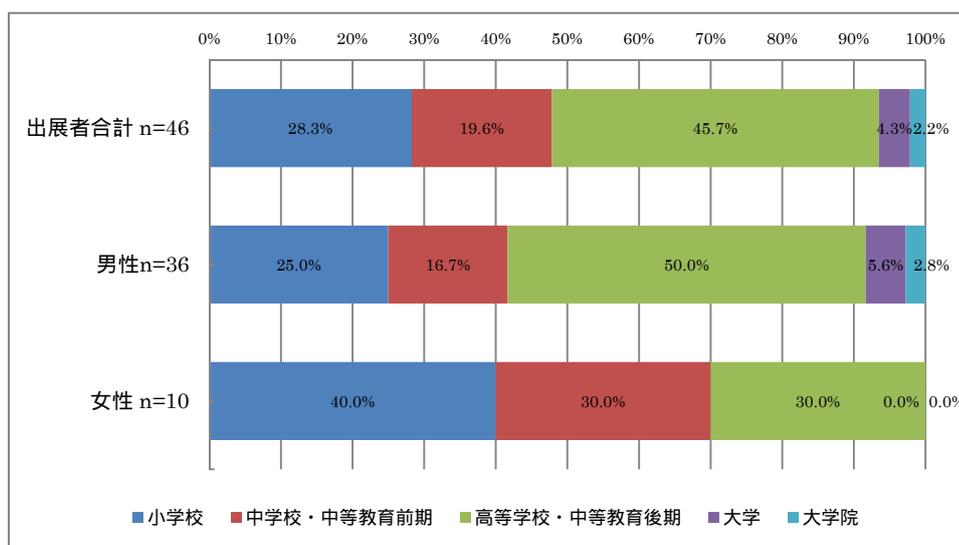
Q3-6 あなたの職業は教員ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 はい 2 いいえ



SQ1 Q3-6で「1 はい」と回答した方にお聞きします。あなたが教員をつとめる学校について1つだけ○をつけてください。その他の方は()内に具体的にお書きください。

1	幼稚園・保育園	6	専門学校
2	小学校	7	短期大学
3	中学校・中等教育前期課程	8	大学
4	高等学校・中等教育後期課程	9	大学院
5	高等専門学校	10	その他(具体的に)



SQ2 Q3-6で「1 はい」と回答した方にお聞きします。授業に用いる教材や資料に関する情報をどのような方法でお知りになりますか。下の()内に具体的に書いてください。(例：学会・研究会、学会誌の記事や広告、テレビ番組名、書籍名、イベント名、科学館等の施設)

- ・学会・研究会、学習会など 20
化学と教育(日本化学会)理科教育(日本理科教育学会)、ポケットサイエンス(地方の先生方の集り(学習会))
- ・インターネット 12
- ・雑誌、書籍、新聞など 10
(飛び出せ科学くん、世界まる見え、子どもの科学、教育技術など)
- ・テレビ 4 (NHK など)
- ・イベント3 (青少年のための科学の祭典(全国大会、地方大会)、夢化学-21)
- ・自分で考える
- ・人から

SQ3 Q3-6で「1 はい」と回答した方にお聞きします。「青少年のための科学の祭典」により科学に興味を持った子どもを、将来の科学者・技術者へと導く新たな事業を検討しております。子どもを科学者・技術者へと導く方策についてご意見があれば、下の（ ）内に書いてください。

- 青少年の科学の祭典の継続、祭典とリンクしたワークショップを、科学館を中心に行うなど 6
- サイエンスキャンプとのリンク（企業や大学の活動、最先端の研究に直に触れる体験をする） 5
- 対話、魅力的な授業 2
- スポーツ少年団のように、9年位かけて育てる団体が必要だと思えます。
- 以前に来たことがあるリピーターに「とくてん」をあげる
- 一般の大人をいかにまきこんでいかがポイントではないかと思う
- 一部の者だけでなく、全体の底上げを。
- 科学とは、離れて、「テレビドラマ」とかで科学ってカッコイイと子どもに思わせる
- 科学館を拠点として科学教室など、友の会的な活動。そのような環境に常に接することができるようにする。インターネットメール配信でニュースの紹介
- 学校の理科教育をもっと充実すべき。
- 実験機材をもち入んだ出張授業、公立の子がベネッセなどの高額な実験教室に行くのはおかしい
- 小、中、高の枠組みを取り、継続的に指導できる場所があるといい
- 創意・工夫が大切である。子どもに考えさせてその内容を設計し自分でつくるような講座も大切です。中国の小・中学校では実施しています。（私は中国の大学等の講座教授。）
- 部活動でいろいろな賞があるように、励ます機会として工作以外に理科の賞を増してもよいのでは
- 未来にたくすテーマ（実現できそうな）を与えられると良い。

SQ4 Q3-6で「1 はい」と回答した方にお聞きします。エネルギー分野について、青少年が理解を深めるためには何が必要か、具体的な提案・ご意見を下の（ ）内に書いてください。

- 今以上に体験が必要だと思う。 8
- 日常的なこととあわせて取り組むこと ゲームやおもちゃや工作などから 4
- たくさんの分野でコラボレーションして多角的にとりくむ 環境、電気、宇宙、食品など 4
- エネルギー関係の実験器など開発や購入にするときの費用を各学校に割り当てが少ないので、増やす必要がある。
- エネルギー関連の関係者の出前授業を小学校でやる
- 基本的な法則や概念の共通理解（教員同士）最先端技術と法則・原理との橋渡し。
- 電気・ガスのない山の中で、3日間位生活させてみる？…無理ですね。（仙台第一高校では7年前までやっていました）
- 都市生活のあり方について考えるシンポジウム
- 無料バスで施設見学や身近な場所に常設展示を！

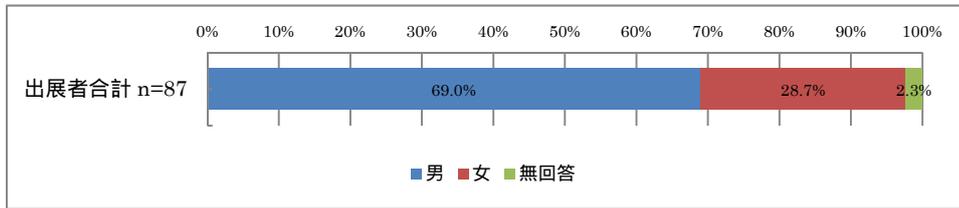
• 考察

男性6割、女性4割が教員である。男性の半数は高校教員、4分の1は小学校教員、6分の1は中学校教員であり、女性の小中高の比率は4:3:3であり、全体として高校教員が多くなっている。授業に用いる教材や資料に関する情報は、学会・研究会、学習会、インターネット、書物やテレビなど幅広いチャンネルから得ている。

4) あなた自身についてお聞きします。

Q4-1 あなたの性別について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 男 2 女

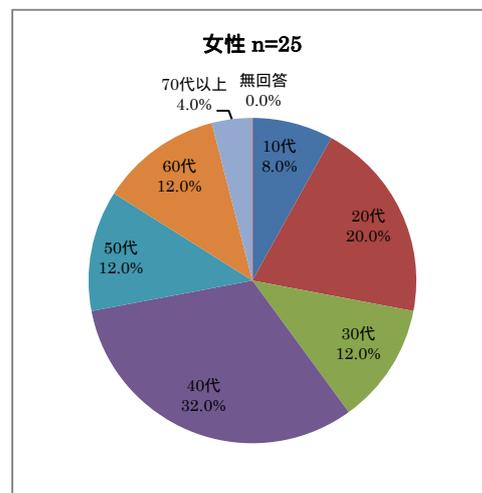
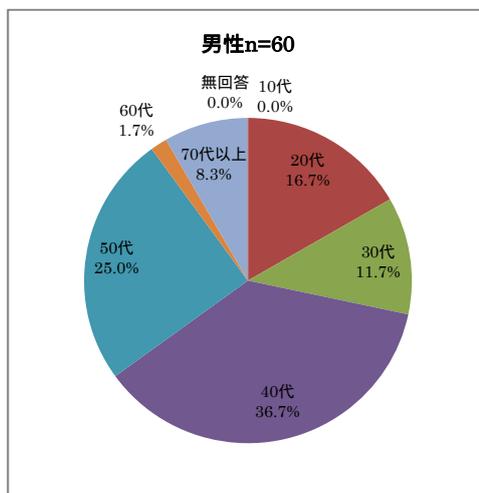
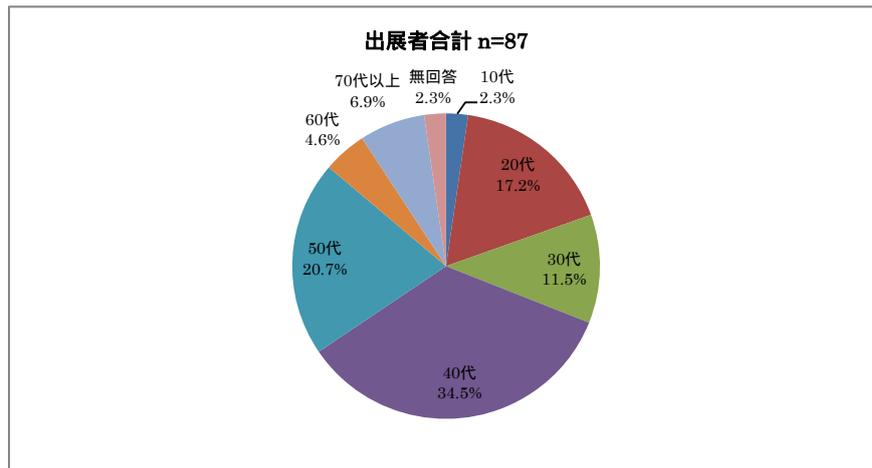


・考察

男性が69%と、女性 28.7%の倍以上である。

Q4-2 あなたの年代について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 10代 3 30代 5 50代 7 70代以上
 2 20代 4 40代 6 60代

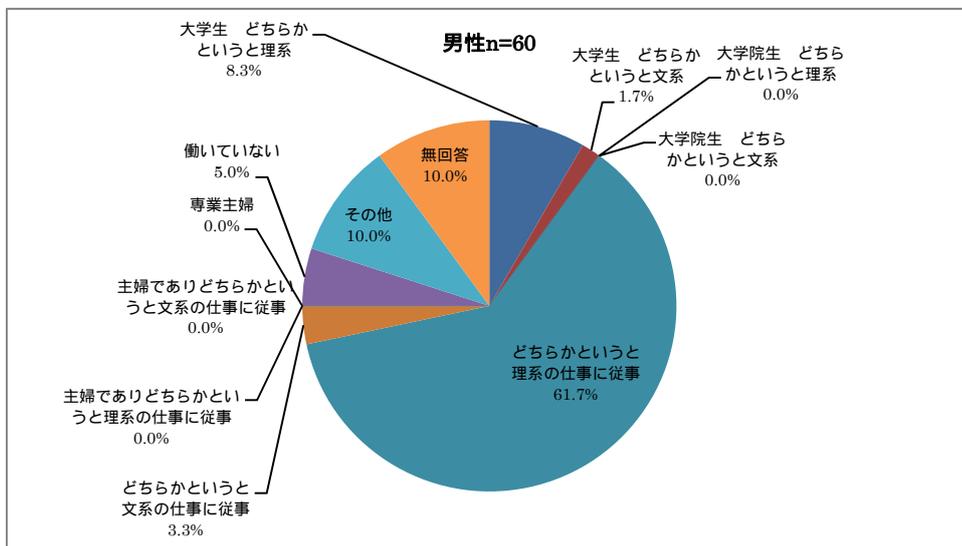
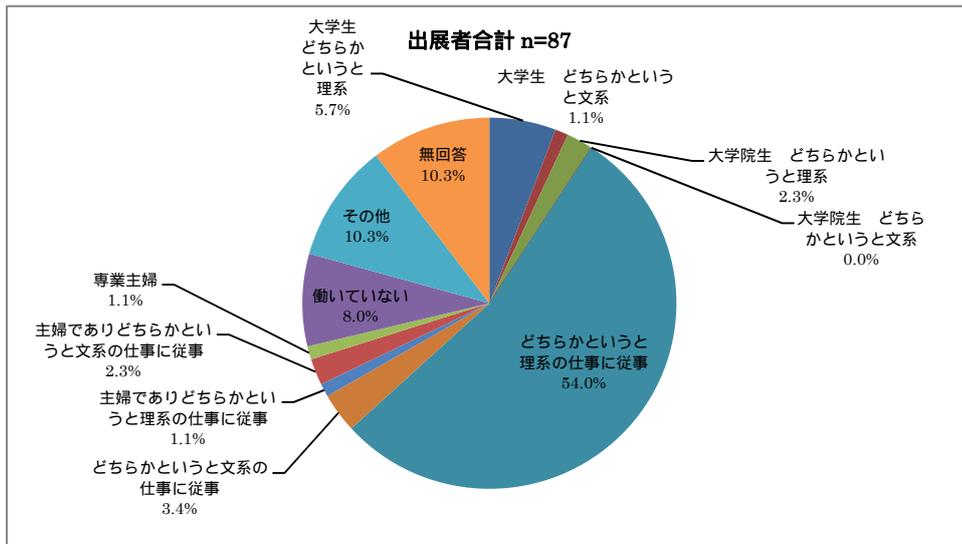


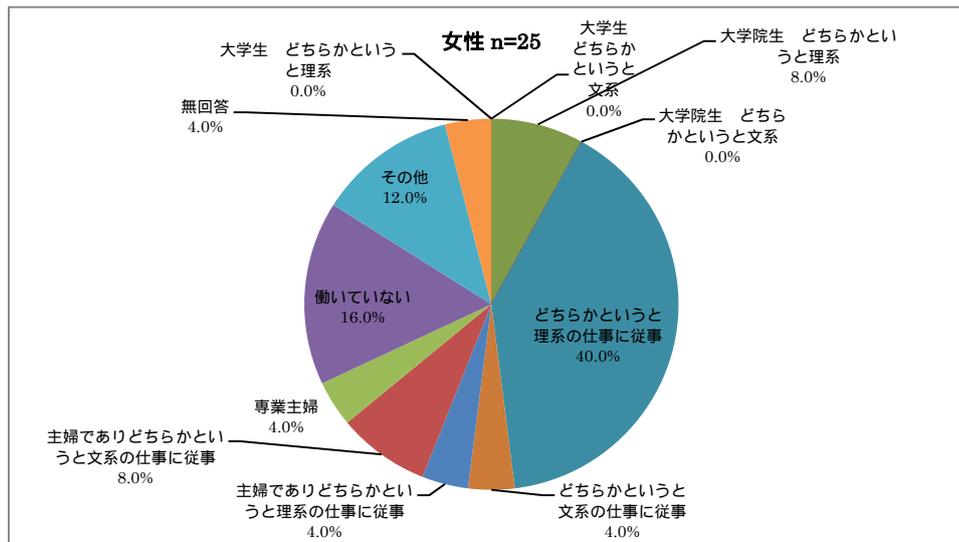
・考察

40代が3割以上と多い。男性は続いて50代 25.0%、20代 16.7%であるが、女性は20代 20.0%の次は30代、50代、60代が12.0%と並んでいる。

Q4-3 あなたの学校・職業について最もあてはまる番号に1つだけ○をつけ、()内に該当する事項をお書きください。

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 大学生 どちらかというと理系 (学部・学科名:) |
| 2 | 大学生 どちらかというと文系 (学部・学科名:) |
| 3 | 大学院生 どちらかというと理系 (学部・学科名:) |
| 4 | 大学院生 どちらかというと文系 (学部・学科名:) |
| 5 | どちらかというと理系の仕事に従事 (具体的な職業名:) |
| 6 | どちらかというと文系の仕事に従事 (具体的な職業名:) |
| 7 | 主婦でありかつどちらかというと理系の仕事に従事 (具体的な職業名:) |
| 8 | 主婦でありかつどちらかというと文系の仕事に従事 (具体的な職業名:) |
| 9 | 専業主婦 |
| 10 | 働いていない |
| 11 | その他 () |





- *1 大学生 どちらかという文理系 (以下数字は件数)
学部・学科名：電気通信学部、電子工学科、電気通信学部、量子・物質工学科、東京学芸大学教育学部理科、理学部 物理学科
- *2 大学生 どちらかという文系
学部・学科名：法経学部・総合政策学科
- *5 どちらかという理系の仕事に従事
具体的な職業名：教員 21、高校理科教員 8、小・中理科教員 2、SE 5、設計・技術 4、開発 3、科学館学芸員
- *6 どちらかという文系の仕事に従事
具体的な職業名：教員 2、会社員 1
- *7 主婦でありかつどちらかという理系の仕事に従事
具体的な職業名：理科の非常勤講師
- *8 主婦でありかつどちらかという文系の仕事に従事
具体的な職業名：事務
- *11 その他
小学校教師 2、小学校司書、会社員、医療職、中学生

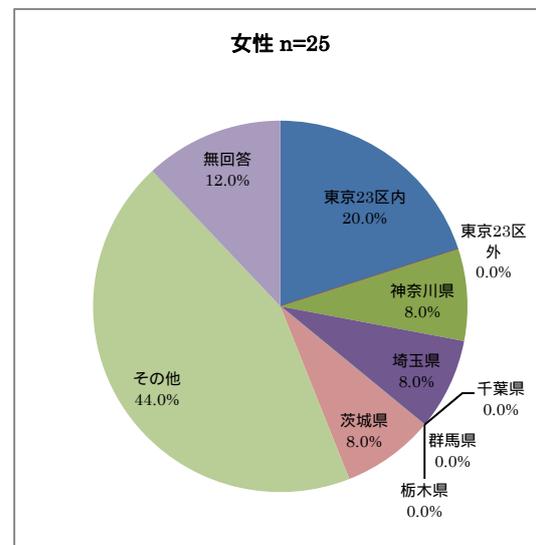
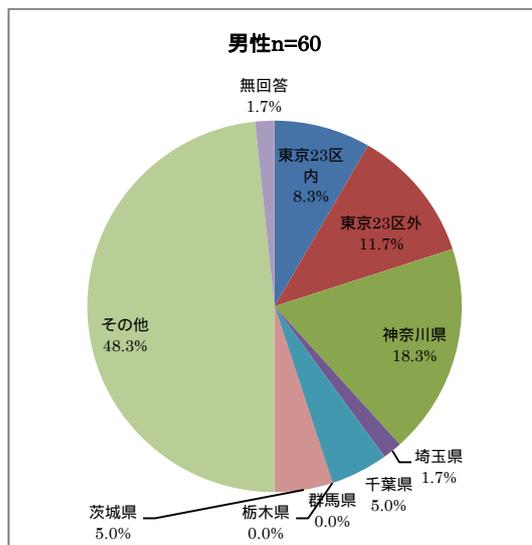
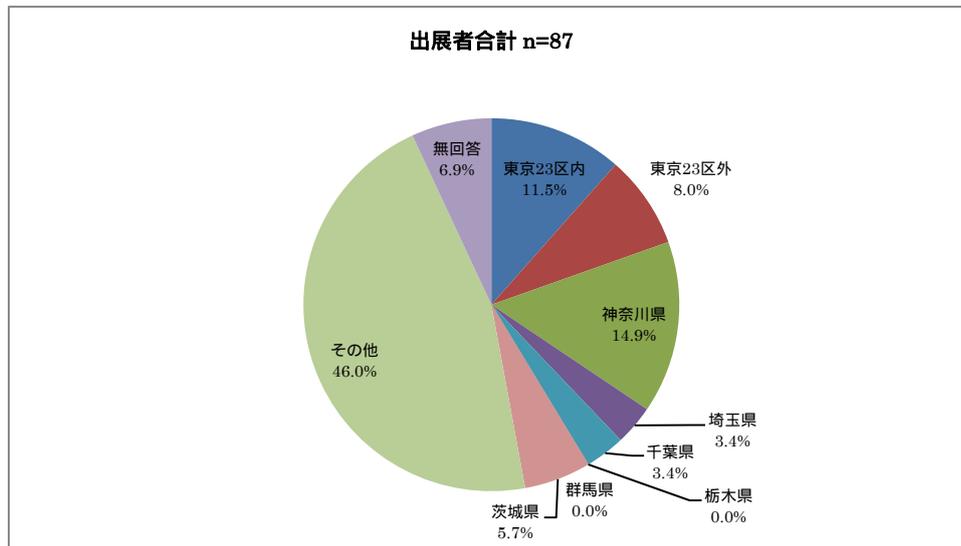
・考察

どちらかという理系の仕事に従事しているとの回答が一番多く、男性が6割、女性が4割である。具体的な職業としては教員が多かった。

Q4-4 あなたが現在住んでいるところについて、あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。その他の方は（ ）内に道府県名をお書きください。

- | | | | | | |
|---|----------|---|-----|---|-----------|
| 1 | 東京 23 区内 | 4 | 埼玉県 | 7 | 栃木県 |
| 2 | 東京 23 区外 | 5 | 千葉県 | 8 | 茨城県 |
| 3 | 神奈川県 | 6 | 群馬県 | 9 | その他（道府県名： |

その他：奈良県 9、福岡県 4、兵庫県 4、岐阜県 4、愛知県 3、宮城県 2、山形県 2、長野県 2、
沖縄県 1、山口県 1、滋賀県 1、長崎県 1、鳥取県 1



・考察

来場者と異なり、東京都からは 2 割ほどで、半数近くが近畿や九州など遠方から来ている。

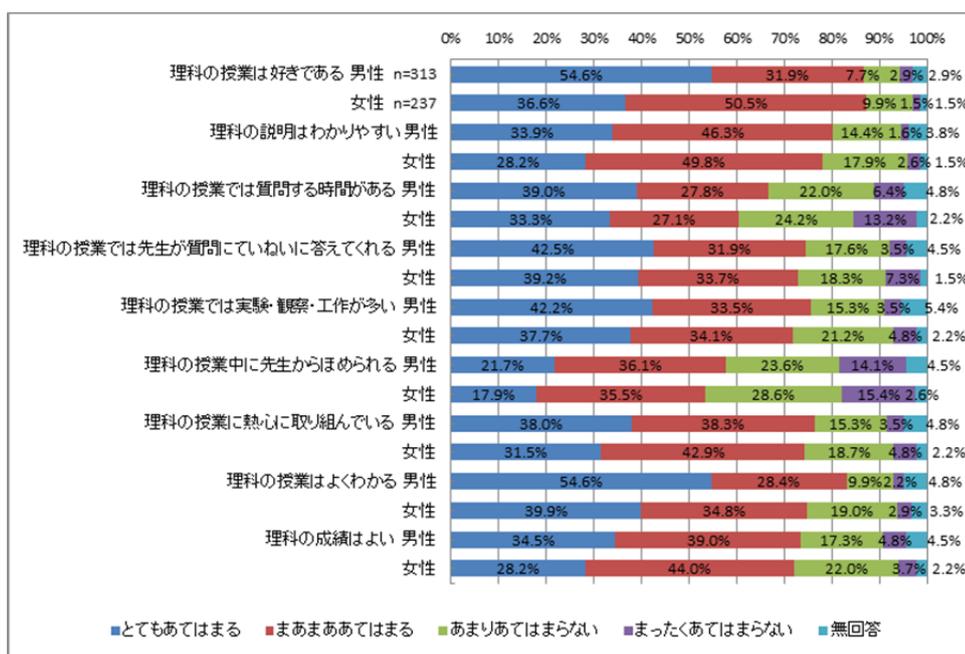
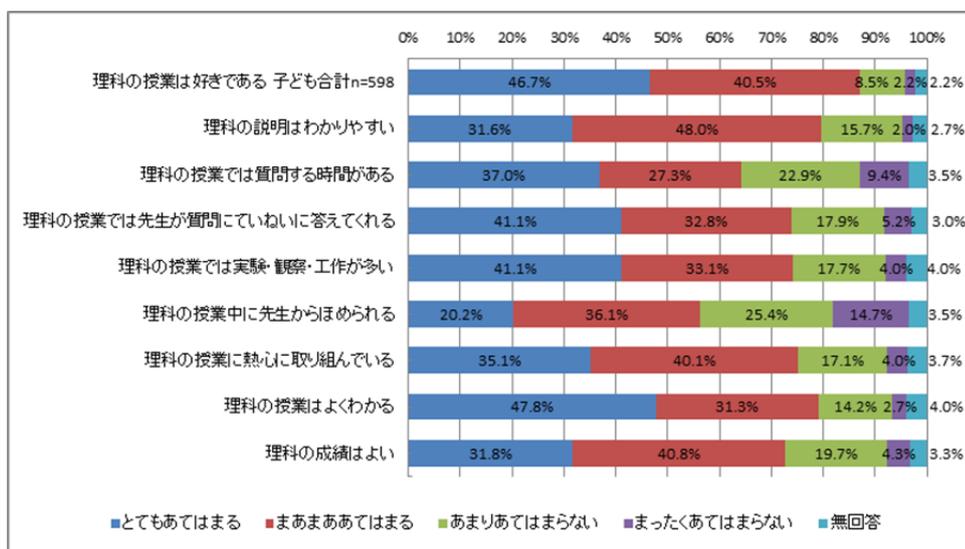
3 科学技術館 来館者調査

3-1 来館者アンケート調査（児童・生徒・学生）

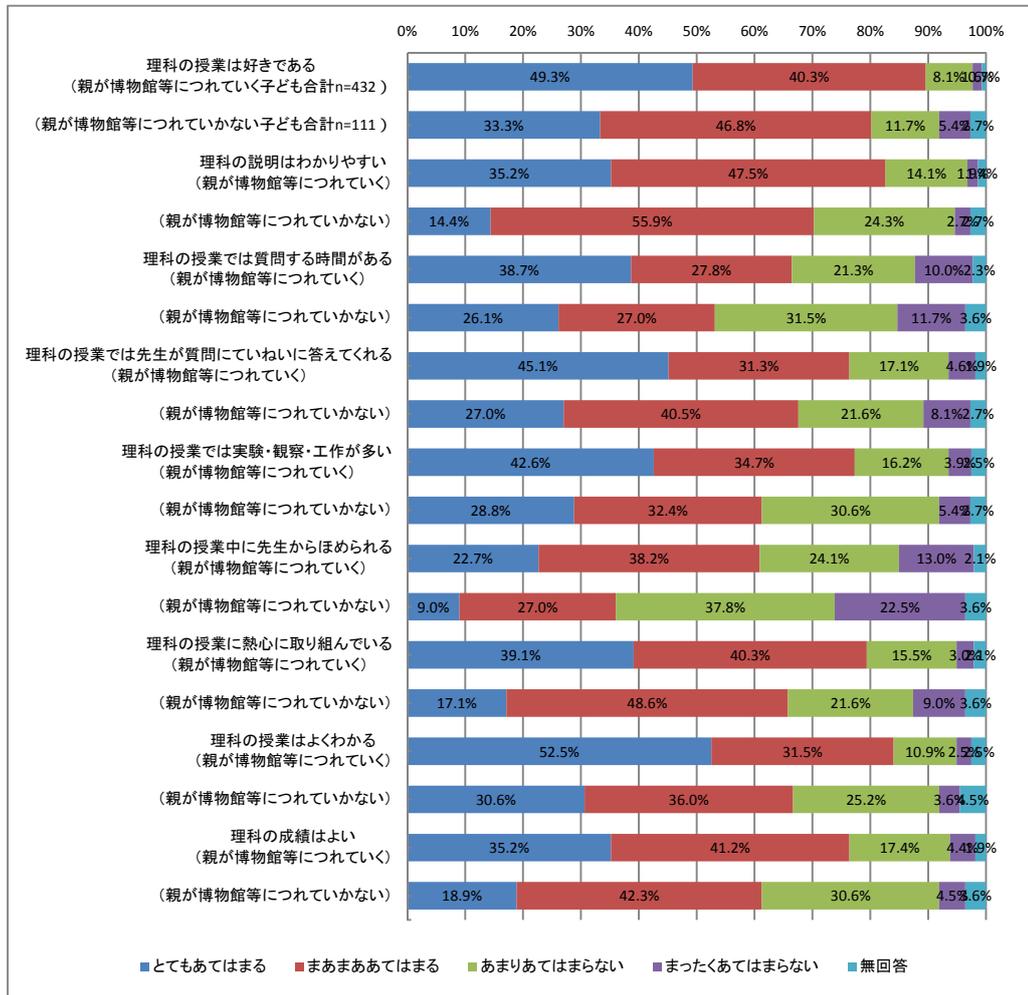
1) 理科や科学技術に対するあなたの意識についてお聞きします。

Q1-1 学校の理科の授業について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

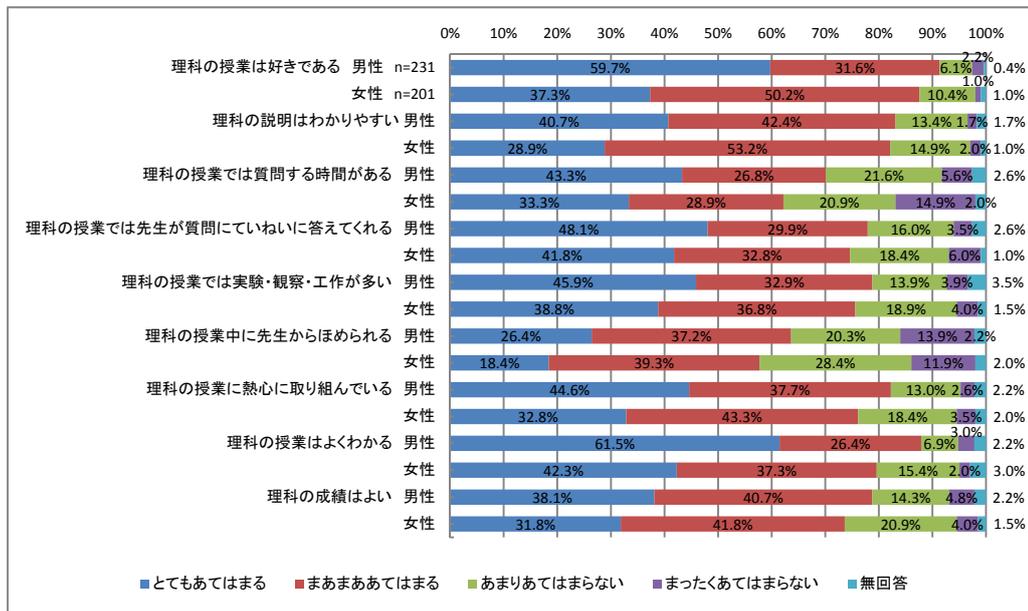
	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 理科の授業は好きである	1	2	3	4
b. 理科の授業の説明はわかりやすい	1	2	3	4
c. 理科の授業では質問する時間がある	1	2	3	4
d. 理科の授業では先生が質問にいていないに答えてくれる	1	2	3	4
e. 理科の授業では実験・観察・工作が多い	1	2	3	4
f. 理科の授業中に先生からほめられる	1	2	3	4
g. 理科の授業に熱心に取り組んでいる	1	2	3	4
h. 理科の授業はよくわかる	1	2	3	4
i. 理科の成績はよい	1	2	3	4



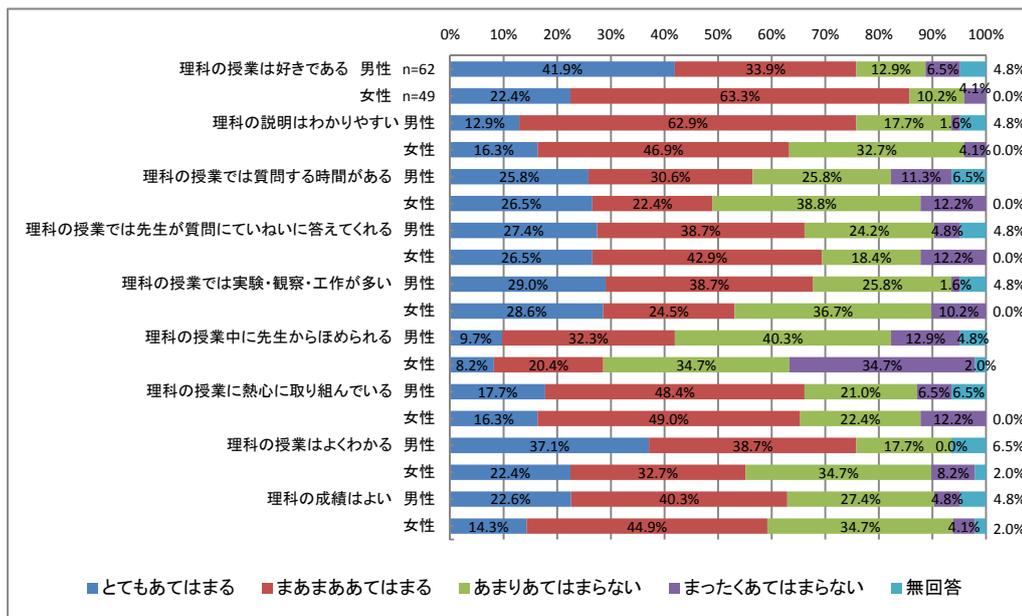
 Q1-8e.kにおいて、親<父親、母親、あるいは両方>が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した子どもn=432（内訳：父親のみポジティブ n=65 母親のみポジティブ n=208 父母ともにポジティブ n=159）と、親<父親も母親も>が博物館等につれていってくれるにネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した子どもn=111の比較



・親が博物館等につれていく 男女別



• 親が博物館等につれていかない 男女別



• 考察

全体的に、ポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）が、どの問いも半数以上を超えており、理科が好きなお子が多いことを物語っている。科学館で回収したアンケートなので、理科に対するポジティブ度が高いのは妥当だと考える。

男女別の回答を比べると、各回答とも男性のポジティブ回答の方が女性のポジティブ回答より少し高い数値で答えている。

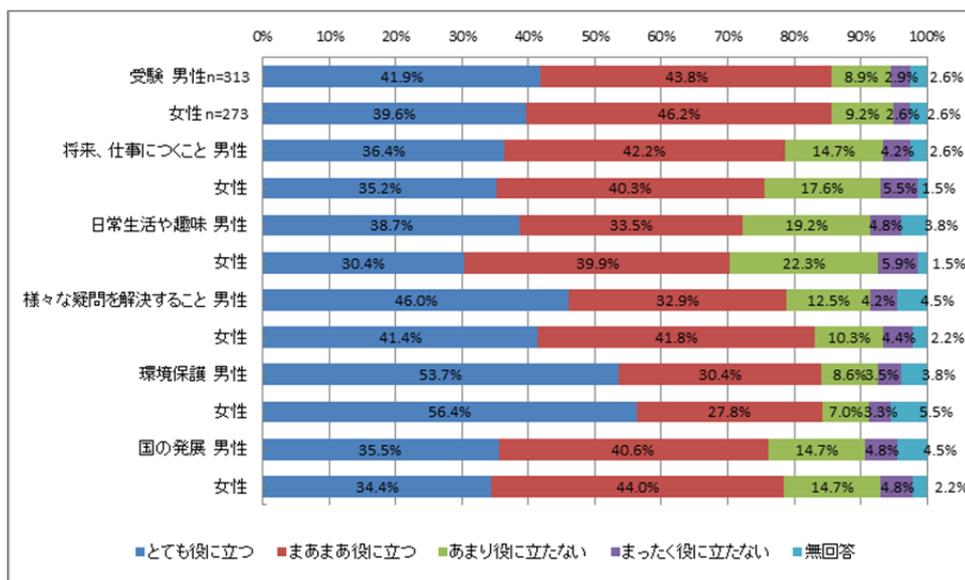
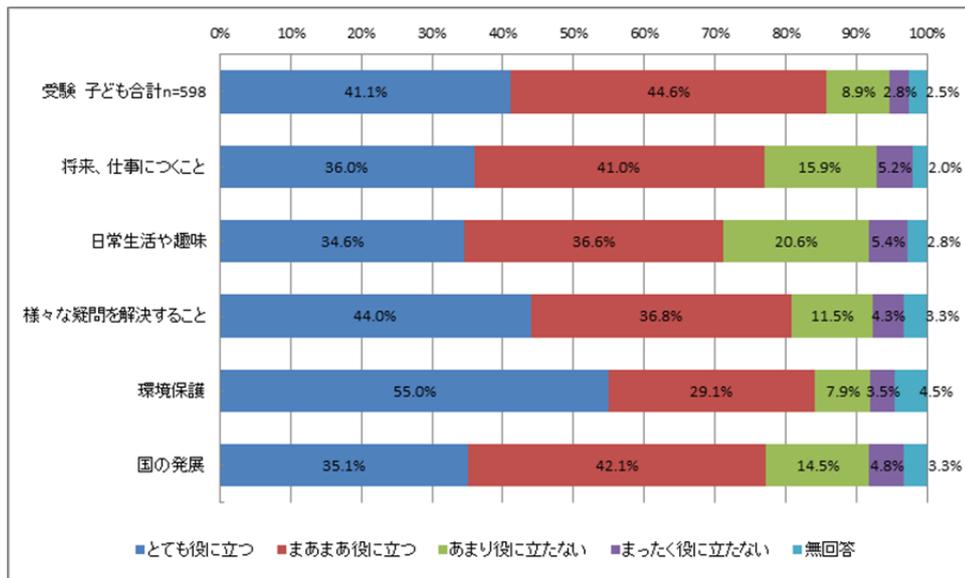
その中で、総合のグラフでは「f.理科の授業中に先生からほめられた」のポジティブ回答は60%を下回っている（合計56.3%）。（この問いに「まったくあてはまらない」と回答した人が14.7%と多く存在する。）

Q1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した女性は「f.理科の授業中に先生からほめられる」も「あまりあてはまらない・まったくあてはまらない」とネガティブ回答している数値が合計60.3%と高い特徴が見受けられる。人からほめられるという行為は、学習する上でのモチベーションを上げる要因のひとつとなっているのではと考える。

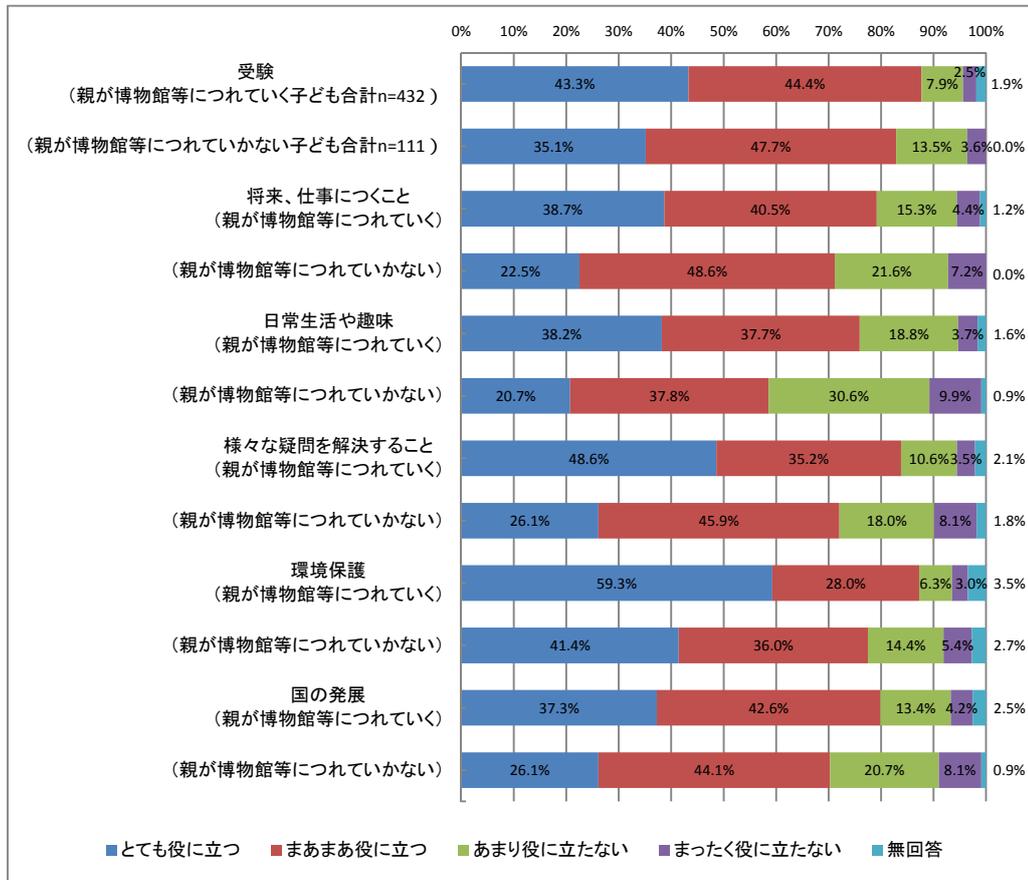
Q1-2 学校で理科を勉強することは、次のことに対してどれくらい役に立つと思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

- a. 受験
- b. 将来、仕事につくこと
- c. 日常生活や趣味（しゅみ）
- d. 様々な疑問（ぎもん）を解決（かいけつ）すること
- e. 環境保護（かんきょうほご）
- f. 国の発展

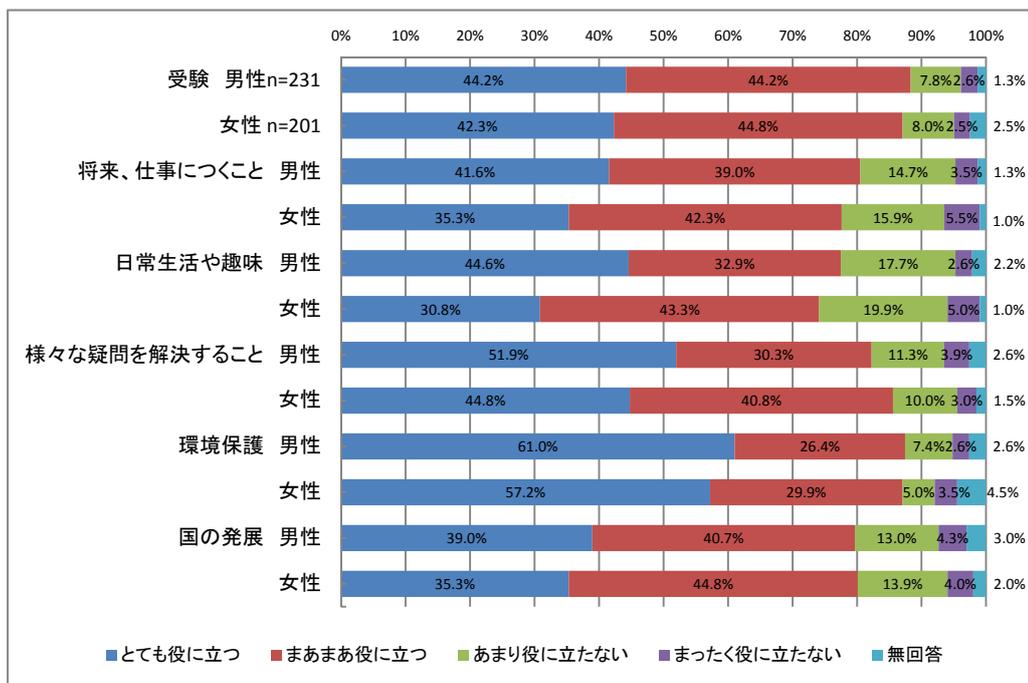
	とても役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役に立たない	まったく役に立たない
1	2	3	4	
1	2	3	4	
1	2	3	4	
1	2	3	4	
1	2	3	4	
1	2	3	4	



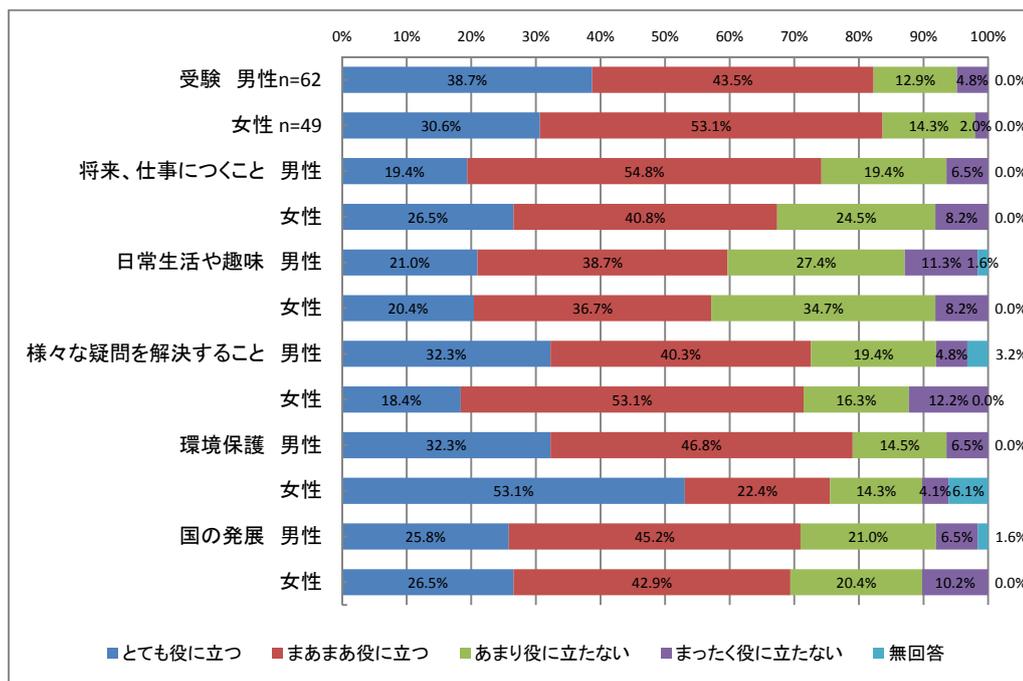
 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



・親が博物館等につれていく 男女別



・親が博物館等につれていかない 男女別



・考察

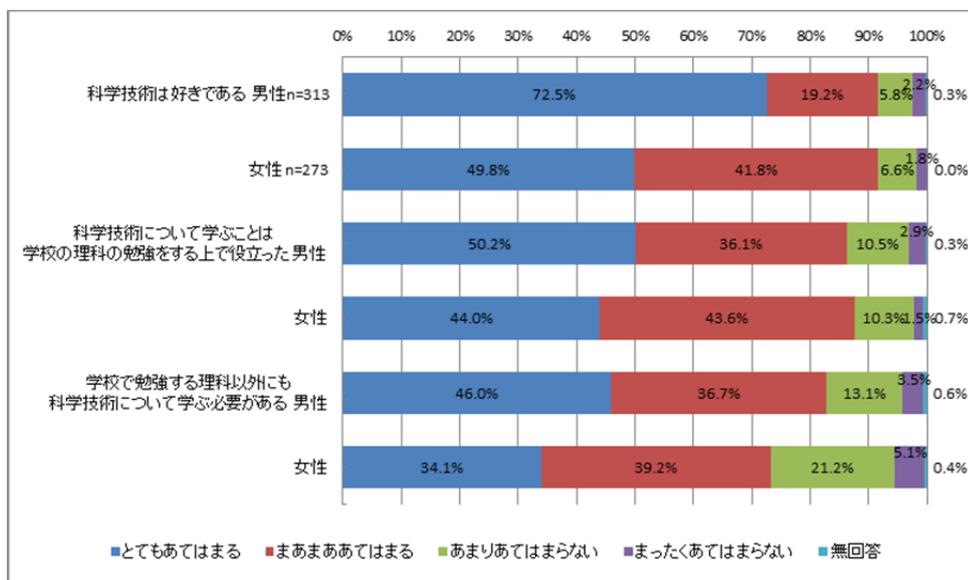
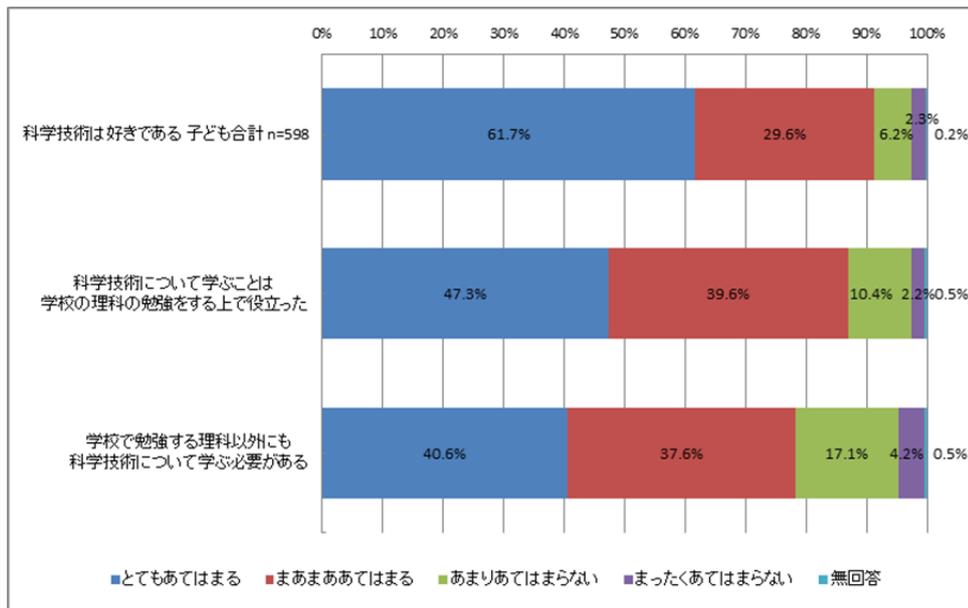
大人より子どもの方が、学校で理科を勉強することは「a.受験に役に立つ」とポジティブ回答（とても役に立つ・まあまあ役に立つ）をする人が多い（合計 85.7%）。

また、学校で理科を勉強することは「e.環境保護に役に立つ」と考えているポジティブ回答も合計 84.1%と高い数値を上げている。なかでも、とても役に立つと回答した方は 55.0%も存在し、学校での指導要領の賜物か、子どもたちの環境への関心の高さがうかがえる。

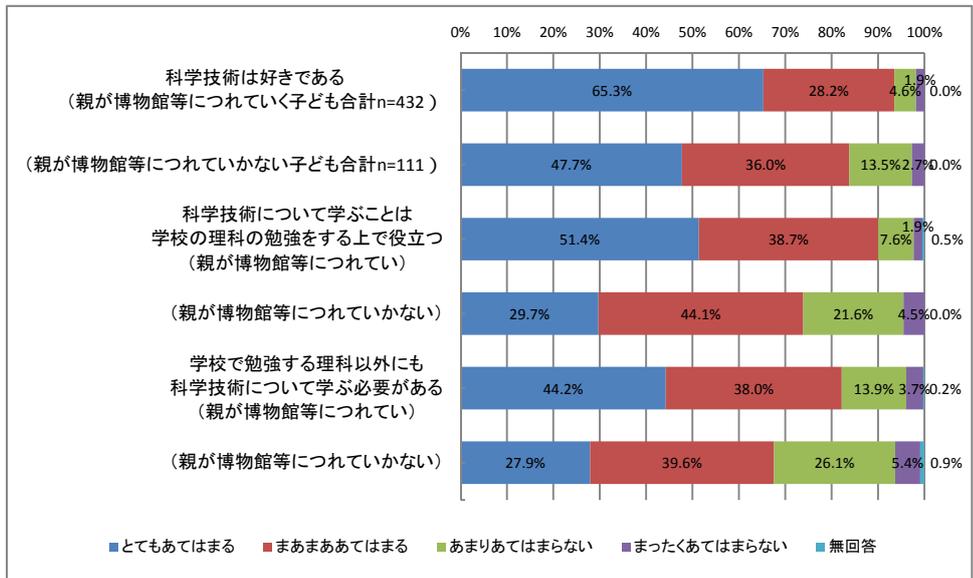
Q1-8e,k において「親が博物館に連れていく」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した人は、学校で理科を勉強することの「d.様々な疑問を解決すること」で「とても役に立つ」と回答した人が 26.1%と少なく、「親が博物館に連れていく」に回答した人の「とても役に立つ」48.6%に比べて、22.5%も低くなっている。

Q1-3 科学技術について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

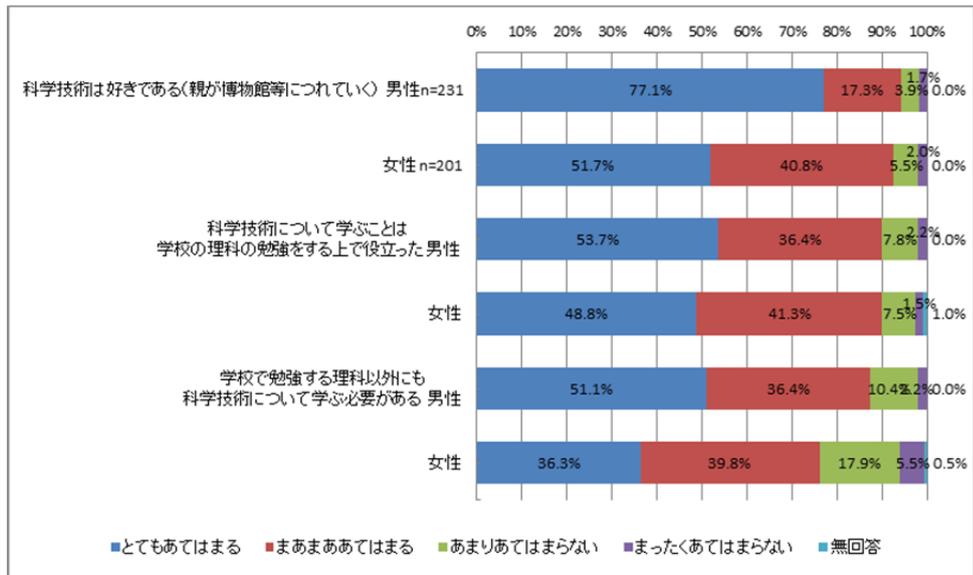
	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 科学技術は好きである	1	2	3	4
b. 科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をする上で役立つ	1	2	3	4
c. 学校で勉強する理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある	1	2	3	4



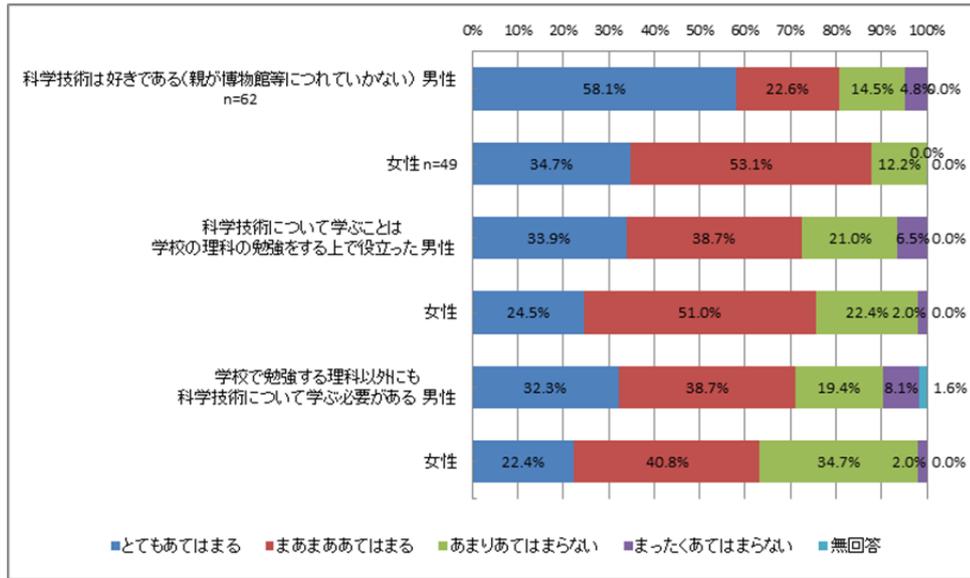
 Q1-8e,kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



・親が博物館等につれていく 男女別



・親が博物館等につれていかない 男女別



・考察

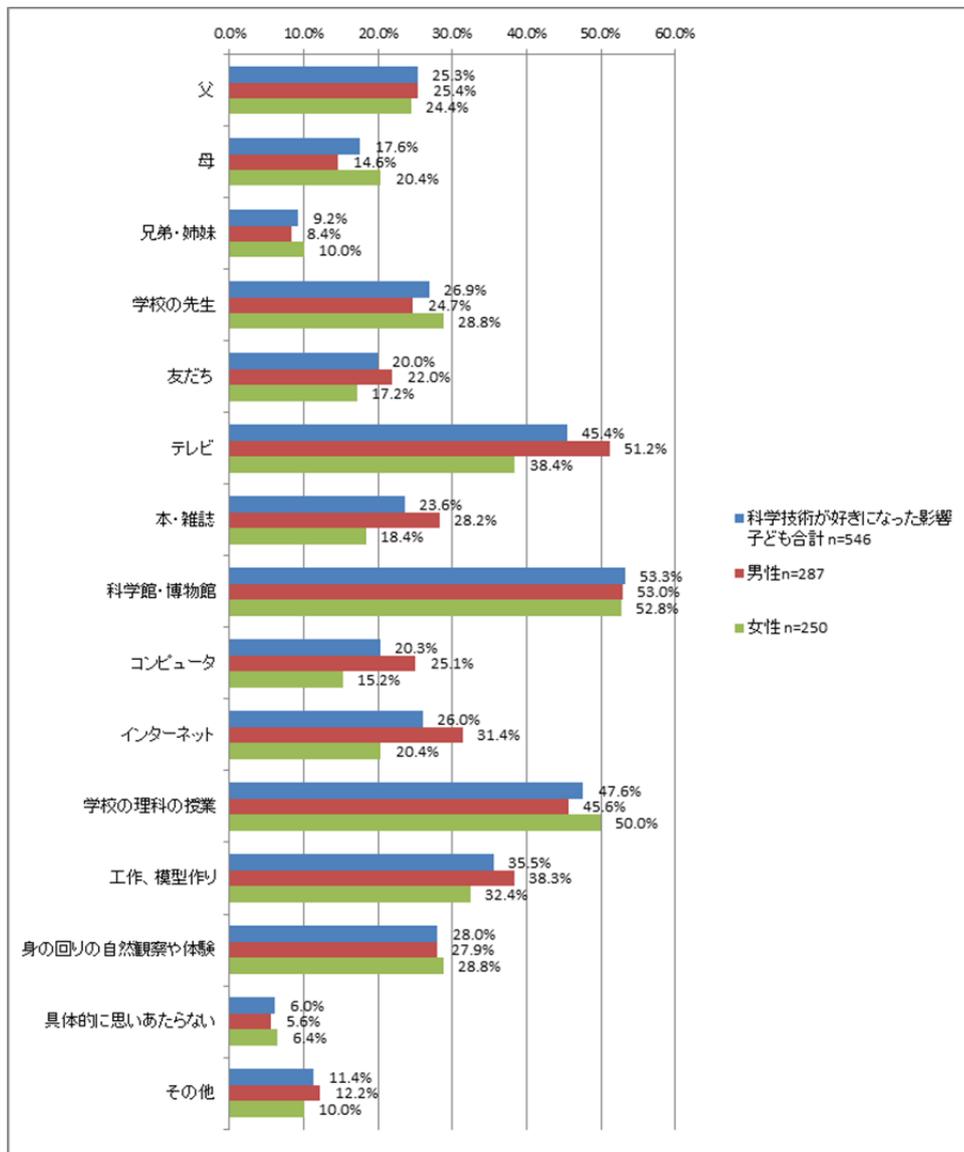
総合のグラフで、合計 91.3%もの人が「a. 科学技術は好きである」にポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）をしている。また「c. 学校で学ぶ理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある」に、ポジティブ回答をした人が合計 78.2%も存在しており、生活する上で科学技術の重要性を感じているようだ。

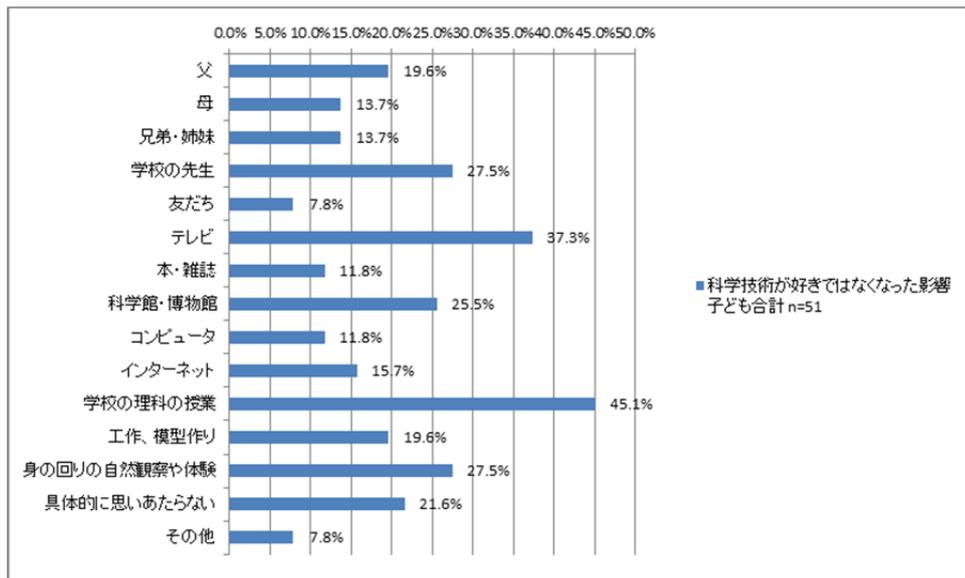
Q1-8e,k において「親が博物館に連れていってくれる」にポジティブ回答をした男女は、「c. 科学技術について学ぶことは、学校の理科の勉強をするうえで、役に立つ」に 51.4%が「とてもあてはまる」と答え、ネガティブ回答した男女の数値 29.7%とは 21.7%もの数値の開きがでた。

Q1-8e,k において「親が博物館に連れていく」にネガティブ回答した男女とも、「あまりあてはまらない」というみどり色の回答部分が全体的に数値をのぼしている。

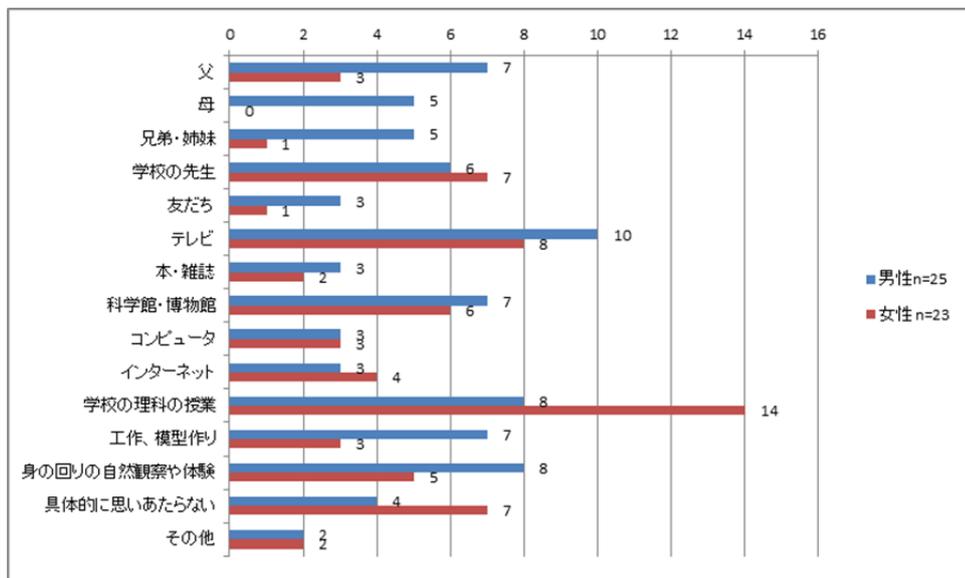
Q1-4 あなたが科学技術が好きだったり、好きではなかったりするの、どのような影響が大きかったと思いますか。
大きく影響されたと思う番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|-----------------------|
| 1 父 | 6 テレビ | 11 学校の理科の授業 |
| 2 母 | 7 本・雑誌（ざっし） | 12 工作、模型作り |
| 3 兄弟・姉妹 | 8 科学館・博物館 | 13 身の回りの自然の観察や体験 |
| 4 学校の先生 | 9 コンピュータ | 14 具体的（ぐたいてき）に思い当たらない |
| 5 友だち | 10 インターネット | 15 その他 |

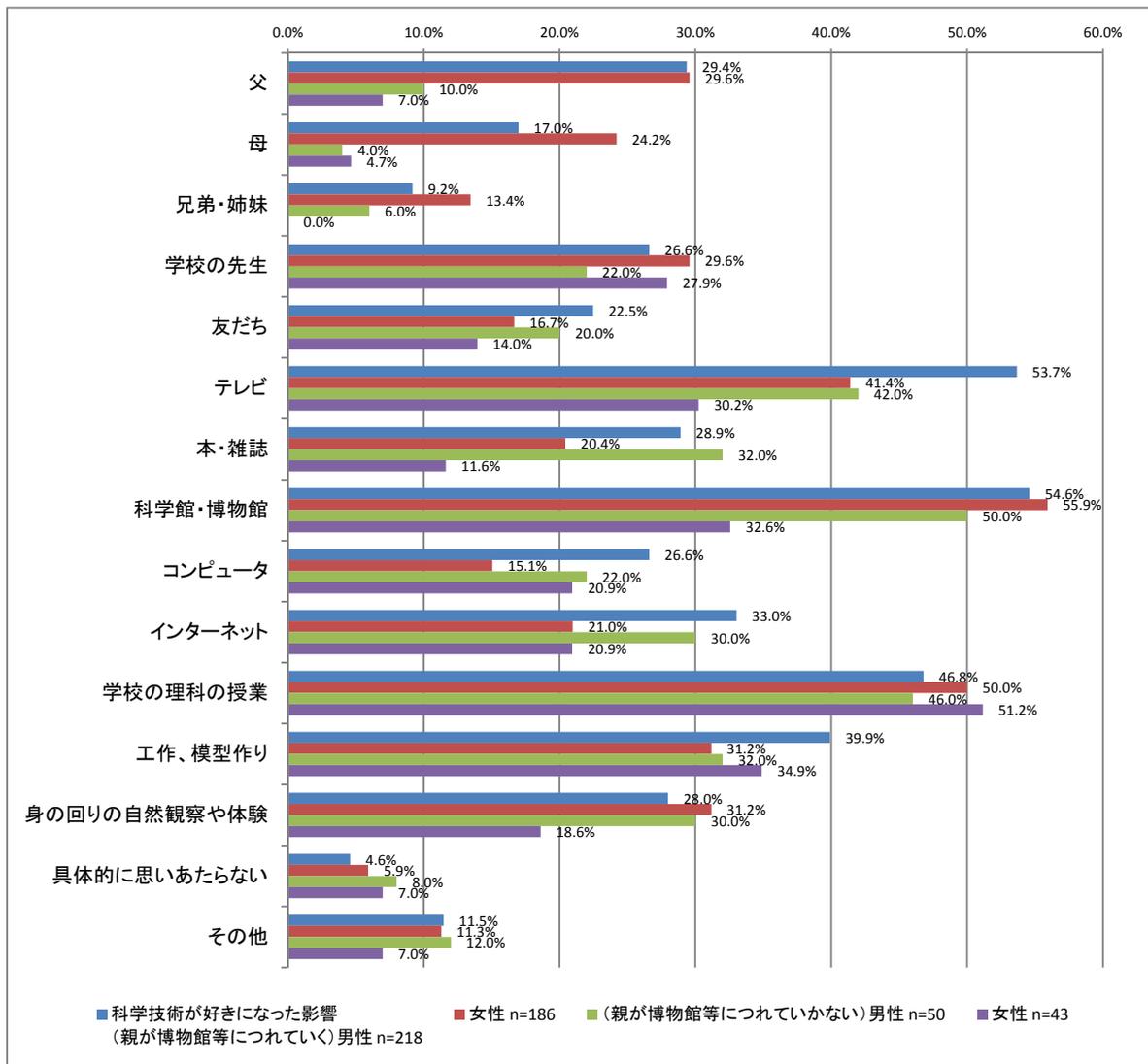
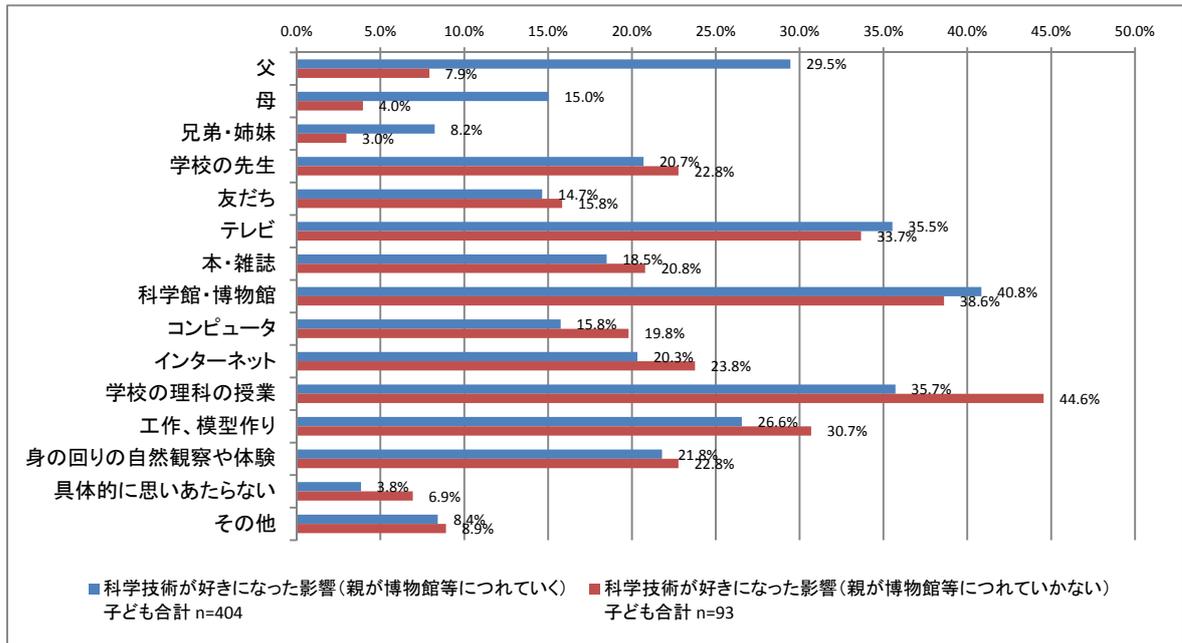




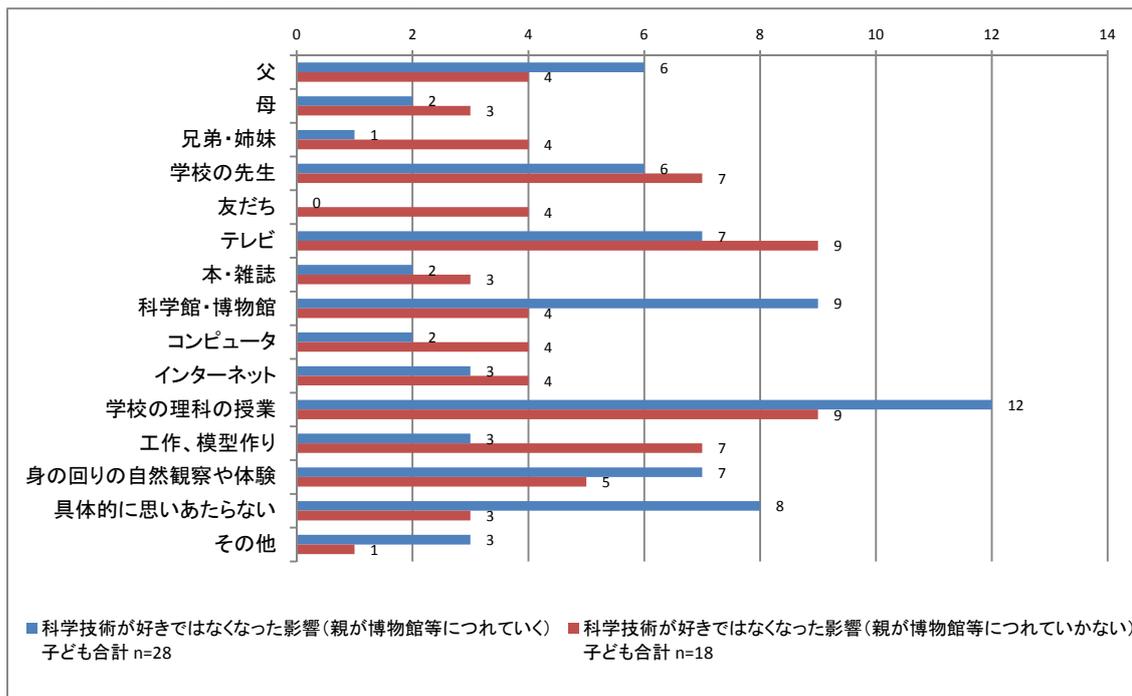
・ 科学技術が好きではなくなった影響 男女別 度数



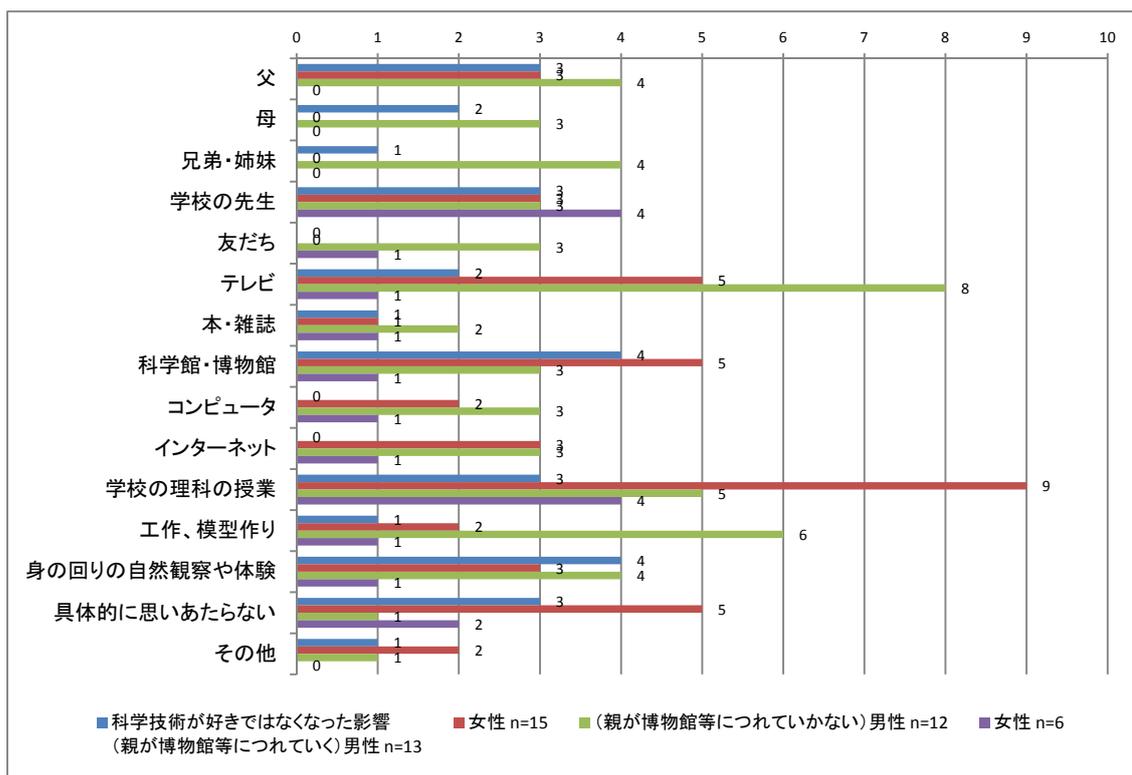
 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432 と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



• 科学技術が好きではなくなった影響 度数



• 科学技術が好きではなくなった影響 男女別 度数



• 考察

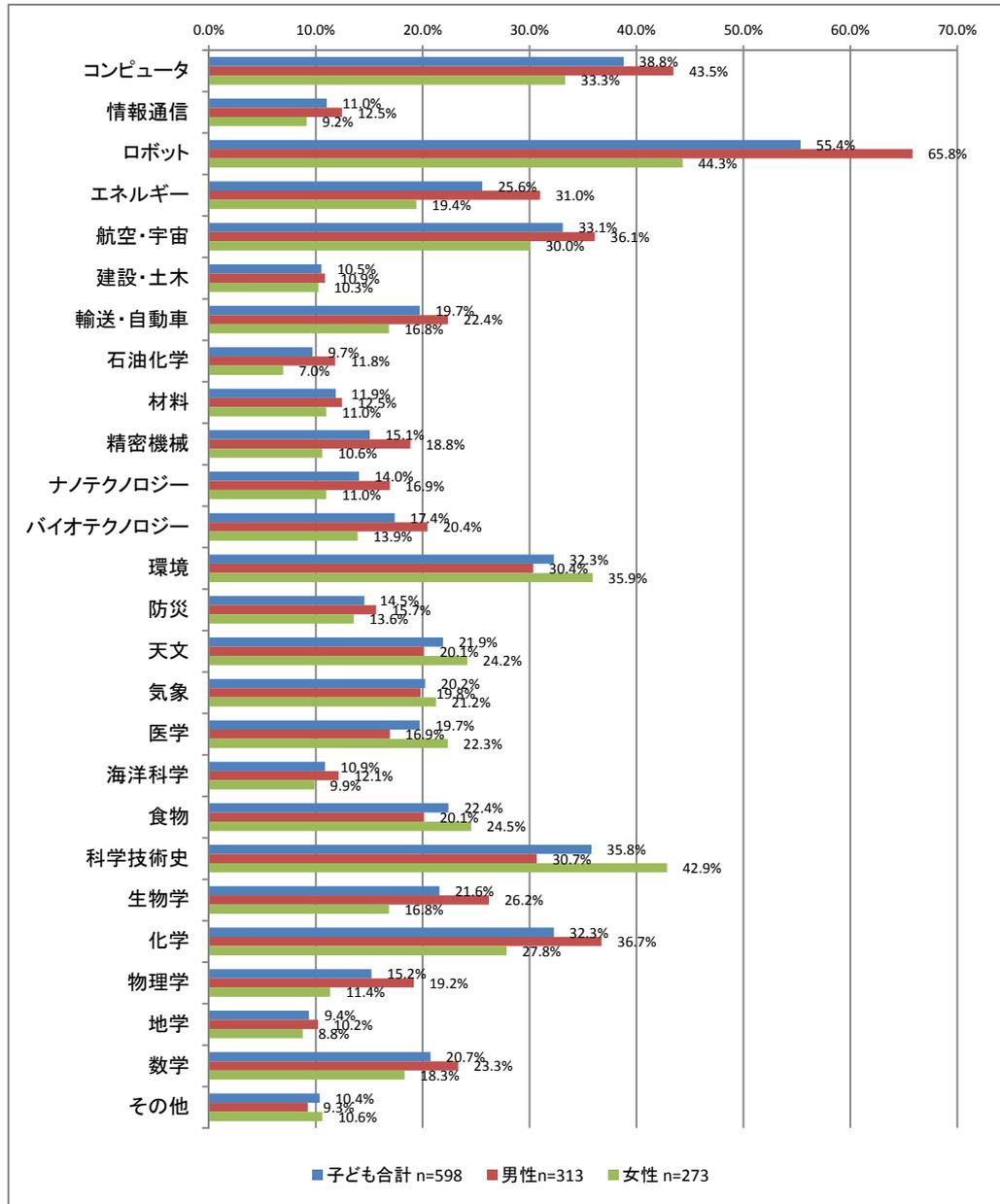
総合グラフで、科学技術を好きになった影響順は上位から①8.科学館・博物館（53.3%）、②11.学校の理科の授業（47.6%）、③6.テレビ（45.4%）。10.インターネットの数値は26.0%と、6.テレビに比べて意外に少ないと感じる。

逆に科学技術が好きではなくなった影響順は上位から①11.学校の理科の授業（45.1%）、②6.テレビ（37.3%）、③4.学校の先生・13.身の回りの自然観察や体験（ともに27.5%）で、8.科学館・博物館は25.5%と、ワースト3には入っていないものの、残念ながら比較的高い数値となっている。

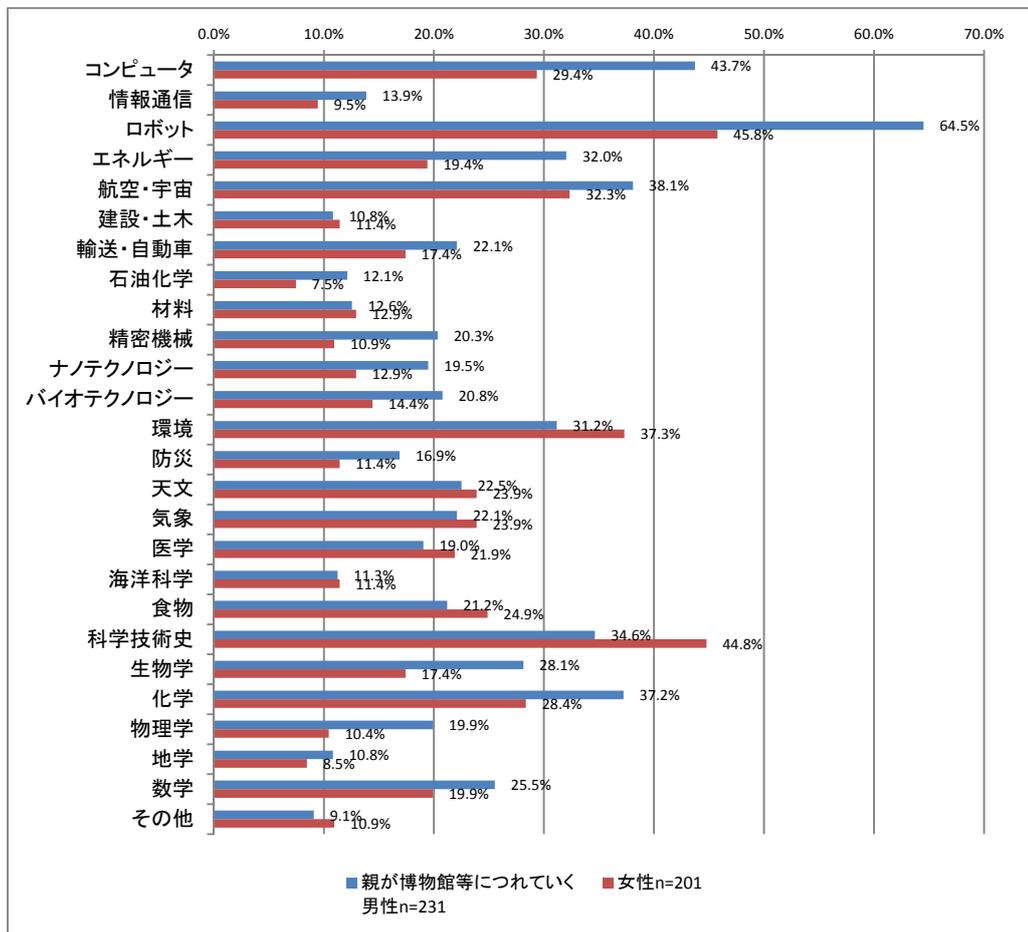
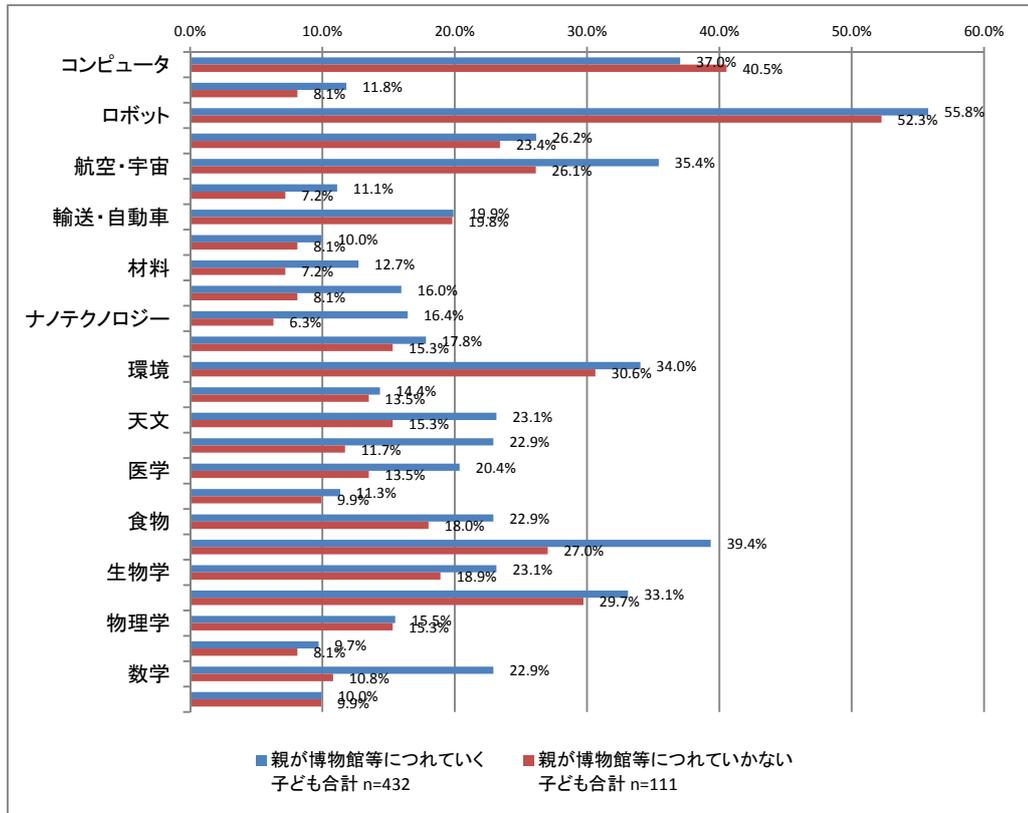
男女別に回答を分けると、男性は6.テレビ以外に、1.父、2.母、3.兄弟・姉妹などの身近な人の影響を、女性は圧倒的に11.学校の理科の授業の影響によって、科学技術が好きではなくなっているようである。

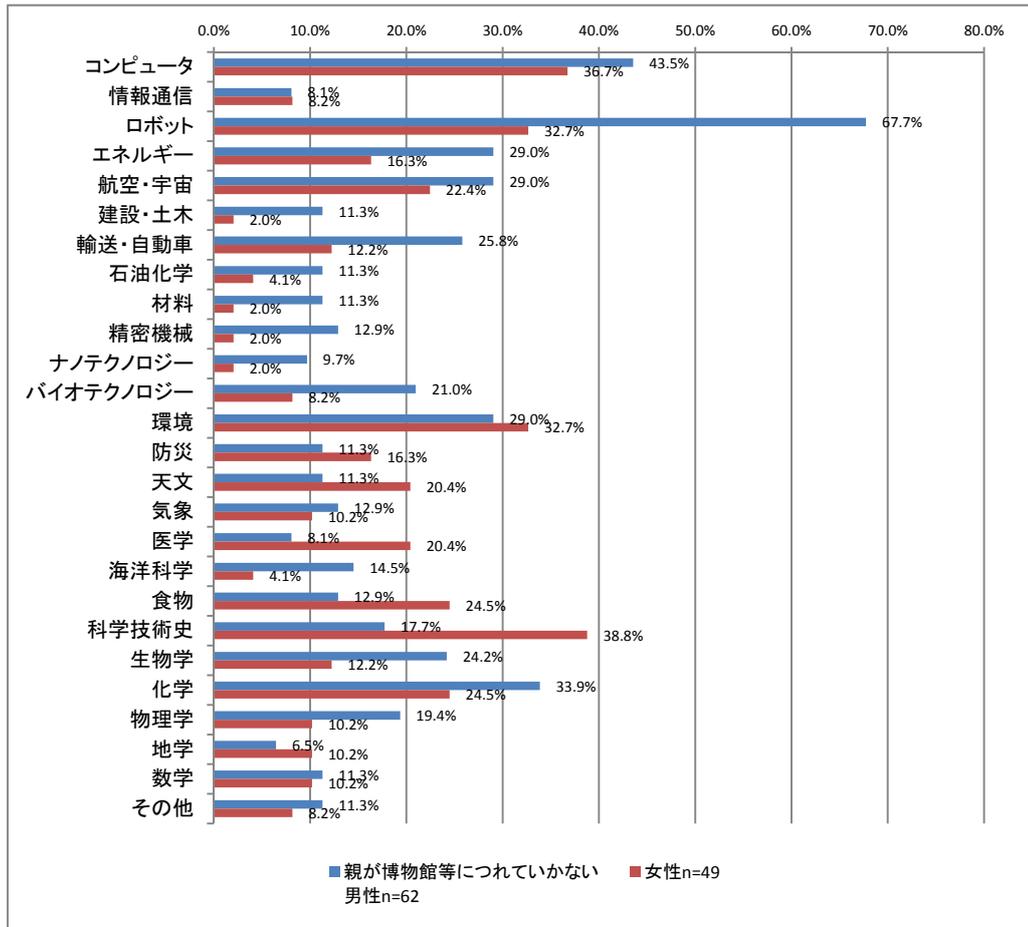
Q1-5 あなたの関心のある科学技術分野はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|------------------|----|----------------|----|------------|----|-------|----|-----|
| 1 | コンピュータ | 7 | 輸送・自動車 | 13 | 環境 (かんきょう) | 19 | 食物 | 25 | 数学 |
| 2 | 情報通信 (じょうほうつうしん) | 8 | 石油化学 | 14 | 防災 (ぼうさい) | 20 | 動物・植物 | 26 | その他 |
| 3 | ロボット | 9 | 材料 | 15 | 天文 | 21 | 生物学 | | |
| 4 | エネルギー | 10 | 精密機械 (せいみつきかい) | 16 | 気象 (きしょう) | 22 | 化学 | | |
| 5 | 航空・宇宙 | 11 | ナノテクノロジー | 17 | 医学 | 23 | 物理学 | | |
| 6 | 建設・土木 | 12 | バイオテクノロジー | 18 | 海洋科学 | 24 | 地学 | | |



 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較





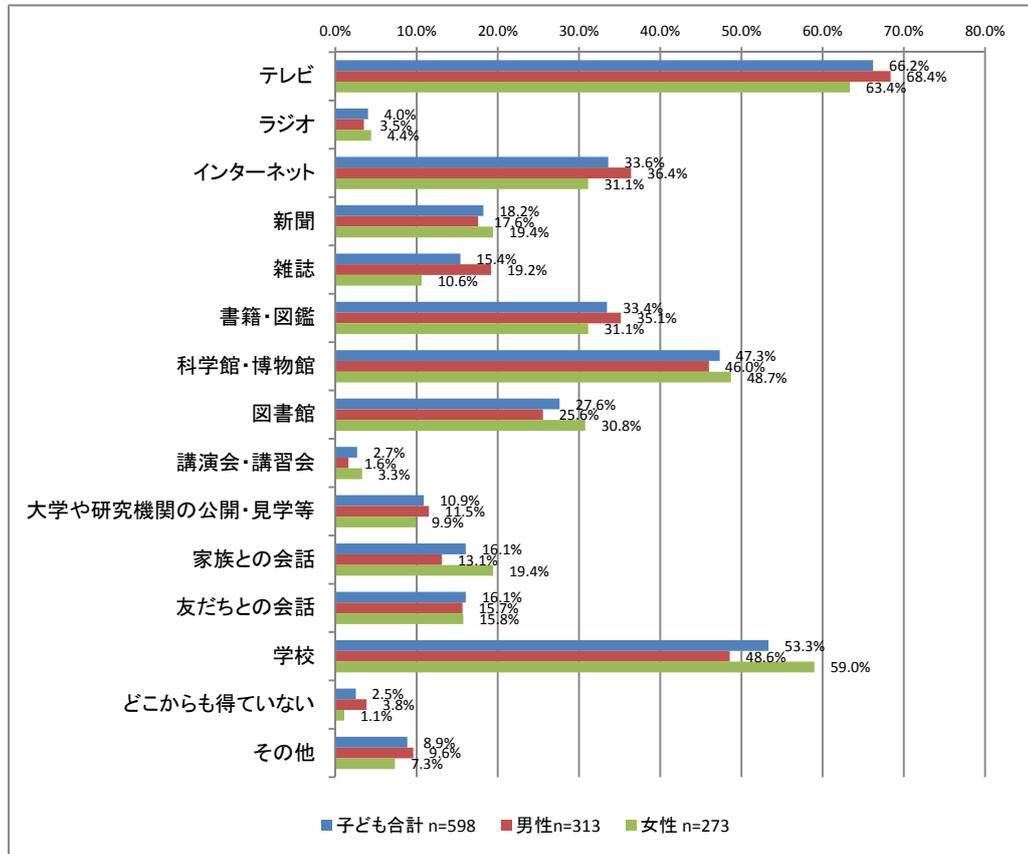
・考察

総合グラフで、関心のある科学技術分野の順位は上位から①3.ロボット（55.4%）、②1.コンピューター（38.8%）、③20.動物・植物（35.8%）。

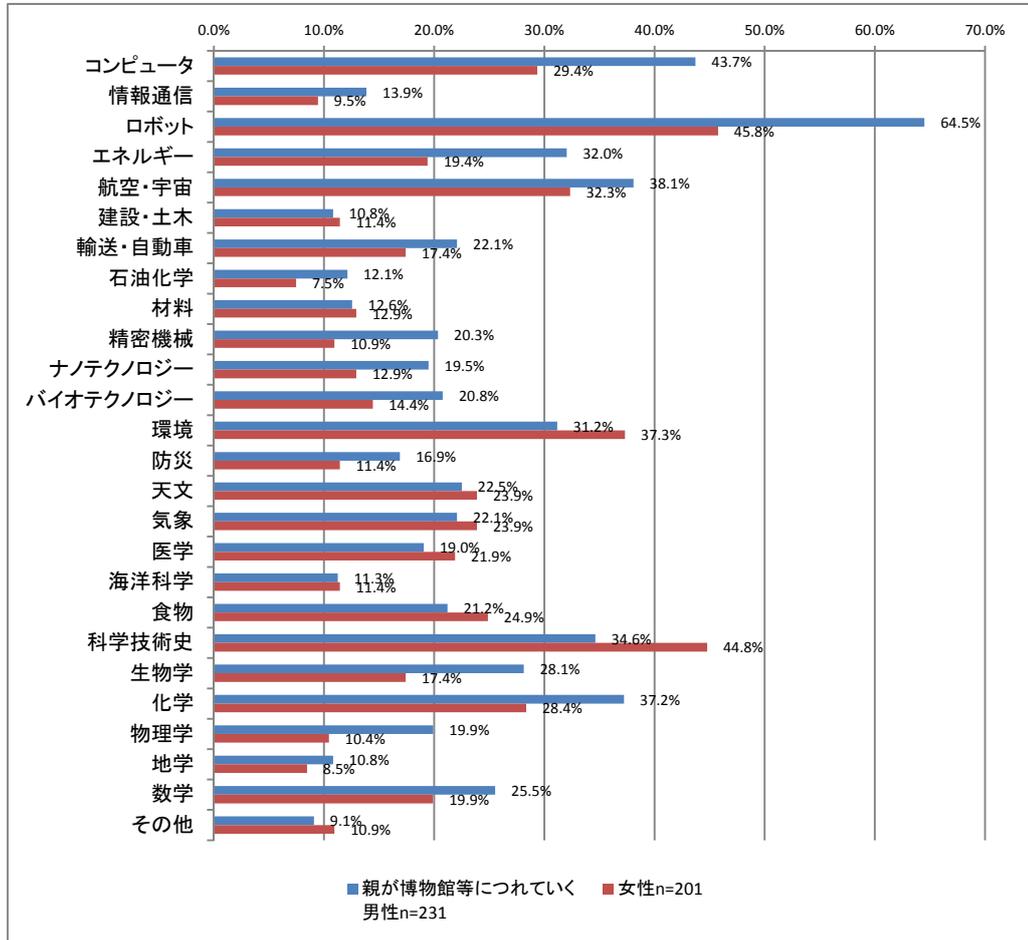
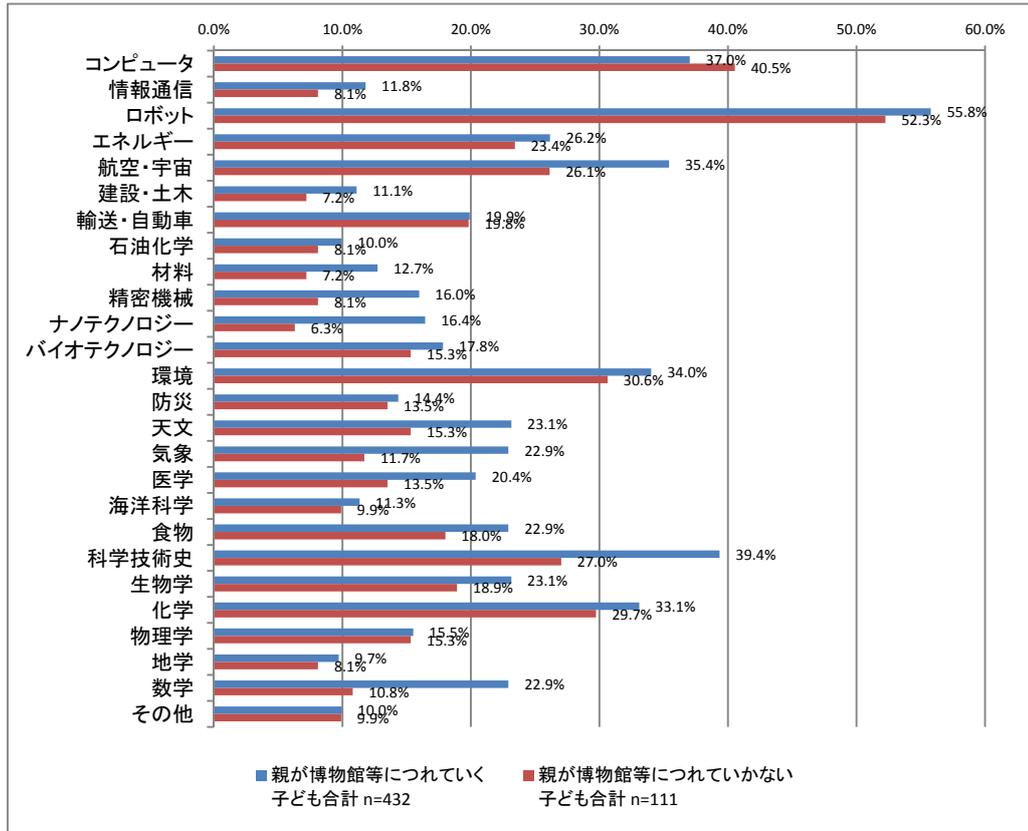
Q1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」にポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）した人は、ネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した人に比べて、20.動物・植物が12.4%差、25.数学が12.1%差、16.気象が11.2%差で高い興味を持っている。

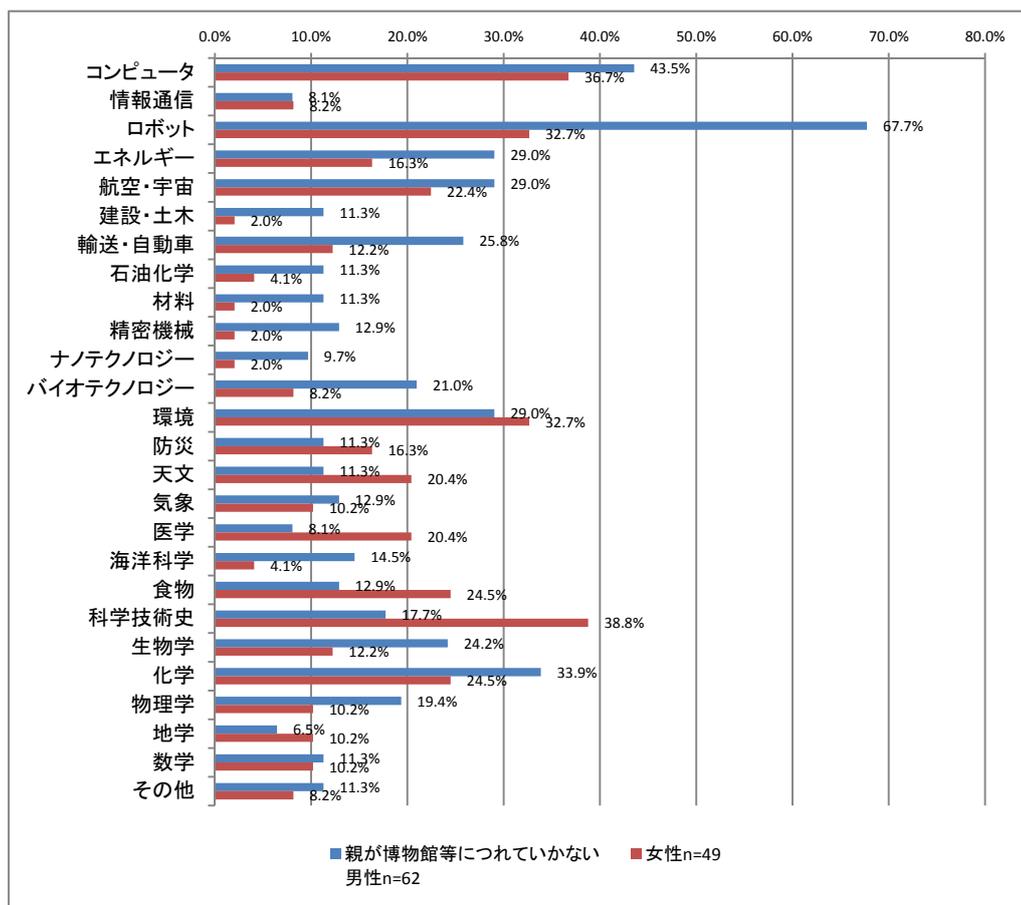
Q1-6 あなたは、ふだん科学技術に関する情報をどこから得ていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|----------|---|----------------------|----|------------------------|----|------------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌(ざっし) | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍(しよせき)・
図鑑(ずかん) | 10 | 大学や研究機関の公
開・見学イベント等 | 14 | どこからも得ていない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞(しんぶん) | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |



 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432 と、ネガティブ回答した子どもn=111 の比較





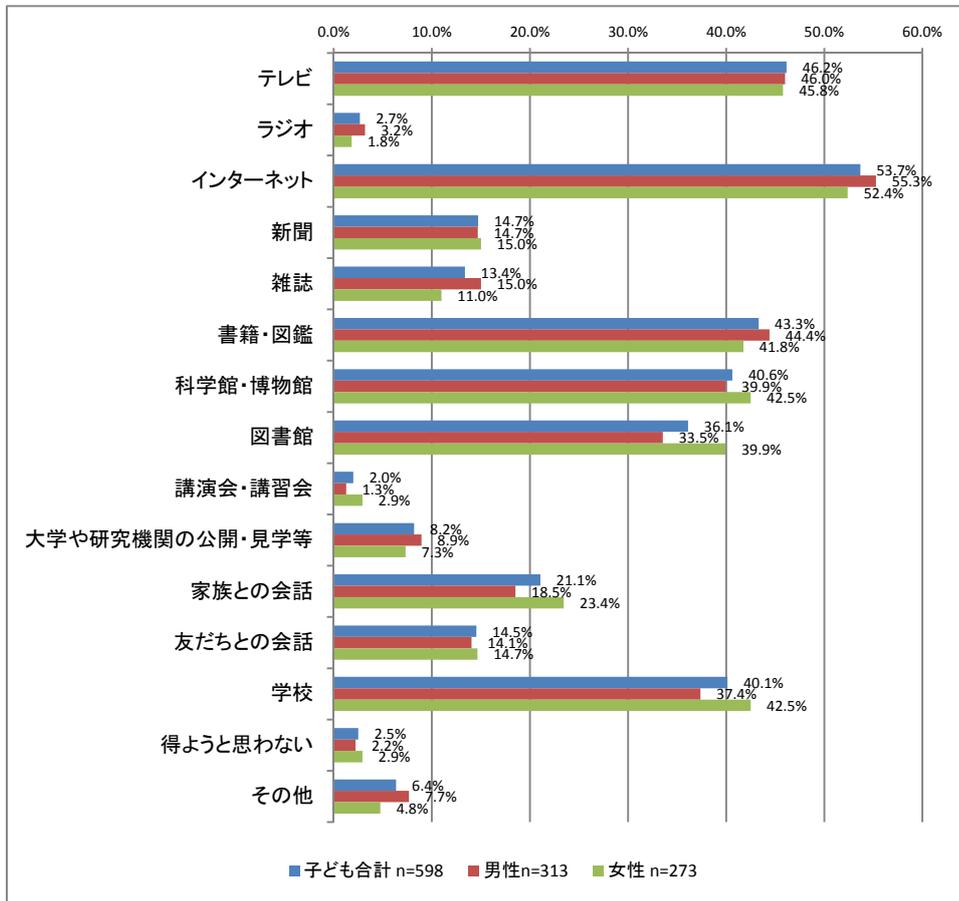
• 考察

総合グラフで、科学技術の情報を得る先の上位は①1.テレビ（66.2%）、②13.学校（53.3%）、③7.科学館・博物館（47.3%）と子どもたちは身近にあるものから情報を得ることが多いことがわかる。3.インターネットも 7.書籍や図書を抜いて33.6%と、家庭へのパソコン普及率に比例して数値が上がってきている。

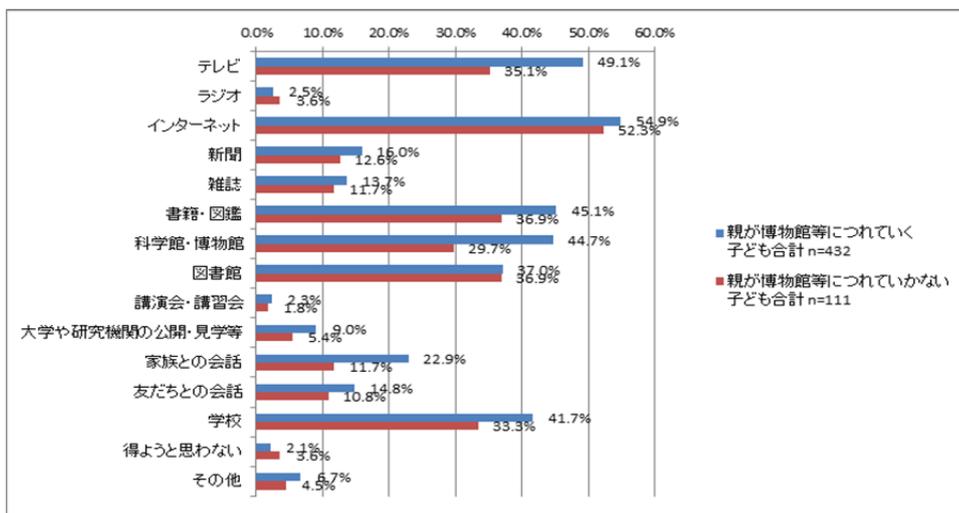
Q1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した人の方が、ポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）した人のグラフより、明らかにグラフ全体の情報を得る先の%（数値）が低くなっている。

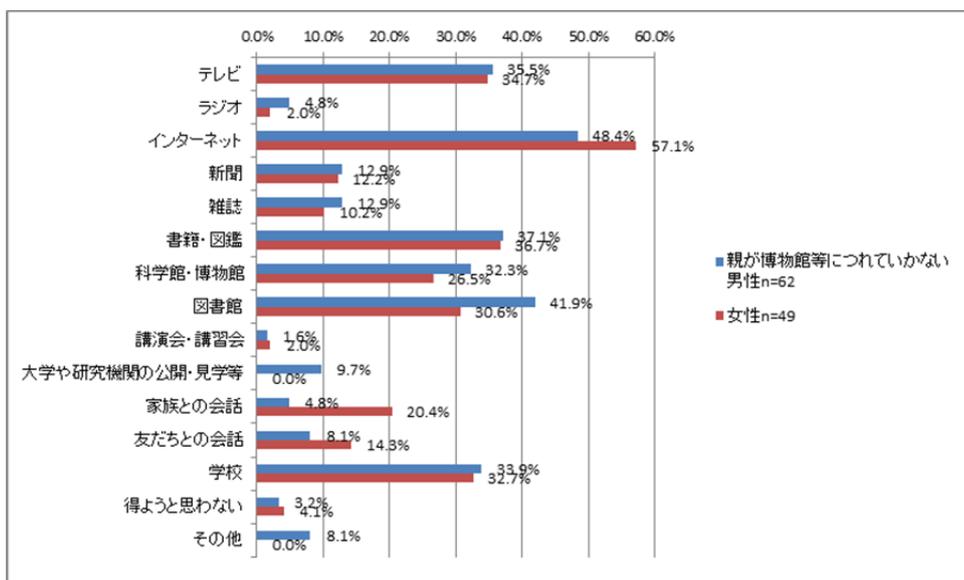
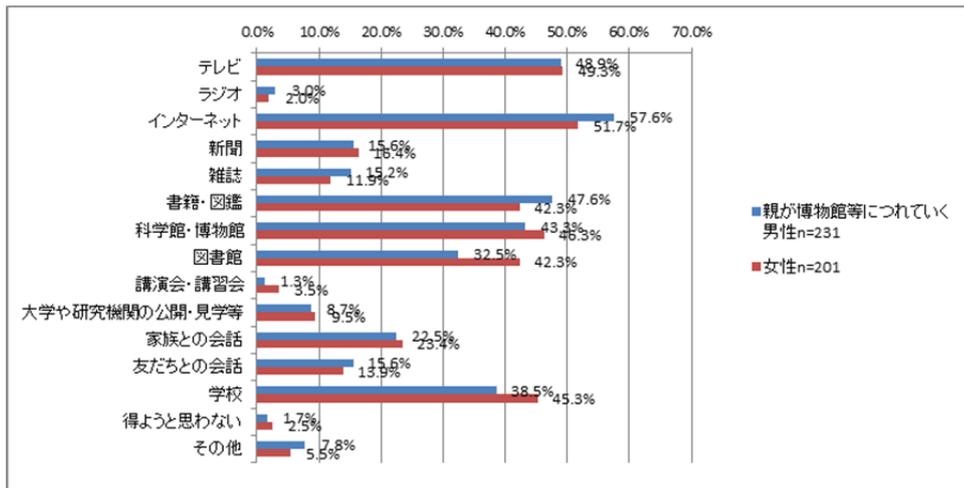
Q1-7 あなたは、科学技術に関する情報を知りたいとき、具体的にどのような手段で調べようと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|-----------|---|------------------------|----|------------------------|----|----------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌 (ざっし) | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍 (しょせき)・
図鑑 (ずかん) | 10 | 大学や研究機関の公
開・見学イベント等 | 14 | 得ようと思わない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞 (しんぶん) | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |



Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



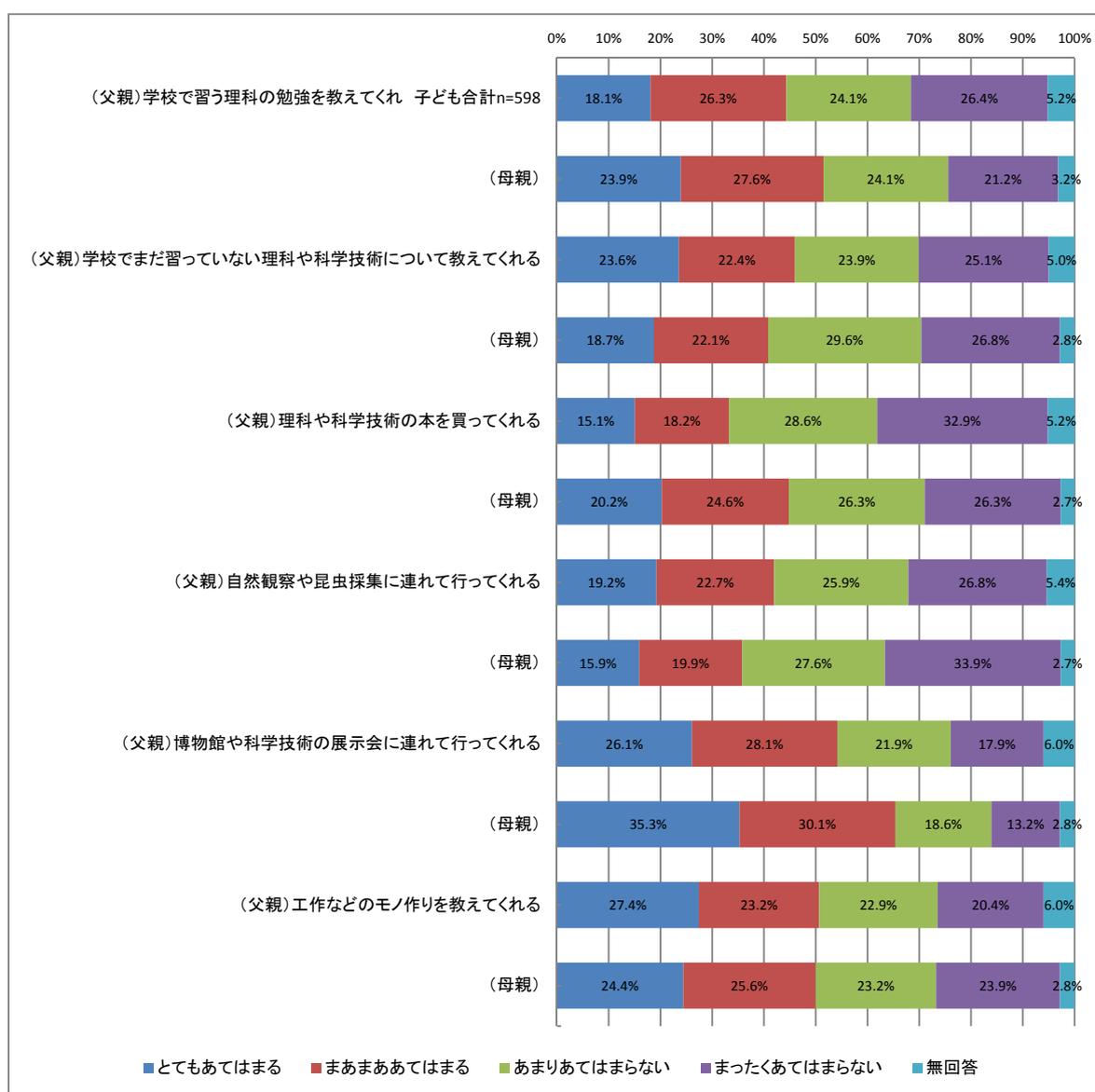


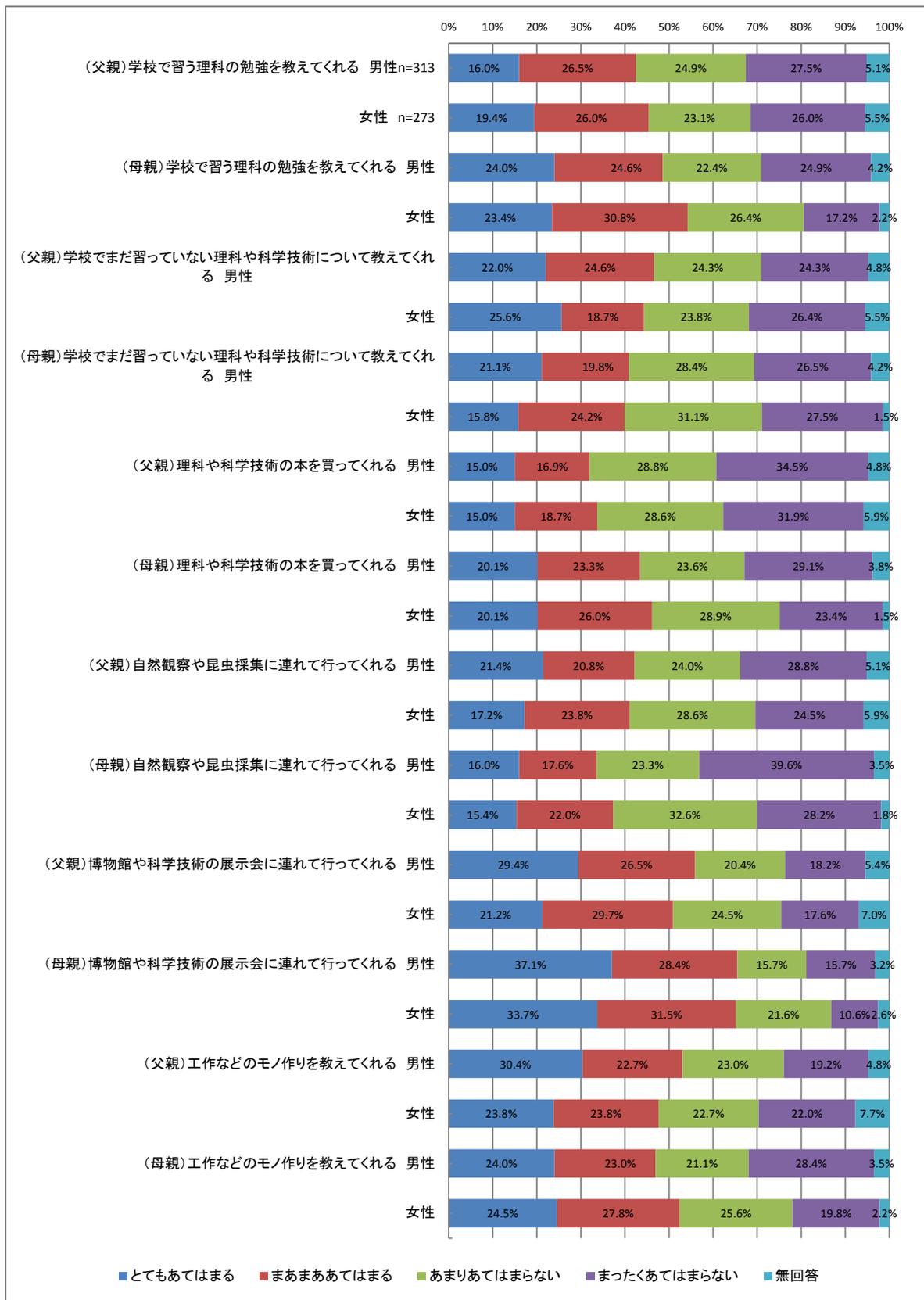
・考察

科学技術の情報を調べようとした場合、総合のグラフでは上位から①3.インターネット(53.7%)、②1.テレビ(46.2%)、③6.書籍・図鑑(43.3%)となっている。自らが何かを調べる場合は、検索機能もあるためかインターネットを使用する人が多い。ただし、公式ではない個人のページなどは、インターネット上の情報が全て正しいとは限らないため、同じテーマでも複数のページで内容を照らし合わせることを推奨したい。

Q1-8 次のことからは、あなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけください。

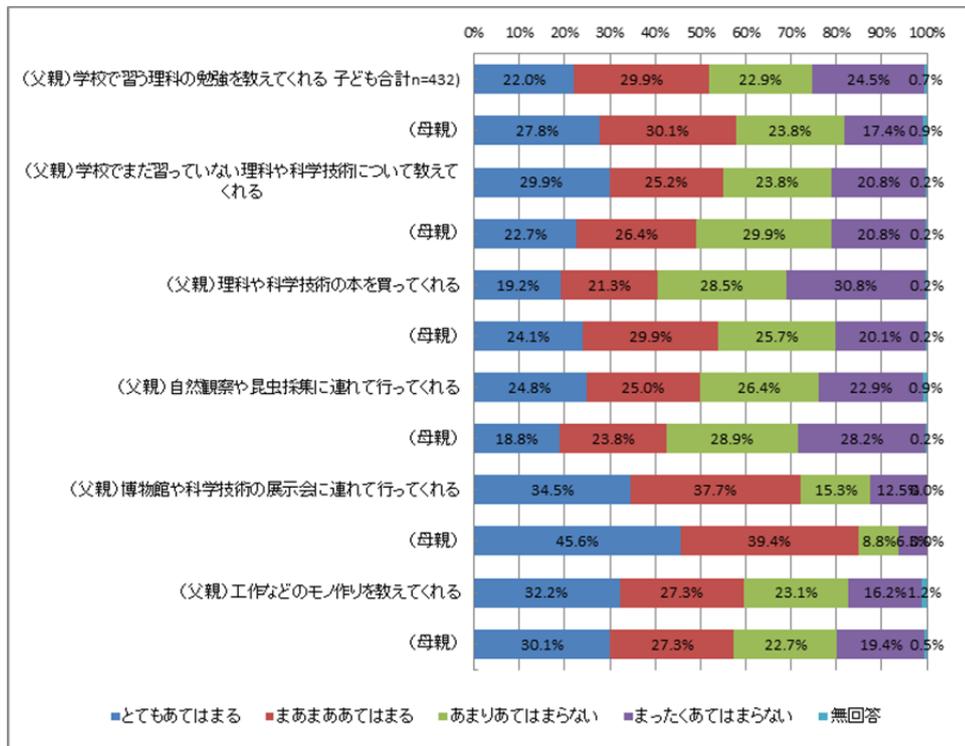
	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 父親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれる	1	2	3	4
b. 父親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれる	1	2	3	4
c. 父親は、理科や科学技術の本を買ってくれる	1	2	3	4
d. 父親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれる	1	2	3	4
e. 父親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれる	1	2	3	4
f. 父親は、工作などのモノ作りを教えてくれる	1	2	3	4
g. 母親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれる	1	2	3	4
h. 母親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれる	1	2	3	4
i. 母親は、理科や科学技術の本を買ってくれる	1	2	3	4
j. 母親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれる	1	2	3	4
k. 母親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれる	1	2	3	4
l. 母親は、工作などのモノ作りを教えてくれる	1	2	3	4



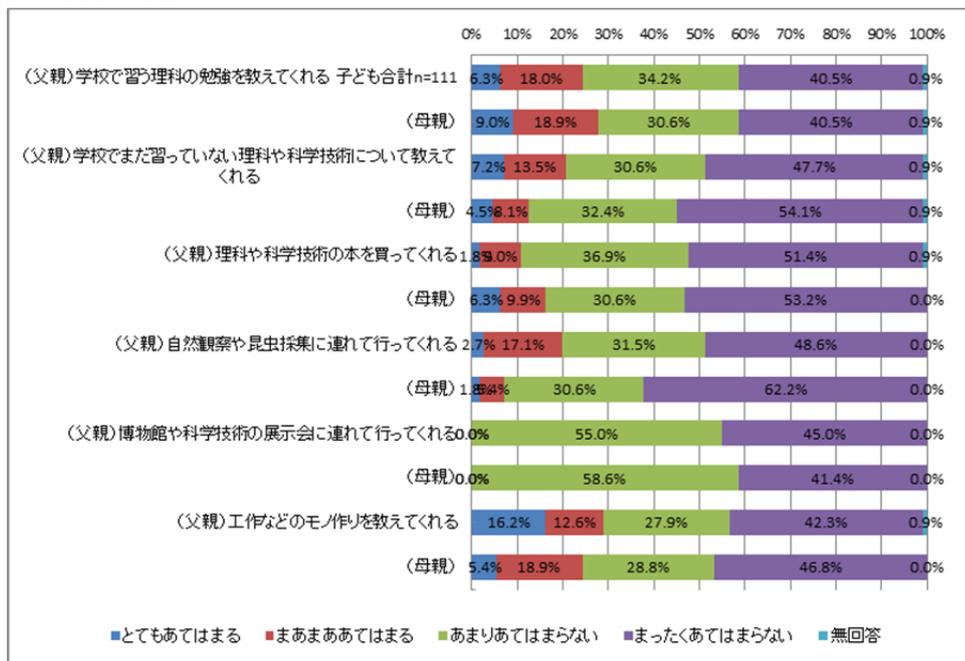


 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較

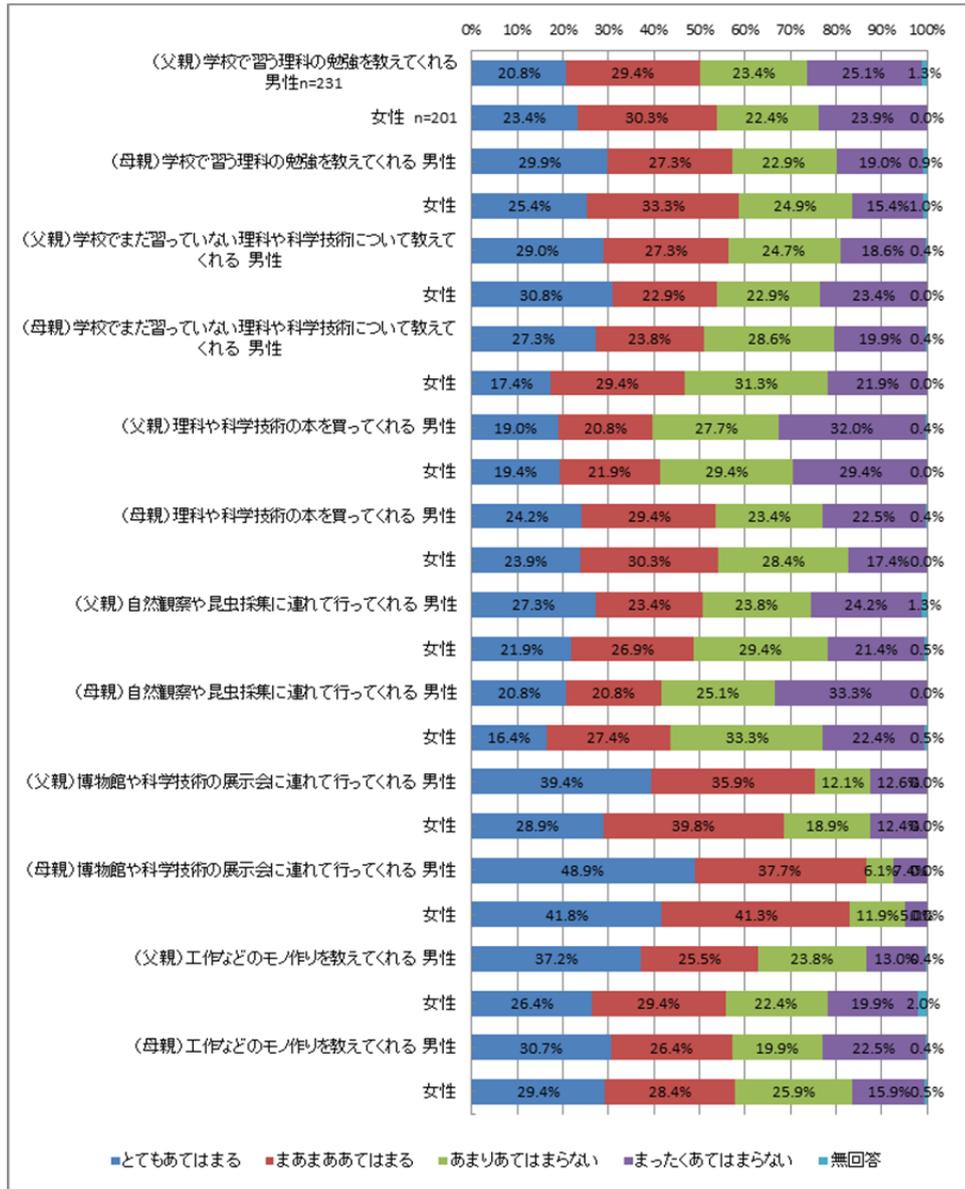
・親が博物館等につれていく



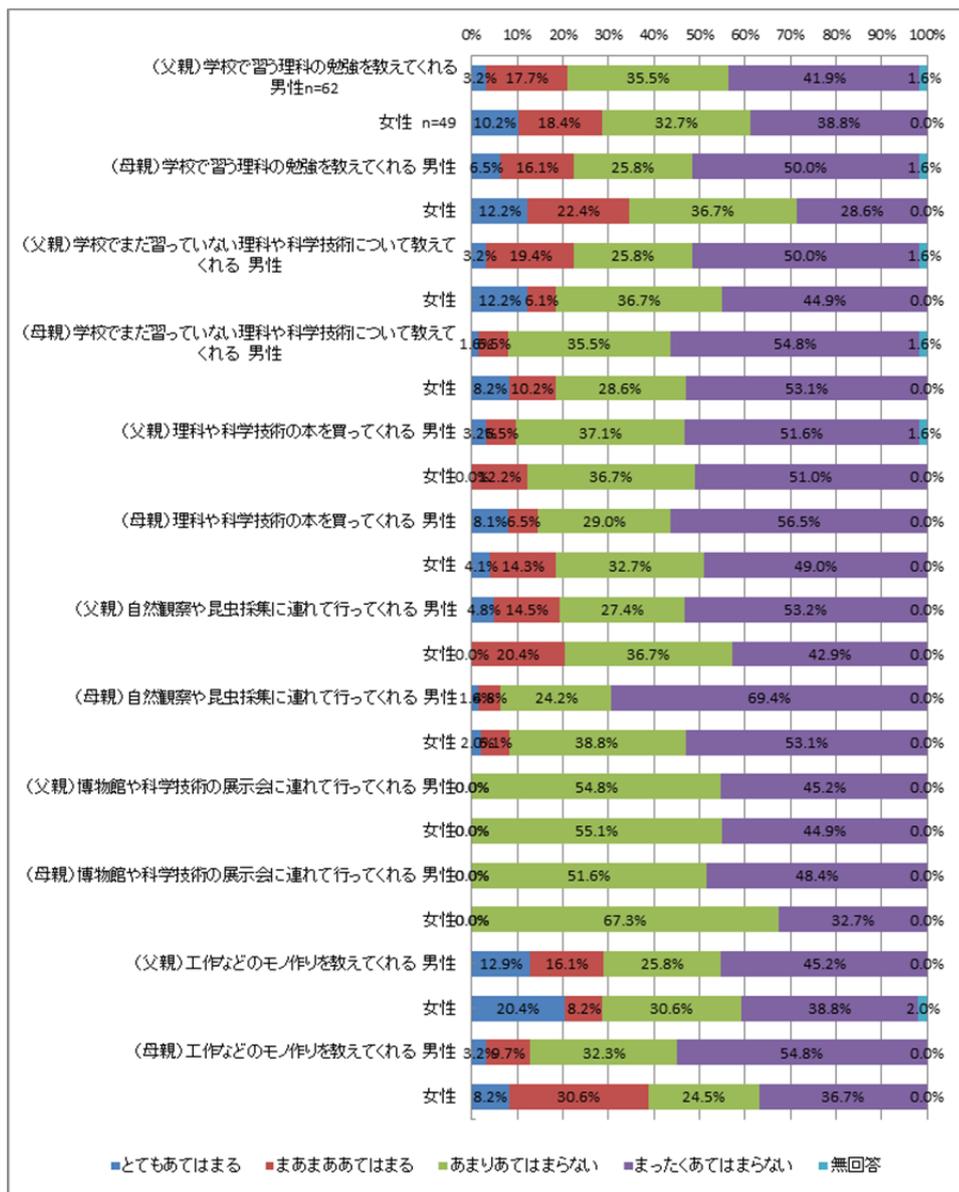
・親が博物館等につれていかない



・親が博物館等につれていく 男女別



・親が博物館等につれていかない 男女別



・考察

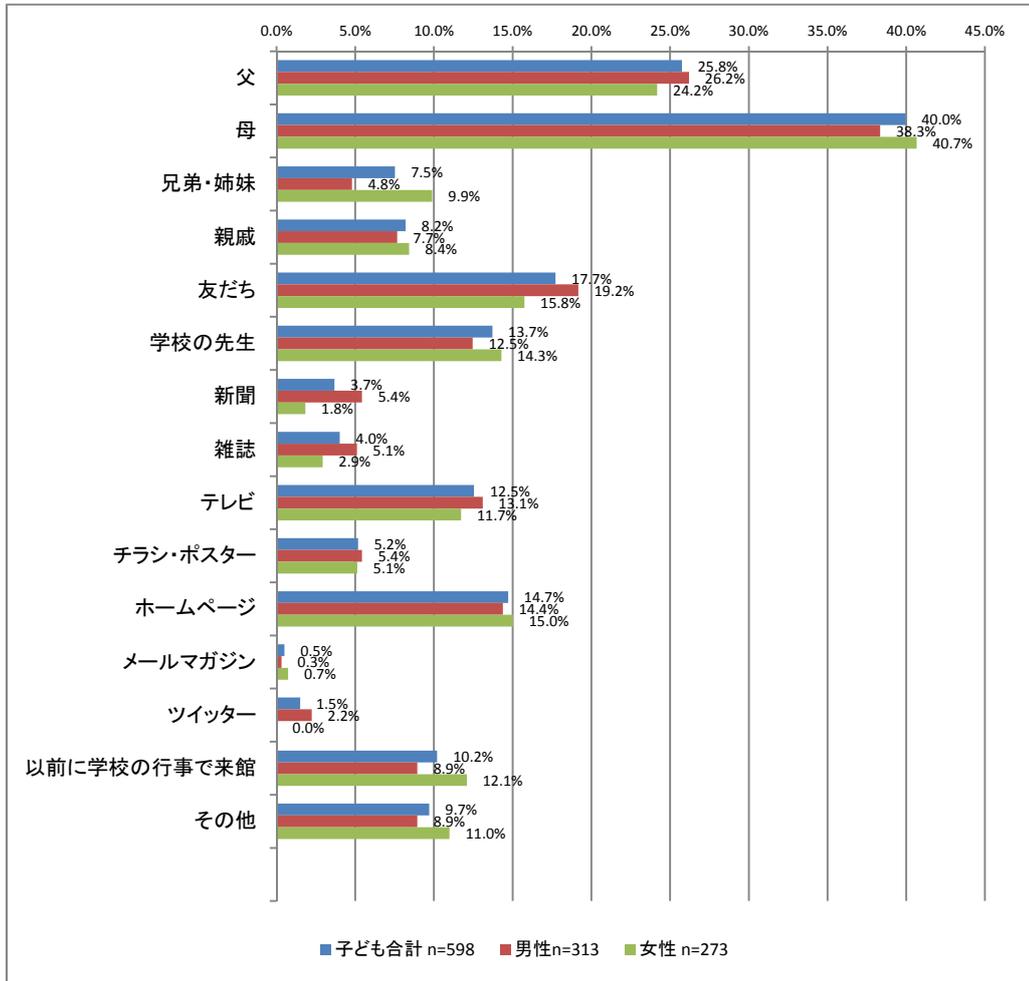
総合グラフで見ると、i.理科や科学の本を買ってくれたり、k.博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれるのは、父親より母親の方が少しだけポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）の数値が高い。

Q1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した男女については、各設問に対してもグラフではみどり色と紫色のネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）が目立つ。まずは親が率先して、子どもに対してなんらかの行動を起こさないと、子どもたちの視野を広げ、物事に興味を持たせることが難しいと考える。

2) 「科学技術館」に来館したきっかけ、展示を体験した印象(いんしょう)などについてお聞きします。

Q2-1 あなたは最初に科学技術館をどのように知りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|----------|---|----------|----|----------|----|-------------|
| 1 | 父 | 5 | 友だち | 9 | テレビ | 13 | ツイッター |
| 2 | 母 | 6 | 学校の先生 | 10 | チラシ・ポスター | 14 | 以前に学校の行事で来館 |
| 3 | 兄弟・姉妹 | 7 | 新聞(しんぶん) | 11 | ホームページ | 15 | その他 |
| 4 | 親戚(しんせき) | 8 | 雑誌(ざっし) | 12 | メールマガジン | | () |



★「15. その他」に記入された内容

◎インターネット(2)

◎人から

- 祖父母(5)
- じぶん
- しりあい
- でんじろう先生
- 先輩(3)
- 母・友だちか
- 友だちの母
- ジッケンジャー

◎団体

- がくどう (3)
- じどう館で知った。(2)
- ほう人会
- ヤマハの発表会
- わくわくで来ただけ (えんそく)
- 千代田自然調査隊
- 団体で来たことがあった
- 部活
- 習い事で

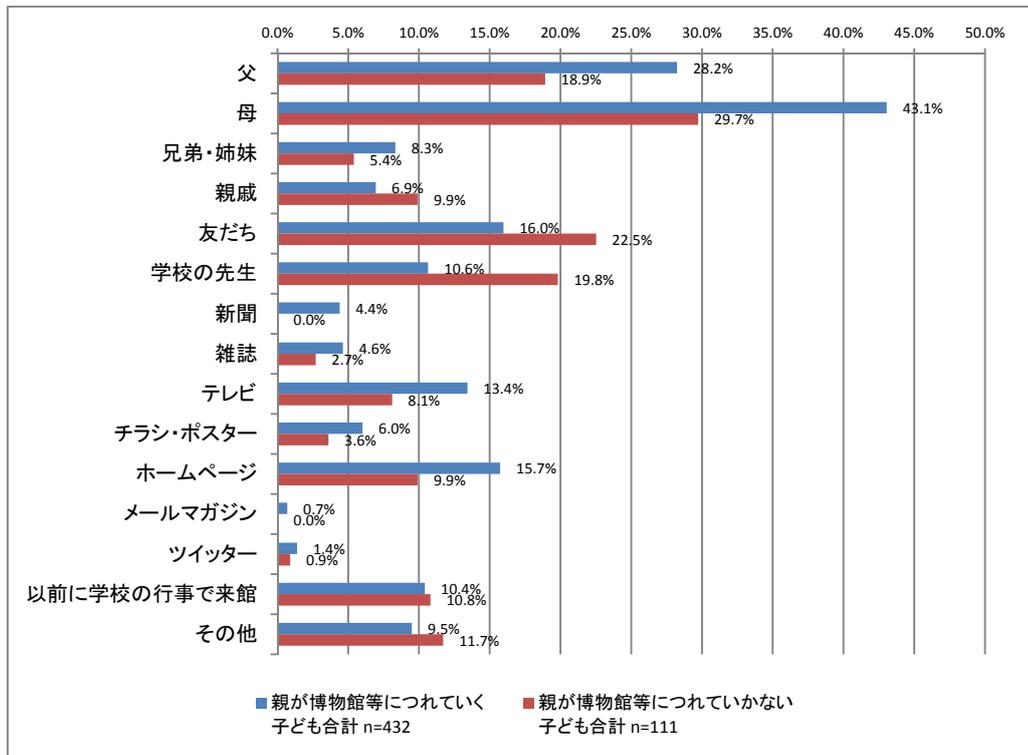
◎学校関係

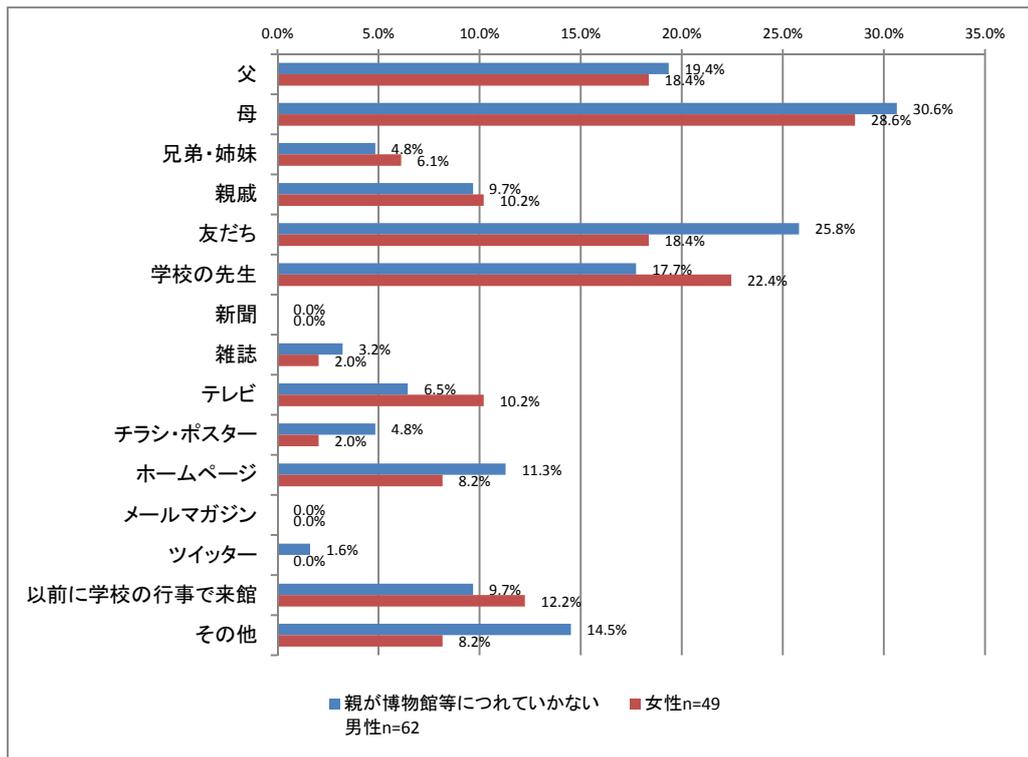
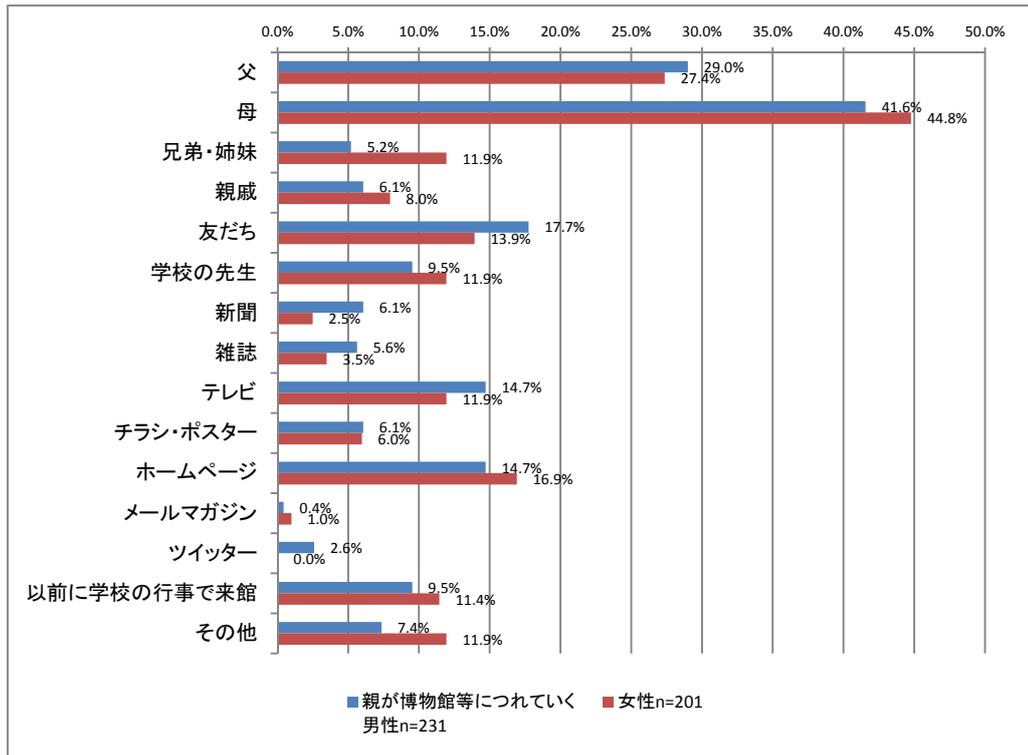
- 学校の資料
- 学校の社会科見学
- 学校の宿題
- 学校の紹介

◎その他

- きいた
- ぐるっとパス
- コープ
- しらなかった
- ちかくにきた
- 科学の祭典
- 科学館
- 入場券をもらった
- 本

 Q1-8e,k において親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子ども n=432 と、ネガティブ回答した子ども n=111 の比較





・考察

総合グラフで、科学技術館を知ったきっかけは上位から①2.母 (40.0%)、②1.父 (25.08%)、③5.友だち (17.7%)と、親 (特に母親) につれてこられた影響が大きく、両親がきっかけと答える人が合計 65.8%と多い。

Q1-8e.kにおいて「親が博物館に連れていく」にポジティブ回答 (とてもあてはまる・まあまああてはまる) した人に比べて、ネガティブ回答 (あまりあてはまらない・まったくあてはまらない) した人は、親以外に、5.友だち (22.5%) や6.学校先生 (19.8%) がきっかけの数値を伸ばしている。

その他の回答として、子どもの場合、祖父母や学校、児童館や学童、地域の行事として訪れることが来館のきっかけともなっている。

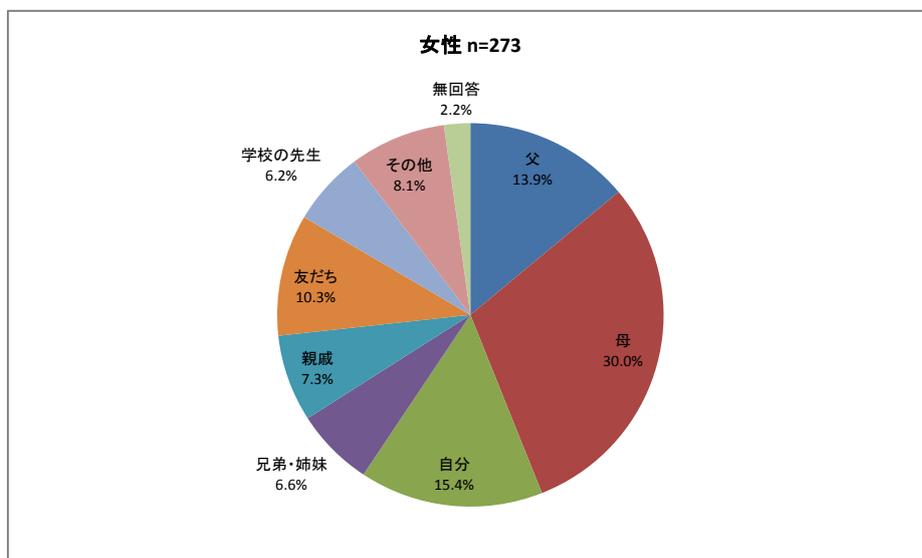
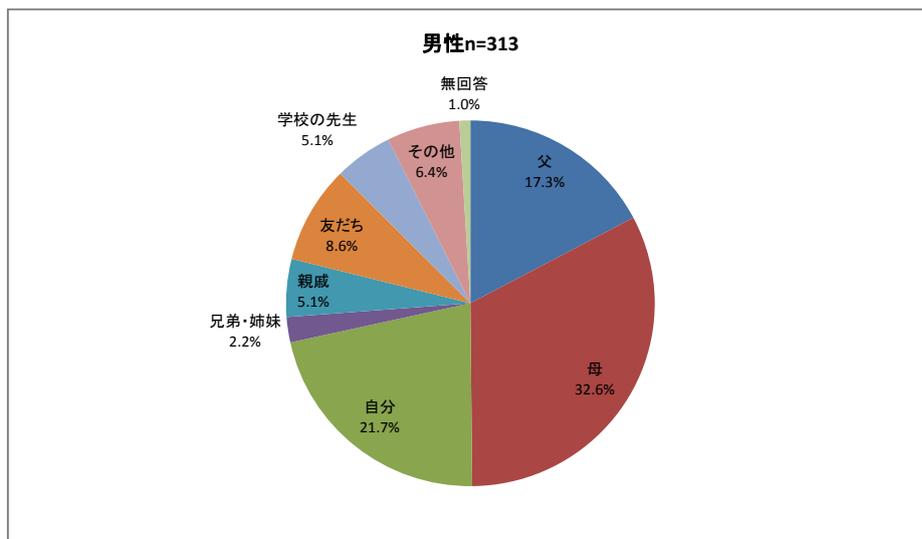
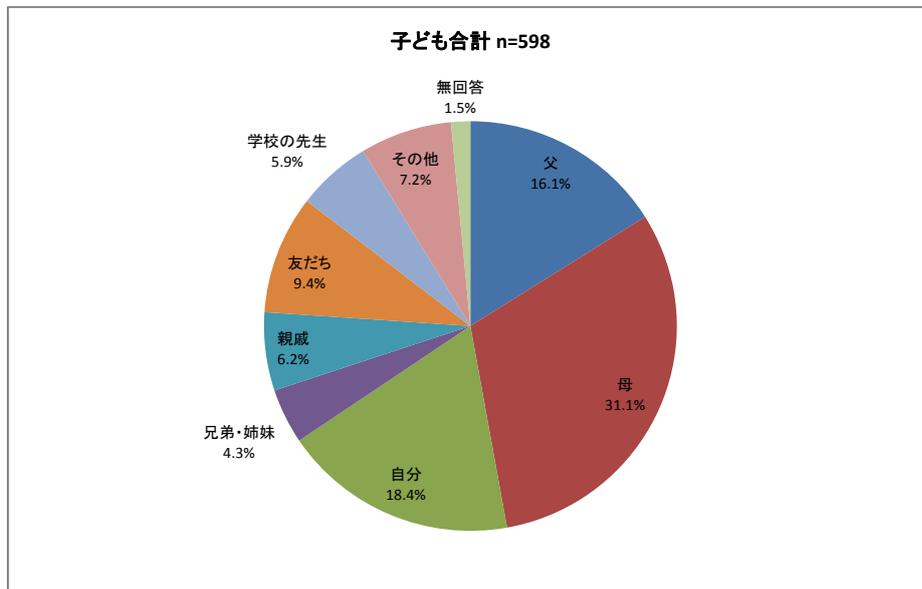
Q2-2 科学技術館に来ることを最初に言い出したのは誰でしょうか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 父
2 母

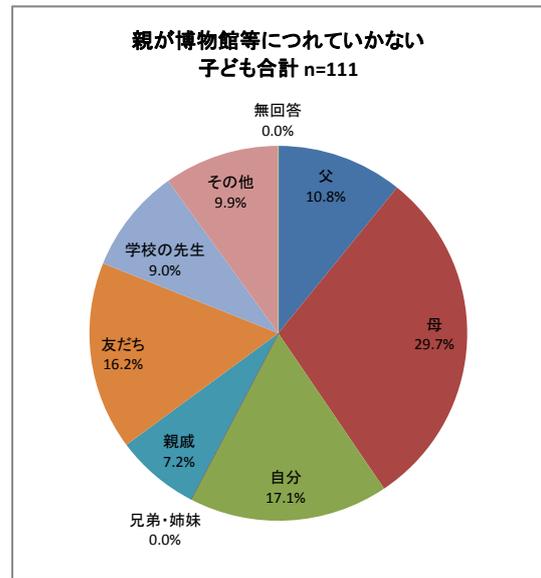
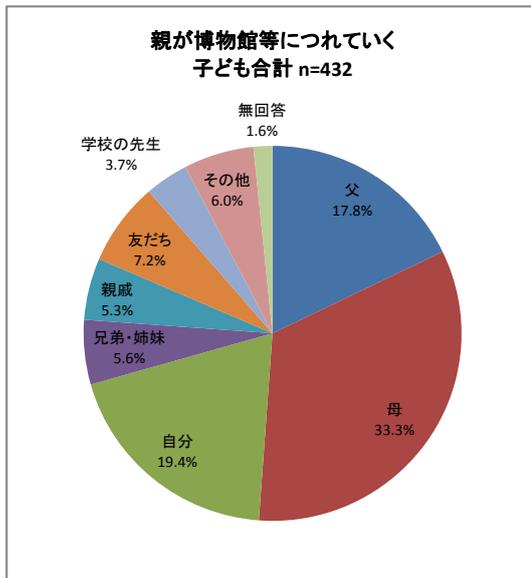
3 自分
4 兄弟・姉妹

5 親戚 (しんせき)
6 友だち

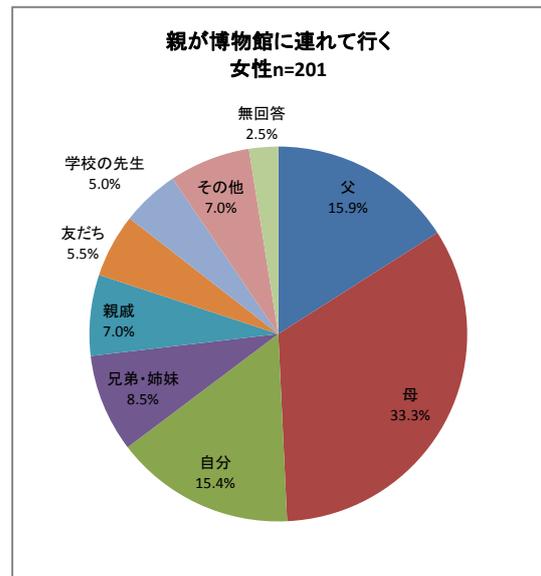
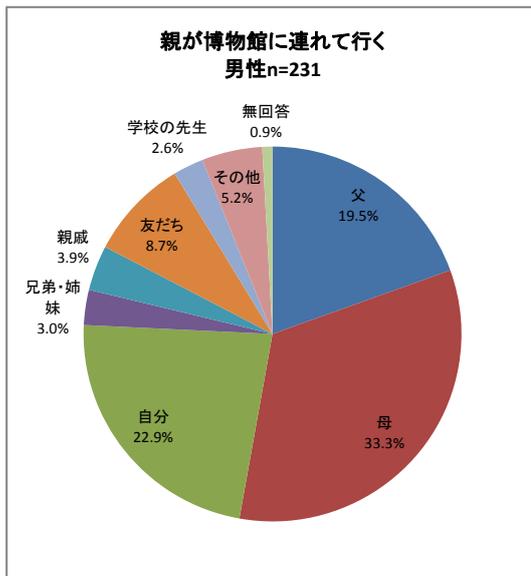
7 学校の先生
8 その他



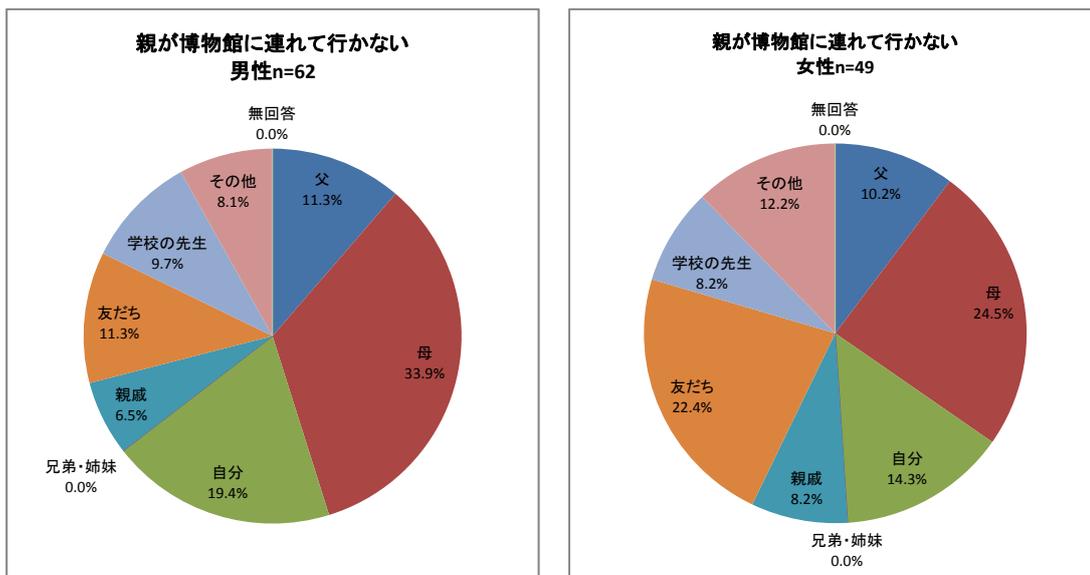
 Q1-8e,kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



・親が博物館に連れて行く 男女別



・親が博物館に連れて行かない 男女別



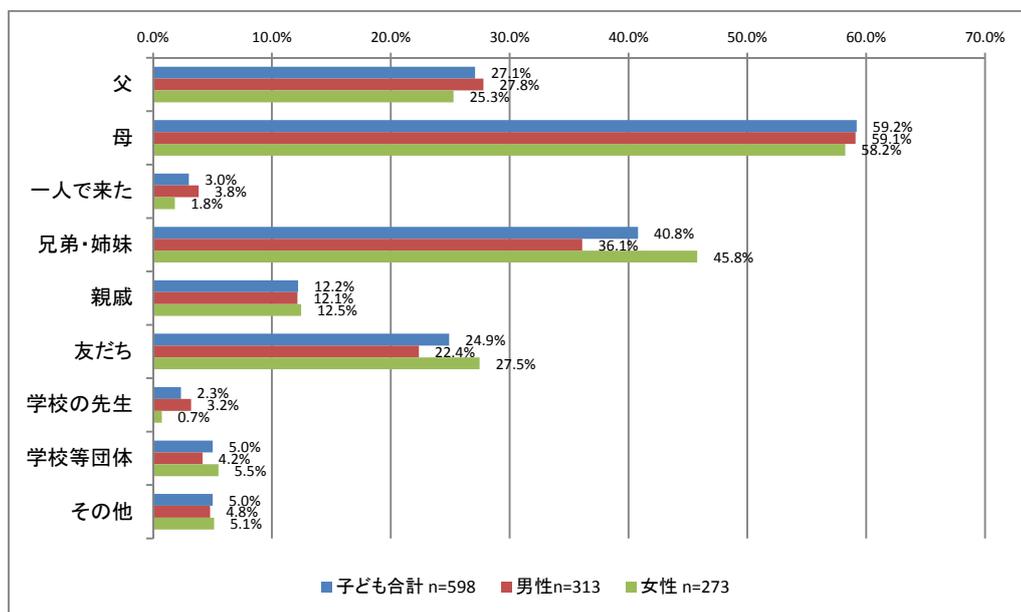
・考察

科学技術館へ来ることを最初に言い出したのは、どのグラフも母親が 24.5%~33.9%と平均して 31.3%の数値をしめている（父親は 10.2%~19.5%で平均 14.7%）。これは、Q1-8e,k において「親が博物館に連れていく」にポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）、ネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）に関わらず、数値はほぼ 30%前後で平均化している。

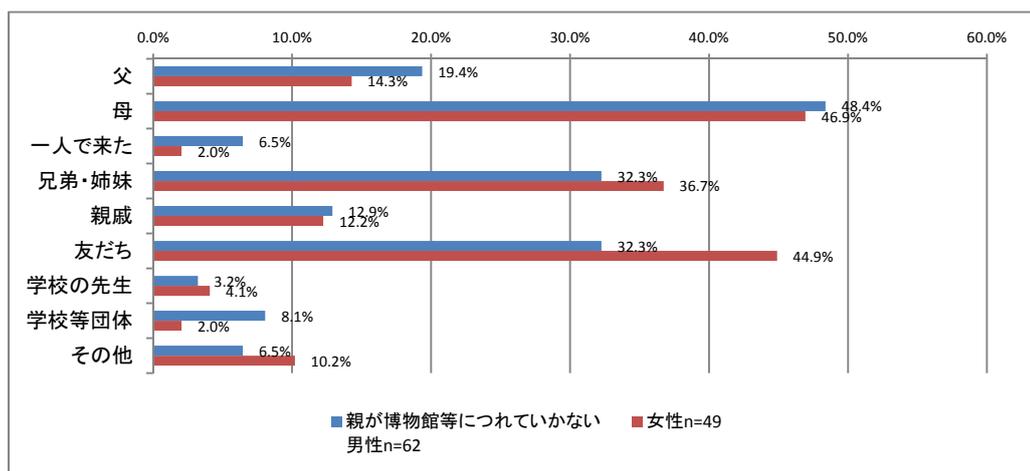
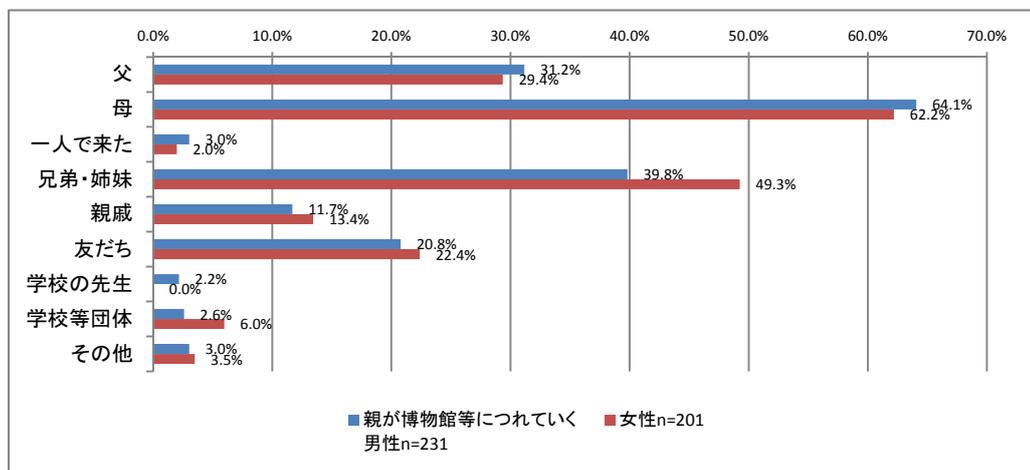
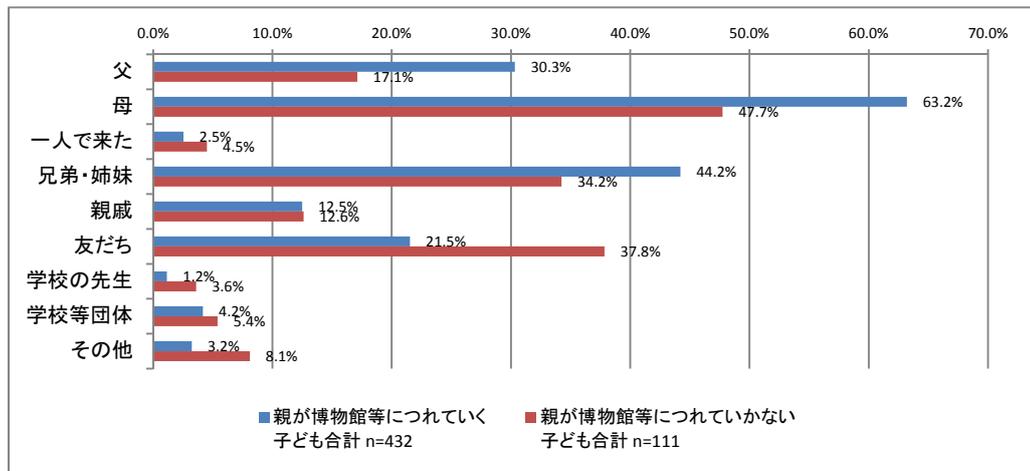
何故か Q1-8e,k において「親が博物館に連れていく」に、ネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）という人は、4.兄弟・姉妹がきっかけとなるのがまったく無い（0%）ようだ。

Q2-3 あなたは、今日、誰と一緒に来ましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------|---|----------|---|-------|---|-----|
| 1 | 父 | 3 | 一人で来た | 5 | 親戚（しんせき） | 7 | 学校の先生 | 9 | その他 |
| 2 | 母 | 4 | 兄弟・姉妹 | 6 | 友だち | 8 | 学校等団体 | | |



 Q1-8e,kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



・考察

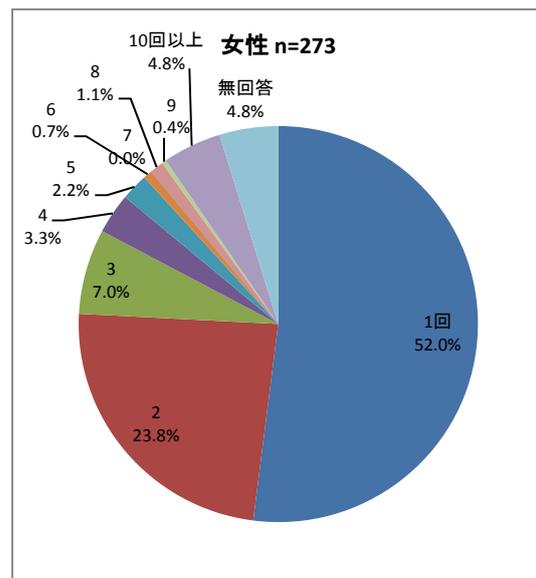
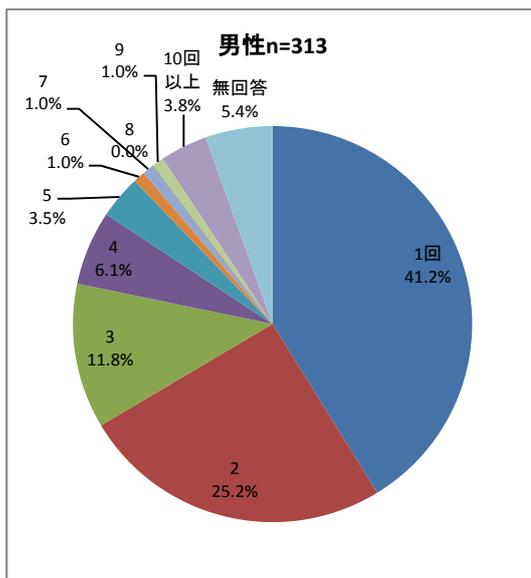
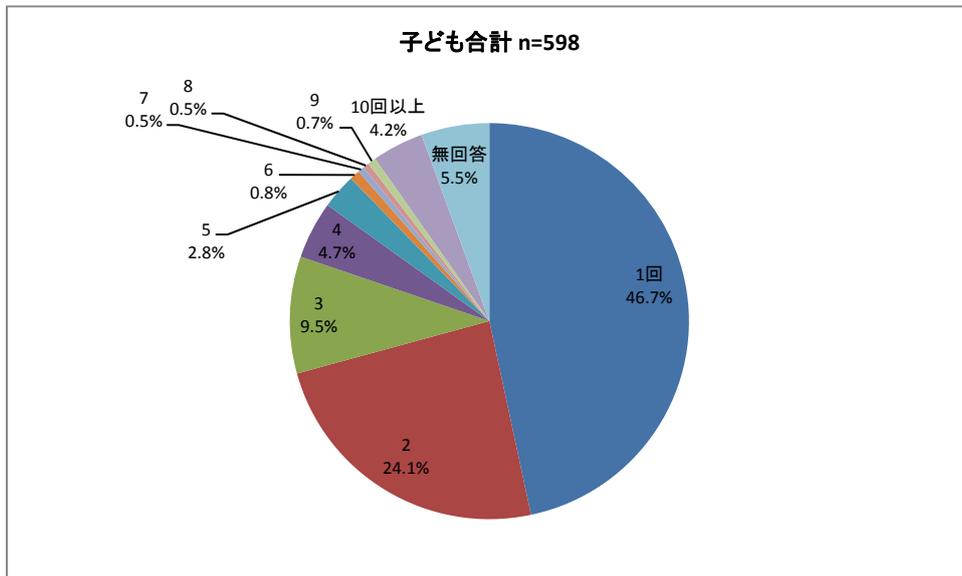
誰と一緒に来たかは、総合グラフで上位から①2.母 (59.2%)、②4.兄弟 (40.8%)、③1.父 (27.1%)と、身近な家族と来館している人が多いことがわかる。また、続いて④4.友だちと来館したと答える人が 24.9%と高い数値をだしている。

Q1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」に、ポジティブ回答(とてもあてはまる・まあまああてはまる)した人は2.母親との来館が63.2%、ネガティブ回答(あまりあてはまらない・まったくあてはまらない)した人は6.友だちとの来館が37.8%と数値を上げている。

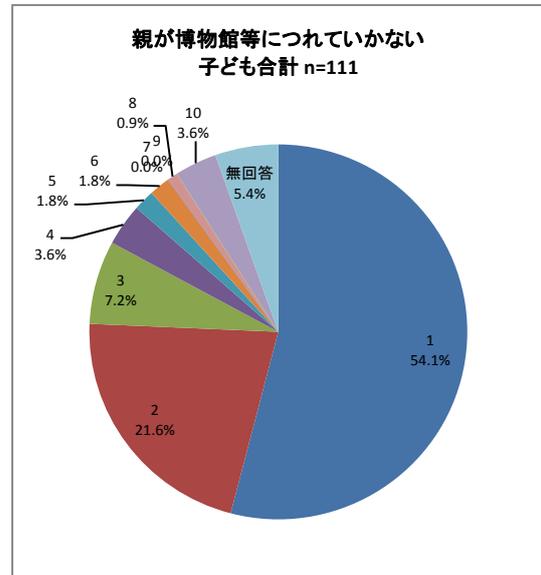
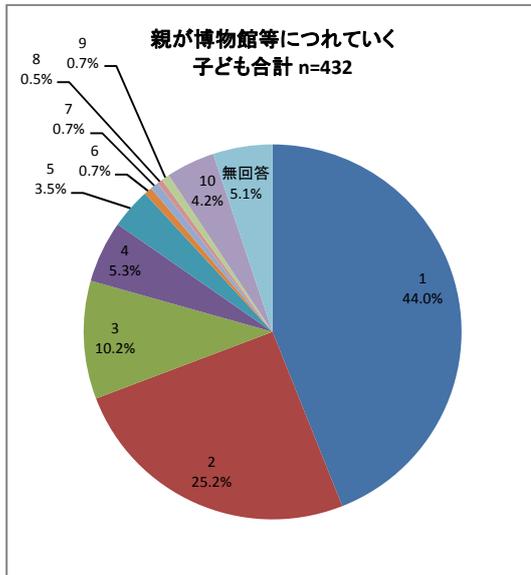
夏休み中で、アンケートという時間を束縛されるものの関係上、学校などの団体で来館したと回答する人が少ないのは、アンケートを行った時期の問題かと思われる。

Q2-4 これまで科学技術館に、あなたは何回来たことがありますか。下の口に回数を書いてください。(今回初めて来館した場合は1回としてください。)

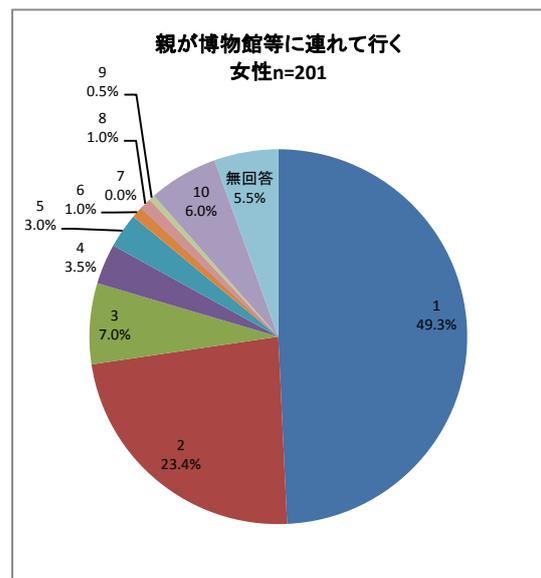
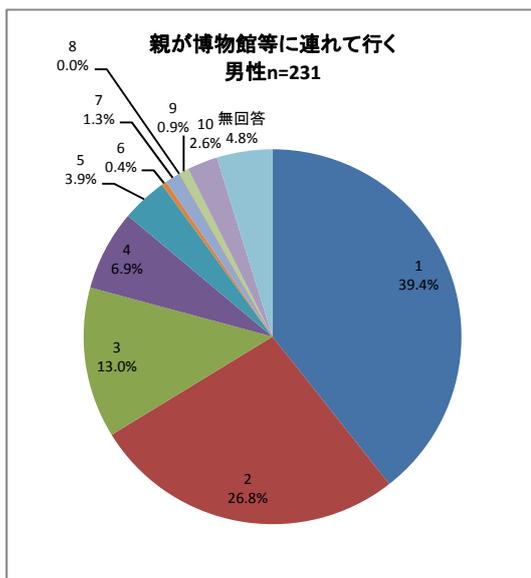
回



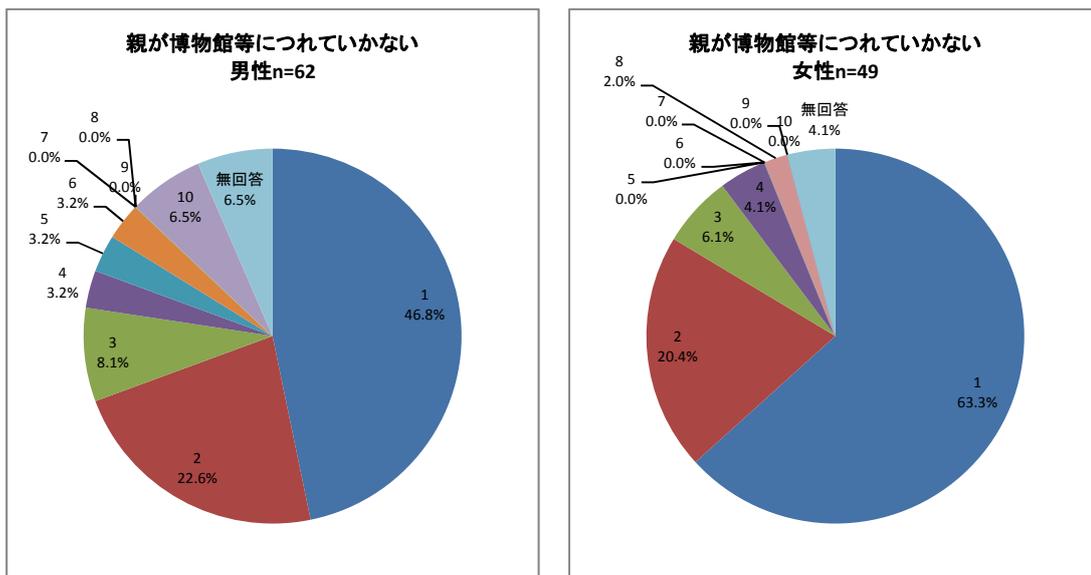
 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



• 親が博物館等に連れて行く 男女別



・親が博物館等につれていかない 男女別



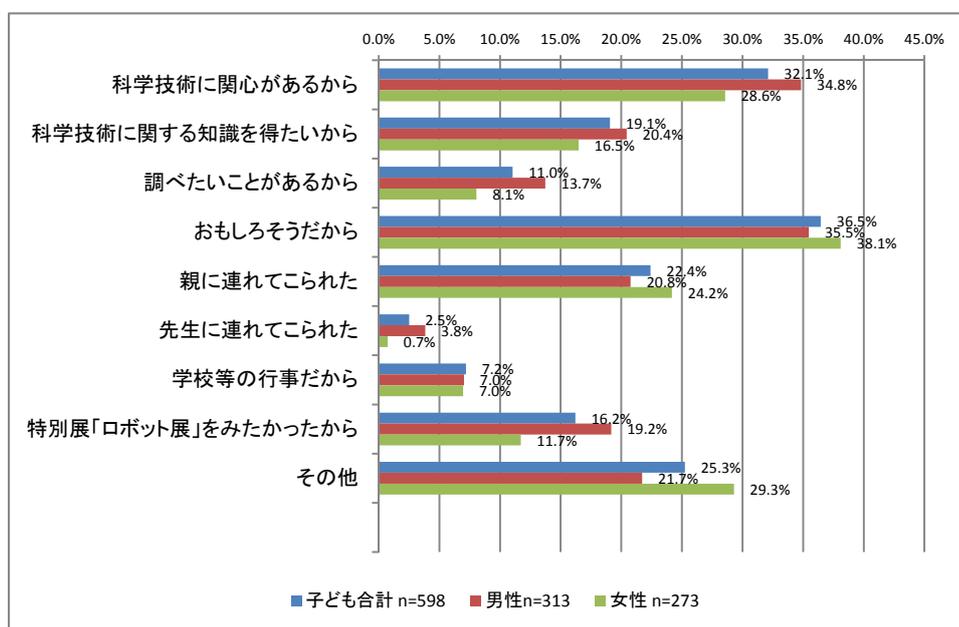
・考察

総合グラフで、初めて来館した（1回目）の人が46.7%とほぼ半数。この数値はいつもの年とあまり変化を感じない。10回以上来館しているリピーターが4.2%もいるということは、さらに飽きさせない努力が必要である。逆に、何を気に入って複数回再入館するリピーターとなったのかのニーズを調べると、来館者の科学館に求めるものの一部が見えてくる気がする。

Q2-5 あなたは、今日、どのような目的で科学技術館に来ましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	科学技術に関心があるから	6	先生に連れてこられた
2	科学技術に関する知識を得たいから	7	学校等の行事だから
3	具体的に調べたいことがあるから	8	特別展「ロボット展」をみたかったから
4	おもしろそうだから	9	その他
5	親に連れてこられた		

SQ1 Q2-7で「4 おもしろそうだから」を選（えら）んだ方にお聞きます。どのようなことについておもしろさを期待していますか。（ ）内にお書きください。



★「面白そうだから」の理由

1 かいに売ってある物が二かい～5かいにあると思ったから。
NEdoのコーナーにゲームがあるときいたから。
あざらし「パロ」をさわりたいから
いきものを参考にしたセンサーを見てみたかった。
いつもは体験できないことを体験できること
いろいろ 3
いろいろありそう
いろいろこれからは役だつようなちしきを得るところだから。
いろいろコンピューターにさわれたり、大きなしゃぼん玉の中に入りたかったから
いろいろな、しくみで遊べること
いろいろな、体験や実験などできると聞いておもしろそうだったからです。
いろいろなぎじゅつのものがおもしろそうだったから
いろいろなじっけんなどをみる
いろいろなたのしいこと
いろいろなロボットなどが見れるから
いろいろな楽しいものがありそうだ
いろいろな事が分かりやすそうだから。
いろいろな体験や実験ができるから
いろいろな体験を出きること。
いろいろな展示品があつて楽しかったから。
いろいろな不思議を知る事。
いろいろ体験したり、ゲームがあつたりする
いろんなことがあるか。
いろんなことを体験できるから
いろんなじっけんがみたいから
いろんな技術が楽しそうだから
うちゅう
おおきいしゃぼん玉を見たから
おもしろいのがいっぱいあるから
お姉ちゃんがきて、おもしろかったと言つたから。
かがくじっけんきょうしつのものでいけばしょをきいたら「やったー」と思ったからそれにきいた。
ぎじゅつをいろいろな形でみれること。
くるまのてんじ
ゲームができるから。
けしゴムを作つているところが見たかった。
サンドブラスト
しくみなど
じっけん 3
じっけんがすきだったから
じっけんとかおもしろいてんじを見てみたかった。
じっけんなど
じっけんやしぜんが大好だからです。
シャボンだま 3
しゃぼん玉がおもしろそうだから
しらない事を得れそうだから
たいけんするもの
たいけんできるから
テレビで建設館のやつを見た
てんじひん
てんとうむし
でん気の、おもしろさや、ふつうでは見られない物！
どのようにしてでんきなどをつくつているか
どれだけ日本の技術が進化しているか
どんなてんじひんがあるか、おもしろそうだったから。
どんなロボットが、おいてあるか。→「ロボット展」
なんとなく
パロちゃんと実験を楽しみに来た
ふだんでは見られない科学の事を知ることができるから。
プラズマ
ぼくがしらないことまだならつてないことがいろいろあるから
まだ習つてないことを楽しく学習できるから。
みるものが
りかのじっけんなど
ロボット 9

ロボット・遊具係
ロボットがおもしろそうだから
ロボットがどうごくのか
ロボットがとても好きなのでみたかったから
ロボットがみたかったから
ロボットが好きなので来ました。
ロボットてん
ロボットとか
ロボットとか、いろいろな、理科の体験
ロボットとかゲームとか
ロボットなど 2
ロボットなどの科学
ロボットについて
ロボットの仕組みや実験がおもしろそうだから
ロボットの生きもの風なもの。
ロボットや実験が楽しみできました。
ロボットを見たかった。
ロボットを見ること
ロボット作り。
ロボット展
ロボット展がどういう物か、見たかったから。
ワークショップの実験
以前来た時に「科学」について、とてもおもしろく詳しく説明されていたから
化学
科学がすきだから
科学のおもしろさ
科学はどのような進歩をしているのか調べたいから
科学技術館には、体験がたくさんあるから。
環境の模型など…
技術のはってんについてのおもしろさ。
工作
今の科学はここまですすんでるから（かなり科学進歩している）きたいしている
今まで、知らないぎじゅつや、見たこともないものを期待している。
今までしらなかったことを知る
最新の人の役に立つ技術
最先短のロボットや、電器関係を知りたかったから
自動車のシュミレータ
自分が知らないことがある気がするから。
自分たちでできる実験、展示してある物で遊べる物
自分で実験するのが楽しくて、よく分かるから。
自分で体験して学べること。
自分のすきなものがいっぱいある
自分の知らないロボットや機械などが見学できそうだから
自由研究にやくだつかもしれないから
実験・動く展示
実験がおもしろそうだったから
実験が好きだから。
実験など
実験などが大好きだから、おもしろそうだと思います！
実験や体験など
実験をしてみたいから
実際に、体験できること
車
車のしくみ、精密機械
車のしくみやバイクのしくみなどほとんど全部
車の運転。
車の運転などがおもしろかった。
少し、科学にきょうみがあるから
色々な科学などについて。（科学という名前的に…。）
新しい発見を見つけて体験したりすること
新しく技術が発展していること。
人が中に入って、しゃぼんだまのことが、おもしろそうだから。
水や電気などを使う物などがありそうだったから
前（1回め）、きた時に、おもしろかったから
前、来た時シャボン玉の中に入れるのとか、大きいボールをみんなで協力して運ぶのをやったからそれに興味をひかれた。

前に行った人が、「おもしろかった」と言っていたから。

全体的に 3

全部

全部見たかったから。

体験 2

体験コーナーにあるのを期待する。

体験するところがあるか・無いか。または、その体験することが面白いかどうか。

体験とかが多くて長くいられる

体験をしたりできることを期待している

知らないことを発見できること。

知らなかった事を知れる事など

地球環境及び、技術について調べたら、館内がリニューアルしたと聞いたので

弟がいていた。具体的にはわからない。

展示物

動く物 実験

内容など

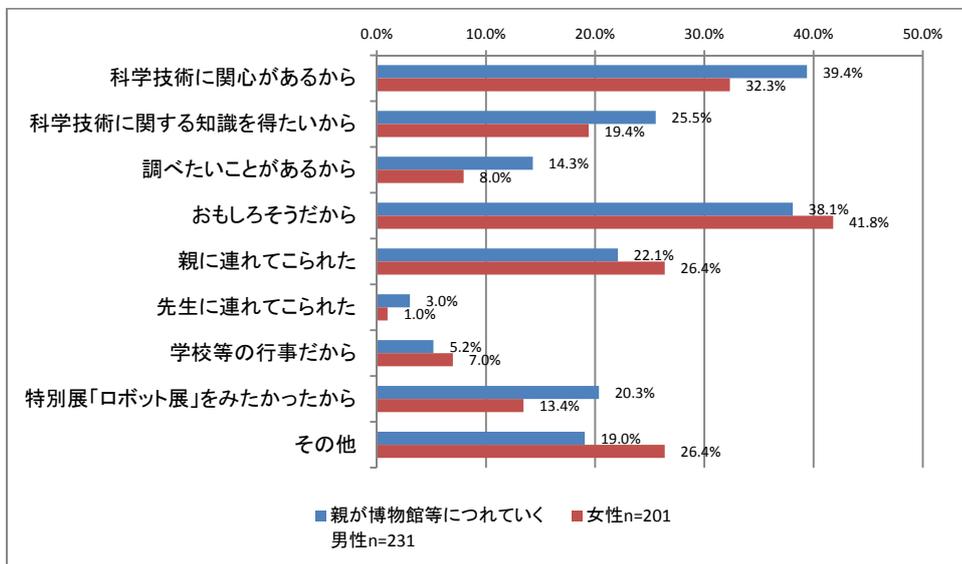
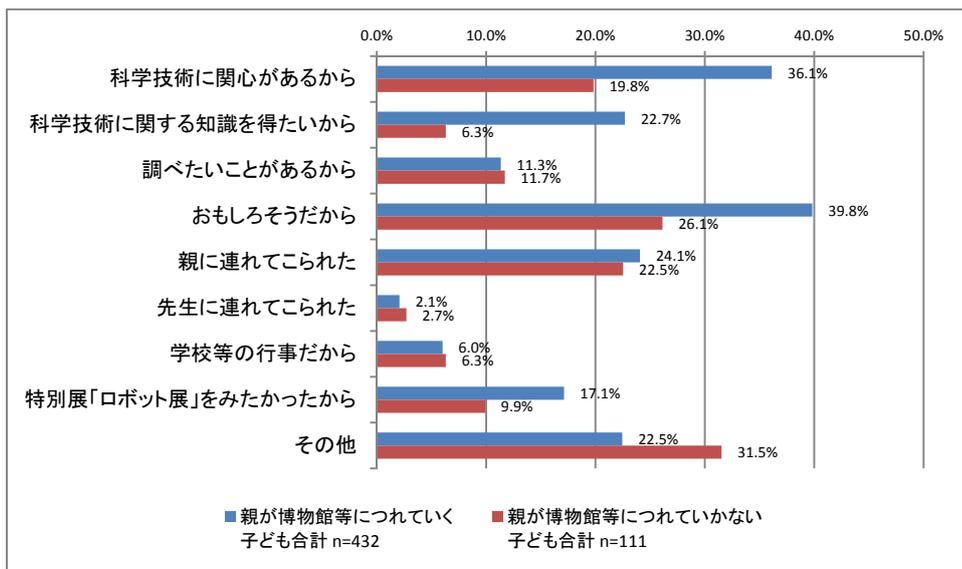
日頃体験できないような科学について学べる

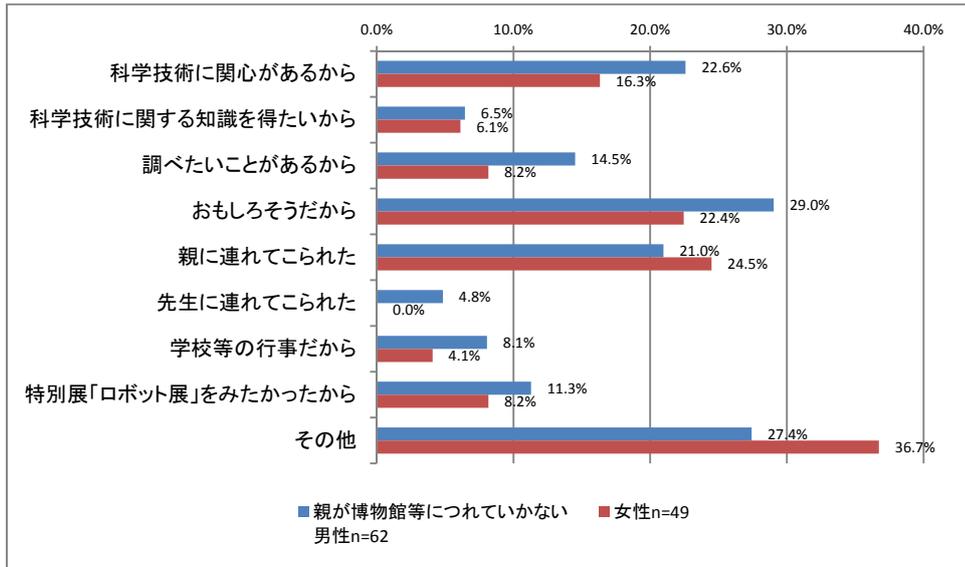
本当みたいだから…。

未来のロボットやテクノロジーなど

目のさっかくとかです。

 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432 と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較





・考察

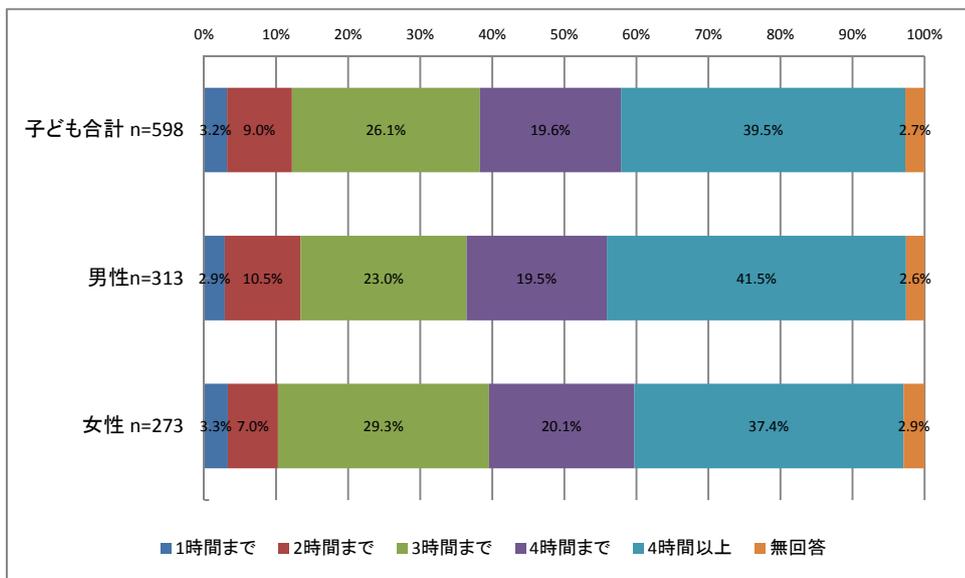
来館の目的は、総合グラフで上位から①4.おもしろそうだから (36.5%)、②1.科学技術に関心があるから (32.1%)、③9.その他 (25.3%) となっており、その他の内容が気になる。子どもなので、5.親に連れてこられたの数値が22.4%と次に高いのは仕方ないとする。

Q1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」に、ポジティブ回答 (とてもあてはまる・まあまああてはまる) した人は、4.おもしろそう (39.8%)・1.関心がある (36.1%)・2.知識を得たい (22.7%) と、興味や目的を持って来館する方が多いようだ。

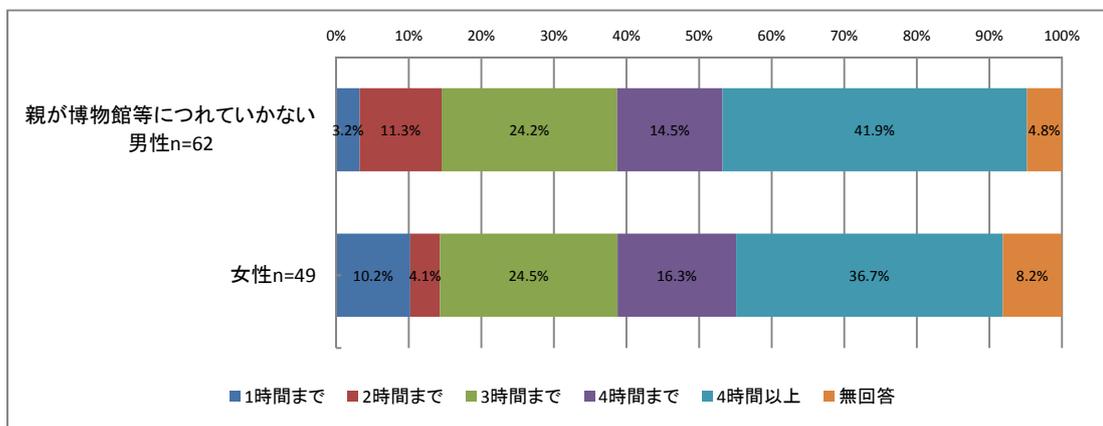
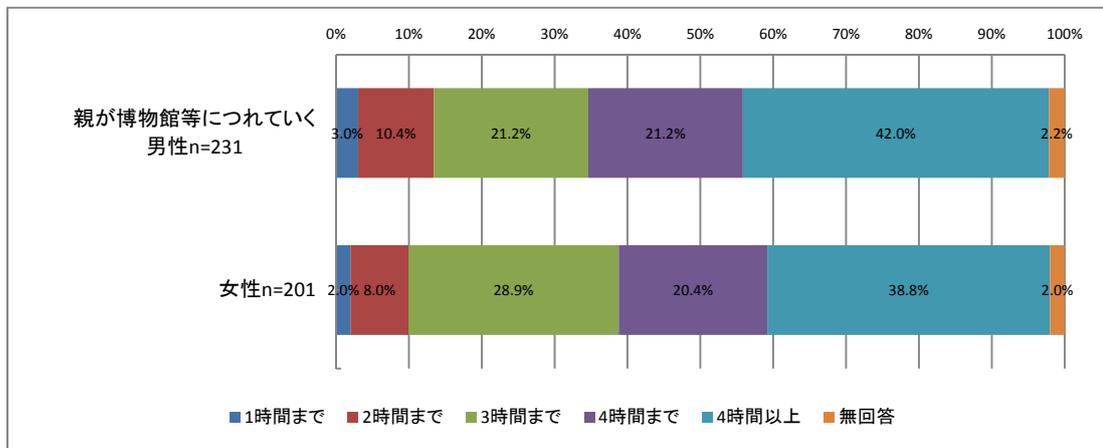
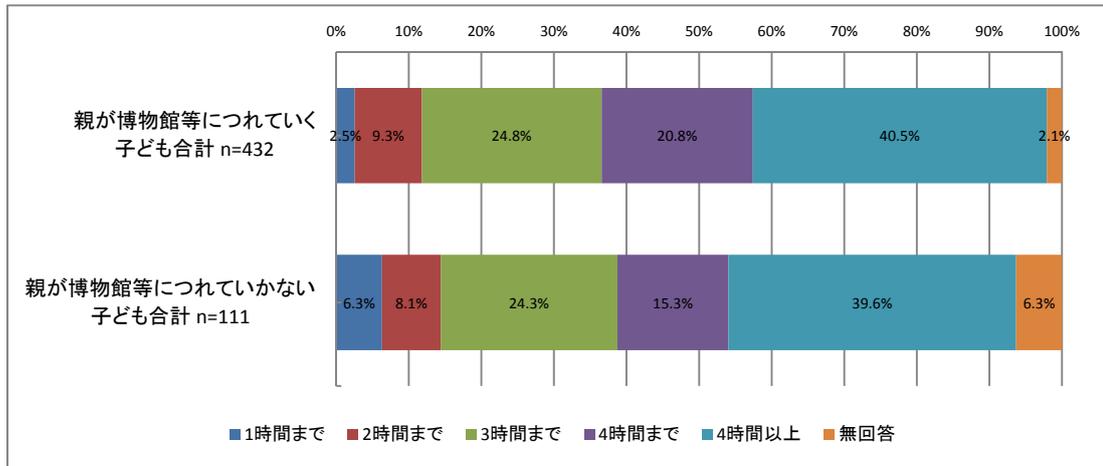
逆に、ネガティブ回答 (あまりあてはまらない・まったくあてはまらない) した人は、4.おもしろそうだから (26.1%) も高い数値だが、9.その他 (31.5%) や5.親に連れてこられた (22.5%) との回答も%が高い。

Q2-6 あなたは、どれくらいの時間、見学する予定ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 1時間まで
 3 3時間まで
 5 4時間以上
 2 2時間まで
 4 4時間まで



 Q1-8e,kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



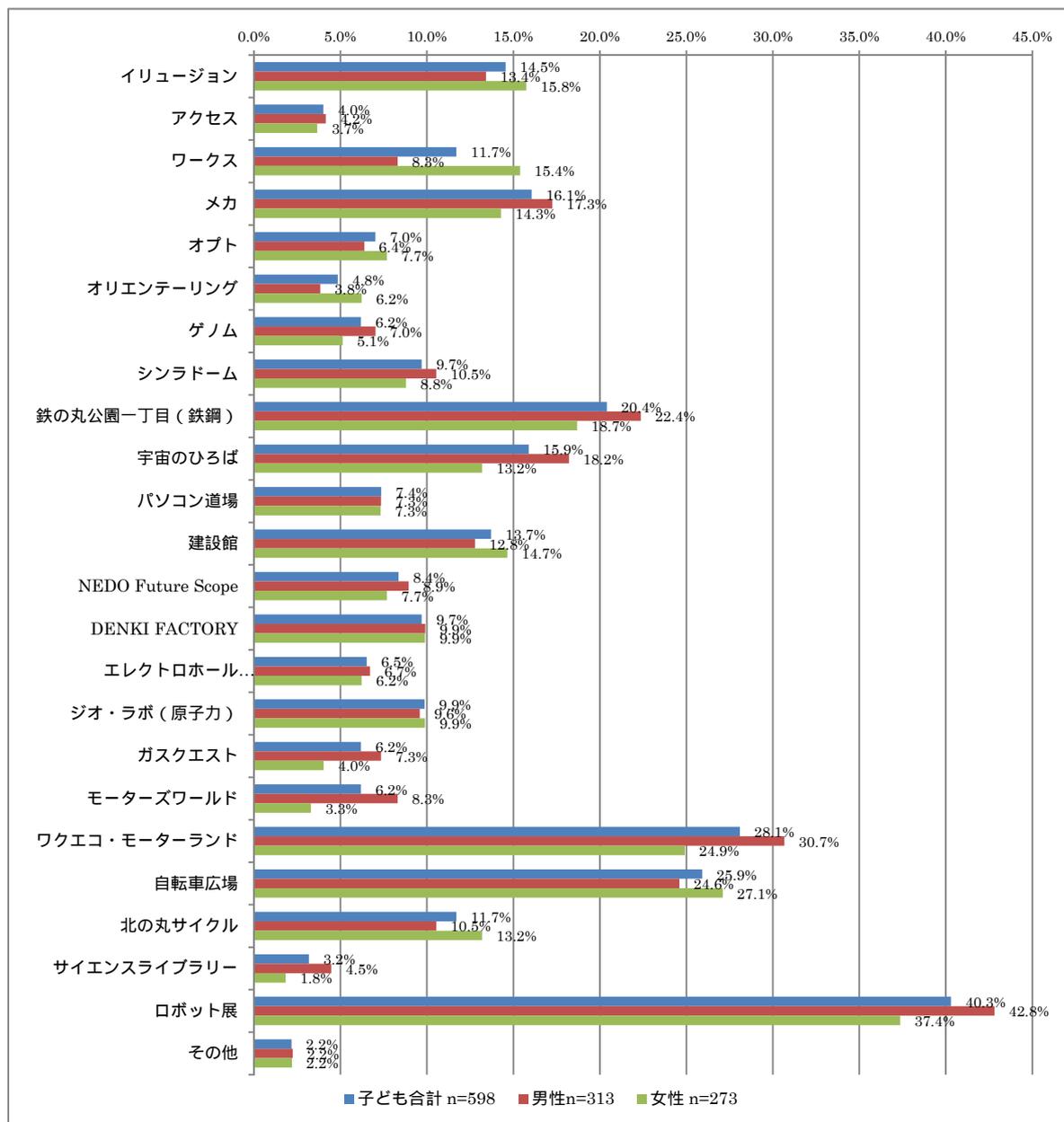
・考察

全体的に4時間以上見学をする予定と答えた方が39.5%と多く、逆に1時間や2時間程度で見学をする方は10%ぐらいたと、滞在時間は比較的長い。この問いはQ1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」に、ポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）した人もネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した人も、3時間以上は見学する時間の%にあまり差が出なかった。

若干ではあるが、Q1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した人（特に女性）は、見学時間を1時間と予定する方が目立つ。

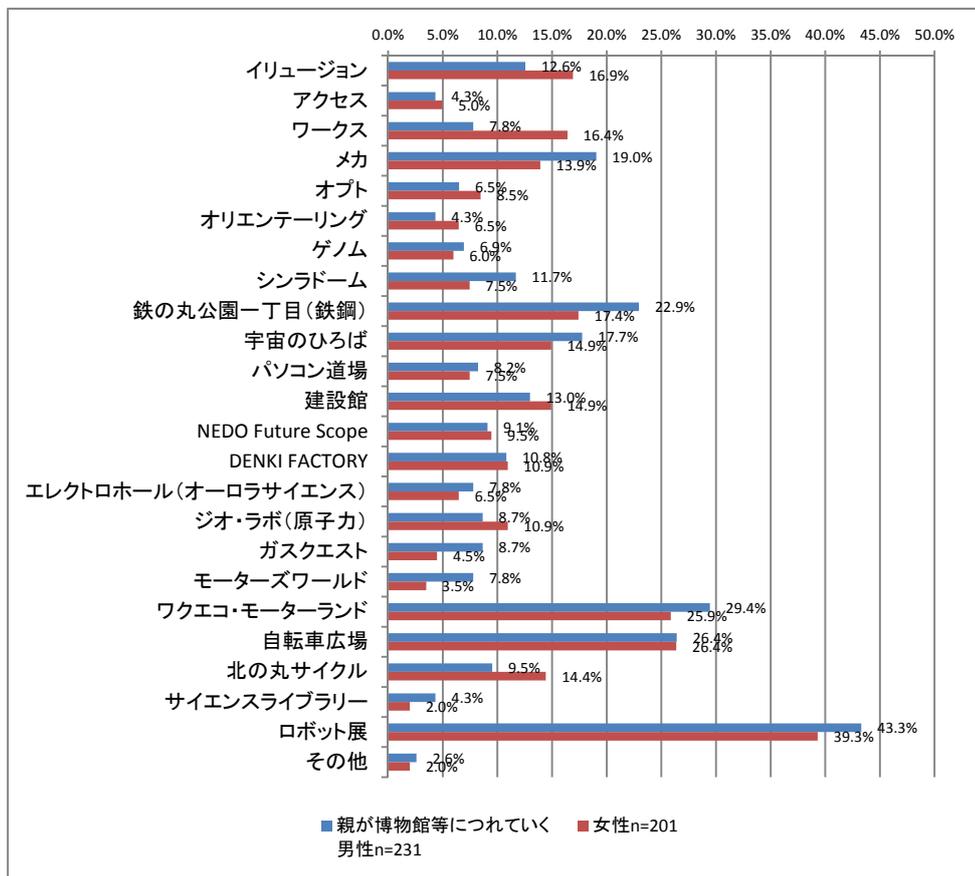
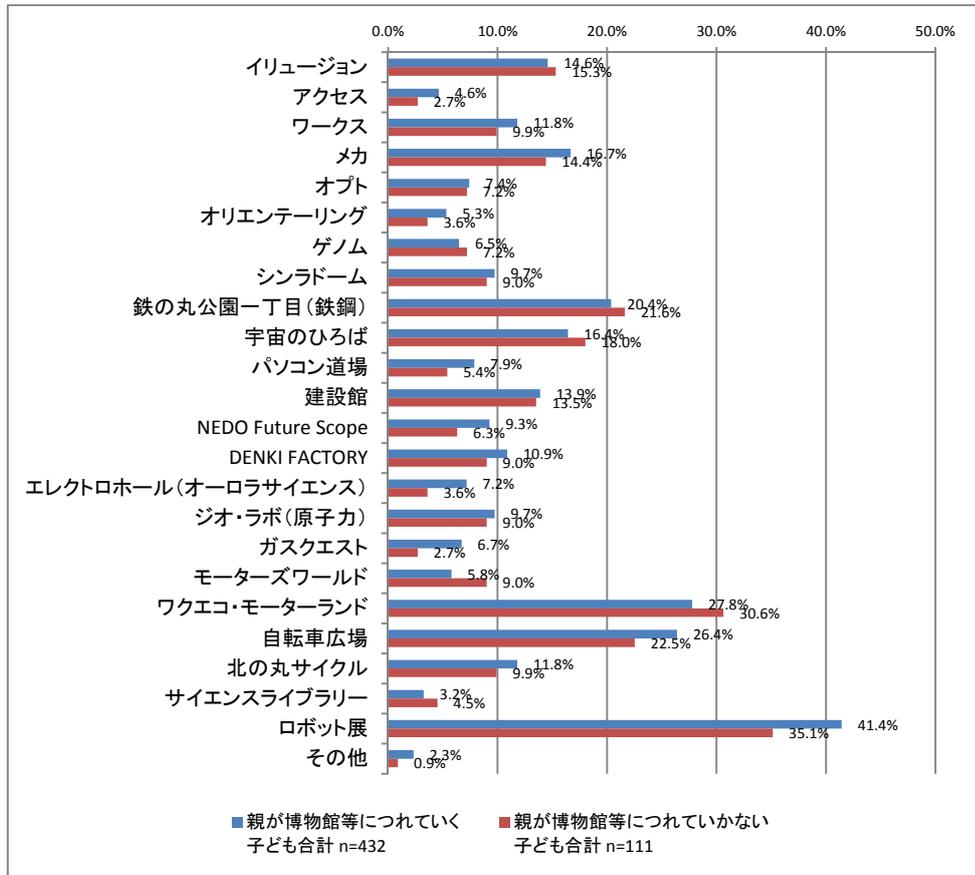
Q2-7 あなたにとって、おもしろかった展示室（てんじしつ）はどれですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

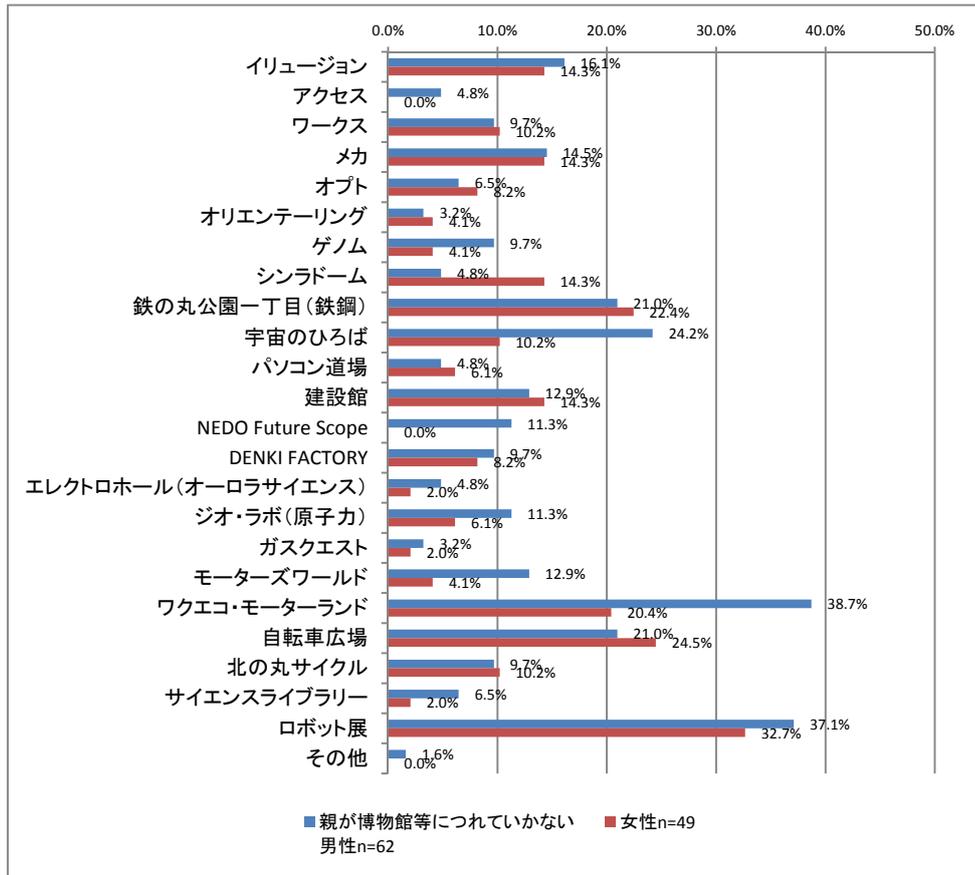
5階	1	イリュージョン	2	アクセス	3	ワークス	4	メカ
	5	オプト	6	オリエンテーリング	7	ゲノム		
4階	8	シンラドーム	9	鉄の丸公園1丁目(鉄鋼)	10	宇宙のひろば	11	パソコン道場
	12	建設館	13	NEDO Future Scope				
3階	14	DENKI FACTORY (デンキファクトリー)	15	エレクトロホール (オーロラサイエンス)	16	ジオ・ラボ (原子力)	17	ガスクエスト
	18	モーターズワールド						
2階	19	ワクエコ・モーター ランド(自動車)	20	自転車広場	21	北の丸サイクル	22	サイエンス ライブラリー
	23	ロボット展	24	その他(具体的にぐたいてき)に:				



★その他
ラジコン工作
工作
実験ジャー
新元素発見

 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



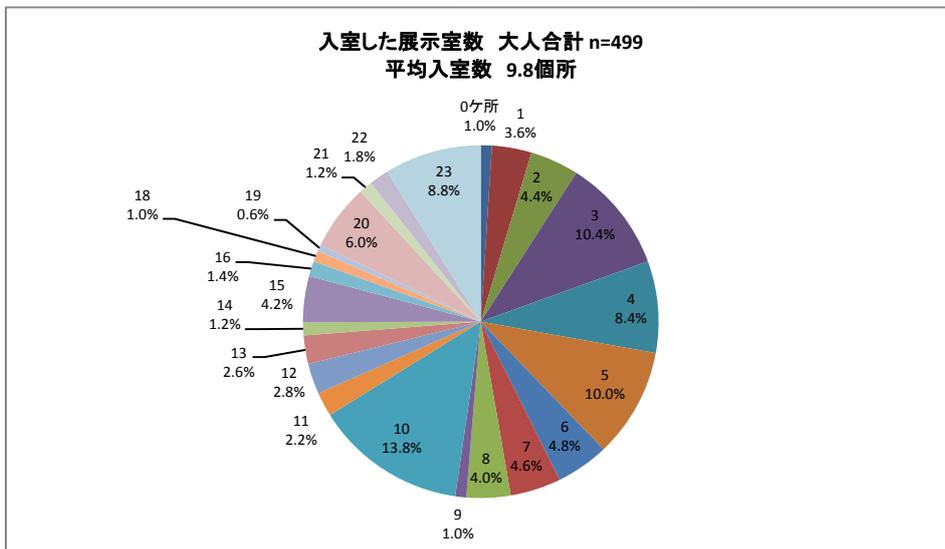


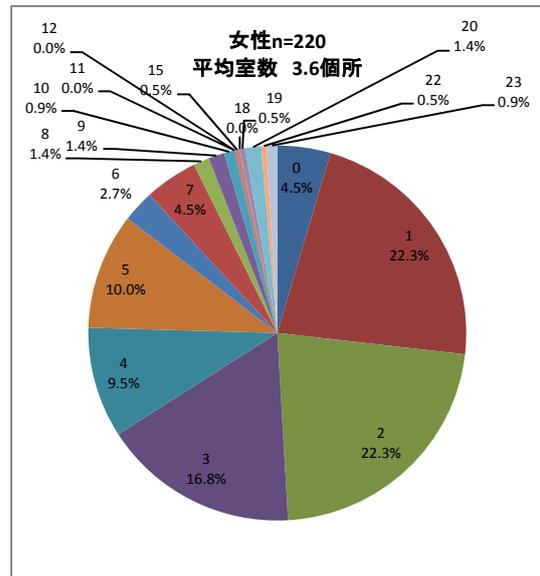
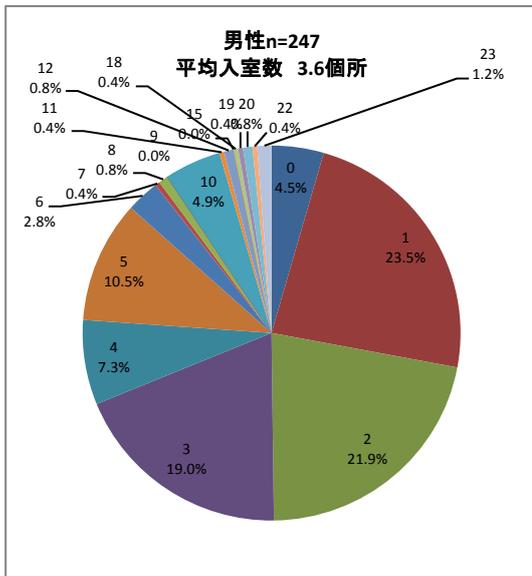
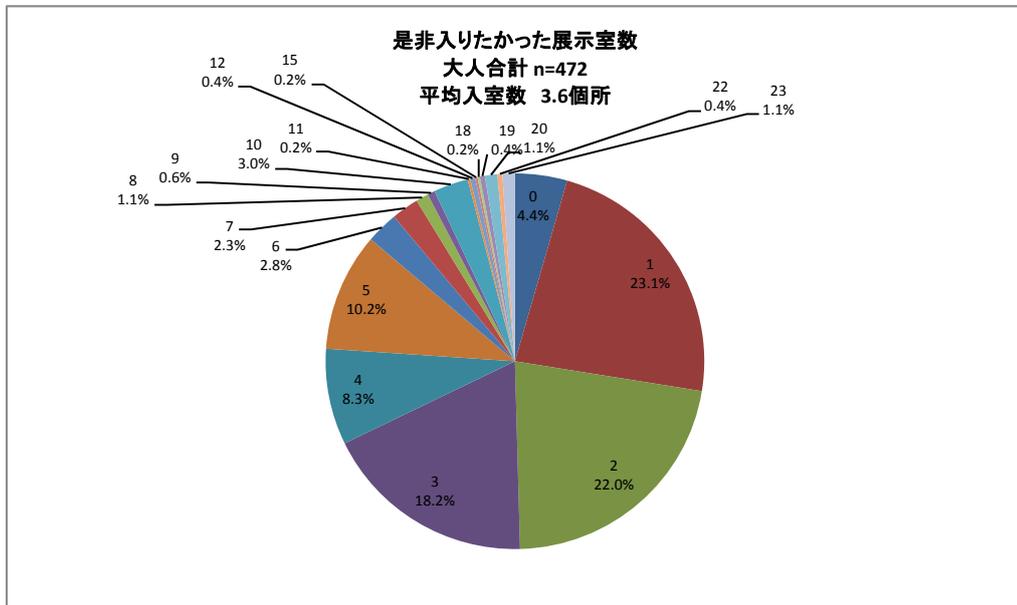
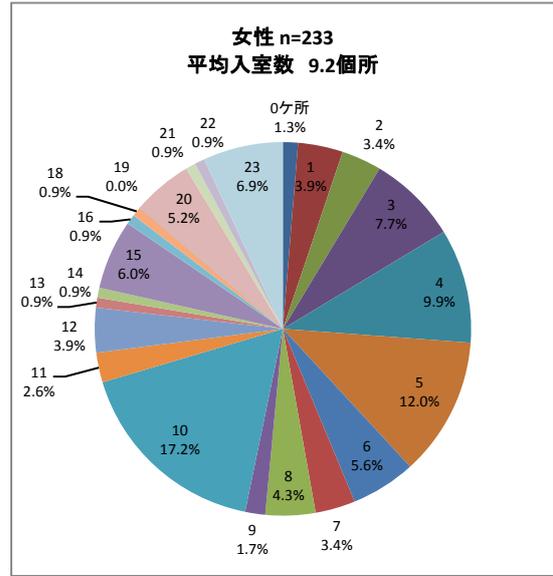
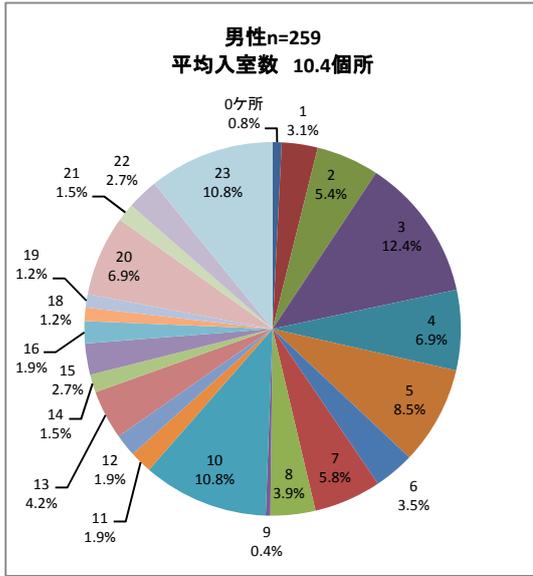
・考察

アンケート回収時に、夏休みの特別展を開催していたこともあり、①23.ロボット展の数値が高い(40.3%)。また、同じフロアの展示室②19.ワクエコ・モーターランド(28.1%)、③20.自転車広場(25.9%)も数値が上がっている。この人気は機械系つながりなのか? 続いての人気は⑨鉄の丸公園一丁目(鉄鋼)(20.4%)となっており、機械もしくは鉄に関連する展示室の人気が高い。

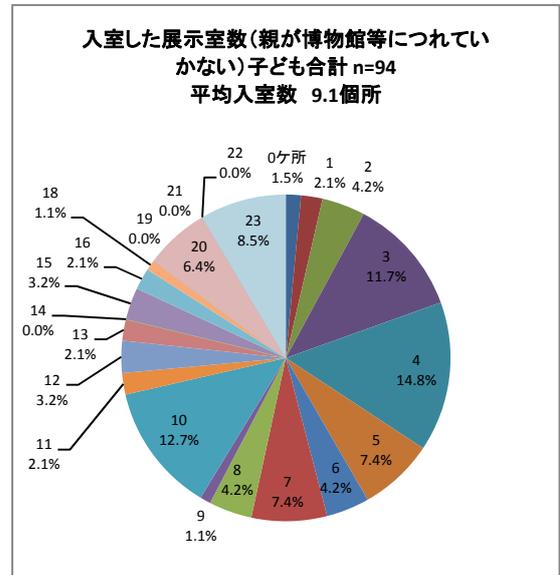
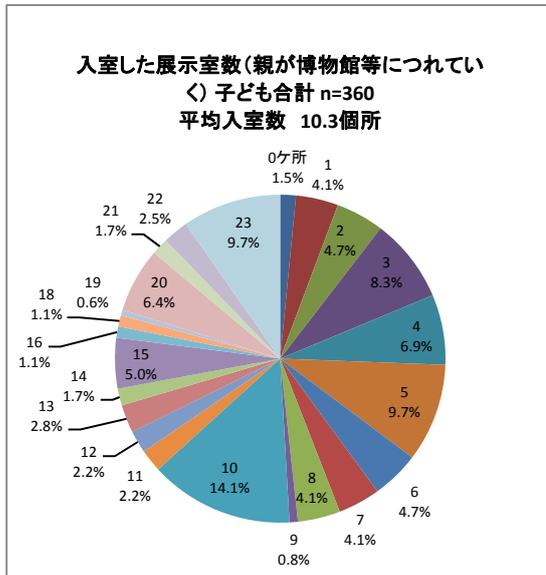
Q2-8 全部でいくつぐらいの展示室に入りましたか。また、入った展示室の中で、ぜひ入りたいと思って入った展示室はいくつぐらいありますか。だいたい結構ですので展示室数を下の口の中に書いてください。

入った展示室数は全部で つ
 その中でぜひ入りたいと思って入った展示室数は つ

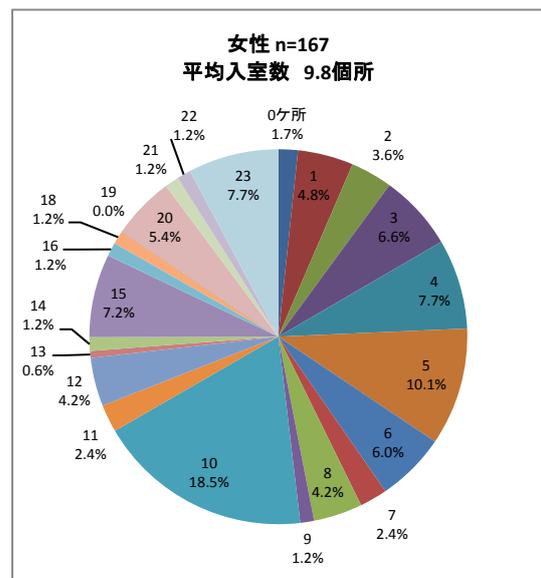
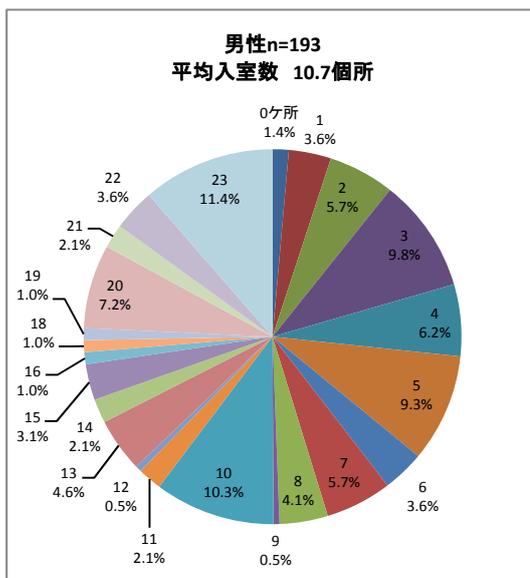




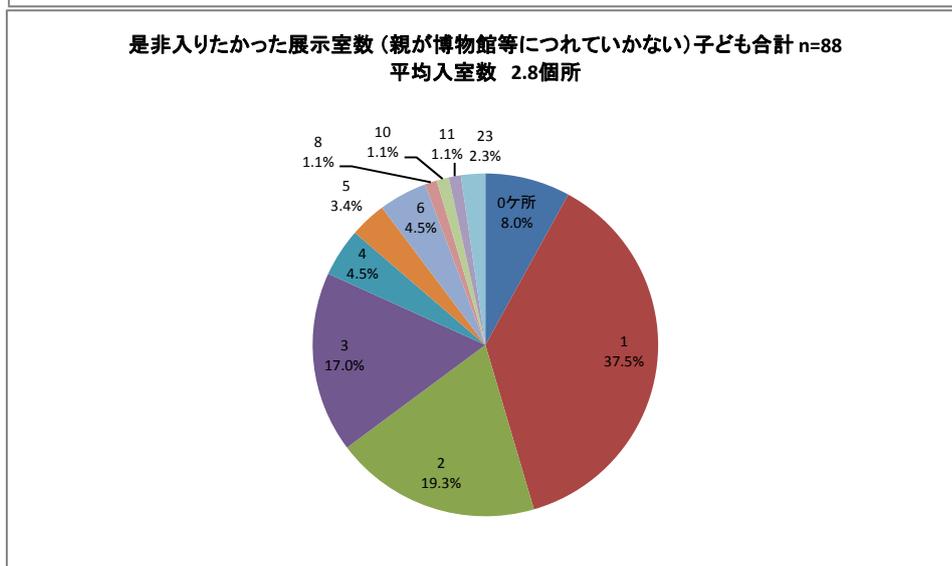
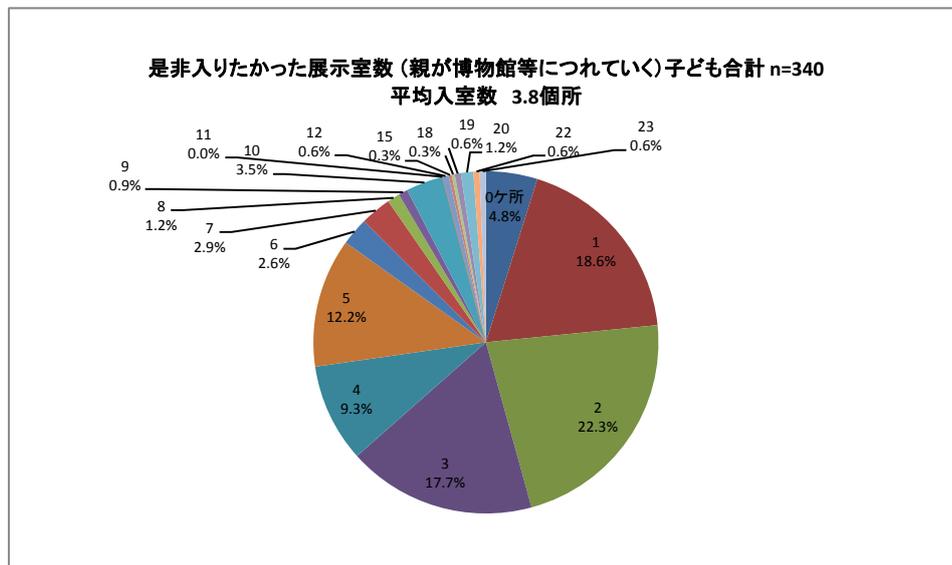
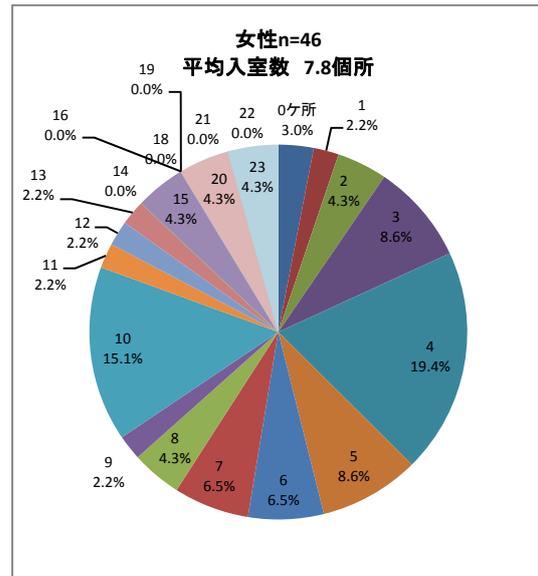
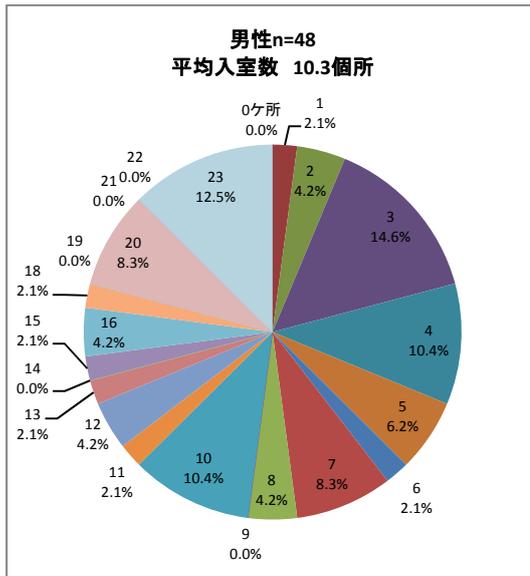
 Q1-8e,kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



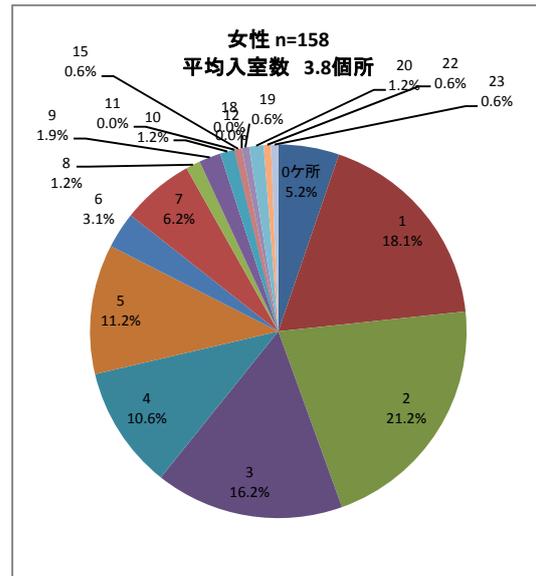
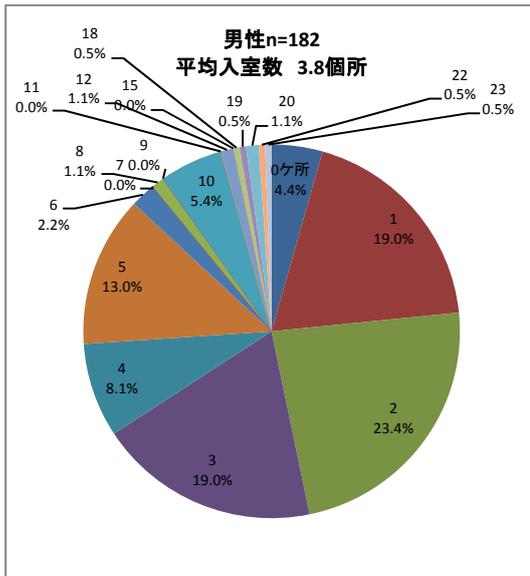
• 入室した展示室数 親が博物館等につれて行く 男女別



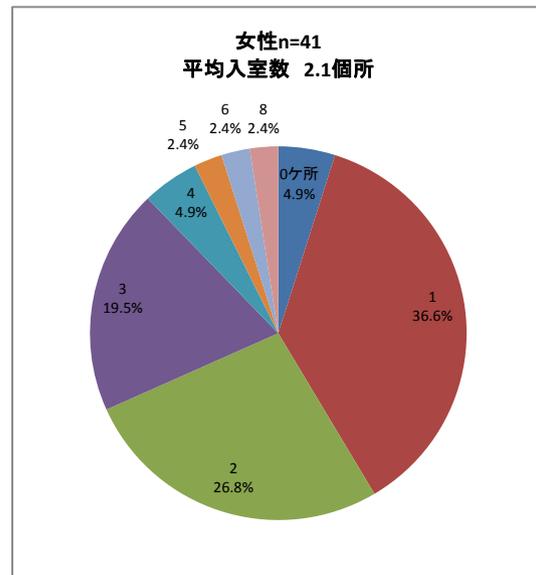
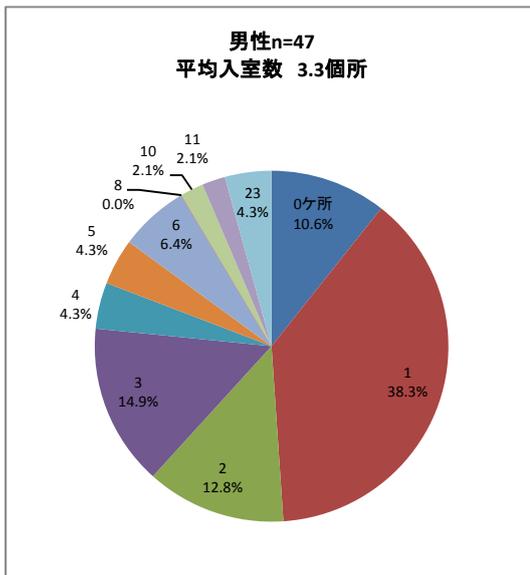
・入室した展示室数 親が博物館等につれてく 男女別



• 是非入りたくて入った展示室数 親が博物館等に連れて行く 男女別



• 是非入りたくて入った展示室数 親が博物館等につれていけない 男女別

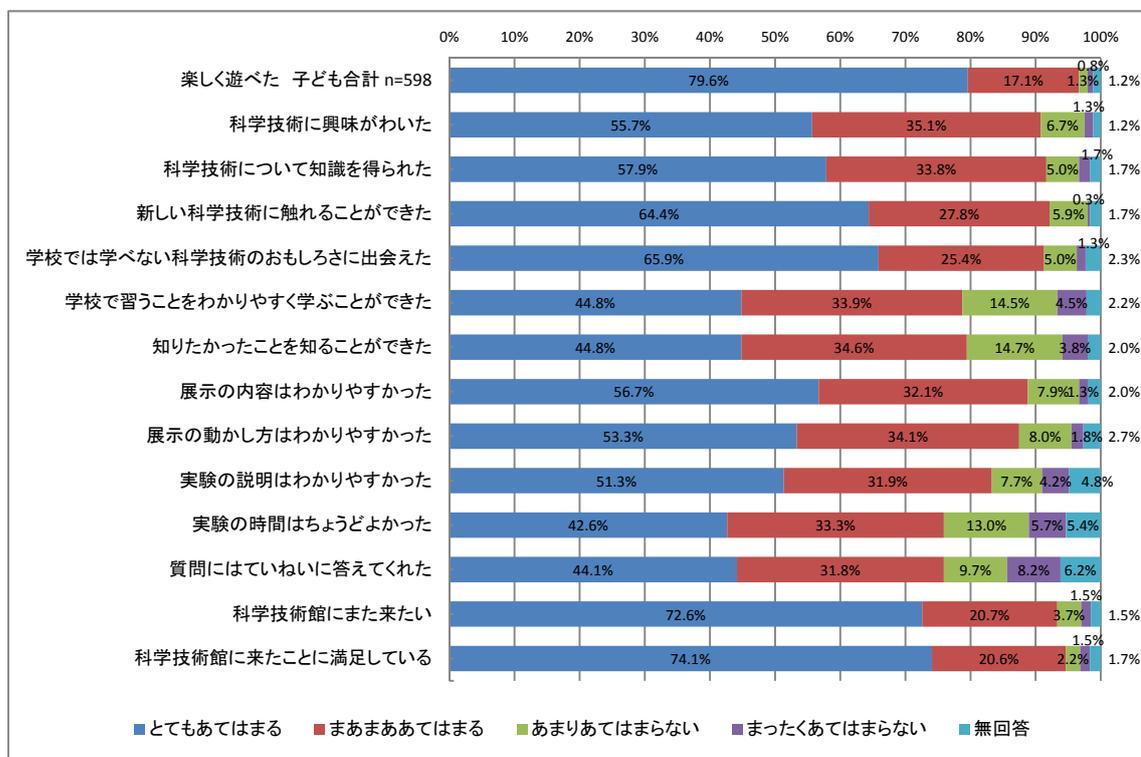


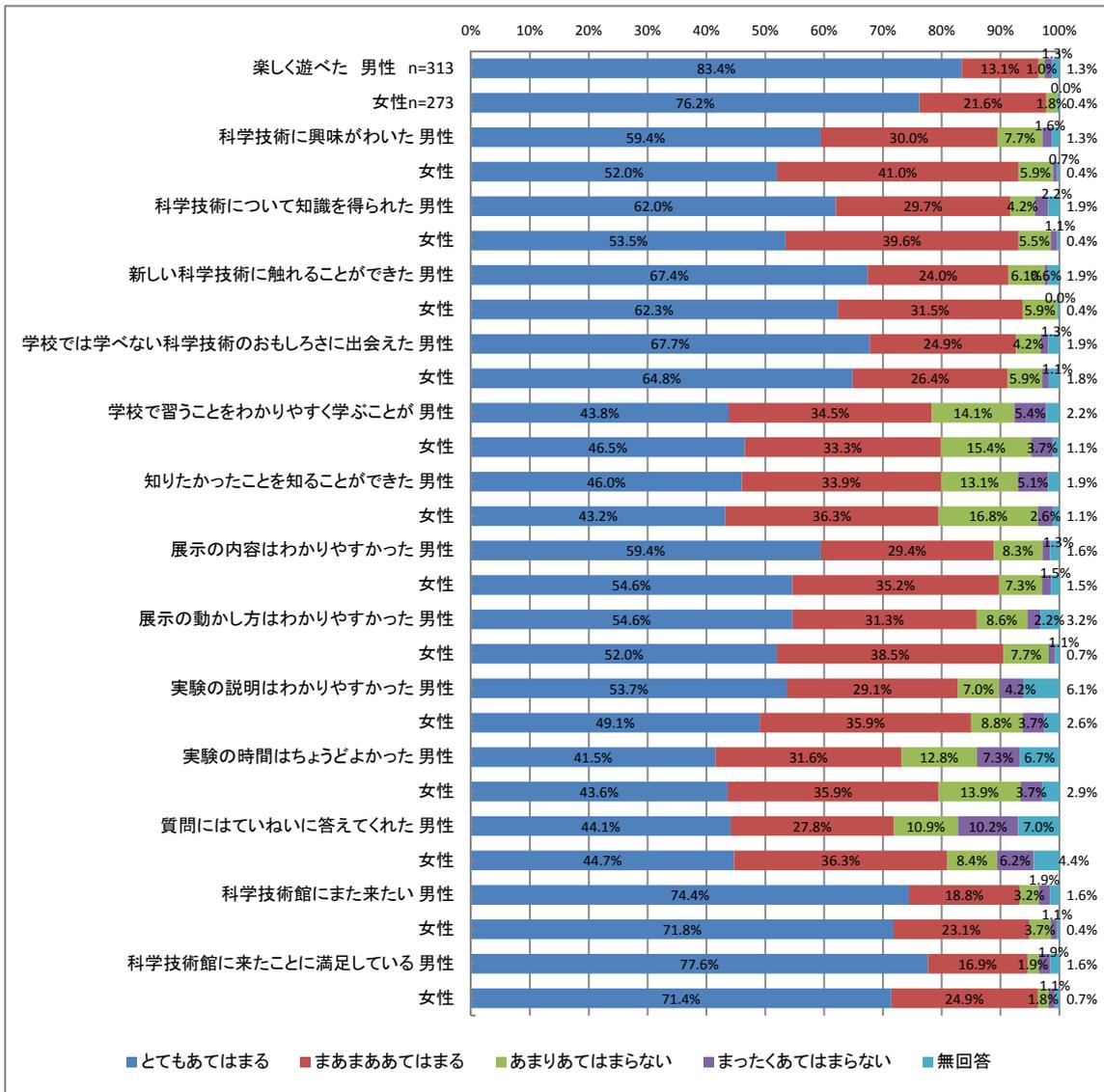
• 考察

実際に入室した展示室数には、全体的なばらつきがあるが、是非入りたかった展示室は1~3と答える方が約50%と、いくつかのを絞って(目的を持って)来館しているように見受けられる。しかし、親に連れてこられた立場だと、入りたい展示室が0個所という回答が少なからずある。

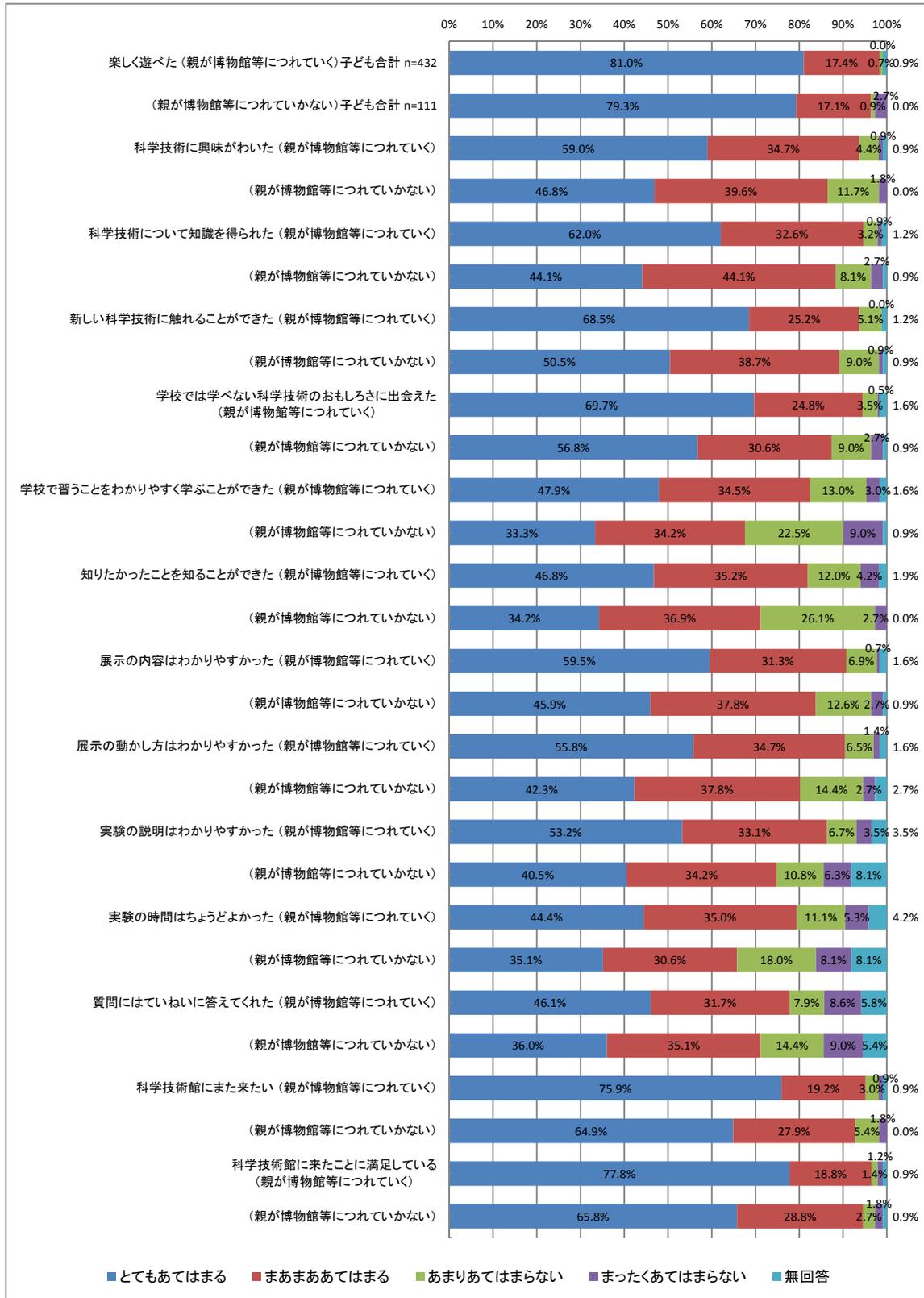
Q2-9 科学技術館全体を通して、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 楽しく遊べた	1	2	3	4
b. 科学技術に興味(きょうみ)がわいた	1	2	3	4
c. 科学技術について知識を得ることができた	1	2	3	4
d. 新しい科学技術にふれることができた	1	2	3	4
e. 学校では学べない科学技術のおもしろさに出会えた	1	2	3	4
f. 学校で習うことをわかりやすく学ぶことができた	1	2	3	4
g. 知りたかったことを知ることができた	1	2	3	4
h. 展示の内容はわかりやすかった	1	2	3	4
i. 展示の動かし方はわかりやすかった	1	2	3	4
j. 実験の説明はわかりやすかった	1	2	3	4
k. 実験の時間はちょうどよかった	1	2	3	4
l. 質問にはていねいに答えてくれた。	1	2	3	4
m. 科学技術館にまた来たい	1	2	3	4
n. 科学技術館に来たことに満足している	1	2	3	4

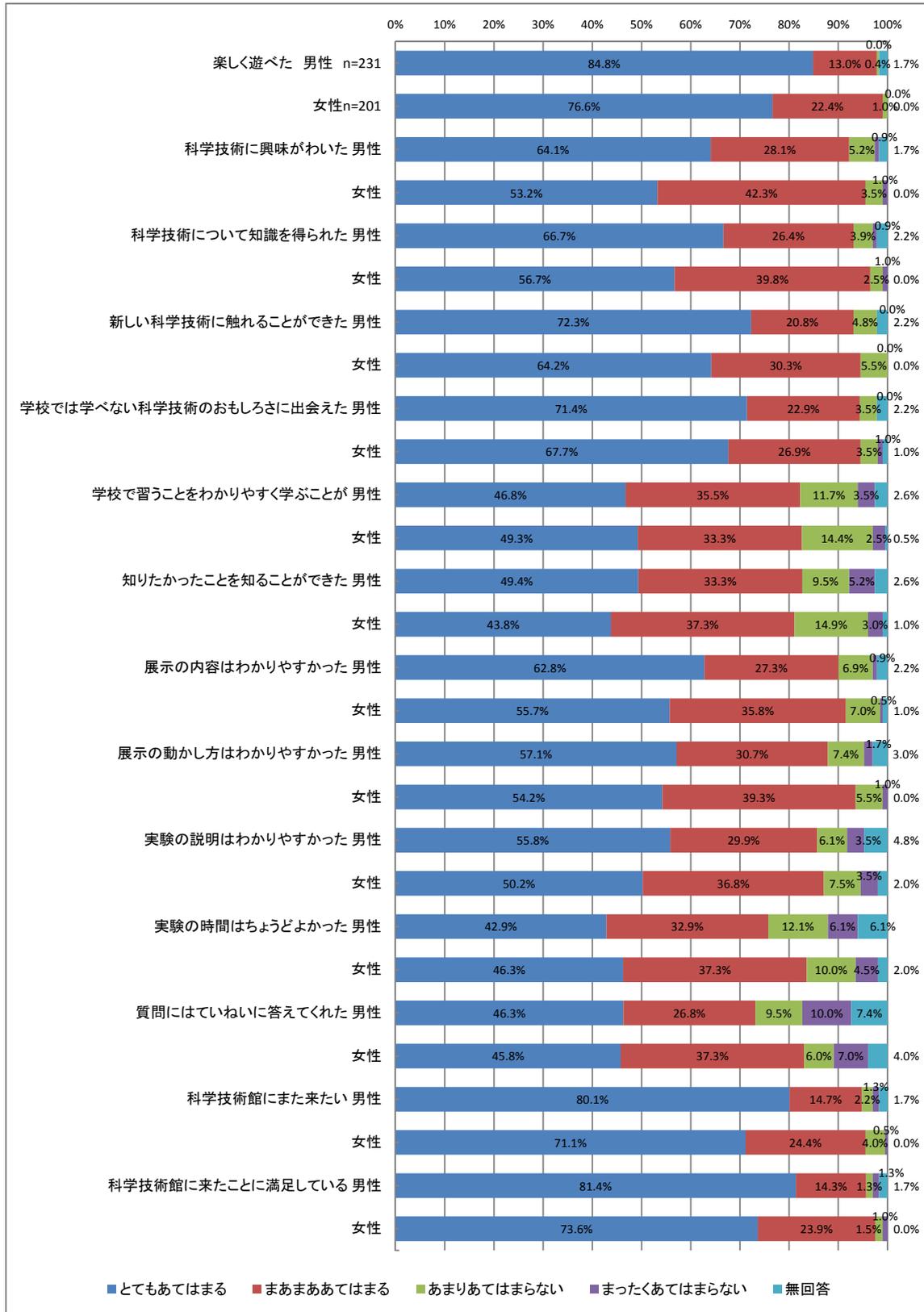




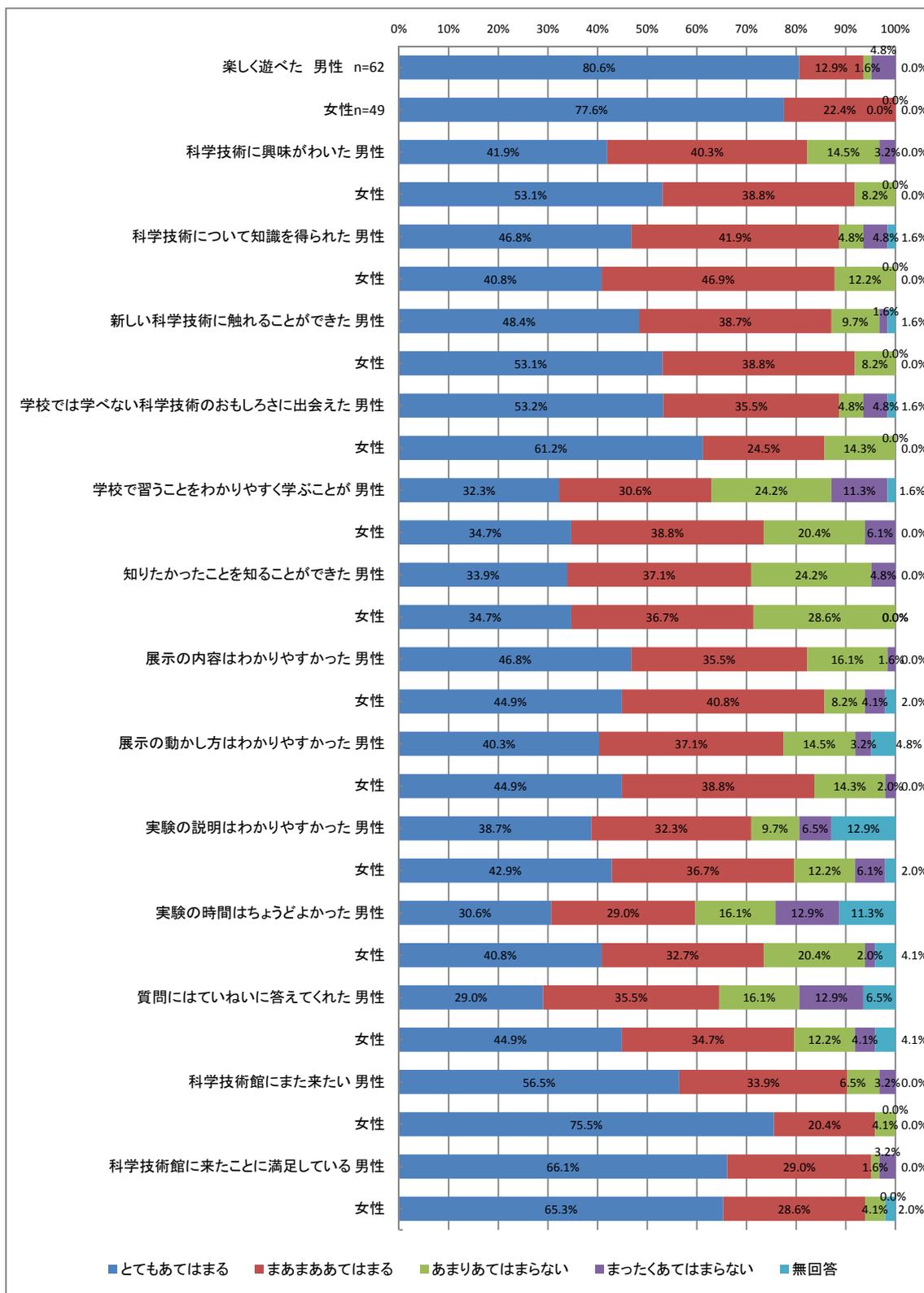
 Q1-8e.kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432 と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



・親が博物館等につれていく 男女別



・親が博物館等につれていかない 男女別



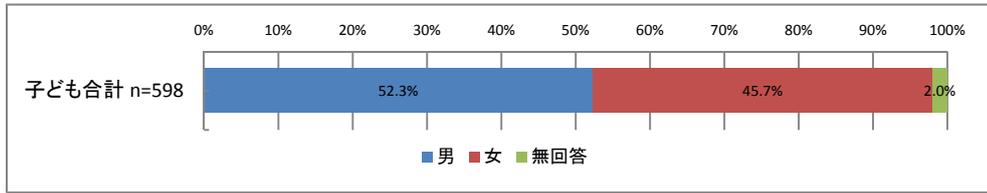
・考察

問い全体的に、「とてもあてはまる」という回答をした人（グラフの青色部分）が50%前後以上と、館としては喜ばしい結果となっている。とくに「a.楽しく遊べた」には95.7%がポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）と答えている。「m.科学技術館にまた来たい」にポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）した人も93.3%と、次回入館への期待感がうかがえる。しかし、同じ「m.科学技術館にまた来たい」や「n.科学技術館に来たことに満足している」でネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）をしている人が少しでもいることを忘れてはならない。館をよりよくするために、満足しきれない理由を追求することも必要と考える。

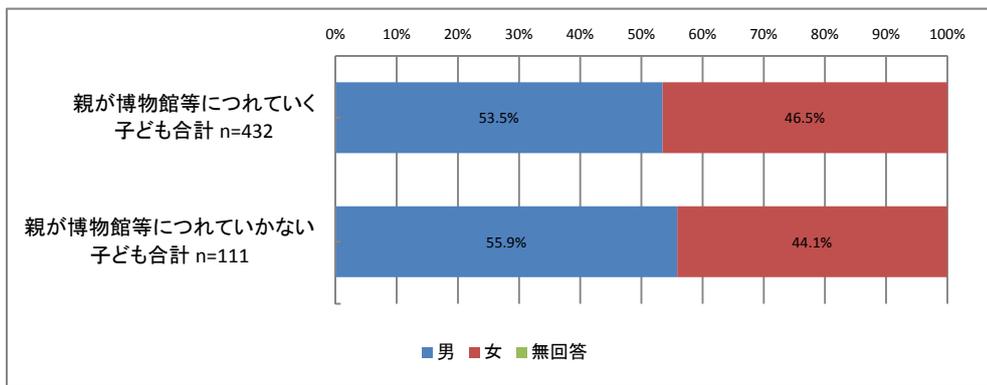
3) あなた自身についてお聞きします。

Q3-1 あなたの性別について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 男 2 女



 Q1-8e,kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



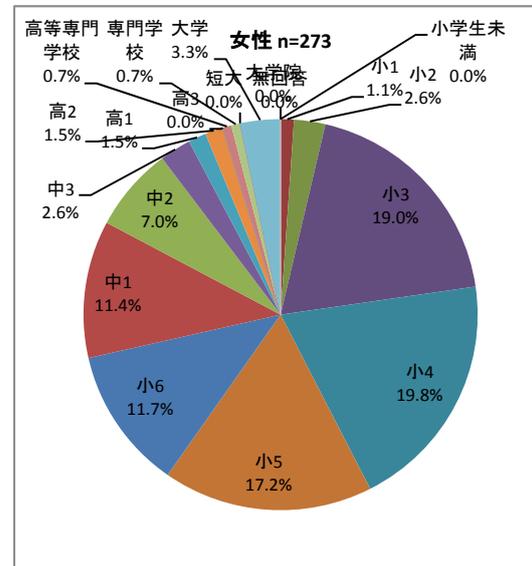
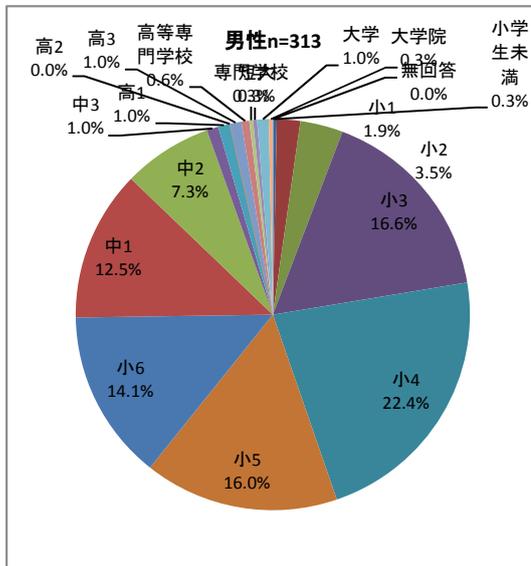
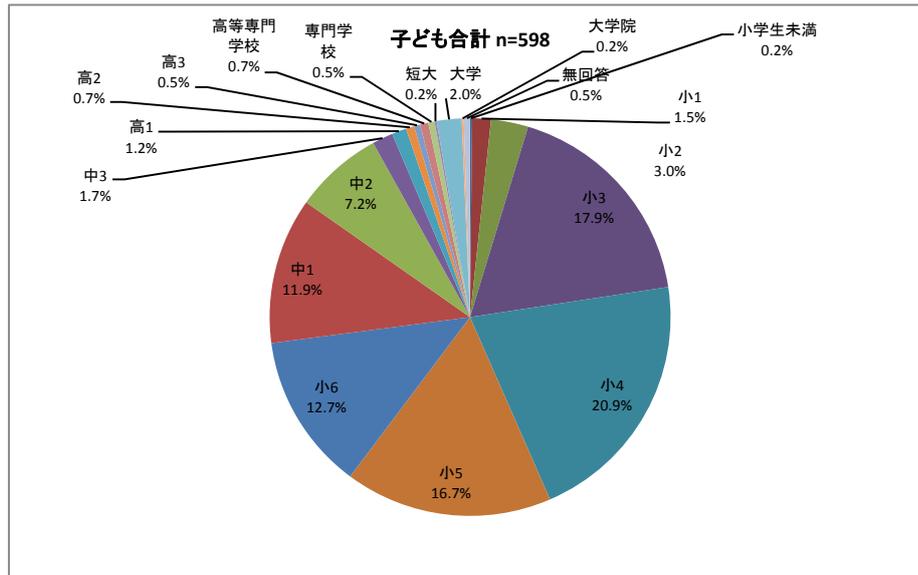
・考察

理数系分野の科学館・博物館だからなのか、大人と違い、子どもは男性が女性より少しだけ%が高い。

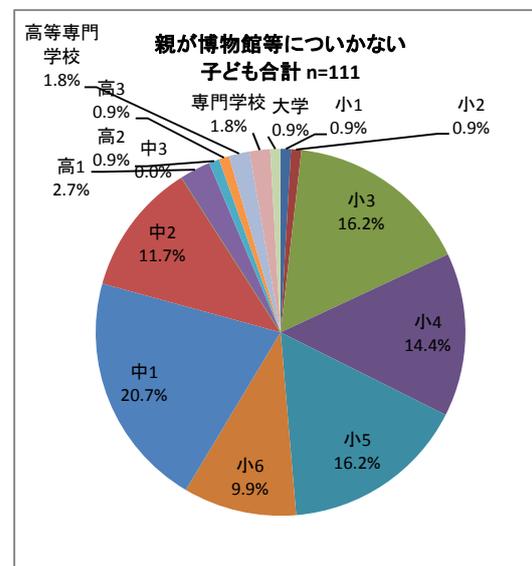
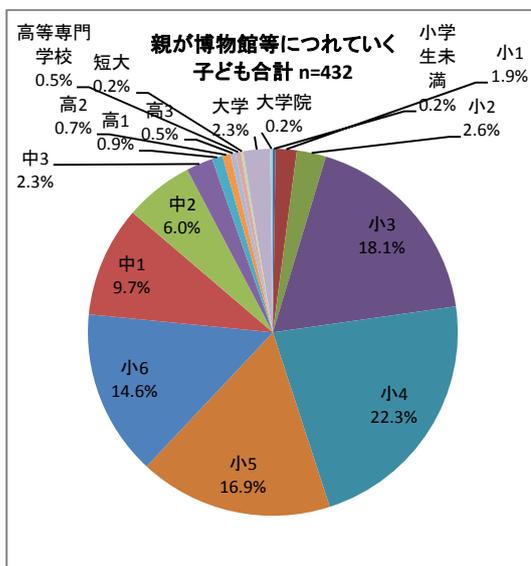
Q1-8e,kにおいて「親が博物館に連れていく」に、ポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）した人もネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した人も数値的にあまり差はない。

Q3-2 あなたの現在の学年について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

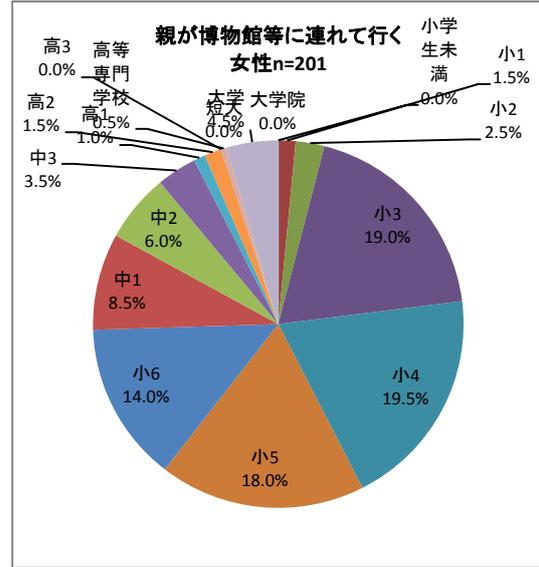
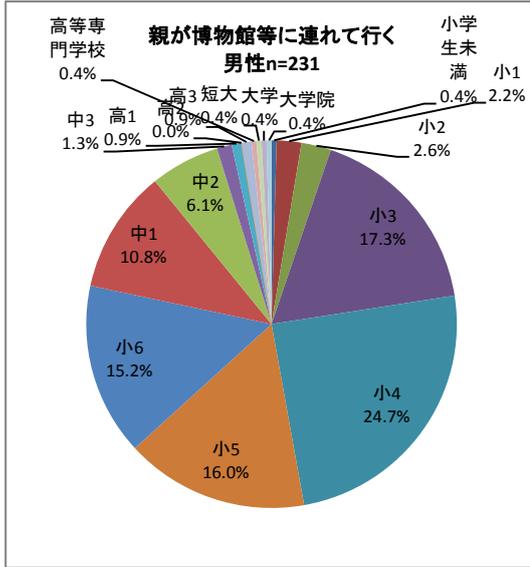
- | | | | |
|--|---|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 小学生未満 | <input checked="" type="checkbox"/> 6 小学校5年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 11 高校1年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 16 短大生 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2 小学校1年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 7 小学校6年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 12 高校2年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 17 大学生 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3 小学校2年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 8 中学校1年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 13 高校3年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 18 大学院生 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 4 小学校3年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 9 中学校2年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 14 高等専門学校生 | <input checked="" type="checkbox"/> 19 その他（具体的に： ） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5 小学校4年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 10 中学校3年生 | <input checked="" type="checkbox"/> 15 専門学校生 | |



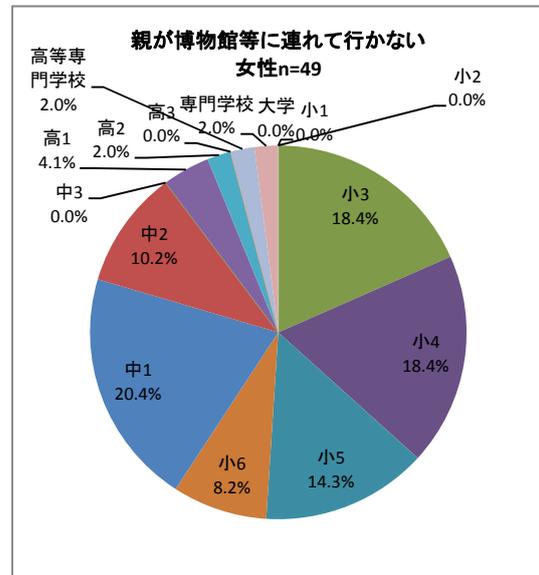
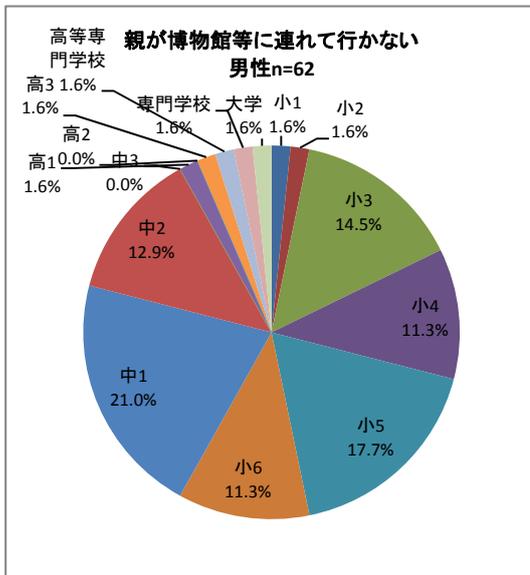
 Q1-8e,kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



・親が博物館等に連れて行く 男女別



・親が博物館等に連れて行かない 男女別



・考察

小学校3年生以上でアンケートをお願いしているため、小学校2年生以下の数値は定かではない。しかし、小学生だけで、50~60%の割合をしめている。館のターゲット年齢には合っているが、この表には反映されていない小学校低学年と未就学児童の割合も気になるところである。

また「親が博物館に親が連れて行かない」となると、中学生の数値の割合が30%を超えてくる。

Q3-3 あなたが現在住んでいるところについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1
2
3

東京 23 区内
東京 23 区外
神奈川県

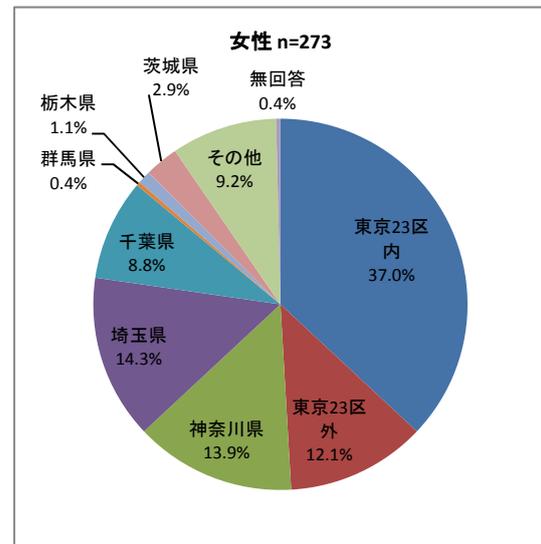
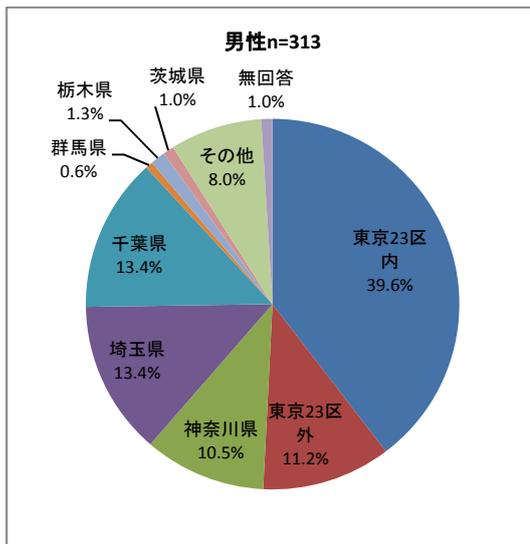
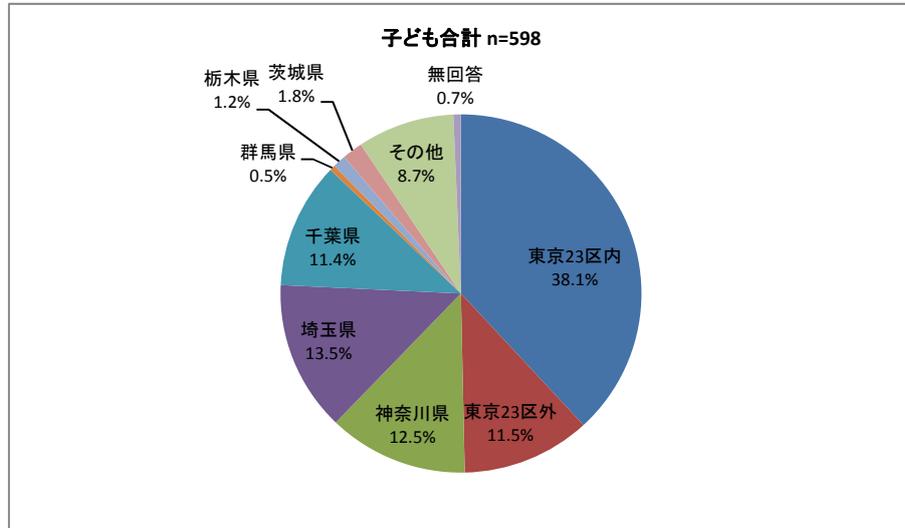
4
5
6

埼玉県
千葉県
群馬県

7
8
9

栃木県
茨城県
その他（具体的に：

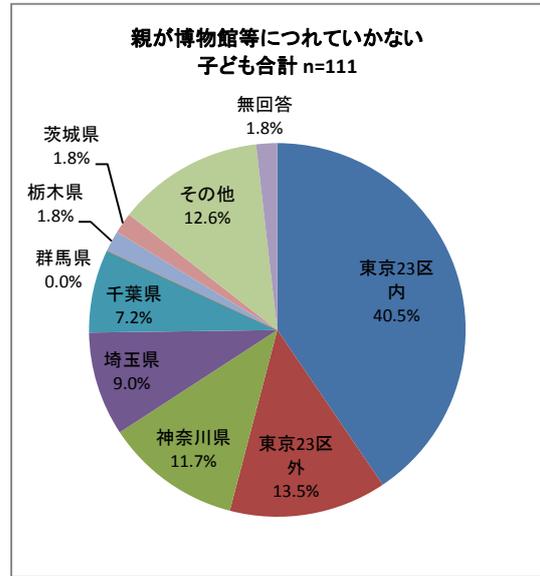
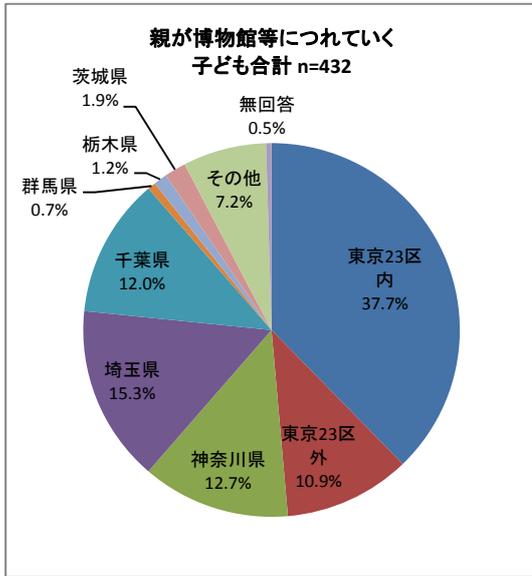
）



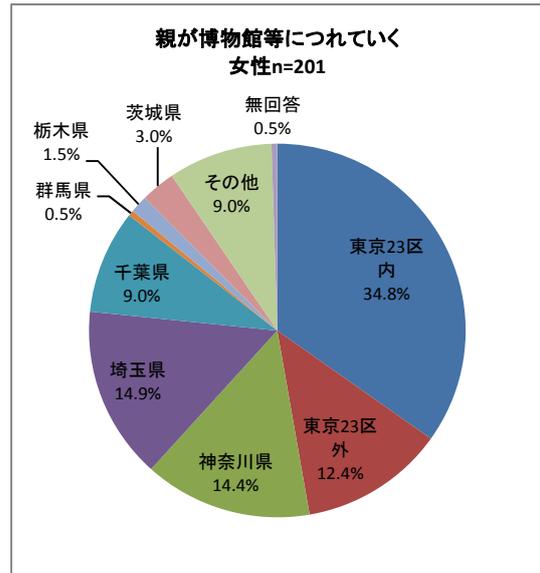
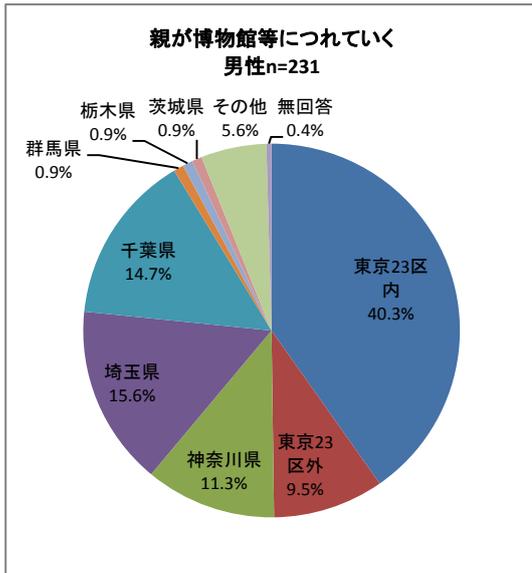
★その他

- アメリカ (2)
- イギリス
- おokayama (4)
- しずおか (15)
- ドイツ
- にいがた (3)
- 愛知県 (2)
- 沖縄 (4)
- 宮崎
- 京都府 (4)
- 広島県
- 香川 (2)
- 高知県
- 三重県 (2)
- 山梨県 (3)
- 石川県
- 仙台
- 大阪
- 大分
- 福島県

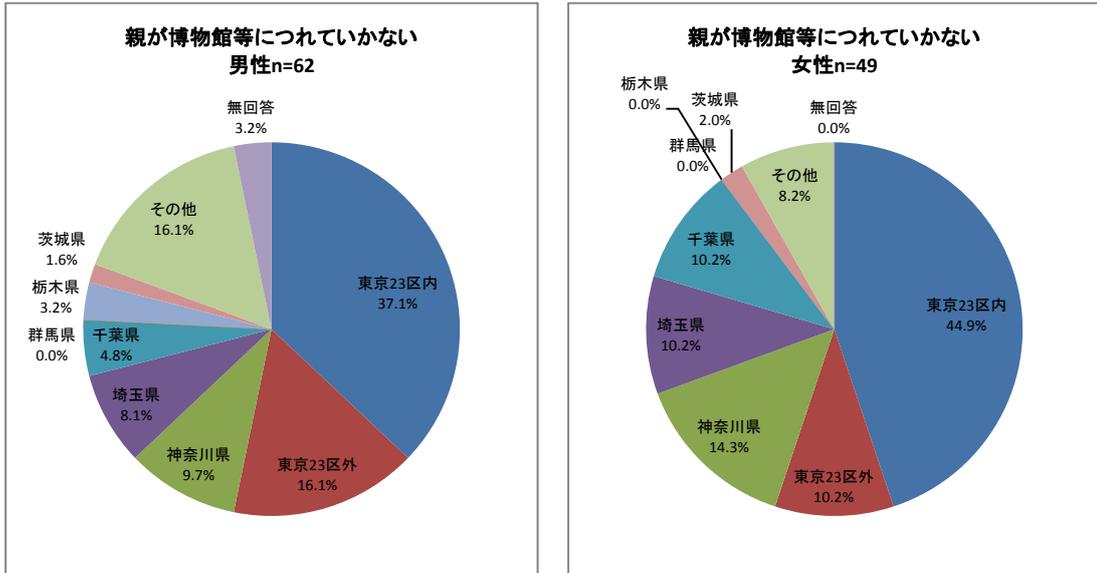
 Q1-8e,kにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較



・親が博物館等につれていく 男女別



・親が博物館等につれていかない 男女別



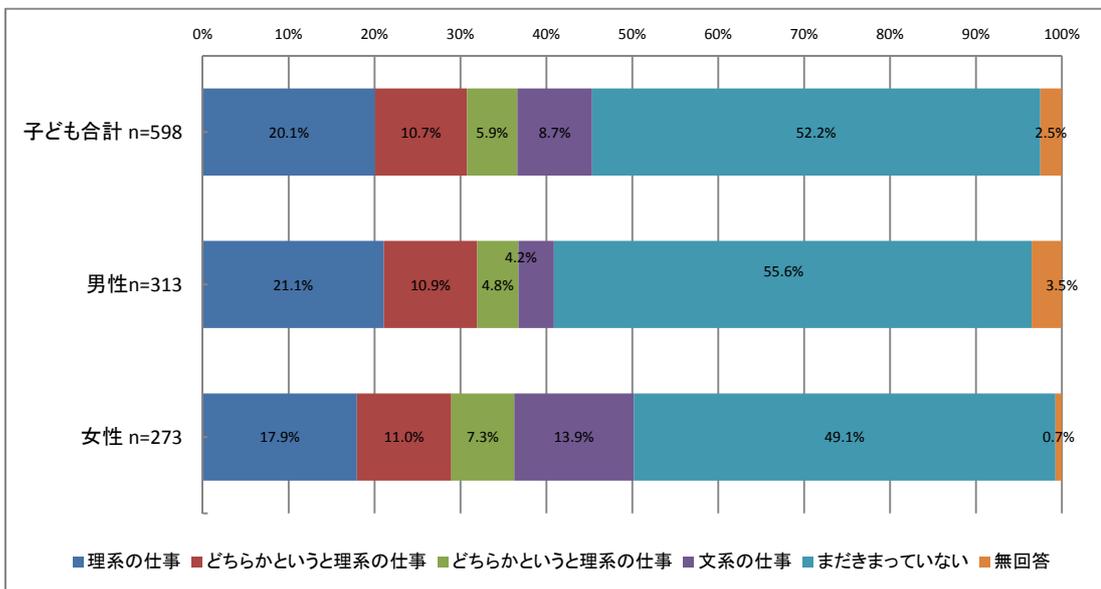
・考察

50%前後は東京 23 区内外からと、比較的近いところからの来館が目立つ。親が博物館に連れて行くと回答した男女の場合は、少しだが東京以外から来館する人の数値が上がっているように感じる。逆に親が博物館に連れて行かないと回答した男女は、東京 23 区内外から来館した人の数値が若干上がっている。
また、東京以外からの来館でも、神奈川県、埼玉県、千葉県など電車で行き来しやすいところからの来館が目立つ。

Q3-4 あなたは、将来、理系の職業と文系の職業のどちらにつきたいですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------------|---|------------|
| 1 | 理系の職業につきたい | 4 | 文系の職業につきたい |
| 2 | どちらかといえば理系の職業につきたい | 5 | まだ決まっていない |
| 3 | どちらかといえば文系の職業につきたい | | |

SQ1 Q3-4で「1」から「4」に回答した方にお聞きします。 将来つきたい職業が決まっている方は（ ）内に職業名を書いてください。
()



★理系の仕事

農家
いしゃ
インテリアコーディネーター
エンジニア
おもに科学者
お医者さん 2
かがくかん、やくざいし。
かがくしゃ 3
かんごふさん
ガンダムをつくってみたい
きまってない
キョウジユ、研究職、企業の開発職、特許関連
ぎんこう
けんちくデザイナー
コンピューター
コンピュータのシステム系の仕事
しいくいんやじゅうい
じっけんをするしごとにつきたい
じどうしゃ
じゅう医 3
じゅ医
とくにきまってない
ひ・み・つ
まだきめていない
レストランの職につく
ロボット作り
医師 5
医者（かんご師）
医者かじゅう医
宇宙飛行士
宇宙飛行士（予定）
栄養士さん
化石をほる人と研究する人。
科学者 6
看護師
決まっていません
研究職に就きたいと思っています。
歯科医 服屋 ケーキ屋
車のせいび
水族館の館長
水族館の職員
整備仕
大学の教じゅ
大学病院の医者
鉄道関係
天文学者
電車と車を作りたい。
動物の医師
熱帯魚の店、ゲームクリエイター
物理学者
物理学者、動物学者
法医学者
薬剤師 5
理科教諭
理学療法士

★どちらかというと理系の仕事

astronomical scientist
おいしゃさん
おもしろい
きまっていない
ゲームクリエイター
サッカーせんしゅ
さんすうの先生

スーパーマーケットの店いんさん
ディズニーランドではたらくこと
ディズニーランドで八百屋
パイロット
パティシエール
ひみつ
まんが家
レストランでりょうりをつくる人
医者
科学館で働く
科学者になりたいかな
気象予報士
決まってない
自動車エンジニア
大工
地震研究所 天文関係
鉄道のぎじゅつ者
電車のうんてんしゅ
動物系の仕事
野球選手

★どちらかという文系の仕事

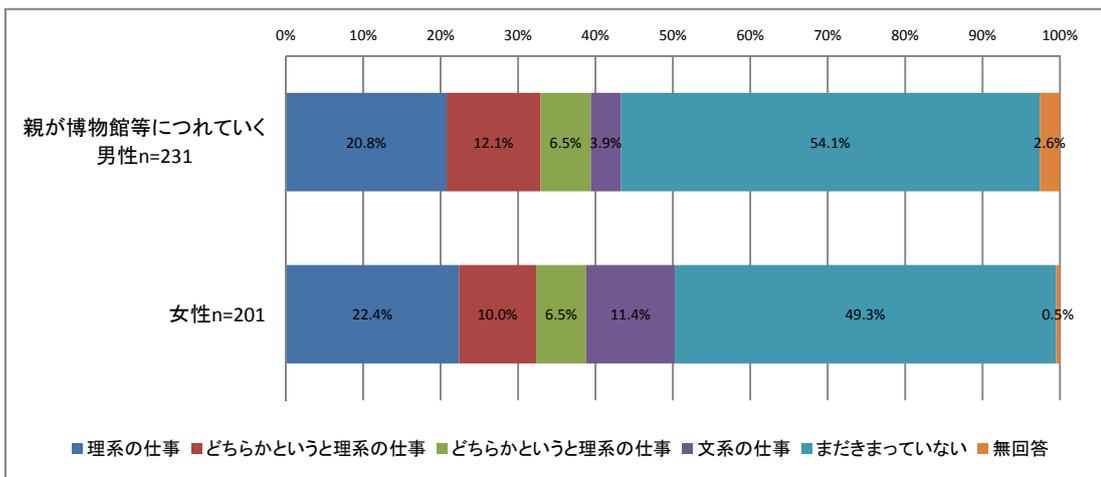
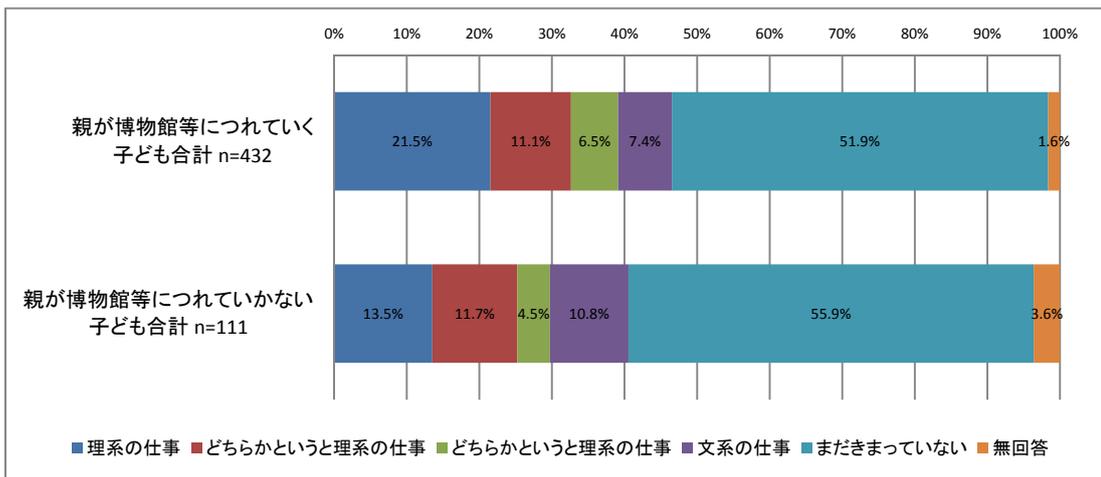
アナウンサー
がが
かしゅ
ケーキ屋
サッカーせんしゅ 3
そろばんのせんせい
タレント
デザイナー
ピアニスト・手作り教室
ピース作家
ファッションデザイナー
プロサッカー選手
まだ未定
マンガ家
ラーメン屋
宇宙ひこうし
学校の先生
決まってない
事務
中・高の音楽の教師
電車のうん転手
動物のお医者さん、整体し、歯医者、昆虫採集？
野球せんしゅ

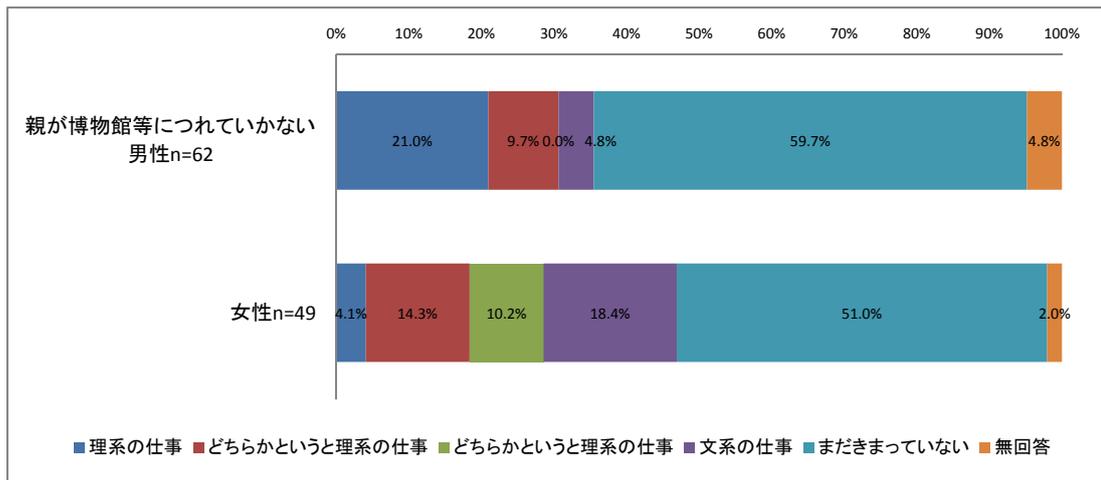
★文系の仕事

teacher (～笑
アナウンサー
アラビア語をすべて覚えて、モーリタニアかエジプトへ行く
イタリアンのシェフ
お花屋さん
お店
ししよ
しょうぼうし
どうぶつ
パティシエ
ピアニスト
フライトアテンダント
プロゴルファー
プロ野球せん手
マンガ家 2
マンガ家か、小説か。
囲碁
医者

英語関係の仕事
 花屋
 裁判官
 作家 3
 自えい体・けいさつ
 出ばん社の編集者
 小説家・児童に関する仕事
 先生 2
 体そうのせんせい
 地理の教師
 通訳
 鉄道関係・にんじゃ
 保育士
 本やさん

 Q1-8ekにおいて親が博物館等につれていってくれるにポジティブ回答した子どもn=432 と、ネガティブ回答した子どもn=111の比較





• 考察

将来の職業は、全体的にまだ決まっていないという人が 52.2%とトップだが、理系の仕事についてみたい（どちらかというと理系）と答える方が 30.8%と、文系の仕事についてみたいと考える方（14.6%）を上回っている。

将来についてみたい仕事は、医者、科学者、獣医、研究者、薬剤師と多種多様である。

4) 最後に皆様の感想をお書きください。

Q4-1 科学技術館全体を通して、良かったところ、悪かったところ等を下の空欄に書いてください。

• 良かったところ

()

• 悪かったところ

()

• 「科学技術館」でやってほしい展示、実験、工作等

()

★良かったところ

1 かいに売ってある物が2かい〜5かいにあると思ったから。

NE doのコーナーにゲームがあるときいたから。

あざらし「パロ」をさわりたいかったから

いきものを参考にしたセンサーを見てみたかった。

いつもは体験できないことを体験できること

いろいろ 3

いろいろありそう

いろいろこれからは役だつようなちしきを得るところだから。

いろいろコンピューターにさわれたり、大きなしゃぼん玉の中に入りたかったから

いろいろな、しくみで遊べること

いろいろな、体験や実験などできると聞いておもしろそうだったからです。

いろいろなぎじゅつのものがおもしろそうだったから

いろいろなじっけんなどをみる

いろいろなたのしいこと

いろいろなロボットなどが見れるから

いろいろな楽しいものがありそうだ

いろいろな事が分かりやすそうだから。

いろいろな体験や実験ができるから

いろいろな体験を出きること。

いろいろな展示品があって楽しかったから。

いろいろな不思議を知る事。

いろいろな体験したり、ゲームがあったりする

いろんなことがあるか。

いろんなことを体験できるから

いろんなじっけんがみたいから

いろんな技術が楽しそうだから

うちゅう

おおきいしゃぼん玉を見たから

おもしろいのがいっぱいあるから

お姉ちゃんがきて、おもしろかったと言ったから。

かがくじっけんきょうしつ of the せんせい

かがくにはすこしきょうみがあってえんそくでいくばしょをきいたら「やったー」と思ったからそれにきたいした。

ぎじゅつをいろいろな形でみれること。

くるまのてんじ

ゲームができるから。

けしゴムを作っているところが見たかった。

サンドブラスト

しくみなど

じっけん 3

じっけんがすきだったから

じっけんとかおもしろいてんじを見てみたかった。

じっけんなど

じっけんやしぜんが大好きだからです。

シャボンだま 3

しゃぼん玉がおもしろそうだから

しらない事を得れそうだから

たいけんするもの

たいけんできるから

テレビで建設館のやつを見た

てんじひん

てんとうむし

でん気の、おもしろさや、ふつうでは見られない物！
どのようにしてでんきなどをつくっているか
どれだけ日本の技術が進化しているか
どんなてんじひんがあるか、おもしろそうだったから。
どんなロボットが、おいてあるか。→「ロボット展」
なんとなく
パロちゃんと実験を楽しみに来た
ふだんでは見られない科学の事を知ることができるから。
プラズマ
ぼくが知らないことまだならってないことがいろいろあるから
まだ習ってないことを楽しく学習できるから。
みるものが
りかのじっけんなど
ロボット 9
ロボット・遊具係
ロボットがおもしろそうだから
ロボットがどうごくのか
ロボットがとても好きなのでみたかったから
ロボットがみたかったから
ロボットが好きなので来ました。
ロボットてん
ロボットとか
ロボットとか、いろいろな、理科の体験
ロボットとかゲームとか
ロボットなど 2
ロボットなどの科学
ロボットについて
ロボットの仕組みや実験がおもしろそうだから
ロボットの生きもの風なもの。
ロボットや実験が楽しみできました。
ロボットを見たかった。
ロボットを見ること
ロボット作り。
ロボット展
ロボット展がどういう物か、見たかったから。
ワークショップの実験
以前来た時に「科学」について、とてもおもしろく詳しく説明されていたから
化学
科学がすきだから
科学のおもしろさ
科学はどのような進歩をしているのか調べたいから
科学技術館には、体験がたくさんあるから。
環境の模型など…
技術のはってんについてのおもしろさ。
工作
今の科学はここまですすんでるから（かなり科学進歩している）きたいしている
今まで、知らないぎじゅつや、見たこともないものを期待している。
今までしらなかったことを知る
最新の人の役に立つ技術
最先短のロボットや、電器関係を知りたかったから
自動車のシュミレータ
自分が知らないことがある気がするから。
自分たちでできる実験、展示してある物で遊べる物
自分で実験するのが楽しくて、よく分かるから。
自分で体験して学べること。
自分のすきなものがいっぱいある
自分の知らないロボットや機械などが見学できそうだから
自由研究にやくだつかもしれないから
実験・動く展示
実験がおもしろそうだったから
実験が好きだから。
実験など
実験などが大好きだから、おもしろそうだと思います！
実験や体験など
実験をしてみたいから
実際に、体験できること

車

車のしくみ、精密機械

車のしくみやバイクのしくみなどほとんど全部

車の運転。

車の運転などがおもしろかった。

少し、科学にきょうみがあるから

色々な科学などについて。(科学という名前に…。)

新しい発見を見つけて体験したりすること

新しく技術が発展していること。

人が中に入って、しゃぼんだまのことが、おもしろそうだから。

水や電気などを使う物などがありそうだったから

前(1回め)、きた時に、おもしろかったから

前、来た時シャボン玉の中に入れるのとか、大きいボールをみんなで協力して運ぶのをやったからそれに興味をひかれた。

前に行った人が、「おもしろかった」と言っていたから。

全体的に 3

全部

全部見たかったから。

体験 2

体験コーナーにあるのを期待する。

体験するところがあるか・無いか。または、その体験することが面白いかどうか。

体験とかが多くて長くいられる

体験をしたりできることを期待している

知らないことを発見できること。

知らなかった事を知れる事など

地球環境及び、技術について調べたら、館内がリニューアルしたと聞いたので

弟がいていた。具体的にはわからない。

展示物

動く物 実験

内容など

日頃体験できないような科学について学べる

本当みたいだから…。

未来のロボットやテクノロジーなど

目のさっかくとかです。

★悪かったところ

5かいに説明がない・無料で作れる物をふやしてほしい!

5かいのもようがむずかしい?

5かいの所が気持ち悪い

motor world

あきてくる

あつい 4

あついところ

あまり、ものが無いところ?

あまり、よくわからない遊具?があった。

あまりない…。

あまり楽しくないところもあった

あまり物が無かった。

あんけーとが、ながすぎる。もっとみじかに。

アンケートが長い 4

アンケートの字が小さい

あんまりない 2

いっぱいで見れなかったところ

うごかしかがわからなかったてんじがあった。

エスカレーター

エレベーターがない 3

おいしいごはんやさんがあるといい

おだやか

おもしろそうなものがあったが解説がくわしく書かれていない所があった。

かんばんを大きくしてほしい

下りのエスカレーターがない 10

くだりのかいだんがなかったところ

ここがひろすぎ!!

このアンケートは気安く通りかかった人がやるには質問数が多すぎて、調査とはいえど被験者との適切なラポールを結ぶには向かず、アンケートの方式としてはかなり悪いと言わざるを得ません。

ごはんたべるところが少ない
ごはんの量をかえたかった。
こまかい字がちょっと多い
コンピューターがあまりおもしろくない。
シンラドーム／ゲストコーナーがつまらなかった。
すこしむずかしいところがあった
せつめいがあまりなかった。
せつめいがむずかしい
せつめいが少ない
せつめが多い
せつめいは、よくわからなかった
そうさがよく分からない。
ちょっとゲームの時間が長いと思うことがある
ちょっと説明があまりわからなかった
つかいかたがわるかった。
てんじの説明がない所
トイレがきたない
トイレが古い
トイレが少ない…。
とくにないけれど、ならびまちです…
どこになにがあるか、わかりにくい
ならんでるところ
ねだんを安く！！
ハンドルなどを動かしても動かない
パンフレットに写真がないこと。
パンフレットに写真や絵があんまりない所
ひとりだけじどうじゃでできなかった
ベンチが少ない
ほぼなかった
マイクを使わないでほしい
まだ実用化には遠いのも多いかなーと思った
まち時間が長かった
まわりの音がひびくところ
みちにまよった
むずかしい物もあった。
もうすこし、へやをふやしてほしい
もっとやさしい説明が必要かと。
もっと工作をやってほしい。
もっと場所（ここがどこなのか等）をはっきりしてほしい
もっと体験したい
やりたかったものがすぐに終わってしまう
やり方がよく分からないものがあった。
ろうかがあつい
ロボット
暗いところが多くてころびそうになるのが少し悪かったです
下るエスカレーターがほしい。
階段がつかれた
学校で習っているところがあまりなかった。
学校の今ならっていないようがない
楽しい物があまりない
去年来たときと変わっていなかったこと
興味のわくものがない！
空調がきいていないかんじがする
工作のねだんが少し高い。
工作をもっと多くしてほしい。
広い
子どもが順番を守らない
自転車の展示室がかぶっている。
質問にいてねいに答えてくれない。
実けんの時間をもう少し長くしてほしい。
実験（体験）時間が長い所があった。
実験がない
実験とかちょっとよくわからないのがあった…。
実験とかの時間が長かったした。
実験などやり方がわからない。
実験に人が多かったところ。

実験の時間が長い。
実験の説明がよくわからない
車のたいけんのきかいをふやしてほしい。
周りの人が、少し「マナーいはん」していた。
順番を守らない子供が多数。
小さいこ達の悪ふざけの注意をあまりしない
少し、数が少ない
少しよくわからないのがあった
少しわかりづらいところがあった。
少しわかりにくかった
少し展示が少ないところ
少し動かしかたがわからなかった。
消防車運転が混雑していた
上りのエスカレーターはあるのに、下りがない。
人気のコーナーの順番がぜんぜんまわってこない。
人数せいげんがあり入れないところがあった。
生きものがあんまりいなかった
説明が少しすくない
説明が少しわかりにくかった。体験できるものがすべて終わっていて残念だった
説明が分かりづらいところがある
説明の音が小さい。
説明やパンフレットが少なかった。
専門用語が分かりにくかった。
操作がわからなかったり、理由がわからなかったこと。
体験がもっとほしい
体験でケガをした。
体験出来る機械が少々、少ない。
大きなシャボン玉らへんの、実験が少ない
地図がわかりにくい
展示のレベルが少し低い気がした。
道まよったし…エレベーターを上に行くのと下に行くのがほしい
特にないけど上のかいから下に行くのにかいだん1つしかないのは不べんでした。
難しい用語に説明がないと小・中学生はわからないのでは？
白い所が多く、目にしみる
歩きつかれる所。
遊べるコーナーの機械が少なく、行列ができていたのであそべなかった所もありました。
冷房のききが悪い。

★やってほしい展示、実験、工作等

〇〇と〇〇をまぜたら…
ASIMO
DNAのもけい作り
ecoについて
アクティビターをふかしてほしい
アシモなどの展示
アシモのてんじ
アシモみたいなロボットを動かしてみたい
あまりない。
アンモニアのふんすい実験
いまのでまんぞく
いろいろなりものの、シュミレーション（バイクなど）
いろいろな工作を作りたい
いろんな実けん
いん石がみたい
うごくロボット
エジソン電球
エスカレーター
エネルギー系
おもさのひかく。
おもしろい実験！
お土産がもらえる教室・実験がもっと有ると嬉しい。
かせき
かっせいたんで、でんきをつくる
かでんの中がみたい
カミナリの実験

ガンブラ
きょうりゅう
きょうりゅうの化石ほり、世かいてきゅう名なこん虫のてんじ
くるまの体験運転?てきなこと
ゲームコーナーを増やしてほしい。
けしごむでスタンプ作り
こうさく 2
このまま
このままでい
このままでいい
これでじゅうぶん
これでじゅうぶんです!
しょう来の都市はどんなのがあるか、とか。
すいじょう気の実験。
スポーツをしているときの体のたいおんのへんか
スライム作り
ソーラーカー
たのしいもの
ちょきんば作り
てこの原理を応用した実験
でんじろう先生がやるような実験
でんじろう先生のような実験。
てん体
どうぶつ
とくに
なんでもいいです。
なんでもいいです。
パイロット
バスの運転体験をやってほしい。
はやぶさ
はやぶさのカプセル
はやぶさのカプセルが見たい
はやぶさのカプセルを展示してほしい
ひこうき
ひこうきの事
ビックリばこ
ふうせんの中に人が入ってみたい。
プラネタリウム
プラバン
プラバン(?)
ペーパークラフト(工作)など
ボール転びをやってほしい
ほしぞらについて
ホテル液の実験と解説。
ほぼなかった
マッチの実験
ミニロボット工作
モーターをつかった工作
もっとたいけんするのがやりたかった。
もっとたいけんするものをふやしてほしい
もっとたくさん、ロボットとはなせるようにしたい。
もっと体験みたいなことをふやしてほしい。
やってくれる人がいたらもっといい。
れきし
レストラン
レストランをふやしてほしい
ロボット 4
ロボット(大)を動かせる
ロボットが実際に動いている所を見たかった。
ロボットとお話とか、ちぎゅうかんきょうのこと
ロボットとかの工作をやってほしい
ロボットとの交流を増やしてほしい。
ロボット作り 2
ロボット作り(本かくてき)
ロボット展をつづけてほしいです!
安いロボット作り。

医療系の展示をいっぱいしてほしいです！！
宇宙（惑星、衛星）
宇宙などの展示を。（くわしい解説付きで）
宇宙について色々イベントをやっていただきたいです。
液体を混ぜる、など、中学でも通用する実験
液体窒素
何か作りたい（自分の手で）
家でできないようなみたことのないようなもの
家ではあまりできないような工作
科学のはってん 今と昔のちがい
火
学校で習う実験。
簡単なロボット工作
丸の内サイクル
恐竜
恐竜について展示してほしい。
恐竜の展示
空気について、他のこともやってほしい。
元素記号
元素記号等
工作 3
工作をふやしてほしい
工作をもっとふやしてほしい
工作教室（タダで）
工作等
考えつかない
今のままでいいと思います。
今のままで自分は満足しています。
自分でコントローラーで動かせる車のロボット
自分でできるじっけんのコーナー
自由研究
実験 8
実験の数をふやしてもらってもっとおもしろくなってほしい
実験を増やす。
車
車についてもっとしりたい
車の解体
十分
小さいロボットの模けいを作りたい。
心りがく・トリックアート
真空実験
人間の体について
人体のことをもっとやってほしい。
世界のロボット
世界の自然
星ざ早見ばん作り
星に関することをもっと
生きもの
生き物の解ぼう 2
生き物の実験。
生物
生物の内臓の展示
静電気で髪の毛がバァーッてなる実験
太陽の黒点のこと（秘密みたいな）
体験できるゲームをふやす。
台風など気象に関する展示
台風や気象
大よう光はつでん ラジコンレース
地球についてのことをもう少しわしく。
地球の自然などについての展示。
地震など、地理関連の展示品を…！
地震のことをもっと知りたかった。
虫
虫のてんじ
超伝導、スピントロニクス
鉄道のとてんじ

天気の実験
天文
電気
電気、のり物など
電気の実験
電気の所をもう少し詳しく説明してほしい
電子工作 以上
電車
電池のてんじ
土などから、化石をほるなど
動物
動物の実験。
動物の展示
日常生活で使える物（使って）工作したいです。
飛行機
満ぞく
未来のテクノロジー
無料の工作
木でつくるもの
木の工作
目のさっかく
目の錯かくななど。
葉っぱのつくり。
立体の模形
料理のじっけん

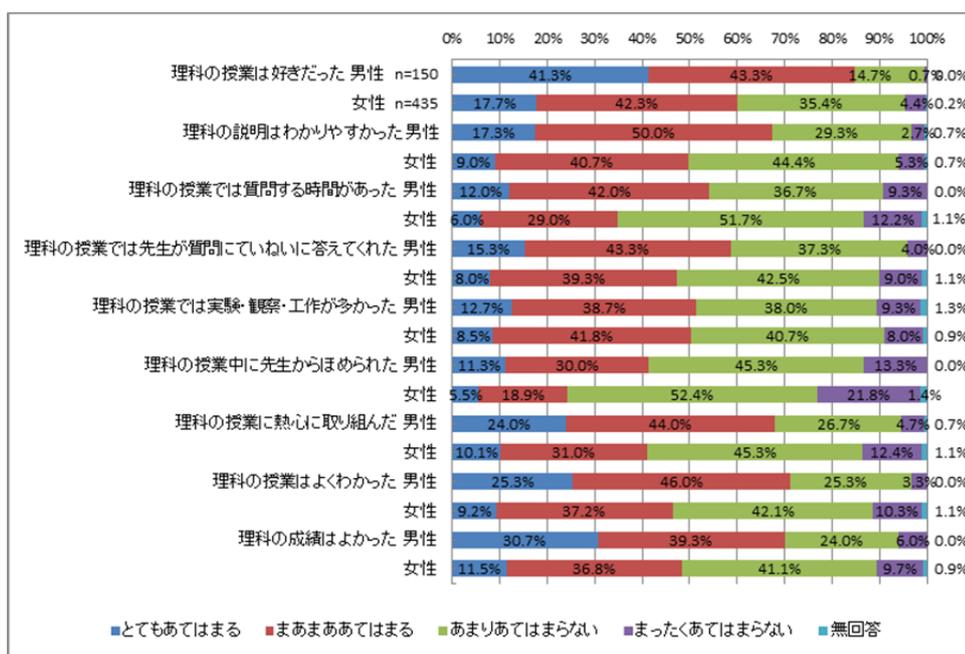
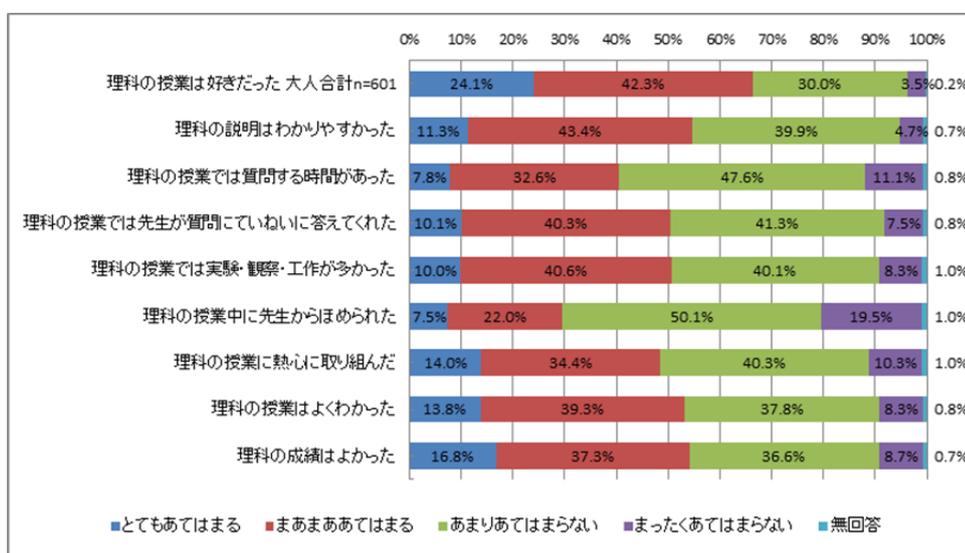
3-2 来館者アンケート調査（大人）

1) 理科や科学技術に対するあなたの意識についてお聞きします。

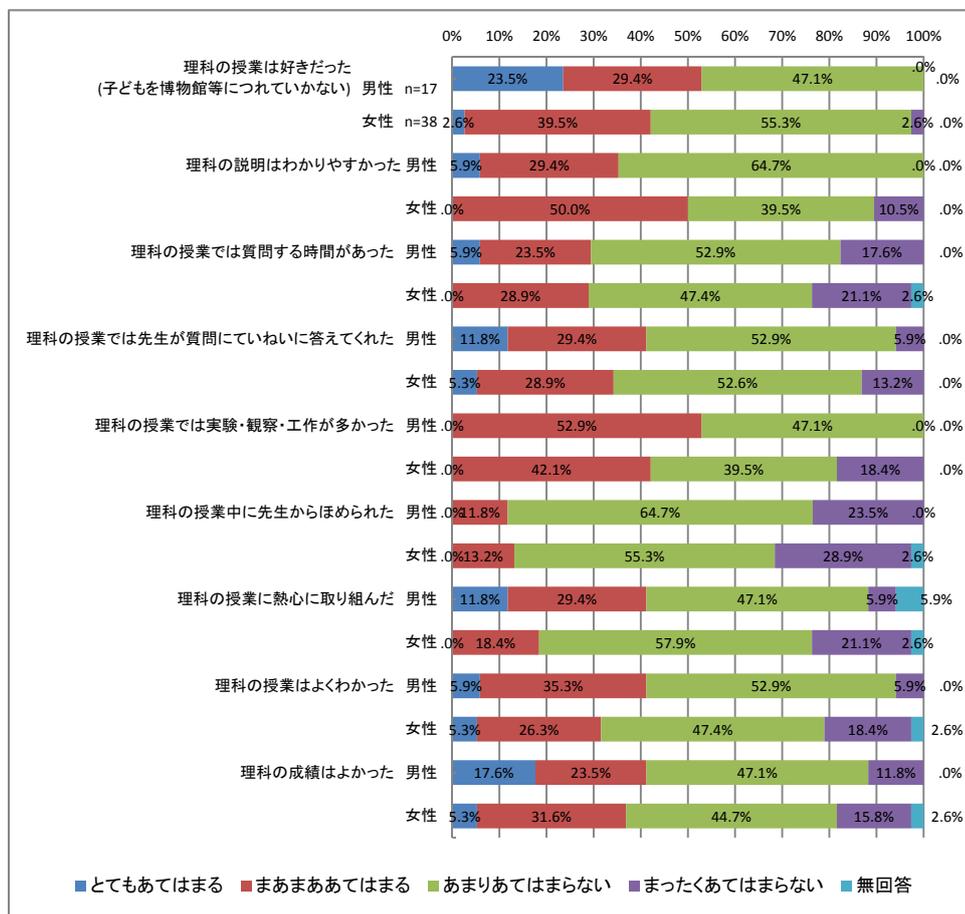
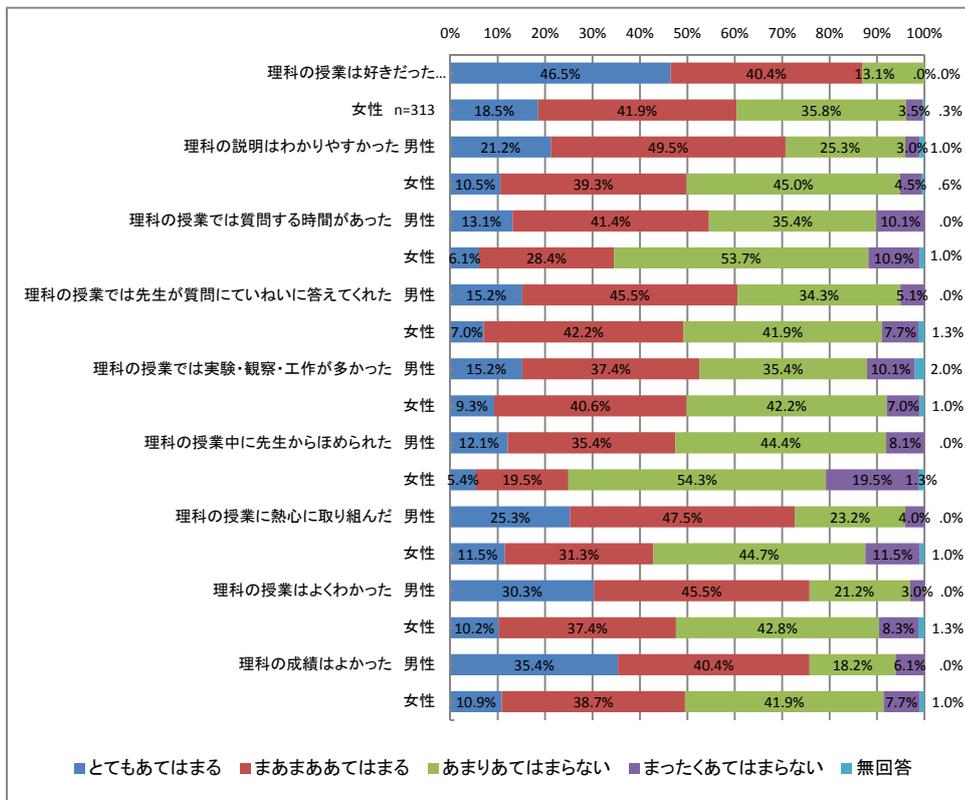
Q1-1 あなたが学校に通っていた時のことについてお聞きします。学校の理科の授業について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりましたか。あてはまる番号に1ずつつ〇をつけてください。

- a. 理科の授業は好きだった
- b. 理科の授業の説明はわかりやすかった
- c. 理科の授業では質問する時間があった
- d. 理科の授業では先生が質問にいていないに答えてくれた
- e. 理科の授業では実験・観察・工作が多かった
- f. 理科の授業中に先生からほめられた
- g. 理科の授業に熱心に取り組んでいた
- h. 理科の授業はよくわかった
- i. 理科の成績はよかった

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



・考察

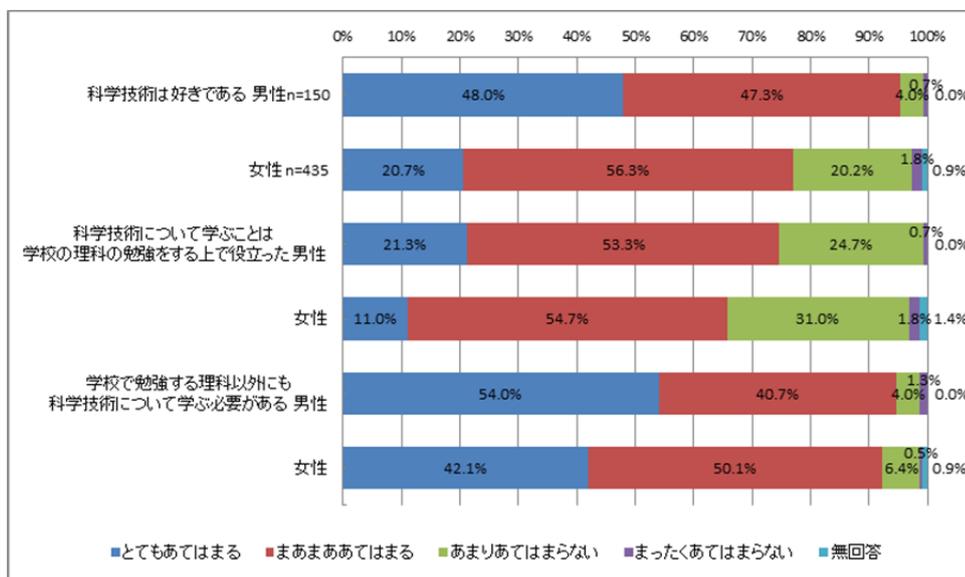
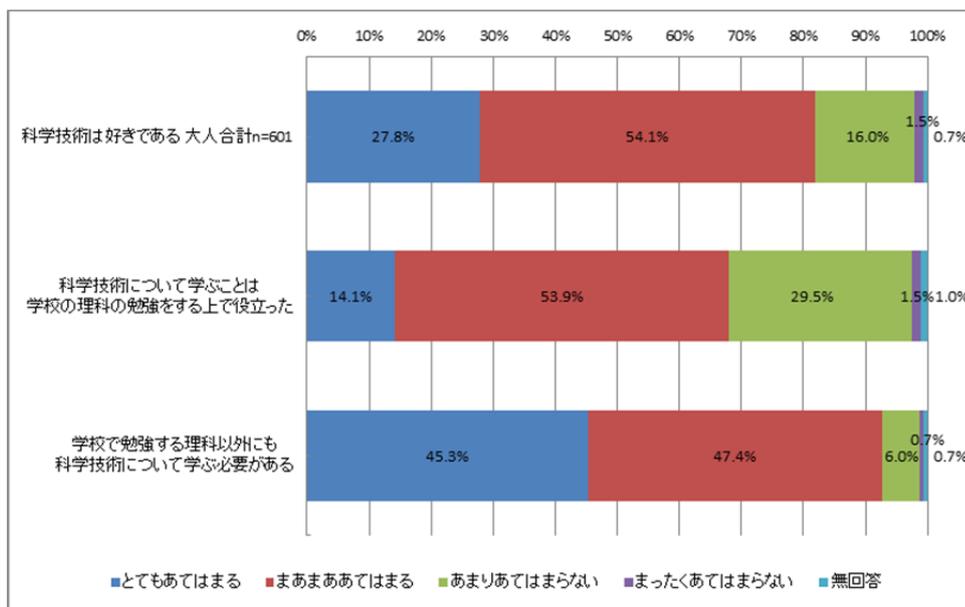
理科についてポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）が比較的高く出ているのは、このアンケートの回収場所が科学館内であることが大きいと考えられる。

Q1-9（sq1-e）において「問・子どもを博物館に連れて行く」にポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）をした男性は「問・理科の授業中に先生からほめられた」の合計 47.5%のポジティブ回答をした。逆に Q1-9（sq1-e）において「問・子どもを博物館に連れて行く」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）をした男性のポジティブ回答は合計 11.8%と低く、回答の差が 35.7%もある。まるで「授業中にほめられた効果」が後押しをしたかのように、「問・理科の授業に熱心に取り組んだ」の男性ポジティブ回答を 72.8%まで引き上げているよう気がする。

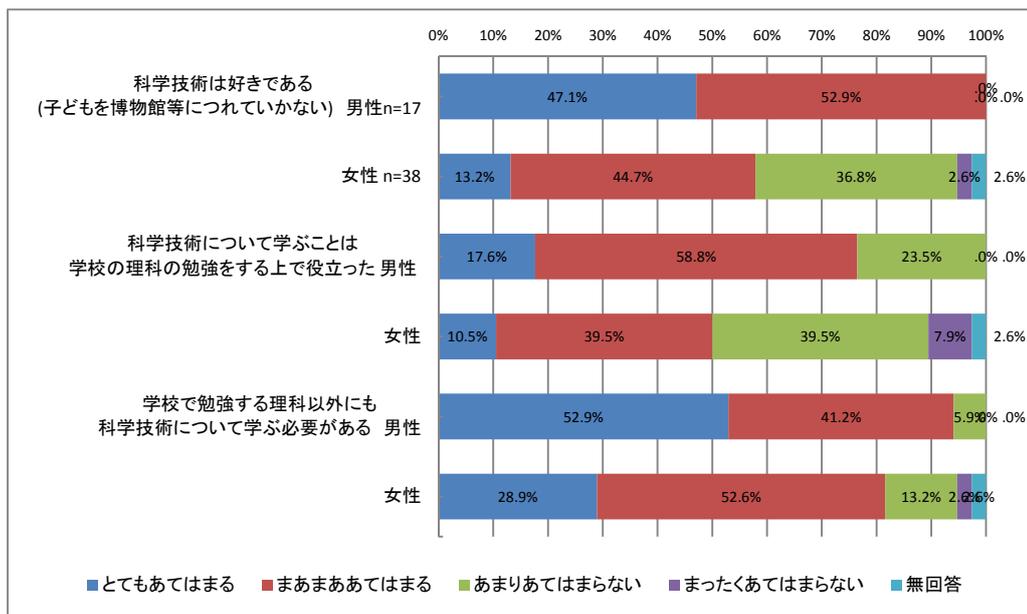
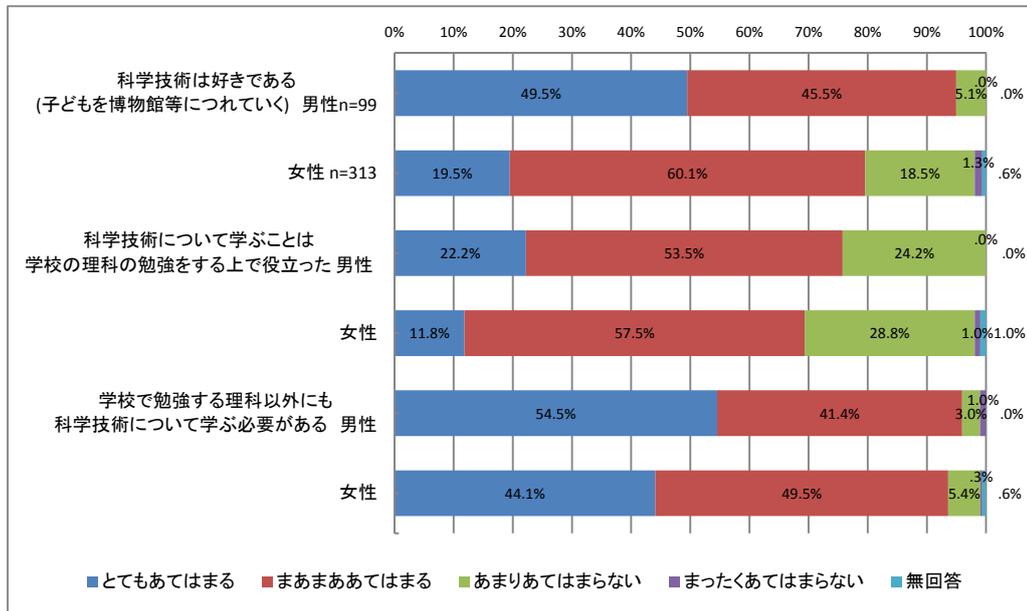
Q1-2 現在の考えをお聞きします。科学技術について、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に 1 つずつ○をつけてください。

- a. 科学技術は好きである
- b. 科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をする上で役立った
- c. 学校で勉強する理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1	2	3	4	
1	2	3	4	
1	2	3	4	



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



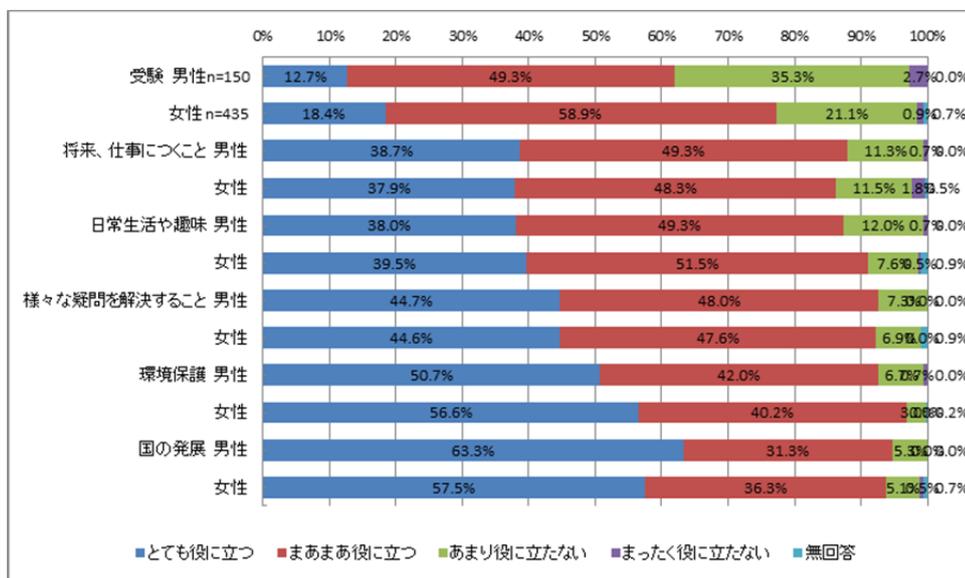
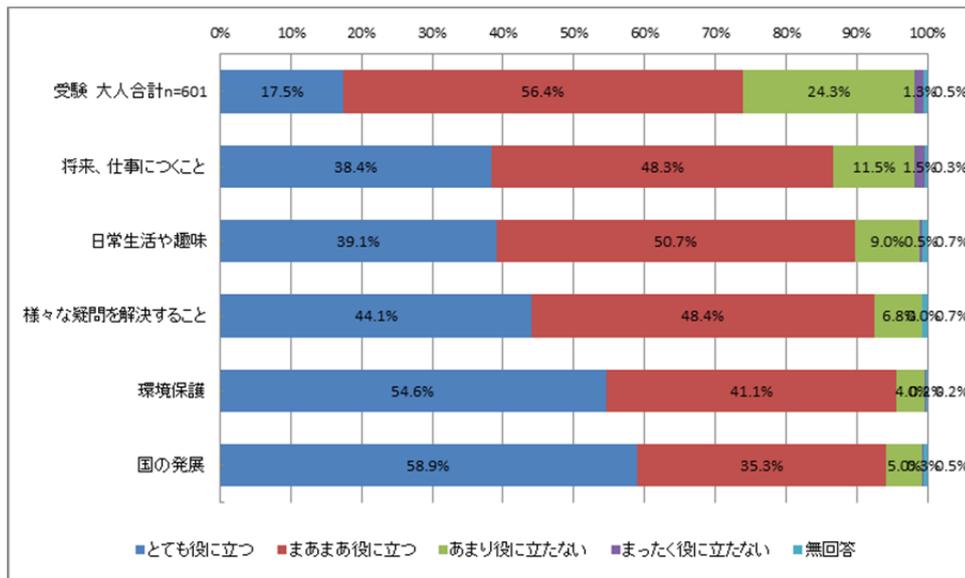
・考察

全体として 80%以上の方が「科学技術は好きである」と答えているが、アンケート回収場所が科学館である以上、この数字は妥当であると考えられる。問 a.b.c.とも 70%前後のポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）を得ている中でも、「問・学校で勉強する理科以外にも科学技術について学ぶ必要がある」を 90%以上の方がポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）をしていることがわかる。これは Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」の回答がポジティブでもネガティブでも、生活する上での科学技術の必要性を、身をもって強く感じている男女が多いことを物語っている。

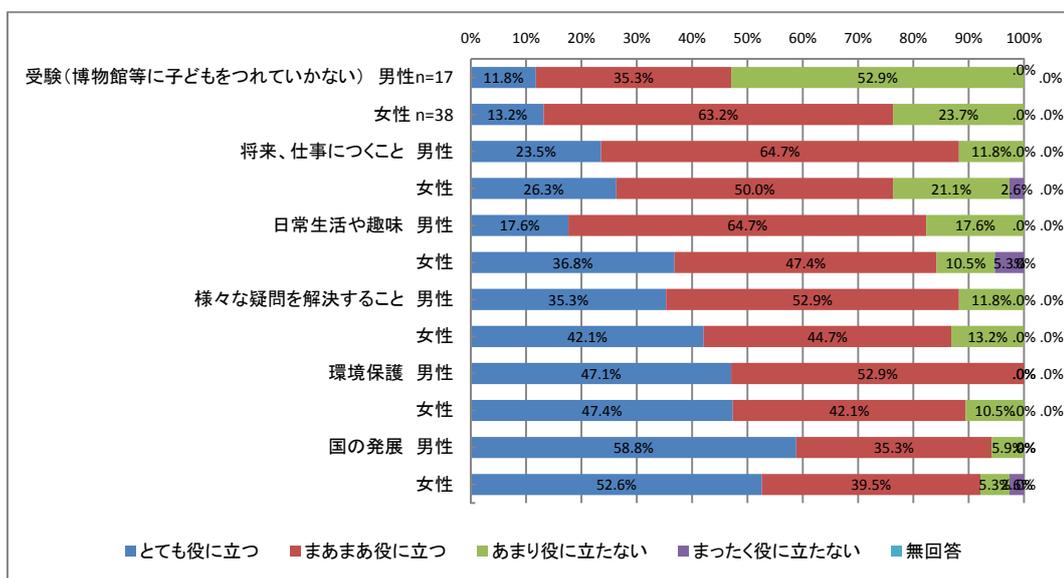
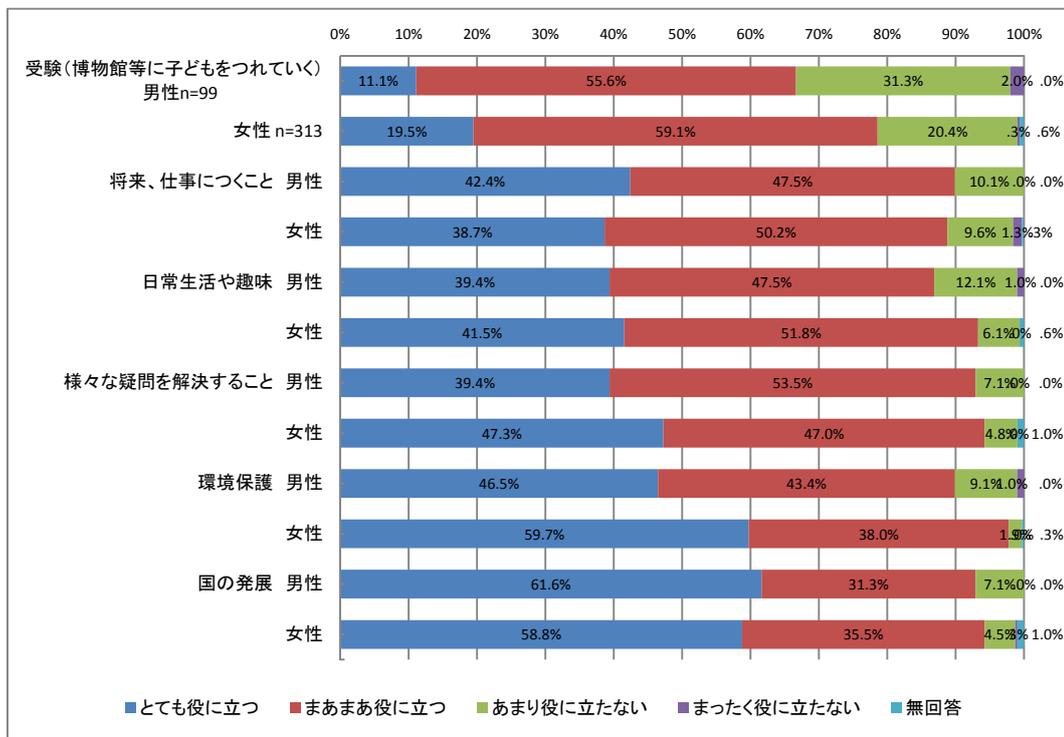
ただ「科学技術について学ぶことは学校の理科の勉強をするうえで役立った」の回答については、Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）をした女性は、50%近くがネガティブ回答（あまり・まったく役に立たない・無回答）と、マイナスな回答をしている。

Q1-3 現在の考えをお聞きます。科学技術を勉強することは、次のことに対してどれくらい役に立つと思っていますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とても役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役に立たない	まったく役に立たない
a. 受験	1	2	3	4
b. 将来、仕事につくこと	1	2	3	4
c. 日常生活や趣味	1	2	3	4
d. 様々な疑問を解決すること	1	2	3	4
e. 環境保護	1	2	3	4
f. 国の発展	1	2	3	4



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたとうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



・考察

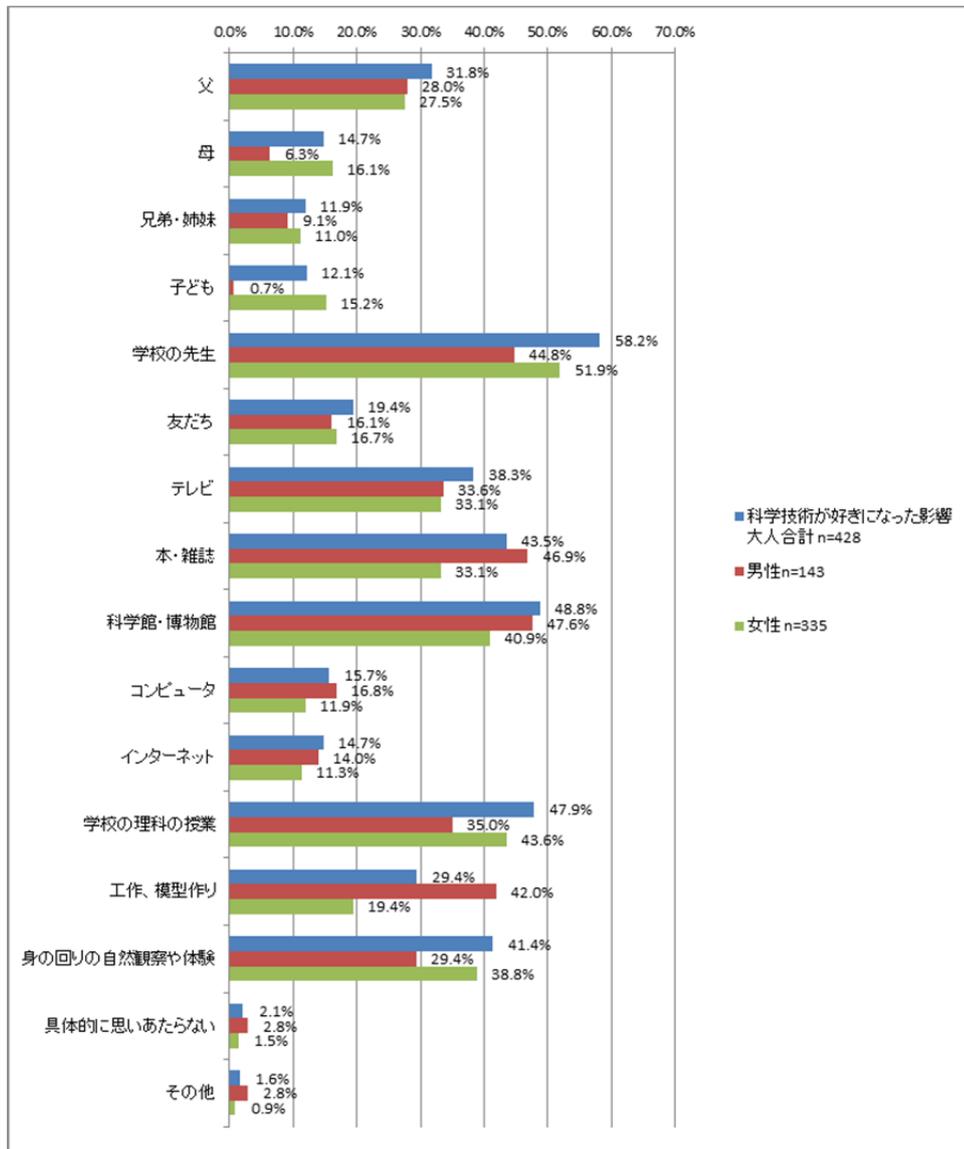
「科学技術を勉強することは『a.受験』に役立つ」と考えているのは、男性よりも女性の数値が 10%ほど高いが、その他の回答数値に男女差はほとんどない。

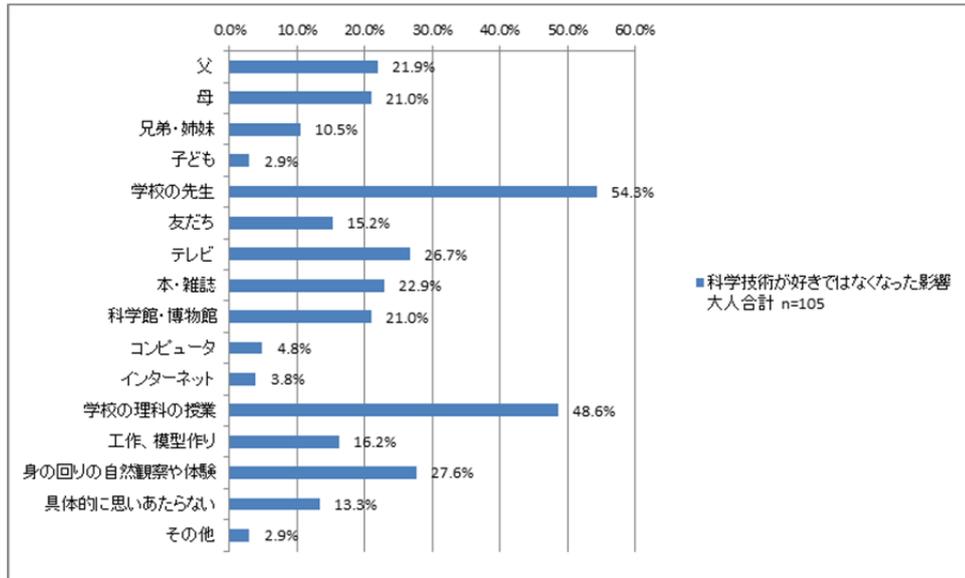
Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」とポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）した方とネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した方の比較で、「問・将来、仕事につくこと」に関しては、ポジティブ回答した男性は 42.4%がとても役に立つと回答し、ネガティブ回答をしてした男性は 23.5%が役に立つ答え、と数値が低くなっている。

「科学技術を勉強することが受験に役立つ」とポジティブに考える人は全体の 73.9%と少し控えめですが、仕事や日常生活、環境問題や国の発展など、勉強というよりは生活に関連することに科学技術は役立つと、約 80%前後の人が考えていることがわかる。

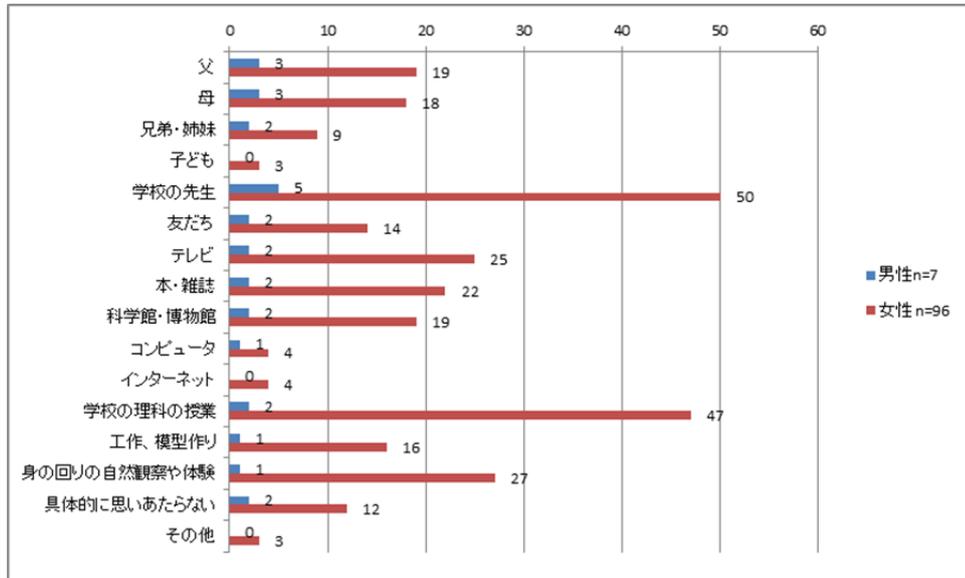
Q1-4 あなたが科学技術を好きだったり、好きではなかったりするの、どのような影響が大きかったと思いますか。
大きく影響されたと思う番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|-----------|------------------|--------|
| 1 父 | 6 友だち | 11 インターネット | 16 その他 |
| 2 母 | 7 テレビ | 12 学校の理科の授業 | |
| 3 兄弟・姉妹 | 8 本・雑誌 | 13 工作、模型作り | |
| 4 子ども | 9 科学館・博物館 | 14 身の回りの自然の観察や体験 | |
| 5 学校の先生 | 10 コンピュータ | 15 具体的に思い当たらない | |

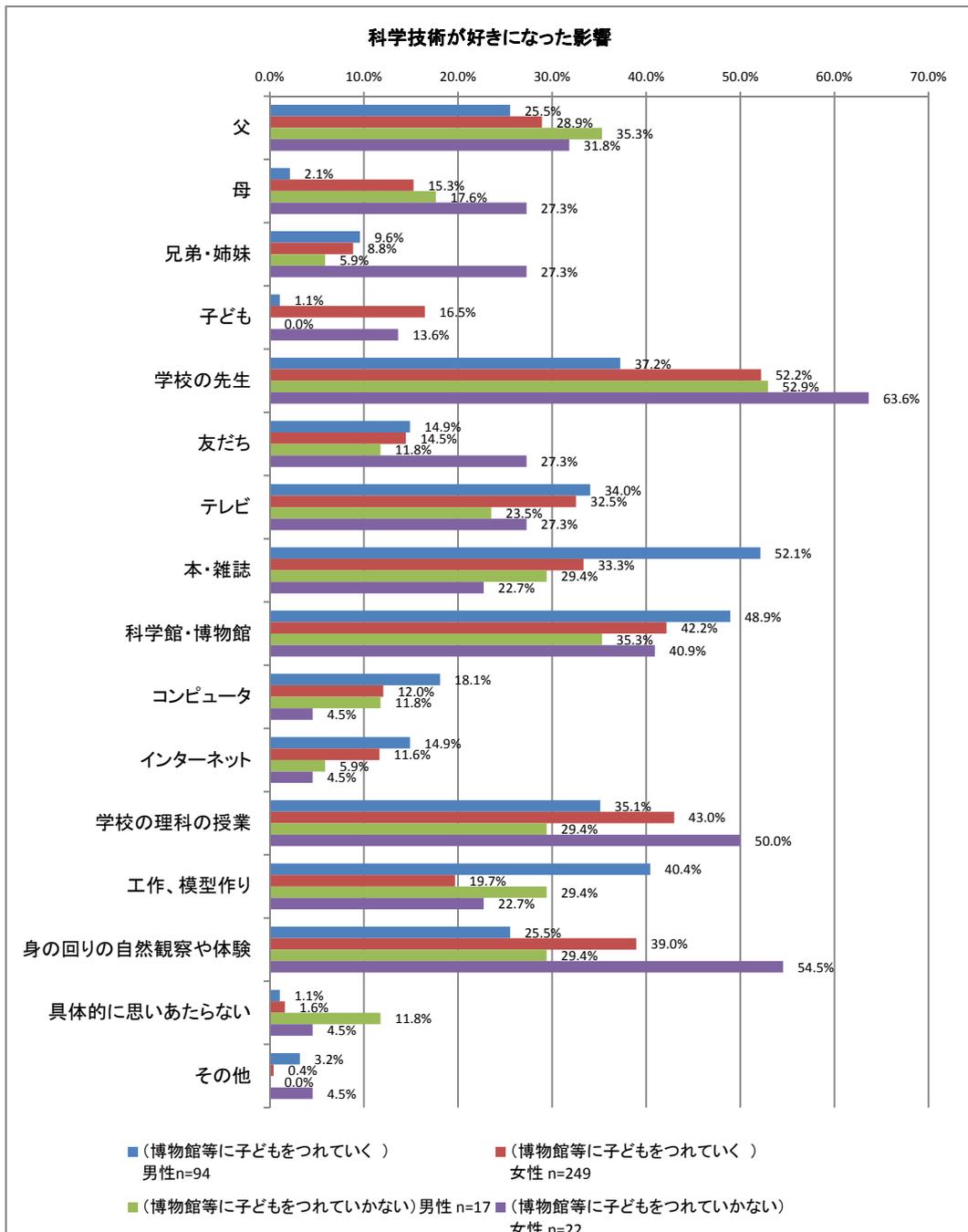


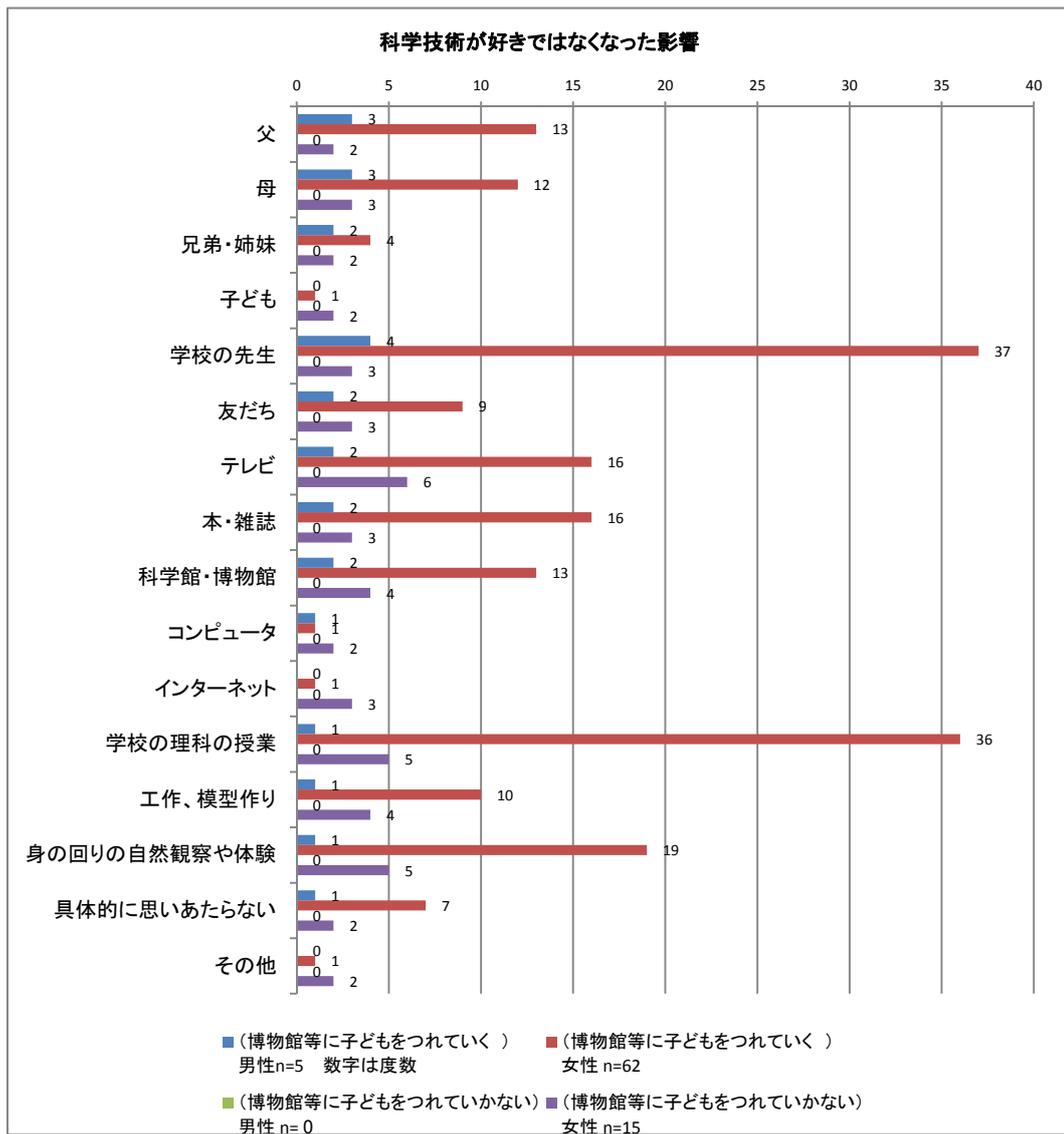


科学技術が好きではなくなった影響 男女別 度数



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較





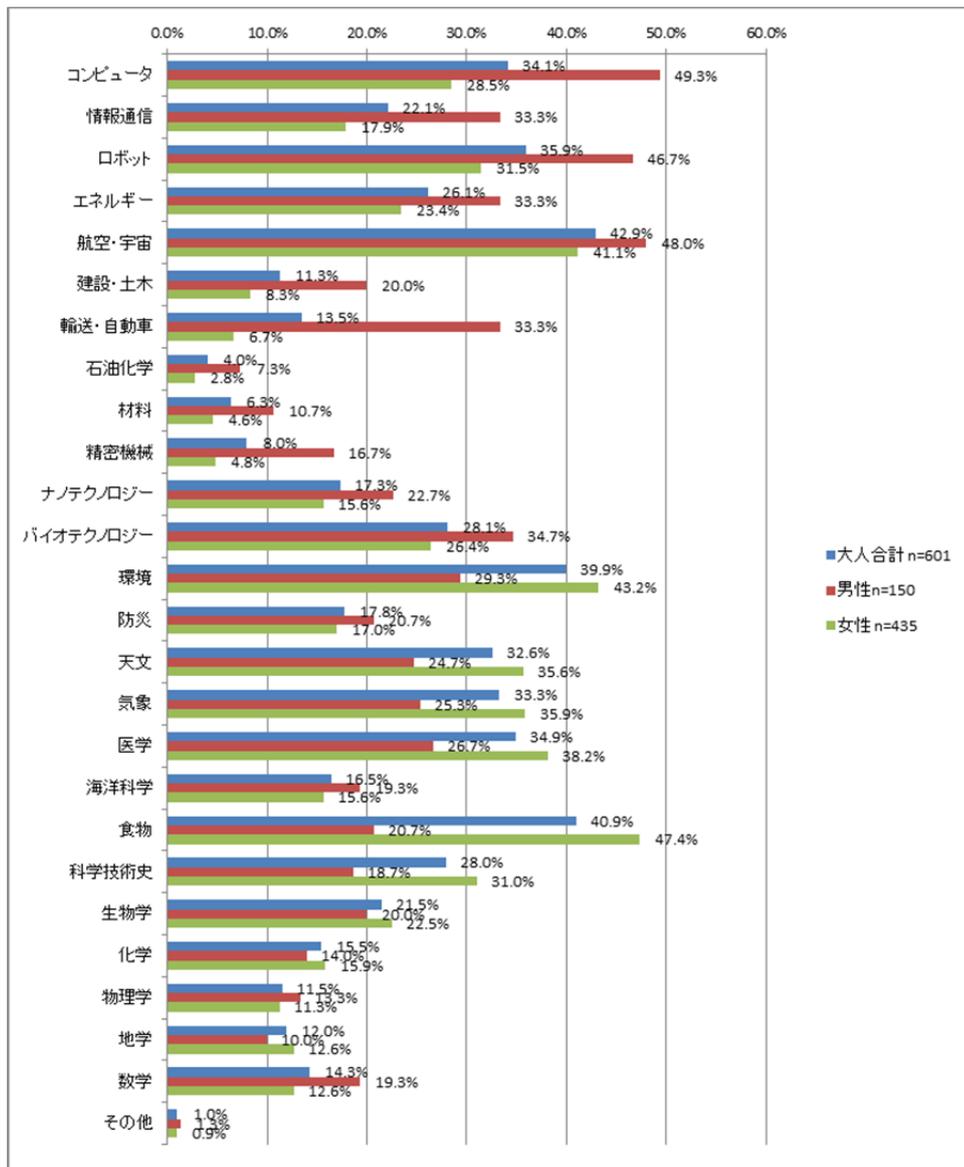
・考察

科学技術を好きになった影響は、①学校の先生、②科学館・博物館、③学校の理科の授業の順に多い。逆に科学技術を好きではなくなった影響も、①学校の先生、②学校の理科の授業と、どちらも「学校」がキーポイントとなっている。

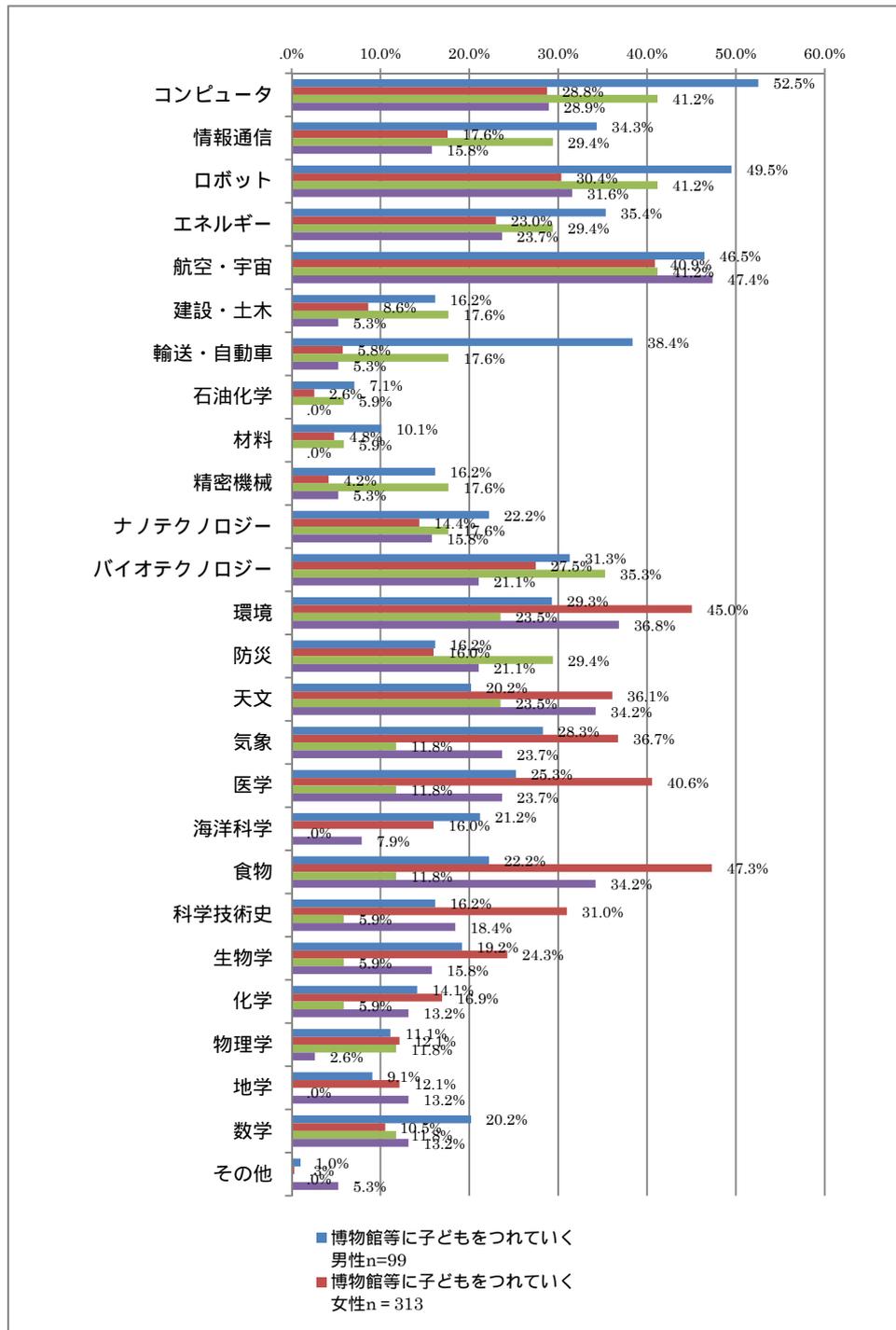
科学技術の「好き・嫌い」を左右するのは、学校・博物館・家族・書籍・インターネットなどの情報源から知る際に、興味を持てるかどうかで、ポジティブとネガティブの回答に分かれている。

Q1-5 あなたの関心のある科学技術分野はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|--------------|---------|----------|--------|
| 1 コンピュータ | 7 輸送・自動車 | 13 環境 | 19 食物 | 25 数学 |
| 2 情報通信 | 8 石油化学 | 14 防災 | 20 動物・植物 | 26 その他 |
| 3 ロボット | 9 材料 | 15 天文 | 21 生物学 | |
| 4 エネルギー | 10 精密機械 | 16 気象 | 22 化学 | |
| 5 航空・宇宙 | 11 ナノテクノロジー | 17 医学 | 23 物理学 | |
| 6 建設・土木 | 12 バイオテクノロジー | 18 海洋科学 | 24 地学 | |



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



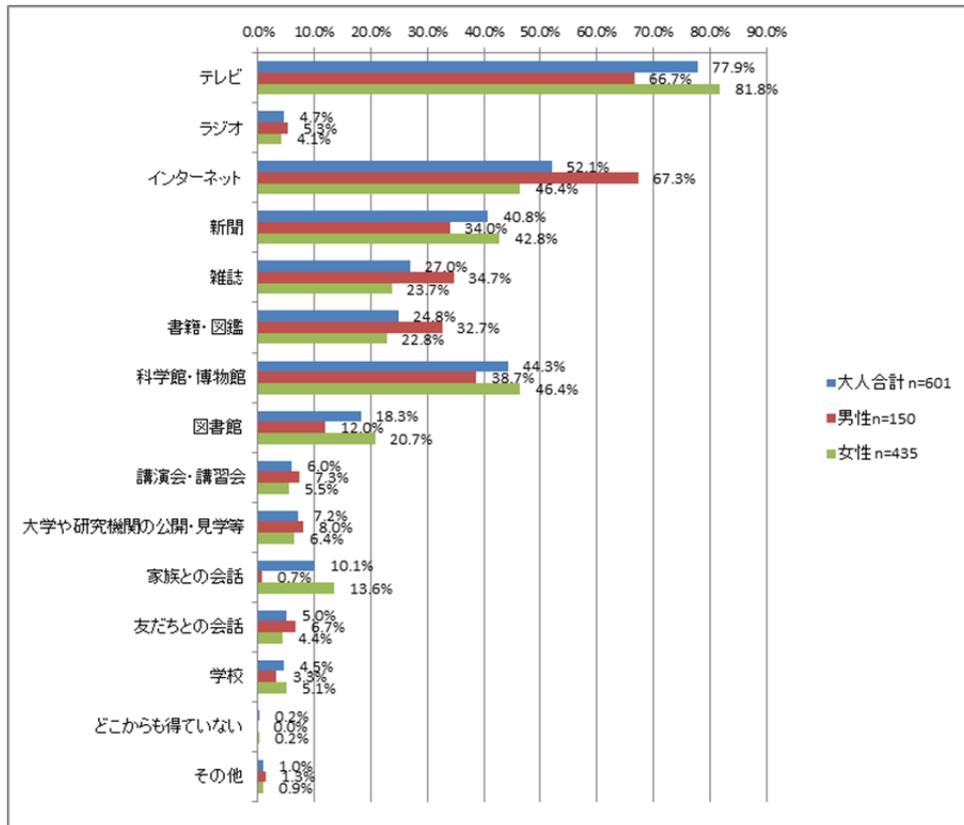
・考察

男性は、①コンピュータ、②航空・宇宙、③ロボットの順で、コンピュータとロボットの人気は毎年不動である。女性は①食物、②環境、③宇宙と多少興味が変動してきている。今回女性が宇宙に興味を示したのは、山崎直子宇宙飛行士の影響があると考えられる。しかし、依然として関心のある分野は、男女に明らかな違いが現われている。

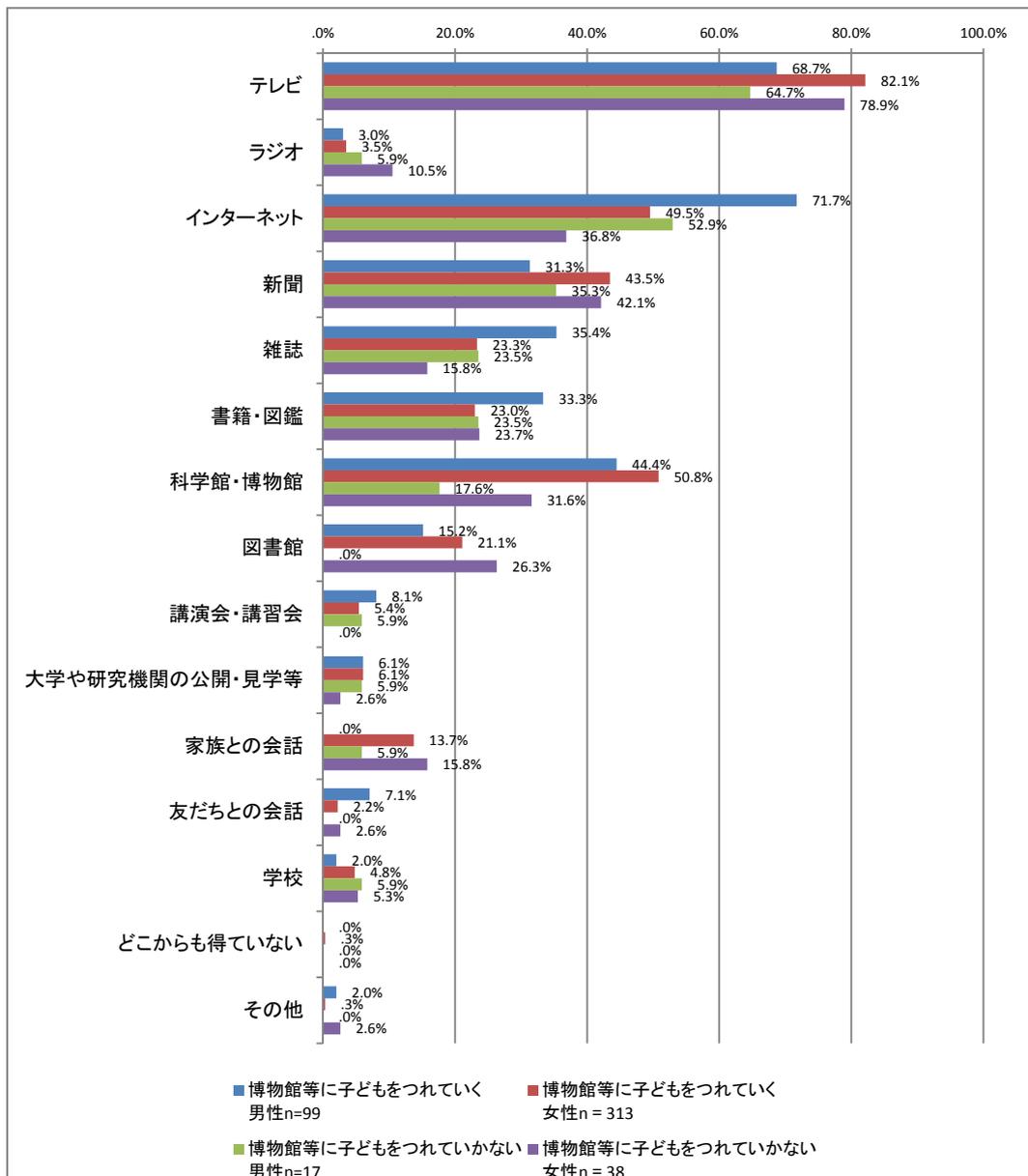
何故か防災に関しては、Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した方が、男女ともポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）の方より若干数値が上がっている。

Q1-6 あなたは、ふだん科学技術に関する情報をどこから得ていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|----|--------------------|----|------------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌 | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍・図鑑 | 10 | 大学や研究機関の公開・見学イベント等 | 14 | どこからも得ていない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞 | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えただうえ、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



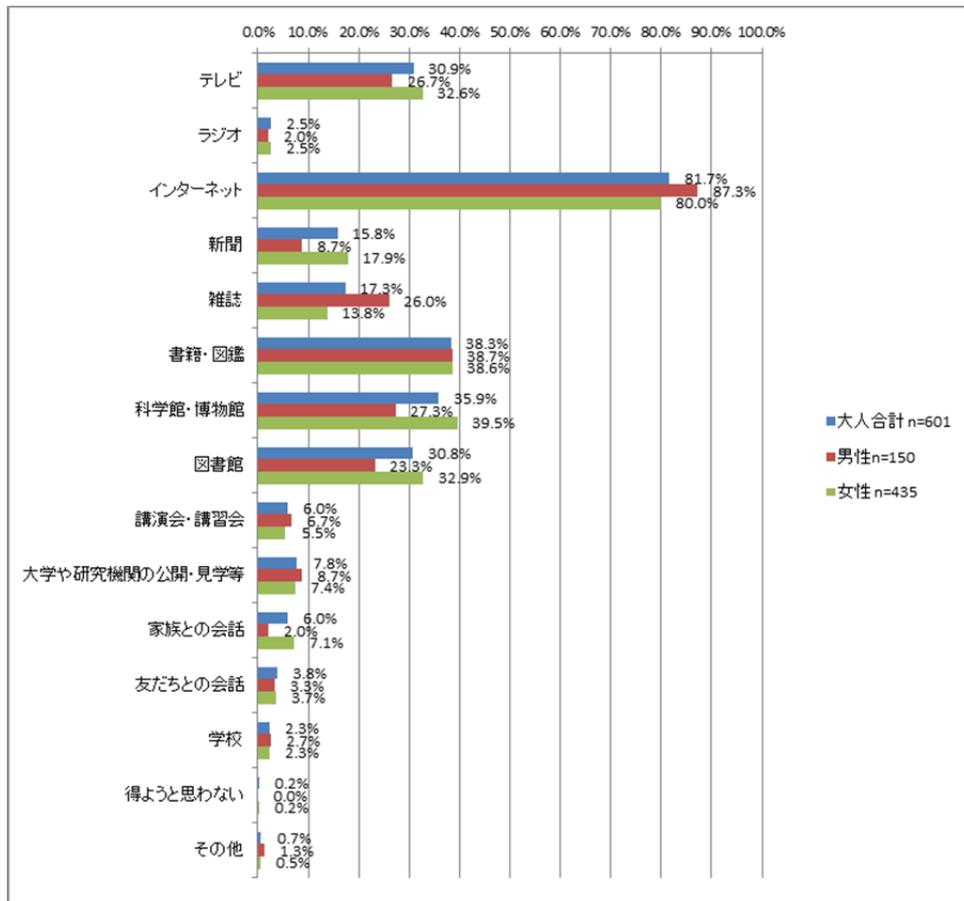
・考察

全体として、①テレビ、②インターネット、③科学館・博物館、④新聞から情報を得ている方が多いが、男性はインターネットがトップ、女性はテレビがトップと、情報を得る先に男女差がある。

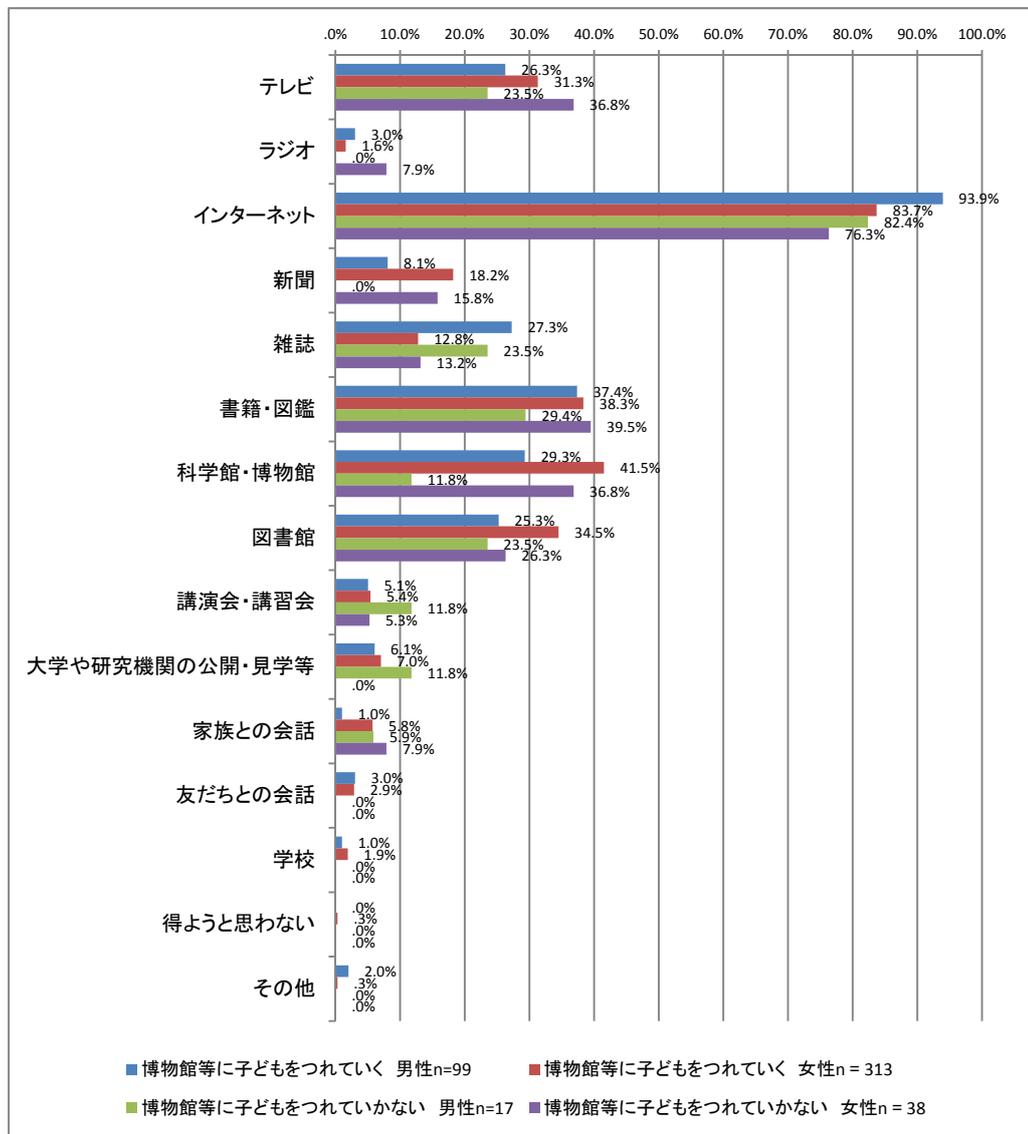
また、Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した方が男女とも、ポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）の方より、学校やラジオを情報源と考えているようだ。（少数ではあるが……）

Q1-7 あなたは、科学技術に関する情報を知りたいとき、具体的にどのような手段で調べようと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|----|--------------------|----|----------|
| 1 | テレビ | 5 | 雑誌 | 9 | 講演会・講習会 | 13 | 学校 |
| 2 | ラジオ | 6 | 書籍・図鑑 | 10 | 大学や研究機関の公開・見学イベント等 | 14 | 得ようと思わない |
| 3 | インターネット | 7 | 科学館・博物館 | 11 | 家族との会話 | 15 | その他 |
| 4 | 新聞 | 8 | 図書館 | 12 | 友だちとの会話 | | |



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



・考察

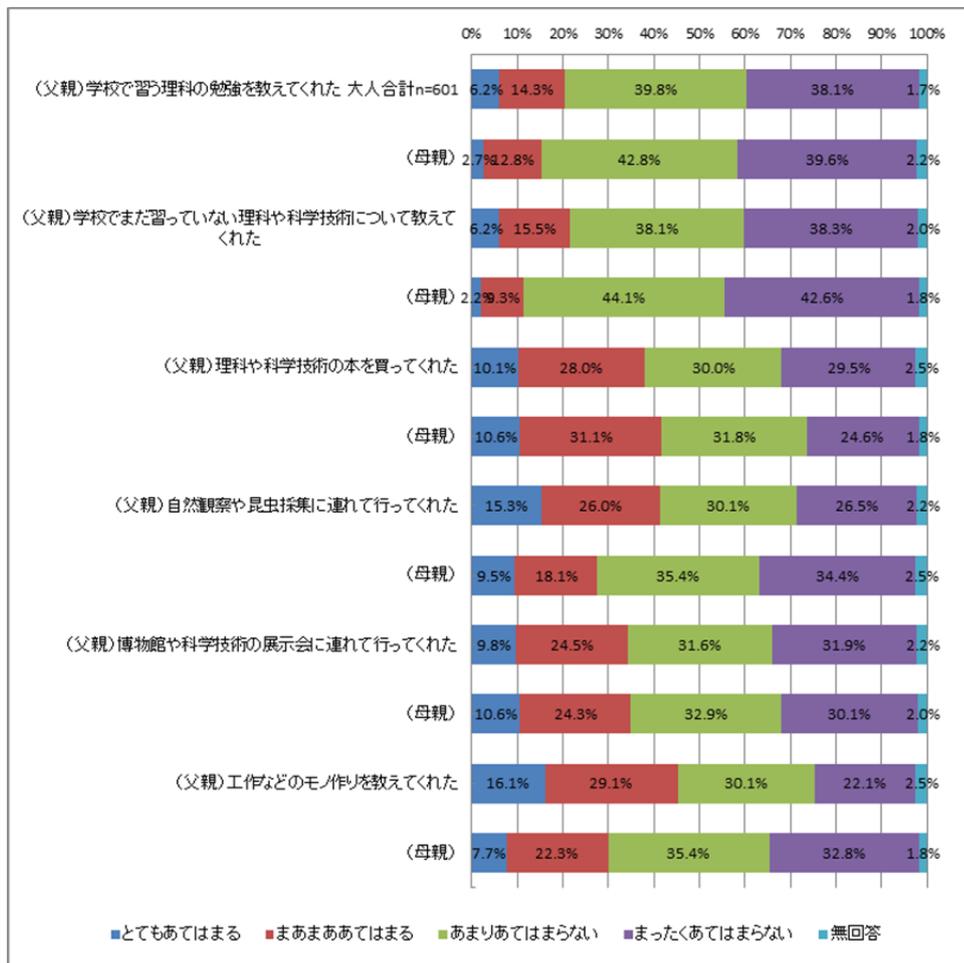
インターネット環境の発達により、全体的に 80%以上の方が、調べもの手段としてインターネットをあげている。男性は①インターネット、②書籍・図鑑、③科学館・博物館の順、女性は①インターネット、②科学館・博物館、③書籍・図鑑と、性別によって順位が入れ替わっている。かつての情報源である新聞は、発達したインターネットの検索機能におされ、調べもの手段としては全体の15%と低迷している。ただ、インターネット上の情報はすべてが正しいとは限らないため、同じテーマで複数件の検索をしたり、書籍などの情報と照らし合わせる必要がある。

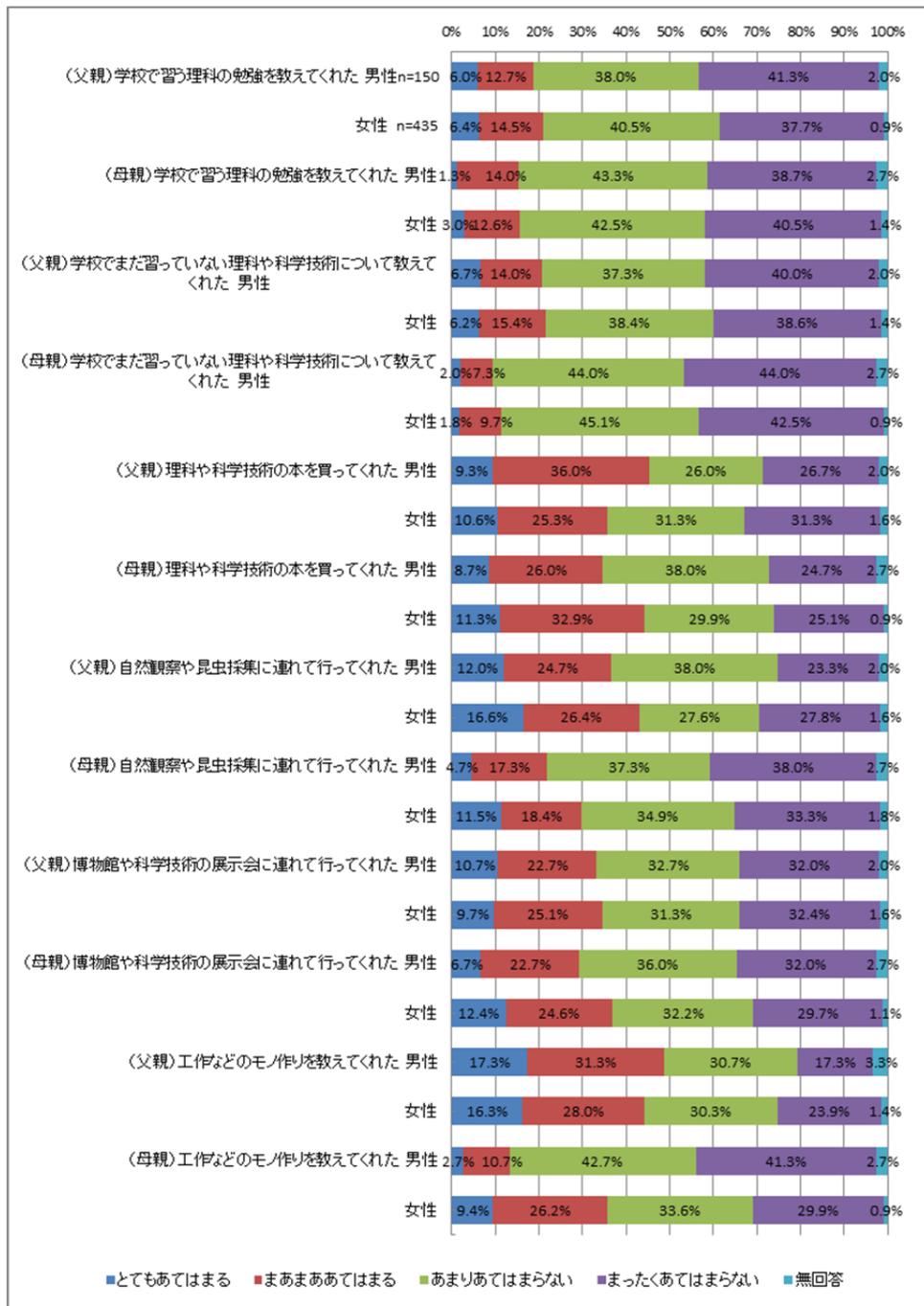
Q1-8 次のことからは、あなた自身にどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけください。

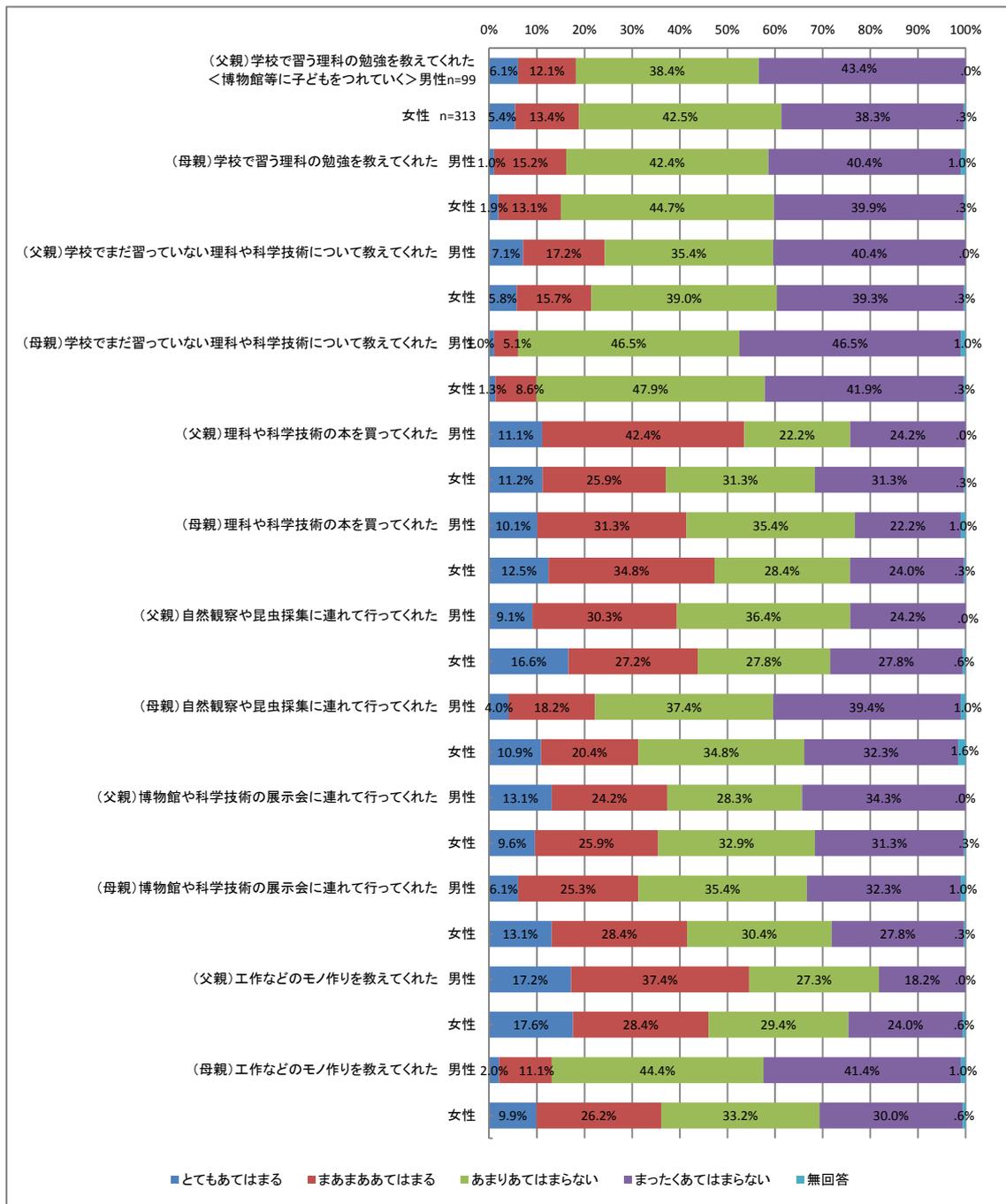
とてもあてはまる まあまああてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

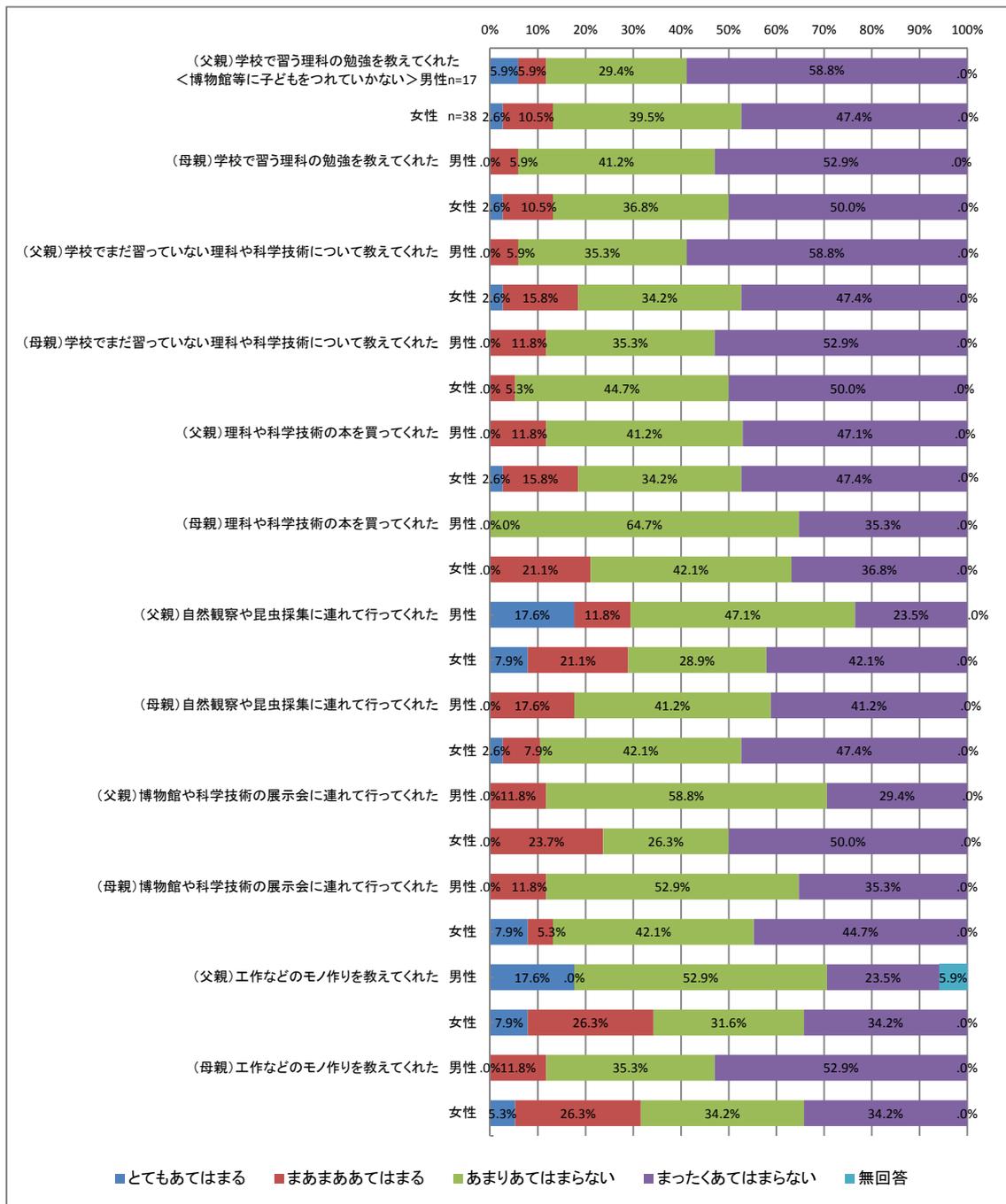
- a. 父親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれた
- b. 父親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた
- c. 父親は、理科や科学技術の本を買ってくれた
- d. 父親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれた
- e. 父親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれた
- f. 父親は、工作などのモノ作りを教えてくれた
- g. 母親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれた
- h. 母親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた
- i. 母親は、理科や科学技術の本を買ってくれた
- j. 母親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれた
- k. 母親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれた
- l. 母親は、工作などのモノ作りを教えてくれた

	1	2	3	4
a. 父親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれた	1	2	3	4
b. 父親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた	1	2	3	4
c. 父親は、理科や科学技術の本を買ってくれた	1	2	3	4
d. 父親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれた	1	2	3	4
e. 父親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれた	1	2	3	4
f. 父親は、工作などのモノ作りを教えてくれた	1	2	3	4
g. 母親は、学校で習う理科の勉強を教えてくれた	1	2	3	4
h. 母親は、学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えてくれた	1	2	3	4
i. 母親は、理科や科学技術の本を買ってくれた	1	2	3	4
j. 母親は、自然観察や昆虫採集に連れて行ってくれた	1	2	3	4
k. 母親は、博物館や科学技術の展示会に連れて行ってくれた	1	2	3	4
l. 母親は、工作などのモノ作りを教えてくれた	1	2	3	4









・考察

全体として、ネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）が目立つが、男性は①勉強や科学技術を教えること、②自然観察や昆虫採集、③工作など実技の部分で、女性より少し数値が上がっている。

Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」にポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）をした方が、ネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した方より、「勉強を教える」以外の、本を買い与えたり、観察会や採集に連れて行ったり、作り方を教えることに力を入れていることがわかる。

尚、工作・モノ作りに関しては、Q1-9 (sq1-e) ポジティブ回答もネガティブ回答も、女性が男性より 15%ほどリードして「あてはまる」と答えている。

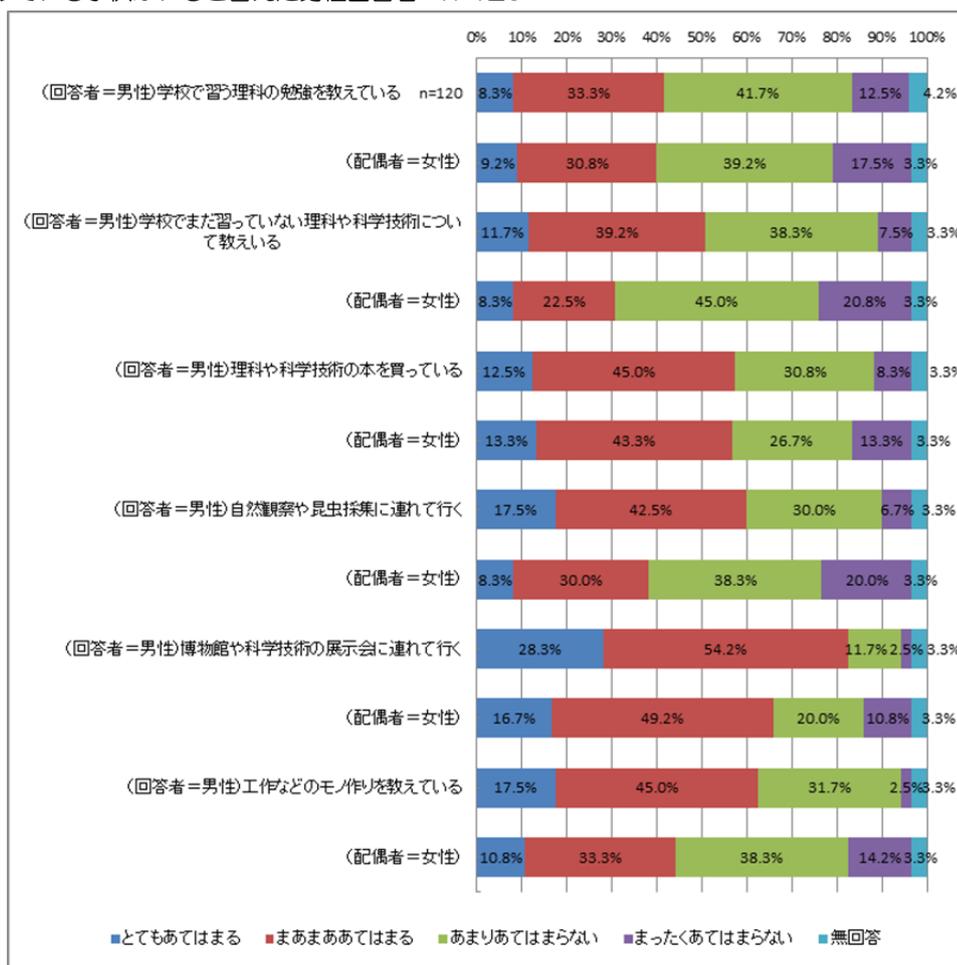
Q1-9 あなたには、現在、学校教育を受けているお子さんがいらっしゃいますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 いる 2 いない

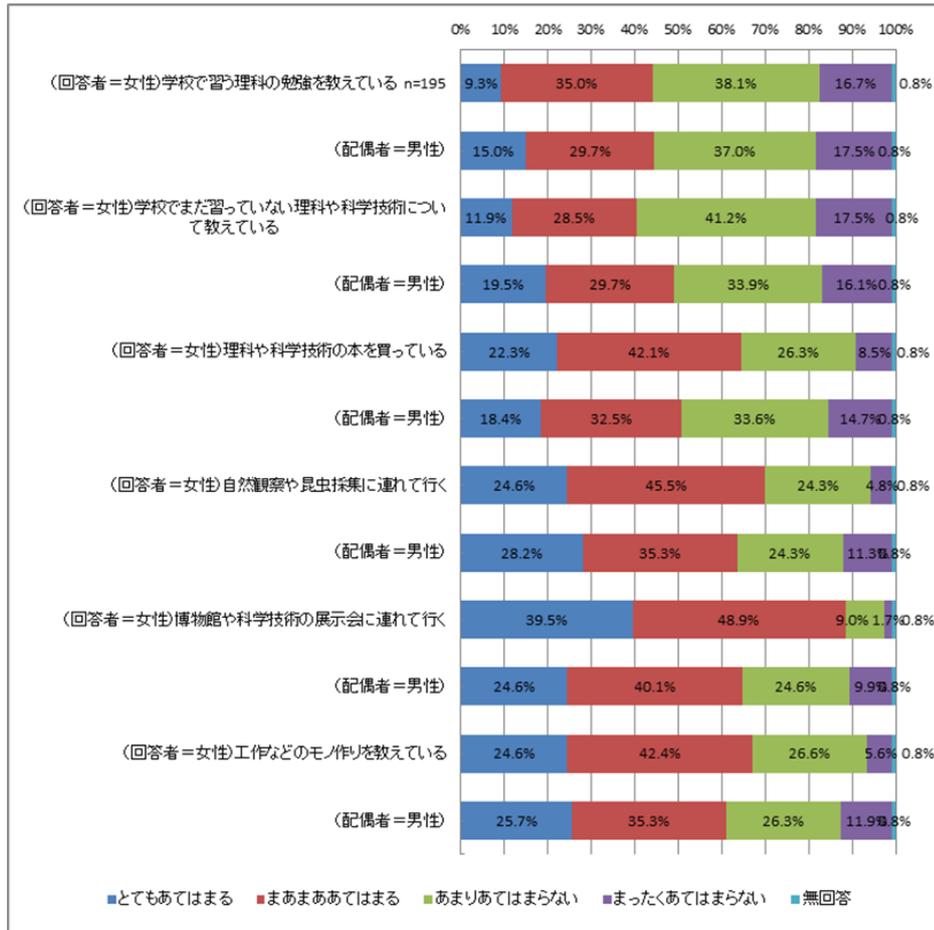
SQ1 Q1-9で「1 いる」と回答した方にお聞きします。理科や科学技術に関して、あなたと配偶者の方は、あなたのお子さんに対してどのようにかかわっていると思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
	1	2	3	4
a. (あなたは) 学校で習う理科の勉強を教えている	1	2	3	4
b. (あなたは) 学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えている	1	2	3	4
c. (あなたは) 理科や科学技術の本を買い与えている	1	2	3	4
d. (あなたは) 自然観察や昆虫採集に連れて行っている	1	2	3	4
e. (あなたは) 博物館や科学技術の展示会に連れて行っている	1	2	3	4
f. (あなたは) 工作などモノ作りを教えている	1	2	3	4
g. (あなたの配偶者は) 学校で習う理科の勉強を教えている。	1	2	3	4
h. (あなたの配偶者は) 学校でまだ習っていない理科や科学技術について教えている	1	2	3	4
i. (あなたの配偶者は) 理科や科学技術の本を買い与えている	1	2	3	4
j. (あなたの配偶者は) 自然観察や昆虫採集に連れて行っている	1	2	3	4
k. (あなたの配偶者は) 博物館や科学技術の展示会に連れて行っている	1	2	3	4
l. (あなたの配偶者は) 工作などモノ作りを教えている	1	2	3	4

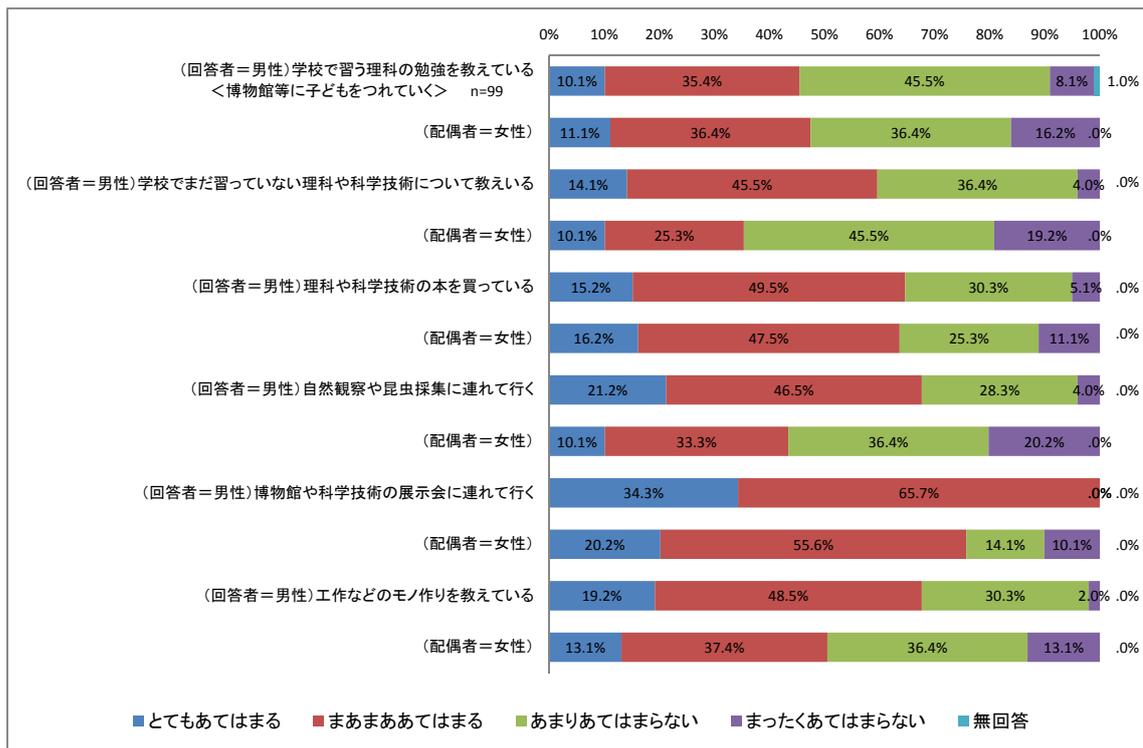
学校教育を受けている子供がいると答えた男性回答者 n=120

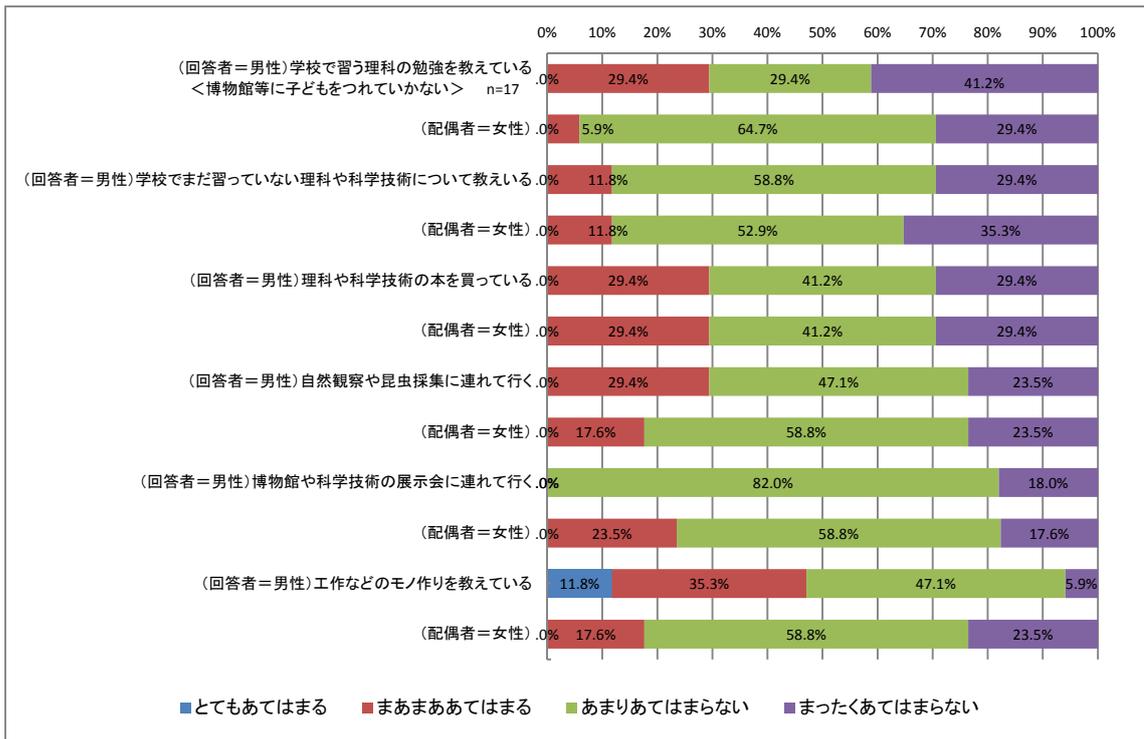
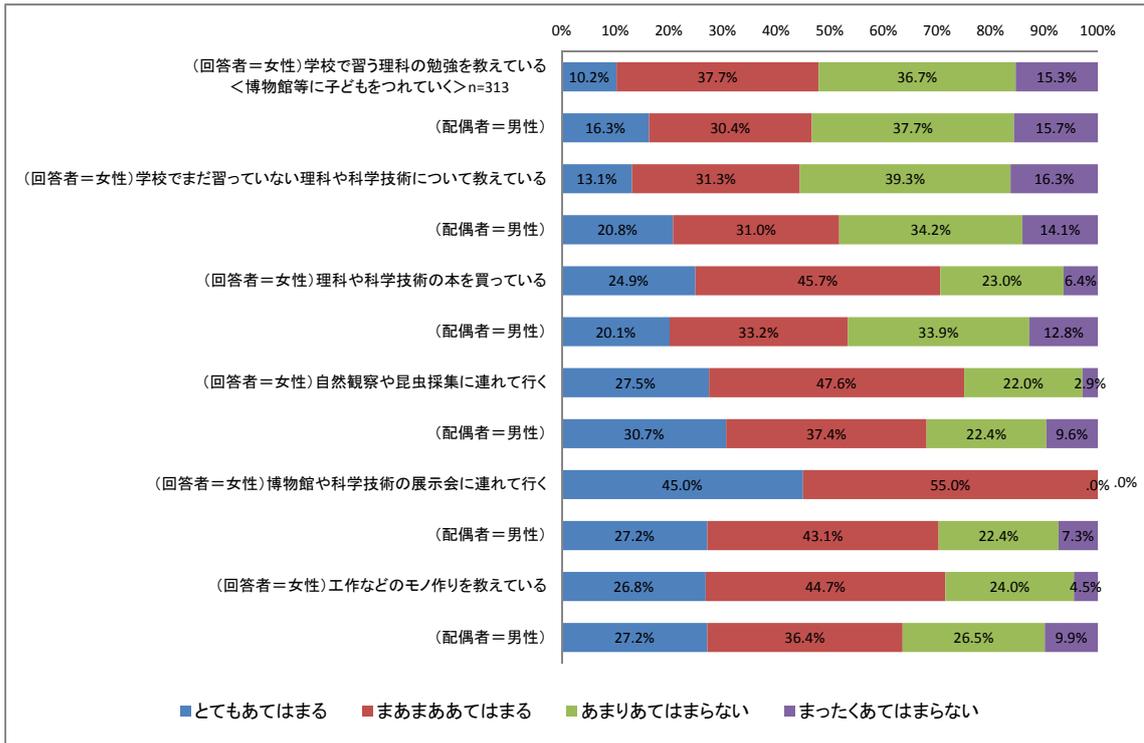


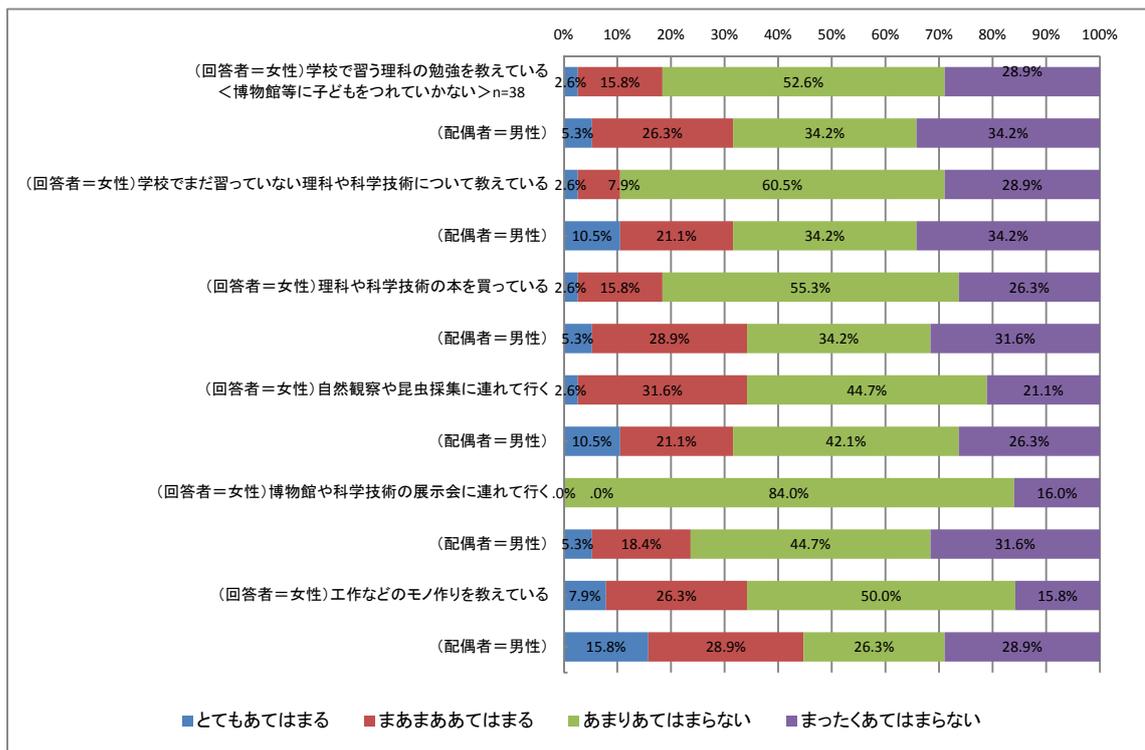
学校教育を受けている子供がいると答えた女性回答者 n=195



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較







・考察

父親は母親より、まだ習っていない理科や科学技術を教え、自然観察や昆虫採集に連れて行き、工作などのモノ作りを教えていると考えている。

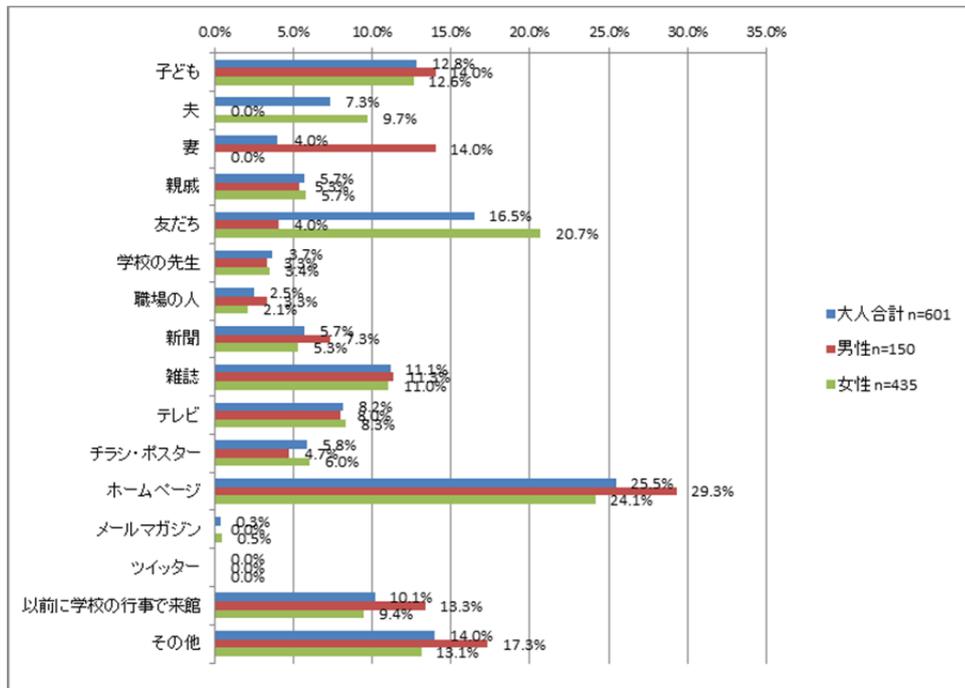
母親は父親より、科学技術の本を買い与え、自然観察や昆虫採集に行き、博物館や科学技術の展示会に連れて行き、工作などのモノ作りを教えていると考えている。

Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」にポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）をした男女が、ネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した男女より、子どもに関わっている度合いが、グラフの色の違いでわかる。（とてもあてはまる・まあまああてはまるの色が多いグラフと、あまりあてはまらない・まったくあてはまらないの色が多いグラフ）

2) 「科学技術館」に来館したきっかけ、展示を体験した印象などについてお聞きます。

Q2-1 あなたは最初に科学技術館をどのように知りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

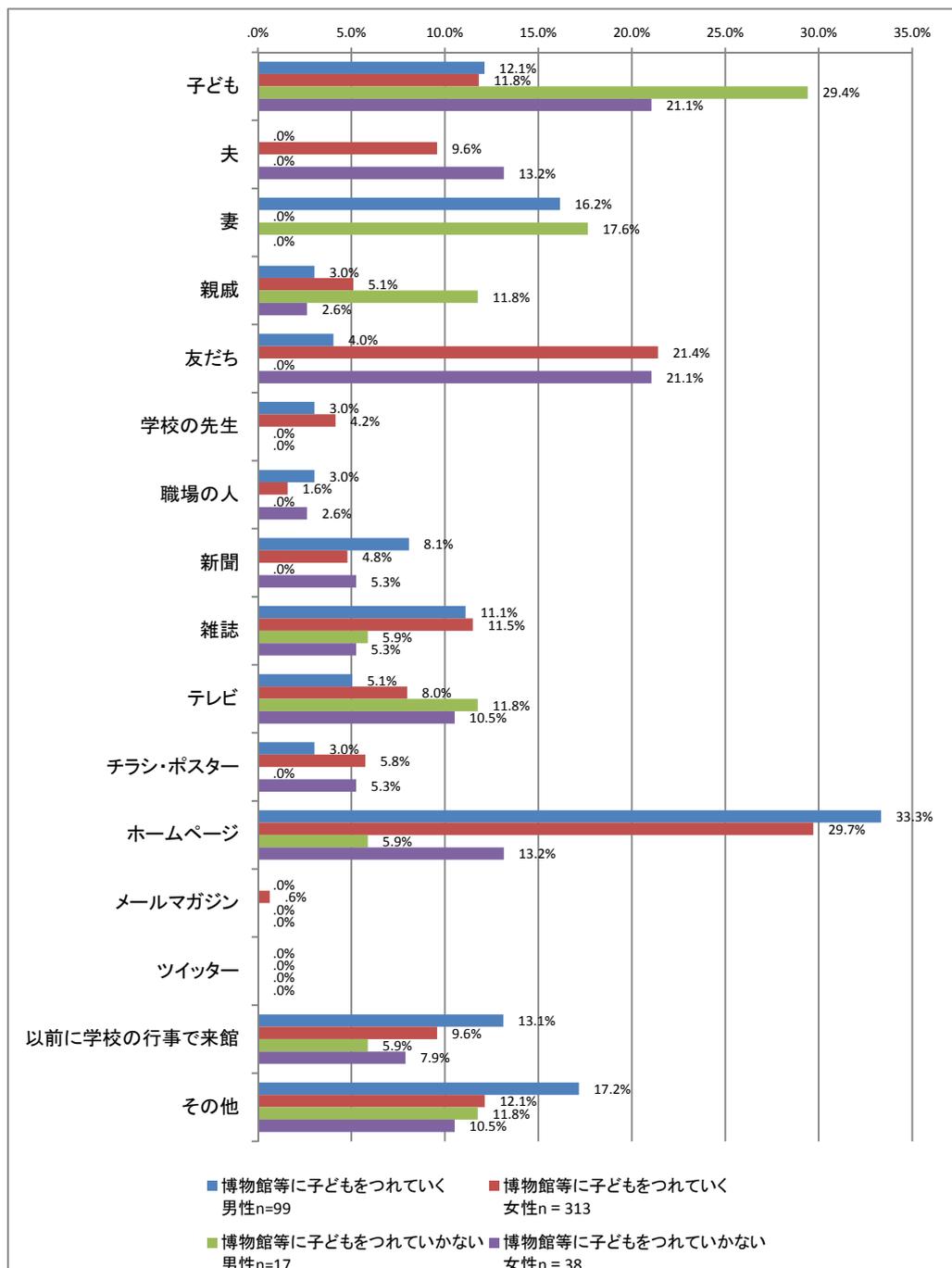
1	子ども	5	友達	9	雑誌	13	メールマガジン
2	夫	6	学校の先生	10	テレビ	14	ツイッター
3	妻	7	職場の人	11	チラシ・ポスター	15	以前に学校の行事で来館
4	親戚	8	新聞	12	ホームページ	16	その他（ ）



★その他

- インターネット (4)
- ぐるっとパス (3)
- ツアー (2)
- 以前に来館した (2)
- 開館時から知っている
- 近くに来た
- 学校が近くだった (2)
- 近所
- 武道館に来たとき (2)
- 仕事 (2)
- 子どもの頃来館した (9)
- 地域の行事 (7)
- 招待券 (2)
- 職場のレクリエーション
- 生協行事
- 昔から
- 知らなかった
- 知り合い
- 地下鉄1日乗車券のパンフレット
- 地図
- 東京博物館一覧
- 法人会の行事
- 忘れた
- 本
- 家族 (12)

 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



・考察

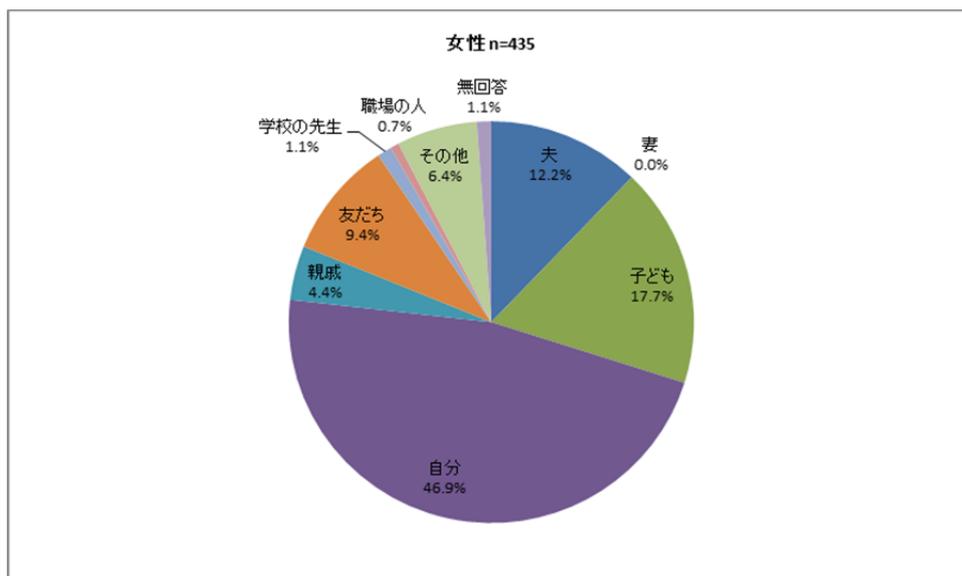
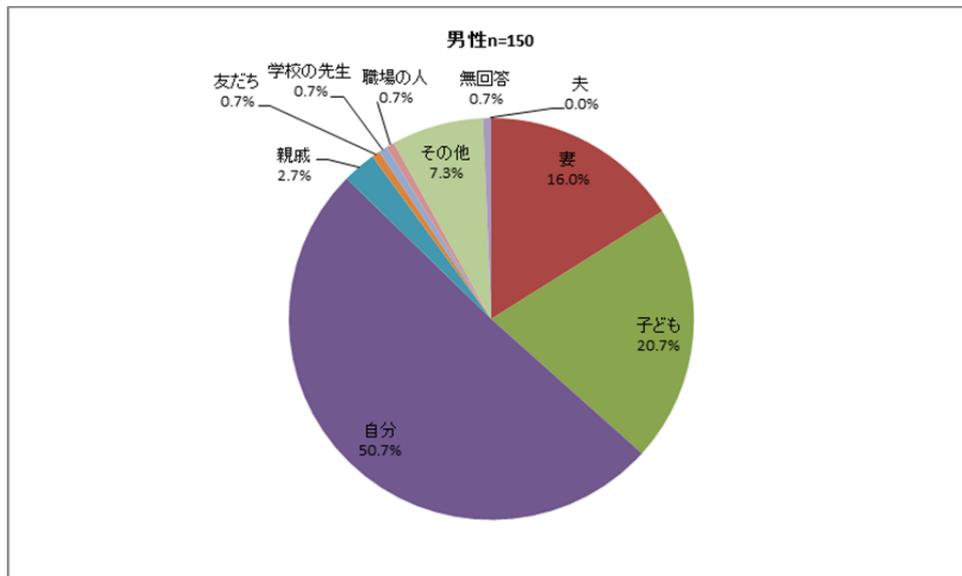
科学技術館を知るきっかけは、男女ともにホームページがトップだが、2番目は男性がその他、女性は友だちと回答が異なっている。その他の部分の多くは、子どもの頃に、家族や学校・地域の行事で連れてこられたことがきっかけとなっているようだ。

また、きっかけが友だちと答えた女性が、男性4%に対して20.7%もいることから、母親同士の口コミ情報も注目株である。

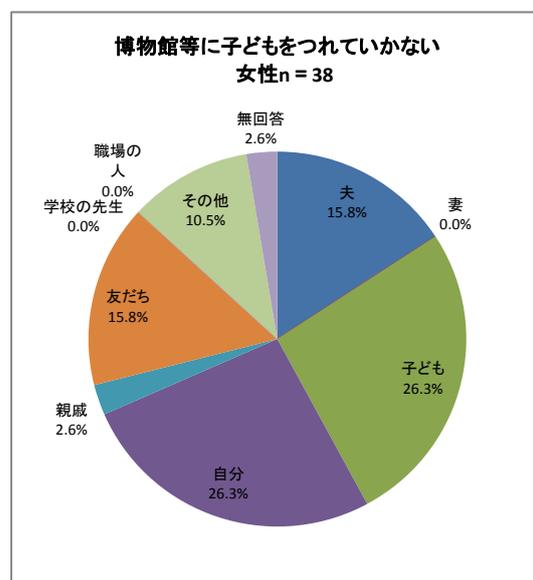
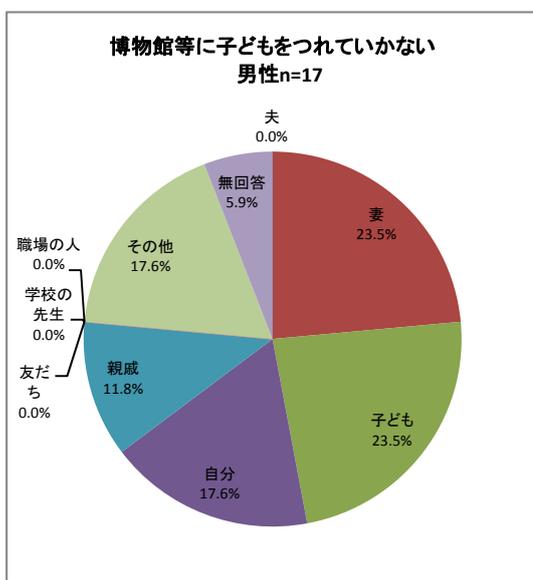
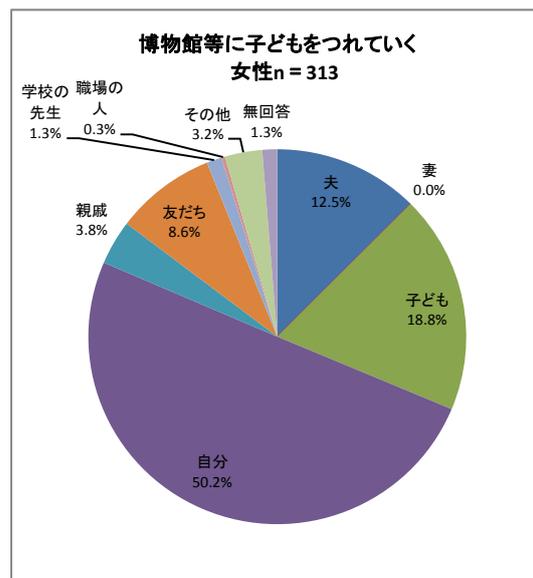
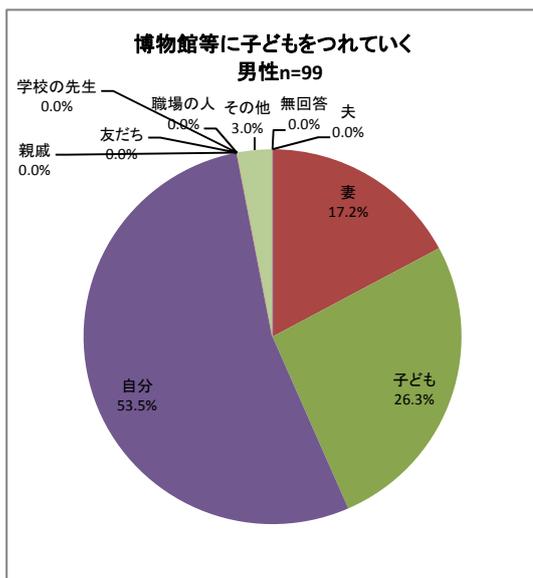
Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」にポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）をした男女は、インターネットから科学技術館を自ら探した形跡があり、ネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した男女は、子どもから何らかのきっかけを得ているようだ。（学校行事などでの入館が引き金か？）

Q2-2 科学技術館に来ることを**最初に言い出したのは**誰でしょうか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。
 自分が言い出した場合は、配偶者から見て夫・妻であっても、「4 自分」に○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-----|---|-----|---|-------|---|-----|
| 1 | 夫 | 3 | 子ども | 5 | 親戚 | 7 | 学校の先生 | 9 | その他 |
| 2 | 妻 | 4 | 自分 | 6 | 友だち | 8 | 職場の人 | | |



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えただうえて、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



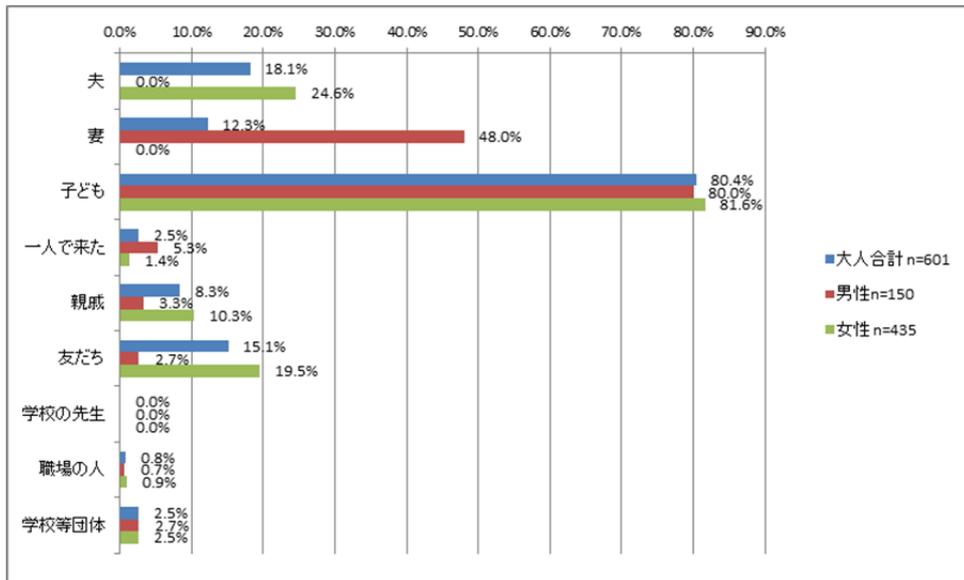
• 考察

全体的には、男女ともに自分が来館を言い出したと答える方が 50%前後。女性の回答に限って注目すると、Q1-9 (sq1-e) のポジティブ回答もネガティブ回答も、10%前後が「友だち」が言い出したところと特徴がある。

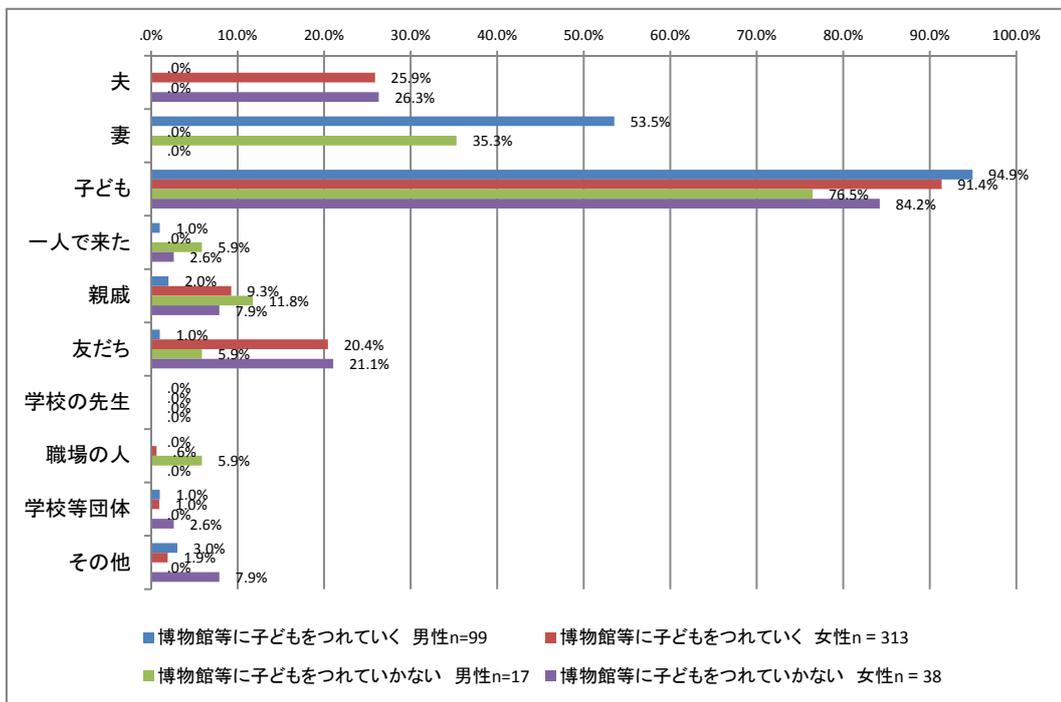
Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」のネガティブ回答者にいたっては、男女ともに身の周りの人からの声をきっかけに来館している方が多い。

Q2-3 あなたは、今日、誰と一緒に来ましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------|---|-----|---|-------|----|-------|
| 1 | 夫 | 3 | 子ども | 5 | 親戚 | 7 | 学校の先生 | 9 | 学校等団体 |
| 2 | 妻 | 4 | 1人で来た | 6 | 友だち | 8 | 職場の人 | 10 | その他 |



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうえて、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38の比較

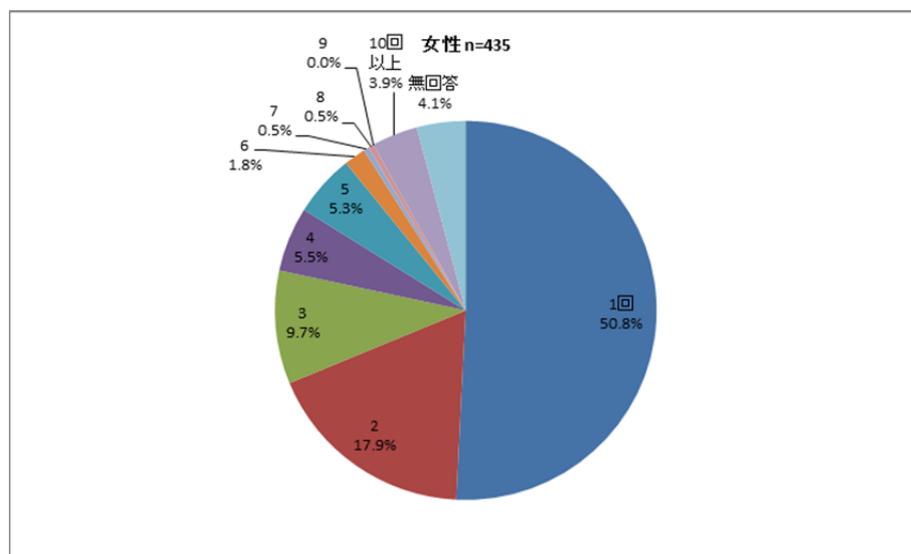
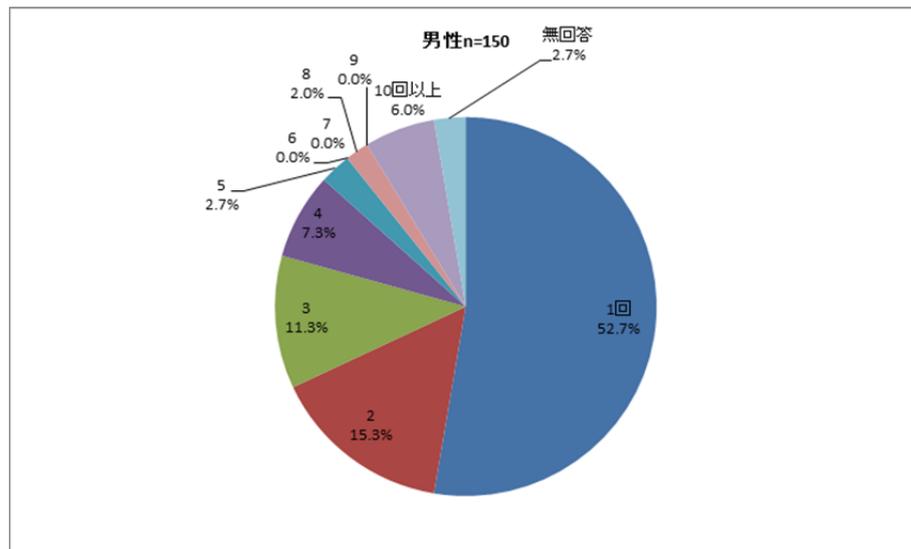
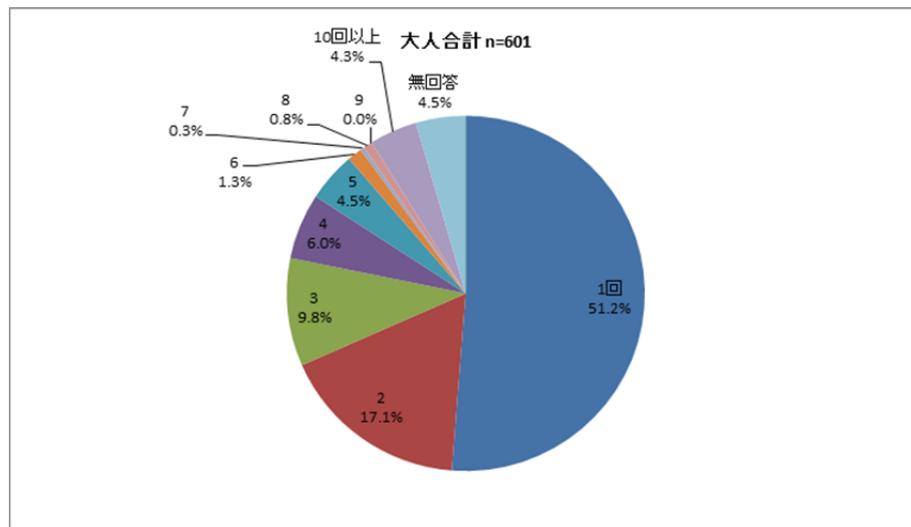


・考察

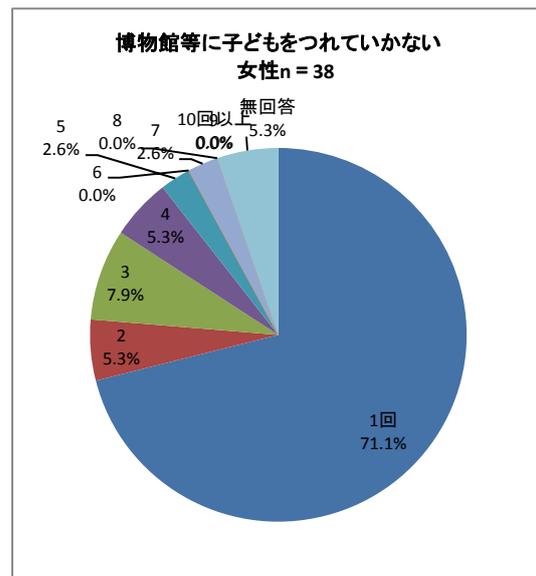
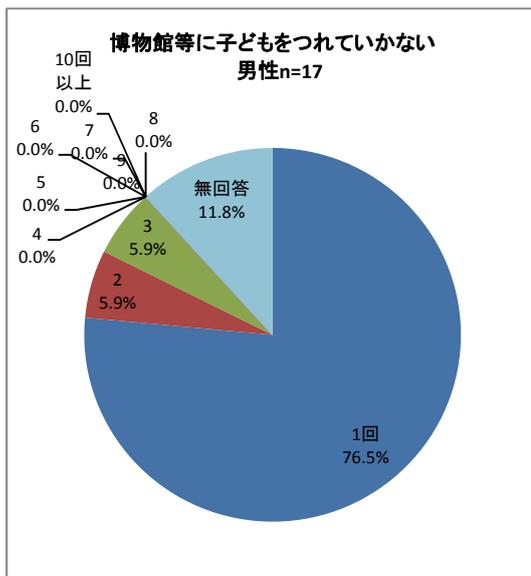
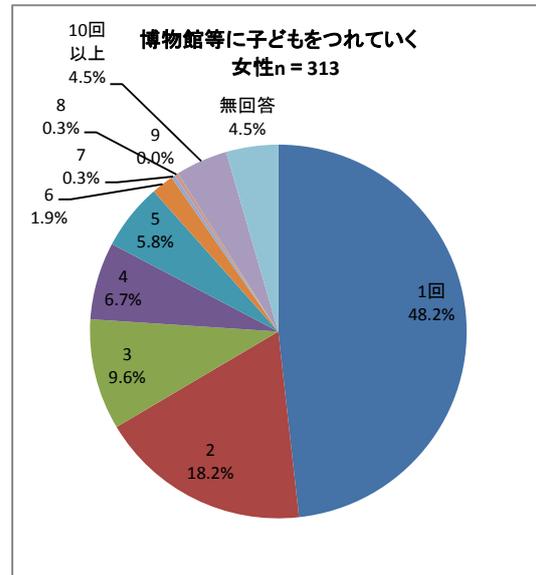
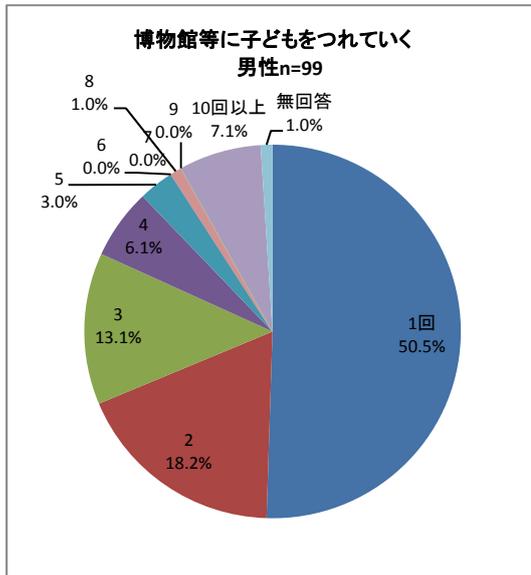
トップは「子ども」80%前後ということで、親子での来館パターンが多い。女性の場合は Q1-9 (sq1-e) のポジティブ回答・ネガティブ回答に関わらず、友だちとの来館が20%前後をしめているところが特徴。

Q2-4 これまで科学技術館に、あなたは何回来たことがありますか。下の口に回数を書いてください。(今回初めて来館した場合は1回としてください。)

回



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



・考察

全体的に、来館回数の比率は昨年と変わらず、1回（初めて）の来館は50%前後。

Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した男女は、1回（初めて）の来館が70%を超えている。

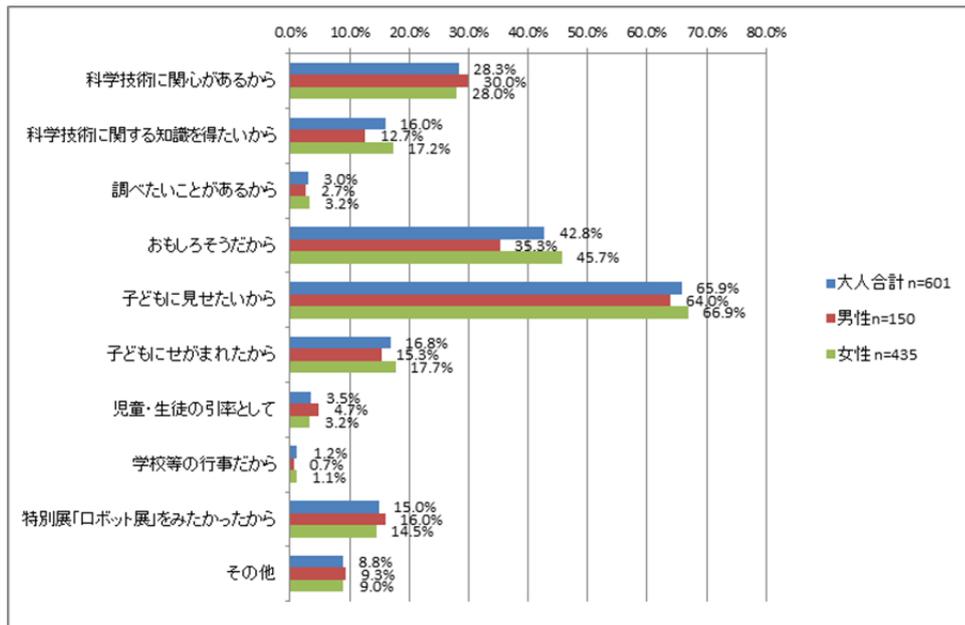
来館していただきやすい工夫、リピーターを増やす仕掛けがもっと必要。

Q2-5 あなたは、今日、どのような目的で科学技術館に来ましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---|------------------|----|--------------------|
| 1 | 科学技術に関心があるから | 6 | 子どもにせがまれたから |
| 2 | 科学技術に関する知識を得たいから | 7 | 児童・生徒の引率として |
| 3 | 具体的に調べたいことがあるから | 8 | 学校等の行事だから |
| 4 | おもしろそうだから | 9 | 特別展「ロボット展」をみたかったから |
| 5 | 子どもにみせたいから | 10 | その他 |

SQ1 Q2-5で「4 おもしろそうだから」を選んだ方にお聞きします。どのようなことについておもしろさを期待していますか。()内にお書きください。

()



★おもしろそうだからの理由

- 5Fの実験等
- TVなどで、科学についておもしろい実験などしていて孫にも体験させたかった
- WSなどの実験を目にすること
- あまり科学のことを知らないから知りたいと思って
- いろいろと体験できるから
- いろいろな体験
- いろいろな体験ができるから。
- いろいろな体験ができるところ。
- いろいろ体験できる
- いろいろ体験できるから
- いろんな体験ができたこと。
- いろんな体験等が出来ること
- シャボン玉の作り方など
- シンラドームでの投影に興味がありました。
- たいけん
- どんなところか知りたいから
- なぜそうなるか説明がいろいろ見学できる。
- なんとなく
- ふだん見られない実験が楽しみ
- まだ子供が小さいので分からなくてもいろいろ体験させたいと思ってきました。
- めずらしいもの、あたらしいものがあるかなと思い。
- ロボット 2
- ロボットがたくさんありそう。
- ロボットなど
- ロボットなどの先端技術
- ロボットについて
- ロボットの企画展
- ロボットの動き方、しくみ
- ロボット工作
- ロボット展 2

ロボット展が楽しみだったので
ロボット展の工作、実験
ワークショップなどの実験
ワークショップを見たかった
わかりやすいかがくにふれる
以前来たとき子供がとても楽しめたから
意味がわからなくても子供が喜ぶかどうか…
宇宙
宇宙・医学・食物、生物、化学、ロボット、動物、植物
何があるのかな？
夏休みの特別展で、いろいろ参加できるから
科学がどれ位生活に密着しているか
科学に興味を持ってそう
科学の「おもしろさ」に子どもがふれられれば、と思った
科学の実験を目の前でみせてもらえる
科学の色々な実験をみれることが
科学をみじかに感じる
科学を子どもが楽しく体験できるおもしろさ
科学技術のしぐみを学べる
科学技術の進歩でどの様に生活等が変わるのか等
科学技術を体験できること
科学全体について
学校の実験より楽しくて、わかりやすい
学校的でない科学に出会いたいから
環境エネルギーや宇宙について
技術等を体感できる点
具体的に見て触れられること
具体的に生活に関わる科学技術を見たいと思ったから
最近きていなかったのどう変わったか、みたかった。
最新テクノロジー
最新の科学技術について知ること
最新の科学技術に興味がある。
最新の技術と興味のもてる展示があること
最新ロボットを子供に見てほしい
最先端ロボットに興味があった
子どもがアソベそうだから
子どもがワクワクする実験
子どもが実験etc、大好きだから
子供が科学に興味を持つきっかけにしてほしい
子供が実験を通して理科に興味をもつきっかけになってくれたらいいと思った。5Fの低体温実験は楽しかった。
子供が体験しながら、学ばせられるから
子供が理科（特に実験）が好きだから
子供でも、体感できると聞いたから
子供と一緒に車のしぐみを知ることができる
子供に理科を楽しんで学ぶきっかけになったらよいと思った。おもしろく学べたらよいと思う。
子供自身が体験しながら楽しめそうだから
時代と共に進歩している科学技術をもてみたいのと昔（昭和30年代）自分が子供のころのなつかしさと今との比較
自宅では出来ない体験・実験などが経験出来る。
自分が今迄見た事が無い物
自分が知らないことを見てみたかったから
自分では子どもに教えられない科学実験があったので
自分で物を動かせる、体験出来る
自分の育った時代と異った（進歩した）現在の科学水準を知る事を期待して
自分の知らないことならなんでも
自分の知らない実験を目の前でみせてくれそうだから 大人になって実験なんて見てないので
自分も勉強になるので
実験 8
実験、3-D映像
実験コーナー（ワークショップ）
実験などの実演があったので
実験などを見る事ができ、工作もつくれるので。
実験や実演が多いので理解しやすい。
実験や体験する事
実験を見たり体験できる
実験を見学する
実験教室に興味を持った

実験等

実際にさわれる、体験できる（ただみるだけではない）

実際にやってみれるところ

実際に体験しながら勉強できそう

実際に体験できるのか。

実体験できる。

車など身近な展示物から興味をもってもらえるから。

少しでも生活の中で使用されている科学技術について知ることができたらと思い

色々なことを体験できる

色々なものにさわれる。

色々な事を体験させてあげられるから

色々な実験が体験できる（家ではできない事）

色々な体験ができると思って

色々な体験が出来る

色々な発見から理科に興味をもって欲しい

新しい発見を見てみたい

身近かに、やっている事が、実は、大きい？事になっているから。

身近な生活や科学の関係

身近に感じる科学を、体感できるのではないかと期待。

昔父が物理科学の教員だったのでその時の実験の手伝いを思い出したくて

設備や実験

操作して

体を動かすもの、実験など、おどろく様な事について

体感できる内容が多そう

体験、実験、ワークショップ

体験・実験等（レーザークラフト、液体ちっ素、しゃぼん玉）

体験ができること

体験できること。

体験できるところ

体験できるところ

体験や、実験の見学

体験や実験があるから。

体験を通して、仕組みついて理解を深めてもらいたい

体験を通じて科学技術を理解すること。

体験を通して学べるおもしろさ。

体験型である事、百聞は一見にしかず

体験型の展示

体験展示が多い為

大きいシャボン玉

知らないことを知れる楽しさに興味があったから。

知的好奇心をくすぐるような内容

鉄の玉ころがしのところがおもしろい

鉄球の所が楽しいので

展示、イベント（体を動かせること）

展示内容が以前と違うと聞いたので。

電気・電流のしくみ、それを利用したもの

動かしてみても体験する展示物

日常では教えてあげられない実験からいろんな発見がありそう！！

日常で見すごしている事と関連づけができて新鮮な気がして

不思議な体けんなど

不思議～と感じてくれる事

普段、体験できない事をやらせてあげたいので

普段の生活にはない体験や道具を触ったり、見たり出来る事

普段は体験できない実験

普段みられないような部分を見れそうなのと、体験できるから。

普段見れない物を見れそう

物の仕組みをわかりやすく体験しながら知っていける事

物の動く仕組みなど実際に見るとおもしろいので。

本でみるだけでなく、実際にいろいろ体験できる

未知らない世界への興味変化・進歩

面白そうな実験が見られるかな？子供の頃理解出来なかった事が分かるかな？

目で見て、体験できるコト

遊びながら色々な事にふれ体験できるから

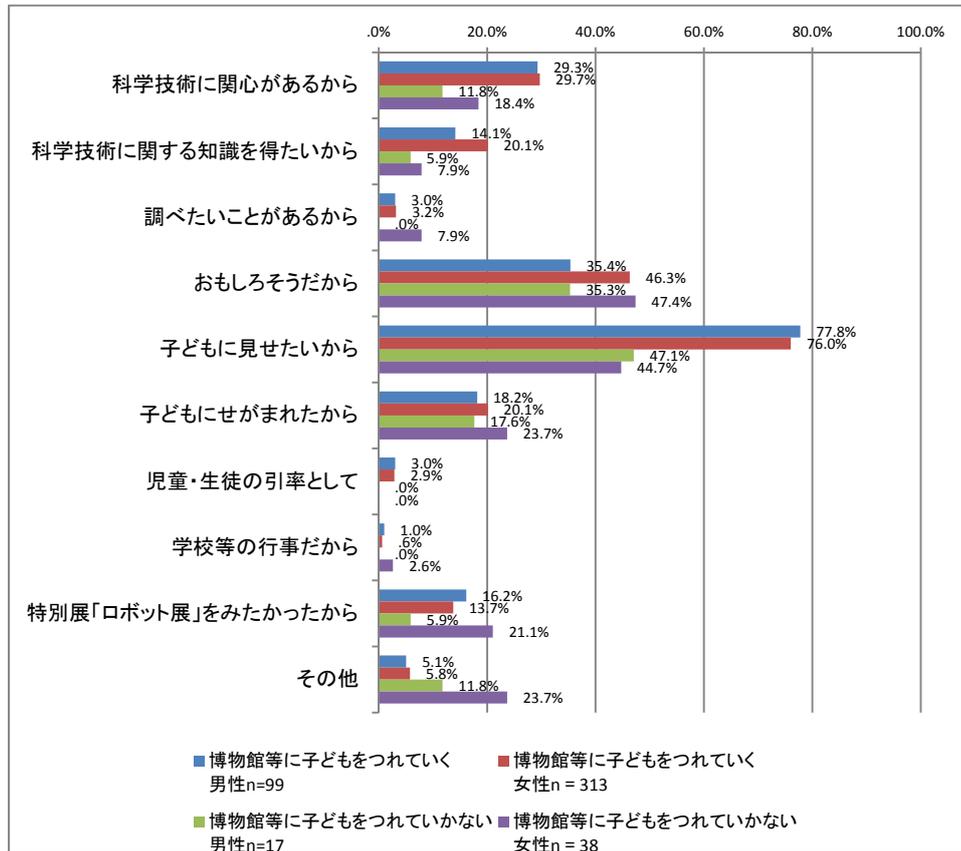
遊びながら知識を得る

様々な体験ができること

来館する度、発見がある。

理科という分野の入口を具体的な形で体験できること
理科等に興味を持ってくれたらうれしい

Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



・考察

全体として男女ともに、65.9%が①子どもに見せたいからという目的で来館。続いて②おもしろそうだから 42.8%、③科学に関心があるが 28.3%と並び。

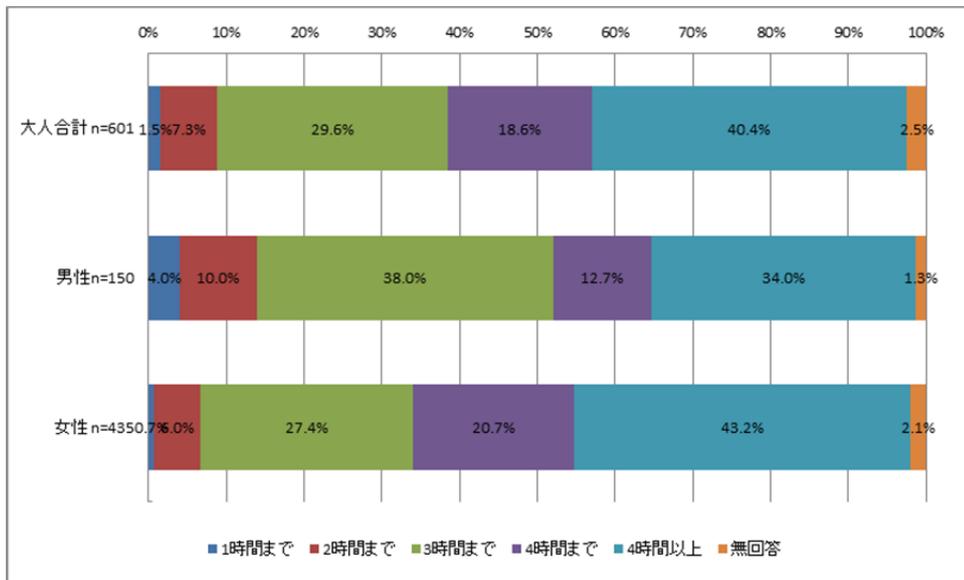
子どもにせがまれて来館した男女は 16.8%と、昨年より若干増えている。

Q1-9 (sq1-e) において「問・子どもを博物館に連れて行く」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した男女は、子どもに見せたいからという回答が、ポジティブ回答をした男女より 30%前後数値が低い。

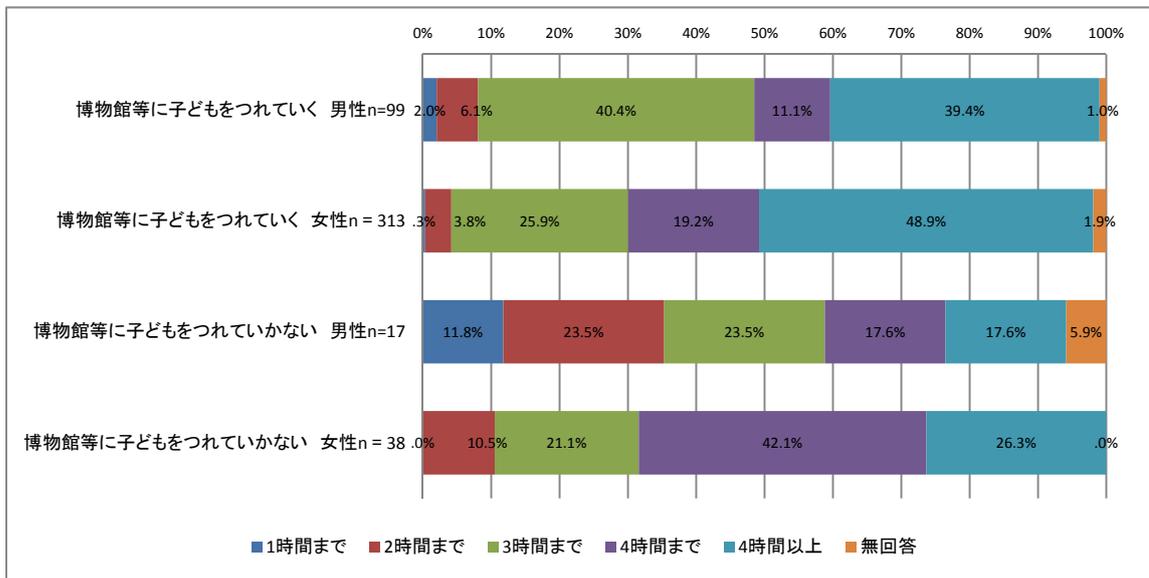
SQ1「4、おもしろそうだから」を選んだ方の期待は、子どもが科学技術を少しでも興味をもって楽しく学べるように、実験や体験などを通して、もっと身近に科学技術を体感させたいという気持ちが、自由記述の多さからも伝わってくる。

Q2-6 あなたは、どれくらいの時間、見学する予定ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 1時間まで 3 3時間まで 5 4時間以上
 2 2時間まで 4 4時間まで



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたとうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較

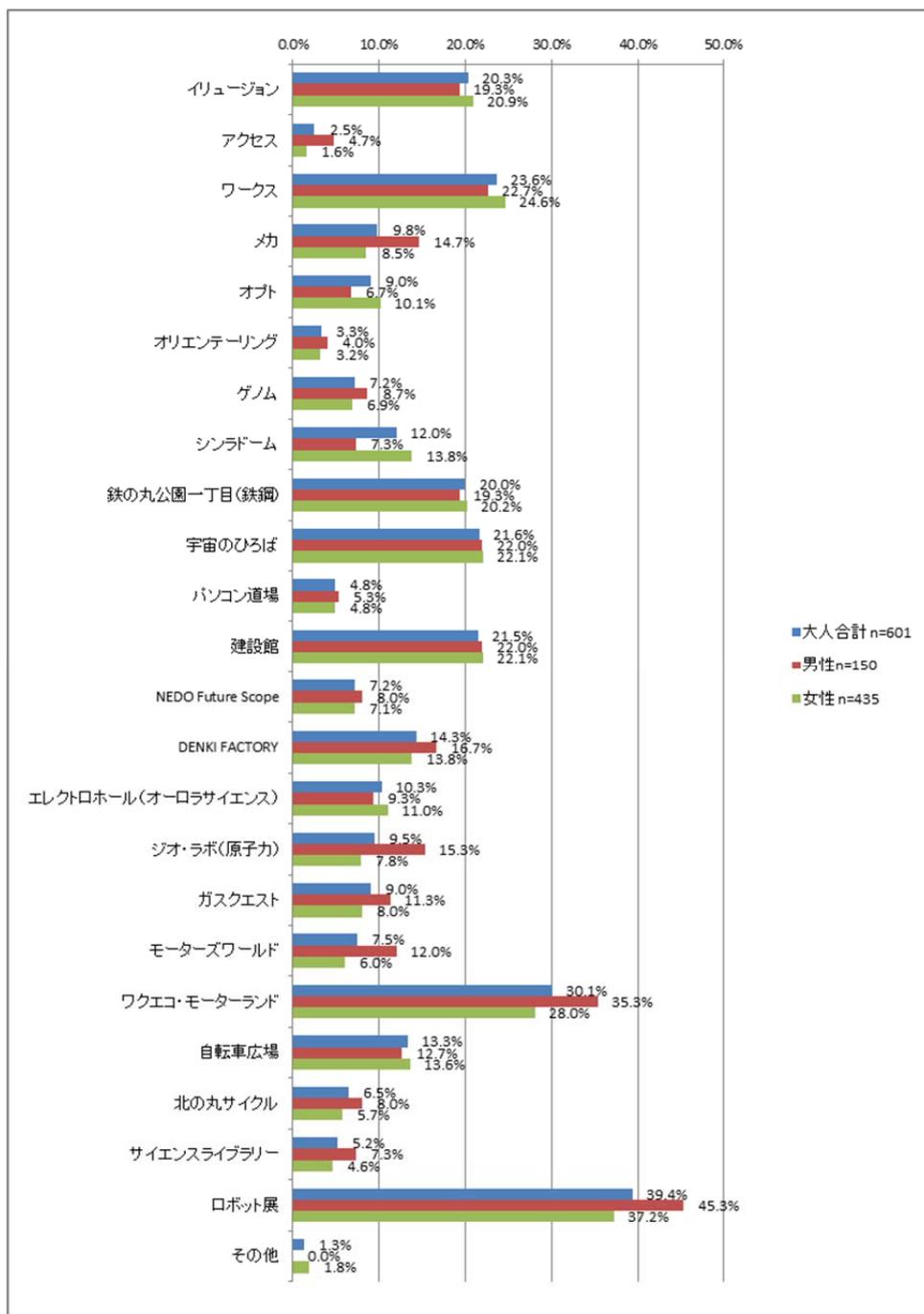


・考察

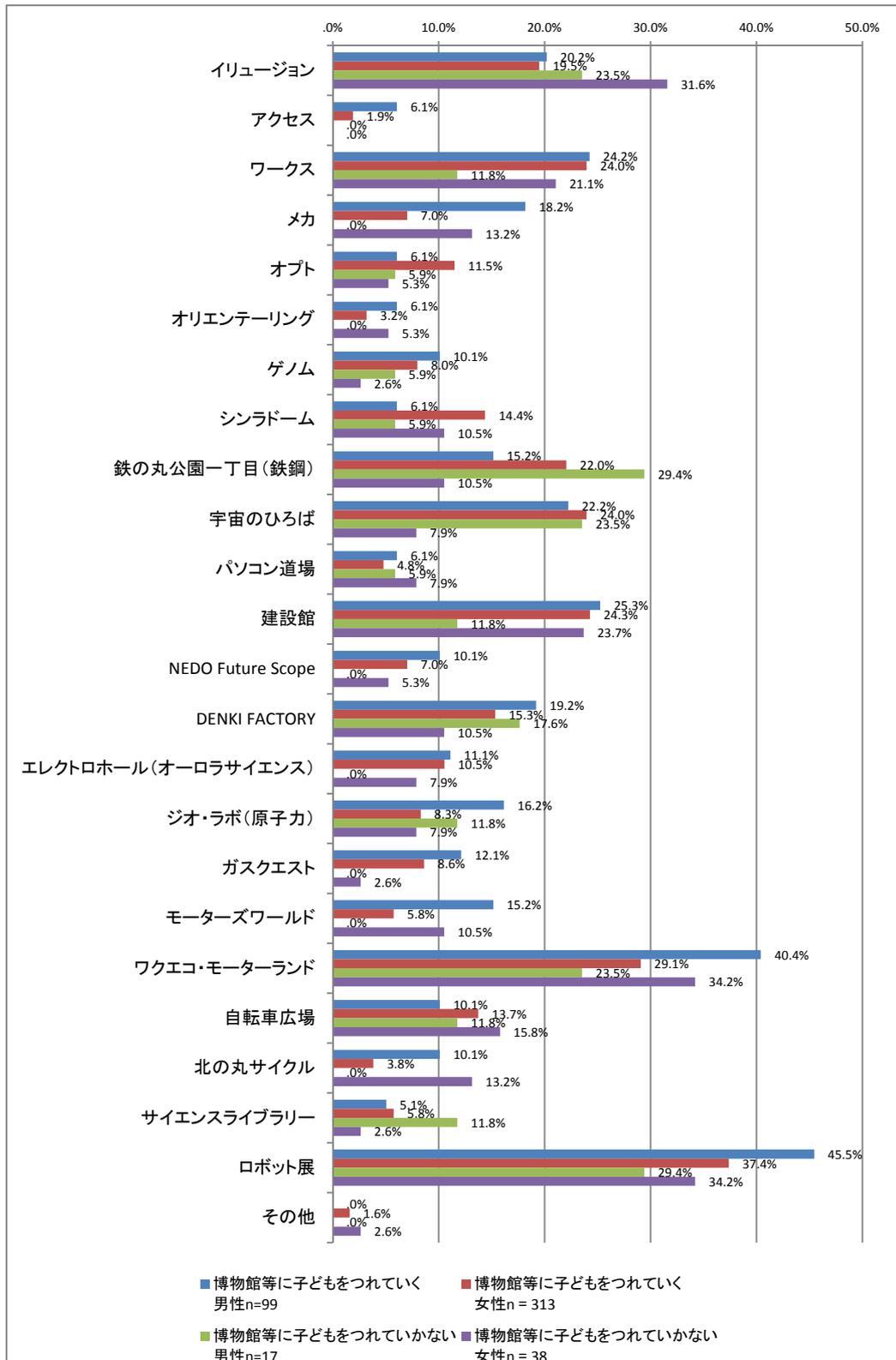
全体的に、3~4時間以上と、比較的長く半日近い見学時間を回答する方が多い。
 Q1-9 (sq1-e) において「子どもを博物館に連れて行く」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した方は男女ともに見学時間にばらつきがある。

Q2-7 あなたにとって、おもしろかった展示室（てんじしつ）はどれですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

5階	1	イリュージョン	2	アクセス	3	ワークス	4	メカ
	5	オプト	6	オリエンテーリング	7	ゲノム		
4階	8	シンラドーム	9	鉄の丸公園1丁目(鉄鋼)	10	宇宙のひろば	11	パソコン道場
	12	建設館	13	NEDO Future Scope				
3階	14	DENKI FACTORY (デンキファクトリー)	15	エレクトロホール (オーロラサイエンス)	16	ジオ・ラボ (原子力)	17	ガスクエスト
	18	モーターズワールド						
2階	19	ワクエコ・モーター ランド(自動車)	20	自転車広場	21	北の丸サイクル	22	サイエンス ライブラリー
	23	ロボット展	24	その他(具体的に) :				



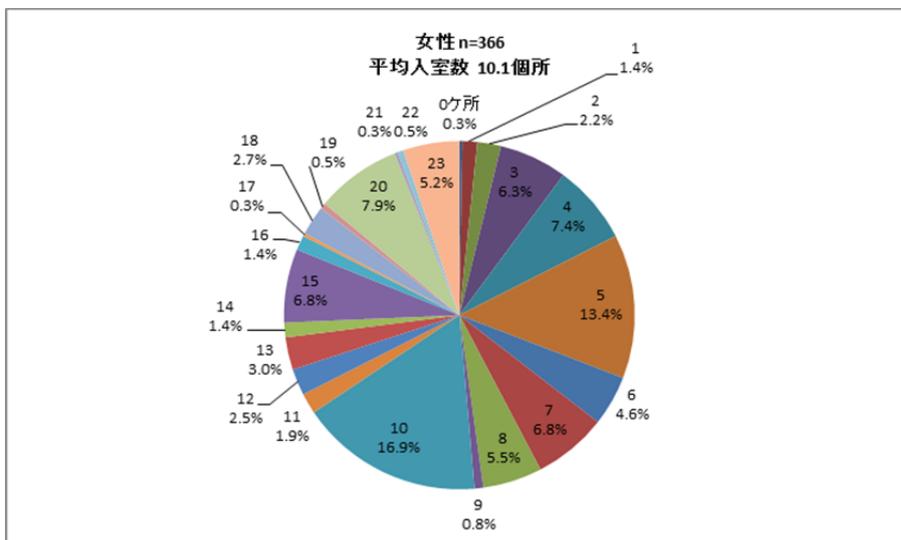
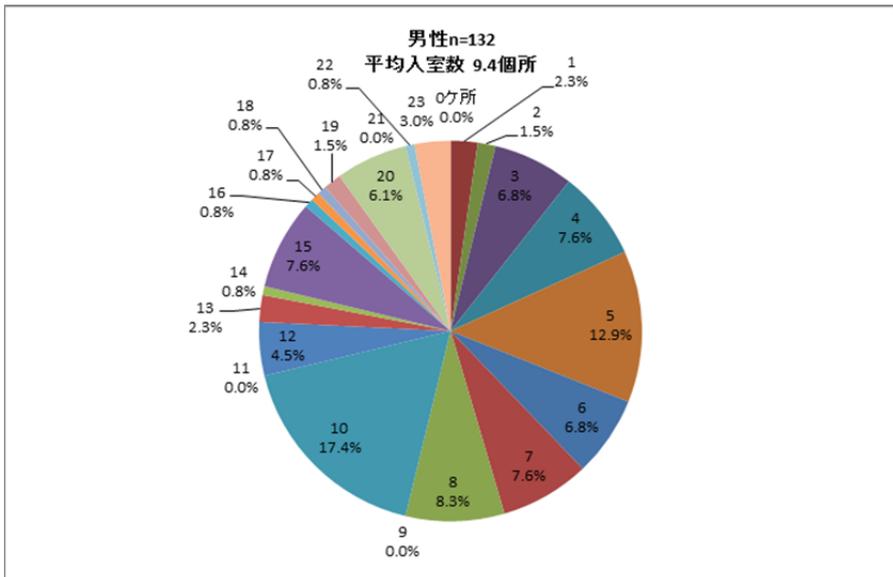
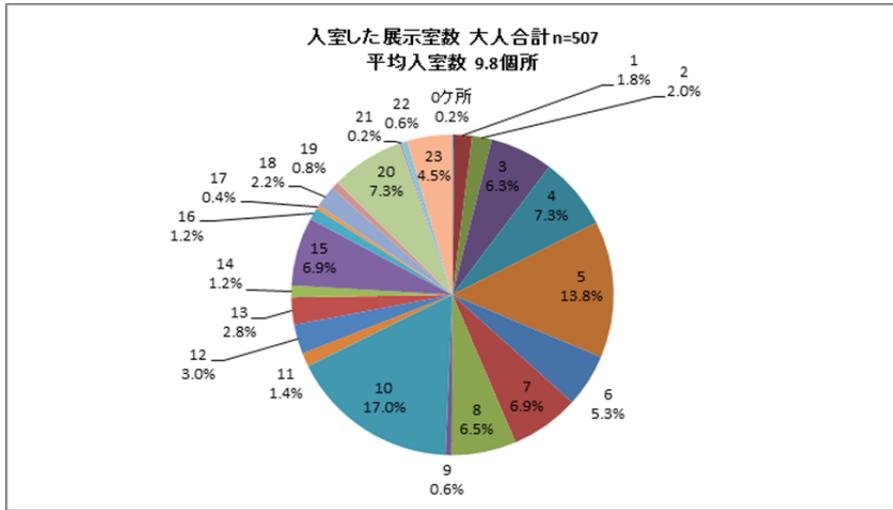
 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較

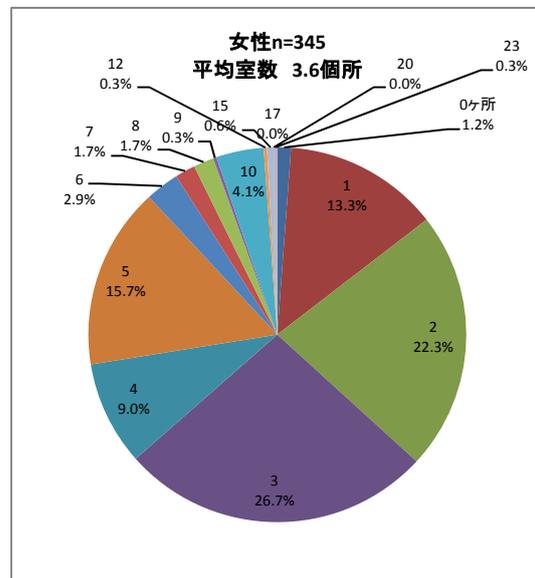
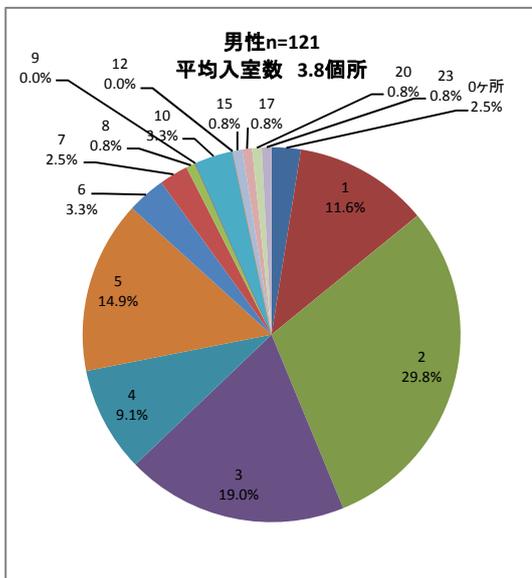
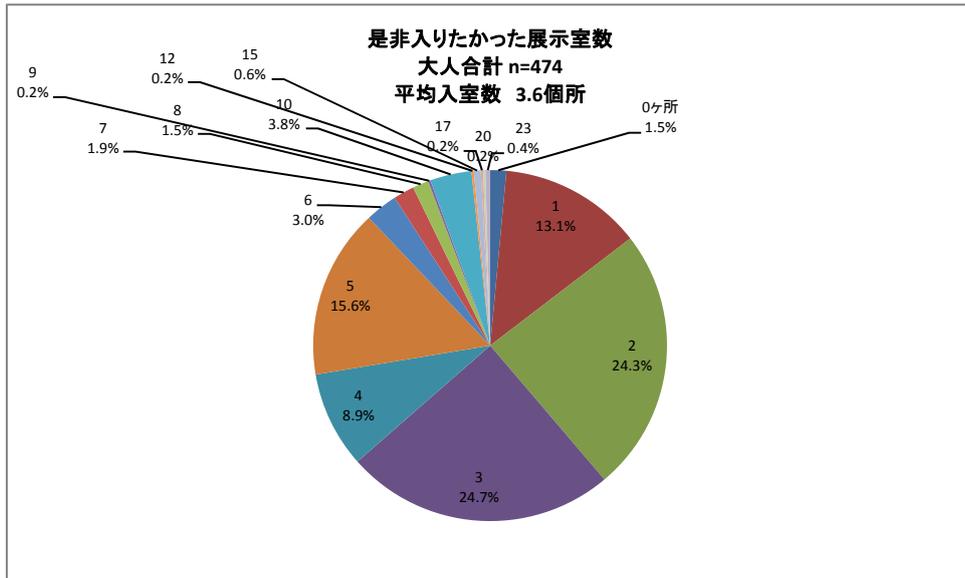


• 考察
 全体として、①ロボット展 39.4%、②ワクエコ・モーターランド 30.1%、③ワークス 23.6%の順。
 ロボット展とワクエコ・モーターランドは、アンケート回収場所と同じ階での開催のため、数値が上がっていると思われる。

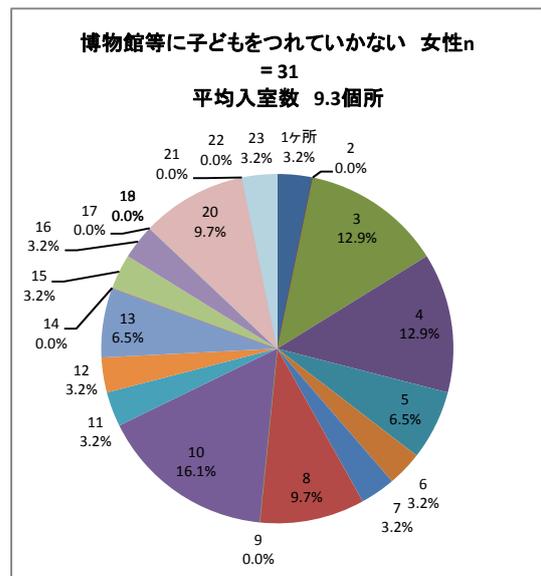
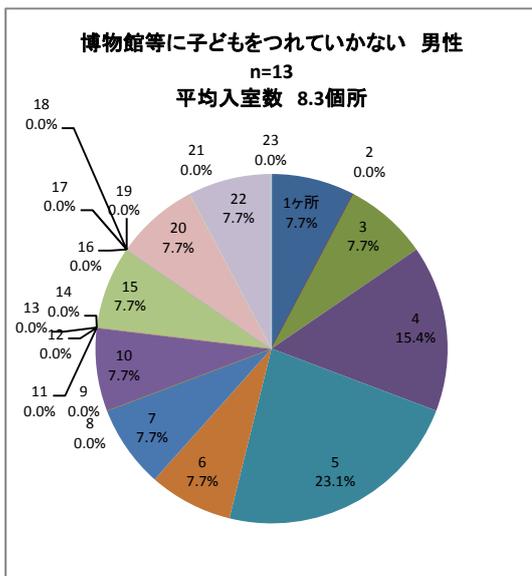
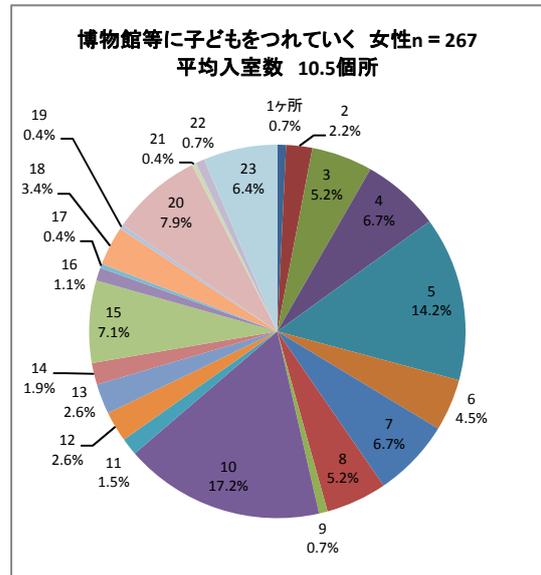
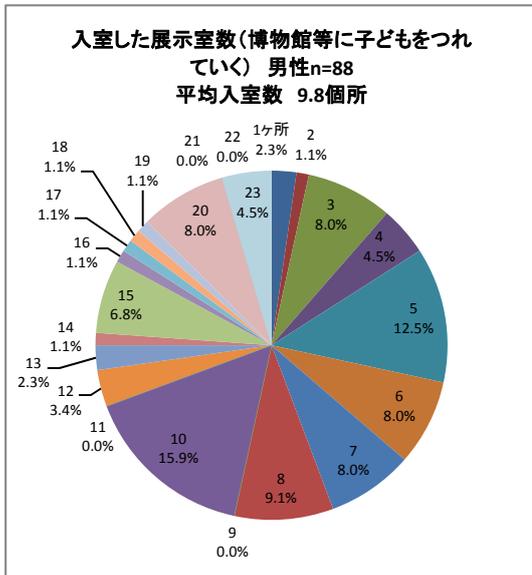
Q2-8 全部でいくつぐらいの展示室に入りましたか。また、入った展示室の中で、ぜひ入りたいと思って入った展示室はいくつぐらいありますか。だいたい結構ですので展示室数を下の口の中に入れてください。

入った展示室数は全部で つ
 その中でぜひ入りたいと思って入った展示室数は つ



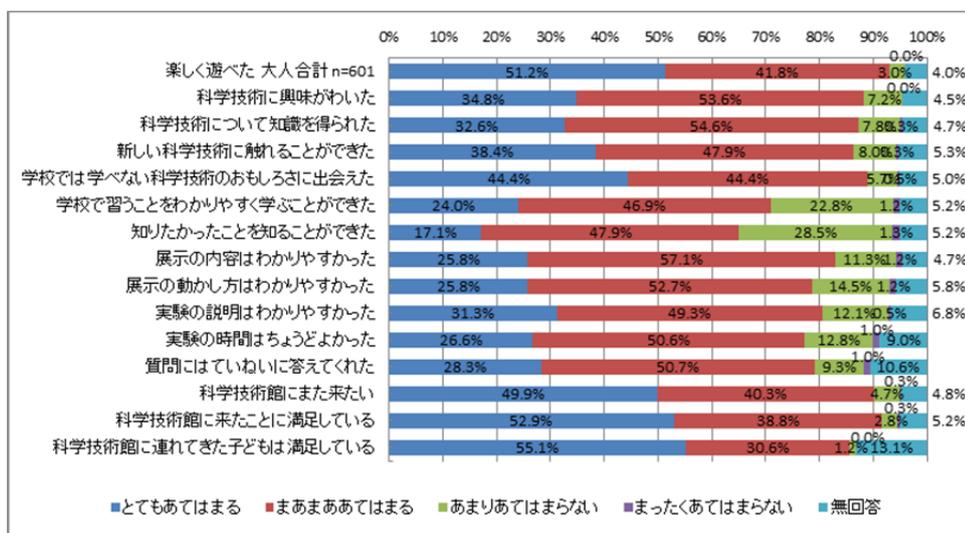


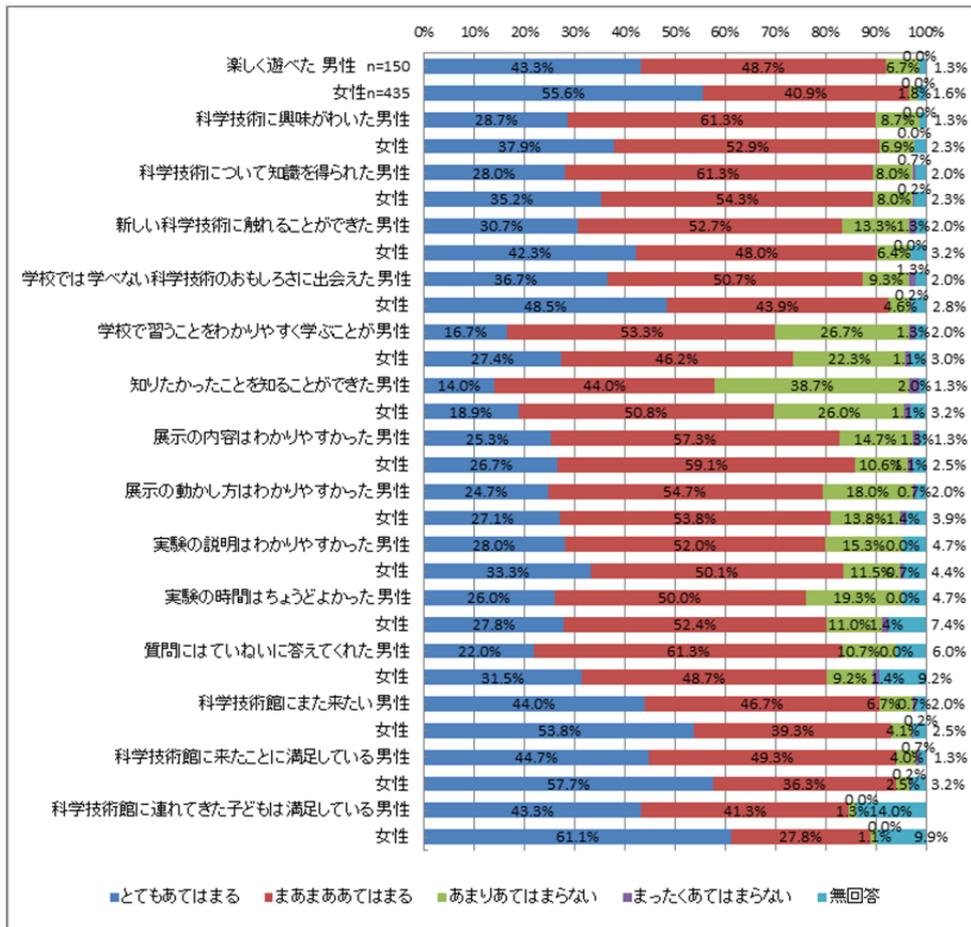
 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えらうえて、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



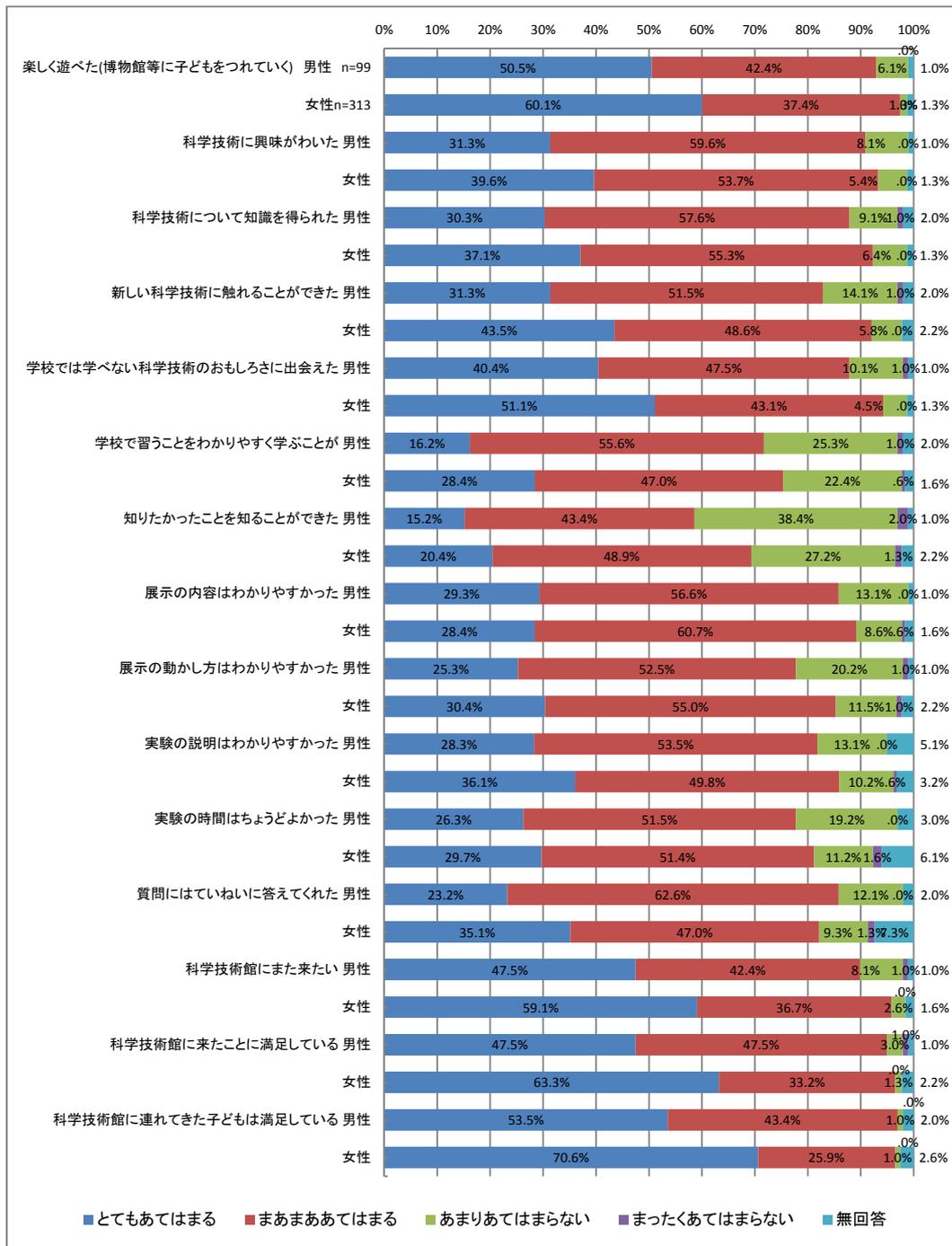
Q2-9 科学技術館全体を通して、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

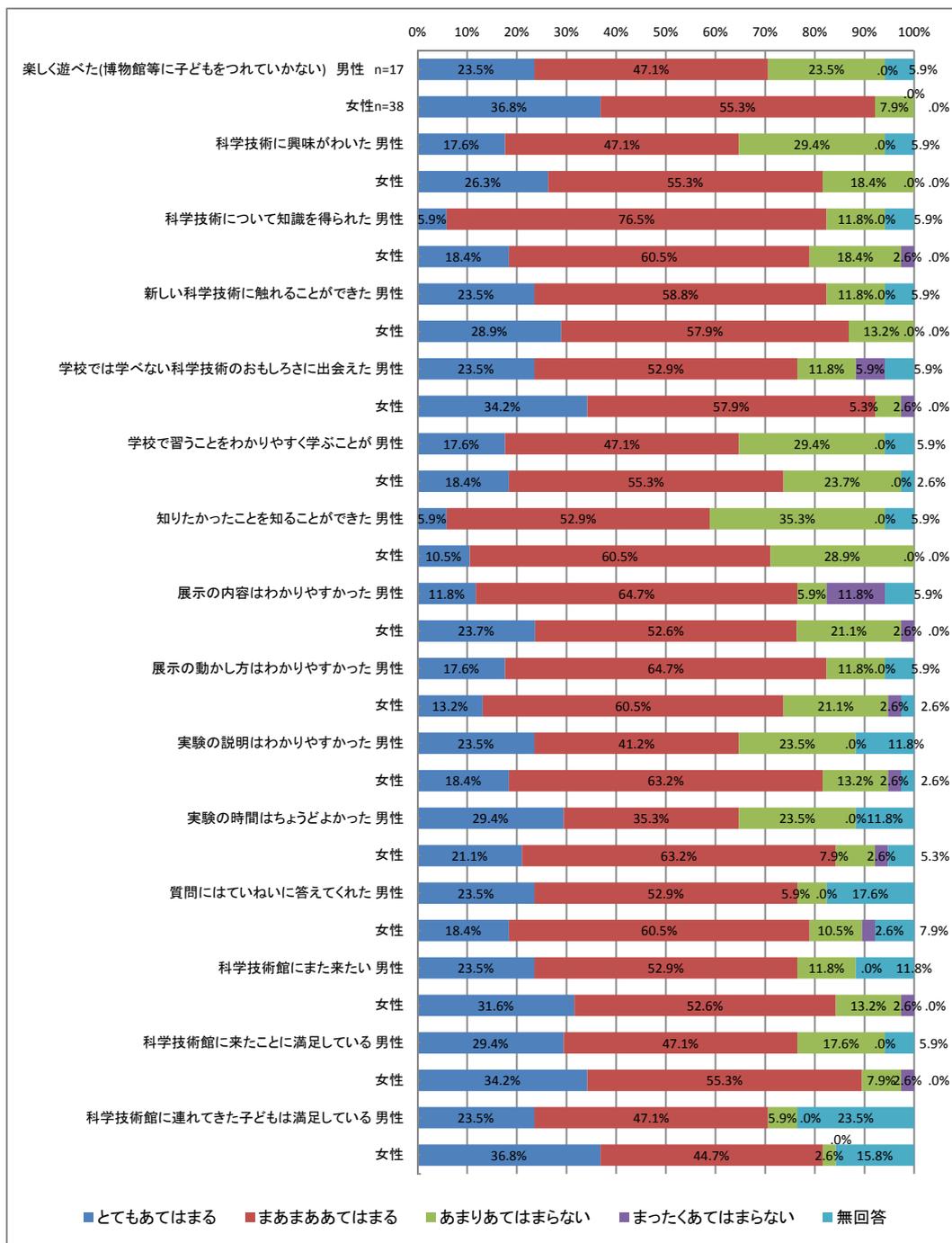
	とてもあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a. 楽しく遊べた	1	2	3	4
b. 科学技術に興味（きょうみ）がわいた	1	2	3	4
c. 科学技術について知識を得ることができた	1	2	3	4
d. 新しい科学技術にふれることができた	1	2	3	4
e. 学校では学べない科学技術のおもしろさに出会えた	1	2	3	4
f. 学校で習うことをわかりやすく学ぶことができた	1	2	3	4
g. 知りたかったことを知ることができた	1	2	3	4
h. 展示の内容はわかりやすかった	1	2	3	4
i. 展示の動かし方はわかりやすかった	1	2	3	4
j. 実験の説明はわかりやすかった	1	2	3	4
k. 実験の時間はちょうどよかった	1	2	3	4
l. 質問にはていねいに答えてくれた。	1	2	3	4
m. 科学技術館にまた来たい	1	2	3	4
n. 科学技術館に来たことに満足している	1	2	3	4
o. 科学技術館に連れてきた子どもは満足している (子どもといらした方のみお答えください)	1	2	3	4





 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えらうえて、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較





• 考察

全体的に、ポジティブ回答（とてもあてはまる・まあまああてはまる）が大半を占めているが、「問・f.学校で習うことをわかりやすく学ぶことができた」「問・g.知りたかったことを知ることができた」の2つは他に比べて達成度が低く、このあたりを掘り下げると、更に来館者を満足させるための改善の余地がみえてくるのではないのでしょうか？

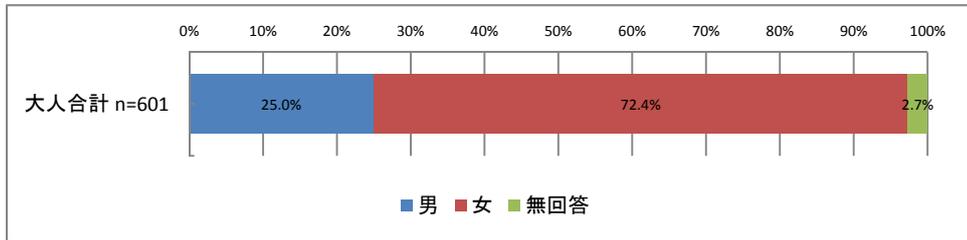
Q1-9 (sq1-e) において「子どもを博物館に連れて行く」にネガティブ回答（あまりあてはまらない・まったくあてはまらない）した方は男女も、来館後の感想はポジティブ回答をした方と同じようなグラフに近づいてきていて、来館後の満足度の差は、あまりないようだ。

3) あなた自身についてお聞きします。

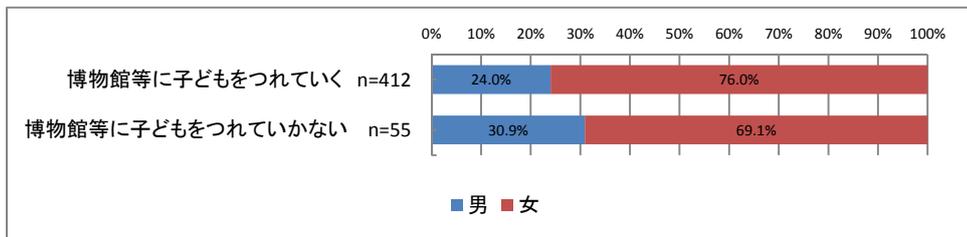
Q3-1 あなたの性別について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 男

2 女



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたとうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



• 考察

圧倒的に女性が多い（72.4%）。

子どもとの来館が多いというデータが、先に出ているため、母親と子どもというパターンの来館が多いと思われる。専業主婦が多いため、%は女性が多い。

Q3-2 あなたの年代について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1
2

10代
20代

3
4

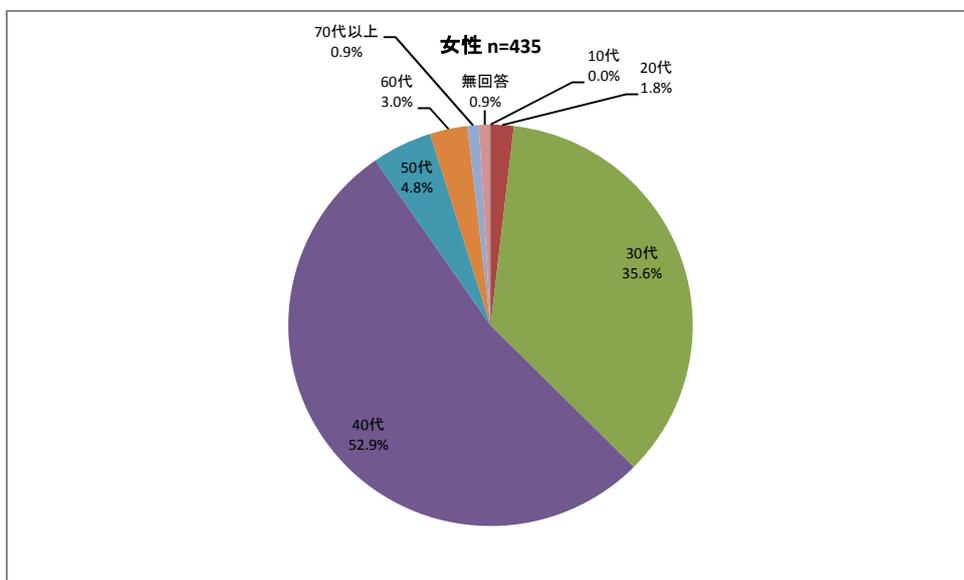
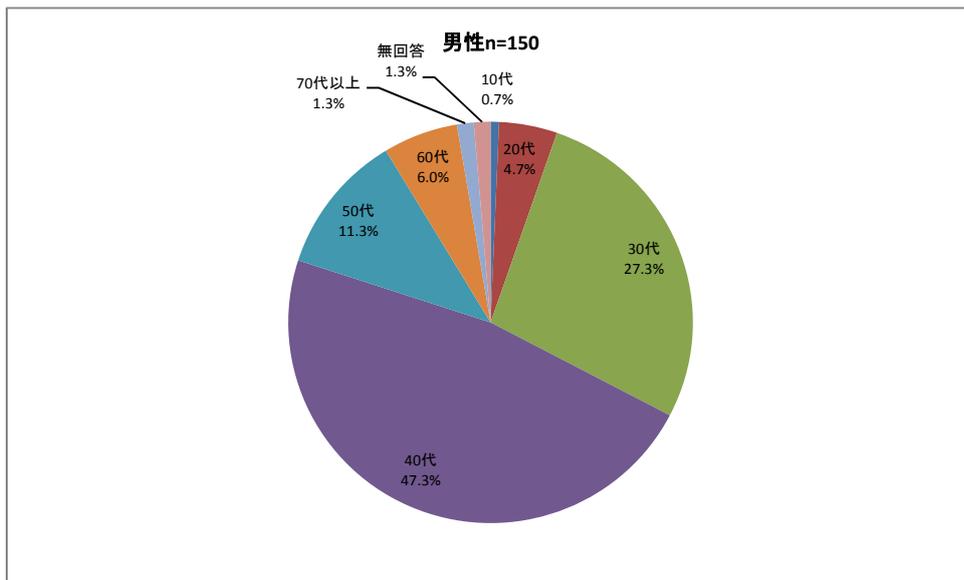
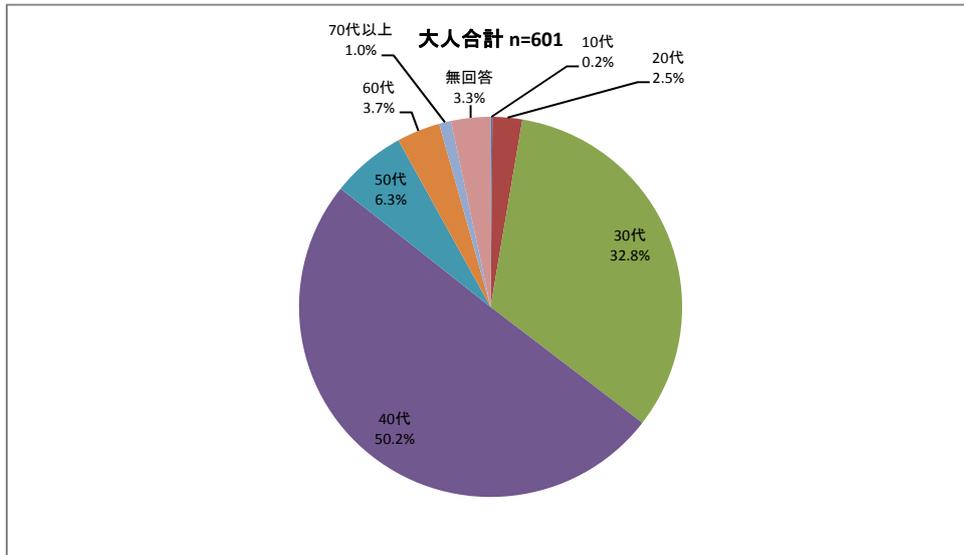
30代
40代

5
6

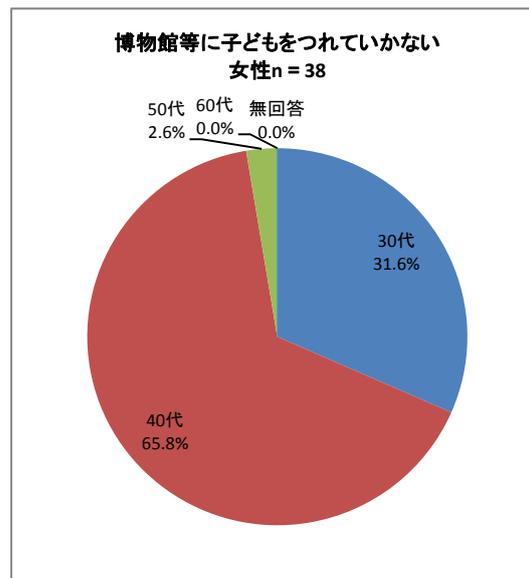
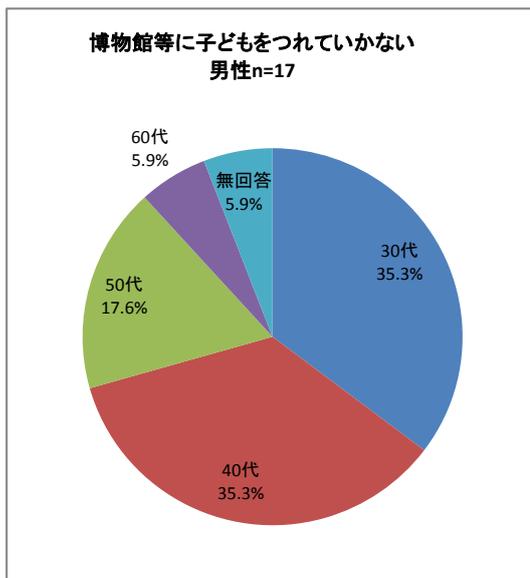
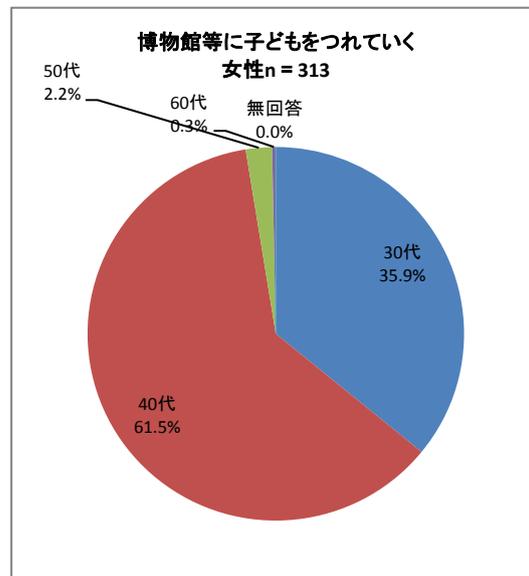
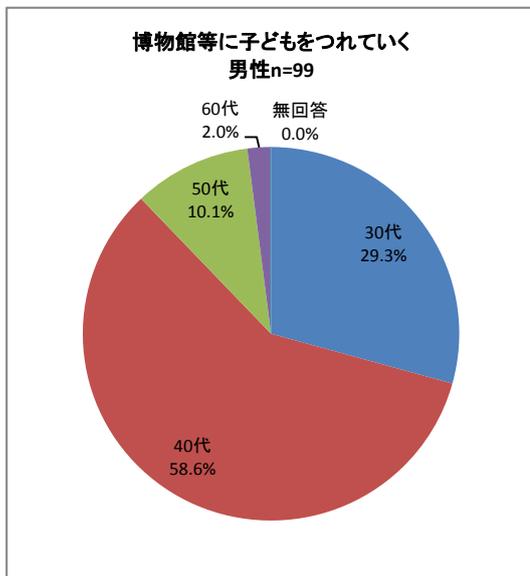
50代
60代

7

70代以上



 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたとうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較

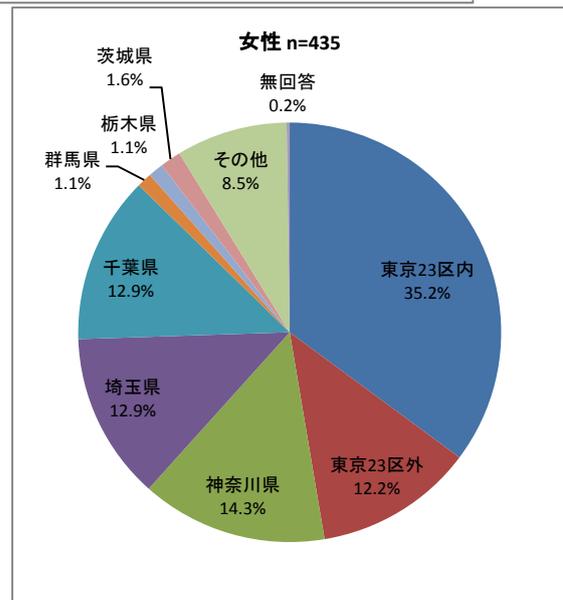
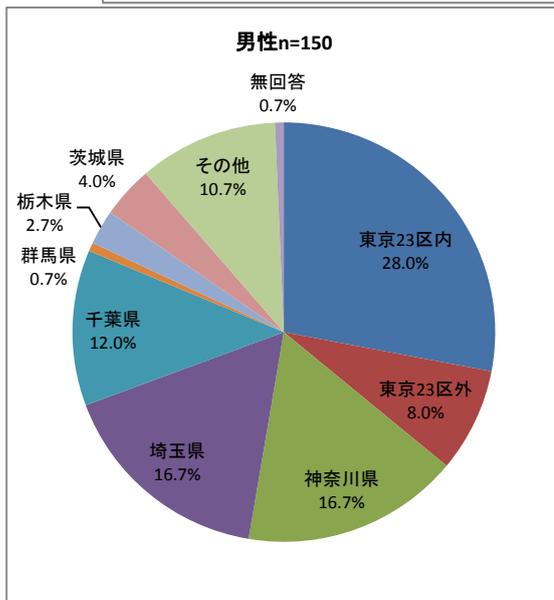
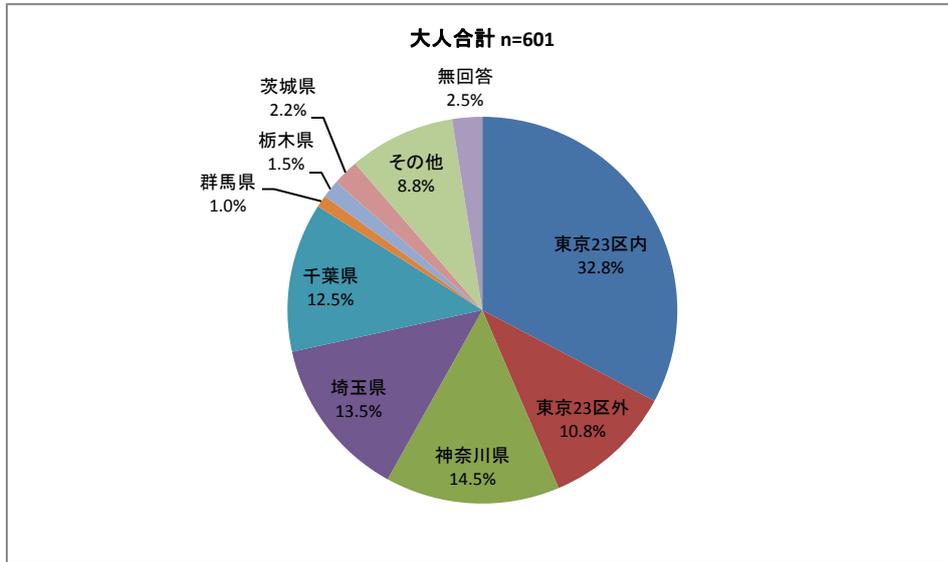


・考察

男女ともに 30代から 40代の来館者が多いのは、幼児や小学生の子どもがいる年代だと推測される。

Q3-3 あなたが現在住んでいるところについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|----------|---|-----|---|-------------|
| 1 | 東京 23 区内 | 4 | 埼玉県 | 7 | 栃木県 |
| 2 | 東京 23 区外 | 5 | 千葉県 | 8 | 茨城県 |
| 3 | 神奈川県 | 6 | 群馬県 | 9 | その他（具体的に：) |

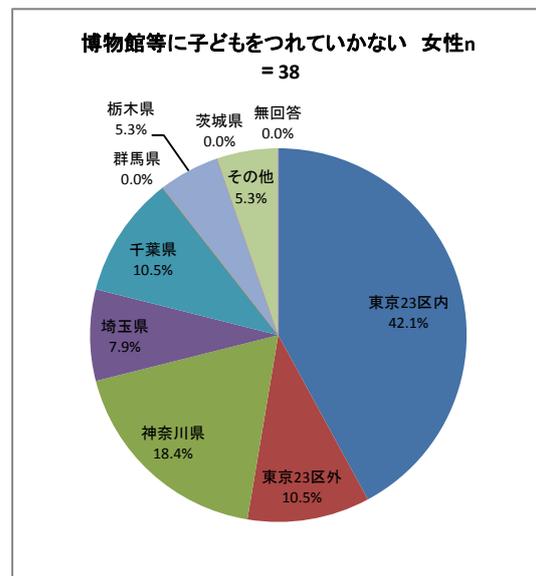
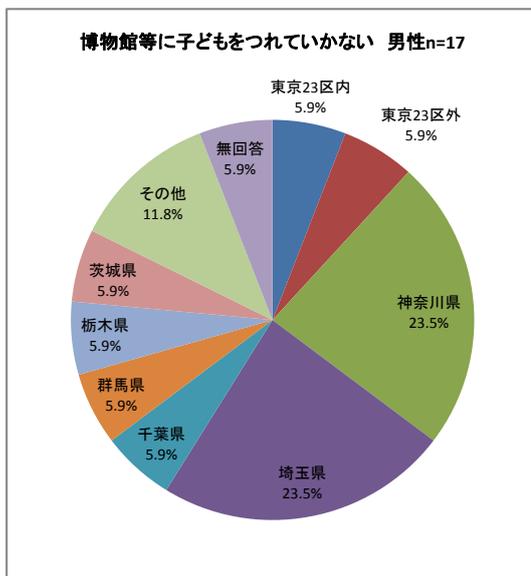
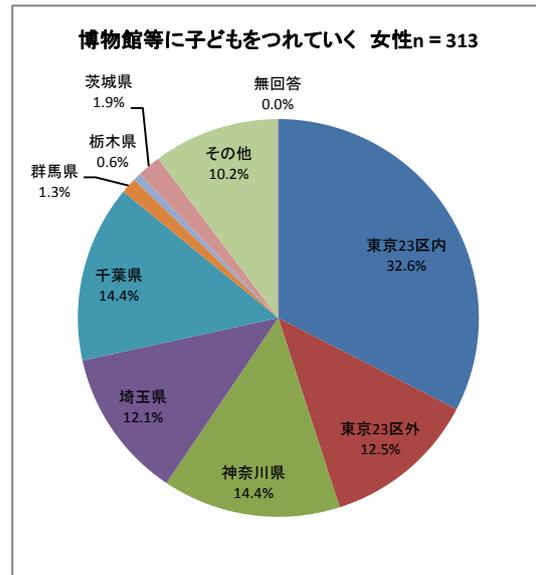
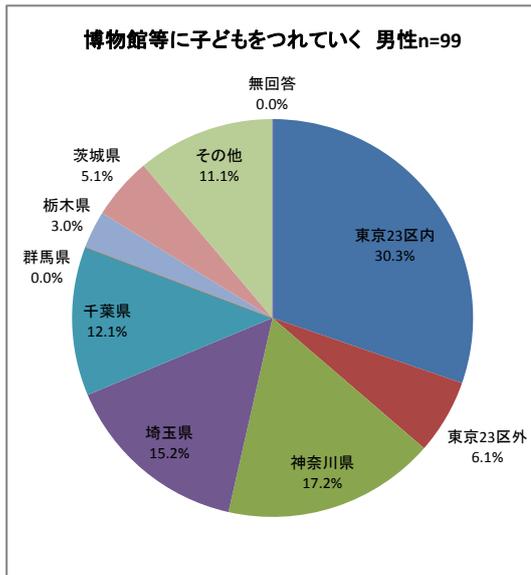


★その他の居住地

- アメリカ
- ドイツ
- 愛知県 (2)
- 愛媛
- 沖縄
- 宮崎
- 宮城 (3)
- 京都 (2)
- 熊本県
- 広島 (2)
- 香川県
- 国外
- 山形 (2)
- 秋田県
- 新潟 (3)
- 静岡 (13)
- 石川県
- 仙台

大阪 (4)
 大分県
 富山 (2)
 福岡
 福島 (2)
 兵庫県

 Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えただうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較

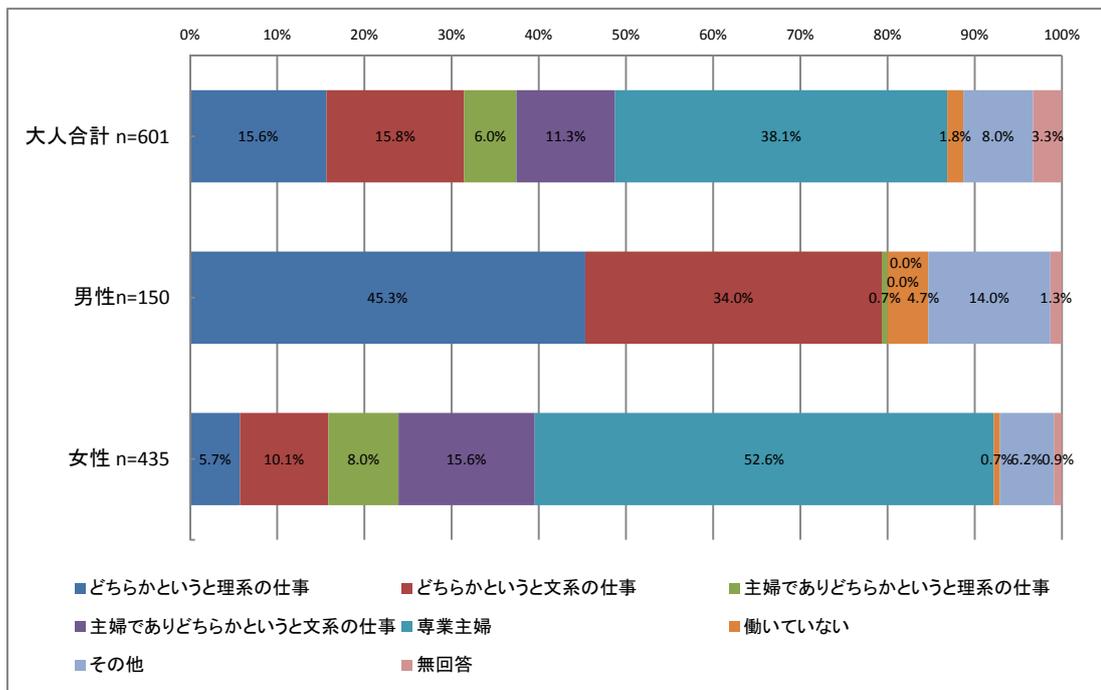


• 考察

東京都内 23 区内・外のほか、比較的交通の便がよい近県（神奈川県、埼玉県、千葉県）は、10%代をキープしている。

Q3-4 あなたの職業について、あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。また、() 内に職業名をお書きください。

- | | |
|---|--|
| 1 | どちらかというと理系の仕事に従事（具体的な職業名：_____） |
| 2 | どちらかというと文系の仕事に従事（具体的な職業名：_____） |
| 3 | 主婦でありかつどちらかというと理系の仕事に従事（具体的な職業名：_____） |
| 4 | 主婦でありかつどちらかというと文系の仕事に従事（具体的な職業名：_____） |
| 5 | 専業主婦 |
| 6 | 働いていない |
| 7 | その他（_____） |



★職業名

◎どちらかというと理系の仕事

- 3Dアニメーター
- Engineer
- IT 3
- ITコンサルタント
- LED系のサイン関係
- SE 3
- アロマセラピスト
- エレベータ設計
- エンジニア 2
- エンジニア（ソフト）
- コンピュータ関連
- コンピュータ技士
- シスアド
- システムエンジニア
- ソフトウェア
- ソフトウェア開発
- タクシー乗務員
- ドライバー
- 飲食業
- 会社員
- 解折業務
- 学校給食
- 看護師 2
- 教員 2
- 経理
- 建設業 2
- 建築系

研究員
研究所、大学
研究職
研究職（機械系）
公務員
工場機械メンテ等
工場生産技術
航空宇宙部品の製作、金属加工
歯科医師
自動車販売修理
整備士
製造技術
製造業 3
造園設計
団体職員
鋳物業

◎どちらかという文系の仕事

SE
サービス業 3
サービス業（ガソリンスタンド）
営業 2
営業（通信）
営業職
園芸業
音楽科教諭
介護
会社員 2
会社員（事務系）
学童指導員
教育管理職
教諭 2
金融
銀行員 3
経理 2
公務員 2
公務員（学校関係）
高校教師
裁判所職員
事務 6
事務職 2
自動車メーカーの企画部門
商社
商品開発（化粧品）
小学校教員 2
食品製造
人事
製造業（食品）
税理士
接客系
大学院、不動産
男女平等推進センター
非常勤講師（大学通信）
不動産業
編集者

◎主婦でありかつどちらかという理系の仕事

システムエンジニア
ネイリスト
医療（病院）
医療事務 2
営業
音楽教室
看護師 2
管理栄養士

建築士
歯科
歯科衛生士
事務（電気系）
実験教室講師
収納業務
数学の添削
団体職員
調理師
美容師
薬剤師 3

◎主婦でありかつどちらかという文系の仕事

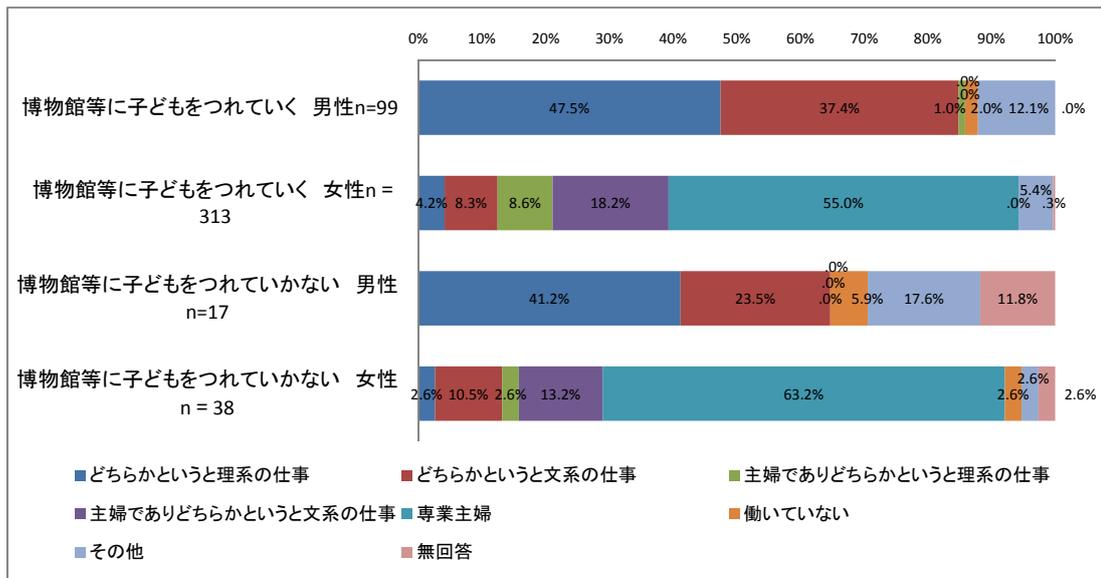
カウンセラー
ナレーター講師
ピアノ教師 2
飲食店経営
英語教師 2
音楽講師
介護関係
介護職
学童
学童の指導員
教員
金融 2
区役所で事務
公務員
財務会計
事△職
事務 8
事務系公務員
社会福祉
図書館補助員
調理補助
秘書
保育士
旅行会社

◎その他

キーパンチャー
サービス
スポーツ関係医師
デザイン関係
デザイン系
ドライバー
パート
パン屋
ピアノ講師 2
ヘルパー
よくわかりません（医療事務）
飲食業
営業
介護職
会社員
公務
公務員
指導員
事務職
自営業 2
主婦、保育士
芸術系の仕事に従事（声楽、ピアノ講師）
酒造
小売業
食品販売業
製造

接客
調理師
農業
文系・理系両方です（小学校教員なので）
理容師

Q1-9において、現在、学校教育を受けている子どもがいると答えたいうえで、sq1-eにおいて、子どもを博物館等につれていくにポジティブ回答（とてもあてはまる、まあまああてはまる）した大人男性 n=99、大人女性 n=313、ネガティブ回答（あまりあてはまらない、まったくあてはまらない）した大人男性 n=17、大人女性 n=38 の比較



・考察

全体の40%は専業主婦と、割合がかなり高い。
男性は理系の仕事についている方が45.3%、女性の専業主婦は52.6%。

4) 最後に皆様の感想をお書きください。

Q4-1 科学技術館全体を通して、良かったところ、悪かったところ等を下の空欄に書いてください。

・良かったところ

()

・悪かったところ

()

・科学技術館でやってほしい展示・実験・工作等

()

★良かったところ

今日原子カポスターに参加しました。

「ゲノム」という言葉があいまいでしたが、よくわかりました。

車の運転など、ゲーム的な要素のものもあり楽しめる。

1日楽しい時間を過ごす事が出来た

1日遊べるところ

2Fでいろいろな体験ができたこと（子供が）

3D映像など子供達はとても喜び私も楽しませて頂きました。

5Fのワークスの科学の実験、説明も子供にわかりやすく、時間もちょうどいいと思います

5階の展示が一番子供が喜んでやっていました。

5才の子から大人まで楽しめました

HPで感じたよりもずっと面白かった。子供と何度も通いたいと思った。

あちこちのワークショップで実験をやっていたところ

あまり混んでいなく、思っていたよりいろいろな実験やプログラムに参加できた

あまり混んでいなくて良い

いつも楽しく、自然に学べる、全て、素晴らしい

いつも楽しませて頂き有難うございます。

イベント企画

イリーションの説明が楽しかった

いろいろあった

いろいろと仕組みが分かり良かった

いろいろと体験できる

いろいろなスイッチに自由にふれることができ、気軽に楽しむことができた。

いろいろなスペースがある。

いろいろな科学の体験ができました。

いろいろな科学の面白さをあそびながら学べるところ

いろいろな科学を学べ、子供も楽しめました

いろいろな科学技術体験ができたこと

いろいろな実験がみれてよかったです トイレもきれいでした

いろいろな体験ができて子供は満足していたこと

いろいろな展示があり、体験できてよい。

いろいろな範囲は広いところ

いろいろな物が見れた

いろいろな文野が一度に楽しめた

いろいろむずかしい知識が少しわかりました

いろいろ工夫されていたのしかった

いろいろ体験ができるところ

いろいろ体験できました

いろいろ体験できるところ

いろんな体験ができた

いろんな体験が室内でできた

いろんな体験が出来た

おもしろい

おもしろかった

ガスの実験がおもしろかった。

きれいである。

クルマが走るしくみなどは中を透明にして動きがわかるのが良かった。

くわしい説明でわかりやすい

コインロッカーや、きゅうけいしつiusがある所

サイエンスクラブに登録しているので、毎回楽しませてもらっています。

サイエンス友の会に入会している為、年に何回か来館しますが、毎回、楽しめるところが良いと思います。

じっけんができるところがおおくてよかった。
しゃぼん玉
シャボン玉に入れて楽しかったです。
すいていて見やすい
すぐ手の届く所にたくさんのもがある（手で触れる）
スタッフの説明。（ロボット展など）
スタッフの方が親切
スタッフの方が多く、ていねいに説明してもらいました。
すわるところがたくさんある。入館料が安い。
たくさんの実験を行っていた
たくさん種類のロボット展示が面白かった
たくさん子供が遊べる所が多かった。
たのしい、体験をするとよくわかる
たのしかった
たのしかった
ためになりながら楽しめる
ちょうどよい広さで展示もちょうどよかった
テーマごとに様々な実験や展示がありとてもわかりやすかった。
どこへ行っても実験が行なわれている。
とてもよかった
とても分かりやすく展示してあった。
なぜなぞマンに会えた
ならんで待つ工夫。…もう少し待ち易い環境望ましい
パソコンに頼った展示が多すぎる。ワークスのような機械的かつ自分で動かす展示がよい。
はば広い年れい層にわかりやすかった
バラエティにとんでいる。
ひろびろとして子供が自由に動いて興味のある所に行けた。係員の人がとても親切だった。
ブースが多い
フーメラン、シャボン玉の作り方と、液体ちっ素／無抵抗
ふしぎなことや、興味のあることが沢山あった。
ふだんできない体験ができたところ
ふだんの生活で関わりのないことを知ることができた。
ベンチが多くあるところ
まだ全部見ていないので、でも楽しみながら勉強出来る
みんなで協力して物を動かす展示がよかったです
ゆっくり1つ1つ時間をかけて見てみたいと思います
ゆったりとしたスペース
ユニバースの解説、テーマがとてもよい
レーザーけしゴムを作れた
ロボットのデモンストラーションが面白かった。子供が参加した工作教室
ロボット展
ロボット展
ロボット展
ロボット展
ロボット展がとてもおもしろかったです
ロボット展がよかった
ロボット展での説明がわかりやすかった。
ロボット展で新しい知識が得ることができた。
ワークショップ
ワークショップがとても良い
ワークス ガスクエストなどの実験（今日のガスクエストの先生はとてもおもしろい）
ワークスがとても良かったと思いました。
わかりやすい
わかりやすい展示、説明
わかりやすかった
わかりやすく楽しく学べる
わかりやすく興味を持てるように説明、展示している
一日ではまわりきれない展示数でワクワクしてみた。
一日中遊んでも良かったような気がする
宇宙のひろばで調べることが出きた
液体チッ素の実験がかなり楽しかったです
液体窒素の実験が見れてよかった。
炎の実験が楽しかったです。
対応が親切である。
何回来ても楽しめる
夏休みで、ロボット展など楽しかった！

夏休みでもすいていて良かった。
夏休みということで混雑を覚悟しておりました ゆったりと過ごせた点が
夏休みの企画（ロボット展）を行っていた
家ではなかなか出来ないことが出来る。何かの仕組みなど実際に動いているものを見る事が出来る。
家族みんなで実験とか見れて良かった
科学についてとても分かりやすかった。
科学に興味をもてる
科学の実験の説明がとてもわかりやすかった。
科学を楽しみながら学べたところ。
科学を体感できる所。
科学技術にはいろいろあることがわかった。
科学技術に気がるにふれあえる。
科学的見地からのおもしろ実験
解かりやすい
各スペースが分りやすい。
各階でテーマごとに見れる所
各展示方法が縦じてわかりやすかった点。
楽しい
楽しい
楽しかったです。
楽しかったです。又きたいです
楽しく知識が身につくところ
楽しく遊べたところ
楽しく遊べるところがたくさんあった
楽しみながら科学にふれ合える。
楽しみながら知識が身につく
活気がみなぎっていた
器具がおもしろい。
技術に体けんを通して自然にふれられるところ
久しぶりにきたら、きれいになっていた。ロボット展がよかった
休けい場があり良かった
興味ありませんでしたが、面白かったです。
具体的体験
係の人が良かった
見ている子供達の笑顔
見やすかった。
見る、ふれることが出来、解かりやすい
見るだけでなく、さわれるところ。
見るだけでなく、自分で体験できるところ
見学途中、地下で食事をしたり、休けいしながら出来ること。
古いかと思ったが、設備がきれいだった。
広くスペースを持っている所 体験物が多い
広くて、様々なブースがそれぞれ楽しめた
広くてボリューム満点の展示内容
広くて見ごたえがあった。
広々していて、展示もとても見やすかった。
今までしたことのない体験を子供を通してできたこと。
今まで知らなかった様々の部分を理解しやすい展示実験であり満足しました
今回エコを学べた。
混ざつするかと思ったがゆったり見学出来たので良かったかと。
混みすぎておらず見やすい
最近の科学技術をモウラしている
最近の技術
最新のコンピューター等みることができた。
最新の科学技術をわかりやすく展示しているので大変勉強になりました。
最新技術の展示があったこと
細部にわたり楽しめるしかけがあった。
子どもがとてもたのしめた。
子どもがどの展示にも興味をもってふれていた。
子どもがのびのびと学べてよかったです
子どもが安全に科学にふれることができる
子どもが楽しく体験でき原理を視覚的に学び事ができる。
子どもが楽しんでいた
子どもが楽しんでくれたところ
子どもが楽しんで遊べていて良かった。
子どもが遊べるものが多い

子どもが理科上での自由研究の課題をみつける事ができた。
子どもといっしょに遊びながら勉強もできた。
子どもと一緒に楽しめた
子どもにいろいろ習ました。
子どもにもわかりやすく興味をもてる内容 特にワークスの科学実験
子どもにロボット操作をやらせてくれたこと
子どもに分かりやすくてんじしているところ。
子どもの興味ある展示が多い
子どもも楽しめる
子供（小学生）が楽しめるところが多い。
子供が、自由に体験出来るところ
子供が1日遊べた事です。
子供がいろいろなものに直接触れることができるところ
子供がよるこぶ
子供がよるこんでいた。
子供が楽しかった
子供が楽しくすごせる
子供が楽しく学べる
子供が楽しく学べるところ
子供が楽しく色々と学べた。
子供が楽しめた
子供が楽しめたところ
子供が楽しめて知識を得られる
子供が楽しんで、いろいろな物を見ていた事
子供が楽しんでいたところ。
子供が楽しんでいる。
子供が喜こんだ
子供が喜んで遊べていた。
子供が興味をもって、自ら進んで活動できたのがとても良かった。
子供が興味を持つ工夫がしてある
子供が興味を持つ展示が多かった
子供が自主的に学べるところ
子供が実際に触ったり動かしたりできるところ 見るだけでは、飽きてしまうので
子供が色々な体験ができて、とても楽しそうだった。
子供が色々な体験が出きた
子供が親しみ易い展示ばかりでした
子供が体感できた
子供が直接触れられる事
子供が満足したこと。
子供が遊びながら学べるところです。
子供が予想以上に喜んでいる
子供たちが楽しそうにしている顔がみれてよかった。
子供たちが楽しそうに見ている
子供と一緒に楽しめるところ
子供と楽しく過ごせた。
子供と楽しく理科にふれることができた。
子供と楽しめた
子供にとってはとても楽しく、小さい時に来れば科学に興味を持ってくれると思った。
子供にわかりやすい
子供にわかりやすい。
子供に興味を持たせやすくなっているところ
子供に説明するのにわかり易かった
子供のころに戻ったみたく楽しかった
子供の夏休み宿題等役立つ
子供の気持ちをつかむ展示
子供の教育・知識が高まった
子供の興味がわくように展示してあり、自分で考えられるようになっている。
子供の興味を引き出す
子供の好きな、のりもの系のしくみをくわしく展示してある
子供の時より科学が好きになっている
子供も大人もやりたいと思う企画が多く、楽しめたところ。
子供も沢山遊べた事
子供向けにわかりやすく説明してあった
子供達が楽しんでた
子供達が色々な事に興味をもった事
子供達と勉強しながら遊べた

子供達の興味が出た。
思っていたより楽しかった。また来たい。
自動車の仕組み（エンジン構造）
自分が小学生の頃に来たことがあり、なつかしいが展示内容は最新のものであり感動しました。
自分で体験できるものが多い
自分も子供も1日楽しくあそべる。
自由にふれることができる。休けい所がある
自由にみて回れるところ。あちこちでワークショップなど行われているところ。
自由に見たりふれたりできるところ。
実さいに動かせるところ
実演が見学できた
実験
実験がおもしろかった
実験がおもしろかった
実験がたのしかった
実験がたのしかったこと
実験がとってもおもしろくて良かった（磁石の実験）
実験がわかりやすかったこと。
実験が楽しかった。
実験が楽しかった。子供がふだん、興味を持たないことを一緒に懸命学んでいた
実験が楽しかったし、勉強になった。
実験が子供に興味を与え、わかりやすい。
実験が思っていたよりたくさんやっていて良かった。
実験が身近なもので行われわかりやすかった
実験が多く、わかり易く学べる。
実験が多くて楽しい 子供と一緒に楽しめる
実験が多く子どもが参加しやすい
実験が分かりやすくておもしろかった
実験が面白かった
実験するところが楽しいので、もっと場をふやしてほしい
実験などはとても説明もわかり易くよかったですと思います
実験などを体験して、孫が楽しんでいた。
実験に参加できた所
実験の実演
実験の説明がわかりやすくて、ためになりました。
実験は、生活の中で実際に使うようなものを例にして説明してくれたので、子供にもわかりやすかった。
実験よかった
実験をたくさん見る事ができた。
実験を見せてくれる方々の手際や、説明がわかりやすくて良い。
実験を見られる点
実験を見ることができて、先生の話し方が興味をひくように話してくれた
実験を見る事ができた。
実験を体験する事ができたこと
実験を体験できる所。
実験を目の前でみられる所
実験を目の前で見られると楽しい。
実験教室
実験体験が出来た。
実際にゲーム形式などで体験できた
実際にさわったり、作ったりできるものが多かったこと。
実際にバイクや車を運転して体験できる場所！！
実際に見たりさわったり出来る所
実際に見てふれて体験できる場所
実際に実験、体験できる所
実際に実験をしてくれる所
実際に手でふれられ、体験できる場所
実際に体験してみれること
実際に体験できる場所
実際に体験できる装置がたくさんあった
実際に動かしたり、体験できる所
実際に動かすことができたりして良かったです。
実体験、ライブショー
手づくりできる場所があった。
手でふれて体験できる
手を使って体験できる場所
初めてなのでおもしろかった。

初めて来たがとても良い施設である
将来子供がコンピューター関係の仕事に就きたいと思っておりますので参考になりました
小さな子供でもさわったりできる所がたのしい
小さな子供でも興味もてるように工夫されている点（体験できるなど）。
小さな子供でも興味がわくような体験ができる
小さな子供達にも、わかりやすくてのしく学べると思います。
色々と実験をみせてくれたり、触れる事ができるところ
色々と体験できるところ
色々なことがわかった
色々なものを目で見て体験できたコト
色々な科学を学べた
色々な企画があり、子供が夢中になっていた
色々な事を見て体験できたこと
色々な実験などが見れてよかった
色々な体験（ロボットを見れたこと）ができてよかった
色々な知識が得られた
色々な展示室があって良かった。
色々な展示物を見られたこと
色々実際にやってみるところ。説明がていねいなところ
色々体験できる所
食堂の料理の改善
新しい科学技術にふれる事が出来て楽しかった
身近かな所の科学もあついていたところ。
身体を使って色々な実験が出来る所。
人をいやすロボット
人数制限がある所は残念でした。
盛り沢山に展示室があり充実していた
静電気の実験は子供が興味をもっていました
昔からの色々な装置が、現役稼動している メンテナンス等
説明（掲示してあるもの）がとてもわかりやすかった
説明がしんせつ
説明が細かにあり、分かり易かった
説明が必要事項を簡略に記入してあり、わかり易い
説明や案内の方が親切におしえてくれたこと
全てのことが網羅されている。
全国の科学館の古いところはだいたい前の展示物が多いが、展示に手が入っている。
全般に展示がよかった
操作する活動が多かった
操作する展示が多く、子供が楽しめた
孫を連れてきて4人ともすごく興味を持って熱中してよかった
多くの情報に接することができた。
多種類の科学情報を得られた。
多数のテーマがあり子供がたのしめた
多分野について展示がある
体で体験出来る。広さがちょうど良い
体を使って色々なものに体験できたこと。
体験（動かしたりする）があまり待つことなく出来たこと。
体験、みて、きいてできているところ
体験・展示が良かった
体験ができるところ。
体験が沢山あった
体験コーナーがたくさんあり、子どもが感心持てたこと。
体験スペースが多いところ
体験するところが沢山あり、子供と共に楽しめたところ。
体験するものが多いのが良い。
体験するものが多く、子供たちが楽しめた
体験できたところ
体験できるものが多い
体験できるものが多かった。
体験できるものが多く、主体的に楽しめた
体験できる所
体験でき子供がたのしんでいた。
体験で学べる所
体験や実験をできる所
体験型のゲームが多かったところ
体験型のコーナーが多くて楽しめた。

体験型のブースが多い点
体験型のものや、ショー
体験型の展示がおもしろくわかりやすい。室ごとの「ワーク」があるので興味をひかれ、体系的な理解に役立つ
体験型の展示が多かった
体験型方のコーナーが多くおもしろかった
体験出来るところ
体験出来る物が多くて良いと思う。
体験展示が多い。係員さんの対応がよい
大きな？しゃぼん玉に入りました
大好きなのでまた来ます
大変よかった
知らないことを学べた。
丁寧に説明してもらった。
超低温実験は目で見る楽しさそのものだったと子ども楽しみました。
直接体験できること。
鉄の実験（ワークショップ）の人数を増やすか開催回数をふやしてください。より多くの人に参加できるように、話
や説明をきいて手をうごかすとより深い理解に、技術館の目的の達成につながると思いますご検討お願いします。
展示がおもしろかった
展示が楽しかった
展示が見やすく、わかりやすい。
展示が少しずつ変化していて何度来ても楽しい。
展示が多い。安い。
展示が多い所（種類）
展示が多く1日いられる。
展示が多く人が一ヶ所に混み合っていない
展示が分かりやすい。展示室外の展示（？）も目をひくものが多かった。
展示のレイアウトが見やすい
展示の豊富なおもしろいところ
展示内容が多く、体験できるものがたくさんあって楽しい
展示内容が分りにくくなっているのもある
展示品が分かりやすく、仕組み（構造）も楽しく学べた
展示物のカテゴリーが適当にちらばっていた所。
展示物のみでなく体験出来る物が多くて楽しかった。
展示物の内容がわかりやすく、興味をひかれるようなものだった
展示物の模型がわかりやすい
動かして確かめられる
難しい題材もわかりやすく、模型や映像で見ることができ、説明もわかりやすい。
日頃接しない科学技術を見学出来た事
日常的に科学技術が関わっていることがよくわかった。
入場料が安い
必ず子供が面白かった！と印象に残るものがある。それで、子供はまた来たくなる様子。
普段、見せてあげられない、教えてあげられないことを子供たちに体験させ見せることができた
普段接する事の出来ない実験等にふれて子供には良かったと思います。
普段知る事ができない事等学ぶことができました。
普段発見できないものにめぐりあえた。
幅広く、今の先端科学を（ぶっちゃけた裏話まで）教えてくれる。
分かりやすく展示がされていて、楽しみながら科学にふれられるところ。
雰囲気がいよ
勉強になっておもしろい！
忘れていた事をやさしくわかりやすく教えてもらえた
迷路の所
目でみて、体験できたところ
幼児でも、体を動かして、科学にふれたこと。
様々な科学にふれられる。
様々な科学に触れられた
様々な種類のテーマがある
様々な分野の展示等がある。

★悪かったところ

…意味がわからない所もあった
3Fのオーロラサイエンスを見た時、周りがうるさく聞きにくかった。
3才の子供には少し難しいようであきていました。3年生の子供はくぎづけでした。
4Fにまったく係員がいなかった。質問しやすいように各展示室に1人ずつくらい人がいたらよかった
4Fのレストランまずいです
5Fのワークスの実験、もうすこし座席があったらと思います。

5Fの展示の操作方法がわかりづらかった。
5Fは説明がなくわかりにくい
5階のお手洗いで、モニターみたいなものに頭をぶつけて痛いです。
5階は、説明がないので、しくみがよくわからないものもあった。子供は、自分から質問できずもじもじしてしまっ
た。
HPがわかりにくい。
WSなどの時間が重っていて見れない。
アクセスがよくない
あまり楽しすぎて時間が足りない
あまり落ちついて見れない
アンケートの字が小さい。少し暑い。Q1-6、1-7の相異点がわかりにくかった
イスがもっと多い方がよい
イスをふやしてほしい。入口に本日もようしものを展示してほしい
イベントの種類と時間が分からなかった
うるさい、子どもが走り回る←危険、じゃま
エアコンのききが悪い。トイレetc
エスカレーターがない
エレベーターがない、(P)が混んでいた、ろうかが暑い
エレベーターがないので骨折した時に困った
エレベーターが無いこと
オーロラとか、映像で見ているだけのものは、つまらない。
オーロラ館がさみしかった
おにぎりを持ってきたが、座る事ができなかった。
クーラーがきいていない
ゲームが多い
こわれている展示物がある事。
こんでいたところ
さわれない物が多い
シアター?のイスをもっと首を支え(リクライニング)られるようにしてほしい。
じっけんが見られなかった
すこしわかりにくい説明もあった
スタッフの方がもう少し多いと説明を受けやすいです。
スタッフの方が全然いないところがあった。シンラドームで子供がうるさい。
すわるイスが少ない
その反面、待ちが長いものがあり疲れる。
たまたま調整中のものがあったのが残念でした。
ちょっと説明が足りない(体験型にかんして)
ディスプレイの説明が不充分だと思う。遊び方がわかりにくかった。
トイレにベビーキープをとりつけてほしい。
トイレや階段を探すのが大変でした!
とくにない。(がしかし…軽食、レストランなどがもう少しあると尚Good)
トコロボットを作ったが、待つ時間が長かった
とても暑い所がありました
とにかく広くて歩くので疲れました!(悪いところではないですね)
ならば時間が長いこと
バーコードのやりかたがわからなかった。
パソコンに頼った展示が多すぎる。ワークスのような機械的かつ自分で動かす展示がよい。
パソコンの画面が荒く、文字が読みにくい部分があった。
パロのALアダプタが口では病人を見ているようで、痛々しかった。光があたって目をつぶられると苦しがっている
ようで見ていられない。セラピーになるとは思えない ②パロの目が何かを愛顧するような目のつくりで例えば病人
や老い先短い人にとっては自分を見るようではないのか、とパロを見て残念でした。
パンフレットがほしかった
フードコートがほしい
プログラムの時間が重なってしまい、参加出来ないものがあった。
ベビーカーがいる場合が大変
ベビーカー持参には階段はつらいです。エレベーター使わせて欲しいです。
まわる順番がわかりにくい。
もうすこし、手をつかたりする展示物があった方が良かったです。
もう少し、展示数があってもよい 入館料が、他の博物館に比べて高いように思う。大人600円→300円なら、
何度もきたいかな。
もう少しかみくだいた言葉で説明を書いてほしかった。
もう少し園児に興味を持てる内容も欲しい。
もう少し解説パネルを増してほしい
もう少し休けいのイスがほしい
もう少し説明があってもよい
もう少し説明してくれるスタッフがいてくれるといいと思います

もう少し中高生向け展示を増やして欲しい。食堂の改善
もう少し複雑なものがあったら楽しいかな？
もっとインストラクターがいるとよい（あまり、説明が多すぎてもよくないが）
もっと小学生位の子供がわかる様にして欲しい。
やや古いものもあるので、メンテナンスがなされると良いです
やや古くなりすぎた展示が多かった
やり方がよくわからない展示があった
やり方がわからない所がありました。
やり方が分かりにくいところがあった。
レストランが混んでいる
ロケット■の工作受けが終っていた
ロボットのデモが少なかった
ロボットは物足りなかった。
ロボット工作をしたかったけど、定員いっぱいできなくてとても残念でした。
ロボット展で本ものの生きものと比較できなかった点
ワークショップ等イベントの時間が同じタイミングで全部をやれないところ。
わかりにくい展示があった
わかりにくく難しかった
以前来たとき、閉館時間？前に片付けが始まり、せかされている気になりました。
椅子の数をふやしてほしい（休憩用）
一部、設備が作動しない し難いところあり
一部対象年齢が分かりにくい
一部動かし方がわからないものがあった。（展示）
飲食店の内容増やしてほしい。
駅からのアクセス
駅から遠い 暑かった
駅から歩くのに少し遠い。
遠方よりレーザークラフトを楽しみに来たが、すぐ定員に達してしまい、来年までがまんすることになった。
下の階があつかった。
下りエスカレーターがない
下りエスカレーターがない
下りエスカレーターがほしい
下りが階段のみ、予約の人数制限が少ない
下りのエスカレーター（足が悪いので）色々な所に解説員がほしい。←アンケートの字が小さい（目が悪いので）
下りのエスカレーターがあるとよい
下りのエスカレーターがなかったところ→まあエコで良いですが…あえて言えば。
下りのエレベーターがない
下りは階段のみでは不便
何か聞きたい時に人を見つけれないことがあった。（5階）
夏休み中で入館者が多すぎた。
夏休み中の平日は、もっと工作してほしい。
階段での移動
各実験がどのような結果を求めているのかよく分からないブースがあった。
各所に説明や質問に答えてくれる人がいるとよかった。
館内があつかった
企画物をやると並ぶのに時間がかかるところ
機械の操作の意味がよく分からない所（ブース）があった。
休けいする場所をもっとほしい
休む所をもう少し増やしてほしい。入場料をもう少しリーズブルに。
休憩スペースをもっとほしい
休憩所
係員の方がちょっとこわいところ
建物が古い
建物が古い
建物が古い、フードコートがほしい。
建物は古くなりましたが清潔が保たれている。
現時点では無し
言葉を子供にもわかりやすいように工夫されるとよいと思いました。
工作が若干高いと感じた。
工作とか、すぐにいっぱいになってしまう
工作の回数・定員をもう少し増やしていただきたい
工作の順番が長かった
広い（笑）
広くて、何があるのかわかりづらい。
混み合うブースは並ぶ線などつけるとよいと思う
混んでいる

混んでてすぐに見られなかったりやれなかったこと
使い方がわからない。説明不足。食事がまづい
使えない施設もあった
子供、大人向への内容が中途
子供が「わぁー」と感動できるところが少なかった。
子供が興味を持つ所の説明が単語がむずかしくて理解できなかった
子供が動かし方が分からないものがあった。
子供が動きにくかった
子供が並んでいる所に大人が並びにくい
子供が理解出来るかどうかと思う点
子供向けすぎてあまり大人が楽しめる感じではなかった。子供ができてからまた来たいと思った。
思ったより（外観上）狭かった
施設が、古くなってきている。
施設の老きゅつ化
資料が少ない
時間がなくせわしなかった
時間が重なる実験、ビデオなどがある。
時間の長いシュミレーションがある（6分間は長い）
時間帯がもう少し……。
自転車ののりもの？がなくなっていた。
自分が準備不足で見たいものをしほれなかった
実験・スケジュールが重っていて、上手にみれない
実験 a n d ワークの時間が少なくて参加できないのがあった。
実験が子どもには長すぎた。
実験など前もって予約できるものが多いと助かります。
実験の時間が、かさなり、色々みれない。
実験の時間がかさなっている。
実験の時間が重なっていた。工作の人数が少ない
実験の順番を待つ子どもたちをわりこみをさせないように一列に並ばせたりした方が良いと思う。
実験の変化がなかった
実験や施し物の時間や場所を、一目でわかるようにしてほしい
実験をわかりやすくしてほしい
実験を見るイスが少なく、また、参加人数が多かったので少し疲れしました。
実験内容が一緒だった。
車の展示の所で一人ですとやっている（ゆずらない）子供が多い点
修理が必要なコーナーがいくつかある。こわれている事ははっきりアピールしたほうが子どもたちもむきにならない。
順番をまもらない子がいて困った。1人あたりの時間が長い
順番待ちのルールがわかりにくいので、する込みがやや多かった。
順番待ちの列が良くわからず、結果割り込みをされてしまう。
順番待ち時の子供のしつけが悪い
暑い
暑い、少し設備が古い
暑かった。
小2には少しむずかしかった
小さい子供にはむずかしいかも
小学1～2年にはむずかしい
少し古いようなアトラクションもあったようだ
少し暑い
少し暑かった
少し分かりづらい物があった
少々むずかしい操作あり
場所によっては係の人の私語が多いような気がしました
色あい等が地味（全体的に）
食事をする場所
食堂が古い
人が1ヶ所にかたまっているところ
人が多くみたい実験がみれなかった。
人気のコーナーは順番がなかなかまわってこない
声がきこえにくい
設備が古い
説明がわかりにくいものがあった
説明が子供には少々難しい！？
説明する人がいると展示してあるものが良くわかって良いと思う
説明する方が少なかった気がします。
説明のないところがあって（5F）少し分かりづらかった。
説明ボードが少ない

説明不足 特に5F
 説明不足（展示品の）
 説明文の見にくい所があった。
 全館広くて、小さな子供（わが家は4才）が楽しめる場所はどこなのか。はっきりとは分からない点
 全体的に少し暑い
 操作がわかりづらいものがある
 操作する活動が多かった←それに対する説明がほしい
 早くきたのに、展示会の予約がとれなかったこと。
 他の階でも休けい室が少しあるといい
 多くてすべてまわれなかったこと
 体験コーナーが混雑のためにできなかった。
 体験コーナーの人数が少なすぎる
 体験で遊ぶものがある時に小さい子どもがずっと順番をかわらない。など。
 体験人数が多いともっと体験出来たと思います
 対象年齢はいくつか？
 待ち時間が長い。順番がわかりづらい
 大人が休めるベンチが欲しい
 低学年ではまだ内容がむずかしいかな・国立博物館みたいに誰でもわかる展示（みてさわれる）のを望みます。
 弟妹用にエレベーターが欲しい
 鉄の丸の公園での工作も目的で来たのですが、1日10名で入れず残念。
 鉄の工作の定員を増やしてほしい
 展示がよくないところもまれにあると思います
 展示が故障している？説明が少なすぎる。
 展示してある物への説明が少ない。
 展示の説明がなく（5F）わかりにくい
 展示の説明がむずかしかった。
 展示の説明が少ない。
 展示の説明が少なくわかりづらいものがある
 展示の操作がわかりにくいものがあった
 展示の動かし方や説明を聞きたくても係の人がいない
 展示教室がまわりが騒しく集中できなかった。教室は別に設定した方が静かで分かりやすいと思った。
 展示室によっては、興味を持てず素通りしてしまう所もあった
 展示物にふれられず残念。人出があったため
 展示物の説明がない事。故障しているものが多い事。
 展示物の説明がわかりにくい所もあった
 展示物の説明が少し不足していた様に思う。
 電池で動かすものが、電池切れで動かなかった。Box（でんきが付かなかった。）
 動かして遊ぶものなどにきちんとした説明書きがなくてわかりづらい
 動かし方や結果がわかりづらい物があった
 動線や、何の展示かすぐにわからない。より詳しい情報を知るためにライブラリーに行ってもひん弱。
 同じ時間に興味のあるイベントが多くイベントに参加し切が早すぎ
 内容を説明して下さる人がいるともっと勉強になると思った。
 入館料が高い。
 入口と中身のギャップが激しすぎる。
 年齢によっては難しいものもあるので、年断表示があると良いと思う。
 判らない展示（何を意味するか？どう操作するか？）が多かった。
 反面になりますが、多い分子供がすぐに目移りし、説明文を読まずに次へ移動してしまう
 物の使い方が分からない所が幾つかあった。きちんと並べる様工夫したら良いと思う
 分かりにくいものがあった。
 並ぶところをしっかりと決めてほしい
 並んでいる時間が長い
 遊び場の展示もすこしずつ新しくしてほしい
 幼児にもわかりやすいコーナーがあるとよかった
 幼児向のスペース（年中年長間）を増やしてほしい
 理系の人の特徴なのか、デモンストレーションや説明が下手でおもしろみに欠ける ロボット展の迷路午前中は、充電
 時間が長すぎてほとんど体験できなかった 一組一回にするか、台数を増やすべき。

★今後やってほしい展示実験、工作等

“はやぶさ”の展示
 きぼうの展示をしてほしい
 はやぶさの展示をしてほしい 今のはやりをしてほしい
 1時間程度でできる実験、工作の種類を増やしてほしい。
 DNAのしくみをもう少しわかりやすくしたもの
 いつも来ているので実験内容を少しずつ変えていってほしい
 いろいろ

いろいろな体験
いろいろ体験できればGOOD
インターネットについて（セキュリティ）、携帯電話のしくみなど
エネルギーの実験
エレベーター エスカレーター
からくり物とか。家庭でできる実験物とか。
かんたんに自宅でもできる実験
クオーク、学校の授業と科学のつながりをとりあげてほしい
コンピュータの歴史
サーキットベンディング
しゃぼん玉、生物系の実験
シャボン玉実験など
スピードに関する実験
ソーラパネルを使った工作
でんじろうさんのshow
でんじろう先生の実験（がみたかったと子供がいました）
バイオテクノロジーの実験、様々な学校で習う実験を実際に実現してほしい。
バイオテクノロジービジネス
はやぶさなど旬なもの。プラネタリウムなど
ハヤブサの特集、イトカワの説明等
はやぶさ関係のものを見たい。
プラネタリウムの上映
プラネタリウム作り
プログラムの、定員数をもう少し増やして欲しいです
またロボット
またロボット展をやってほしい
またロボット展を希望します。
また新たなロボットを
もう少し、回数を増やしてほしい
もう少し参加できる工作が多いと有難いです。
もう少し実験をしてほしい
もっと工作出来るイベントが多いといいです。
もっと多くの人が工作できるといいと思いました。
よく分からない
リサイクル工作（ダンボール、ペットボトルetc）ガラス細工、とうげい、かみねんどetcどんぐりや木のみ
の工作
レベルが高いので思いつきません。
ロケット
ロボット
ロボット
ロボット、関連のもの。
ロボットはかなり良かった。やはり参加、体験するものに興味がある
ロボット工作
ロボット作り 宇宙工学に関する実験
ロボット作りの講習会など
ロボット実験、展示
ワークショップがやはり楽しく充実します
わからない
静電気じっけん
以前あったタッチパネルを押すのがまたやりたいです。
うちゅうかんれん
宇宙。
宇宙について…小学生でも自分で出来る実験。レポートの書き方
宇宙についての展示を増やしてほしい
宇宙についてもっとくわしく
宇宙に関する展示
宇宙のコーナーもっと充実を！
宇宙の展示を増やして欲しいです
宇宙科学の展示物
宇宙開発、eco技術。
宇宙技術関係のものをお願いします。
雲が出来るまで 雷のしくみ
化学（理科）の実験、ロボット工作等
化学実験をいろいろやってほしい。
化学的な実験
化石や鉱石などの実験や工作など

何でもO、Kです。子どもが興味をもてるような実験や工作
何日か通して通う理科教室
可動式ロボットの工作
夏休みだけ自由工作をもっといろいろいっぱいやってほしい
夏休みの宿題e t c対策企画
夏休みは平日も工作などやってくるとよい。
家でなかなかできない広さを要する物など。
火以外での化学反応・ハンダづけ工作
怪じゅうのロボットなど
外での実験
外での大きな実験
学校ではできないような実験。
学校で学ぶ内容をさらに深めた実験。
学校で教えてくれない事
学校などでは出来ない様な実験など…
学校の勉強にそくした、実験等
学校の理科の授業につながるもの。
学年に合わせた実験、工作等
環境についてもっとやってほしい プラネタリウムがみたい
環境についてもっと詳しく
環境関係を継続して展示してほしい
環境問題について
環境問題関係（地球温暖化など）
館内の地理がわかりにくい
期待しています！これからも。
気軽に参加できる実験
具体的には思い浮かばないが、小学校高学年の男子が喜ぶような内容をお願いします
具体的にわかりません。
具体的に思いつかないけれど子供が目を引く派手な実験など…
建築
工業系のしくみ。
工作
工作できる人数を増やしてほしい
工作教室をふやしてほしい
航空宇宙、ロボット。
今、あるものでいいです。
今のままで…楽しいです
今のをまたぜひすべてみてみたい
今日は、参加できませんでしたが、実験なら、なんでも参加を子どもにさせてあげたいと思っています。
昆虫、化石ももう少しからめてほしい。
最新の技術を、わかりやすく体験させてほしい。
最先端技術の展示、実験など（分野問わず）
参加型の工作や実験をふやしてほしい
子どもが興味をもつような楽しい実験や工作
子供（低学年）が楽しめる工作やデモンストレーションなど
子供が楽しくできるもの。
子供にもっと実験を多く、もっと体験させたい
思いつきません。
自然エネルギー
自然に係わる事柄（地表、地下、火山、海、気象等）
自由研究で使える実験、工作アイデア
実験がやりたいです。
実験・工作
実験に参加するコーナーをたくさん作ってほしい
実験をもっとたくさんやってほしい
実験回数を増やして欲しい。イスも。
実際の研究所で行われている事を見たり、働いてる人の話を聞いてみたい。他の国の研究も知りたい
小さい子で工作が苦手な子でも楽しめるもの、作成もの
小さい子供にもわかる実験
小学校低学年、幼児も参加出来るものを作ってほしい。
小学生（低学年）がみて、わかりやすい内容のもの
小学生が学校で実験したりすることを応用したもの。
小学生が実際に学校でも習うけど先生は仲々できないような実験をしてほしい 今日の磁石と電気のは良かった。も
っと学校の先生も見に来て子供に教えたら理科好きの子供が増えると思う。科学技術館の人達はもっと自信もって世
の中のでていって訴えてほしいです。
小学生でもできる実験や家ではできない大がかりな実験

小学生やそれ以下の子供だけでなく、中学以上の学校での学習に生かす事の出来る内容の説明を増やしてほしい
色々
色々がんばってほしい
食品（料理系）
身近なものを使っての工作（子供でも簡単にできるもの）
人体の科学
水に関する実験など
水を使った実験。分かりやすく出来る工作
水力、風力、灯り（電池回路）など
生きものに関する展示・実験
生きもののロボットは、科学技術館らしくてよい。生きものの観察ができる展示が夏～秋期あるとよい。
生活の中で簡単にできる理科実験（でんじろう先生のような）
昔の伝とう工芸と、科学の世界のコラボ（共通点）など
昔作った、ゴムなどで動作するおもちゃ工作など。
折り紙について
専門の知識がないとできない（家庭ではできない）実験など。
太陽光発電について
太陽電池を使ったおもちゃ
中学生向けのもの
超電伝とか
津波（つなみ）
低学年でも参加できる実験
鉄道のジオラマ展示など
天文学的なディスプレイ
電気のしくみ、原子力の展示をもっとわかりやすくしたもの。
電気や電池に関するもの。工作を増やしてほしい。（できれば対象年齢別に）
電子工作
電子工作、ロボットの展示、日本の先端技術の紹介
電子工作やおみやげのある実験などあればいいです！
動植物
動物と科学的な関係のこと。気象的なこと。
特にわかりません。
特に思いあたらないが工作・実験の定員を増やしてほしい
南極での実験や生活の展示
廃材でできる工作etc…。
飛行機関係
不明
浮力について
歩くロボット
防災、気象など
万華鏡をつくってみたい
未就園児も参加可能なもの。
未来のテクノロジー
無重力体験
無料で、できる工作
無料の工作がもっとあるとうれしい。
薬関係。
予約なしでの体験を期待。
予約をすべて開館時に受け付けしてしまうのを考えて欲しい
幼児、子ども用の、工作（飛行機、電車）
幼児でも分かりやすいものをやっていただきたいです
幼稚園児対象の実験等
来年もまたこのような（ロボット展）企画を→よろしく願います。
雷と科学の話

4 まとめ

今回の調査結果について、ポイントとなる点のみ整理する。

1) 青少年のための科学の祭典

ここではアンケート結果の中から特徴的事項のみを列記する。

- 科学技術が好きになった理由として、子どもの第1位は「科学館・博物館」であり、昨年度の1位であった「学校の理科の授業」が僅差で続いている。反対に科学技術が好きでなくなった理由の第1位は昨年度と同じく「学校の理科の授業」である。
- 関心のある科学技術分野では、子どもは「ロボット」や「化学」に関心が高く、大人は「食物」や「環境」に関心が高い。男女別では、男子は「ロボット」、女子は「科学技術史」が高く、大人男性は「航空・宇宙」、示大人女性は「食物」に関心が高い。
- 科学技術に関する情報源として、大人も子どもも1位がテレビで、「科学館・博物館」は3位である。2位は大人が「インターネット」に対して子どもは「学校」である。子どもの男女差はほとんどないものの、大人男性が「インターネット」に対して大人女性は「科学館・博物館」の割合が高い。
- 科学技術に関する情報を得る手段として、子どもはあまり男女差がなく、「インターネット」、「書籍・図鑑」、「テレビ」、「学校」の順である。大人は男性が「インターネット」、「書籍・図鑑」、「雑誌」の順に対して、女性が「インターネット」、「科学館・博物館」、「書籍・図鑑」の順となっている。
- 半数近くの子どもの母親と一緒に祭典に来ている。
- 大人も子どももはじめて来た方は半数近くいる。
- 来場者で科学技術に興味がいったり、知識を深めたりと感じている方が9割近くいる。
- 祭典見学後、科学技術リテラシー（関心、知識、使いこなし）の自信度が大人子ども、男性女性ともに増えている。まったく自信がないと回答した層の割合は半分近くに減っている。
- 子どもの祭典来場者は小学4年生から中学2年生で7割近く、中でも中学1年生は全体の1/4を超えている。
- 出展内容については「実験」、「工作」が多く、観察、実験ショーは少ない。
- 出展内容に興味を持ってくれたり、知識を深めてくれたりと来場者の反応を出展者は好意的に見ている。
- 来場者とのコミュニケーションをとるために出展者は、出展内容ややり方を変更する、分かりやすく説明する、質問に丁寧に答えるなどの工夫を行っているとの回答が7割を超えている。
- 出展者についても、科学技術に興味がいったりと感じている方が9割近くおり、祭典に出展して満足した方は9割以上である。

2) 科学技術館来館者調査

- 親が子どもを博物館等に連れていくことに対し、あてはまると回答した人たちとあてはまらないと回答した人たちの比較を行っている。
- 親に博物館等にあまり連れて行ってもらっていない女子は、理科の授業中に先生からあまりほめてもらっていないとの回答が6割を超えている。
- 親に博物館等に連れていってもらっている子どもは、学校で理科を勉強する意義に対して、「役に立つ」との回答率が高いのに比べ、あまり連れていってもらっていない子どもは低くなっている。
- 科学技術が好きになった理由は、「科学館・博物館」が高く、「学校の授業」が次に続く。博物館等に連れていってもらっている子どもは「父」の影響も高い値を示している。反対に、好きでなくなった理由は、博物館等に連れていってもらっていても「学校の授業」が1位であり、中でも女子にその傾向が高い。
- 博物館等に連れていってもらっている子どもの方が、科学技術への関心が高く、また情報の入手手段もそれぞれ高い回答率をしている。
- 博物館等へ連れていってもらっている子どもは、総じて親から理科・科学技術に関して勉強や工作を教えられたり、本を買ってもらったりしているが、あまり連れていってもらっていない子どもたちは親からの理科・科学技術に関するアプローチや交流を受けている割合が顕著に低い。
- 親に博物館等にあまり連れていってもらっていない子どもたちは、友だちと一緒にきている割合が高く、学校の先生や学校等の団体が続いている。
- 子どもを博物館等に連れていく親とあまり連れて行かない親とで、理科や科学技術にたいする好悪や必要性、意義の違いは、ほとんどない。
- 親が科学技術を好きでなくなった影響として、「学校の先生」や「学校の理科の授業」との回答が多いが、その8割以上が、子どもを博物館等に連れていくと回答した女性であった。
- 子どもを博物館等にあまり連れていけない親は、子どもや友だちを通して科学技術館を知り、来館している。
- 子どもを博物館等にあまり連れていけない親の面白かった展示室では、父親に比べ母親の方が回答率が高い。

最後に、本報告は一次集計が主であり、分析について掘り下げができていない部分があることから、今後、クロス集計や昨年度の調査データと今回の調査データを突き合わせるなどさらにデータを精査し、博物館や教育系の学会等に発表し、博物館活動、社会教育活動に寄与していきたいと考えている。

平成 2 2 年度 科学技術館科学技術理解増進活動基礎調査 報告書

青少年のための科学の祭典

科学技術館来館者

発行日：平成 24 年 3 月 31 日

発 行：公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館 企画広報室

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 - 1

TEL：03-3212-8584